

## 第3号 館腰公民館改築工事

### 参考金抜き設計書

【 取扱上の注意事項 】

本設計書に記載されている数量は参考数量であり、本設計書は工事請負契約に記載されている設計図書には含まれない。

宮城県名取市

名 称 : 館腰公民館改築工事

円 (消費税除く)

一金

円 (消費税含む)

費 目	工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	明 番	摘 要
直 接 費				1.00	式				
共 通 仮 設 費				1.00	式				
現 場 管 理 費				1.00	式				
宮 城 県 名 取 市									
費 目	工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	明 番	摘 要
一 般 管 理 費				1.00	式				
工 事 価 格				1.00	式				
消 費 税 額				1.00	式				10%
合 計									

名 称	規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
館腰公民館改築工事						
指定仮設		1.0	式			
計						
I. 建築		1.0	式			
II. 電気設備		1.0	式			
III. 機械設備		1.0	式			
計						
総合計						



名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I.	建築						
1.	直接仮設		1.0	式			
2.	土工		1.0	式			
3.	地業		1.0	式			
4.	鉄筋		1.0	式			
5.	コンクリート		1.0	式			
6.	型枠		1.0	式			
7.	鉄骨		1.0	式			
8.	防水		1.0	式			
9.	タイル		1.0	式			
10.	木工		1.0	式			
11.	屋根及びとい		1.0	式			
12.	金属		1.0	式			
13.	左官		1.0	式			
14.	建具		1.0	式			
15.	ガラス		1.0	式			

名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
16.	塗装		1.0	式			
17.	内外装		1.0	式			
18.	ユニット及びその他		1.0	式			
19.	囲障		1.0	式			
20.	昇降機設備		1.0	式			
	計						





名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.	地業						
	(地業)						
	再生砕石	RC-40	63.9	m <sup>3</sup>			
	床下防湿	ポリエチレンフィルム t0.15	589	m <sup>2</sup>			
	床下断熱	ポリスチレンフォーム板 t50 3種bA	589	m <sup>2</sup>			
	小計						
	(杭地業)						
	羽根付き鋼管杭	P1 φ267.4 杭長5.0m	6.0	本			
	羽根付き鋼管杭	P1 φ267.4 杭長4.0+3.0m	4.0	本			
	羽根付き鋼管杭	P1 φ267.4 杭長4.0+4.0m	6.0	本			
	羽根付き鋼管杭	P2 φ267.4 杭長5.0m	33.0	本			
	羽根付き鋼管杭	P2 φ267.4 杭長4.0+3.0m	8.0	本			
	羽根付き鋼管杭	P2 φ267.4 杭長4.0+4.0m	2.0	本			
	杭施工費	スクルーパイル EAZET工法	1.0	式			
	杭頭補強	P1 SD345 D22 L980 8本	16.0	か所			
	杭頭補強	P2 SD345 D22 L980 8本	43.0	か所			







名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.	型 枠						
	普通型枠	基礎部	1011	m <sup>2</sup>			
	普通型枠	地上軸部	2810	m <sup>2</sup>			
	打放型枠	B種 基礎部	368	m <sup>2</sup>			
	打放型枠	B種 地上軸部	2047	m <sup>2</sup>			
	打放型枠	C種 基礎部	222	m <sup>2</sup>			
	打放型枠	C種 地上軸部	5.4	m <sup>2</sup>			
	型枠運搬費	10t車	6463	m <sup>2</sup>			
	打放面補修	B種 コーン処理有り	2415	m <sup>2</sup>			
	打放面補修	C種 コーン処理無し	227	m <sup>2</sup>			
	構造スリット	完全型 鉛直 W180 t25	142.0	m			
	構造スリット	完全型 鉛直 W200 t25	3.0	m			
	構造スリット	完全型 水平 W180 t25	76.9	m			
	構造スリット	完全型 水平 W200 t25	4.6	m			
	止水板	ブチルゴム系 H150	65.6	m			
	打継目地	20×10	324	m			
	化粧目地	20×10	423	m			



名 称		規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7.	鉄骨						
	(ホール屋根)						
	H形鋼	SN400A H-250x125x6x9	2.3	t			
	H形鋼	SN400A H-300x150x6.5x9	1.2	t			
	H形鋼	SN400B H-100x100x6x8	1.2	t			
	H形鋼	SN400B H-294x200x8x12	3.1	t			
	H形鋼	SN400B H-488x300x11x18	12.1	t			
	角形鋼管	BCR295 □-300x300x12	4.1	t			
	角形鋼管	BCR295 □-300x300x16	2.6	t			
	軽量溝形鋼	SSC400 C-100×50×20×2.3	0.4	t			
	鋼板	SN400A PL-9	1.2	t			
	鋼板	SN400A PL-12	1.0	t			
	鋼板	SN490C PL-16	0.1	t			
	鋼板	SN490C PL-22	0.5	t			
	鋼板	SN490C PL-25	0.1	t			
	鉄骨スクラップ°控除		-1.0	t			
	鉄骨加工組立	工場溶接6mm換算888m共	29.0	t			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工場錆止め塗装		29.0	t			
鉄骨運搬費	11t車	29.0	t			
鉄骨建方		29.0	t			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-20x45	337	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-20x50	63.0	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-20x55	125	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-20x60	500	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-22x55	104	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-22x70	188	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-22x75	600	本			
高力ボルト締付		1840	本			
アンカーボルト	M20 L=400	48.0	本			
アンカーボルト埋込		48.0	本			
JISﾌﾞﾚｰｽ	M22 L=3800	30.0	本			
JISﾌﾞﾚｰｽ	M22 L=4100	20.0	本			
JISﾌﾞﾚｰｽ	M22 L=5200	20.0	本			
JISﾌﾞﾚｰｽ	M22 L=5600	10.0	本			

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	柱底均しモルタル	500x500x50	12.0	か所			
	現場錆止め塗装		29.0	t			
	超音波探傷試験	第三者	40.0	か所			
	小計						
	(ブドウ棚)						
	H形鋼	SN400A H-100x100x6x8	1.8	t			
	H形鋼	SN400A H-125x125x6.5x9	0.4	t			
	H形鋼	SN400A H-250x125x6x9	0.1	t			
	H形鋼	SN400A H-300x150x6.5x9	0.4	t			
	山形鋼	SS400 L-65x65x6	0.1	t			
	角形鋼管	STKR400 □-60x60x2.3	0.4	t			
	角形鋼管	STKR400 □-100x100x4.5	0.4	t			
	角形鋼管	STKR400 □-150x150x6	0.5	t			
	鋼板	SN400A PL-4.5	0.04	t			
	鋼板	SN400A PL-9	0.01	t			
	鋼板	SN400A PL-16	1.2	t			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
縞鋼板	CPL-4.5	0.1	t			
鉄骨スクラップ 控除		-0.2	t			
鉄骨加工組立	工場溶接6mm換算198m共	5.1	t			
工場錆止め塗装		5.1	t			
鉄骨運搬費	11t車	5.1	t			
鉄骨建方		5.1	t			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-16x40	5.0	本			
トルシア形高力ボルト	S10T HTB-16x55	4.0	本			
高力ボルト締付		7.0	本			
中ボルト	HTB-12x40	46.0	本			
中ボルト締付		44.0	本			
アンカーボルト	M16 L=320	68.0	本			
アンカーボルト	M16 L=400	2.0	本			
アンカーボルト	M20 L=400	12.0	本			
アンカーボルト埋込		82.0	本			
柱底均しモルタル	200x200x50	3.0	か所			
柱底均しモルタル	200x300x30	1.0	か所			

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	柱底均しモルタル	300x200x50	1.0	か所			
	柱底均しモルタル	350x150x30	2.0	か所			
	柱底均しモルタル	350x350x50	2.0	か所			
	現場錆止め塗装		5.1	t			
	超音波探傷試験	第三者	20.0	か所			
	小計						
	(屋外階段)						
	H形鋼	SN400A H-100x100x6x8	0.05	t			
	H形鋼	SN400A H-200x100x5.5x8	0.02	t			
	山形鋼	SS400 L-50x50x4	0.04	t			
	角形鋼管	STKR400 □-125x125x4.5	0.1	t			
	鋼板	SN400A PL-6	0.01	t			
	鋼板	SN400A PL-9	0.01	t			
	鋼板	SN400A PL-12	0.5	t			
	鋼板	SN400A PL-16	0.03	t			
	縞鋼板	CPL-4.5	0.5	t			

名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鉄骨スクラップ 控除		-0.03	t			
	鉄骨加工組立	工場溶接6mm換算60.8m共	1.1	t			
	溶融亜鉛めっき費	HDZT77 加工品 立方溶接体(柱類)	1.1	t			
	鉄骨運搬費	11t車	1.1	t			
	鉄骨建方		1.1	t			
	高力ボルト	F8T HTB-16x40	3.0	本			
	高力ボルト	F8T HTB-16x50	5.0	本			
	高力ボルト	F8T HTB-20x50	5.0	本			
	高力ボルト締付		10.0	本			
	アンカーボルト	M16 L=320	4.0	本			
	アンカーボルト	M16 L=400	6.0	本			
	アンカーボルト埋込		10.0	本			
	柱底均しモルタル	125x300x30	2.0	か所			
	柱底均しモルタル	200x300x30	1.0	か所			
	柱底均しモルタル	250x350x30	1.0	か所			
	超音波探傷試験	第三者	20.0	か所			
	小計						

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋上通路)						
H形鋼	SN400A H-100x100x6x8	0.7	t			
山形鋼	SS400 L-50x50x4	0.2	t			
鋼板	SN400A PL-4.5	0.1	t			
鋼板	SN400A PL-6	0.02	t			
鋼板	SN400A PL-12	0.04	t			
鉄骨スクラップ 控除		-0.03	t			
鉄骨加工組立	工場溶接6mm換算25.0m共	1.0	t			
溶融亜鉛めっき費	HDZT77 加工品 立方溶接体(柱類)	1.0	t			
鉄骨運搬費	11t車	1.0	t			
鉄骨建方		1.0	t			
高力ボルト	F8T HTB-12x30	90.0	本			
高力ボルト	F8T HTB-16x40	113	本			
高力ボルト締付		194	本			
アンカーボルト	M16 L=400	24.0	本			
アンカーボルト埋込		24.0	本			

名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	JISﾌﾞﾚｰｽ	M12 L=800	24.0	本			
	ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾒﾀﾙ	t3.2	14.1	m <sup>2</sup>			
	超音波探傷試験	第三者	20.0	か所			
	小計						
	(設備架台)						
	H形鋼	SN400A H-150x150x7x10	0.5	t			
	軽量溝形鋼	SSC400 C-150x75x25x3.2	0.3	t			
	鉄骨スクラップ控除		-0.03	t			
	鉄骨加工組立	工場溶接6mm換算1.1m共	0.8	t			
	溶融亜鉛めっき費	HDZT77 加工品 立方溶接体(柱類)	0.8	t			
	鉄骨運搬費	11t車	0.8	t			
	鉄骨建方		0.8	t			
	アンカーボルト	M16 L=320	36.0	本			
	アンカーボルト埋込		36.0	本			
	小計						

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(その他)						
安全ネット張り	水平張り 設置2ヶ月 運搬共	480	m <sup>2</sup>			
鉄骨足場	単管吊り足場 運搬共	480	m <sup>2</sup>			
小計						
(耐火被覆)						
ロックール吹付	柱 t30 1時間耐火	14.0	m <sup>2</sup>			
小計						
計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.	防水						
	(外部)						
	防水屋根	フラットデッキ:FP030RF-1745 合成高分子系ルーフィングシート防水 SI-M2 イソシアレートポット t50	473	m <sup>2</sup>			
	合成高分子系ルーフィングシート防水	S-M2 平場 機械的固定工法	475	m <sup>2</sup>			
	合成高分子系ルーフィングシート防水	S-M2 立上 接着工法	150	m <sup>2</sup>			
	塗膜防水	X-2 平場	70.0	m <sup>2</sup>			
	塗膜防水	X-2 立上	17.5	m <sup>2</sup>			
	打継目地 シーリング	PU-2 20×10	324	m			
	化粧目地 シーリング	PU-2 20×10	423	m			
	スリット取合い シーリング	PU-2 25×20	91.9	m			
	スロープ取合い シーリング	MS-2 10×10	16.0	m			
	建具周囲 シーリング	MS-2 15×10	348	m			
	水切り シーリング	MS-2 15×10	98.5	m			
	防水押え金物取合い シーリング	MS-2 15×10	81.1	m			
	水切り金物取合い シーリング	MS-2 20×10	57.3	m			
	防水押え金物	アルミ製 シート防水用	81.1	m			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水端部 水切り金物	アルミ製 20×50	57.3	m			
小計						
(内部)						
ケイ酸質系塗布防水	C-SUI 平場	5.4	m <sup>2</sup>			
ケイ酸質系塗布防水	C-SUI 立上	11.6	m <sup>2</sup>			
ライニング取合い シーリング	SR-1 10×10	53.9	m			
汚垂石取合い シーリング	PS-2 10×10	17.2	m			
笠木取合い シーリング	MS-2 20×10	10.5	m			
小計						
計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9.	タイル						
	(外部)						
	床磁器質ノンスリップ <sup>®</sup> タイル貼り	300角	36.2	m <sup>2</sup>			
	階段磁器質ノンスリップ <sup>®</sup> タイル貼り	300角	1.6	m <sup>2</sup>			
	柱石器質タイル貼り	二丁掛	12.8	m <sup>2</sup>			
	柱石器質タイル貼り 役物	二丁掛	10.8	m			
	視覚障害者誘導タイル	せつ器質 300角	0.5	m <sup>2</sup>			
	視覚障害者注意喚起タイル	せつ器質 300角	1.5	m <sup>2</sup>			
	小計						
	(内部)						
	床磁器質タイル貼り	300角	9.0	m <sup>2</sup>			
	視覚障害者誘導タイル	せつ器質 300角	0.5	m <sup>2</sup>			
	視覚障害者注意喚起タイル	せつ器質 300角	1.1	m <sup>2</sup>			
	汚垂タイル	W550 t6	7.5	m			
	小計						



名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10.	木工						
	床組下地	40×45 @360	2.1	m <sup>2</sup>			
	床組下地	90×45 @900	37.2	m <sup>2</sup>			
	床緑甲板張り	t15 木下地面	37.2	m <sup>2</sup>			
	床シ合板張り	t9 木下地面	2.1	m <sup>2</sup>			
	床フッ合板張り	t15 下地構造用合板t15共 サング-掛け共	385	m <sup>2</sup>			
	床構造用合板張り	t15 木下地面	28.9	m <sup>2</sup>			
	木製幅木	H60 t24	14.2	m			
	木製幅木	H100	88.0	m			
	階段木製幅木	H100	6.2	m			
	壁フッ合板張り	t12 LGS面	215	m <sup>2</sup>			
	壁難燃シ合板張り	t5.5 目透かし	210	m <sup>2</sup>			
	壁有孔シ合板張り	t5.5 LGS面	57.3	m <sup>2</sup>			
	壁杉羽目板	t15 ホ-ト`面	15.5	m <sup>2</sup>			
	壁見切り	木製 H50 t25	14.2	m			
	天井構造用合板張り	t12 LGS面	52.1	m <sup>2</sup>			
	天井難燃杉羽目板張り	t15 合板面	52.1	m <sup>2</sup>			





名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12.	金属						
	(外部)						
	床見切り	ステンレス製 t2.0 曲げ加工 アンカー@300	1.5	m			
	アルミ笠木	W250	158	m			
	アルミ笠木コーナー	W250	8.0	か所			
	天井アルミスパントレール	t0.5 木目調	51.4	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨天井下地	25形 金属成形板用 インサート含む	51.4	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨天井下地開口部補強		1.0	式			別紙明細-15
	天井廻縁	アルミスパントレール用	40.7	m			
	天井点検口	アルミ製 450角	1.0	か所			
	タラップ	ステンレス製 W450 H4000 安全ガード付き	2.0	か所			
	バルコニー 手摺	アルミ製 H1100	23.0	m			
	テラスデッキ 手摺	アルミ製 H1100	12.6	m			
	スロープ 手摺	ステンレス製 H750 φ38	8.0	m			
	玄関階段 手摺	ステンレス製 2段 H850 φ38 t2.0	1.2	m			
	屋外鉄骨階段 手摺	H1110 FB-9×38	17.4	m			
	屋上通路 手摺	H1110 FB-9×38	14.8	m			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋上通路 手摺門扉	W600×H1110 鍵付き	1.0	か所			
排水溝蓋	スチール製 570×440 溶融亜鉛めっき	1.0	か所			
排水目皿	ステンレス製 φ120	1.0	か所			
小計						
(内部)						
ホール 鋼製床組	H170 支持脚:101-L型 @900×900 大引鋼:50×50×1.6t @900 根太鋼:29×35×64×1.2t @300	331	m <sup>2</sup>			
ステージ・控室1,2 鋼製床組	H870 支持脚:301型 @1200×900 大引鋼:50×50×2.3t @900 根太鋼:29×35×64×1.2t @300	54.4	m <sup>2</sup>			
床下点検口	ステンレス製 600×600	9.0	か所			
床見切り	ステンレス製 t2.0 曲げ加工 アンカー@300	10.2	m			
床見切り	ステンレス製 FB-4×20	8.8	m			
軽量鉄骨壁下地	65型 下地張りあり	481	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65型 下地張りなし	643	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地開口部補強		1	式			別紙明細-16
軽量鉄骨壁下地	100型 下地張りなし	277	m <sup>2</sup>			





名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13.	左官						
	(外部)						
	床コンクリート直均し	直均し仕上げ 金ごて	16.2	m <sup>2</sup>			
	床コンクリート直均し	直均し仕上げ 木ごて	4.8	m <sup>2</sup>			
	床コンクリート直均し	防水下地	545	m <sup>2</sup>			
	床モルタル塗り	t50 タイル下地	38.3	m <sup>2</sup>			
	床モルタル塗り	t50 靴拭きマット下地	1.0	か所			
	床モルタル塗り	t50 刷毛引き仕上	22.7	m <sup>2</sup>			
	階段モルタル塗り	t50 タイル下地	1.6	m <sup>2</sup>			
	スロープモルタル塗り	t50 刷毛引き仕上	8.4	m <sup>2</sup>			
	排水溝防水モルタル塗り	金ごて押え	0.3	m <sup>2</sup>			
	柱モルタル塗り	タイル下地	15.1	m <sup>2</sup>			
	外壁 複層塗材E	コンクリート面 凹凸状 下地調整C-1共	1637	m <sup>2</sup>			
	軒裏 複層塗材E	コンクリート面 凹凸状 下地調整C-1共	138	m <sup>2</sup>			
	外壁 複層塗材E	コンクリート面 凹凸状 トップコートのみ	4.1	m <sup>2</sup>			
	壁浸透性吸水防止剤	RC面	5.7	m <sup>2</sup>			
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	348	m			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計						
(内部)						
床コンクリート直均し	直均し仕上げ	291	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し	薄張物下地	446	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し	汚垂タイル下地	4.1	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し	鋼製床組下地	385	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し	塗装下地	34.4	m <sup>2</sup>			
床モルタル塗り	薄張物下地	6.0	m <sup>2</sup>			
床モルタル塗り	t50 タイル下地	10.6	m <sup>2</sup>			
床モルタル塗り	t30 フローリング下地	52.1	m <sup>2</sup>			
階段モルタル塗り	薄張物下地	18.9	m <sup>2</sup>			
建具周囲モルタル充填	内部建具	37.2	m			
小計						
計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
14.	建具						
	(アルミ製建具)						
	AW-01 ランマ外倒し窓付き連窓FIX・引違い窓	11660×1780	1.0	か所			
	AW-02 ランマ外倒し窓付き連窓FIX・引違い窓	7740×2680	1.0	か所			
	AW-03 ランマ外倒し窓付き引違い窓	1700×2680	1.0	か所			
	AW-04 ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	3470×1780	1.0	か所			
	AW-05 ランマ付き引違い窓	1500×2680	1.0	か所			
	AW-06 ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	3070×2530	1.0	か所			
	AW-08 ランマ内倒し窓付きFIX窓	600×1160	2.0	か所			
	AW-09 引違い窓	1300×1200	2.0	か所			
	AW-10 ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	3470×1780	1.0	か所			
	AW-11 ランマ付き連窓FIX・引違い窓	4400×1780	1.0	か所			
	AW-12 引違い窓	1700×1200	1.0	か所			
	AW-13 ランマ付き片開き・引違い窓	6110×2680	1.0	か所			
	AW-14 ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	3470×1780	2.0	か所			
	AW-15 内倒し窓	800×460	1.0	か所			
	AW-16 ランマ外倒し窓付き連窓FIX窓	3470×2680	1.0	か所			

名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW-17	ランマ付き連窓FIX窓	3070×2680	1.0	か所			
AW-18	引違い窓	1700×1200	1.0	か所			
AW-19	ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	2870×1780	2.0	か所			
AW-20	ランマ外倒し窓付き連窓片開き・FIX・引違い窓	4340×2380	1.0	か所			
AW-21	ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	4340×1780	1.0	か所			
AW-22	ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	2870×1780	4.0	か所			
AD-01	片開き戸	800×2100	1.0	か所			
AD-02	ランマ外倒し窓付き片開き戸	800×2680	1.0	か所			
	小計						
	(鋼製建具)						
SD-01	両引き分け戸	1500×2100	1.0	か所			
SD-02	両開き戸	1500×2100	1.0	か所			
SD-03	両開き戸	1500×2100	4.0	か所			
SD-04	両開き戸	1600×2100	2.0	か所			
SD-05	片開き戸	800×2100	1.0	か所			
SD-09	両開き戸	1500×2100	1.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SD-11 両開き戸	1860×2100	1.0	か所			
SD-12 両開き戸	1200×2100	1.0	か所			
小計						
(軽量鋼製建具)						
LSD-01 片引きハガキ枠戸	900×2100	2.0	か所			
LSD-02 片引きハガキ枠戸	900×2100	4.0	か所			
LSD-03 片引きハガキ枠戸	900×2000	6.0	か所			
LSD-04 片開き戸	650×2000	2.0	か所			
LSD-05 片開き戸	800×2000	1.0	か所			
LSD-06 親子開き戸	1200×2100	1.0	か所			
LSD-07 片開き戸	600×2000	1.0	か所			
LSD-08 片引きハガキ枠戸	900×2100	1.0	か所			
小計						
(ステンレス製建具)						
STD-01 ランマ付きFIX袖窓引分け自動ドア	5000×2660	1.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
STD-02 FIX袖窓引分け自動ドア	1800×2100	1.0	か所			
小計						
(木製建具)						
WD-01 片引き框戸	900×2000	1.0	か所			
WD-02 片開き戸	800×2000	1.0	か所			
WD-03 両開き戸	1600×2000	1.0	か所			
WD-04 両引き分け戸	1500×2100	4.0	か所			
WD-05 障子窓	3070×2530	1.0	か所			
小計						
(パーテーション)						
AP-01 パーテーション	4000×2660	1.0	か所			
小計						
(スライディングウォール)						
SLW-01 スライディングウォール	7265×2700	1.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計						
(三方枠)						
SF-01 三方枠	2220×2100	1.0	か所			
小計						
(トイレブース)						
TB-01 トイレブース	3375×2000	1.0	か所			
TB-02 トイレブース	8515×2000	1.0	か所			
TB-03 トイレブース	5160×2000	1.0	か所			
TB-04 トイレブース	8148×2000	1.0	か所			
PT-01 トイレ隔て板	800×2000	3.0	か所			
PT-02 トイレ隔て板	600×2000	1.0	か所			
小計						
(その他)						
衝突防止金物	SUS製 鏡面仕上げ φ30	78.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	小計					
	計					



名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
16.	塗装						
	(外部)						
	SOP塗装	鉄骨面 工程B種 塗料1種 錆止工程A 塗料A	23.4	m <sup>2</sup>			
	SOP塗装	鋼製建具面 B種 錆止A種、素地ごしらえC種	39.8	m <sup>2</sup>			
	小計						
	(内部)						
	SOP塗装	鋼製建具面 B種 錆止A種、素地ごしらえC種	139	m <sup>2</sup>			
	SOP塗装	鉄部 B種 錆止A種、素地ごしらえC種	331	m <sup>2</sup>			
	SOP塗装(糸幅300mm以下)	鉄部 1級 錆止B種、素地ごしらえB種	721	m			
	SOP塗装	木部 B種 素地ごしらえA種	75.3	m <sup>2</sup>			
	SOP塗装(糸幅300mm以下)	木部 B種 素地ごしらえA種	8.8	m			
	EP-G塗装	RC面 B種 素地ごしらえB種	102	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗装	RC面 見上げ B種 素地ごしらえB種	0.6	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗装	ボード面 B種 素地ごしらえB種	588	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗装	ボード面 見上げ B種 素地ごしらえB種	32.7	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗装	木部 B種 素地ごしらえA種	57.3	m <sup>2</sup>			



名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
17.	内外装						
	ビニル床シート	FS t2.0 無地 熱溶接工法	400	m <sup>2</sup>			
	ビニル床シート	FS t2.0 防汚	66.4	m <sup>2</sup>			
	スポーツ用長尺弾性塩ビシート	t6.5	385	m <sup>2</sup>			
	床タイルカーペット	t6.5 ルーフパイル	34.4	m <sup>2</sup>			
	床フローリング	t15 複合フローリングC種	52.1	m <sup>2</sup>			
	視覚障害者誘導シート	樹脂製 300角	2.2	m <sup>2</sup>			
	視覚障害者注意喚起シート	樹脂製 300角	2.3	m <sup>2</sup>			
	畳敷き	D種 KT-III 中京間	16.0	枚			
	ビニル幅木	H60	254	m			
	ビニル幅木	H100	202	m			
	階段ささら ビニル幅木	H60	15.4	m			
	壁石膏ボード張り	t12.5 LGS下地 継目処理共	1198	m <sup>2</sup>			
	壁石膏ボード張り	t12.5 RC下地 GL工法 継目処理共	182	m <sup>2</sup>			
	壁シリング石膏ボード張り	t12.5 LGS下地 継目処理共	323	m <sup>2</sup>			
	壁シリング石膏ボード張り	t12.5 RC下地 GL工法 継目処理共	17.6	m <sup>2</sup>			
	壁化粧ケイカル板張り	t6.0 ボード面	215	m <sup>2</sup>			

名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	壁押入ボード張り	t12.5 LGS面	13.4	m <sup>2</sup>			
	マグネット壁	t3	43.7	m <sup>2</sup>			
	壁ビニルクロス	ボード面	522	m <sup>2</sup>			
	壁グラスウール充填	t50 24k/m3	334	m <sup>2</sup>			
	壁ポリスチレンフォーム板打込み	t50	42.1	m <sup>2</sup>			
	壁硬質ウレタンフォーム吹付	t50 A種1H	1229	m <sup>2</sup>			
	天井石膏ボード張り	t9.5 突付け	71.2	m <sup>2</sup>			
	下り壁石膏ボード張り	t9.5 LGS面 継目処理共	11.4	m <sup>2</sup>			
	下り壁石膏ボード張り	t12.5 LGS面 継目処理共	3.7	m <sup>2</sup>			
	天井不燃積層石膏ボード張り	t9.5 トラバーチン	232	m <sup>2</sup>			
	天井ロックウール化粧吸音板	t9.0 下地GB-Rt9.5共 フラットタイプ	257	m <sup>2</sup>			
	天井ロックウール化粧吸音板	t9.0 下地GB-NCt9.5共 フラットタイプ	18.7	m <sup>2</sup>			
	天井押入ボード張り	t12.5 LGS面	2.1	m <sup>2</sup>			
	天井ビニルクロス	ボード面	38.5	m <sup>2</sup>			
	天井廻縁	塩ビ 突付け	521	m			
	天井ポリスチレンフォーム板打込み	t50	222	m <sup>2</sup>			
	天井硬質ウレタンフォーム吹付	t50 A種1H	451	m <sup>2</sup>			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井不燃コート吹付	t12	5.4	㎡			
下り壁見切縁	塩ビ	64.6	m			
壁出隅コーナー材	塩ビ製 R15	745	m			
ホール・ステージ際廻り エキスパンションゴム	W20	102	m			
計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
18.	エント及びその他						
	(外部)						
	靴拭きマット	ステンレス製 600×1800	1.0	か所			
	階段ノスリップ	ステンレス製 W40 ゴム無し 埋込工法	4.3	m			
	郵便受	アルミ製 W384×D149×H1400 ポール建てタイプ	1.0	か所			
	施設名称サイン	ステンレス製 W3480×H400 BOX文字 HL仕上	1.0	か所			
	定礎板	600×450×t30 御影石(黒)本磨き 文字:彫り込み加工	1.0	か所			
	小計						
	(内部)						
	OAフロア	H100	34.4	m <sup>2</sup>			
	掲示板	アルミ製 W1800×H900 ピン・マグネット併用型	1.0	か所			
	風除室 ホワイトボード	アルミ製 1200×1200	1.0	か所			
	事務室 ホワイトボード	アルミ製 1800×1200	1.0	か所			
	風除室 ホワイトボード	アルミ製 3200×1200	1.0	か所			
	調理室 ホワイトボード	アルミ製 3600×1200	3.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調理室 調理台	W2100×D900	4.0	か所			
調理室 調理台	W2300×D900	1.0	か所			
調理室 流し台	ステンレス製 W4210×D650×H850	1.0	か所			
事務室・給湯室 スチール棚	W900×D400×H900 棚板2枚	8.0	か所			
事務室・給湯室 スチール棚	W900×D400×H2100 棚板5枚	3.0	か所			
器具倉庫 スチール棚	W1800×D721×H2400 棚板2枚	3.0	か所			
調理室 調理棚	W7585×D400×H2000	1.0	か所			
調理室 収納棚	W2200×D450×H800	1.0	か所			
ロビー兼図書室 本棚	W5996×D400×H1900	1.0	か所			
事務室 カウンター	W1500×D600×H700	1.0	か所			
事務室 カウンター	W2000×D600×H1000	1.0	か所			
洗面台	W1590×D500×H800	1.0	か所			
洗面台	W1600×D500×H800	1.0	か所			
洗面台	W2400×D500×H800	2.0	か所			
給湯室 ミニキッチン	W1200×D500×H1900 吊戸棚 W583×D260×H600共	1.0	か所			
ロビー兼図書室 ミニキッチン	W1500×D500×H1900	1.0	か所			
風除室 下足入れ	木製 W1340×D360×H2040 24人用	1.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
風除室 下足入れ	木製 W1385×D460×H2040 9人用	1.0	か所			
風除室 下足入れ	木製 W1580×D360×H2040 30人用	1.0	か所			
風除室 下足入れ	木製 W2515×D360×H1100 27人用	1.0	か所			
和室 靴入れ	W1210×D330×H900	1.0	か所			
ロビー兼図書室 電話台	W800×D450×H800	1.0	か所			
風除室 ベンチ	木製 W440×D440×H400 手摺共	1.0	か所			
鍵返却BOX	W390×D300×H650	1.0	か所			
用具掛け	630×150 フック共	2.0	か所			
用具掛け	720×150 フック共	2.0	か所			
化粧鏡	380×1190	1.0	か所			
化粧鏡	480×1100	1.0	か所			
化粧鏡	1600×900	2.0	か所			
化粧鏡	2390×900	2.0	か所			
姿見鏡	W4120×H2000	2.0	か所			
天井吊り鏡	1500×800 支持金物共	1.0	か所			
階段ノズリップ°	ステンレス製 W40 ビニルタイヤ入り	44.2	m			
カーテンレール	ステンレス製 シングル	24.6	m			



名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ベビーチェア	W300×D250×H950	4.0	か所			
	ベビーシート	W780×D560×H950	2.0	か所			
	介助ベッド	1497×600	2.0	か所			
	防球ネット	W12500×H7700	1.0	か所			
	バレーボールコート(6人制)	18000×9000 実線ライン幅50mm	1.0	面			
	バレーボール用基礎	床金具φ76用 板張床用(バレーボール用)	2.0	か所			
	バドミントンコート	6100×13400 実線ライン幅40mm	1.0	面			
	バドミントン用基礎	床金具φ40用 板張床用(バドミントン用)	2.0	か所			
	アルミ製移動階段	FTR-1000型	2.0	か所			
	ステージ下 収納台車	FT-1T-4000L	3.0	か所			
	ステージ下 万能台車	FT-1TV-4000L	4.0	か所			
	室名サイン	平付型 200×200×t25 唐松集成材t25 UC塗装仕上	12.0	か所			
	トイレサイン	150×150×t5 アクリル板	5.0	か所			
	防煙垂れ壁	H500 網入り磨き板ガラス アルミ枠	4.6	m			
	EV荷重フック	15kN	2.0	か所			
	水抜きパイプ ピット	塩ビ φ100半割	4.7	m			
	水抜きパイプ	塩ビ φ100	4.7	m			







名 称		規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	別紙明細-1						
	遣方						
	遣方	一般	916	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-2						
	墨出し						
	墨出し	一般	1107	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-3						
	養生						
	養生	一般	1107	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-4						
	整理清掃後片付け						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	整理清掃後片付け	一般	1107	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-5						
	外部足場						
	くさび緊結式足場 従来型	手すり先行型 安全手すり含む W900 高さ10m未満 設置6ヶ月	1560	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-6						
	地足場	設置2ヶ月					
	地足場	設置2ヶ月	916	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-7						
	内部躯体足場						
	内部躯体足場	鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下	584	m <sup>2</sup>			
	計						

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細-8						
	内部仕上足場						
	内部仕上足場	脚立足場	584	m <sup>2</sup>			
	内部仕上足場	枠組棚足場 階高7.4m以上9.1m未満 設置2ヶ月	395	m <sup>2</sup>			
	内部階段仕上足場		18.2	m <sup>2</sup>			
	シャフト内足場		5.4	m <sup>2</sup>			
	計						
	別紙明細-9						
	災害防止						
	養生シート張り	設置6ヶ月	1560	m <sup>2</sup>			
	小幡ネット	設置6ヶ月	306	m			
	計						
	別紙明細-10						
	仮設材運搬						



名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細-12						
	コンクリート打設手間						
	コンクリート打設手間	捨てコンクリート	53.3	m3			
	コンクリート打設手間	土間コンクリート ヒット	25.3	m3			
	コンクリート打設手間	土間コンクリート	85.5	m3			
	コンクリート打設手間	基礎部	380	m3			
	コンクリート打設手間	1F躯体	413	m3			
	コンクリート打設手間	2F躯体	309	m3			
	計						
	別紙明細-13						
	ポンプ圧送						
	コンクリートポンプ圧送	50m3/回未満	25.3	m3			
	コンクリートポンプ圧送	50m3～100m3/回未満	139	m3			
	コンクリートポンプ圧送	100m3/回以上	1103	m3			
	コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m3/回未満	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m3～100m3/回未満	1.0	回			

名 称		規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	コンクリートポンプ圧送 基本料金	100m3/回以上	6.0	回			
	計						
	別紙明細-14						
	構造体強度補正						
	構造体強度補正	Fc=27→30 +3N/kmm2 S=18	309	m3			
	構造体強度補正	Fc=27→33 +6N/kmm2 S=15	491	m3			
	構造体強度補正	Fc=27→33 +6N/kmm2 S=18	413	m3			
	計						
	別紙明細-15						
	軽量鉄骨天井下地開口部補強						
	軽量鉄骨天井下地開口部補強	25型 450角	1.0	か所			
	計						
	別紙明細-16						
	軽量鉄骨壁下地開口部補強						

名 称	規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W600×H2000 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W650×H2000 三方	2.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W800×H2000 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W800×H2100 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W800×H2680 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W900×H2000 三方	6.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W900×H2100 三方	7.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1200×H2100 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1500×H500 三方	3.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1500×H2100 三方	6.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1500×H2680 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1600×H2100 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1700×H2680 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1800×H2100 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1860×H2100 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W2220×H2100 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W3070×H2680 三方	1.0	か所			

名 称	規 格・寸 法	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W3470×H2680 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W4000×H2660 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W5000×H2660 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W6110×H2680 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W7740×H2680 三方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W600×H1160 四方	2.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W800×H460 四方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W900×H2000 四方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1300×H1200 四方	2.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1600×H2000 四方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W1700×H1200 四方	2.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W2870×H1780 四方	6.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W3070×H2530 四方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W3470×H1780 四方	4.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W4340×H1780 四方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W4340×H2380 四方	1.0	か所			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	65型 W4400×H1780 四方	1.0	か所			



(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備						
1	電灯設備		1.0	式			
2	動力設備		1.0	式			
3	受変電設備		1.0	式			
4	発電機設備		1.0	式			
5	情報設備		1.0	式			
6	電話設備		1.0	式			
7	情報表示設備		1.0	式			
8	映像・音響設備		1.0	式			
9	拡声設備		1.0	式			
10	誘導支援設備		1.0	式			
11	テレビ共同受信設備		1.0	式			
12	防犯・入退出管理設備		1.0	式			
13	火災報知設備		1.0	式			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備						
1	電灯設備	(1). 電灯幹線	1.0	式			
		(2). 電灯分岐	1.0	式			
		(3). コンセント分岐	1.0	式			
		(4). 非常照明・誘導灯	1.0	式			
		(5). 舞台照明	1.0	式			
	計						
2	動力設備	(1). 動力幹線	1.0	式			
		(2). 動力分岐	1.0	式			
	計						
3	受変電設備		1.0	式			
	計						
4	発電機設備	(1). 太陽光発電	1.0	式			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	情報設備		1.0	式			
	計						
6	電話設備		1.0	式			
	計						
7	情報表示設備	(1).時刻表示	1.0	式			
	計						
8	映像・音響設備	(1).ホール	1.0	式			
		(2).研修室	1.0	式			
	計						
9	拡声設備	(1).非常放送	1.0	式			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	誘導支援設備	(1).インターホン	1.0	式			
		(2).トイレ呼出等	1.0	式			
	計						
11	テレビ共同受信設備		1.0	式			
	計						
12	防犯・入退出管理設備	(1).機械警備	1.0	式			
	計						
13	火災報知設備	(1).自動火災報知	1.0	式			
		(2).ガス漏れ火災警報	1.0	式			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	電気設備						
1	電灯設備						
	(1). 電灯幹線						
	電線	EM-IE5.5° 管内	150.0	m			
	電線	EM-IE14° 管内	123.0	m			
	ケーブル	EM-CE8° -3C 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-CET14° 管内	50.0	m			
	ケーブル	EM-CET14° 天井内	17.0	m			
	ケーブル	EM-CET14° ラック	17.0	m			
	ケーブル	EM-CET38° 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-CET38° 天井内	15.0	m			
	ケーブル	EM-CET38° ラック	8.0	m			
	ケーブル	EM-CET100° 管内	7.0	m			
	ケーブル	EM-CET100° 天井内	21.0	m			
	ケーブル	EM-CET100° ラック	8.0	m			
	電線管	G54 露出	2.0	m			
	電線管	E39 露出	3.0	m			
	電線管	E51 露出	39.0	m			
	ケーブルラック	ZM-200A	6.0	m			

## (科目別内訳)

名	称	規 格	・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ケーブルラック	ZM-300A		1.0	m			
	ケーブルラック	Z35-200A		4.0	m			
	ケーブルラック	Z35-300A		8.0	m			
	ケーブルラックカバー	Z35-200A-WP		4.0	m			
	ケーブルラックカバー	Z35-300A-WP		8.0	m			
	ケーブルラック セパレータ	A型		32.0	m			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	300×300×300		4.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	400×400×300		1.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	500×500×300		1.0	個			
	プルボックス用接地端子	ET		6.0	個			
	アウトレットボックス	中深		1.0	個			
	防火区画貫通処理	W=200(壁)		1.0	箇所			
	防火区画貫通処理	W=300(壁)		1.0	箇所			
	計							

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2). 電灯分岐						
	電線	EM-IE2.0 管内	376.0	m			
	電線	EM-IE2.0 PF管内	781.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C 天井内	48.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C PF管内	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	22.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 天井内	535.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	53.0	m			
	電線管	E19 露出	85.0	m			
	電線管	E25 露出	10.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	210.0	m			
	電線管	PF22 隠蔽	77.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	8.0	m			
	2種金属線ぴ	A型	18.0	m			
	電灯分電盤	1L-1	1.0	面			
	電灯分電盤	1L-G	1.0	面			
	電灯分電盤	1L-2	1.0	面			
	電灯分電盤	2L-1	1.0	面			
	電灯分電盤	レイトゲン・心電図盤	1.0	面			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	照明器具	C1 LSS9-4-30LN	7.0	個			
	照明器具	C1G LSS9-4-30LN+カバー	2.0	個			
	照明器具	C2 LSS9-4-37LN	1.0	個			
	照明器具	C3 LSS9-4-48LN	49.0	個			
	照明器具	C4 LSS9-4-65LN	9.0	個			
	照明器具	E1 LSS1-4-37LN・金属線び取付	6.0	個			
	照明器具	F1 LSS1-4-65LN+片反射笠	6.0	個			
	照明器具	J1 LRS1-05LN	23.0	個			
	照明器具	J2 LRS1-08LN	15.0	個			
	照明器具	J3 LRS1-13LN	34.0	個			
	照明器具	K1 LRS1RP-08LN	5.0	個			
	照明器具	L1G LSR2W-200LZ+カバー	18.0	個			
	照明器具	M1 棚下灯	2.0	個			
	照明器具	N1 軒下用シーリングライト	2.0	個			
	照明器具	O1 ブラケットライト・センサー付	8.0	個			
	照明器具	P1 ブラケットライト	3.0	個			
	自動点滅器	3A	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax1 金属プレート	7.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax2 金属プレート	1.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	埋込スイッチ	1P15Ax3 金属プレート	5.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax4 金属プレート	1.0	個			
	埋込スイッチ	3W15Ax2 金属プレート	4.0	個			
	埋込スイッチ	3W15Ax3 金属プレート	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax1+1P15Ax1L付 金属プレート	10.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax2+1P15Ax1L付 金属プレート	2.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax1L付 カートカバー	1.0	個			
	埋込スイッチ	3W15Ax3 カートカバー	1.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	150×150×150	3.0	個			
	プルボックス用接地端子	ET	3.0	個			
	2種金属線ひ	ジャンクションボックス	2.0	個			
	露出丸形ボックス	1方出 E25	3.0	個			
	露出丸形ボックス	2方出 E25	15.0	個			
	アウトレットボックス	中深	87.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(3).コンセント分岐						
	電線	EM-IE2.0 管内	29.0	m			
	電線	EM-IE2.0 PF管内	651.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C 天井内	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C PF管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	111.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 天井内	758.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	212.0	m			
	ケーブル	EM-CEE1.25-4C 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-CEE1.25-4C PF管内	4.0	m			
	電線管	E19 露出	10.0	m			
	電線管	E25 露出	8.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	155.0	m			
	電線管	PF22 隠蔽	276.0	m			
	埋込コンセント	2P15Ax2 接地極付 金属プレート	35.0	個			
	埋込コンセント	2P15Ax1 接地端子付 金属プレート	30.0	個			
	埋込コンセント	2P15Ax2 接地極・接地端子付 金属プレート	12.0	個			
	埋込コンセント	2P15Ax1 接地極付・抜止 金属プレート	1.0	個			
	露出コンセント	2P15Ax2 接地極・接地端子付	5.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	防水コンセント	2P15Ax2 抜止・接地極・端子付	4.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+TEL 金属プレート	1.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+LAN 金属プレート	2.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+TV 金属プレート	1.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+TEL+TV 金属プレート	1.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+TEL+LAN 金属プレート	1.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+LAN+TV 金属プレート	1.0	個			
	複合コンセント	2P15Ax2 接地極付+TEL+LAN+TV 金属プレート	3.0	個			
	ハネシヨイントボックス	3心・ハネシ2分岐・送り付 20A 125V	4.0	個			
	ハネシOAタップ	4コ 抜止めアース付 電源表示ランプ付 3mケーブル付	8.0	個			
	埋込スイッチ	1P15Ax2 カートカバー	1.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	150×150×150	1.0	個			
	プルボックス用接地端子	ET	1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	131.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(4). 非常照明・誘導灯						
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C 天井内	40.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C PF管内	63.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	36.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 天井内	88.0	m			
	電線管	E25 露出	34.0	m			
	電線管	PF22 隠蔽	63.0	m			
	避難口誘導灯器具	X1 SH1-FRF20P-C	3.0	個			
	避難口誘導灯器具	X2G SH1-FBF20-BL+カバー	2.0	個			
	通路誘導灯器具	Y1 ST1-FRF23P-C	2.0	個			
	非常照明器具	Z1 K1-LRS11-1	1.0	個			
	非常照明器具	Z2 K1-LRS11-2	7.0	個			
	非常照明器具	Z3 K1-LRS11-3	5.0	個			
	非常照明器具	Z4G 高天井用+カバー	3.0	個			
	露出丸形ボックス	1方出 E25	1.0	個			
	露出丸形ボックス	2方出 E25	2.0	個			
	アウトレットボックス	中深	3.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規	格	・	寸	法	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	計														

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(5). 舞台照明						
	ケーブル	EM-CE5.5° -3C 管内	51.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -3C PF内	26.0	m			
	ケーブル	DMX 管内(労務費)	17.0	m			
	ケーブル	DMX PF管内(労務費)	4.0	m			
	電線管	E25 露出	4.0	m			
	電線管	E31 露出	26.0	m			
	電線管	E51 露出	17.0	m			
	電線管	PF22 隠蔽	35.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	5.0	m			
	ホーダーライト	コンセントボックス、延長ケーブル他含む	1.0	個			
	ピンスポットライト	コンセントボックス、延長ケーブル他含む	2.0	個			
	調光制御盤		1.0	面			
	調光操作卓		1.0	個			
	調光操作卓用コネクタ		1.0	個			
	運搬搬入費		1.0	式			
	据付工事費		1.0	式			
	試験調整費		1.0	式			
	消耗雑材費		1.0	式			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	プルボックス	150×150×150	2.0	個			
	プルボックス	300×300×200	1.0	個			
	プルボックス用接地端子	ET	3.0	個			
	アウトレットボックス	中深	3.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	動力設備						
	電線	EM-IE5.5° 管内	136.0	m			
	電線	EM-IE22° 管内	25.0	m			
	ケーブル	EM-CE8° -3C 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-CE8° -3C 天井内	18.0	m			
	ケーブル	EM-CE8° -3C ラック	8.0	m			
	ケーブル	EM-CET22° 管内	27.0	m			
	ケーブル	EM-CET22° ラック	11.0	m			
	ケーブル	EM-CET100° 管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-CET100° ラック	10.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C 管内	23.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C 天井内	42.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C ラック	16.0	m			
	電線管	G22 露出	9.0	m			
	電線管	G54 露出	2.0	m			
	電線管	E51 露出	24.0	m			
	ケーブルラック	Z35-200A	2.0	m			
	ケーブルラック	Z35-300A	15.0	m			
	ケーブルラックカバー	Z35-200A-WP	2.0	m			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ケーブルラックカバー	Z35-300A-WP	15.0	m			
	ケーブルラックセパレータ	A型	7.0	m			
	プルボックス	300×300×300	3.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	300×300×300	1.0	個			
	プルボックス用接地端子	ET	4.0	個			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2). 動力分岐						
	ケーブル	EM-CE3.5° -4C 管内	19.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5° -4C 天井内	28.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5° -4C ラック	44.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -4C 管内	31.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -4C ラック	13.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C 管内	5.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C 天井内	24.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C ラック	11.0	m			
	ケーブル	EM-CEE2° -2C PF管内	1.0	m			
	電線管	G28 露出	4.0	m			
	電線管	G36 露出	22.0	m			
	電線管	PF22 隠蔽	1.0	m			
	手元開閉器盤	1P-1	1.0	面			
	動力盤	RP-1	1.0	面			
	総合監視盤	警報盤組込	1.0	面			
	押し釦スイッチ	三相用	1.0	個			
	電動機結線	直入始動方式	14.0	箇所			
	ブリカチューブ(機器接続)	F2-30(ビニル被覆・防水)	7.0	箇所			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ブリカチューブ(機器接続)	F2-38(ビニル被覆・防水)	7.0	箇所			
	プルボックス	150×150×150	1.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	150×150×150	1.0	個			
	プルボックス用接地端子	ET	2.0	個			
	アウトレットボックス	中深	2.0	個			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	受変電設備						
	電線	EM-IE5.5° 管内	61.0	m			
	電線	EM-IE14° 管内	39.0	m			
	電線	EM-IE38° 管内	30.0	m			
	電線	EM-IE100° 管内	30.0	m			
	ケーブル	6kV EM-CET38° 管内	11.0	m			
	ケーブル	6kV EM-CET38° ラック	9.0	m			
	電線管	G54 露出	10.0	m			
	電線管	G82 露出	7.0	m			
	メッセンジャーワイヤー	22°	9.0	m			
	高圧受電盤		1.0	面			
	高圧コンデンサ盤		1.0	面			
	低圧電灯盤		1.0	面			
	低圧動力盤		1.0	面			
	搬入費		1.0	式			
	変圧器(ダイヤル温度計・耐震ゴム付)	1Φ75kVA 油入(警報接点付)	1.0	個			
	変圧器(ダイヤル温度計・耐震ゴム付)	3Φ75kVA 油入(警報接点付)	1.0	個			
	高圧進相コンデンサ	3Φ16.0kvar L=6% DCR内蔵	1.0	個			
	直列リアクトル	3Φ0.96kvar L=6%	1.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単	価	金	額	備	考
	消火器収納箱	1本用	1.0	個						
	消火器	ABC10号	1.0	個						
	高压ケーブル端末処理	6kV EM-CET38° 屋内	1.0	個						
	高压ケーブル端末処理	6kV EM-CET38° 屋外	1.0	個						
	高压引込用負荷開閉器(PAS)	300A VT・LA内臓方向性ステンレス製	1.0	個						
	PAS取付架台		1.0	個						
	接地極	10φ x1000L	2.0	個						
	接地極	14φ x1500L	1.0	個						
	接地極	14φ x1500L-2連	1.0	個						
	接地極	14φ x1500L-3連	2.0	個						
	接地埋設標		1.0	枚						
	計									

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発電機設備						
	(1). 太陽光発電						
	電線	EM-IE2.6 管内	59.0	m			
	ケーブル	EM-CET14° 管内	11.0	m			
	ケーブル	EM-CET14° 天井内	37.0	m			
	ケーブル	EM-CET14° ラック	25.0	m			
	ケーブル	EM-CET22° 管内	11.0	m			
	ケーブル	EM-CET22° 天井内	35.0	m			
	ケーブル	EM-CET22° ラック	25.0	m			
	ケーブル	EM-CEE1.25-1P 管内	6.0	m			
	ケーブル	EM-CEE1.25-1P ラック	17.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-1P 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-1P 天井内	8.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-2P 管内	22.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-2P 天井内	71.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-2P ラック	50.0	m			
	ケーブル	DVI-HDMI 管内(労務費)	2.0	m			
	ケーブル	DVI-HDMI 天井内(労務費)	7.0	m			
	ケーブル	DVI-HDMI PF管内(労務費)	1.0	m			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ケーブル	専用ケーブル3.5-1C 管内(労務費)	124.0	m			
	ケーブル	専用ケーブル3.5-1C ラック(労務費)	160.0	m			
	電線管	G22 露出塗装	17.0	m			
	電線管	G36 露出塗装	7.0	m			
	電線管	G54 露出塗装	4.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	1.0	m			
	太陽電池モジュール		30.0	枚			
	太陽電池モジュール用延長ケーブル		6.0	式			
	太陽電池架台		1.0	式			
	蓄電システム単相連系		2.0	式			
	蓄電システム専用収納箱		1.0	式			
	系統・自立切替器		1.0	式			
	小型計測装置	1L-G盤内	1.0	式			
	表示装置		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	据付工事費		1.0	式			
	試験調整費		1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	1.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格	・	寸 法	数 量	単 位	単	価	金	額	備	考
計												

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	情報設備						
	ケーブル	EM-UTP0.5-4P(Cat6) 管内	18.0	m			
	ケーブル	EM-UTP0.5-4P(Cat6) 天井内	102.0	m			
	ケーブル	EM-UTP0.5-4P(Cat6) PF管内	69.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	62.0	m			
	情報用アウトレット	MJ8P8Cx1 0A用	5.0	個			
	情報用アウトレット	MJ8P8Cx1 金属プレート	4.0	個			
	スイッチングHUB	8ポート	1.0	個			
	スイッチングHUB	16ポート	1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	4.0	個			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	電話設備						
	電線	EM-IE14° 管内	11.0	m			
	ケーブル	EM-EBT0.4-2P 管内	17.0	m			
	ケーブル	EM-EBT0.4-2P 天井内	64.0	m			
	ケーブル	EM-EBT0.4-2P PF管内	14.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.65-10P 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.65-10P 天井内	6.0	m			
	導入線	1.2mm 管内	50.0	m			
	導入線	1.2mm PF管内	63.0	m			
	電線管	G36 露出	50.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	14.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	63.0	m			
	電線管	VE16 隠蔽	8.0	m			
	弱電端子盤	1T-1	1.0	面			
	弱電端子盤	2T-1	1.0	面			
	端子接続	10P	1.0	面			
	端子接続	30P	1.0	個			
	電話モジュージャック	MJ6P4Cx1 0A用	5.0	個			
	接地極	14φ x1500L	1.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	プルボックス	300×300×200	1.0	個			
	プルボックス(溶融亜鉛メッキ仕上・防水型)	300×300×200	3.0	個			
	アウトレットボックス	中深	2.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	情報表示設備						
	(1).時刻表示						
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C PF管内	13.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	13.0	m			
	電気電波時計	700φ 壁掛型 ガート付	1.0	個			
	パルス発信器		1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	2.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	映像・音響設備						
	(1). ホール						
	ケーブル	EM-S-5C-FB 管内	63.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB PF管内	24.0	m			
	ケーブル	EM-UTP0.4-4P(Cat6) PF管内	11.0	m			
	ケーブル	4S8-EM 管内	19.0	m			
	ケーブル	4S8-EM PF管内	79.0	m			
	ケーブル	4E6AT-EM PF管内	23.0	m			
	電線管	E19 露出塗装	82.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	101.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	12.0	m			
	AVワゴン	ホール用	1.0	式			
	ワゴン接続盤		1.0	個			
	ビデオプロジェクター	移動式	1.0	個			
	メインスピーカー	ガード付	2.0	個			
	サブスピーカー	ガード付	2.0	個			
	ハネ返りスピーカー		2.0	個			
	ワイヤレスアンテナ		2.0	個			
	ワイヤレスアンテナ	ガード付	2.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	マイクコンセント	壁埋込型	2.0	個			
	マイクコンセント	床埋込型	1.0	個			
	VPコンセント	床埋込型	1.0	個			
	デジタルワイヤレスマイク	ハンド型	1.0	個			
	デジタルワイヤレスマイク	タイピン型	1.0	個			
	チャージャー		1.0	個			
	ダイナミックマイク		2.0	個			
	卓上型マイクスタンド		1.0	個			
	床上型マイクスタンド		1.0	個			
	運搬搬入費		1.0	式			
	据付工事費		1.0	式			
	試験調整費		1.0	式			
	消耗雑材費		1.0	式			
	プルボックス	300×300×200	1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	14.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2). 研修室						
	ケーブル	EM-S-5C-FB 管内	26.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB PF管内	10.0	m			
	ケーブル	EM-UTP0. 4-4P (Cat6) 天井内	6.0	m			
	ケーブル	EM-UTP0. 4-4P (Cat6) PF管内	2.0	m			
	ケーブル	4S8-EM 天井内	47.0	m			
	ケーブル	4S8-EM PF管内	11.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	22.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	14.0	m			
	AVワゴン	研修室用	1.0	式			
	ワゴン接続プレートA		1.0	個			
	ワゴン接続プレートB		1.0	個			
	ビデオプロジェクター	天吊型	1.0	個			
	シーリングスピーカー		4.0	個			
	ワイヤレスアンテナ	天井埋込型	4.0	個			
	デジタルワイヤレスマイク	ハンド型	1.0	個			
	デジタルワイヤレスマイク	タビオン型	1.0	個			
	チャージャー		1.0	個			
	卓上型マイクスタンド		1.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	床上型マイクスタンド		1.0	個			
	運搬搬入費		1.0	式			
	据付工事費		1.0	式			
	試験調整費		1.0	式			
	消耗雑材費		1.0	式			
	アウトレットボックス	中深	3.0	個			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	拡声設備						
	(1). 非常放送						
	ケーブル	EM-HP1.2-2C 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-2C 天井内	42.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-2C PF管内	15.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-3C 管内	12.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-3C 天井内	207.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-3C PF管内	43.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-10P 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-10P 天井内	5.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-20P 管内	3.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	59.0	m			
	非常業務放送装置	総合監視盤組込	1.0	式			
	天井埋込スピーカー	ATT無 SC4Hi-V0-M	7.0	個			
	天井埋込スピーカー	ATT付 SC4Hi-V3-M	9.0	個			
	防滴型天井スピーカー	ATT無	1.0	個			
	壁掛型スピーカー	ATT無 SW1Hi-V0	1.0	個			
	壁掛型スピーカー	ATT付 SW1Hi-V3	1.0	個			
	ホーンスピーカー	SH-5	2.0	個			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	アッテネータ	V-1S	9.0	個			
	電源遮断ユニット		2.0	個			
	端子接続	10P	1.0	箇所			
	端子接続	20P	1.0	箇所			
	アウトレットボックス	中深	15.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	誘導支援設備						
	(1). インターホン						
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 天井内	6.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C PF管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-5P 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-FCPEE0.9-5P 天井内	3.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	1.0	m			
	インターホン	モニター付親機	1.0	個			
	ドアホン	カメラ付玄関子機	1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	3.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2).トイレ呼出等						
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 管内	6.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 天井内	25.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C PF管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-3C 天井内	8.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-3C PF管内	11.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	14.0	m			
	トイレ呼出表示盤	3窓用	1.0	個			
	表示灯		2.0	個			
	復旧ボタン		2.0	個			
	呼出ボタン	紐付	4.0	個			
	アウトレットボックス	中深	9.0	個			
	計						

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	テレビ共同受信設備						
	ケーブル	EM-S-5C-FB 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB 天井内	49.0	m			
	ケーブル	EM-S-5C-FB PF管内	32.0	m			
	ケーブル	EM-S-7C-FB 管内	13.0	m			
	ケーブル	EM-S-7C-FB 天井内	28.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	32.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	1.0	m			
	テレビアンテナ	AU-2 20L	1.0	基			
	パラボラアンテナ	750φ	1.0	基			
	アンテナマスト	4m 壁面取付	1.0	本			
	増幅器	SH・UF-1	1.0	個			
	分配器	4分配 SH-D4	2.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格	・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	機械警備設備							
	(1). 機械警備							
	導入線	1.2mm	PF管内	63.0	m			
	電線管	PF22	隠蔽	179.0	m			
	アウトレットボックス	中深		21.0	個			
	計							

## (科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	火災報知設備						
	(1). 自動火災報知						
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 天井内	84.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C PF管内	10.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-4C 天井内	33.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-4C PF管内	72.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-2C 管内	6.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-2C 天井内	43.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-2C PF管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-5P 天井内	16.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-5P PF管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-10P 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-10P 天井内	10.0	m			
	ケーブル	EM-HP1.2-10P PF管内	4.0	m			
	電線管	E19 露出	70.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	42.0	m			
	電線管	PF22 隠蔽	4.0	m			
	電線管	PF28 隠蔽	4.0	m			
	受信機	P型1級 10回線 壁掛型 自動試験対応型	1.0	面			

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	火災通報装置		1.0	個			
	火災通報専用電話機		1.0	個			
	機器収容箱	P1 埋込型	2.0	個			
	機器収容箱	P1 埋込型 が-ト`付	1.0	個			
	光電式ｽｯﾄ型感知器	2種 露出型	10.0	個			
	光電式ｽｯﾄ型感知器	2種 点検口付	1.0	個			
	差動式ｽｯﾄ型感知器	2種 露出型	19.0	個			
	定温式ｽｯﾄ型感知器	1種 防水型	11.0	個			
	定温式ｽｯﾄ型感知器	特種	1.0	個			
	感知器が-ト`		9.0	個			
	立会検査費	P型1級	1.0	式			
	ﾌﾞﾙｯｸｽ	150×150×150	1.0	個			
	露出丸形ﾌﾞｯｸｽ	1方出 E25	2.0	個			
	露出丸形ﾌﾞｯｸｽ	2方出 E25	6.0	個			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾌﾞｯｸｽ	中深	9.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(2).ガス漏れ火災警報						
	ケーブル	EM-AE0.9-2C 天井内	7.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-2C PF管内	1.0	m			
	電線管	PF16 隠蔽	1.0	m			
	ガス漏れ検知器	AC100V 天井取付型 移報端子付	1.0	個			
	アウトレットボックス	中深	1.0	個			
	計						

(科目別内訳)

名	称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ	機械設備						
A	公民館						
1	空気調和設備工事		1	式			
2	換気設備工事		1	式			
3	衛生器具設備工事		1	式			
4	給水設備工事		1	式			
5	排水設備工事		1	式			
6	給湯設備工事		1	式			
7	消火設備工事		1	式			
8	ガス設備工事		1	式			
	合 計						
B	屋外						
1	給水設備工事		1	式			
2	排水設備工事		1	式			
	合 計						
	総 合 計						

(中科目別内訳)

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ 機械設備						
A 公民館						
1 空気調和設備工事	(1)機器設備	1	式			
	(2)配管設備	1	式			
小 計						
2 換気設備工事	(1)機器設備	1	式			
	(2)ダクト設備	1	式			
	(3)総合調整	1	式			
小 計						
3 衛生器具設備工事		1	式			
小 計						
4 給水設備工事		1	式			
小 計						
5 排水設備工事		1	式			
小 計						
6 給湯設備工事		1	式			
小 計						
7 消火設備工事		1	式			
小 計						
8 ガス設備工事		1	式			

(中科目別内訳)

名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小 計						
B 屋外						
1 給水設備工事		1	式			
小 計						
2 排水設備工事		1	式			
小 計						

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 1 公民館 空気調和設備工事						
(1)機器設備						
EHP-1空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 へア 冷房10.0kW 暖房11.2kW	1	組			
EHP-2空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 へア 冷房10.0kW 暖房11.2kW	1	組			
EHP-3空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 ツイン 冷房20.0kW 暖房22.4kW	1	組			
EHP-4空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 へア 冷房10.0kW 暖房11.2kW	1	組			
EHP-5空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形2方向 へア 冷房5.0kW 暖房5.6kW	1	組			
EHP-6空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天吊形 ツイン 冷房20.0kW 暖房22.4kW	4	組			
EHP-7空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 ツイン 冷房20.0kW 暖房22.4kW	1	組			
EHP-8空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 ツイン 冷房20.0kW 暖房22.4kW	1	組			
EHP-9空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形4方向 へア 冷房12.5kW 暖房14.0kW	1	組			
EHP-10空冷ヒートポンプ式 パッケージ形空調機	天井セット形2方向 へア 冷房5.0kW 暖房5.6kW	1	組			
EPH-1 電気式パネルヒーター	自然対流式 屋内壁掛 750w	4	組			
EPH-2 電気式パネルヒーター	輻射式遠赤外線 天吊 250w	2	組			
TO-1 オイルタンク	鋼板製タンクキャビン(灯油用) 200L	1	組			
空調室内機用防球ガード	W1800*D800*H293	8	組			
文字標識等		1	式			別紙明細-01
搬入据付費		1	式			別紙明細-02
1. (1)計						

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)配管設備						
冷媒用断熱材被覆銅管	6.35外径(1/4B) 液管 厚10mm以上	49.8	m			
冷媒用断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) 液管 厚10mm以上	231.1	m			
冷媒用断熱材被覆銅管	12.7外径(1/2B) 液管 厚10mm以上	30.3	m			
冷媒用断熱材被覆銅管	12.7外径(1/2B) ガス管 厚20mm以上	49.8	m			
冷媒用断熱材被覆銅管	15.88 外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	151.5	m			
冷媒用断熱材被覆銅管	25.4 外径(1B) ガス管 厚20mm以上	109	m			
冷媒用断熱材被覆銅管用保温外装	SUS	88	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋内一般 25A	102.4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋内一般 30A	8.4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋内一般 40A	21.2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	屋外架空 40A	2.5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	地中配管 40A	21.4	m			
保温		1	式			別紙明細-03
スリーブ		1	式			
冷媒管 防火区画貫通処理		1	か所			
空調用ドレトラップ	25A	6	個			
空調用ドレトラップ	40A	2	個			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
浸透樹	200φ 樹脂蓋, 砕石共	7	個			
土工事		1	式			別紙明細-04
空調リモコン収納盤	W600*H600*D140	1	面			
架台類		1	式			別紙明細-05
配線工事		1	式			別紙明細-06
1. (2)計						
2 換気設備工事						
(1)機器設備						
HEU-1 全熱交換換気ユニット	400m3/h 天井セット形 100Pa	4	台			
HEU-2 全熱交換換気ユニット	480m3/h 天井埋込形 110Pa	1	台			
HEU-3 全熱交換換気ユニット	450m3/h 天井セット形 100Pa	1	台			
HEU-4 全熱交換換気ユニット	550m3/h 天井埋込形 120Pa	4	台			
FV-1 天井埋込換気扇	100m3/h 台所用途 50Pa	2	台			
FV-2 パイプファン	60m3/h 低騒音形 15Pa	1	台			
FV-3 天井埋込換気扇	150m3/h 低騒音形 70Pa	1	台			
FV-4 天井埋込換気扇	500m3/h 低騒音形 100Pa	2	台			
FV-5 天井埋込換気扇	250m3/h 低騒音形 60Pa	1	台			
FV-6 有圧扇	2000m3/h 低騒音形 400φ 40Pa	4	台			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
FV-7 天井埋込換気扇	400m3/h 低騒音形 100Pa	2	台			
FV-8 天井埋込換気扇	200m3/h 低騒音形 70Pa	2	台			
FV-9 天井埋込換気扇	300m3/h 低騒音形 70Pa	1	台			
FE-1 消音BOX付送風機	1500m3/h 厨房用 #1 3/4 220Pa	1	台			
搬入据付費		1	式			別紙明細-07
2. (1)計						
(2)ダクト設備						
長方形ダクト(低圧ダクト)	0.5mm アングル工法 シール有	18.3	m <sup>2</sup>			
スパイラルダクト(低圧ダクト)	100mm インサート有	13.2	m			
スパイラルダクト(低圧ダクト)	150mm インサート有	44	m			
スパイラルダクト(低圧ダクト)	200mm インサート有	152.8	m			
スパイラルダクト(低圧ダクト)	250mm インサート有	6.1	m			
ボックス類		1	式			別紙明細-08
防火ダンパー	150φ	1	組			
防火ダンパー	200φ	11	組			
防火ダンパー	400*250	2	組			
制気口	VHS-300*300	8	個			
制気口	GVS-250*250	5	個			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
制気口	GVS-300*300	5	個			
防虫網	400*400	2	個			
深型フット	100φ SUS	2	個			
深型フット	150φ SUS	7	個			
深型フット	200φ SUS	22	個			
たわみ接手	#1 3/4	1	組			
保温		1	式			別紙明細-09
スリーブ		1	式			
配線工事		1	式			別紙明細-10
2. (2)計						
(3)総合調整						
総合調整費		1	式			別紙明細-11
2. (3)計						
3 衛生器具設備工事						
洋風腰掛便器	CFS498BMC	12	組			
洋風腰掛便器	CFS498BMC 背もたれ	1	組			
壁掛小便器	UFS900JCS	8	組			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アンダーカウンター式洗面器	、 、	5	組			
アンダーカウンター式洗面器	L530 手動水栓, 温水器	5	組			
壁掛ハイバック洗面器	LSH125CAR 自動水栓, 温水器	1	組			
バリアフリートイレパック	UADAK01R1A1AND1W	1	組			
オストメイトパック	UAS81LSB1NW	1	組			
オストメイトパック	UAS81RSB1NW	1	組			
掃除用流し	SK22A	2	組			
シングル混合水栓	TKS05313J	3	組			
洗濯機用水栓	TW11R	1	個			
洗濯機パン	PWP740N2W	2	個			
横水栓	T200CSUN13	1	個			
横水栓	T28AKUH13	2	個			
器具取付費		1	式			別紙明細-12
3. 計						
4 給水設備工事						
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	20A 屋内一般	38.2	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	25A 屋内一般	16.9	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	30A 屋内一般	10.2	m			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	40A 屋内一般	9.1	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	20A 機械室・便所	59.7	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	25A 機械室・便所	16.9	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	30A 機械室・便所	3.2	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	40A 機械室・便所	17.8	m			
仕切弁	20A 10k(ねじ)	2	個			
仕切弁	25A 10k(ねじ)	1	個			
仕切弁	40A 10k(ねじ)	1	個			
自動エア抜弁	20A	1	個			
フレキシブルチューブ	25A	1	個			
凍結防止ヒーター	25A 2.0m	1	本			
保温		1	式			別紙明細-13
スリーブ		1	式			
文字標識等		1	式			別紙明細-14
形鋼振れ止め		1	式			
4. 計						
5 排水設備工事						
PD-1排水用水中ポンプ	強化樹脂製雑排水用 40φ*100L/min*6m*2台*0.25kw	1	組			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
据付費		1	式			別紙明細-15
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	50A 屋内一般	39	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	75A 屋内一般	11	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	100A 屋内一般	75.5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	40A 機械室・便所	19.3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	50A 機械室・便所	19.5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	65A 機械室・便所	6.7	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	75A 機械室・便所	52.6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	100A 機械室・便所	49.6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	40A 屋外架空	13.3	m			
排水・耐衝撃性ポリ塩化ビニル管(HIVP)	50A 屋内一般	2	m			
排水・耐衝撃性ポリ塩化ビニル管(HIVP)	75A 屋内一般	3.7	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	50A 屋内一般	23.4	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	75A 屋内一般	15.7	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	40A 機械室・便所	14.8	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	50A 機械室・便所	26.6	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	75A 機械室・便所	15.7	m			
床上掃除口(非防水形)	50A COA	5	個			
床上掃除口(非防水形)	65A COA	2	個			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床上掃除口(非防水形)	80A COA	7	個			
床上掃除口(非防水形)	100A COA	12	個			
床下掃除口	80A CO	2	個			
床下掃除口	100A CO	1	個			
満水試験継手	100A 掃除口兼用	3	個			
排水通気金物	50A 埋込型 アルミ製	1	個			
排水通気金物	65A 埋込型 アルミ製	1	個			
排水通気金物	80A 埋込型 アルミ製	2	個			
仕切弁	50A 5k(ねじ)	2	個			
逆止弁	50A 10k(ねじ)	2	個			
フレキシブルジョイント	50A 合成ゴム製	2	個			
ブラケット	L-50 ステンレス	12	個			
保温		1	式			別紙明細-16
スリーブ		1	式			
5. 計						
6 給湯設備工事						
GHW-1潜熱回収型給湯器	屋外型(壁掛)50号	1	台			
据付費		1	式			別紙明細-17

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EHW-2電気温水器(自動水栓付属)	3L 壁掛 取付のみ	14	台			
給湯・一般配管用ステンレス鋼管	20SU 屋内一般	19.5	m			
給湯・一般配管用ステンレス鋼管	25SU 屋内一般	21.8	m			
仕切弁	25A 10k(ねじ)	1	個			
フレキシブルチューブ	25A	1	個			
凍結防止ヒーター	25A 2.0m	1	本			
保温		1	式			別紙明細-18
スリーブ		1	式			
配線工事		1	式			別紙明細-19
6. 計						
7 消火設備工事						
FE-1消火器	蓄圧式ABC粉末10型	9	台			
消火器収納箱	1本用	2	個			
7. 計						
8 ガス設備工事						
ポリエチレン被覆鋼管	50A 地中配管	4.5	m			
配管用炭素鋼管(白)	20A 屋内一般	17	m			
配管用炭素鋼管(白)	25A 屋内一般	10.4	m			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管用炭素鋼鋼管(白)	32A 屋内一般	3.3	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)	50A 屋内一般	12.1	m			
集合装置	50kg*4本用	1	組			
ガスソック(給湯機用)	20A サービソック	1	個			
ガスソック(メーター用)	50A サービソック	1	個			
ヒューズソック(調理台用)	2口	5	個			
ガスフレキ(給湯機用)	20A	1	個			
塗装		1	式			別紙明細-20
スリーブ		1	式			
土工事		1	式			別紙明細-21
8. 計						
B 屋外						
1 給水設備工事						
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	20A 地中配管	18.8	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	30A 地中配管	16.2	m			
給水用耐震型高性能ポリエチレン管	40A 地中配管	40.9	m			
不凍水抜栓(0.6m)	20A 10k(ねじ)	5	個			
不凍水抜栓(0.6m)	32A 10k(ねじ)	1	個			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不凍水抜栓(0.6m)	40A 10k(ねじ)	1	個			
弁柵	VC-3(700H)	7	個			
量水器柵	MC-3(750H)	1	個			
量水器取付	40A	1	個			
不凍水栓柱	13mm 1.2m	3	個			
既存管分岐接続	40A 樹脂管 保温無し	1	カ所			
土工事		1	式			別紙明細-22
埋設標識テープ	150幅	76	m			
埋設標	杭	12	ヶ所			
1. 計						
2 排水設備工事						
GT-1グリーンストラップ	FRP製地中埋設パイプ 流入式 109L/min	1	基			
据付費	コンクリート含む	1	式			別紙明細-23
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	50A 地中配管	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	100A 地中配管	44.6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	150A 地中配管	21.1	m			
小口径柵	柵径200φ 管径100φ 90L ~500H 樹脂製ふた	1	組			
小口径柵	柵径200φ 管径100φ 90L 501~800H 樹脂製ふた	3	組			

(細目別内訳)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小口径柵	柵径200φ 管径100φ 90Y 501~800H 樹脂製ふた	3	組			
小口径柵	柵径200φ 管径100φ 90L 801~1200H 樹脂製ふた	1	組			
小口径柵	柵径200φ 管径150φ 90Y 501~800H 樹脂製ふた	6	組			
小口径柵	柵径200φ 管径150φ 90L 801~1200H 樹脂製ふた	1	組			
既成柵	柵寸法450x450 ~300H SUSグレーチングふた	1	組			
既設道路汚水柵改修	600φ インバート改修	1	ヶ所			
床排水トラップ	50A T5A	1	個			
排水トラップ	50A 洗濯機用	1	個			
土工事		1	式			別紙明細-24
2. 計						

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
文字標識等		1	式			別紙明細-01
文字標識等	空調 建物延べ面積1000㎡	1	式			
計						
搬入据付費		1	式			別紙明細-02
EHP-1, EHP-2, EHP-4 パッケージ形空調機据付	屋内機 天井吊 10.0kW以下	3	台			
EHP-1, EHP-2, EHP-4 パッケージ形空調機据付	屋外機 床置き 10.0kW以下	3	台			
EHP-3 パッケージ形空調機据付	屋内機 天井吊 10.0kW以下	1	台			
EHP-3 パッケージ形空調機据付	屋外機 床置き 20.0kW以下	1	台			
EHP-5, EHP-10 パッケージ形空調機据付	屋内機 天井吊 5.0kW以下	2	台			
EHP-5, EHP-10 パッケージ形空調機据付	屋外機 床置き 5.0kW以下	2	台			
EHP-6 パッケージ形空調機据付	屋内機 天井吊 10.0kW以下	8	台			
EHP-6 パッケージ形空調機据付	屋外機 床置き 20.0kW以下	4	台			
EHP-7, EHP-8 パッケージ形空調機据付	屋内機 天井吊 10.0kW以下	4	台			
EHP-7, EHP-8 パッケージ形空調機据付	屋外機 床置き 20.0kW以下	2	台			
EHP-9 パッケージ形空調機据付	屋内機 天井吊 12.5kW以下	1	台			
EHP-9 パッケージ形空調機据付	屋外機 床置き 12.5kW以下	1	台			
EPH-1 電気式ハネヒーター	壁掛 750W	4	台			
EPH-2 電気式ハネヒーター	天吊 250W	2	台			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
T0-1 オイルタンク	鋼板製 200L	1	組			
空調室内機用防球ネット	W1800*D800*H293	8	組			
搬入費	200kg/m3未満 複数搬入	0.848	t			
計						
保温		1	式			別紙明細-03
排水管保温	25A 天井内, 標仕保温材	102.4	m			
排水管保温	32A 天井内, 標仕保温材	8.4	m			
排水管保温	40A 天井内, 標仕保温材	21.2	m			
計						
土工事		1	式			別紙明細-04
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3	3.81	m3			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
山砂		2.03	m3			
埋戻し	機械 バックホウ 0.13m3	1.78	m3			
建設発生土処理		2.03	m3			
計						
架台類		1	式			別紙明細-05
配管支持部	W150*L400	37	個			
基礎部	100角	74	個			
計						
配線工事		1	式			別紙明細-06
EM-EEF2.0-3C	共巻配線	311	m			
EM-CEES1.25-2C	天井	62	m			
EM-CEES1.25-2C	管内	146	m			
EM-CEES1.25-2C	PF内	20	m			
ねじ無し電線管	E19 露出	146	m			
合成樹脂製可とう電線管(PF単層)	16mm 隠ぺい・埋込配管	20	m			
金属製アウトレットボックス	中四角 深型	7	個			
金属製スイッチボックス	1個用	13	個			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計						
搬入据付費		1	式			別紙明細-07
全熱交換ユニット据付	天井カセット形 500m <sup>3</sup> /h以下	5	台			
全熱交換ユニット据付	天井吊形 500m <sup>3</sup> /h以下	5	台			
天井埋込換気扇据付	天井埋込形	11	台			
圧力扇据付	400φ以下	4	台			
消音ボックス付送風機据付	天井吊	1	台			
計						
ボックス類		1	式			別紙明細-08
ボックス	0.5mm(～450mm)	14.7	m <sup>2</sup>			
消音内貼り	保温厚25mm 標仕保温材	10.4	m <sup>2</sup>			
RW50mm外貼り	天井内	3.1	m <sup>2</sup>			
計						
保温		1	式			別紙明細-09
長方形ダクト外保温	厚25 屋内隠ぺい 標仕保温材	6.2	m <sup>2</sup>			
長方形ダクト外保温	天井内	8.1	m <sup>2</sup>			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ス°イラダ°外保温(32k)	150mm 厚25 屋内隠ぺい グラスウール	7.4	m			
ス°イラダ°外保温(32k)	200mm 厚25 屋内隠ぺい グラスウール	132.4	m			
ス°イラダ°外保温(32k)	250mm 厚25 屋内隠ぺい グラスウール	6.1	m			
ス°イラダ°外保温	100mm 厚50 屋内露出 ロックウール	4.1	m <sup>2</sup>			
ス°イラダ°外保温	200mm 厚50 屋内露出 ロックウール	10.8	m <sup>2</sup>			
計						
配線工事		1	式			別紙明細-10
EM-CEES1.25-2C	天井	75	m			
EM-CEES1.25-2C	PF内	13.5	m			
合成樹脂製可とう電線管(PF単層)	16mm 隠ぺい・埋込配管	13.5	m			
金属製スイッチボックス	1個用	9	個			
計						

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
総合調整費		1	式			別紙明細-11
総合調整費	長方形タテ	18.3	m <sup>2</sup>			
総合調整費	パイプタテ	203.9	m			
計						
器具取付費		1	式			別紙明細-12
大便器取付	タンク式 洗浄便座	13	組			
温水洗浄便座取付		13	組			
小便器取付	壁掛 大型 感知式	8	組			
洗面器取付	壁掛け 混合水栓	11	組			
バリアフリートイレハック取付		1	組			
オストメイトハック取付	水石けん入れ及び紙巻器を含む	2	組			
掃除用流し取付	壁掛け	2	組			
シングル混合水栓	13A	3	個			
洗濯機用水栓取付	13A	1	個			
洗濯機ハン取付		1	個			
横水栓取付	13A	3	個			
計						

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温		1	式			別紙明細-13
給水管保温	20A 屋内露出, 標仕保温材	8.8	m			
給水管保温	20A 天井内, 標仕保温材	45.9	m			
給水管保温	25A 天井内, 標仕保温材	9.9	m			
給水管保温	32A 天井内, 標仕保温材	6.4	m			
給水管保温	40A 天井内, 標仕保温材	13	m			
給水管保温	20A 暗渠内, 標仕保温材	34.4	m			
給水管保温	25A 暗渠内, 標仕保温材	17.8	m			
給水管保温	32A 暗渠内, 標仕保温材	7	m			
給水管保温	40A 暗渠内, 標仕保温材	13.9	m			
給水管保温	25A 屋外露出, SUS, 標仕保温材	1.1	m			
計						
文字標識等		1	式			別紙明細-14
文字標識等	衛生 建物延べ面積1000㎡	1	式			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計						
据付費		1	式			別紙明細-15
排水ポンプ据付	水中 0.4kW以下	2	台			
計						
保温		1	式			別紙明細-16
排水管保温	40A 天井内, 標仕保温材	8	m			
排水管保温	50A 天井内, 標仕保温材	11.7	m			
排水管保温	65A 天井内, 標仕保温材	1.2	m			
排水管保温	75A 天井内, 標仕保温材	24.7	m			
排水管保温	100A 天井内, 標仕保温材	30.6	m			
計						

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
据付費		1	式			別紙明細-17
瞬間湯沸器 据付	給湯専用壁掛 50号	1	台			
計						
保温		1	式			別紙明細-18
給湯管保温	20A 屋内露出, 標仕保温材	6.4	m			
給湯管保温	20A 暗渠内, 標仕保温材	13.1	m			
給湯管保温	25A 暗渠内, 標仕保温材	15.3	m			
給湯管保温	25A 天井内, 標仕保温材	5.4	m			
給湯管保温	25A 屋外露出, SUS, 標仕保温材	1.1	m			
計						
配線工事		1	式			別紙明細-19
リモコンケーブル	天井 労務のみ	7.5	m			
リモコンケーブル	PF内 労務のみ	1.5	m			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂製可とう電線管(PF単層)	16mm 隠ぺい・埋込配管	1.5	m			
入線カバー		1	個			
金属製スイッチボックス	1個用	1	個			
計						
塗装		1	式			別紙明細-20
ガス管塗装	20A	13	m			
ガス管塗装	25A	3.9	m			
ガス管塗装	32A	3.3	m			
ガス管塗装	50A	12.1	m			
計						
土工事		1	式			別紙明細-21
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3	0.28	m3			
山砂		0.15	m3			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し	機械 バックホウ 0.13m <sup>3</sup>	0.13	m <sup>3</sup>			
建設発生土処理		0.15	m <sup>3</sup>			
計						
土工事		1	式			別紙明細-22
根切り(機械)	バックホウ 0.13m <sup>3</sup>	28.5	m <sup>3</sup>			
山砂		9.5	m <sup>3</sup>			
埋戻し	機械 バックホウ 0.13m <sup>3</sup>	19	m <sup>3</sup>			
建設発生土処理		9.5	m <sup>3</sup>			
計						
据付費		1	式			別紙明細-23
ガラス阻集器取付		1	組			
根切り(機械)	バックホウ 0.13m <sup>3</sup>	5.12	m <sup>3</sup>			
切込み碎石		0.2	m <sup>3</sup>			
捨てコンクリート		0.08	m <sup>3</sup>			
型枠	桧類用	10.52	m <sup>2</sup>			
鉄筋	D10	39.5192	kg			
コンクリート	生コン人力打設	1.31	m <sup>3</sup>			

(別紙明細)

名 称	規 格 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し	機械 バックホウ 0.13m3	2.96	m3			
建設発生土処理		2.1	m3			
計						
土工事		1	式			別紙明細-24
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3	19.5	m3			
山砂		7.9	m3			
埋戻し	機械 バックホウ 0.13m3	11.6	m3			
建設発生土処理		7.9	m3			
計						

# 館腰公民館改築工事

## 仕 様 書

宮 城 県 名 取 市

1. 工事名称

館腰公民館改築工事

2. 工事場所

名取市植松三丁目 135-1 他

3. 工事範囲

本工事の施工範囲は、本仕様書及び設計図に示す範囲とする。

4. 別途工事等

館腰児童館前線改良工事（敷地西側道路工事、令和7年8月工事完了予定）

館腰児童館前線改良工事（その2）（敷地北側道路工事、令和7年度工事開始予定）

機械警備工事（配管工事までは館腰公民館改築工事に含む）

外構工事（駐輪場、カーポートは外構工事に含む）

5. 特記事項

児童センター及び小学校近接地での工事であり、児童の通学時及び近隣への安全対策については万全を期すこと。

また、「4」記載の別途工事との安全対策等を含めた調整を図ること。

6. 工事期間

契約締結の翌日から令和8年12月15日までとする。

（本工事は議会の承認後の契約となる。）

また、準備作業の期間を考慮し積算工期は令和7年9月1日～令和8年10月31日までとする。（現場作業は館腰公民館外構工事が別途実施される予定であるため令和8年10月31日までに完了し、その後の期間は機器試運転、書類作成、各種検査等の期間とする。）

その他、諸検査の合格をもって期日まで引き渡しのこと。

7. 入札日時・入札条件・契約条件・設計図書等に関する質問等

『入札通知』による

8. 設計図書

本仕様書 1式

設計図 1部（表紙共 全161枚）

現場説明事項書 1式

9. 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は、原則として次のとおりとする。

- 第1位 現場説明事項書及び質問回答書
- 第2位 仕様書
- 第3位 設計図
- 第4位 共通仕様書（当該年度における最新版）  
国土交通大臣官房官庁営繕部監修「標準仕様書」、「工事監理指針」
- 第5位 公共規格及びこれに準ずる規格

#### 10. 工事計画及び施工図

施工計画書・各種工事の施工図は事前に提出し、監督員の承認を得た後に施工すること。

#### 11. 官公署への手続き

工事の施工に必要な官公署・その他への手続き・届出等は速やかに行い、それに伴う費用は全て請負者の負担とする。ただし、EV工事の確認申請等の手数料は名取市負担とする。

#### 12. 設計変更等

仕様書・設計図等に食い違いがあった場合は、速やかに監督員に報告、協議すること。

#### 13. 工事の安全対策

- (1) 工事にあたり第三者・隣地並びに公道等に損傷を与えぬよう、十分配慮すること。  
重機搬入搬出や産業廃棄物搬出経路を定め、工事安全に十分努めること。万一損傷を与えた場合は、請負者の責任と金銭負担において速やかに補償、または原形復旧すること。
- (2) 請負業者は労災・火災その他の賠償責任保険等に加入することとし、写しを市へ提出すること。
- (3) 工事の安全対策、車両進入等他にも十分注意すること。

#### 14. 現場組織の編成

- (1) 請負者は本工事を行うにあたって、十分な現場組織を編成しなければならない。
- (2) 工事の現場代理人及び主任技術者は、関係法令に定める資格を有し、現場代理人の経験があるものとする。

#### 15. 検査

- (1) 完成検査は、自社において所定の検査を完了した後、名取市の完成検査を受けるものとする。
- (2) 工事完了後に、名取市が何らかの理由で検査・試験・測定等を行う場合、会計検査を受ける場合等において請負業者はこれに協力すること。

## 16. 工事現場における注意事項

### (1) 事前調査

工事に先立ち施設等の事前調査を密に行い、後日問題が生じないように配慮すること。

また、配管配線等の位置、構造、老朽度を調査確認し支障のあるものについては、保安・維持に努めること。なお、これに要する費用は本工事に含むものとする。

### (2) 苦情等の処理

工事による苦情・建物の損傷・その他の問題が生じた場合は、全て請負者の責任において補償すること。

### (3) 労働者への安全対策

労働者への労働災害防止と安全衛生を図るため、始業時に朝礼、ミーティング等を行い、労働者の安全への意識向上に努めること。

### (4) 下請業者

本工事請負者は、「宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱」に基づき、適正に手続きすること。

### (5) 請負者および下請負人等が、暴力団および暴力団関係者による不当介入を受けたときは速やかに市に報告、警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行うこと。

## 17. 積算基準及び設計単価は、令和7年3月の基準及び単価としている。

## 18. 週休2日モデル工事の適用の有無

本工事は、週休2日モデル工事の「対象外」である。

実施困難工事の理由：工程上制約があり、モデル工事に適さないと判断されるため  
(公民館開館予定時期令和9年3月)

## 19. その他

(1) 本工事は、令和7年度及び令和8年度（債務負担行為）の2か年に渡る工事となるため、契約時に協議により別紙（債務負担行為に係る契約の特則）を設定する。

(2) 出来高部分払については1回とする。（債務負担行為による年度末払いを除く。）

(3) 木材については可能な限り県内産木材を使用すること。

(債務負担行為に係る契約の特則)

債務負担行為に係る契約において、各会計年度における請負代金の支払の限度額（以下「支払限度額」という。）は、次のとおりとする。

年度 円

年度 円

年度 円

ただし、発注者は、予算上の都合その他の必要があるときは、支払限度額を変更することができる。

## 案内図



建設予定地（地番）：名取市植松三丁目135-1他

# 館腰公民館改築工事

図面 番号	図面名称 (建築図)	図面 番号	図面名称 (建築図)	図面 番号	図面名称 (建築図)	図面 番号	図面名称 (構造図)
A-01	表紙・図面リスト	A-20	展開図(1)	A-50	家具図(4)	S-01	特記仕様書(1)
T-01	特記仕様書(1)	A-21	展開図(2)	A-51	家具図(5)	S-02	特記仕様書(2)
T-02	特記仕様書(2)	A-22	展開図(3)	A-52	部分詳細図(1)	S-03	配筋標準図(1)
T-03	特記仕様書(3)	A-23	展開図(4)	A-53	部分詳細図(2)	S-04	配筋標準図(2)
T-04	特記仕様書(4)	A-24	展開図(5)	A-54	部分詳細図(3)	S-05	配筋標準図(3)
T-05	特記仕様書(5)	A-25	展開図(6)	A-55	部分詳細図(4)	S-06	配筋標準図(4)
T-06	特記仕様書(6)	A-26	展開図(7)	A-56	部分詳細図(5)	S-07	鉄骨標準図(1)
T-07	特記仕様書(7)	A-27	展開図(8)	A-57	部分詳細図(6)	S-08	鉄骨標準図(2)
T-08	特記仕様書(8)	A-28	展開図(9)	A-58	部分詳細図(7)	S-09	スクリーパイルEAZET(イーゼット)設計施工標準図
T-09	特記仕様書(9)	A-29	天井伏図	A-59	部分詳細図(8)	S-10	地盤調査資料(1)
T-10	特記仕様書(10)	A-30	1階建具キープラン図・法規チェック図	A-60	部分詳細図(9)	S-11	地盤調査資料(2)
T-11	工事区分表	A-31	2階建具キープラン図・法規チェック図	A-61	部分詳細図(10)	S-12	杭・基礎伏図、ピット伏図、1階伏図
A-02	敷地面積求積図・面積表	A-32	建具共通事項	A-62	部分詳細図(11)	S-13	基礎リスト、地中梁リスト、束柱リスト
A-03	案内図・配置図	A-33	建具表(1)	A-63	部分詳細図(12)	S-14	2階、R階、鉄骨屋根伏図
A-04	求積図・面積表	A-34	建具表(2)	A-64	仮設計画図・山留計画図	S-15	軸組図(1)
A-05	各室面積表・求積図	A-35	建具表(3)	A-65	位置図	S-16	軸組図(2)
A-06	仕上表	A-36	建具表(4)	A-66	現況図	S-17	柱リスト、柱キープラン、スラブリスト、壁リスト
A-07	ピット・1階・2階平面図・屋根伏せ図	A-37	建具詳細図(1)			S-18	大梁リスト、小梁リスト
A-08	立面図・断面図	A-38	建具詳細図(2)			S-19	雑詳細図
A-09	矩計図(1)	A-39	建具詳細図(3)			S-20	X5通りラーメン図
A-10	矩計図(2)	A-40	建具詳細図(4)			S-21	鉄骨部材リスト、Y4通り鉄骨詳細図
A-11	矩計図(3)	A-41	エレベーター詳細図(1)				
A-12	矩計図(4)	A-42	エレベーター詳細図(2)				
A-13	矩計図(5)	A-43	エレベーター詳細図(3)				
A-14	屋内階段詳細図	A-44	エレベーター詳細図(4)				
A-15	屋外階段詳細図	A-45	エレベーター詳細図(5)				
A-16	1階平面詳細図(1)	A-46	防水設計施工標準図				
A-17	1階平面詳細図(2)	A-47	家具図(1)				
A-18	2階平面詳細図(1)	A-48	家具図(2)				
A-19	2階平面詳細図(2)	A-49	家具図(3)				

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	表紙・図面リスト	縮尺	A1:- A3:-	図面番号	A-01
	業種名称	株式会社 東北線企画	一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	印		

<p align="center"><b>建築工事特記仕様書【令和6年4月版】</b></p> <p>I 工事概要</p> <p>1 工事番号・名称 館護公民館改築工事 2 工事場所 宮城県名取市榎松三丁目135-1、135-2、137-1、143-2、143-3、144-2、151-1、151-3</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域 (○) 内 ( ) 外 用途地域 (第一種住居地域 ) 防火地域等 (・) 防火 (・) 準防火 (・) 指定なし (○) 22条 ( ) その他の地域・地区 ( )</p> <p>4 主要用途 集会場 5 敷地面積 2,857.88㎡ 6 工事の概要 電気工事、機械工事、外構工事</p> <p>7 別途工事 8 その他 9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。 ○ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書</p>	<p>8. 建築材料等</p> <p>材料の品質等 (1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>環境への配慮 (1.4.1) 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。</p> <p>ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9) 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 µg/m3 ・ 0.08ppm) ※ フォルムアルデヒド (濃度指針値 220 µg/m3 ・ 0.05ppm) ※ トルエン (濃度指針値 260 µg/m3 ・ 0.07ppm) ※ エチルベンゼン (濃度指針値 3,800 µg/m3 ・ 0.88ppm) ※ キシレン (濃度指針値 200 µg/m3 ・ 0.05ppm)</p> <p>測定する室等： (事務室、ホール、会議室、研修室 1)</p> <p>採取方法： 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。</p> <p>測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況 (気温・湿度 (室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定箇所については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。</p>	<table border="1"> <tr><td>金属工事</td><td>○内装仕上施工 (鋼製下地工作業) ○建築板金 (内外装板金作業)</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>○バルコニー施工 (金属バルコニー工作業)</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>○サッシ施工 (ビル用サッシ工作業) ○ガラス施工 (ガラス工作業) ○自動ドア施工 (自動ドア工作業)</td></tr> <tr><td>カーテンウォール工事</td><td>○カーテンウォール施工 (金属製カーテンウォール工作業) ○サッシ施工 (ビル用サッシ工作業) ○ガラス施工 (ガラス工作業)</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>○塗装 (建築塗装作業)</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>○内装仕上施工 (○プラスチック系床仕上工作業 ○カーペット系床仕上作業 ○ボード仕上工作業)</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>○表装 (壁装作業)</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>○配管 (建築配管作業)</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>○路面標示施工 (○溶融タイプノドマカ工作業 ・加熱タイプノドマカ工作業)</td></tr> <tr><td>補装工事</td><td>○造園 (造園工作業)</td></tr> </table> <p>⑭ 完成図等 営繕工事完成引渡要領 (令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。 ※ 白焼A4版折製本 (黒表紙金文字入) 1部 ※ 白焼縮小 (A3版) 2つ折製本 1部 ※ 完成図面 JWJ形式又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式 DVD-R等2部</p> <p>⑮ 完成写真 ※ 作成する ・ 作成しない 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本 (電子媒体) とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。</p> <table border="1"> <tr><th>分類</th><th>サイズ</th><th>撮影箇所数</th><th>部数</th><th>提出様式</th></tr> <tr><td>※カラー・白黒</td><td>※L・2L・六切り</td><td>※営繕工事写真撮影要領の完成写真程度・箇所数</td><td>※1部・部</td><td>※工務用アルバムA4版 ポケット式程度 ○フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)</td></tr> </table> <p>アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。</p> <p>⑯ 設備工事との取合い 施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。</p> <p>⑰ 火災保険等 工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで</p> <p>18. 住宅瑕疵担保責任 住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付けあり (新築住宅の場合) ・なし (新築住宅以外の場合)</p>	金属工事	○内装仕上施工 (鋼製下地工作業) ○建築板金 (内外装板金作業)	左官工事	○バルコニー施工 (金属バルコニー工作業)	建具工事	○サッシ施工 (ビル用サッシ工作業) ○ガラス施工 (ガラス工作業) ○自動ドア施工 (自動ドア工作業)	カーテンウォール工事	○カーテンウォール施工 (金属製カーテンウォール工作業) ○サッシ施工 (ビル用サッシ工作業) ○ガラス施工 (ガラス工作業)	塗装工事	○塗装 (建築塗装作業)	内装工事	○内装仕上施工 (○プラスチック系床仕上工作業 ○カーペット系床仕上作業 ○ボード仕上工作業)	排水工事	○表装 (壁装作業)	舗装工事	○配管 (建築配管作業)	舗装工事	○路面標示施工 (○溶融タイプノドマカ工作業 ・加熱タイプノドマカ工作業)	補装工事	○造園 (造園工作業)	分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー・白黒	※L・2L・六切り	※営繕工事写真撮影要領の完成写真程度・箇所数	※1部・部	※工務用アルバムA4版 ポケット式程度 ○フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)	<p>1. 支持地盤 (3.2.1) (4.2.4) (4.3.4) (4.3.5) (4.4.4) (4.5.5) (4.5.6)</p> <p>④ 地業工事 (構造特記による)</p> <p>2. 既製コンクリート杭地業 (4.2.2) (4.3.1) (4.3.3) (4.3.6) (4.3.8)</p> <p>杭の種類 ・ 杭基礎 支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端の位置含む) ・ 図示による</p> <p>・ 直接基礎 支持層の位置及び土質 (基礎底部の位置含む) ・ 図示による</p> <p>・ 地盤の載荷試験 (平板載荷試験) ・ 行う 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による</p> <p>杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分 (種別)、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験杭</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">杭厚 (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (mm)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セット数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 ・ 開放型 ・ 半開放形 ・ 閉そく形</p> <p>工法 ・ セメントミルク工法 ・ 図示による</p> <p>・ 特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で <math>\alpha = 250</math> を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による</p> <p>工法 ・ プレポーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による</p> <p>杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 溶接材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法</p> <p>杭頭の処理等 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による</p> <p>3. 鋼杭地業 (4.2.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.6) (4.3.8)</p> <p>鋼杭の材料 ・ 図示による</p> <p>杭の種類、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験杭</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (mm)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セット数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で <math>\alpha = 250</math> を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による</p> <p>工法 ( ) ・ ( )</p> <p>杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法</p> <p>杭頭の処理等 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による</p>	試験杭	種類	種類	杭径 (mm)	杭厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考							上杭										中杭										下杭										上杭										中杭										下杭										試験杭	種類	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考							上杭										中杭										下杭										上杭										中杭										下杭									
金属工事	○内装仕上施工 (鋼製下地工作業) ○建築板金 (内外装板金作業)																																																																																																																																																																																								
左官工事	○バルコニー施工 (金属バルコニー工作業)																																																																																																																																																																																								
建具工事	○サッシ施工 (ビル用サッシ工作業) ○ガラス施工 (ガラス工作業) ○自動ドア施工 (自動ドア工作業)																																																																																																																																																																																								
カーテンウォール工事	○カーテンウォール施工 (金属製カーテンウォール工作業) ○サッシ施工 (ビル用サッシ工作業) ○ガラス施工 (ガラス工作業)																																																																																																																																																																																								
塗装工事	○塗装 (建築塗装作業)																																																																																																																																																																																								
内装工事	○内装仕上施工 (○プラスチック系床仕上工作業 ○カーペット系床仕上作業 ○ボード仕上工作業)																																																																																																																																																																																								
排水工事	○表装 (壁装作業)																																																																																																																																																																																								
舗装工事	○配管 (建築配管作業)																																																																																																																																																																																								
舗装工事	○路面標示施工 (○溶融タイプノドマカ工作業 ・加熱タイプノドマカ工作業)																																																																																																																																																																																								
補装工事	○造園 (造園工作業)																																																																																																																																																																																								
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																																																																																																																																																					
※カラー・白黒	※L・2L・六切り	※営繕工事写真撮影要領の完成写真程度・箇所数	※1部・部	※工務用アルバムA4版 ポケット式程度 ○フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)																																																																																																																																																																																					
試験杭	種類	種類	杭径 (mm)	杭厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																																																																																
上杭																																																																																																																																																																																									
中杭																																																																																																																																																																																									
下杭																																																																																																																																																																																									
上杭																																																																																																																																																																																									
中杭																																																																																																																																																																																									
下杭																																																																																																																																																																																									
試験杭	種類	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																																																																																
上杭																																																																																																																																																																																									
中杭																																																																																																																																																																																									
下杭																																																																																																																																																																																									
上杭																																																																																																																																																																																									
中杭																																																																																																																																																																																									
下杭																																																																																																																																																																																									
<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下、「標準仕様書」という。) による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下「改修標準仕様書」という。) 「公共建築木造工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下「木造標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」 (以下「解体共通仕様書」という。) による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の ( )、&lt; &gt; 及び [ ] 内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>	<p>10. 特別な材料の工法</p> <p>① 建築基準法による風圧力等の指定 (9.4.4) (10.5.3) (13.2.3、3.3、4.3) (14.7.3) (16.13.2、14.5) (23.5.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用工事</th> <th>建築基準法の指定</th> </tr> <tr> <td>○ 合成高分子系ルーフィングシート工法</td> <td>風速 (V0) ※30</td> </tr> <tr> <td>・ 外壁乾式工法 ・ 長尺金属板葺</td> <td>地表面相区分 ・ II ・ III</td> </tr> <tr> <td>・ 折板葺 ・ 粘土瓦葺</td> <td>多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td>○ アルミニウム笠木</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ オーバーヘッドドア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラスブロック ・ 屋上緑化</td> <td></td> </tr> </table> <p>② 設計G.L. ※ 図示 ・ 現状平均地盤高</p> <p>③ 技能士 (1.5.2) ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種 (技能検定作業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>仮設工事</td><td>○とび (とび作業)</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>○鉄筋施工 (鉄筋組立作業)</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>○型枠施工 (型枠工作業) ○コンクリート圧送施工 (コンクリート圧送工作業)</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>○鉄工 (構造物鉄工作業)</td></tr> <tr><td>コンクリートブロック・ALCパネル・射出成形セメント工</td><td>・ ブロック建築 (コンクリートブロック工作業) ・ ALCパネル施工 (ALCパネル工作業)</td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>○防水施工 (・ アスファルト防水工作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工作業 ○合成ゴム系シート防水工作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工作業 ・ セメント系防水工作業 ・ シーリング防水工作業 ・ 改質アスファルトシート防水工作業 ・ FRP防水工作業)</td></tr> <tr><td>石工事</td><td>・ 石材施工 (石張り作業)</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>○タイル張り (タイル張り作業)</td></tr> <tr><td>木工事</td><td>○建築大工 (大工工作業)</td></tr> <tr><td>屋根及びとい工事</td><td>○建築板金 (内外装板金作業)</td></tr> </tbody> </table>	適用工事	建築基準法の指定	○ 合成高分子系ルーフィングシート工法	風速 (V0) ※30	・ 外壁乾式工法 ・ 長尺金属板葺	地表面相区分 ・ II ・ III	・ 折板葺 ・ 粘土瓦葺	多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無	○ アルミニウム笠木		・ オーバーヘッドドア		・ ガラスブロック ・ 屋上緑化		工事種目	技能検定職種 (技能検定作業)	仮設工事	○とび (とび作業)	鉄筋工事	○鉄筋施工 (鉄筋組立作業)	コンクリート工事	○型枠施工 (型枠工作業) ○コンクリート圧送施工 (コンクリート圧送工作業)	鉄骨工事	○鉄工 (構造物鉄工作業)	コンクリートブロック・ALCパネル・射出成形セメント工	・ ブロック建築 (コンクリートブロック工作業) ・ ALCパネル施工 (ALCパネル工作業)	防水工事	○防水施工 (・ アスファルト防水工作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工作業 ○合成ゴム系シート防水工作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工作業 ・ セメント系防水工作業 ・ シーリング防水工作業 ・ 改質アスファルトシート防水工作業 ・ FRP防水工作業)	石工事	・ 石材施工 (石張り作業)	タイル工事	○タイル張り (タイル張り作業)	木工事	○建築大工 (大工工作業)	屋根及びとい工事	○建築板金 (内外装板金作業)	<p>2 1 仮設工事</p> <p>2 仮設工事</p> <p>① 仮囲い ※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ○キャスターゲート (H=1.8、W=6.0) × 2 箇所 ・ シートゲート (H= , W= ) × 箇所</p> <p>2 仮設工事</p> <p>② 危害防止 ※ シート張り ・ 金網養生</p> <p>③ 交通誘導員 ○ 配置する (276日 × 1人 = 276人日) ※ 配置しない</p> <p>④ 揚重機械器具 ○ラフテレンクレーン (25t吊り) × 50日 ○ラフテレンクレーン (50t吊り) × 5日</p> <p>⑤ 監督職員事務所 ※ 設けない (請負者事務所に打合せ会議室を確保する) ・ 設ける (規模 m程度 請負者事務所と同様 ・ 可 ・ 否) 備品 ( )</p> <p>⑥ 工事表示板 ※ 設置する ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領 (令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定) による。</p> <p>⑦ 事業コスト表示板 ○ 設置する (5億円以上の工事が対象) ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領 (令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定) による。</p> <p>⑧ 工事用水 構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※ 利用できない</p> <p>⑨ 工事用電力 構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※ 利用できない</p> <p>⑩ 工事用通路 ※ 指定しない ・ 指定する (図示)</p> <p>1 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>3 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土の種別 種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1) C種の場合 建設発生土受入数量 m<sup>3</sup></p> <p>2 建設発生土の処理 (3.2.5) ○ 構外に搬出し、適切に処理する。 ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地 (km)</p> <p>3. 有害物質含有調査 ・ 有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目 ※図示</p>	<p>3. 鋼杭地業 (4.2.2) (4.3.3) (4.3.6) (4.3.8)</p> <p>鋼杭の材料 ・ 図示による</p> <p>杭の種類、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験杭</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (mm)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セット数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で <math>\alpha = 250</math> を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による</p> <p>工法 ( ) ・ ( )</p> <p>杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法</p> <p>杭頭の処理等 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による</p>	試験杭	種類	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考							上杭										中杭										下杭										上杭										中杭										下杭																																																																															
適用工事	建築基準法の指定																																																																																																																																																																																								
○ 合成高分子系ルーフィングシート工法	風速 (V0) ※30																																																																																																																																																																																								
・ 外壁乾式工法 ・ 長尺金属板葺	地表面相区分 ・ II ・ III																																																																																																																																																																																								
・ 折板葺 ・ 粘土瓦葺	多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無																																																																																																																																																																																								
○ アルミニウム笠木																																																																																																																																																																																									
・ オーバーヘッドドア																																																																																																																																																																																									
・ ガラスブロック ・ 屋上緑化																																																																																																																																																																																									
工事種目	技能検定職種 (技能検定作業)																																																																																																																																																																																								
仮設工事	○とび (とび作業)																																																																																																																																																																																								
鉄筋工事	○鉄筋施工 (鉄筋組立作業)																																																																																																																																																																																								
コンクリート工事	○型枠施工 (型枠工作業) ○コンクリート圧送施工 (コンクリート圧送工作業)																																																																																																																																																																																								
鉄骨工事	○鉄工 (構造物鉄工作業)																																																																																																																																																																																								
コンクリートブロック・ALCパネル・射出成形セメント工	・ ブロック建築 (コンクリートブロック工作業) ・ ALCパネル施工 (ALCパネル工作業)																																																																																																																																																																																								
防水工事	○防水施工 (・ アスファルト防水工作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工作業 ○合成ゴム系シート防水工作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工作業 ・ セメント系防水工作業 ・ シーリング防水工作業 ・ 改質アスファルトシート防水工作業 ・ FRP防水工作業)																																																																																																																																																																																								
石工事	・ 石材施工 (石張り作業)																																																																																																																																																																																								
タイル工事	○タイル張り (タイル張り作業)																																																																																																																																																																																								
木工事	○建築大工 (大工工作業)																																																																																																																																																																																								
屋根及びとい工事	○建築板金 (内外装板金作業)																																																																																																																																																																																								
試験杭	種類	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																																																																																
上杭																																																																																																																																																																																									
中杭																																																																																																																																																																																									
下杭																																																																																																																																																																																									
上杭																																																																																																																																																																																									
中杭																																																																																																																																																																																									
下杭																																																																																																																																																																																									
<p>記 事</p>		<p>業務名称 館護公民館移転改築工事設計業務</p> <p>印 株式会社 東北緯企画 一級建築士 (大臣) 第9890号 折原 幸一</p>	<p>工事名称 館護公民館改築工事</p> <p>設計年月 令和7年3月</p> <p>図面名称 特記仕様書 (1)</p> <p>縮尺 A1:- A3:-</p> <p>図面番号 T-01</p>																																																																																																																																																																																						

④ 地業工事 構造特記による	4. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1)	<p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アースドリル工法(安定液 ※使用する ・使用しない)</li> <li>・リバース工法</li> <li>・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない)</li> </ul> <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所打ち鋼管コンクリート杭工法</li> <li>鋼管巻き材料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SKK400</li> <li>・SKK490</li> </ul> </li> <li>・掘削工法(安定液 ・使用する ・使用しない)</li> </ul> <p>寸法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>孔壁測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>測定方法、測定箇所は図示による</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>材料その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋の最小かぶり厚さ</li> <li>・図示による</li> <li>セメントの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>※高炉セメントB種</li> </ul> </li> <li>コンクリートの種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種</li> <li>・B種</li> <li>・評定等の評価内容による</li> </ul> </li> <li>スランプ <ul style="list-style-type: none"> <li>・18cm</li> <li>・21cm</li> </ul> </li> <li>コンクリートの設計基準強度 ( )N/mm<sup>2</sup></li> <li>構造体強度補正值(S) <ul style="list-style-type: none"> <li>・3N/mm<sup>2</sup></li> <li>・評定等の評価内容による</li> </ul> </li> </ul>	6. 特殊な鉄筋継手 (5.5.1~5.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械式継手</li> <li>適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> <li>性能(H12建告第1463号に適合するもの)</li> <li>・A級</li> </ul> </li> <li>機械式継手の種類( )</li> <li>鉄筋相互のあき</li> <li>※図示による</li> <li>施工完了後の試験</li> <li>※図示による</li> </ul> <p>・溶接継手 (5.6.1~6.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適用箇所</li> <li>※図示による</li> <li>性能(H12建告第1463号に適合するもの)</li> <li>・A級</li> <li>機械式継手の種類( )</li> <li>鉄筋相互のあき</li> <li>※図示による</li> <li>施工完了後の試験</li> <li>※図示による</li> </ul>	⑦ 鉄骨工事 構造特記による	<p>1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)</p> <p>※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S</li> <li>・ H</li> <li>・ M</li> <li>・ R</li> <li>・ J</li> </ul> <p>・ 本物件と同規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場</p> <p>※ 施工監理技術者 (※配置する ・ 配置しない) (7.1.4)</p> <p>2. 鋼材の種類 (7.2.1)(表7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規</th> <th>格</th> </tr> <tr> <td>※図示による( )</td> <td>( )</td> <td>※JISによる</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※図示による( )</td> <td>( )</td> <td>※JISによる</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※図示による( )</td> <td>( )</td> <td>※JISによる</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>3. 高力ボルト (7.2.2)</p> <p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ トルンパ形高力ボルト</li> <li>・ J I S 形高力ボルト</li> </ul> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う(試験方法等 ・ 図示による) ※行わない</li> </ul> <p>4. 普通ボルト (7.2.3)</p> <p>ボルト及びナットの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書 表7.2.3による</li> <li>座金</li> <li>・ 標準仕様書7.2.3(4)による</li> <li>ボルトの径</li> <li>・ 図示による</li> <li>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</li> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>5. 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.3)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う(試験方法等 ・ 図示による) ※行わない</li> </ul> <p>6. アンカーボルト (7.2.4)</p> <p>構造用アンカーボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ABR400</li> <li>・ ABR490</li> </ul> <p>建方用アンカーボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SS400</li> </ul> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書 表7.2.3による</li> </ul> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>7. 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による</li> </ul> <p>8. ターンバックル (7.2.6)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築用ターンバックルボルト</li> <li>※ 羽子板ボルト</li> <li>・ 建築用ターンバックル銅</li> <li>※ 割棒式</li> </ul> <p>9. 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質・形状及び寸法</th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ デッキプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 単独の構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ デッキプレートとコンクリートとの合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成スラブとする構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>鉄骨部材への溶接方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>耐火認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>耐火時間</li> <li>・ 図示による</li> <li>・ なし</li> </ul> <p>10. スタッド (7.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>11. 柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による</li> </ul> <p>12. 仮組 (7.3.10)</p> <p>仮組を行う範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>13. 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>14. 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)</p> <p>開先の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>鋼製エンドタブを切断する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切断する箇所</li> <li>・ 図示による</li> <li>切断範囲</li> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>スカラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul>	種類の記号	適用箇所	規	格	※図示による( )	( )	※JISによる	・	※図示による( )	( )	※JISによる	・	※図示による( )	( )	※JISによる	・	材質・形状及び寸法	適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・ デッキプレート				・ 単独の構造				・ デッキプレートとコンクリートとの合				成スラブとする構造				呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・ 16			・ 19			・ 22			15. 溶接部の試験 (7.6.12) <p>溶接部の外観試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平12建告第1464号第二号に関する試験方法等</li> <li>・ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による</li> <li>・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査②</li> </ul> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JASS6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。</li> <li>ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り検査は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</li> <li>完全溶込み溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>溶接の区分</th> <th>AQOL (%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・ 2.5</td> <td>※4.0</td> <td>※6</td> </tr> </table> <p>16. 錆止め塗装 (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2)</p> <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による</li> <li>・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類</li> <li>※A種</li> <li>・ 耐火被覆材が接合する面の塗料の種類</li> </ul> <p>17. 耐火被覆 (7.9.2~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>18. アンカーボルトの設置等 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>建方用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種別</li> <li>・ A種</li> <li>・ B種</li> </ul> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚さ</li> <li>種別</li> <li>※A種</li> <li>・ B種</li> </ul> <p>19. 軽量形鋼構造 (7.11.2)</p> <p>ボルトの接合部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通ボルト接合</li> </ul>	溶接の区分	AQOL (%)	検査水準	備考	工場溶接	・ 2.5	※4.0	※6	種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール				※半乾式吹付けロックウール				・ 湿式ロックウール			・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板			・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール			・ ラス張りモルタル塗り				・ 耐火塗料				⑧ コンクリート工事 構造特記による	<p>1. コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ I 類</li> <li>・ II 類</li> </ul> <p>2. 設計基準強度 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td><math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による</p> <p>軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td><math>F_c</math> (N/mm<sup>2</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による</p> <p>3. スランプ (6.2.4)(表6.2.2)</p> <p>基礎、基礎梁、土間スラブ ※ 15cm</p> <p>柱、梁、スラブ、壁 ※ 18cm</p> <p>4. セメントの種類 (6.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</td> <td>建物躯体(下記以外)</td> </tr> <tr> <td>・ 高炉セメントB種</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> <tr> <td>・ フライアッシュセメントB種</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> </table> <p>5. 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A</li> <li>・ B</li> </ul> <p>6. 軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1種</li> <li>・ 2種</li> </ul> <p>7. 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書6.14.1(4)による箇所</li> <li>・ 標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所</li> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※18N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※15cm又は18cm</li> </ul> <p>8. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <p>打継ぎの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書6.6.4(1)による</li> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>目地寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書9.7.3(1)(ア)による</li> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>9. 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</li> <li>・ 20mm</li> <li>・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)</li> <li>・ 10mm</li> <li>・ 20mm</li> </ul> <p>10. 型枠 (6.8.2)</p> <p>せき板の材料及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合板(※12mm</li> <li>・ )</li> <li>・ 断熱材を兼用した型枠材</li> <li>適用箇所</li> <li>※図示による</li> <li>・ MCR工法用シート</li> <li>適用箇所</li> <li>※図示による</li> <li>打増し厚さ</li> <li>・ 20mm</li> <li>打増し範囲</li> <li>※図示による</li> <li>スリーブの材質・規格等</li> <li>・ 図示による</li> </ul>	種類	適用箇所	普通コンクリート		$F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )		・ 24		・ 21		種類	適用箇所	$F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )				セメントの種類	適用箇所	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体(下記以外)	・ 高炉セメントB種	基礎、地中梁	・ フライアッシュセメントB種	基礎、地中梁	⑤ 鉄筋工事 構造特記による	<p>1. 鉄筋 (5.2.1)</p> <p>鉄筋の種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>鉄線の形状等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>形状、網目寸法、径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3. 鉄筋の継手 (5.3.4)</p> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td></td> <td>※ガス圧接</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td></td> <td>・ 溶接継手</td> <td>・ 重ね継手</td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋( )</td> <td></td> <td>・ 重ね継手</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>4. 鉄筋の定着 (5.3.4)</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有り(※図示による)</li> <li>適用箇所( )</li> </ul> <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有り(※図示による)</li> <li>適用箇所( )</li> </ul>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	※ SD295			※ SD345			種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				種類	種類の記号	継手の方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋		※ガス圧接	※D19以上	耐力壁の鉄筋		・ 溶接継手	・ 重ね継手	その他の鉄筋( )		・ 重ね継手	・	8 コンクリート成型 コンクリートブロック板工事 ALCパネル	<p>1. 補強コンクリートブロック造り (8.4.2~5)(表8.4.2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>断面形状及び圧縮強度による区分</th> <th>正味厚さモジュール呼び寸法</th> <th>長さ</th> <th>高さ</th> <th>化粧の有無</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※空洞ブロックC(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無</td> <td>・ 有</td> <td></td> </tr> </table> <p>各部の背筋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>目地仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押し目地仕上げ</li> <li>・ 化粧目地仕上げ</li> </ul> <p>まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>2. コンクリートブロック塀壁及び塀 (8.3.2~4)(表8.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>断面形状及び圧縮強度による区分</th> <th>正味厚さモジュール呼び寸法</th> <th>長さ</th> <th>高さ</th> <th>化粧の有無</th> <th>(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※空洞ブロックC(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 無</td> <td>・ 有</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>各部の配筋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>3. ALCパネル (8.4.2~5)(表8.4.2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>単位荷重(N/m<sup>2</sup>)</th> <th>厚さ</th> <th>幅及び長さ</th> <th>耐火性能</th> <th>構造の種類</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁用</td> <td>・ 一般</td> <td>・ 平</td> <td>・ コーナー</td> <td>・ 意匠</td> <td>・ なし</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁用</td> <td>・ 一般</td> <td>・ 平</td> <td>・ コーナー</td> <td>・ 意匠</td> <td>・ なし</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・ 1</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 床用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・ 1</td> <td>・ D種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 0.5</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 2</td> <td></td> </tr> </table> <p>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材</p> <p>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による</li> </ul> <p>目地幅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※20mm</li> </ul> <p>外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用する</li> <li>・ 適用しない</li> </ul>	断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さモジュール呼び寸法	長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考	※空洞ブロックC(16)				・ 無	・ 有		断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さモジュール呼び寸法	長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	※空洞ブロックC(16)				・ 無	・ 有		区分	単位荷重(N/m <sup>2</sup> )	厚さ	幅及び長さ	耐火性能	構造の種類	・ 外壁用	・ 一般	・ 平	・ コーナー	・ 意匠	・ なし	・ A種	・ 間仕切壁用	・ 一般	・ 平	・ コーナー	・ 意匠	・ なし	・ B種	・ 屋根用	—	—	—	—	・ 1	・ C種	・ 床用	—	—	—	—	・ 1	・ D種						・ 0.5	※F種						・ 2		業務名称	館設公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館設公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	種類の記号	適用箇所	規	格																																																																																																																																																																																																																																																
	※図示による( )	( )	※JISによる	・																																																																																																																																																																																																																																																
	※図示による( )	( )	※JISによる	・																																																																																																																																																																																																																																																
※図示による( )	( )	※JISによる	・																																																																																																																																																																																																																																																	
材質・形状及び寸法	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																																																																																																																																																	
・ デッキプレート																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 単独の構造																																																																																																																																																																																																																																																				
・ デッキプレートとコンクリートとの合																																																																																																																																																																																																																																																				
成スラブとする構造																																																																																																																																																																																																																																																				
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 16																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 19																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 22																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接の区分	AQOL (%)	検査水準	備考																																																																																																																																																																																																																																																	
工場溶接	・ 2.5	※4.0	※6																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																																																																																																																																	
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																																																																																																			
	※半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 湿式ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																			
・ ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 耐火塗料																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																			
普通コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																				
$F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 24																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 21																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																			
$F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																				
セメントの種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																			
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体(下記以外)																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 高炉セメントB種	基礎、地中梁																																																																																																																																																																																																																																																			
・ フライアッシュセメントB種	基礎、地中梁																																																																																																																																																																																																																																																			
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																		
※ SD295																																																																																																																																																																																																																																																				
※ SD345																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用部位																																																																																																																																																																																																																																																	
・ 溶接金網																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	種類の記号	継手の方法	呼び径(mm)																																																																																																																																																																																																																																																	
柱、梁の主筋		※ガス圧接	※D19以上																																																																																																																																																																																																																																																	
耐力壁の鉄筋		・ 溶接継手	・ 重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																	
その他の鉄筋( )		・ 重ね継手	・																																																																																																																																																																																																																																																	
断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さモジュール呼び寸法	長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																														
※空洞ブロックC(16)				・ 無	・ 有																																																																																																																																																																																																																																															
断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さモジュール呼び寸法	長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																														
※空洞ブロックC(16)				・ 無	・ 有																																																																																																																																																																																																																																															
区分	単位荷重(N/m <sup>2</sup> )	厚さ	幅及び長さ	耐火性能	構造の種類																																																																																																																																																																																																																																															
・ 外壁用	・ 一般	・ 平	・ コーナー	・ 意匠	・ なし	・ A種																																																																																																																																																																																																																																														
・ 間仕切壁用	・ 一般	・ 平	・ コーナー	・ 意匠	・ なし	・ B種																																																																																																																																																																																																																																														
・ 屋根用	—	—	—	—	・ 1	・ C種																																																																																																																																																																																																																																														
・ 床用	—	—	—	—	・ 1	・ D種																																																																																																																																																																																																																																														
					・ 0.5	※F種																																																																																																																																																																																																																																														
					・ 2																																																																																																																																																																																																																																															
製	株式会社 東北線企画	一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	印	図面名称	特記仕様書(2)	縮尺	A1:- A3:-	図面番号	T-02																																																																																																																																																																																																																																											

B コンクリートブロック・A1Cパネル	4. 押出成形セメント板	ECPの種類等 (8.5.2~5)(表8.5.1~2) パネルの種類 形状 長さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考 ・外壁パネル F・50・60 ※600 A種・B種 ・間仕切壁パネル F・50・60 ※600 A種・B種 (注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による パネル相互の目地幅 ・長辺( ) 短辺( ) 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ・※15程度 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様	2. 改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1~3) 種別 施工箇所 断熱材 防湿用シート 仕上塗料 備考 ・AS-F1 ・AS-F2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-T1 ・AS-T1 標準仕様書 (9.3.2(3)(9)) (改質アスファルトシートの製造所の仕様) ・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様) ・設けない (厚さ)(mm)	⑤ ケイ酸系系塗布防水 (9.6.4)(表9.6.1) 防水層の種類 種別 施工箇所 種別 施工箇所 C-SU1 EVビット C-SUP 防水層の下地 壁 ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) 天井部 ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) 下地処理(コンクリートの打継ぎ箇所の処理) ※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸系系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 ・図示による	3. 外壁湿式工法 受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm アンカーの材質及び寸法 材質 ※SS400 寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 ドレンパイプ ・設ける(設置位置:図示による) ・設けない 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 ・流し筋工法 目地 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ※シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ) (目地幅及び深さ ) 伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による
	9 防水工事	1. アスファルト防水 屋根保護防水 防水層の種類 (9.2.2~5)(表9.2.3~9) 種別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・A-1 ・A-2 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm ・A-3 以上又はフラットヤーンクロス 70g/m程度 ・B-1 ・B-2 ・AI-1 (種類) ※フラットヤーンクロス 70g/m程度 ・AI-2 ※JIS A 9521に基づく押出ポリスチレンフォーム断熱材種別a(スキン層付き) ・AI-3 (厚さ)(mm) ・BI-1 ・BI-2 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護工法 ・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による) ・窯業系パネルI類 厚さ( )mm 幅( )mm ・れんが押え(※JIS R 1250 ) ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内) 屋根露出防水 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 備考 ・D-1 ・D-2 アスファルトルーフィング製の製造所の仕様 アスファルトルーフィング製の製造所の仕様 ・DI-1 標準仕様書 9.2.2(9) (種類) (厚さ)(mm) ・DI-2 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による 絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法のだき装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 ( )個 屋内防水 防水層の種類 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ・E-1 ・E-2 保護層 ・設ける(※図示による ) ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽・浴槽等常時水に接する部位 防水層の下地の立上り ※コンクリート打放し立上り部の保護工法 標準仕様書表6.2.4のB種 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※図示による ) ・適用しない 屋上排水溝 ※図示による	③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4)(表9.4.1~3) 防水層の種類 種別 施工箇所 可塑剤移行防止シートの材質 断熱性 仕上塗料 備考 ・S-F1 ・S-F2 ※カラー・シルバー ・S-M1 ※カラー・シルバー C-S-M2 屋根 ※カラー・シルバー ・SI-F1 標準仕様書 9.4.2(3) (I)(b) ・SI-F2 標準仕様書 9.4.2(3) (I)(a) ・SI-M1 ※発泡ポリエチレンシート ・SI-M2 (I)(a) S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 屋内防水 防水層の種類 種別 施工箇所 保護層 ・S-C1 平場の保護モルタル塗布 立上り部の保護モルタル塗布 ※7mm以下 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.4.1~表9.4.2による 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した銅板、ステンレス銅板又はそれらの銅板の両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ( )個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う(※図示による ) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う(※図示による ) ・行わない	⑥ シーリング (9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)(表9.7.1) 下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号) 外壁 PU-2 建具廻り MS-2 ガラス SR-1 仕上げを行わない施工箇所(・図示による ) シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による ・図示による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 7. 防水保証 1. 施工 (10.1.3) 2. 石材等 (10.2.1、3)(表10.2.1、2) 石材の割付け ※図示による 天然石 (10.2.1、3)(表10.2.1、2) 施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法(mm) 厚さ(mm) 表面仕上げの種類 備考 ・床石 ・図示による ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・あり ・なし テラズブロック 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 形状による区分 仕上げ面による区分 寸法(mm) 表面仕上げの種類 備考 ・大理石 ・花こう岩 ※1.5~12 ・平もの ・役もの ・片面 ・両面 テラズタイル 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 寸法による区分 表面仕上げの種類 備考 ・大理石 ・花こう岩 ※1.5~12 ・300型 ・400型 その他の材料 取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品 既調合の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品 浸透性吸水防水剤 ※専門工事業者の指定する製品 石裏面処理材 ※専門工事業者の指定する製品 裏打ち処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ 金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品	10 石工事 4. 内壁空積工法 受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ) (目地幅及び深さ ) 伸縮調整目地 位置 ・6m程度 シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による 目地寸法 5. 外壁乾式工法 (10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4) 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ※標準仕様書表10.2.4による (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 だば用の穴の位置 ※標準仕様書表10.5.2(2)(7)による ・図示による 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない シーリング材 種類 ※標準仕様書表9.7.1による 目地幅及び深さ	
館	業務名称 館遷公民館移転改築工事設計業務	工事名称 館遷公民館改築工事	設計年月 令和7年3月			
事	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	図面名称 特記仕様書(3)	図面番号 T-03			

10 石工事	6. 床及び階段の石張り (10. 6. 2. 3)	浸透性吸収防水材 (床石張り) ・適用する ・適用しない 石裏面処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない (階段張り) ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9. 7. 11による ) (目地幅及び深さ ) 伸縮調整目地位置 ※標準仕様書10. 6. 2(5) (a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9. 7. 11による ・ 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による																																								
	7. 笠木、甲板等の石張り (10. 2. 2) (10. 7. 2)	取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 特殊部位用金物 材質 ※SUS304 寸法等 引金物 ※標準仕様書表10. 2. 3による ・ だば ※標準仕様書表10. 2. 3による ・ かすがい ※標準仕様書表10. 2. 3による ・ 受金物 ※標準仕様書10. 2. 2(1) (4)による ・ 乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書表10. 2. 4に準ずる (方式 / ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9. 7. 11による ) (目地幅及び深さ ) 伸縮調整目地位置 ※標準仕様書10. 6. 2(5) (a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9. 7. 11による ・ 目地寸法 ・図示による																																								
11 タイル工事	1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11. 1. 3) (表11. 1. 1)	位置 ※標準仕様書表11. 1. 1による ・図示による 目地寸法 ・図示による																																								
	2. 見本焼き試験施工 (11. 1. 4)	見本焼き ・行う(施工箇所: ) ※行わない 試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による) ※行わない																																								
	③ セメントモルタルによるタイル張り (11. 2. 2. 6)	タイルの形状、寸法等 (11. 2. 2. 6) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性耐滑</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施ゆう無ゆう</td> <td>有無</td> <td>標準特注</td> <td>有無り性</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポーチ</td> <td>床</td> <td>300×300</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。	施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性耐滑				I類 II類 III類	施ゆう無ゆう	有無	標準特注	有無り性	ポーチ	床	300×300	○	○	○	○	○				・	・	・	・	・				・	・	・	・	・
施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性耐滑																																			
			I類 II類 III類	施ゆう無ゆう	有無	標準特注	有無り性																																			
ポーチ	床	300×300	○	○	○	○	○																																			
			・	・	・	・	・																																			
			・	・	・	・	・																																			

4. 有機系接着剤によるタイル張り	既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。  既調合目地材  下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MGR工法 ・ 壁タイル張りの工法 内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ※マスク張り ・モザイクタイル張り																																																												
	タイルの形状、寸法等 (11. 3. 2~5) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性耐滑</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施ゆう無ゆう</td> <td>有無</td> <td>標準特注</td> <td>有無り性</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ 伸縮調整目地及びその他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・ 下地調整塗料塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MGR工法 外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない	施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性耐滑				I類 II類 III類	施ゆう無ゆう	有無	標準特注	有無り性				・	・	・	・	・				・	・	・	・	・																												
施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性耐滑																																																						
			I類 II類 III類	施ゆう無ゆう	有無	標準特注	有無り性																																																						
			・	・	・	・	・																																																						
			・	・	・	・	・																																																						
12 木工事	① 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 (12. 2. 1) ※F☆☆☆☆又は標準仕様書12. 2. 1(1) (4) (b)による ③ 木材は特記なき限り宮城県産を使用すること。																																																											
	2. 製材	(12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) (12. 6. 1) (12. 7. 1) ・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 1083 (製材) 以外の製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ) ・造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ) ・造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理			※2級	※A種 ・ B種				※2級	※A種 ・ B種		施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種		見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種		施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理			※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種				※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種		施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率			( ) ・造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種			( ) ・造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理																																																									
		※2級	※A種 ・ B種																																																										
		※2級	※A種 ・ B種																																																										
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理																																																									
見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種																																																										
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種																																																										
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理																																																									
		※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種																																																										
		※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種																																																										
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率																																																									
		( ) ・造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種																																																									
		( ) ・造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種																																																									

③ 造作用集成材	◎造作用集成材12. 2. 1 (3) による ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12. 2. 1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>材種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・ ※15%以下 ・</td> </tr> </tbody> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・</td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12. 2. 1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 0701 以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下 ・ ※14%以下 ・</td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 3079 に基づく直交集成板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質						※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等	施工箇所	品名	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質			化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等			化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等	施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下 ・ ※15%以下 ・	施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・		化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理					・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理				※14%以下 ・ ※14%以下 ・	・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)							
	施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																										
					※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等																																																																																											
施工箇所	品名	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																										
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等																																																																																										
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等																																																																																										
施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																												
				※15%以下 ・ ※15%以下 ・																																																																																												
施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																											
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・																																																																																											
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・																																																																																											
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理																																																																																												
				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																																												
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																												
			※14%以下 ・ ※14%以下 ・	・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																																												
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)																																																																																										
4. 造作用単板積層材	◎「合板の日本農林規格」による普通合板 (12. 2. 1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5. 5</td> <td></td> <td>※1類 ・ 2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール床</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td>針葉樹</td> <td>※1類 ・ 特類</td> <td>※C-D以上 ・</td> <td>※12 ・15</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・ 特類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・ 2類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理		※5. 5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	ホール床	※2級以上 ・1級	針葉樹	※1類 ・ 特類	※C-D以上 ・	※12 ・15	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・1類 ・ 特類	・適用する ・適用しない	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理				・1類 ・ 2類	・適用する ・適用しない																																															
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理																																																																																											
	※5. 5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない																																																																																											
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級																																																																																									
ホール床	※2級以上 ・1級	針葉樹	※1類 ・ 特類	※C-D以上 ・	※12 ・15	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																									
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																												
			・1類 ・ 特類	・適用する ・適用しない																																																																																												
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理																																																																																												
			・1類 ・ 2類	・適用する ・適用しない																																																																																												

6. 接合具等	◎「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・ 2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </tbody> </table> ・JAS 0360 に基づく構造用パネル <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・MDF <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 造作材の化粧面の釘打ち (12. 2. 2) ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書表12. 2. 3~5に示す程度の市販品 表14. 2. 2のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質: )	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理			・1類 ・ 2類			・適用する ・適用しない	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	寸法(mm)			施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分						
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																			
		・1類 ・ 2類			・適用する ・適用しない																																				
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)																																				
		※13タイプ	※P又はM		※15																																				
施工箇所	寸法(mm)																																								
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																				
7. 接着剤	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (12. 2. 2, 3) ※F☆☆☆☆																																								
8. 防虫・防蟻処理	・防虫、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12. 3. 1, 2) 適用部位: ( ) ・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> </tbody> </table> ・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※薬剤の製造所の仕様による</td> <td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </tbody> </table> ・薬剤の接着材への混入による防虫、防蟻処理 適用部位 ( ) ・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位 ( )	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・ K3 ・ K4		・K2 ・ K3 ・ K4		・K2 ・ K3 ・ K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品																										
適用部材	保存処理性能区分																																								
	・K2 ・ K3 ・ K4																																								
	・K2 ・ K3 ・ K4																																								
	・K2 ・ K3 ・ K4																																								
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																							
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品																																							
9. 内部間仕切軸組及び床組み	・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12. 4. 1) ※杉又は松 ◎床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松																																								
10. 窓、出入口その他	・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12. 5. 1) ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉																																								
11. 床板張り	・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12. 6. 1) ※ひのき																																								
12. 壁及び天井下地	・壁間縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12. 7. 1) ※杉又は松																																								

13 屋根及び 土工	1. 長尺金属板葺 (13.2.2、3)	④ とい	<p>といその他の材種 (13.5.2、3)(表13.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配管用鋼管</li> <li>硬質ポリ塩化ビニル管</li> <li>ルーフトレン</li> <li>表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)</li> </ul> <p>とい受金物材種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</li> </ul> <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※市販品 (とい径 100 以下)</li> <li>25×4.5(mm)以上 (とい径 100 を超えるもの)</li> </ul> <p>取付け間隔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表13.5.2による</li> </ul> <p>足金物材種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</li> </ul> <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※市販品</li> </ul> <p>取付け間隔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表13.5.2による</li> </ul> <p>多雪地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適用する</li> <li>適用しない</li> </ul> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※F☆☆☆☆</li> </ul> <p>鋼管製といの防露巻き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表13.5.4による</li> </ul> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ろく屋根用たて形 I 型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 ○100 ・125 ・150</td> </tr> <tr> <td>○ろく屋根用楔形 I 型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 ○100 ・125 ・150</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・バルコニー中継用</td> <td>・ねじ込み式</td> <td>・50 ・80 ・100</td> </tr> <tr> <td>・差し込み式</td> <td>・50 ・75 ・100</td> </tr> <tr> <td>○バルコニー用</td> <td>・ねじ込み式</td> <td>・50 ・80 ・100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○差し込み式</td> <td>・50 ・75 ○100</td> </tr> </tbody> </table>	種別	呼び	施工箇所	※ろく屋根用たて形 I 型	※ねじ込み式	・80 ○100 ・125 ・150	○ろく屋根用楔形 I 型	※ねじ込み式	・80 ○100 ・125 ・150	・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50 ・80 ・100	・差し込み式	・50 ・75 ・100	○バルコニー用	・ねじ込み式	・50 ・80 ・100		○差し込み式	・50 ・75 ○100	<p>④ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3、4)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類</li> <li>※図示による</li> </ul> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表14.5.4.(5)による</li> </ul>	<p>⑤ 金属成形板張り (14.6.2、3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム</td> <td>・押出し ・ロール ・プレス</td> <td>・スラット形 ・パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表14.4.1による</li> <li>※図示による</li> </ul> <p>伸縮調整継手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設ける (施工箇所 ※図示による)</li> <li>設けない</li> </ul>	種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	色合い等	・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス	・スラット形 ・パネル形					<p>種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料</p> <p>・外装薄塗材Si</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吹放し</li> <li>凸部処理</li> <li>吹付け</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ひき起こし</li> <li>かき落とし</li> </ul> <p>・可とう形外装塗材Si</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吹放し</li> <li>凸部処理</li> <li>吹付け</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ひき起こし</li> </ul> <p>・外装薄塗材E</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂壁状</li> <li>ゆず肌状</li> <li>吹付け</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ゆず肌状</li> <li>ローラー塗り</li> <li>さざ波状</li> <li>吹付け</li> <li>こて塗り</li> </ul> <p>・可とう形外装塗材E</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂壁状</li> <li>ゆず肌状</li> <li>吹付け</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ゆず肌状</li> <li>ローラー塗り</li> <li>さざ波状</li> <li>吹付け</li> <li>こて塗り</li> </ul> <p>・防水形外装薄塗材E</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂壁状</li> <li>ゆず肌状</li> <li>吹付け</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ゆず肌状</li> <li>ローラー塗り</li> <li>さざ波状</li> <li>吹付け</li> <li>こて塗り</li> </ul> <p>・外装薄塗材S</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂壁状</li> <li>吹付け</li> <li>凹凸状</li> <li>吹付け</li> </ul> <p>・内装薄塗材C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ゆず肌状</li> <li>ローラー塗り</li> <li>さざ波状</li> </ul> <p>・内装薄塗材L</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂壁状じゅらく</li> <li>吹付け</li> <li>ゆず肌状</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ゆず肌状</li> <li>ローラー塗り</li> <li>さざ波状</li> </ul> <p>・内装薄塗材Si</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> <li>ローラー塗り</li> <li>ゆず肌状</li> <li>ローラー塗り</li> <li>さざ波状</li> </ul> <p>・内装薄塗材E</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京壁状じゅらく</li> <li>吹付け</li> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> </ul> <p>・内装薄塗材W</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平たん状</li> <li>凹凸状</li> <li>こて塗り</li> </ul>
	種別	呼び	施工箇所																																							
	※ろく屋根用たて形 I 型	※ねじ込み式	・80 ○100 ・125 ・150																																							
○ろく屋根用楔形 I 型	※ねじ込み式	・80 ○100 ・125 ・150																																								
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50 ・80 ・100																																								
	・差し込み式	・50 ・75 ・100																																								
○バルコニー用	・ねじ込み式	・50 ・80 ・100																																								
	○差し込み式	・50 ・75 ○100																																								
種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																					
					種別	色合い等																																				
・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス	・スラット形 ・パネル形																																								
2. 折板葺 (13.2.2)(13.3.2)(表13.2.1)	① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表 14.2.1)	<p>① モルタル塗り (15.3.2、5)</p> <p>モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場調査材料</li> <li>既調査材料</li> </ul> <p>既製目地材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設ける</li> <li>設けない</li> </ul> <p>床の目地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設ける</li> <li>目地割り</li> <li>※2m程度 (最大目地間隔3m程度)</li> <li>目地の種類</li> <li>※押し目地</li> <li>設けない</li> </ul> <p>屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適用する</li> <li>適用しない</li> </ul>	<p>② ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二層下地通気構法</li> <li>単層下地通気構法</li> <li>換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(カ))</li> <li>直張りラスモルタル下地</li> <li>直張りラスシートモルタル下地</li> </ul> <p>ラスの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類及び記号 ( )</li> <li>単位面積当たりの質量 ( )</li> <li>ラスシートの材料</li> <li>ラス目による区分 (※M )</li> <li>山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (・LS4(建築基準法に基づく耐力壁) )</li> <li>ステープルの形状及び寸法 ( )</li> <li>直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工</li> </ul>	<p>② 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表 14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○ 溶融亜鉛めっき</td> <td>○A種</td> <td>屋外階段、通路</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・電気亜鉛めっき</td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	○ 溶融亜鉛めっき	○A種	屋外階段、通路	・B種		・C種		・D種		・電気亜鉛めっき	・E種		・F種		・F種		<p>③ 野縁等の種類 (14.4.2~4)(表14.4.1)</p> <p>屋外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※25形</li> <li>・19形</li> </ul> <p>屋内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※19形</li> <li>・25形</li> </ul> <p>屋外の形式及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野縁受、つりボルト及びインサートの間隔</li> <li>※図示による</li> <li>周辺部の端からの間隔</li> <li>※図示による</li> <li>野縁の間隔</li> <li>※図示による</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による)</li> <li>天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による)</li> <li>天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による)</li> <li>補強方法 ※図示による</li> <li>屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による)</li> <li>補強方法 ※図示による</li> </ul>																		
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																								
○ 溶融亜鉛めっき	○A種	屋外階段、通路																																								
	・B種																																									
	・C種																																									
	・D種																																									
・電気亜鉛めっき	・E種																																									
	・F種																																									
	・F種																																									
3. 粘土瓦葺 (13.4.2、3)	④ 金属工事 (14.2.1)(表 14.2.1)	<p>3. せつこうボード及びせつこうラスボードの種類及び厚さ (15.2.5)</p> <p>種類 (・GB-R GB-L ) 厚さ ( mm)</p> <p>木質系セメント板の種類及び厚さ</p> <p>種類 ( ) 厚さ ( mm)</p>	<p>3. せつこうボード及びせつこうラスボードの種類及び厚さ (15.2.5)</p> <p>種類 (・GB-R GB-L ) 厚さ ( mm)</p> <p>木質系セメント板の種類及び厚さ</p> <p>種類 ( ) 厚さ ( mm)</p>	<p>④ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3、4)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類</li> <li>※図示による</li> </ul> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示による</li> </ul> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表14.5.4.(5)による</li> </ul>	<p>④ 金属工事 (14.2.1)(表 14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AB-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○BB-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※二次電解着色</li> <li>・三次電解着色</li> </ul>	種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・AB-1種	・標準色 ・特注色		・AB-2種		・AC-1種	・標準色 ・特注色		・AC-2種		・BA-1種	・標準色 ・特注色		・BA-2種		○BB-1種	・標準色 ・特注色		・BB-2種		・BC-1種	・標準色 ・特注色		・BC-2種		・C種	・標準色 ・特注色							
種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																								
・AB-1種	・標準色 ・特注色																																									
・AB-2種																																										
・AC-1種	・標準色 ・特注色																																									
・AC-2種																																										
・BA-1種	・標準色 ・特注色																																									
・BA-2種																																										
○BB-1種	・標準色 ・特注色																																									
・BB-2種																																										
・BC-1種	・標準色 ・特注色																																									
・BC-2種																																										
・C種	・標準色 ・特注色																																									

15 左官工事	7. マステック塗材塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽量骨材仕上塗材</li> <li>種類(呼び名) 防火材料</li> <li>吹付用軽量塗材</li> <li>こて塗用軽量塗材</li> </ul>	④ アルミニウム製建具 性能値等 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1、2) 耐風圧性の等級 (S-5) ( ) (建具符号 〇建具表による ) 気密性の等級 (A-4) ( ) (建具符号 〇建具表による ) 水密性の等級 (W-5) ( ) (建具符号 〇建具表による ) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号 〇建具表による ) ・B種 (建具符号 〇建具表による ) ・C種 (建具符号 〇建具表による ) ・D種 (建具符号 〇建具表による ) ・E種 (建具符号 〇建具表による ) 枠の見込み寸法 (※建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による )	⑧ 鋼製軽量建具 性能値等 (16.2.2) (16.5.2~4) (16.5.6) (表16.5.1) 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 〇建具表による ) 適用しない ( ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による )	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※標準仕様書表16.4.2による 使用箇所 ( ) 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による	表面板の厚さ ※表16.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による 〇ふすま 張りの種別 (〇I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	① 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3) (表16.8.1~5) ※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表16.8.5による ・建具表による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による
	8. ロックウール吹付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロックウールのホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆</li> <li>接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆</li> <li>仕上げ吹付け厚さ ※図示による ・25mm</li> </ul>					
9. しっくい塗り	しっくい (15.10.2~4) 既調査合材料 色しっくい ・適用する ・適用しない 現場調査合材料 下地 ・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり ・こまい ・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合 既調査合しっくいの調査 ・せっこうボード下地 ※標準仕様書表15.10.1 ・モルタル塗り下地 ※標準仕様書表15.10.2 ・せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による 現場調査しっくいの調査及び各層の塗厚 ・木ずり下地 ※標準仕様書表15.10.3 ・せっこうプラスター下地、こまい下地 ※標準仕様書表15.10.4 既調査合しっくいの上塗り仕上げ工法 ・なで切り仕上 ・パターン仕上げ	⑤ 網戸等 (16.2.3) 種類 材質 線径 網目 〇防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ ・防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm	⑩ 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2~4) ※A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放出量等 ※標準仕様書表16.7.2(2)(i)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 ・板面の品質 (※広葉樹1等 ) ・接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 樹種名 ( ) ・接着の程度 (・1類 ・2類) ・化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度 (・1類 ・2類) ・MDF	③ 自動ドア開閉装置 (16.9.2、3) 戸の開閉方式 (16.9.2、3) 〇建具表による 〇引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.1 (防錆 〇適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( ) ・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.2 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 耐滴 ( ) 電源 ( ) 〇引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.3 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 耐滴 ( ) 電源 ( )			
10. こまい壁塗り	のり (15.11.2~5、7、8) ・土壁用ののり ※つまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・砂壁用ののり ※ふのり ・つまた ・こんにやくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 色土 ・土物仕上に用いる色土の種類 ( ) ・大津仕上に用いる色土の種類 ( ) 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 下塗りの調査 ※標準仕様書表15.11.2 塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ( ) こまい壁の工程 ※A種 ・B種 こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ちりじゃくり ・図示による	⑥ 樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1~3) 性能値等 (16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1~3) 耐風圧性の等級 ( ) 気密性の等級 ( ) 水密性の等級 ( ) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号 〇建具表による ) ・B種 (建具符号 〇建具表による ) ・C種 (建具符号 〇建具表による ) ・D種 (建具符号 〇建具表による ) ・E種 (建具符号 〇建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (T-1 ・T-2) (建具符号 〇建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 〇建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ※建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス (組合せは建具表による) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する	⑦ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (16.4.6) (表16.4.2) 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 〇建具表による ) 適用しない ( ) 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (A-3) (建具符号 〇建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による )	④ 16 建具工事 ① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	④ 16 建具工事 ① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	④ 16 建具工事 ① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	
16 建具工事	① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	⑦ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (16.4.6) (表16.4.2) 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 〇建具表による ) 適用しない ( ) 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (A-3) (建具符号 〇建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号 〇建具表による )	⑩ 木製建具 (16.7.2~4) 建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2~4) ※A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放出量等 ※標準仕様書表16.7.2(2)(i)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 ・板面の品質 (※広葉樹1等 ) ・接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 樹種名 ( ) ・接着の程度 (・1類 ・2類) ・化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度 (・1類 ・2類) ・MDF	④ 16 建具工事 ① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	④ 16 建具工事 ① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	④ 16 建具工事 ① 防火戸 ※建具表による (16.1.3) ② 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (16.1.4) 建具見本製作の目的等 ※行わない 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ③ 防犯建物部品 ・適用する (・建具表による ) (16.1.6) ※適用しない	
17 建築工事	業務名称 館設公民館移転改築工事設計業務	工事名称 館設公民館改築工事	設計年月 令和7年3月	図面名称 特記仕様書(6)	縮尺 A1~A3	図面番号 T-06	
株式会社 東北線企画		一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	印		印		

16 建具工事 17 オーバーヘッドドア 18 塗装工事	15. 重量シャッター (16.11.2, 3) シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1 16. 軽量シャッター (16.12.2~4) 開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 17. オーバーヘッドドア (16.13.2, 3) セクション材料による区分 風圧力による強さの区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 風圧力による強さの区分 ・50 ・75 ・100 ・125 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチャル形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ※建具表による) 18. ガラス (9.7) (16.14.2~4) (図16.14.1) ○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ○型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ○網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による ・落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による ・破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 ○熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種	19. ガラスブロック組み (16.14.5) ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2) (9.7) 建具の種類 ガラス留め材の種類 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ※シーリング材 ・グレイジングチャンネル ※建具製造所の仕様による ・図示による 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ ※建具製造所の仕様による ・図示による ステンレス製 ※シーリング材 ・ ※建具製造所の仕様による ・図示による 樹脂製 ・グレイジングガスケット ※建具製造所の仕様による ・図示による 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・160×160 ・95 ・ ・ ・200×200 ・95 ・ ・ 壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 (17.3.2~6) (表17.3.1, 2) 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による 17. カーテンウォール工事 1. 取付け形態、性能等 (17.1.3) 取付け形態による分類 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性 (°C) ・30分 ・1時間 ・80 ・70 ・60 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・たわみ量が± (1/150) ×h かつ絶対量20mm以下であること 4mを超える 性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける	2. メタルカーテンウォール (17.2.2, 3, 5, 6) 金属材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 (・SR-2 ・SR-1) ・構造ガスケット 形状、寸法等 ※図示による 断熱材 種類及び範囲 ※図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による 見え掛り部の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合) ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm 目地の心の通り ※0~2mm 目地両側の段差 ※0~2mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±3mm 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持 材料 コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 ) 品質 設計基準強度 (Fc) ※30N/mm2 スランプ ※12cm 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・軽量コンクリートの場合 1.8t/m3~2.1t/m3 単位水量の最大値 ※185kg/m3 鉄筋 種類の記号 ※SD295 補強鉄線 径 (mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ・構造ガスケット 形状、寸法等 ・図示による 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による 断熱材 種類 ( ) 種類及び範囲 ※図示による 先付けの材料 ・表面仕上材 ・セラミックタイル ・石材 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ※±3mm 対角線長の差 ※0~5mm 版厚 ※±2mm 開口部内法寸法 ※±2mm ねじれ、反り ※0~5mm 曲がり ※0~3mm 面の凸凹 ※0~3mm 先付け金物の位置 ※0~5mm PCカーテンウォールの仕上げ 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ※図示による	製作 PC版の配筋 ※図示による 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±5mm 目地の心の通り ※0~3mm 目地両側の段差 ※0~4mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±5mm ガラスの取付け方法 ・ガラスの取付け材料が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う 18. ① 材料 (18.1.3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所: ) ② 素地ごしらえ (18.2.2~7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種 鉄鋼面 (DP以外) ※C種 ・A種 ・B種 鉄鋼面 (DPのみ) ※C種 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びせつこうプラスター面 ※B種 ・A種 コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 ※B種 ・A種 押出成形セメント板面 ※B種 ・A種 コンクリート面 (DPのみ) ※A種 ・B種 せつこうボード面及び 目地: 継目処理工法 ※A種 ・B種 その他ボード面 目地: 継目処理工法以外 ※B種 ・A種 ③ 錆止め塗料塗り (18.3.2, 3) 下地面 塗料の種類 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの工程 鉄鋼面 SOP A種 見え掛り: A種 DP C種及びD種 見え隠れ: B種 表18.3.4 EP-G ※B種 ・A種 見え掛り: A種 見え隠れ: B種 鋼製建具等: A種 上記以外: B種 亜鉛めっき鋼面 DP B種 表18.3.6 EP-G C種 鋼製建具等: A種 上記以外: B種 ④ 塗装 (18.4.1~18.12.2) 塗装 種別 塗料の種類 ○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※A種 ・B種 木部屋内 ※B種 ・A種 鉄鋼面 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 - ・クリヤラッカー塗り (CL) ※B種 ・A種 ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種 ・耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 - 上塗り塗料の等級 ( ) 級 亜鉛めっき鋼面 - 上塗り塗料の等級 ( ) 級 コンクリート面 ・A種 ・B種 押出成形セメント板面 ・C種 ○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面 モルタル面 ガラス面 ※B種 ・A種 せつこうボード面 その他ボード面等 屋内の鉄鋼面 鉄鋼面 ※B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ※B種 ・A種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※B種 ・A種 ・ステイン塗り ・ピグメント ステイン塗り ・オイルステイン塗り (OS) ・木材保護塗料塗り (WP) ※B種 ・A種 クリヤラッカー塗り A種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する (着色剤: ・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等
記			業務名称 館遷公民館移転改築工事設計業務	工事名称 館遷公民館改築工事 設計年月 令和7年3月
事			印 株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	図面名称 特記仕様書 (7) 縮尺 A1:- A3:- 図面番号 T-07

19 内装工事	① 接着剤	(19.2.2) ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・図示による	下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーベット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ○タイルカーベット	種類等	厚さ(mm)、規格等	④ 断熱材  (19.9.2~4) フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・断熱材打込み工法	モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種							
	② 下地の工法	(19.2.3) 標準仕様書19.2.3(7)~(9)以外の下地の工法 ・図示による	○タイルカーベット バイルの形状	種類	厚さ(mm)		種類	厚さ(mm)	施工箇所					
	③ ビニル床シート	(19.2.2、3)	種類	色柄	厚さ(mm)		備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所				
	④ ビニル床タイル	(19.2.2)	接合部の処理 ※熱溶接工法	種類	色柄		厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
	⑤ 特殊機能床材	(19.2.2)	帯電防止床シート 種類 ( ) 性能 ( ) 厚さ(mm) ( ) 帯電防止床タイル 種類 ( ) 性能 ( ) 寸法(mm) ( × ) 厚さ(mm) ( ) 視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 ( ) 形状 ( ) 耐動荷重性床シート 種類 ( ) 厚さ(mm) ( ) 防滑性床シート 種類 ( ) 厚さ(mm) ( ) 防滑性床タイル 種類 ( ) 寸法(mm) ( × ) 厚さ(mm) ( )	種類	色柄		寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所		
	⑥ ビニル幅木	(19.2.2)	材質の種類 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 75 100 厚さ(mm) ※1.5以上	種類	色柄		厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
	⑦ ゴム床タイル	(19.2.2)	種類 ・単層品 ・積層品 色柄 ( ) 厚さ(mm) ・3.0 4.5 6.0 9.0 寸法(mm) ( × )	種類	色柄		厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
	⑧ カーベット敷き	(19.3.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)	織じゅうたん	種類	色柄		厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
	⑨ 合成樹脂塗床	(19.4.2、3)(表19.4.4、5)	種別	施工箇所	工法		仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所	
	⑩ フローリング張り	(19.5.2~5)(表19.5.1~6)	種別	施工箇所	工法		仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所	
⑪ 畳敷き	(19.6.2)(表19.6.1)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
⑫ せっこうボード、その他のボード及び合板張り	(19.7.2、3)(表19.7.1)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
⑬ 壁紙張り	(19.8.2、3)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
⑭ ユニット及びその他の工事	(20.2.2)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
⑮ 移動間仕切	(20.2.3)	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性	防火性能	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所		
⑯ 移動間仕切	(20.2.4)	走行動向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ	パネル表面材	遮音性	防火性能	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所
⑰ 壁紙張り	(19.8.2、3)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
⑱ 畳敷き	(19.6.2)(表19.6.1)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
⑳ せっこうボード、その他のボード及び合板張り	(19.7.2、3)(表19.7.1)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			
㉑ 壁紙張り	(19.8.2、3)	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	種類	厚さ(mm)	備考	種類	厚さ(mm)	施工箇所			

設計年月	令和7年3月
図面名称	館議公民館改築工事
図面番号	特記仕様書(8)
縮尺	A1- A3-
設計者	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一

20 ユニットとその他の工事	④ トイレブース (20. 2. 5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td colspan="2">※メラミン樹脂系化粧板(標準色)</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> </tr> </table>	表面材の材料		脚部	ドアエッジ	※メラミン樹脂系化粧板(標準色)		※幅木タイプ	※製造所の仕様による	・ポリエステル樹脂系化粧板		・	・アルミニウム製 ・ステンレス製	13. ローラスクリーン (20. 2. 15)	<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ</th> <th>取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>・図示による</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p>	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ	取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・	・	⑫ 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">◎流し台</td> <td>・1200</td> <td>・550</td> <td>◎800</td> <td rowspan="3">市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・1500</td> <td>◎600</td> <td>・850</td> </tr> <tr> <td>◎1800</td> <td>・650</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">◎コンロ台</td> <td>◎600</td> <td>・550</td> <td>◎620</td> <td rowspan="3">市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・600</td> <td>・600</td> <td>・670</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎650</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">◎つり戸棚</td> <td>◎1200</td> <td>◎450</td> <td>◎500</td> <td rowspan="2">市販品</td> </tr> <tr> <td>・900</td> <td></td> <td>◎700</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・水切り</td> <td>・1200</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">市販品 ステンレス製 ※1段式</td> </tr> <tr> <td>・900</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・600</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>形状 ※図示による</p>	材質	寸法 (mm)			備考	W	D	H	◎流し台	・1200	・550	◎800	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・1500	◎600	・850	◎1800	・650		◎コンロ台	◎600	・550	◎620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・600	・600	・670		◎650		◎つり戸棚	◎1200	◎450	◎500	市販品	・900		◎700	・水切り	・1200	-	-	市販品 ステンレス製 ※1段式	・900			・600			⑬ 屋外掲示板	照明器具 ・有り ・無し ・無し
	表面材の材料		脚部	ドアエッジ																																																																													
	※メラミン樹脂系化粧板(標準色)		※幅木タイプ	※製造所の仕様による																																																																													
	・ポリエステル樹脂系化粧板		・	・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																													
	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ	取付箇所	品質等																																																																											
	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・	・																																																																											
	材質	寸法 (mm)			備考																																																																												
		W	D	H																																																																													
	◎流し台	・1200	・550	◎800	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																																												
		・1500	◎600	・850																																																																													
◎1800		・650																																																																															
◎コンロ台	◎600	・550	◎620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																													
	・600	・600	・670																																																																														
		◎650																																																																															
◎つり戸棚	◎1200	◎450	◎500	市販品																																																																													
	・900		◎700																																																																														
・水切り	・1200	-	-	市販品 ステンレス製 ※1段式																																																																													
	・900																																																																																
	・600																																																																																
⑤ 手すり (20. 2. 6)	<p>材料の種類及び仕上げ ◎SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14. 2. 2による種別 ( ) 種) ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14. 2. 1による種別 ( ) 種) 色合い・標準色 ( ) ・特注色 ( )</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 (材質: )</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製</td> <td></td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材質: )	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度			・ビニル製		・35程度 ・45程度			⑭ カーテン (20. 2. 16)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付け箇所</th> </tr> <tr> <td>・シングル ◎片引き ◎ダブル ◎引分け</td> <td>※手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ ◎箱ひだ、片ひだ ・ブレンひだ</td> <td>・遮光 ・防炎</td> <td>◎図示による</td> </tr> </table> <p>生地仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	・シングル ◎片引き ◎ダブル ◎引分け	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ◎箱ひだ、片ひだ ・ブレンひだ	・遮光 ・防炎	◎図示による	23. 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>※ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		⑭ 収納家具	合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による																																					
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																													
・集成材 (材質: )	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度																																																																															
・ビニル製		・35程度 ・45程度																																																																															
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所																																																																													
・シングル ◎片引き ◎ダブル ◎引分け	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ◎箱ひだ、片ひだ ・ブレンひだ	・遮光 ・防炎	◎図示による																																																																													
材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																												
※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																													
⑥ 階段滑り止め (20. 2. 7)	<p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ステンレス製</li> <li>・黄銅製押出型材</li> <li>・アルミニウム製押出型材</li> </ul> <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※タイヤ型(タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂等)</li> <li>・タイヤレス型</li> </ul> <p>寸法(幅)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・35mm程度</li> <li>・40mm程度</li> <li>・50mm程度</li> </ul> <p>取付け方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※接着工法</li> <li>・埋込み工法</li> </ul>	⑮ カーテンレール (20. 2. 16)	<p>材料による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材</li> <li>※ステンレス製</li> </ul> <p>強さによる区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※10-90</li> </ul> <p>仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※アルマイト</li> </ul> <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※角形</li> </ul>	23. 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>◎上下式 室内蔵式</td> <td>◎標準品 ・スプリング式</td> <td>◎ステンレス製</td> <td>◎図示</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	◎上下式 室内蔵式	◎標準品 ・スプリング式	◎ステンレス製	◎図示	⑭ 収納家具	<p>基礎の厚さ及び種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※接着剤</li> </ul> <p>側溝の形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>排水溝の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>砂地業に用いる材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルト</li> <li>・山砂</li> <li>・川砂</li> <li>・砕砂</li> </ul> <p>砂利地業に用いる材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生クラッシュラン</li> <li>・切込砂利又は切込砕石</li> <li>・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度(N/mm2) ※18 スランプ(cm) ※15又は18</li> </ul> <p>・現場打ちの場合の鉄筋種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類</li> <li>※SD295</li> </ul> <p>・排水枡が現場打ちの場合の足掛け金物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書21. 2. 2(6) (4)</li> <li>材質</li> <li>・ステンレス製</li> <li>・鋼製</li> <li>・合成樹脂被覆加工されたもの</li> </ul> <p>凍上抑制層に用いる材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>(砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul>																																																																		
形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																														
◎上下式 室内蔵式	◎標準品 ・スプリング式	◎ステンレス製	◎図示																																																																														
⑦ 黒板及びホワイトボード (20. 2. 9)	<p>・黒板</p> <p>区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※焼き付け</li> <li>種類</li> <li>※鋼製黒板</li> <li>・ほうろう黒板</li> </ul> <p>色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※緑</li> <li>◎ホワイトボード</li> </ul>	⑯ 天井点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>◎一般形 ◎屋内内用 ・気密形</td> <td>・額縁タイプ ※目地タイプ</td> <td>・額縁タイプ ※目地タイプ</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	◎一般形 ◎屋内内用 ・気密形	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ	⑮ 車止めさく	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>◎上下式 室内蔵式</td> <td>◎標準品 ・スプリング式</td> <td>◎ステンレス製</td> <td>◎図示</td> </tr> </table>	形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	◎上下式 室内蔵式	◎標準品 ・スプリング式	◎ステンレス製	◎図示	⑮ 車止めさく	<p>フェンスの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ビニル被覆エキスパンドフェンス</li> <li>・樹脂塗装メッシュフェンス</li> <li>・鋼管フェンス</li> <li>・アルミフェンス</li> </ul> <p>高さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul>																																																								
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																																													
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	◎一般形 ◎屋内内用 ・気密形	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ																																																																													
形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																														
◎上下式 室内蔵式	◎標準品 ・スプリング式	◎ステンレス製	◎図示																																																																														
⑧ 鏡 (20. 2. 10)	<p>取付け箇所 ( )</p> <p>寸法(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>厚さ(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※5</li> </ul>	⑰ 床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・450×450 ※600×600</td> <td>◎一般形 ◎密閉形 ◎屋内内用</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。</p>	材質	寸法	形式	備考	※アルミニウム製	・450×450 ※600×600	◎一般形 ◎密閉形 ◎屋内内用	・鍵付き	⑯ 車止めさく	<p>積み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※谷積み</li> <li>・布積み</li> </ul> <p>目塗り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>伸縮調整目地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材質</li> <li>・図示による</li> </ul> <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul>	⑯ 車止めさく	<p>間知石及びコンクリート間知ブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td>-</td> <td>・A ・B</td> <td>-</td> </tr> </table>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-	・コンクリート	-	・A ・B	-																																																						
材質	寸法	形式	備考																																																																														
※アルミニウム製	・450×450 ※600×600	◎一般形 ◎密閉形 ◎屋内内用	・鍵付き																																																																														
材質	種類	質量区分	備考																																																																														
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-																																																																														
・コンクリート	-	・A ・B	-																																																																														
⑨ 表示 (20. 2. 11)	<p>衝突防止表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎設置する (設置場所: ※図示による ( ))</li> <li>形状・寸法 ( ※30φ ( ))</li> <li>材質 ( ※ステンレス製 ( ))</li> <li>・設置しない</li> </ul> <p>誘導標識、非常用出入口等の表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※消防法に適合する市販品</li> <li>室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)</li> <li>※図示による</li> </ul>	⑱ 耐震スリット	<table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>幅(mm)</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直</td> <td>・25</td> <td>・完全(全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平</td> <td>・25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直	・25	・完全(全貫通型)	・耐火型	・有り ・無し		・水平	・25					⑰ 床点検口	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種	⑰ 床点検口	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																						
方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																												
・垂直	・25	・完全(全貫通型)	・耐火型	・有り ・無し																																																																													
・水平	・25																																																																																
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
⑩ タラップ (20. 2. 12)	<p>材質及び仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎SUS304 (スリット止め加工 ※あり なし)</li> <li>・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14. 2. 2による種別 ※C種 種)</li> </ul>	⑳ 止水板	<p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ)</td> <td>・シーリング材(見え掛り部のみ)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(mm)</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9. 7. 1による</p>	目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ)	目地寸法(mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10	⑱ 耐震スリット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																										
目地	内壁	外壁																																																																															
目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ)																																																																															
目地寸法(mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10																																																																															
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
⑪ 煙突ライニング (20. 2. 13)	<p>適用安全使用温度</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)</li> </ul>	㉑ くつふきマット	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製</td> <td></td> </tr> </table>	材質	受け枠	備考	※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製		⑱ 耐震スリット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																													
材質	受け枠	備考																																																																															
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製																																																																																
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
⑫ ブラインド (20. 2. 14)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> </tr> <tr> <td>◎横形</td> <td>◎手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※7ルミウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7ルミウム合金製 ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・7ルミウム合金製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ</li> <li>・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</li> </ul>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ取付箇所	◎横形	◎手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7ルミウム合金製	※25	※鋼製	・図示による		・電動							◎手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7ルミウム合金製 ・クロススラット	・80 ・100	・7ルミウム合金製	・図示による		・電動						⑳ 止水板	<p>形式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎差込式</li> <li>・据置式</li> <li>・壁張り式</li> </ul> <p>施工箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎図示による</li> </ul>	⑱ 耐震スリット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ取付箇所																																																																											
◎横形	◎手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7ルミウム合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																																											
	・電動																																																																																
	◎手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7ルミウム合金製 ・クロススラット	・80 ・100	・7ルミウム合金製	・図示による																																																																											
	・電動																																																																																
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				⑳ 止水板	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																			
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉑ くつふきマット	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製</td> <td></td> </tr> </table>	材質	受け枠	備考	※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製																																																																							
材質	受け枠	備考																																																																															
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	※ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製																																																																																
				㉒ 洗面カウンター	<p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎メラミン樹脂化粧板張り(心材: 集成材)</li> <li>・人工大理石</li> </ul> <p>奥行き(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約450</li> <li>・約600</li> </ul>																																																																												
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</li> </ul>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ(mm)	備考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	㉑ くつふきマット	<p>鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>◎鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種・2種・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種・5種・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種	・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																													
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																														
種類	材質	高さ(mm)	備考																																																																														
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																														
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																														
種類	規格等	JISによる種類																																																																															
◎鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種・2種・3種																																																																															
・鋼製物品棚		・4種・5種・6種																																																																															
				㉓ 防煙垂れ壁	<p>◎固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th></tr></table>	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																								
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																																																																														

21	排水工事	⑤ 埋戻し土 (21. 2. 1)	<p>①現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) ※ 18 スランプ (cm) ※ 15又は 18</p> <p>②現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 凍上抑制層に用いる材料 (砂を用いる場合の粒度試験) ・行方 ・行わない</p>	④ コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装の構成及び厚さ (22. 5. 2~4、6) (表22. 5. 1、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>○図示による</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示による</td> <td>※70</td> </tr> </table> <p>材料 コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 1による ・以下による コンクリートの種類 ( ) 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) ( ) 所定のスランプ (cm) (※8 ) 粗骨材の最大寸法 (mm) ( )</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する ※使用しない 注目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地 ※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による ・以下による 種類 間隔 ( )m程度ごと 構造 ・図示による</p> <p>舗装の平坦性 ※歩行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	○図示による	○図示による	歩行者用通路	・図示による	※70	<p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>張り方</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・花こう岩</td> <td rowspan="2">・割石 ・図示による</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・コンクリート版</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・アスファルト混合物</td> <td>※70</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) ・0. 5~1. 0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1. 5×10<sup>-1</sup>cm/sec以上</p> <p>種類 (22. 9. 2) ※A種 (施工範囲: ・図示による ※通路 ) ※B種 (施工範囲: ・図示による ※建物周囲その他 )</p>	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)	・花こう岩	・割石 ・図示による	・	・	・コンクリート版	※70	・アスファルト混合物	※70	<p>11. 新植、芝等の枯補償、移植木の枯損処理 (23. 3. 4、6) (23. 4. 7) (23. 5. 5)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯損処理を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し</p> <p>12. 屋上緑化 (23. 5. 2~4)</p> <p>植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示による 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ: ) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による</p> <p>支柱 ・設置する ・設置しない 形式 ・図示による かん水装置 ・設置する ・設置しない 種類 ・図示による</p>																																																																																																																																																														
		舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																									
コンクリート舗装	車路及び駐車場	○図示による	○図示による																																																																																																																																																																																											
	歩行者用通路	・図示による	※70																																																																																																																																																																																											
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																									
・花こう岩	・割石 ・図示による	・	・	・コンクリート版	※70																																																																																																																																																																																									
				・アスファルト混合物	※70																																																																																																																																																																																									
22	舗装工事	<p>① 路床 (22. 2. 2、3、5) (表22. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>◎盛土</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層 標準仕様書22. 2. 3. (3)による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行方 ※行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (CBR ・3以上 ) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) ・0. 5~1. 0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1. 5×10<sup>-1</sup>cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行方 ※行わない 路床締固め度の試験 ※行方 ・行わない 現場CBR試験 ・行方 ・行わない</p> <p>② 路盤 (22. 3. 2、3) (表 22. 3. 1)</p> <p>路盤の厚さ ◎図示による 路盤材料 (標準仕様書表22. 3. 1による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>③ アスファルト舗装 (22. 4. 2~6) (表 22. 4. 4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による</p> <p>材料 アスファルト ◎再生アスファルト (標準仕様書表22. 4. 1による種類: ・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ◎アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類 ◎密粒度アスファルト混合物 (I3) ・細粒度アスファルト混合物 (I3) ・密粒度アスファルト混合物 (I3F)</p> <p>舗装の平坦性 ※歩行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行方 ※行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	◎盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)	・図示による	・フィルター層 標準仕様書22. 2. 3. (3)による	・図示による	<p>5. カラー舗装 (22. 6. 2~4)</p> <p>・加熱系カラー舗装 構成・厚さ ・図示による 加熱系混合物の結合材 ※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 ( %) 添加材 着色骨材 ( ) 自然石 ( ) ・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 (配合その他: ) ・塗布工法 (配合その他: ) 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>舗装の平坦性 ※歩行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>6. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2、3、6)</p> <p>舗装の構成 ・図示による</p> <p>材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 (標準仕様書表22. 4. 1による種類: ・60~80 ・80~100)</p> <p>舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行方 ※行わない</p> <p>7. ブロック系舗装 (22. 8. 2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たき出し</td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td rowspan="2">車路</td> <td rowspan="2">・図示による</td> <td rowspan="2">※80</td> <td rowspan="2">※5. 0</td> <td rowspan="2">表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td rowspan="2">歩行者用通路</td> <td rowspan="2">・図示による</td> <td rowspan="2">※60</td> <td rowspan="2">※3. 0</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工	・透水性ブロック (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し					・たき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	備考	※普通ブロック (N)	車路	・図示による	※80	※5. 0	表面加工	・透水性ブロック (P)	・保水性ブロック (M)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3. 0		※普通ブロック (N)	・透水性ブロック (P)						・保水性ブロック (M)						<p>8. 砂利敷き (22. 9. 2)</p> <p>種類 (22. 9. 2) ※A種 (施工範囲: ・図示による ※通路 ) ※B種 (施工範囲: ・図示による ※建物周囲その他 )</p> <p>⑤ 植栽及び屋上緑化工事</p> <p>1. 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行方 ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行方 ・行わない</p> <p>2. 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>樹木の植栽基盤の整備 ・適用する ・適用しない</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・樹木</td> <td>※A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・葉張り部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>(※100 ・120 ・150)</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>(※80 ・100)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満 (※50 ・60)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td></td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示による</td> <td>・適用しない</td> </tr> </table> <p>植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示による ) ・設けない</p> <p>3. 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土</p> <p>4. 土壌改良材 (23. 2. 3)</p> <p>種類及び指定量等 ・パーク堆肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ) ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L )</p> <p>5. 樹木 (23. 3. 2)</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※図示による</p> <p>6. 支柱 (23. 3. 2、3)</p> <p>支柱材 ※丸太 (間伐材) ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示による</p> <p>7. 幹巻き用材料 (23. 3. 2)</p> <p>材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも</p> <p>⑧ 芝 (23. 4. 2、3)</p> <p>種類 ※コウライシバ ・ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ※べた張り法面 ・目地張り</p> <p>9. 吹付けは種 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>10. 地被類 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する	・B種	(※100 ・120 ・150)	・植栽部分	・適用しない	・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示による		・D種	(※80 ・100)					樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)					樹高3m未満 (※50 ・60)			※B種	※20		・植栽部分	・適用する	・	・	・	・図示による	・適用しない	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m <sup>2</sup> )	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上							樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・	・	・	・					<p>24 総揮発性有機化合物 (TVOC) (測定仕様書)</p> <p>1. 一般事項</p> <p>試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。</p> <p>2. 測定対象化学物質</p> <p>測定対象化学物質は、下記 4. 1)、2)の区分に従い、表の①から⑯の 14 物質及び TVOC とする。</p> <p>3. 測定方法</p> <p>1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値を TVOC 濃度とする。</p> <p>2) トルエン換算で 2.0 μg/m<sup>3</sup> 未満のピークは測定の対象としない。</p> <p>3) 上位 10 ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値</th> </tr> <tr> <th>化学物質名</th> <th colspan="2">室内濃度指針値</th> </tr> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 08 ppm</td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 07 ppm</td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>200 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 05 ppm</td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>3, 800 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 88 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑤ステレン</td> <td>220 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 05 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑦テトラデカン</td> <td>330 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 03 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑨ノナナール</td> <td>(暫定)141 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>17 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 0015 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>100 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 0063 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑫クロロピリロソ</td> <td>1 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 00007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0. 29 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 00002 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑭フェノプロカルブ</td> <td>33 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0. 0038 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)</td> <td>400 μg/m<sup>3</sup></td> <td>(暫定目標値)</td> </tr> </table> <p>4. 測定する室</p> <p>1) 14 物質及び TVOC 濃度を測定する室等 ・室名:</p> <p>2) 9 物質及び TVOC 濃度を測定する室 ・室名: ・ 屋外 (周囲の建物から離れた場所 1 か所)</p> <p>5. 測定結果等報告書の提出</p> <p>次の事項を記載した報告書を 2 部提出する。 1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が 20°C に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で 20°C、湿度 50% に、ホルムアルデヒドについては 25°C、湿度 50% に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況 (気温・湿度 (屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC 濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し</p> <p>6. その他</p> <p>表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOC の測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。</p>	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値			化学物質名	室内濃度指針値		①ホルムアルデヒド	100 μg/m <sup>3</sup>	0. 08 ppm	②トルエン	260 μg/m <sup>3</sup>	0. 07 ppm	③キシレン	200 μg/m <sup>3</sup>	0. 05 ppm	④エチルベンゼン	3, 800 μg/m <sup>3</sup>	0. 88 ppm	⑤ステレン	220 μg/m <sup>3</sup>	0. 05 ppm	⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m <sup>3</sup>	0. 04 ppm	⑦テトラデカン	330 μg/m <sup>3</sup>	0. 04 ppm	⑧アセトアルデヒド	48 μg/m <sup>3</sup>	0. 03 ppm	⑨ノナナール	(暫定)141 μg/m <sup>3</sup>	0. 007 ppm	⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m <sup>3</sup>	0. 0015 ppm	⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m <sup>3</sup>	0. 0063 ppm	⑫クロロピリロソ	1 μg/m <sup>3</sup>	0. 00007 ppm	⑬ダイアジノン	0. 29 μg/m <sup>3</sup>	0. 00002 ppm	⑭フェノプロカルブ	33 μg/m <sup>3</sup>	0. 0038 ppm	⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m <sup>3</sup>	(暫定目標値)
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																												
◎盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による																																																																																																																																																																																												
・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)	・図示による																																																																																																																																																																																												
	・フィルター層 標準仕様書22. 2. 3. (3)による	・図示による																																																																																																																																																																																												
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																																										
・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工																																																																																																																																																																																										
・透水性ブロック (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し																																																																																																																																																																																										
・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し																																																																																																																																																																																										
				・たき出し																																																																																																																																																																																										
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																																									
※普通ブロック (N)	車路	・図示による	※80	※5. 0	表面加工																																																																																																																																																																																									
・透水性ブロック (P)																																																																																																																																																																																														
・保水性ブロック (M)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3. 0																																																																																																																																																																																										
※普通ブロック (N)																																																																																																																																																																																														
・透水性ブロック (P)																																																																																																																																																																																														
・保水性ブロック (M)																																																																																																																																																																																														
植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																										
・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する																																																																																																																																																																																										
	・B種	(※100 ・120 ・150)	・植栽部分	・適用しない																																																																																																																																																																																										
	・C種	樹高7m以上~12m未満	・図示による																																																																																																																																																																																											
	・D種	(※80 ・100)																																																																																																																																																																																												
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)																																																																																																																																																																																												
		樹高3m未満 (※50 ・60)																																																																																																																																																																																												
※B種	※20		・植栽部分	・適用する																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・図示による	・適用しない																																																																																																																																																																																										
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																																											
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																																																																																																																																																													
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																																																																																																											
表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値																																																																																																																																																																																														
化学物質名	室内濃度指針値																																																																																																																																																																																													
①ホルムアルデヒド	100 μg/m <sup>3</sup>	0. 08 ppm																																																																																																																																																																																												
②トルエン	260 μg/m <sup>3</sup>	0. 07 ppm																																																																																																																																																																																												
③キシレン	200 μg/m <sup>3</sup>	0. 05 ppm																																																																																																																																																																																												
④エチルベンゼン	3, 800 μg/m <sup>3</sup>	0. 88 ppm																																																																																																																																																																																												
⑤ステレン	220 μg/m <sup>3</sup>	0. 05 ppm																																																																																																																																																																																												
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m <sup>3</sup>	0. 04 ppm																																																																																																																																																																																												
⑦テトラデカン	330 μg/m <sup>3</sup>	0. 04 ppm																																																																																																																																																																																												
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m <sup>3</sup>	0. 03 ppm																																																																																																																																																																																												
⑨ノナナール	(暫定)141 μg/m <sup>3</sup>	0. 007 ppm																																																																																																																																																																																												
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m <sup>3</sup>	0. 0015 ppm																																																																																																																																																																																												
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m <sup>3</sup>	0. 0063 ppm																																																																																																																																																																																												
⑫クロロピリロソ	1 μg/m <sup>3</sup>	0. 00007 ppm																																																																																																																																																																																												
⑬ダイアジノン	0. 29 μg/m <sup>3</sup>	0. 00002 ppm																																																																																																																																																																																												
⑭フェノプロカルブ	33 μg/m <sup>3</sup>	0. 0038 ppm																																																																																																																																																																																												
⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m <sup>3</sup>	(暫定目標値)																																																																																																																																																																																												
記				業務名称	館歴公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館歴公民館改築工事	設計年月	令和 7 年 3 月																																																																																																																																																																																					
事				印	株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第 98900 号 折原 幸一	図面名称	特記仕様書 (10)	図面番号	T-10																																																																																																																																																																																					

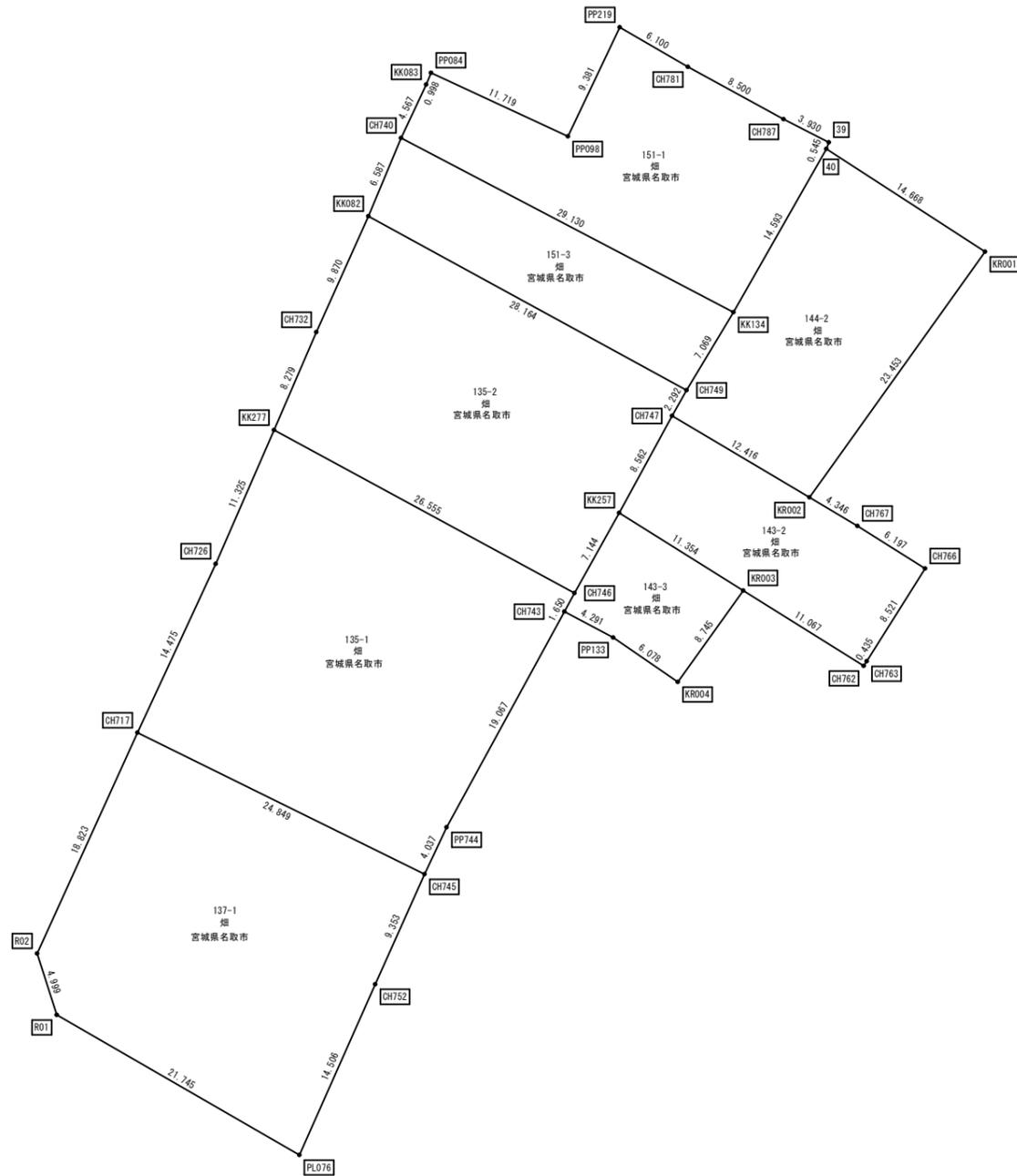
工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目 名称	区分 摘要	建電機		備考
		築	機	
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠	●	●	墨出し、補修除く
〃	壁スリーブ入れ	●	●	ボイド等
〃	床スラブ木製型枠	●	●	墨出し、補修除く
〃	床スラブスリーブ入れ	●	●	ボイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●	●	
配管ダクト類の防水		●		
貫通部補修		●		
A L Cパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	●		
P C版の穴あけ	スリーブ入れ	●		
同上補修		●	●	モルタル充てん等
インサート	P C版	●		
インサート	コンクリート床	●	●	
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●	●	ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部	●		照明器具等
〃	機械設備関係開口部	●	●	空調吹出口
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●		照明器具、空調吹出口 給排気ガラリ等
開口補強を必要としない ボード等の切開		●	●	ボード切込、墨出し共
特殊仕上材の天井、壁、 床に取付ける器具等の 穴あけ加工		●		石、金属パネル等
壁等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●		
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●	●	墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	モルタル充てん等
機器・配管取付後の 壁、床等の補修		●	●	
機器・配管取付後の 壁、床等の補修	鉄筋溶接、補強筋入れが無いもの	●	●	モルタル充てん、メクラプレート等
〃	鉄筋溶接、補強筋入れが有るもの	●	●	
流し台（造り付け）		●		水切り板、同穴あけ共
流し台、ミニキッチン本体、 水切	ステンレス製	●		水切り板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用（水栓類、排水金具含む）	●	●	
流し台	陶器製	●	●	
洗面器等取付化粧板		●		
ルーフドレン		●		
堅礎	防露工事共	●		第1樹までの配管
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管	●		第1樹を含む
〃	幹線の配管	●		
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管	●	●	第1樹までの配管
〃	第1樹から排水幹線までの配管	●	●	第1樹を含む
〃	幹線の配管	●	●	
大型機械基礎		●		
同上基礎上鉄骨架台		●	●	
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器	●	●	墨出し、型枠入れ共
〃	自家発電機等電気設備関係機器	●	●	墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共	●	●	
屋外自立盤の基礎	既製品、無塵コンクリート等、仕上げ共	●	●	
屋外貯油槽	建物の構造に関わるもの、仕上げ共	●	●	
共同溝	地下式	●	●	
建物、共同溝接続トレンチ	歩床コンクリート	●		
同上接続部止水板		●		
各種槽類	コンクリート製	●		
〃	S U S、FRP、鋼製	●	●	
〃	屋外大型のもの基礎	●		
〃	屋上設置のもの基礎	●	●	
換気扇取付	ダクトのあるもの	●	●	天井扇等
〃	壁、サッシ等への取付（材共）	●	●	フード取付共
同上用スイッチ		●		
同上用電源配線		●		
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●		
全熱交換器		●	●	
同上用スイッチ		●		
外壁取付ガラリ	給排気用	●		
内壁取付ガラリ		●		遮光ガラリ共
ガラリへの給排気 ダクト接続		●	●	
煙感知器連動防火戸		●		
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共	●		
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共	●		
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①	●	●	
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	●		

項目 名称	区分 摘要	建電機		備考
		築	機	
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③	●		
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	●		
制御盤	制御盤以降の配管、配線共	●	●	
同上接続（一次側）	制御盤主開閉器までの配管配線	●		接地共
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤	●	●	
屋内消火栓起動リレー		●		
同上表示灯及び起動装置		●	●	内栓組込型のみ機械※
自動火災報知器		●		
連絡送水口	座板共	●	●	
独立煙突		●		
同上煙道	鋼板製	●	●	
同上雷保護設備		●		
配管配線用ビット		●		
盤、配管、ダクト、 配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	●		
コンクリートシャフト		●		
点検口		●		
天井フック		●		
機械室、電気室の 防音遮音処理		●		
特殊サイズ鏡		●		
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く	●	●	
雷保護設備		●		
保守管理用タラップ、 はしご		●		トレンチ、床下部
室内テレビ用吊金物		●		
テレビアンテナ	取付共	●	●	
同上用基礎		●		
グリストラップ及び ガソリントラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製	●	●	
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押釦取付共	●		
同上用電源配線	一次側接続まで	●		
自動扉の配管配線	二次側	●		
同上用電源配線	一次側接続まで	●		
電気錠操作盤	読取装置共			通常、工事では通線用の 空管のみ取付
同上配管配線				通常、工事では電気錠 本体と空管のみ取付
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む		●	
同上用電源配線	一次側接続まで	●		
同上用信号線	各メーターから装置まで	●	●	各設備取付分について
ユニットバス本体		●		
同上用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線共	●		
同上用配管	接続まで	●		
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、 シールド、防音、 無響室等の内装	現場製作			
同上用電源配線	一次側接続まで			特殊室については、 関係工事が多岐に渡る ため、工事を行う際に、 各担当と協議の上、重 複・抜けが無いように 工事区分を決定する こと。
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共			
同上用配管	接続まで			
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、 シールド、防音、 無響室等の内装	プレハブ型			
同上用電源配線	一次側接続まで			
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共			
同上用配管	接続まで			

項目 名称	区分 摘要	建電機		備考
		築	機	
昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで （トロ詰め）			●
同上用機械室	天井フック、床シッターコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共	●		
同上用監視盤				●
同上換気扇取付				●
機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共		●	
各種信号用制御線	停電用、火災用等		●	
三方枠周囲の壁仕上		●		
各階出入口用開口	救急取付持出し共	●		
昇降路内中間ビーム設置				●
ビッド内防水		●		
動力、照明電源、 接地引き込み			●	
コンセント設置	ビッド内、機械室内		●	
インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共		●	
非常放送用スピーカー			●	E V 組込のみE V
同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共		●	
監視カメラ			●	E V 組込のみE V
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共		●	
点検用タラップ	ビッド内			●



地番 135-1			
測点	X	Y	辺長
KK277	-205366.202	4183.916	26.555
CH746	-205378.870	4207.255	1.650
CH743	-205380.316	4206.460	19.067
PP744	-205397.054	4197.328	4.037
CH745	-205400.703	4195.600	24.849
CH717	-205389.720	4173.309	14.475
CH726	-205376.580	4179.382	11.325
倍面積	-1289.5900030		
面積	644.7950015		

地番 135-2			
測点	X	Y	辺長
KK082	-205349.596	4191.242	28.164
CH749	-205363.111	4215.952	2.292
CH747	-205365.103	4214.818	8.562
KK257	-205372.625	4210.726	7.144
CH746	-205378.870	4207.255	26.555
KK277	-205366.202	4183.916	8.279
CH732	-205358.604	4187.206	9.870
倍面積	-988.3552950		
面積	494.1776475		

地番 137-1			
測点	X	Y	辺長
CH717	-205389.720	4173.309	24.849
CH745	-205400.703	4195.600	9.353
CH752	-205409.239	4191.775	14.506
PL076	-205422.493	4185.879	21.745
R01	-205411.618	4167.048	4.999
R02	-205406.857	4165.521	18.823
倍面積	-1135.8148190		
面積	567.9074095		

地番 143-2			
測点	X	Y	辺長
KR002	-205371.428	4225.503	4.346
CH767	-205373.642	4229.243	6.197
CH766	-205376.943	4234.488	8.521
CH763	-205384.159	4229.955	0.435
CH762	-205384.530	4229.727	11.067
KR003	-205378.654	4220.348	11.354
KK257	-205372.625	4210.726	8.562
CH747	-205365.103	4214.818	12.416
倍面積	-400.0488960		
面積	200.0244480		

地番 143-3			
測点	X	Y	辺長
KK257	-205372.625	4210.726	11.354
KR003	-205378.654	4220.348	8.745
KR004	-205385.768	4215.261	6.078
PP133	-205382.318	4210.256	4.291
CH743	-205380.316	4206.460	1.650
CH746	-205378.870	4207.255	7.144
倍面積	-187.0452550		
面積	93.5226275		

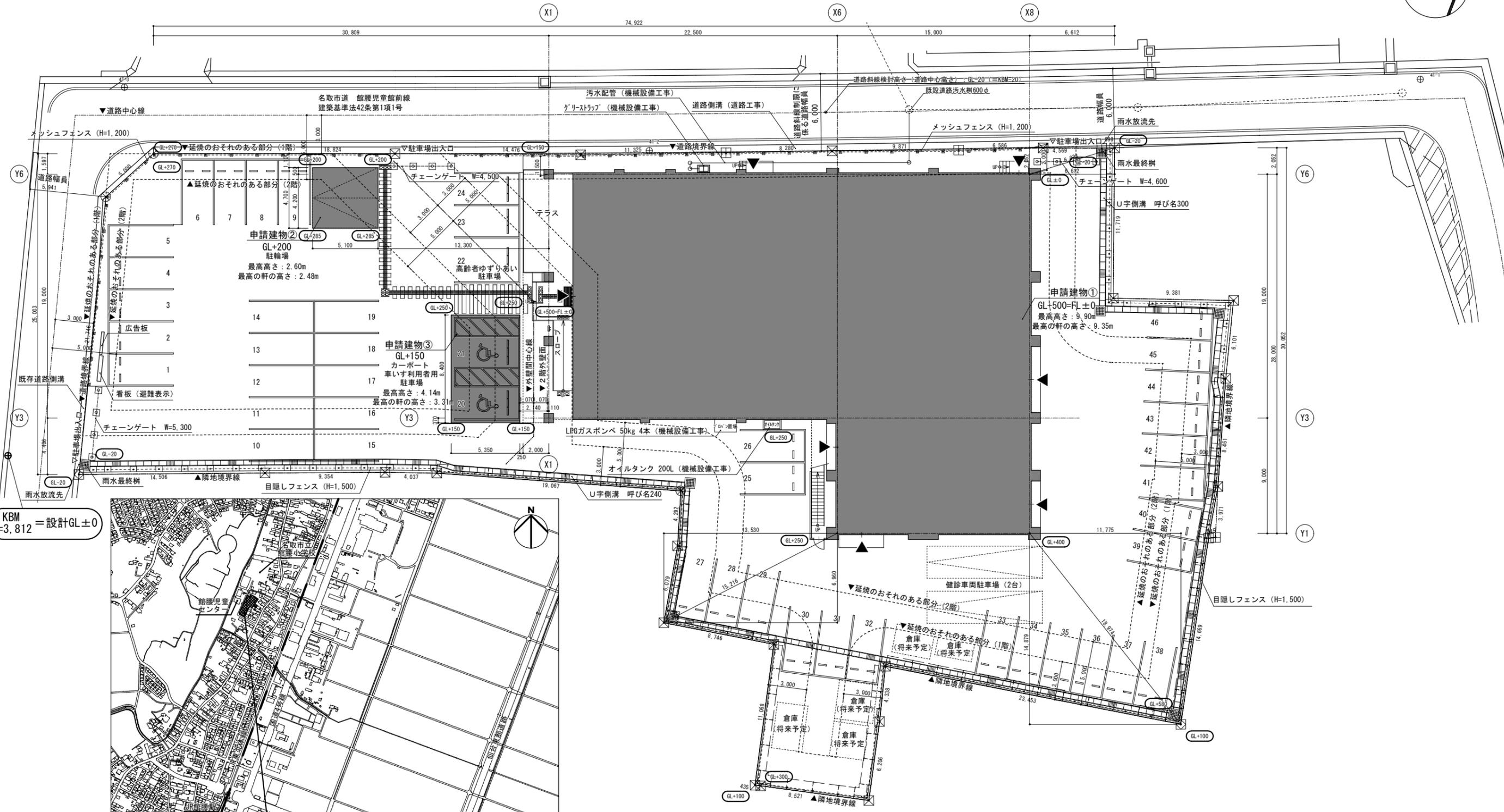
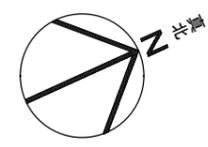
地番 144-2			
測点	X	Y	辺長
40	-205344.380	4226.832	14.668
KR001	-205352.351	4239.146	23.453
KR002	-205371.428	4225.503	12.416
CH747	-205365.103	4214.818	2.292
CH749	-205363.111	4215.952	7.069
KK134	-205357.045	4219.582	14.593
倍面積	-639.5128920		
面積	319.7564460		

地番 151-1			
測点	X	Y	辺長
40	-205344.380	4226.832	14.593
KK134	-205357.045	4219.582	29.130
CH740	-205343.518	4193.783	4.567
KK083	-205339.383	4195.724	0.998
PP084	-205338.461	4196.106	11.719
PP098	-205343.403	4206.732	9.381
PP219	-205334.935	4210.770	6.100
CH781	-205338.005	4216.042	8.500
CH787	-205342.070	4223.508	3.390
39	-205343.863	4227.006	0.545
倍面積	-685.2741480		
面積	342.6370740		

地番 151-3			
測点	X	Y	辺長
CH740	-205343.518	4193.783	29.130
KK134	-205357.045	4219.582	7.069
CH749	-205363.111	4215.952	28.164
KK082	-205349.596	4191.242	6.587
倍面積	-390.1287390		
面積	195.0643695		

地番	面積
135-1	644.7950015
135-2	494.1776475
137-1	567.9074095
143-2	200.0244480
143-3	93.5226275
144-2	319.7564460
151-1	342.6370740
151-3	195.0643695
面積	2,857.8850235
地積	2,857.88 m <sup>2</sup>

敷地面積 2,857.88 m<sup>2</sup>



KBM  
H=3.812 = 設計GL±0



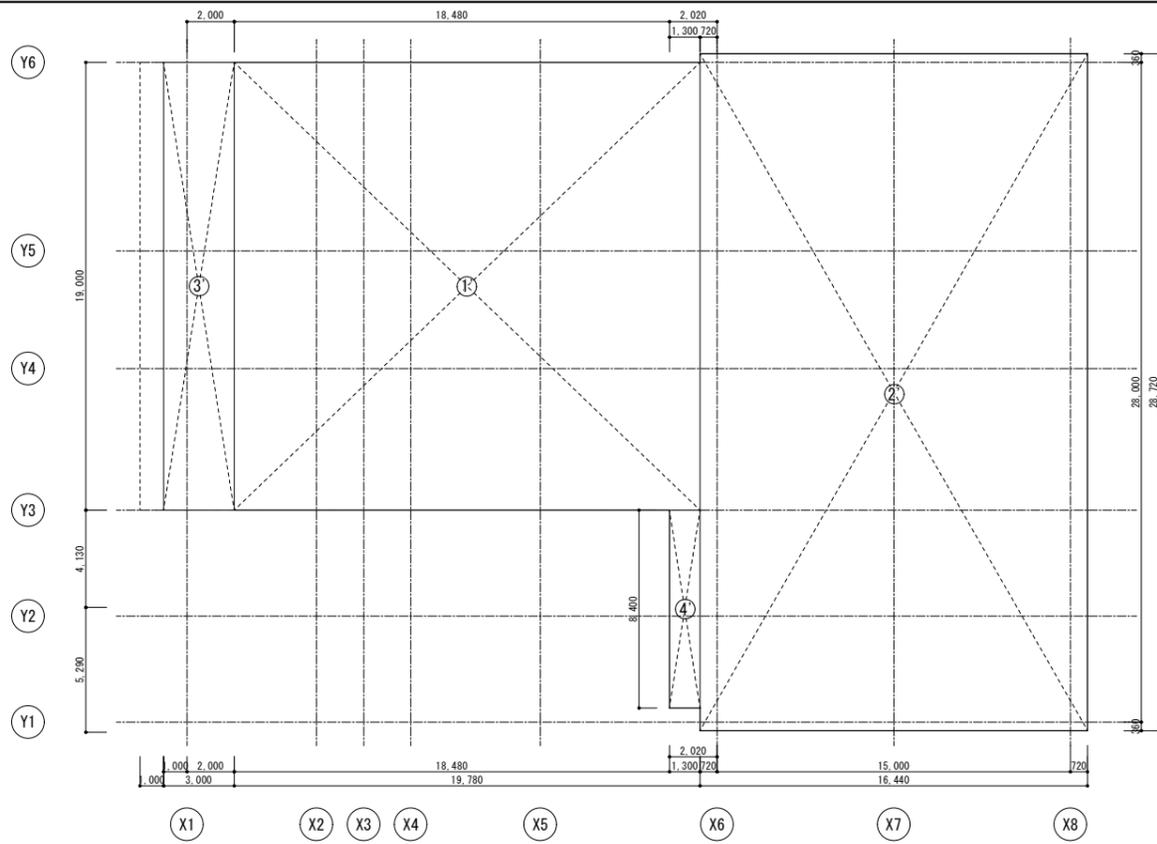
計画地：宮城県名取市植松三丁目135-1地

案内図 NS

配置図 1/150

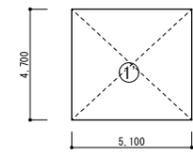
- GL+000 : 内数字は設計GL (KBM) からの高さを示す。  
《地盤面について》  
各棟の建物周囲レベルのうち最も低いものを平均地盤面とする。
- 申請建物①公民館：平均地盤面=GL±0 (=KBM)
- 申請建物②駐輪場：平均地盤面=GL+200 (=KBM+200)
- 申請建物③カーポート：平均地盤面=GL+150 (=KBM+150)

記 号	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	案内図・配置図	縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300	図面番号	A-03
	株式会社 東北線企画	一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一				



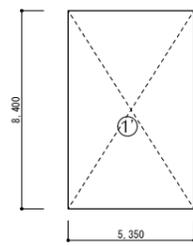
○1'	19.780 × 19.000	375.8200
○2'	16.440 × 28.720	472.1568
○3'	3.000 × 19.000	57.0000
○4'	1.300 × 8.400	10.9200
建築面積	A	915.89

館腰公民館 建築面積求積図  
A1 : S=1/150 A3 : S=1/300



○1'	5.100 × 4.700	23.97
建築面積	B	23.97

駐輪場 建築面積求積図  
A1 : S=1/150 A3 : S=1/300

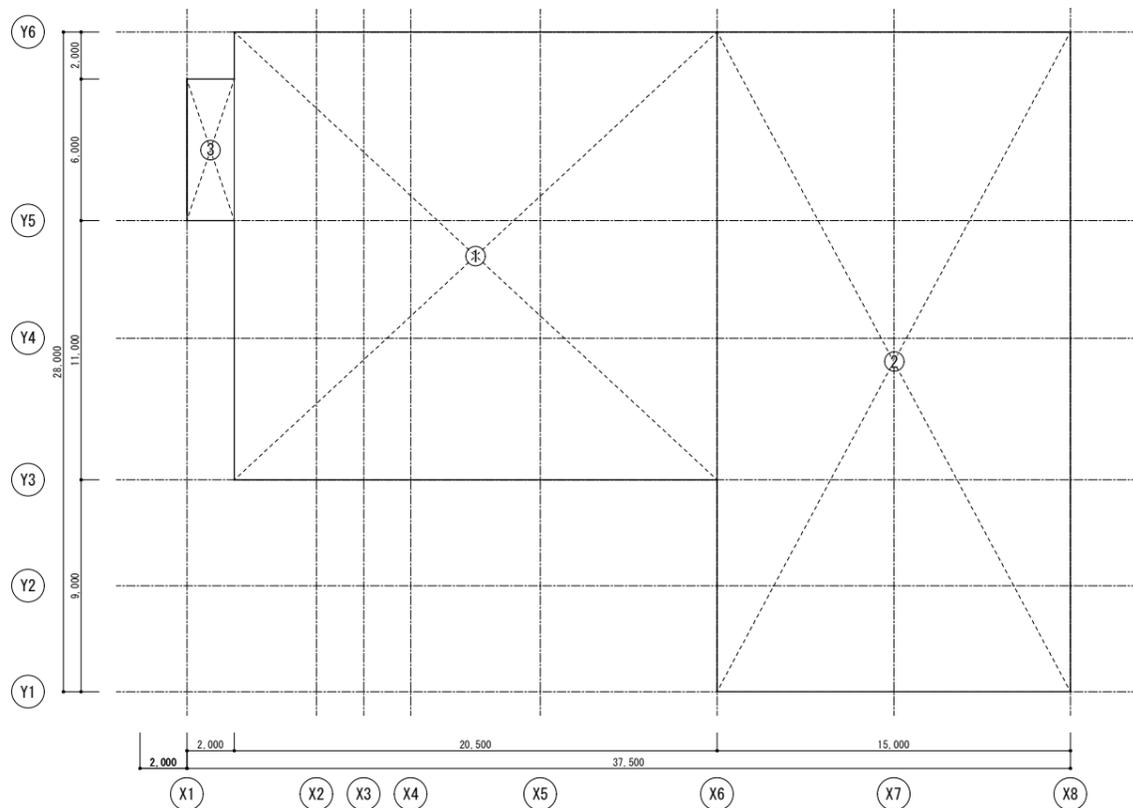


○1'	5.350 × 8.400	44.94
建築面積	C	44.94

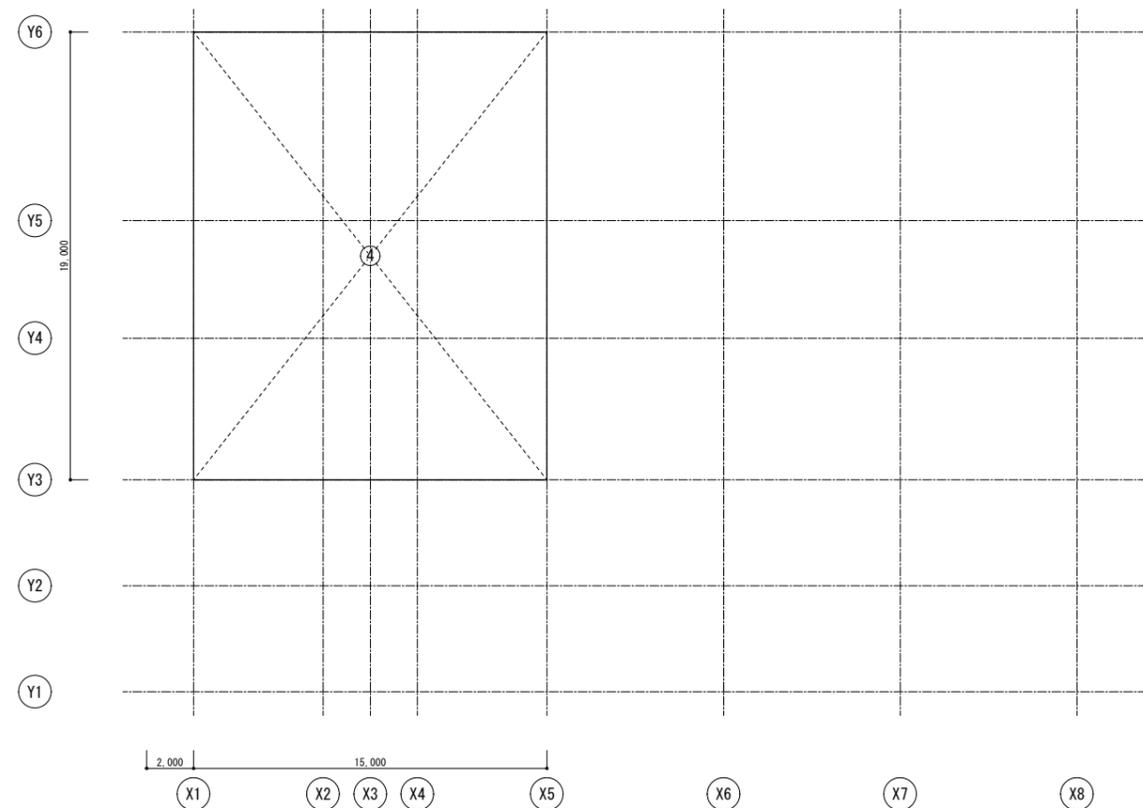
カーポート 建築面積求積図  
A1 : S=1/150 A3 : S=1/300

○面積一覧表

	公民館	カーポート	駐輪場	計
建築面積	915.89	44.94	23.97	984.80
延べ床面積	2階			285.00
	1階	821.50	44.94	890.41
	計	1,106.50	44.94	1,175.41



館腰公民館 1階床面積 面積求積図  
A1 : S=1/150 A3 : S=1/300



館腰公民館 2階床面積 面積求積図  
A1 : S=1/150 A3 : S=1/300

1階床面積		
○1	20.500 × 19.000	389.50
○2	15.000 × 28.000	420.00
○3	2.000 × 6.000	12.00
合計		821.50
2階床面積		
○4	15.000 × 19.000	285.00
合計		285.00
延べ面積		1106.50

1階 面積表

室名	通し番号	室面積 (A)			
		W	D	㎡	㎡
事務室	1	5.170 × 3.305	=	17.086850	43.499
	2	4.600 × 2.695	=	12.397000	
	3	1.350 × 1.960	=	2.646000	
	4	0.550 × 0.735	=	0.404250	
	40	5.900 × 1.500	=	8.850000	
給湯室	5	1.900 × 2.850	=	5.415000	5.684
	44	0.100 × 2.695	=	0.269500	
更衣室	6	1.850 × 2.695	=	4.985750	4.985
	7	3.500 × 2.000	=	7.000000	
風除室	8	3.830 × 2.750	=	10.532500	19.910
	9	3.170 × 0.750	=	2.377500	
	10	7.040 × 6.000	=	42.240000	
ロビー兼図書室	11	0.850 × 5.240	=	4.454000	46.694
	12	7.610 × 8.330	=	63.391300	
調理室	13	2.17 × 0.57	=	1.236900	64.628
	14	4.080 × 7.670	=	31.293600	
和室	15	0.920 × 6.810	=	6.265200	37.558
	16	2.390 × 1.230	=	2.939700	
物入	48	2.610 × 1.230	=	3.210300	3.210

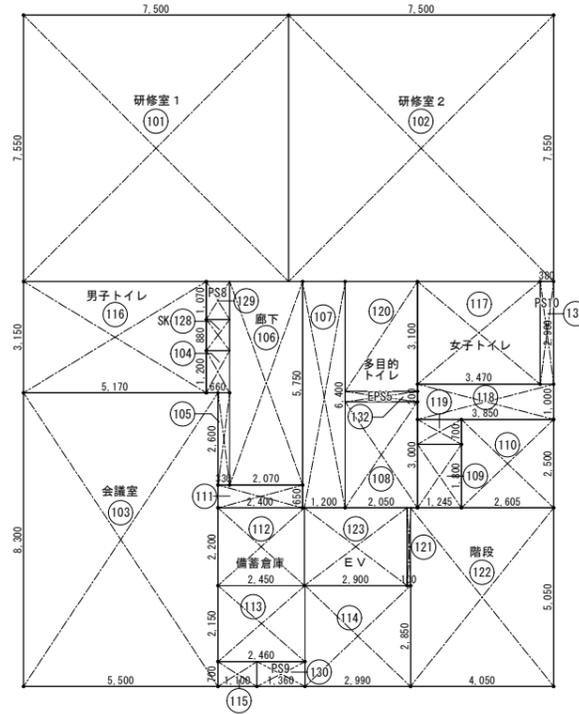
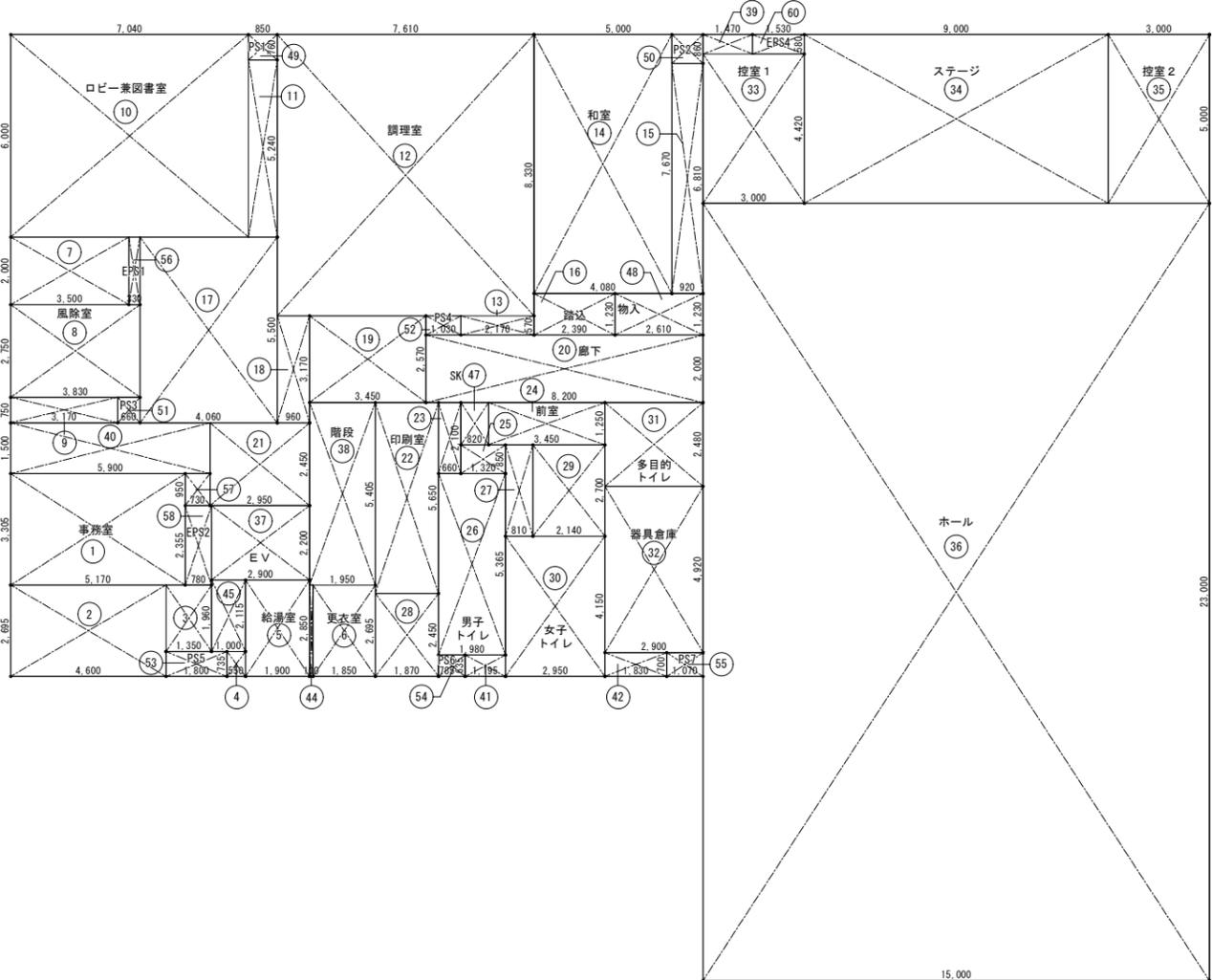
室名	通し番号	室面積 (A)			
		W	D	㎡	㎡
廊下	17	4.060 × 5.5	=	22.330000	57.867
	18	0.960 × 3.170	=	3.043200	
	19	3.450 × 2.570	=	8.866500	
	20	8.200 × 2.000	=	16.400000	
	21	2.950 × 2.450	=	7.227500	
印刷室	22	1.870 × 5.650	=	10.565500	11.951
	23	0.660 × 2.100	=	1.386000	
前室	24	3.450 × 1.250	=	4.312500	4.312
男子トイレ	25	1.320 × 0.850	=	1.122000	19.272
	26	1.980 × 5.365	=	10.622700	
	27	0.810 × 2.700	=	2.187000	
	28	1.870 × 2.450	=	4.581500	
	41	1.195 × 0.635	=	0.758825	
	29	2.140 × 2.700	=	5.778000	
	30	2.950 × 4.150	=	12.242500	
女子トイレ	31	2.900 × 2.480	=	7.192000	7.192
多目的トイレ	32	2.900 × 4.920	=	14.268000	14.268
器具倉庫	42	1.830 × 0.700	=	1.281000	15.549
	33	3.000 × 4.420	=	13.260000	
控室 1	39	1.470 × 0.580	=	0.852600	14.112

室名	通し番号	室面積 (A)			
		W	D	㎡	㎡
控室 2	35	3.000 × 5.000	=	15.000000	15.000
ステージ	34	9.000 × 5.000	=	45.000000	45.000
ホール	36	15.000 × 23.000	=	345.000000	345.000
EV	37	2.900 × 2.200	=	6.380000	6.380
階段	38	1.950 × 5.405	=	10.539750	10.539
SK	47	0.820 × 1.250	=	1.025000	1.025
PS1	49	0.850 × 0.760	=	0.646000	0.646
PS2	50	0.920 × 0.860	=	0.791200	0.791
PS3	51	0.660 × 0.750	=	0.495000	0.495
PS4	52	1.030 × 0.570	=	0.587100	0.587
PS5	53	1.800 × 0.735	=	1.323000	1.323
PS6	54	0.785 × 0.635	=	0.498475	0.498
PS7	55	1.070 × 0.700	=	0.749000	0.749
EPS1	56	0.330 × 2.000	=	0.660000	0.660
EPS2	57	0.730 × 0.950	=	0.693500	0.6935
EPS4	58	0.780 × 2.355	=	1.836900	2.530
	60	1.530 × 0.580	=	0.887400	

2階 面積表

室名	通し番号	室面積 (A)			
		W	D	㎡	㎡
研修室 1	101	7.500 × 7.550	=	56.625000	56.625
研修室 2	102	7.500 × 7.550	=	56.625000	56.625
会議室	103	5.500 × 8.300	=	45.650000	45.650
廊下	104	0.660 × 1.200	=	0.792000	36.136
	105	0.330 × 2.600	=	0.858000	
	106	2.070 × 5.750	=	11.902500	
	107	1.200 × 6.400	=	7.680000	
	108	2.050 × 3.000	=	6.150000	
	109	1.245 × 1.800	=	2.241000	
	110	2.605 × 2.500	=	6.512500	
	111	2.400 × 0.650	=	1.560000	
	112	2.450 × 2.200	=	5.390000	
	113	2.460 × 2.150	=	5.289000	
備蓄倉庫	114	2.990 × 2.850	=	8.521500	21.530
	115	1.100 × 0.700	=	0.770000	

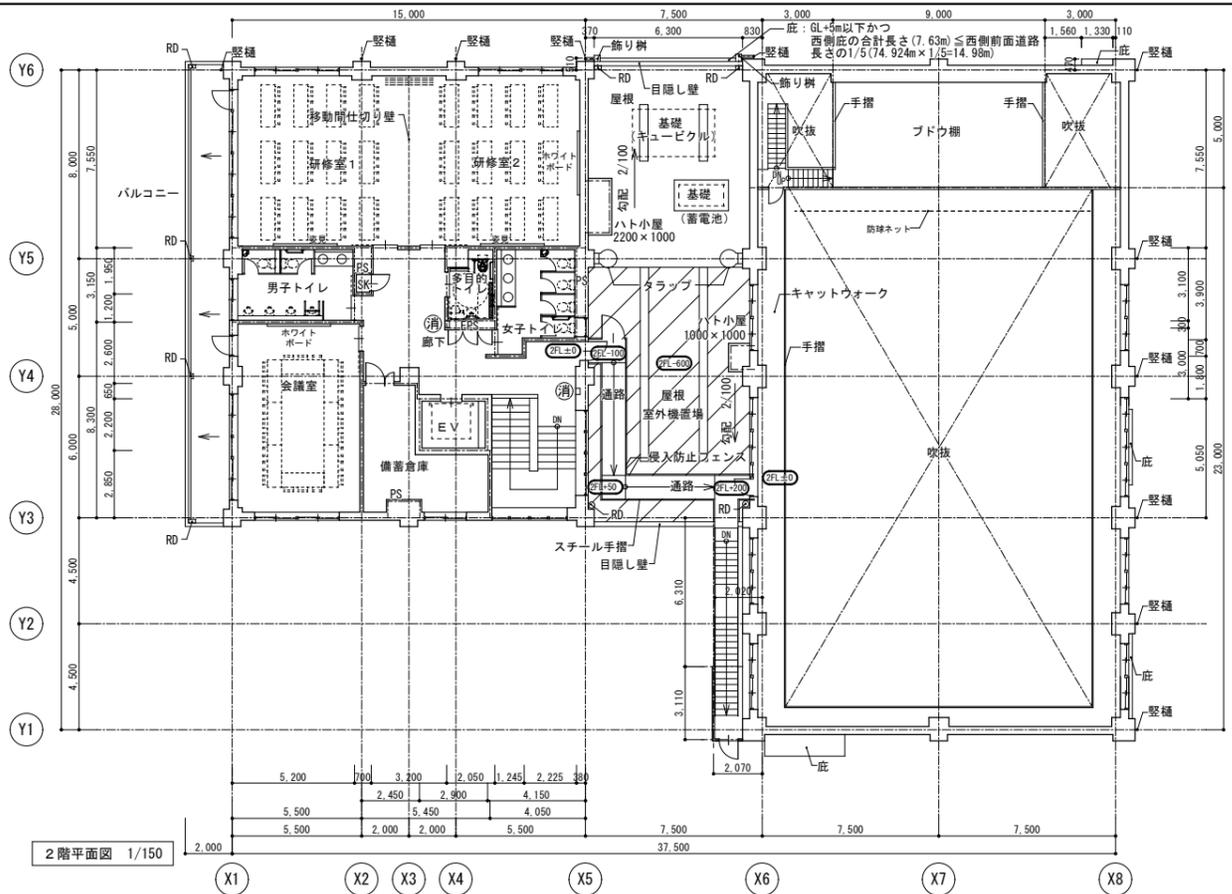
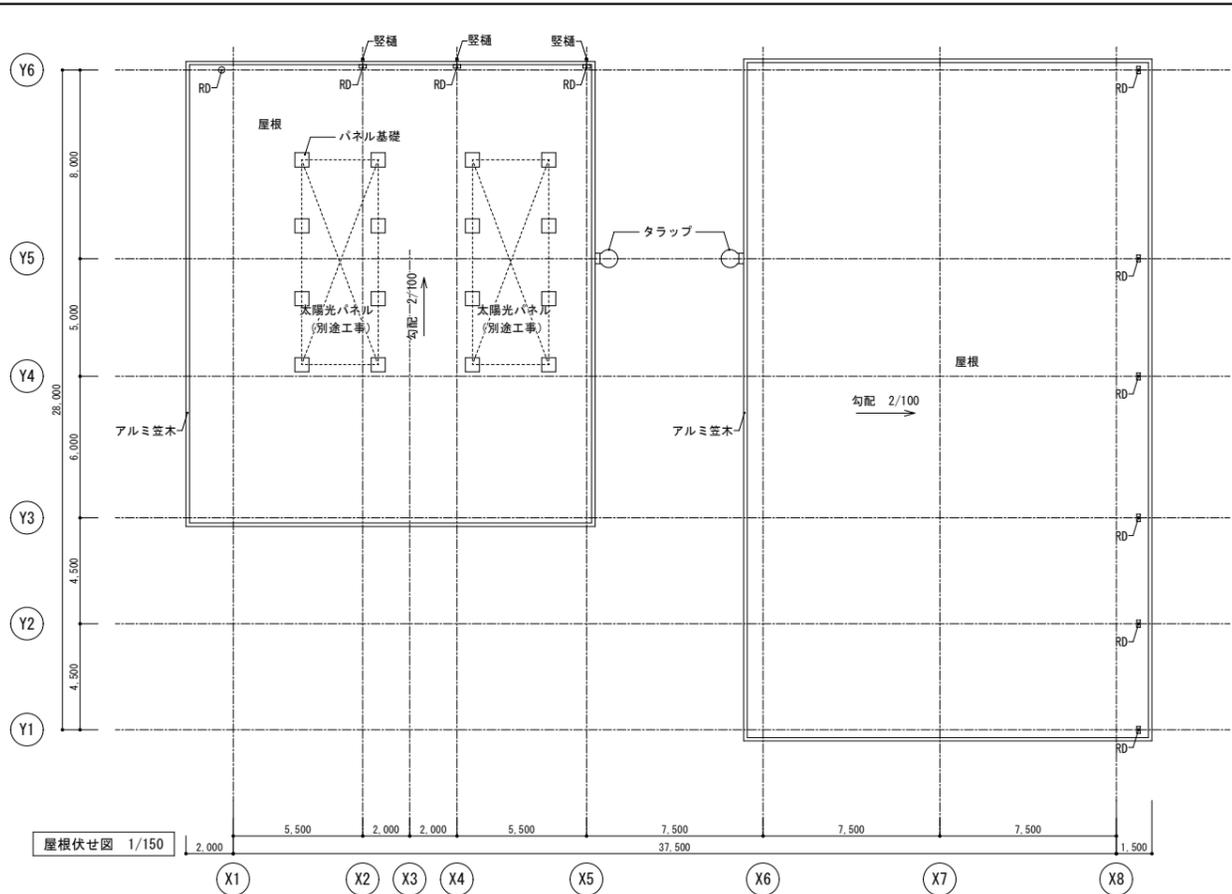
室名	通し番号	室面積 (A)			
		W	D	㎡	㎡
男子トイレ	116	5.170 × 3.150	=	16.285500	16.285
女子トイレ	117	3.470 × 2.900	=	10.063000	14.784
	118	3.850 × 1.000	=	3.850000	
多目的トイレ	119	1.245 × 0.700	=	0.871500	14.784
階段	120	2.050 × 3.100	=	6.355000	6.355
	121	4.050 × 5.050	=	20.452500	
EV	122	0.100 × 2.200	=	0.220000	20.672
SK	123	2.900 × 2.200	=	6.380000	6.380
PS8	128	0.660 × 0.880	=	0.580800	0.580
PS9	129	0.660 × 1.070	=	0.706200	0.706
PS10	130	1.360 × 0.700	=	0.952000	0.952
EPS5	131	0.380 × 2.900	=	1.102000	1.102
EPS5	132	2.050 × 0.300	=	0.615000	0.615



外 部 仕 上 表																
工 事 部 位	下 地	仕 上				工 事 部 位	下 地	仕 上								
屋根 (ホール)	フラットデッキ 一部 C	平場 (外断熱・機械的固定工法): 溶融亜鉛メッキ鋼板 (75kg/m <sup>2</sup> ) (F P030RF-1745) の上 合成高分子系ルーフィングシート防水 (S1-M2) 水勾配2/100 イソシアヌレートボード t50, R D 立上 (接着工法): コンクリート打放し仕上げ (B種) の上合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2) 水勾配2/100				開口部 C	アルミ製建具 (BB-2種) 鋼製建具 (50P)				断熱材	屋根1・2 (ホール以外): 硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡) A種 IH t50 吹付 外気に接する外壁: 硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡) A種 IH t50 吹付 ビッド天井・土間床底下: 押出法ポリスチレンフォーム保温板 A種 3種 B t50 打込み				
		屋根 (その他)	C	平場 (機械的固定工法): 合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2) 水勾配2/100、R D 立上 (接着工法): 合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2) 水勾配2/100 (屋外階段までの) 通路 床: チェッカープレート t4.5				スロープ C	床: モルタル剛毛引き 立上り: コンクリート打放し補修の上浸透性吸水防止剤塗布				シーリング	外壁 (打継・縦目地): 目地20×20×15, P U-2 (10×10) 構造スリット: 、P U-2 (25×20)		
バラベツト	C	笠木: アルミ笠木 W=250既製品 (コーナー金物使用)				外部幅木 C	コンクリート打放し補修の上浸透性吸水防止剤塗布				その他	ポスト、消火器ボックス (消火器ABC10型 (別途))、設備基礎、建物サイン、電力引き込み金物、洗濯パン (外部) (機械設備工事)、 定礎板 (600×400 御影石 140)				
バルコニー	C	床: ウレタン塗膜防水 (X-2)、壁: コンクリート打放し仕上げ (B種) の上防水形複層塗材 E 側溝: W100 勾配1/100、アルミ製手すり H=1100				犬走り C	コンクリート直均し仕上げ				外 構	駐輪場 (20台): 745製片持ち屋根 (両面) 5.1m×4.7m×H2.6m、カーポート (2台): 745製片持ち屋根8.4m×5.35m×H4.1m メッシュフェンスH1200、屋外掲示板、車止めポール、車止めブロック、目隠しフェンス (H1500)、 区画線、横断帯、VS割溝、グリーストラップ (設備工事)、チェーンゲート、プロパン庫 (機械設備工事)、オイルタンク (機械設備工事)				
RC庇	C	コンクリート打放し仕上げ (B種) の上複層塗材 E (トップコートのみ) (上端のみ)				通路	S	床: エキスパンドメタル t3.2 手すり: FB-9x38 H1100 侵入防止フェンス H2000				備考	○耐火建築物 (鉄筋コンクリート造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○外壁、床、柱、梁、屋根、屋内階段→耐火1時間 (RC t70以上) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ・ 柱→FP060CN-9460 吹き付けt30 (耐火1時間) ・ ガス調理台 ・ 屋根→FP030RF-1745 (耐火30分) ・ ガス室 ・ ホール壁→床から鉄骨梁下端まで4m以上 ・ 屋外階段→鉄骨構造			
外 壁	C	コンクリート打放し仕上げ (B種) の上複層塗材 E 壁種: カラーVP φ100 (支持金物SUS製φ100)				タラップ	C	ステンレス製タラップ W450 (塔屋) 2か所				備 考	○耐火建築物 (鉄筋コンクリート造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○外壁、床、柱、梁、屋根、屋内階段→耐火1時間 (RC t70以上) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ○耐火建築物 (鉄骨造) ・ 柱→FP060CN-9460 吹き付けt30 (耐火1時間) ・ ガス調理台 ・ 屋根→FP030RF-1745 (耐火30分) ・ ガス室 ・ ホール壁→床から鉄骨梁下端まで4m以上 ・ 屋外階段→鉄骨構造			
軒 天	LGS	ホール・調理室軒天: コンクリート打放し仕上げ (B種) の上複層塗材 E 玄関軒天: アルミスパンドレル (木目調) t0.5				テラスデッキ	C	床: 磁器質タイル 300角 (ノズリ) 手すり: アルミ製手摺 H=1100 天井: アルミスパンドレル (木目調) t0.5								

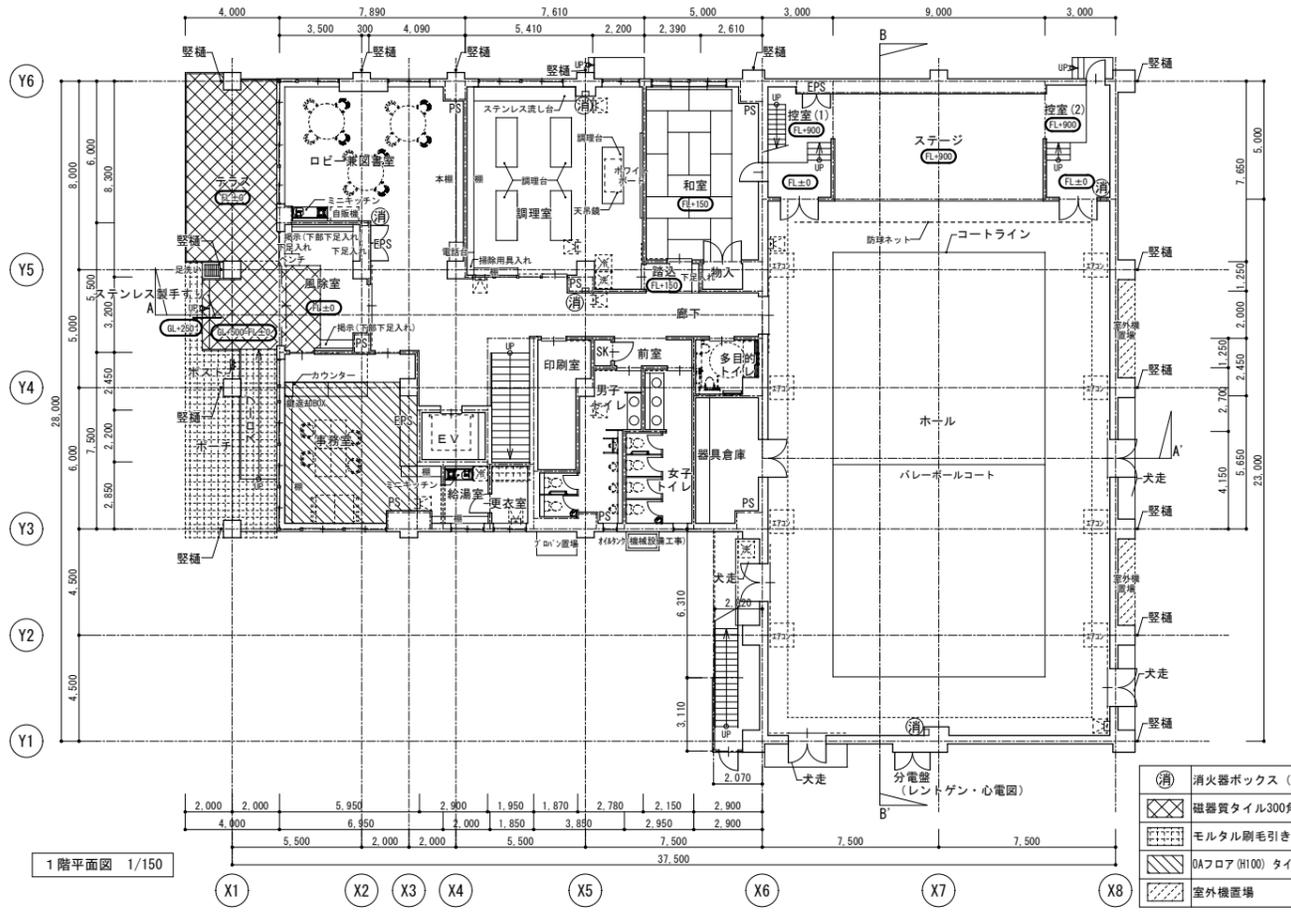
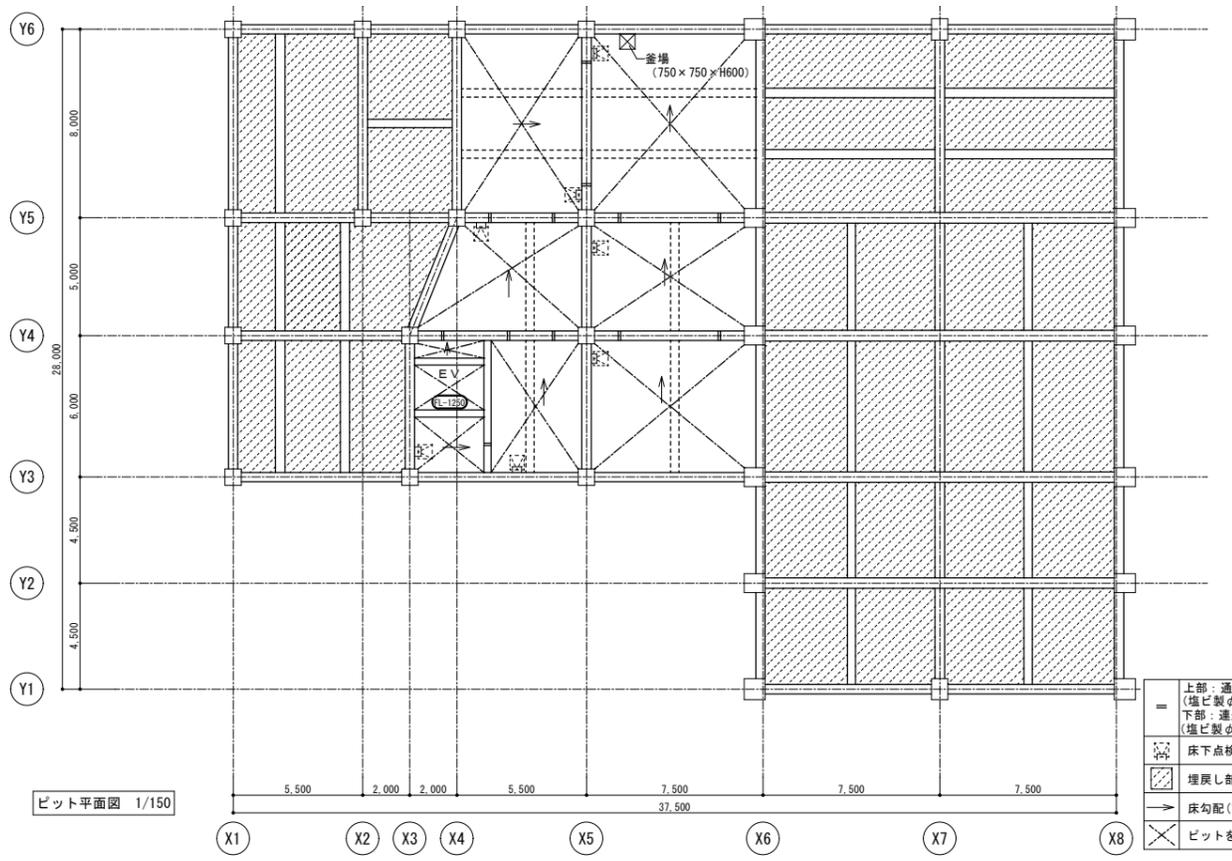
内 部 仕 上 表									
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

階	室名	床	床の高さ	巾木	壁	天井	備考	階	室名	床	床の高さ	巾木	壁	天井	備考																														
		下地	仕上	床仕上高 (スラブ高)	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	CH	廻縁	下地	仕上	下地	仕上	CH	廻縁																											
1	風除室	MO (+50)	磁器質タイル300角貼 一部 VS-1	±0 (-50)	磁器質タイル ビニル巾木	100 60	LGS C	壁: 9'3/4×t50充填の上、GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) VC	LGS	GB-NC t9.5下地 DR t9.0	2700	塩ビ	館内案内板、掲示板、木製下足入、 ステンレス製床見切 W50、木製ベンチ、	1	男子トイレ	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2300	塩ビ	ライニング、トイレブース、汚塵石タイル、 化粧鏡 (W1600×H900)、洗面カウンター、 L型手摺、小便器手摺、ペビーチェア、 床下点検口φ600																		
	ロビー寒国書室	MO (+30)	フローリング t15.0	±0 (-50)	木製巾木	60	LGS C LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) VC 床: GB-R t12.5下地 杉羽目板 t15 床壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) 杉羽目板 t15	LGS	構造用合板 t12下地 難燃杉羽目板 t15 木材保護塗料 一部 GB-R t9.5下地 DR t9.0	2700	木	図書書架、収納棚、電話台、 D-83ソフ、ガクソケット、ビグソケット、 ミニキッチン (W100)		多目的トイレ	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2300	塩ビ	ライニング、介助ベット、 化粧鏡 (W380×H1190)、ペビーシート																		
	事務室	C	OAフロア (H100) タイルカーペット t6.5 一部 VS-1	±0 (-100) (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5 (GL) 下地 VC	LGS	GB-NC t9.5	2700	塩ビ	木製棚、受付カウンター、 ホワイトボード、鍵送BOX、ガクソケット、 SUS製床見切、床下点検口φ600、 ロールカーテン																																
	給湯室	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-S t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-S t12.5下地 (GL) VC	LGS	GB-NC t9.5	2300	塩ビ	ミニキッチン (W1200)	2	会議室	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5 (GL) 下地 VC	LGS	GB-R t9.5下地 DR t9.0	2700	塩ビ	ホワイトボード、 マグネットウォール																		
	更衣室	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) VC	LGS	GB-NC t9.5	2300	塩ビ	床下点検口φ600		研修室 1・2	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5 (GL) 下地 VC	C	GB-R t9.5下地 DR t9.0	2700	塩ビ	ホワイトボード、D-83ソフ、スチールBOX 姿見鏡、移動間仕切扉、ガクソケット、 カーテン、カーテンホルダー																		
	印刷室	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 一部 コックリ打放し仕上 (B種) の上 EP-G塗装 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) EP-G塗装	LGS	GB-NC t9.5	2700	塩ビ	-		備蓄倉庫	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 EP-G塗装 壁(柱型): EVシャフト: GB-R t12.5 (GL) 下地 EP-G塗装	C	GB-NC t9.5	2700	塩ビ	-																		
	踏込	C	VS-1 一部 縁甲板 t15.0	±0 一部150 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) VC	LGS	GB-R t9.5下地 VC	2700 2550	塩ビ	木製下足入、上り幅H=150		キャットウォーク	C	コンクリート直均し仕上げ (目地幅 W30)	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: ラワン合板 t12.0下地 +難燃シナ合板 t5.5 (目透かし張り) CL塗装 壁上部: GB-R t12.5 (GL) EP-G塗装	LGS	フラットデッキ裏面裏し SOP塗装	-	-	鋼製手すりH=1100、 防球ネット、																		
	和室	W	木床+畳 (中京間) 敷き t60 一部 縁甲板 t15.0	+150 (+90)	畳寄せ	-	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) VC	LGS	GB-R t9.5下地 VC	2550	塩ビ	-		男子トイレ	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2500	塩ビ	ライニング、トイレブース、汚塵石タイル、 化粧鏡 (W1600×H900)、洗面カウンター、 L型手摺、小便器手摺、ペビーチェア																		
	物入	W	シナ合板 t9.0	+150 (+140)	雑巾摺	-	LGS	壁: GB-D (押入ボード) t12.5	LGS	GB-D (押入ボード) t12.5	2550	塩ビ	中継、機構		女子トイレ	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2500	塩ビ	ライニング、トイレブース、 化粧鏡 (W2390×H900)、洗面カウンター、 L型手摺、ペビーチェア																		
	調理室	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-St12.5下地 VC 壁(柱型): GB-S t12.5下地 (GL) VC	LGS	GB-NC t9.5	2700	塩ビ	調理台、流し台、収納棚、D-83ソフ、 ホワイトボード、天井鏡、掃除用具入、 洗濯パン (機械設備工事)、床下点検口φ600		多目的トイレ	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2500	塩ビ	ライニング、介助ベット、 化粧鏡 (W480×H1100)、L型・路上手摺、 ペビーシート																		
	前室	C	VS-1	±0 (-30)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5 (GL) 下地 VC	LGS	GB-R t9.5下地 DR t9.0	2300	塩ビ	-																																
	ホール	C+ 鋼製床 (H170)	構造用合板 t15.0+ラワン合板 t15.0 +スポーツ用長尺弾性塩ビシート t6.5 一部 VS-1	±0 (-200)	木製巾木 CL	100	LGS (W=100) C	壁: ラワン合板 t12.0下地 +難燃シナ合板 t5.5 (目透かし張り) CL塗装 ステージ側壁面: 分有孔合板下地 EP-G塗装 9'3/4×t100充填 ガクソケット部: GB-R t12.5下地 EP-G塗装 壁上部: GB-R t12.5下地 EP-G塗装	LGS	フラットデッキ部: 裏面裏し SOP塗装 ガクソケット部: GB-R t9.5下地 EP-G塗装	8800	-	防球格子戸、換気扇枠、暗幕、 防球ネット、可動式階段 床下点検口φ600、ネット支柱基礎、 ライン引き (パネール、バトミントン) カーテンレール、暗幕	共通	廊下	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS C	壁: GB-R t12.5下地 VC 壁(柱型): GB-R t12.5 (GL) 下地 VC	LGS	GB-R t9.5下地 DR t9.0	2700	塩ビ	一部壁面: 掲示板クロス ビニル手摺φ34、マグネットウォール、 ピクチャーレール、床下点検口φ600																		
	ステージ	C+ 鋼製床 (H870)	構造用合板 t15.0+ラワン合板 t15.0 +スポーツ用長尺弾性塩ビシート t6.5 一部 VS-1	+900 (±0)	木製巾木 CL	100	LGS (W=100) C	壁: ラワン合板 t12.0下地 +難燃シナ合板 t5.5 (目透かし張り) CL塗装 壁上部: GB-R t12.5下地 (GL) EP-G塗装	LGS	ぶどう糊裏面スノコ表し EP-G塗装	5100	塩ビ	ステージ下収納台車、万能台車、 縦横、パトン、プロジェクタースクリーン、 舞台幕、プロセニアムアーチ (縦横)		S K	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2300	塩ビ	ライニング、 用具掛けフック (1階: W720×H150、 2階: W630×H150)																		
	控室 (1)	C+ 鋼製床 (H870)	構造用合板 t15.0+ラワン合板 t15.0 +スポーツ用長尺弾性塩ビシート t6.5 一部 VS-1	+900 一部±0 (±0)	木製巾木 CL	100	LGS (W=100) C	壁: GB-R t12.5下地 EP-G塗装 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) EP-G塗装	-	-	-	-	暗幕、鉄骨階段		ビット	C	コックリ打放し仕上げ (勾配1/100)	-	-	-	C	コックリ打放し仕上 (B種)	C	コックリ打放し仕上 (C種)	-	-	タラップ、水抜きパイプ塩ビφ100半割 塗層: 750×750×500H																		
	控室 (2)	C+ 鋼製床 (H870)	構造用合板 t15.0+ラワン合板 t15.0 +スポーツ用長尺弾性塩ビシート t6.5 一部 VS-1	+900 一部±0 (±0)	木製巾木 CL	100	LGS (W=100) C	壁: GB-R t12.5下地 EP-G塗装 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) EP-G塗装	-	-	-	-	暗幕		EVビット	C	リ酸質系塗布防水 C-UP	-1.250	-	-	C	リ酸質系塗布防水 C-UP	C	コックリ打放し仕上 (C種)、 硬質ウレタンフォーム断熱材 t50、 不燃コート t2吹付 (壁断熱補強H=300含む)	-	-	-																		
	器具倉庫	C	VS-1	±0 (-10)	ビニル巾木	60	LGS	壁: GB-R t12.5下地 EP-G塗装 壁(柱型): GB-R t12.5下地 (GL) EP-G塗装	LGS	GB-NC t9.5	2600 (一部2100)	塩ビ	-		EVシャフト	C	EVビットに記載	-1.250	-	-	C	コックリ打放し仕上 (B種)	C	EVビットに記載	-	-	15kN吊フック取付用金具 2か所																		
	女子トイレ	C	VS-2	±0 (-10)	ビニル巾木	100	LGS C	壁: グラスウール充填 t50 GB-S t12.5下地 化粧FK t6.0 壁(柱型): GB-S t12.5 (GL) 下地 化粧FK t6.0	LGS	GB-NC t9.5	2300	塩ビ	ライニング、トイレブース 化粧鏡 (W2390×H900)、洗面カウンター、 L型手摺、ペビーチェア		PS・EPS	C	コックリ直均し仕上げ	±0	-	-	LGS	GB-R t12.5	LGS	GB-R t12.5	2400	-	-	-																	
[ 凡 例 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ NM: 不燃材料 ] QM: 準不燃材料 RM: 難燃材料</li> <li>GB-R 石膏ボード t=12.5</li> <li>GB-D 石膏ボード t=9.5</li> <li>GB-D 化粧石膏ボード (トラパーチン) t=9.5</li> <li>GB-D 化粧石膏ボード (押入ボード) t=12.5</li> <li>GB-S シーリング石膏ボード t=12.5</li> <li>GB-S シーリング石膏ボード t=9.5</li> <li>GB-S 不燃積層せっこうボード t=9.5</li> <li>GB-NC 無石綿付け艶カルシウム板</li> <li>FK 無石綿付け艶カルシウム板</li> <li>化粧FK 無石綿化粧付け艶カルシウム板</li> <li>NM-8619 DR</li> <li>QM-9828</li> <li>NM-1864 VS-1</li> <li>NM-0128 VS-2</li> <li>NM-9699 VC</li> <li>QM-0898</li> <li>NM-0441 EP-G</li> <li>NM-8578</li> <li>NM-8577</li> </ul>															<ul style="list-style-type: none"> <li>[ 塗装仕上凡例 ]</li> <li>SOP 合成樹脂調合ペイント塗</li> <li>EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗</li> <li>EP つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗</li> <li>VE 塩化樹脂エマルジョン塗</li> <li>OS オイルステイン塗</li> <li>内装薄塗材 E 内装合成樹脂エマルジョン系</li> <li>複層仕上材 E 合成樹脂エマルジョン系</li> <li>[ 特記事項 ]</li> <li>※ GL工法のGLポンドは、厚み12.5mmとする (例: GB t=12.5 + GLポンド t=12.5 = 総厚み25mm)</li> <li>※ LGS壁下地: 特記なき限り、軽量鉄骨壁下地w65とする</li> <li>※ LGS天井下地: 軽量鉄骨天井下地とする</li> <li>※ 内装材、接着剤、家具、建具材は全て ノンスケト品・F☆☆☆☆材を使用する</li> <li>※ 廻縁は全て突き付け用とする (コ型)</li> <li>※ ビニル床シート貼りは、特記なき限り、目隠し継ぎ工法とする</li> <li>※ 特記なき限り、ステンレスはSUS304とする</li> <li>※ 家具類は全て耐震止め付けとする (固定式)</li> <li>※ ◁ はシーリングを示す</li> <li>※ コンクリート打放し仕上については、「地下ビット、現場発泡ウレタン下」はC種、それ以外についてはB種とする</li> <li>※ 化粧FK仕上げは目地シーリングとする</li> <li>※ 特記なき限り、スラブ天端=FL-10とし、外部RC壁増打t20とする</li> <li>※ 特記なき限り、床下地コンクリート直均しの上、床仕上とする</li> <li>※ グラスウールは、24kg品とする</li> <li>※ 暗幕・カーテンは全て防災品とする</li> </ul>																													
記 事	業務名称 館歴公民館移転改築工設計業務															工事名称 館歴公民館改築工事															設計年月 令和7年3月														
製 図 者	株式会社 東北線企画															一級建築士 (大匠) 第98900号 折原 幸一															印 .														
製 図 書 名	仕上表															製図番号 A1:1/50 A3:1/100															製図番号 A-06														



○設備開口

【屋根梁スリーブ数量】		
梁幅	スリーブ径	箇所数
400	φ200	2
	φ250	12
	φ200	2
450	φ250	4
	φ200	1
500	φ200	1
	φ250	2



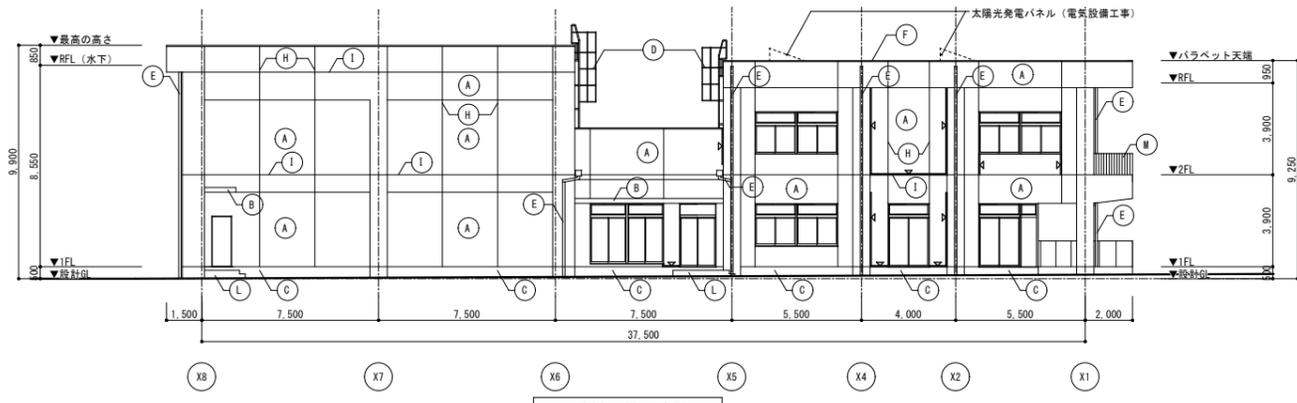
○設備開口

【2F床梁スリーブ数量】		
梁幅	スリーブ径	箇所数
400	φ100	1
	φ200	2
	φ250	15

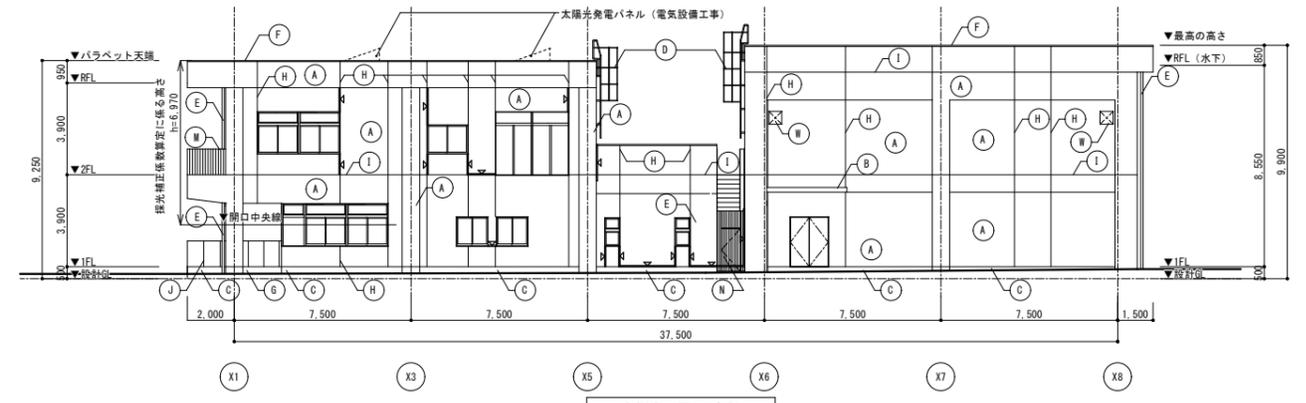
○設備開口

【地中梁スリーブ数量】		
梁幅	スリーブ径	箇所数
400	φ100	13
	φ150	22
	φ100	4
350	φ150	2
	φ100	1

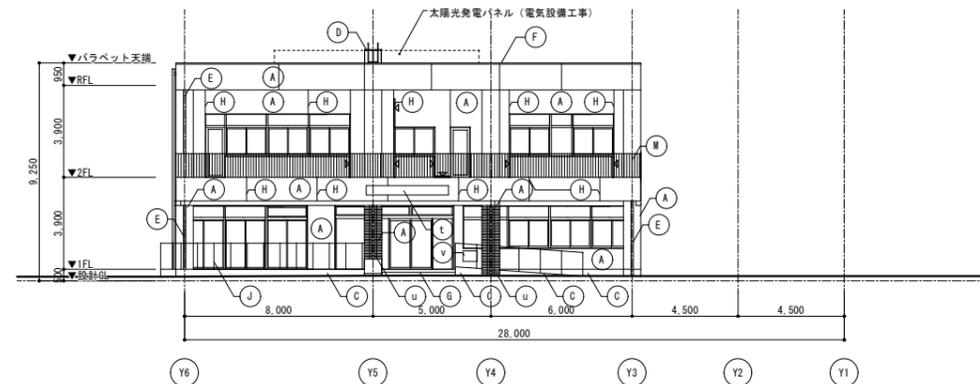
- (消) 消火器ボックス (埋込、ABC10型)
- (磁) 磁器質タイル300角 (ノンスリップ)
- (毛) モルタル刷毛引き
- (タ) OAフロア (H100) タイルカーペット t:6.5
- (室) 室外機置場



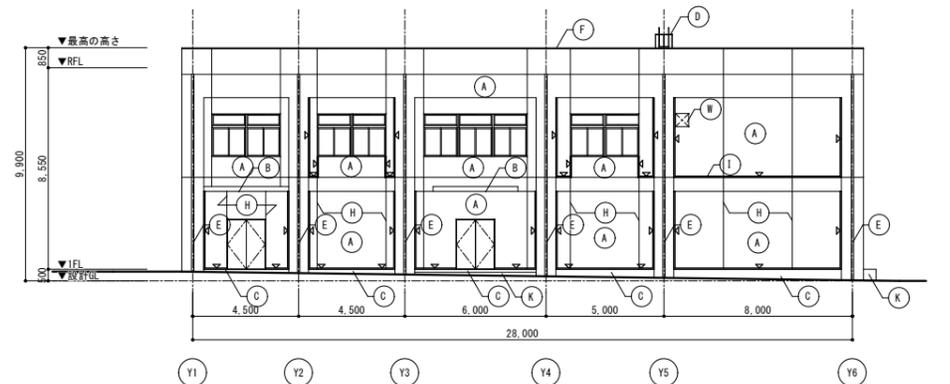
西側立面図 1/150



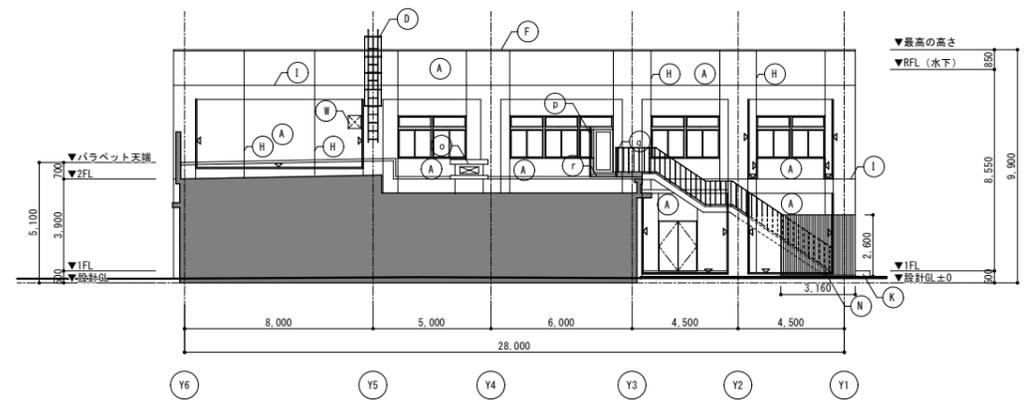
東側立面図 1/150



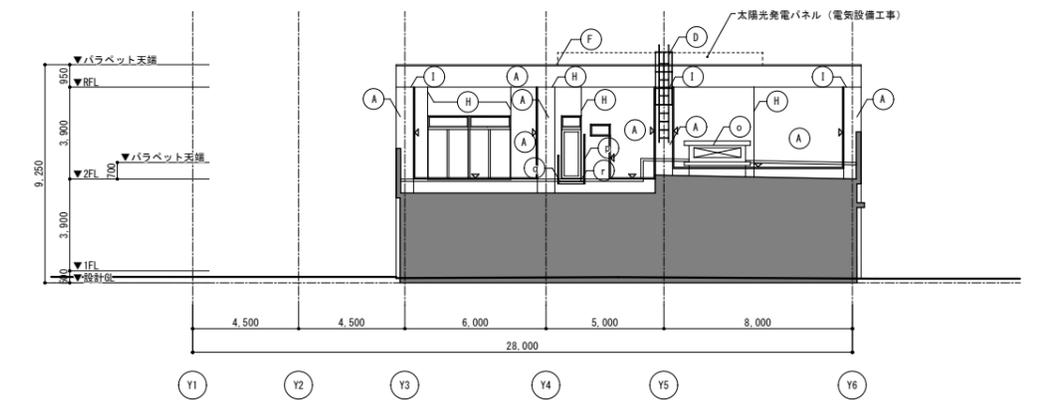
南側立面図 (1) 1/150



北側立面図 (1) 1/150

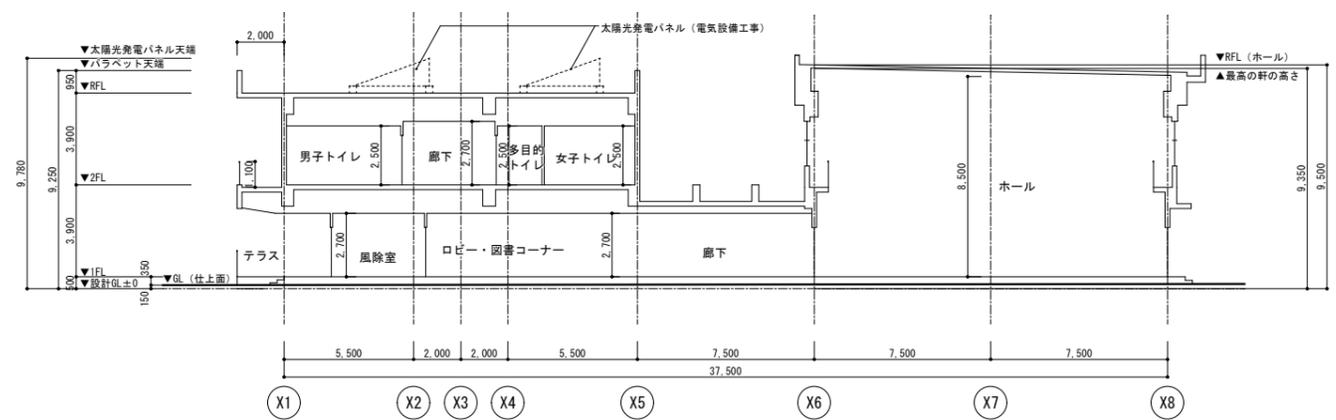


南側立面図 (2) 1/150

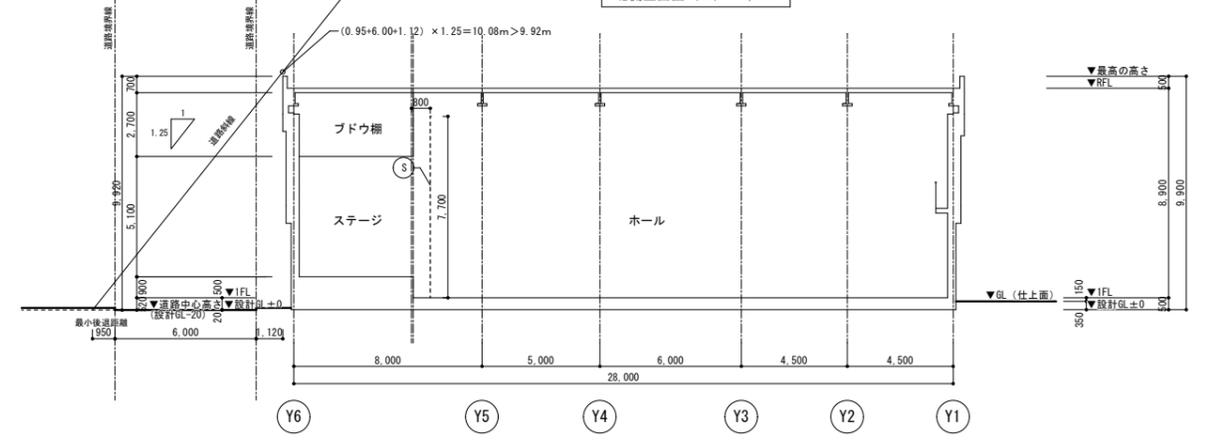


北側立面図 (2) 1/150

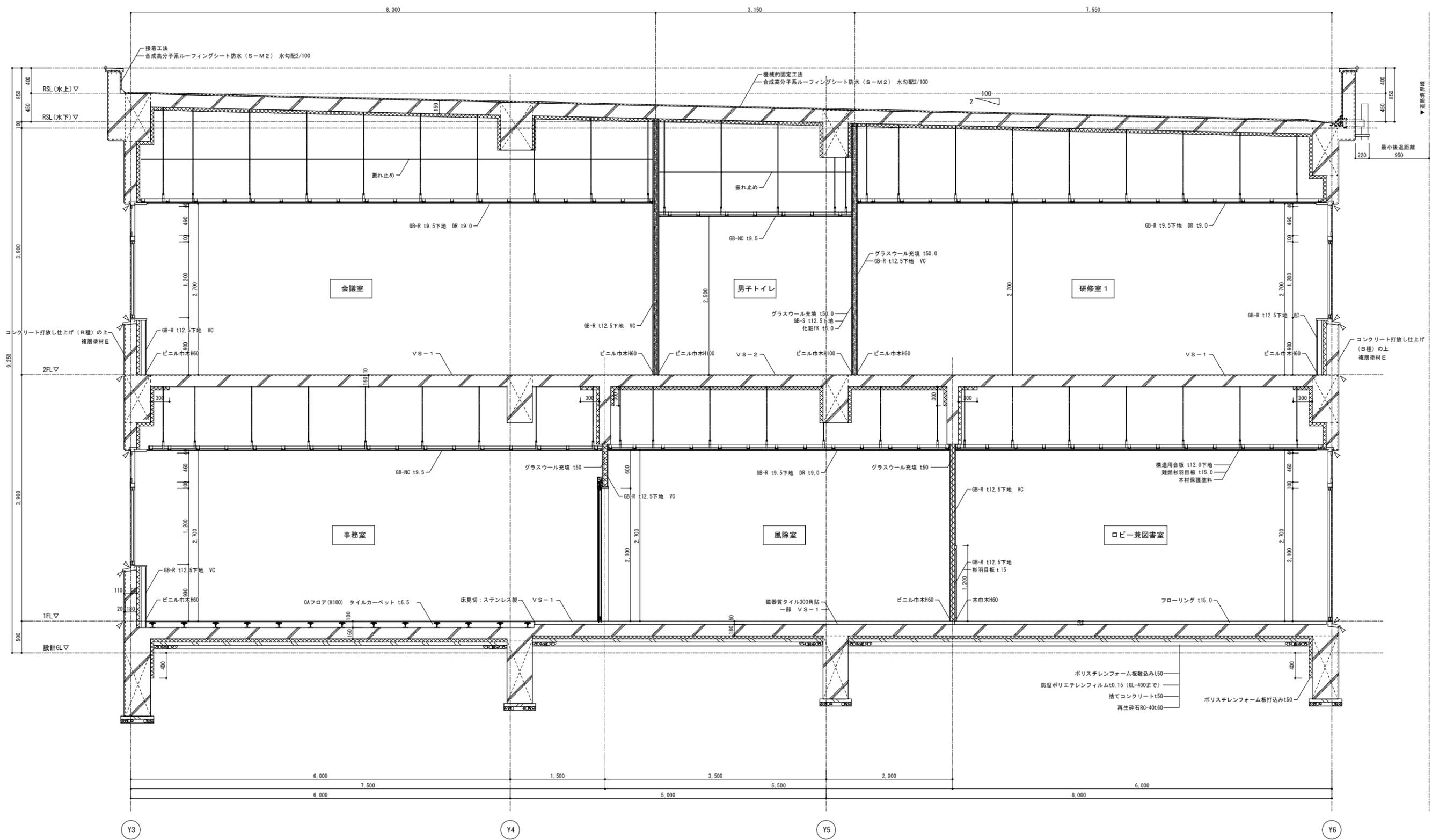
凡例	
(A)	コンクリート打放し仕上げ (B種) の上塗り塗材 E
(B)	コンクリート打放し仕上げ (B種) の上塗り塗材 E (トップコートのみ)
(C)	コンクリート打放し補修の上浸透性防水防止剤塗布
(D)	ステンレス製タラップ W450
(E)	カラーVP φ100 (支持金物SUS製#1000)
(F)	アルミ笠木 W-250
(G)	磁器質タイル
(H)	化粧目地
(I)	打継目地
(J)	アルミ製手すり H=1100
(K)	コンクリート置均し
(L)	コンクリート金ゴテ
(M)	アルミ手摺
(N)	アルミ製侵入防止柵 (H=2600)
(O)	ハト小屋
(P)	侵入防止フェンス (H=2000)
(Q)	スチール手摺
(R)	通路 (エキスパンドメタル)
(S)	防球ネット
(T)	施設名称サイン (SUS 400×400 SUS B O X 文字 HL仕上げ)
(U)	石器質二丁掛タイル
(V)	定礎板
(W)	換気扇枠
(X)	構造スリット



A-A' 断面図 1/150



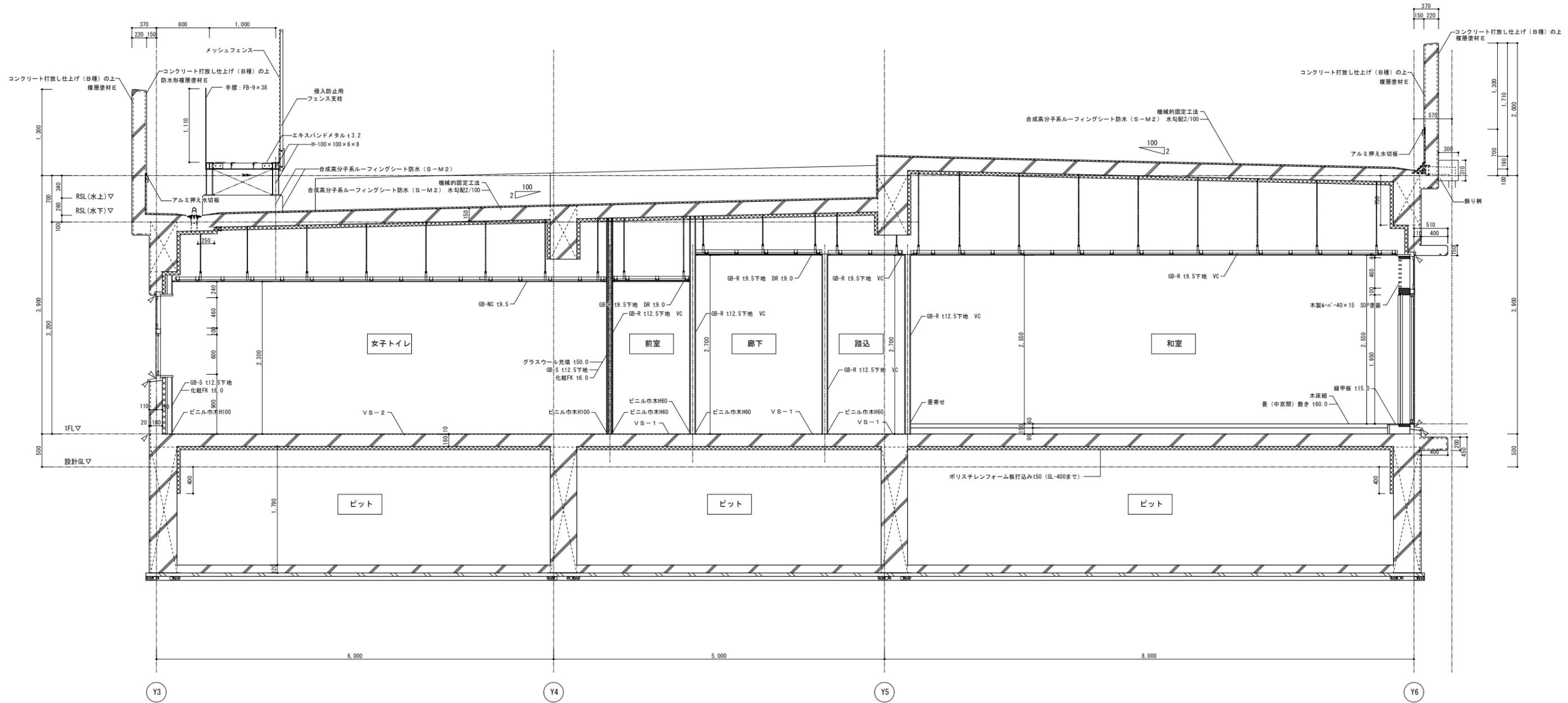
B-B' 断面図 1/150



X1-X2間 矩計図

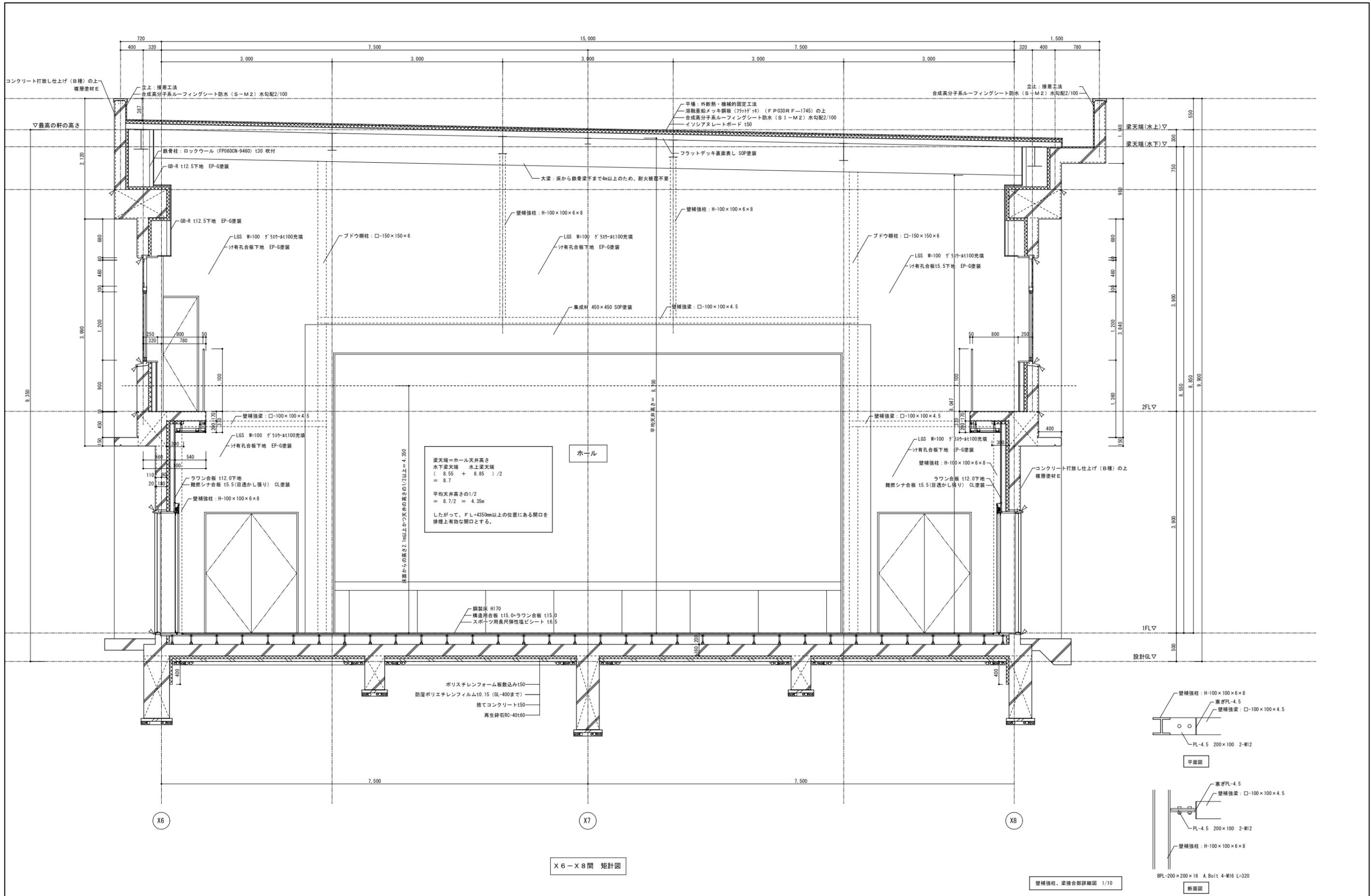
記 事	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	矩計図(1)	図面番号	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	A-09

株式会社 東北建築 一級建築士(大匠)第98900号 折原 幸一



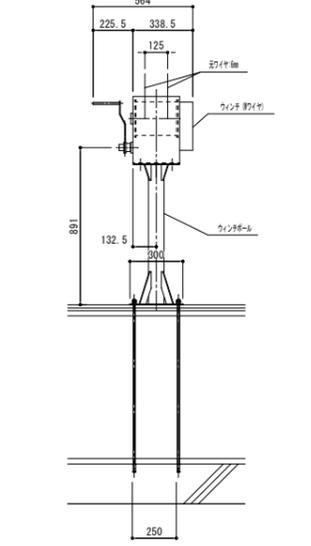
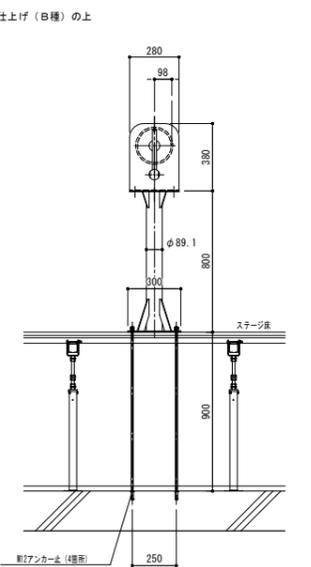
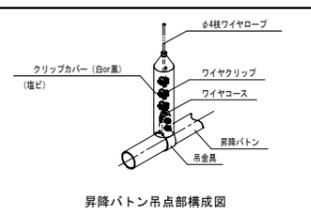
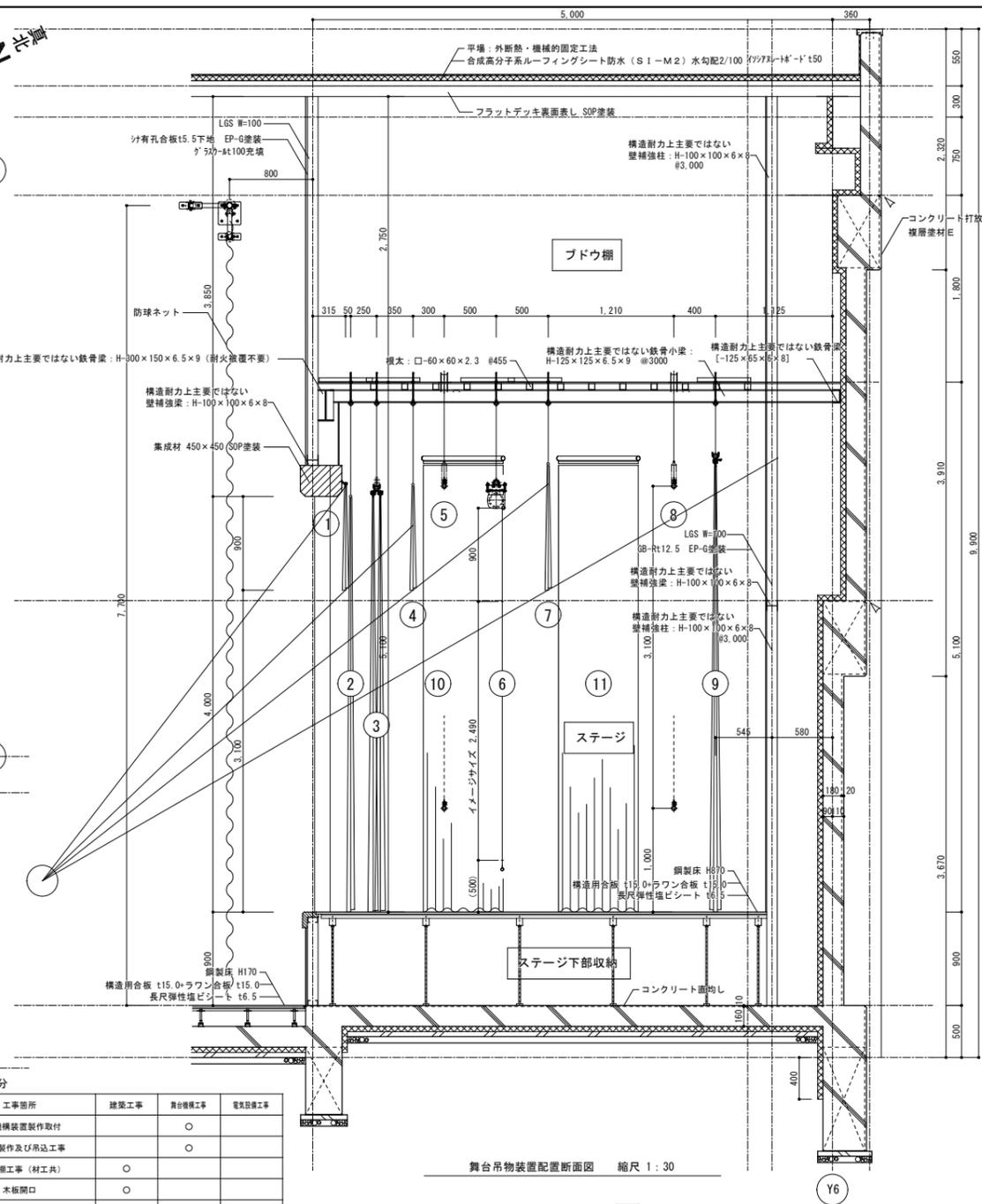
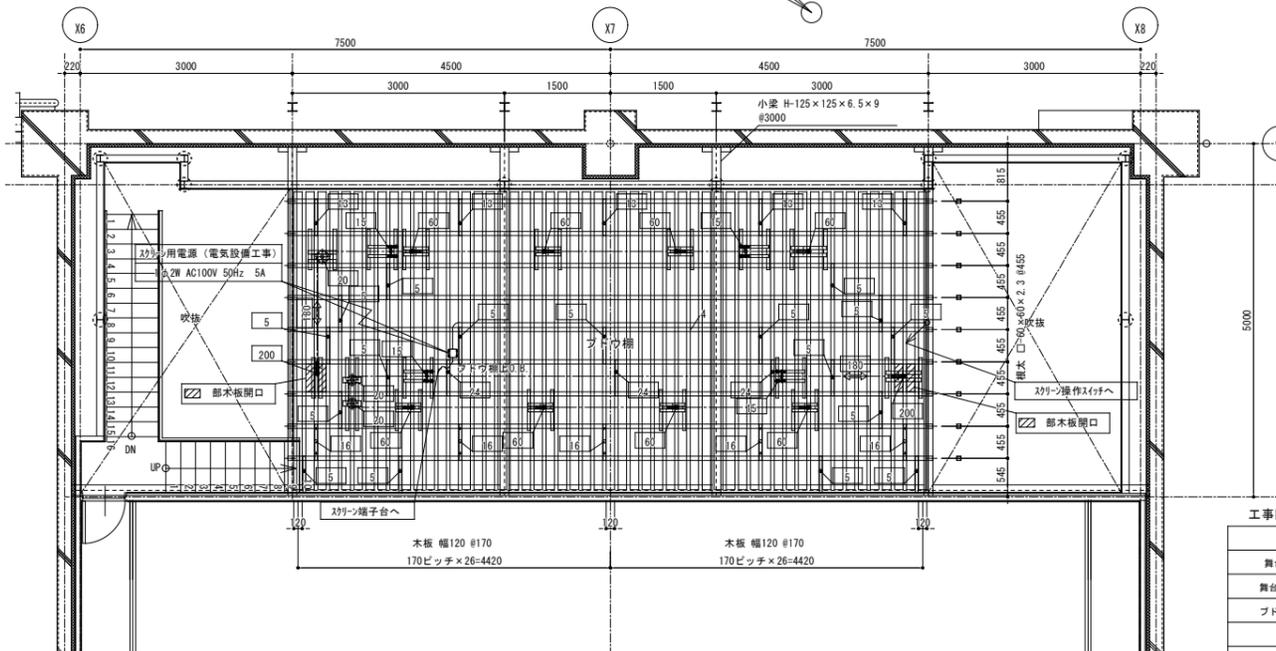
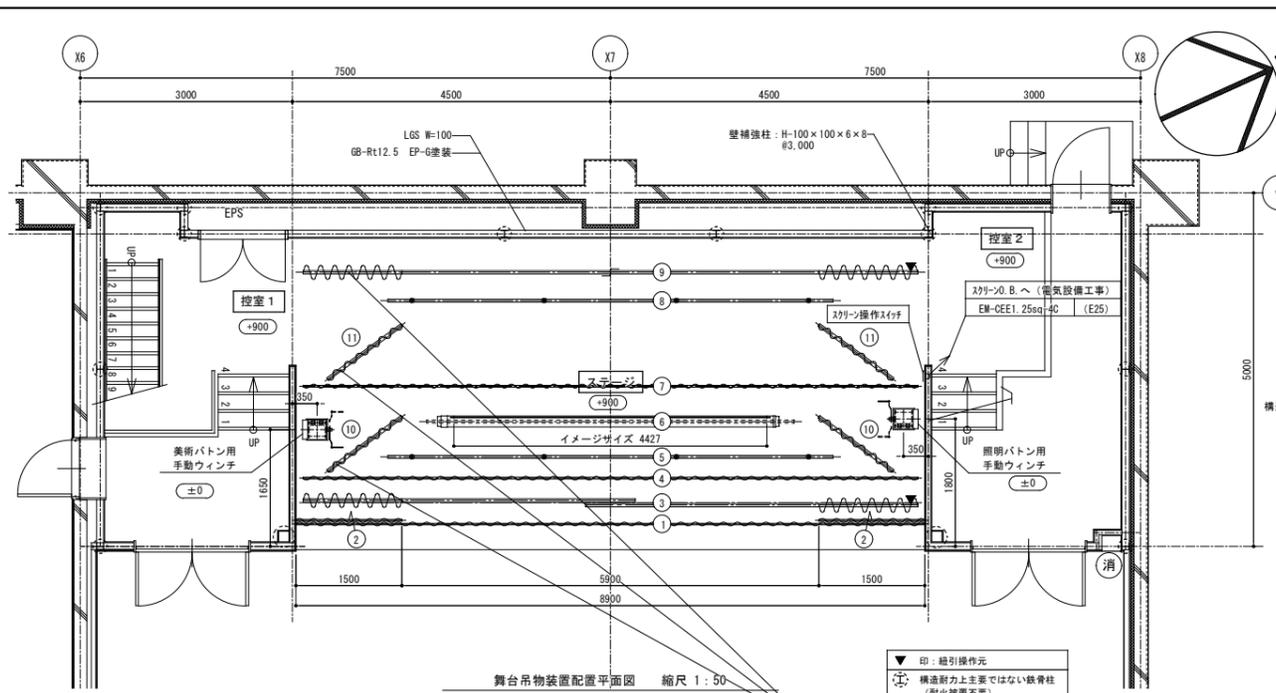
X5-X6間 矩計図

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	株式会社 東北建設 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	図面名称	矩計図(2)	縮尺	A1:1/30 A3:1/60
					図面番号	A-10



記 事	業務名称 館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称 館議公民館改築工事	設計年月 令和7年3月
	図面名称 矩計図(3)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図面番号 A-11

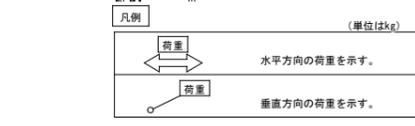
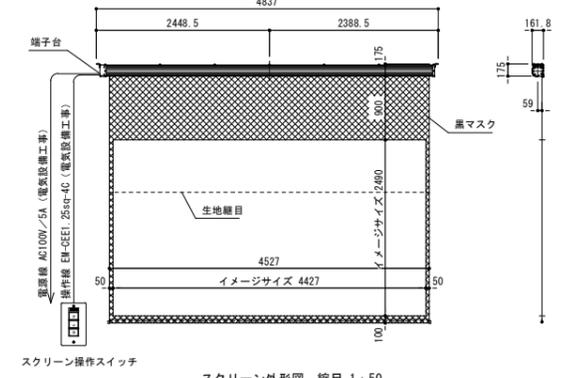
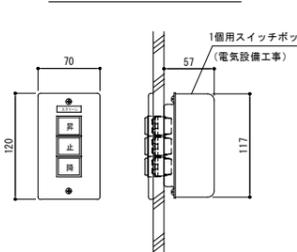
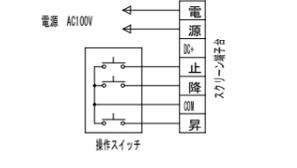
株式会社 東北建企画  
 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一



工事区分

工事箇所	建築工事	舞台機工事	電気設備工事
舞台機設置製作取付		○	
舞台幕製作及び吊込工事		○	
ブドウ棚工事 (材工)	○		
木板開口	○		
電気1次側配管配線			○
電気2次側配管配線			○
アウトレットボックス等			○
照明器具及び取付工事			○
スイッチ盤、スクリーン端子台設置			○

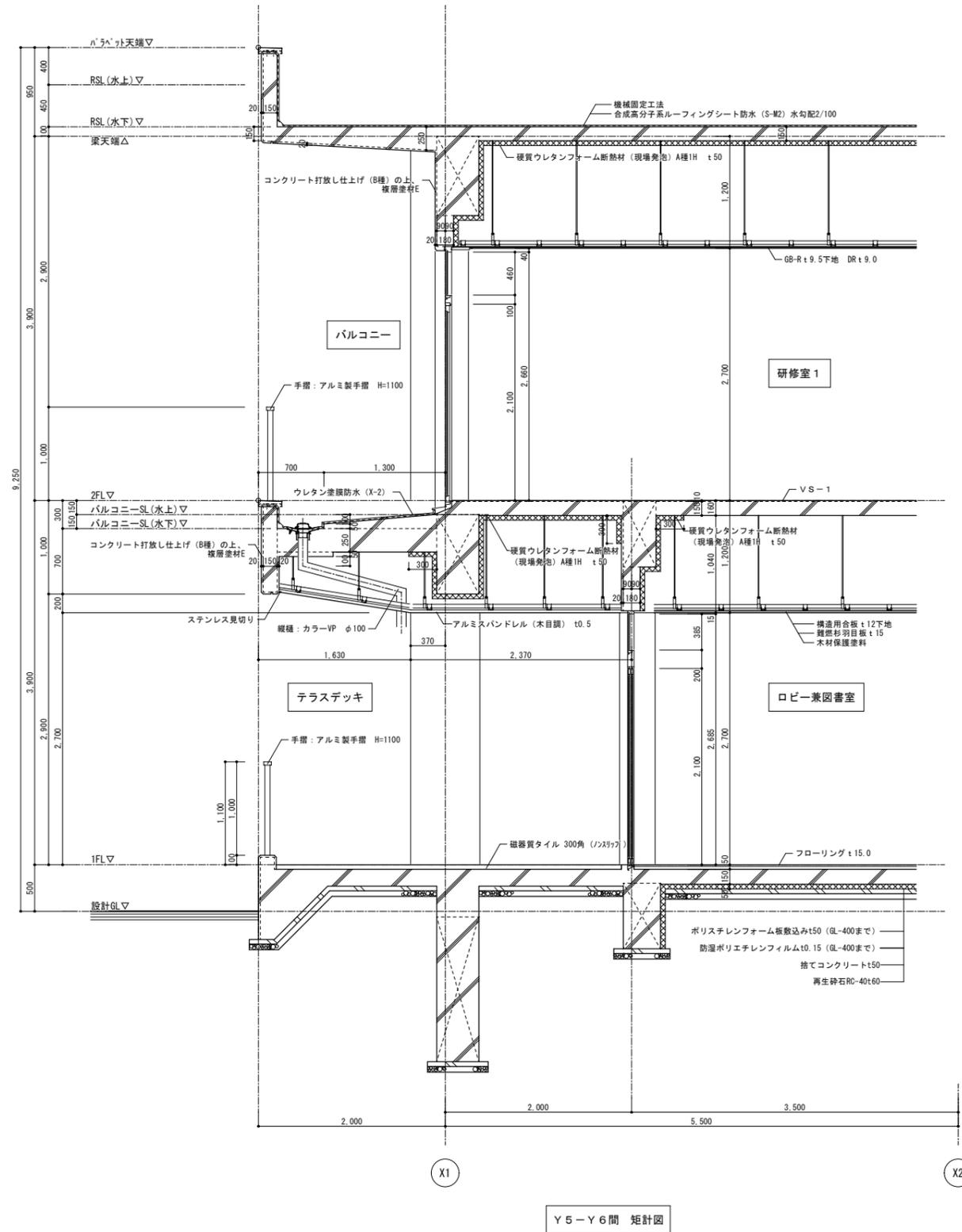
※ 2次側配管配線は、アウトレットボックスまでとする



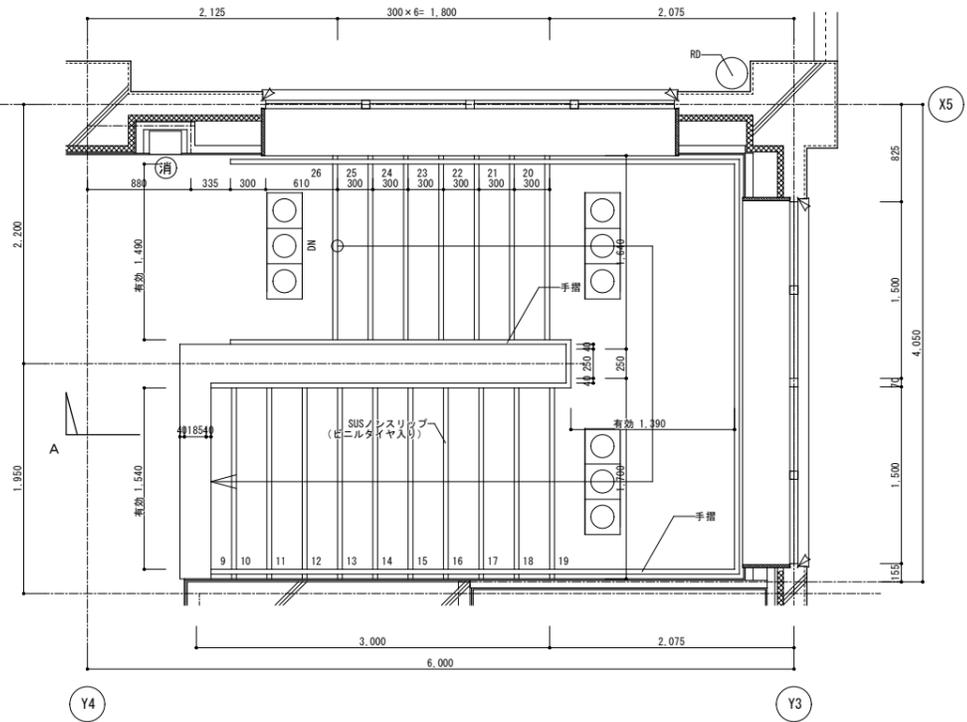
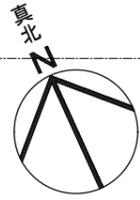
注) 荷重は最大積載時の荷重を示す。  
ブドウ棚鉄骨自重、他設備等の荷重は含まない。

吊物装置・舞台幕仕様一覧表 ※幕は防炎品とする

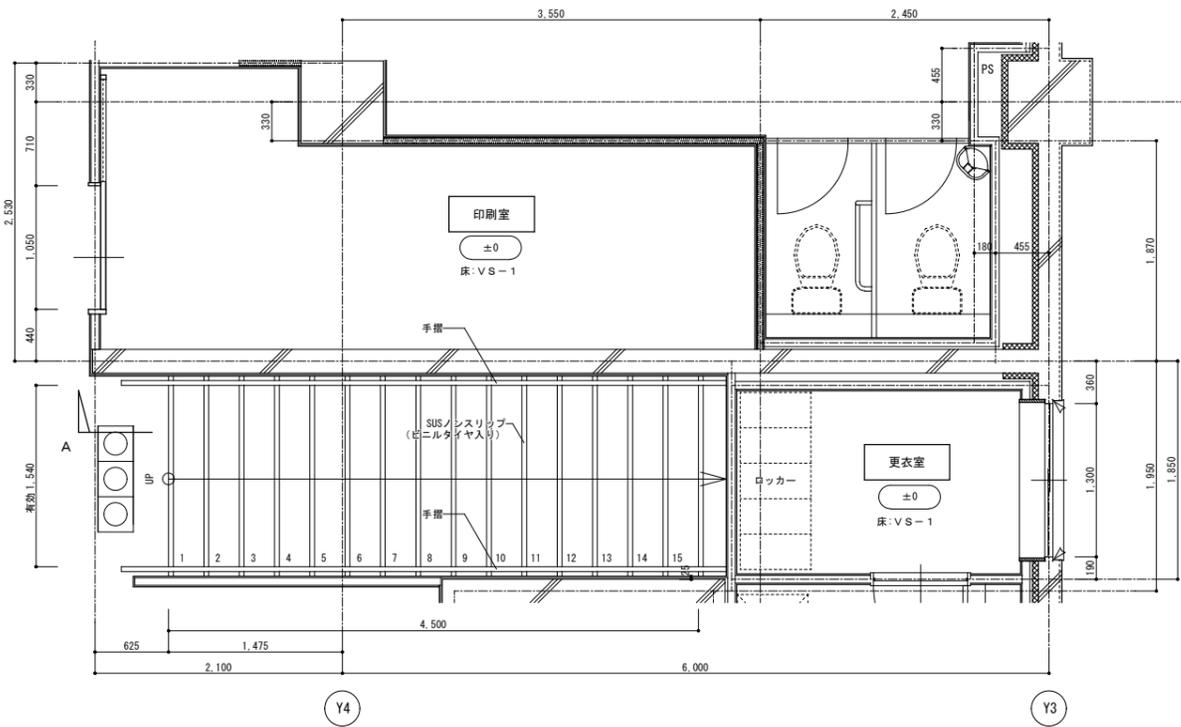
No.	名称	数量	バトン寸法	レール寸法	方式	動力	仕様	ワイヤーロープ径	吊点数	バトンの重量 (kg)	積載重量 (kg)	合計重量 (kg)	幕幅寸法 (W)	幕丈寸法 (H)	ヒダ数	生地	備考
1	一文字幕	1	-	8,900	レール壁付	-	ニューラックレール 壁付ブラケット取付	-	-	-	-	-	8,900	1,000	1.5倍ヒダ	プリマ6	フレンジ・裏付
2	源氏幕	2	1,600	-	固定吊	-	STKM-φ25.4	-	-	-	-	-	1,500	4,000	1.5倍ヒダ	プリマ6	フレンジ・裏付
3	引割縦横	1	8,700	4,700×2	固定吊 手動開閉 (巻引)	-	STK-φ42.7 大型7&8レール3分交差 1分付付付	-	-	-	-	-	4,600×2	4,000	1.5倍ヒダ	プリマ6	フレンジ・裏付
4	第1カスミ幕	1	8,700	-	固定吊	-	STKM-φ25.4	-	-	-	-	-	8,700	1,000	1.5倍ヒダ	プリマ6	-
5	照明バトン	1	6,300	-	手動昇降	2本元ワイヤ手動ワイヤ	STK-φ42.7	φ6mm・枝4mm	4	30	150	180	-	-	-	-	300kg用2本元ワイヤウチ付 照明器具別途 吊点部カバー付
6	スクリーン	1	5,200	装置 4,837	固定吊 電動巻取	1φ100V 1.70A	STK-φ42.7 バトン吊金具 ドラム径φ118	-	-	-	-	-	4,527	3,490	ヒダなし	ナノホワイト	イメージサイズW4,427×H2,490 (200インチ 16:9)
7	第2カスミ幕	1	8,700	-	固定吊	-	STKM-φ25.4	-	-	-	-	-	8,700	1,200	1.5倍ヒダ	プリマ6	-
8	美術バトン	1	6,300	-	手動昇降	2本元ワイヤ手動ワイヤ	STK-φ42.7	φ6mm・枝4mm	4	30	150	180	-	-	-	-	300kg用2本元ワイヤウチ付 吊点部カバー付
9	バック幕	1	8,700	8,700	固定吊 手動開閉 (巻引)	-	STK-φ42.7 大型7&8レール3分交差 1分付付付	-	-	-	-	-	4,550×2	4,300	1.5倍ヒダ	プリマ6	-
10	第1袖幕	2	1,300	1,300	固定吊 手動開閉 (手引)	-	STK-φ42.7 中型アルミレール	-	-	-	-	-	1,300	4,300	1.5倍ヒダ	プリマ6	-
11	第2袖幕	2	1,300	1,300	固定吊 手動開閉 (手引)	-	STK-φ42.7 中型アルミレール	-	-	-	-	-	1,300	4,300	1.5倍ヒダ	プリマ6	-



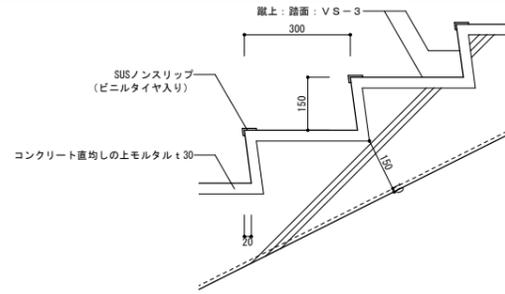
記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	株式会社 東北建企画 一級建築士(大臣) 第58900号 折原 幸一	図面番号	矩計図(5)	縮尺	A1:1/30 A3:1/60
					図面番号	A-13



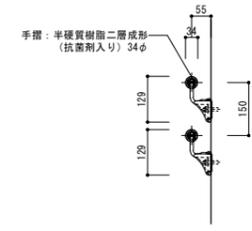
2階平面詳細図 1/30



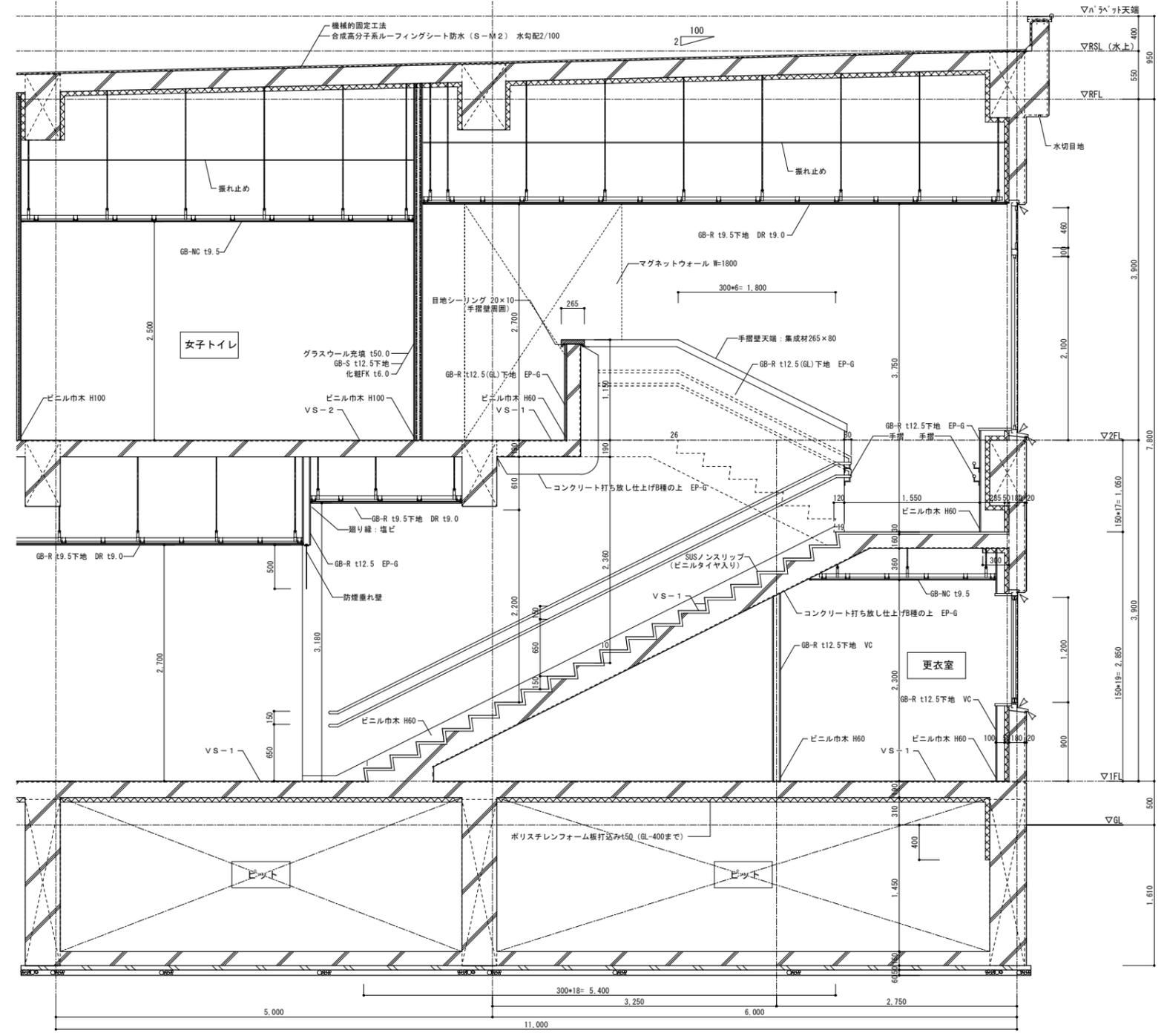
1階平面詳細図 1/30



階段詳細図 S=1/10

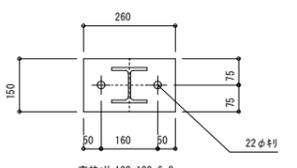
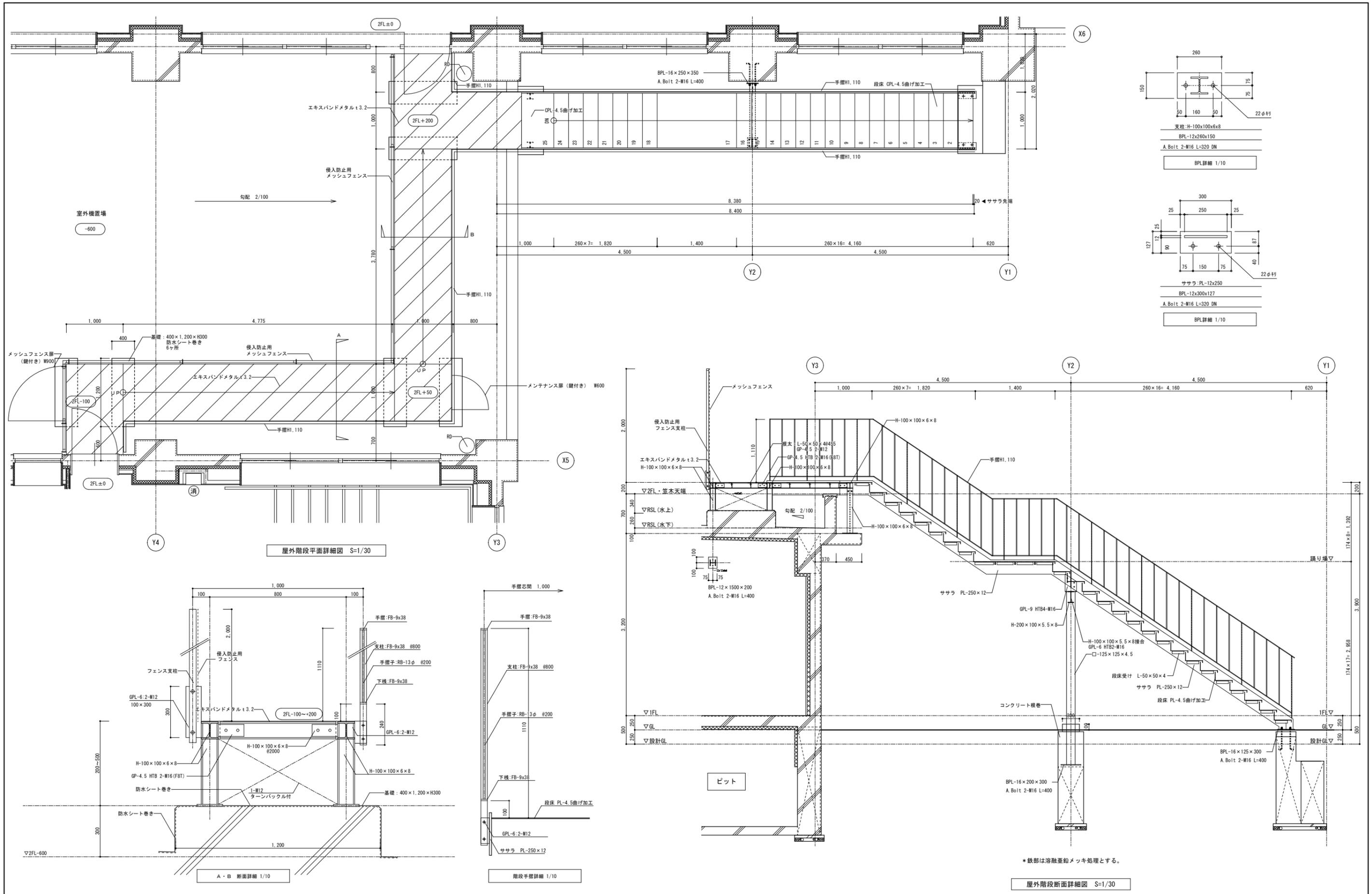


手摺詳細図 S=1/10 (参考図)

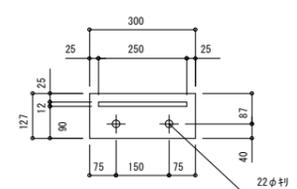


A断面詳細図 S=1/30

記	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	業務名称	株式会社 東北緑企画	図面名称	屋内階段詳細図	縮尺	A1:1/30 A3:1/60
事	設計者	一級建築士(大臣) 第58900号 折原 幸一	図面番号	屋内階段詳細図	図面番号	A-14



支柱: H-100x100x6x8  
BPL-12x260x150  
A Bolt 2-M16 L=320 DN  
BPL詳細 1/10



ササラ: PL-12x250  
BPL-12x300x127  
A Bolt 2-M16 L=320 DN  
BPL詳細 1/10

屋外階段平面詳細図 S=1/30

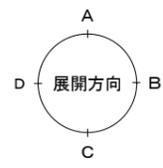
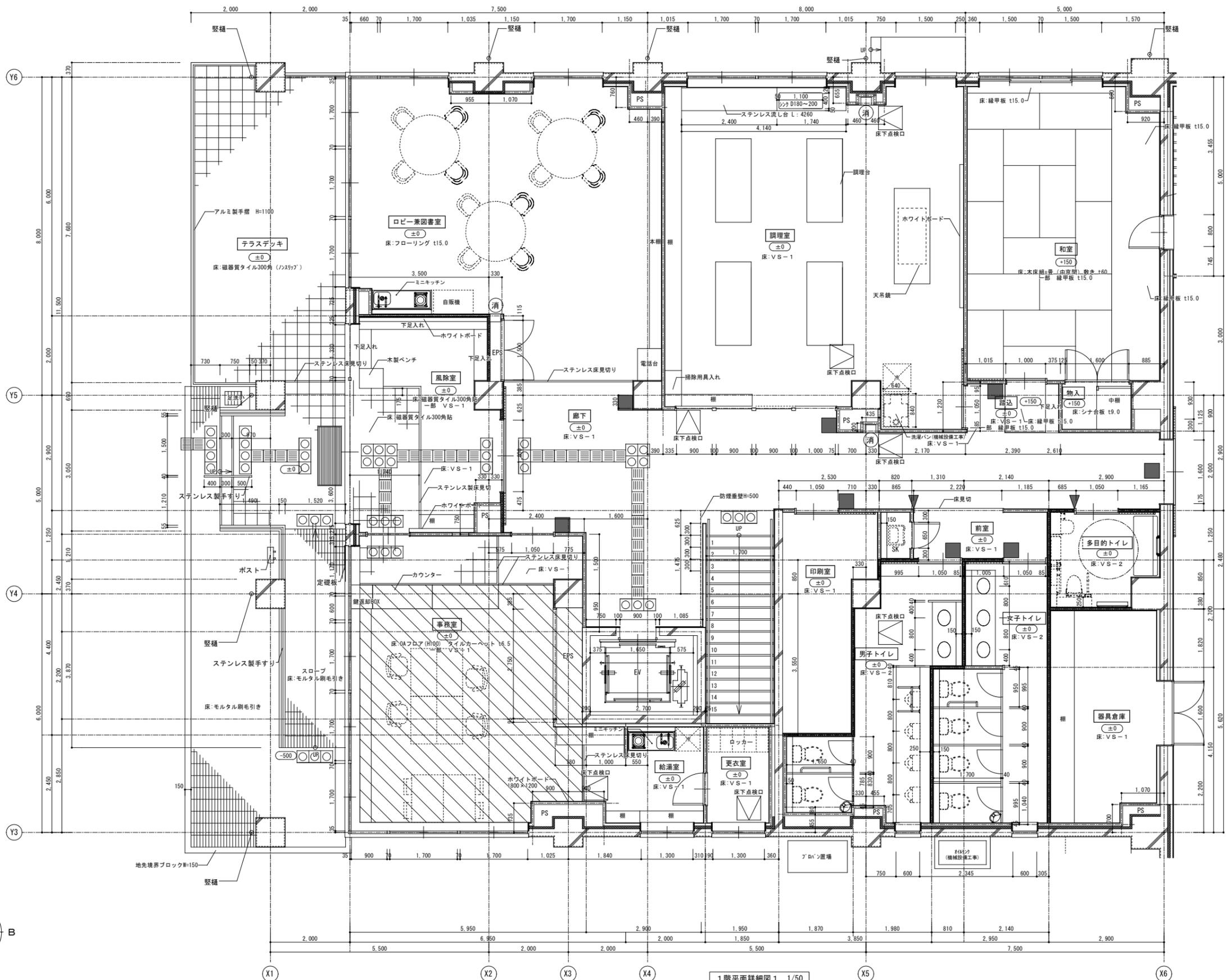
A・B 断面詳細 1/10

階段手摺詳細 1/10

屋外階段断面詳細図 S=1/30

\*鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。

記 事	業務名称	館歴公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館歴公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
		株式会社 東北緑企園		図面名称	屋外階段詳細図	縮尺	A1:1/30 A3:1/60
		一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面番号	A-15		

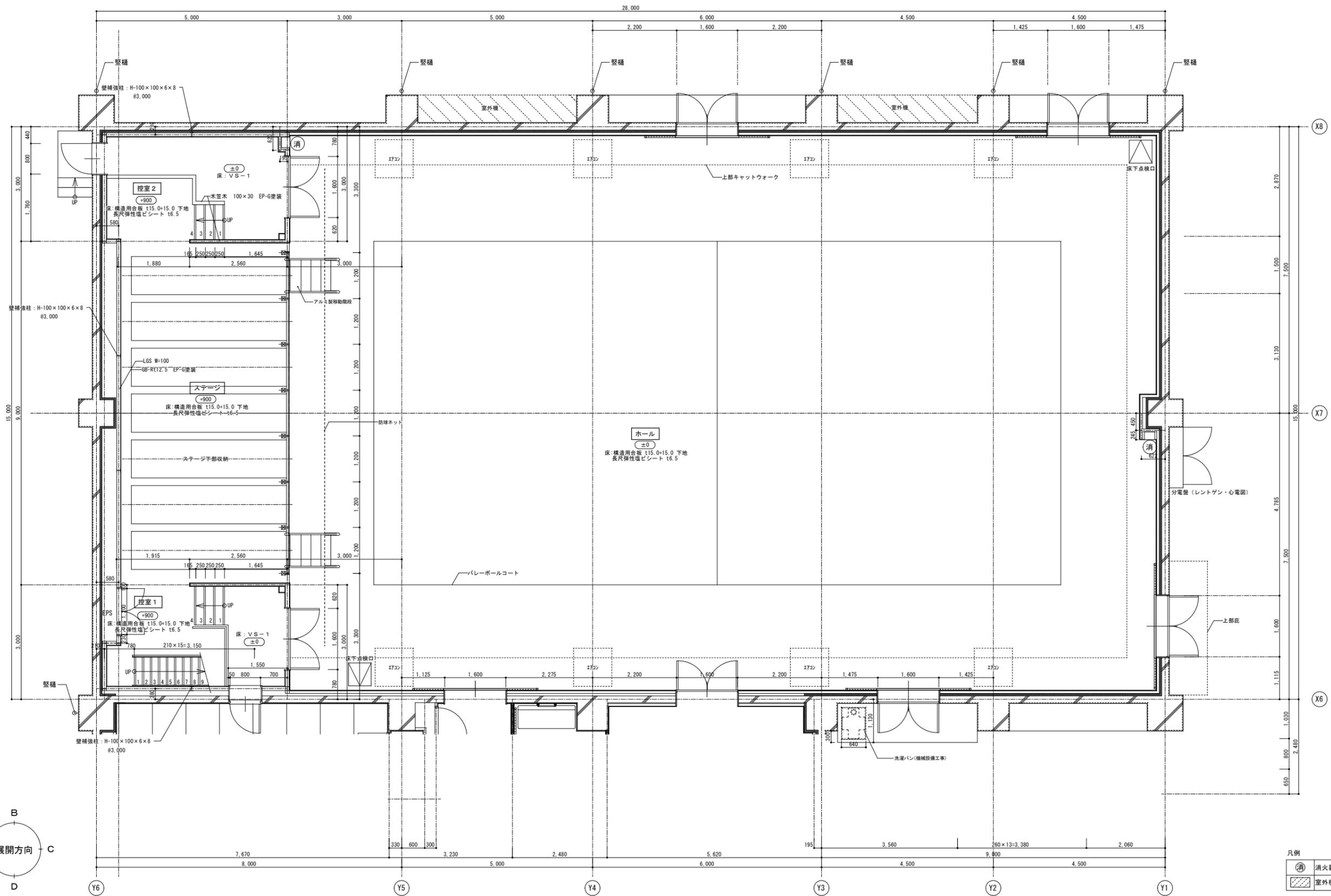


1階平面詳細図 1/50

凡例

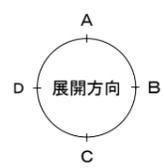
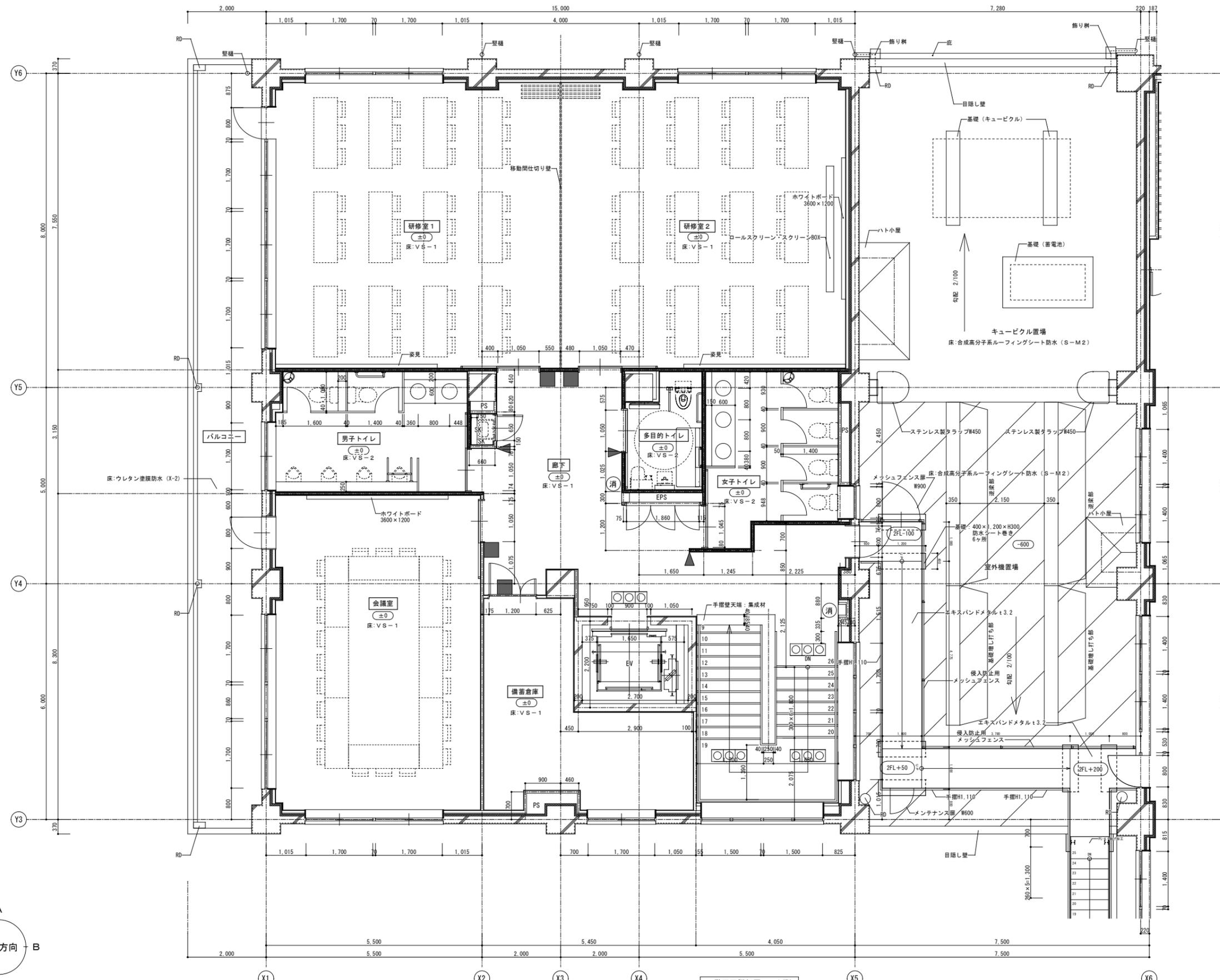
	消火器ボックス (埋込、ABC10型)
	磁器質タイル300角 (ノンスリップ)
	OAフロア (H100) タイルカーペット t6.5
	モルタル刷毛引き
	室外機置場
	サイン (平付)
	サイン (窓付)

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	1階平面詳細図(1)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-16
	株式会社 東北線企画	一級建築士 (大臣) 第9890号 折原 幸一	印			



1階平面詳細図2 1/50

記 事	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	1階平面詳細図(2)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-17
	株式会社 東北緑企圖	一級建築士(大臣) 第88900号 折原 幸一	印			

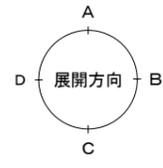
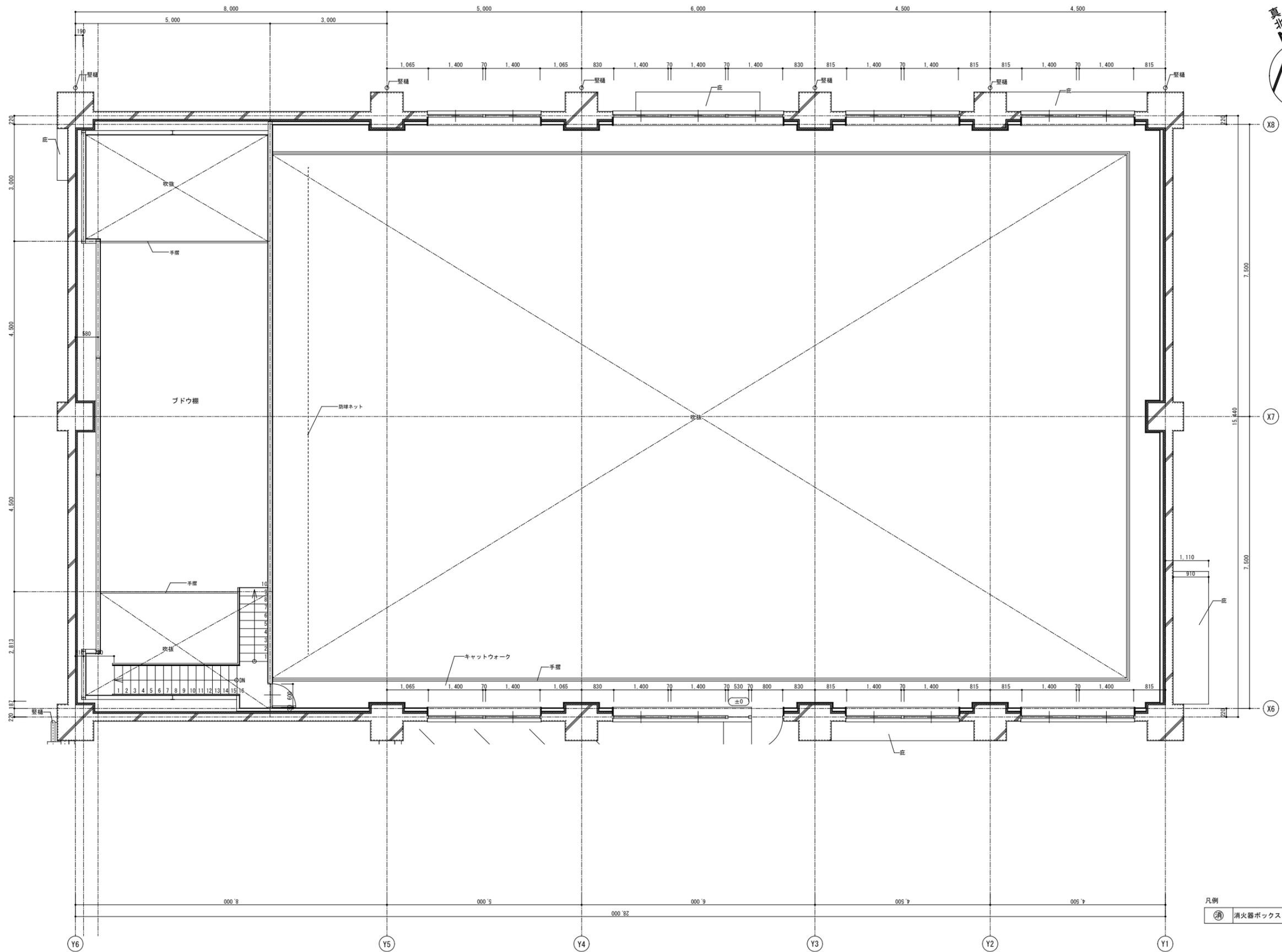


2階平面詳細図 1/50

凡例

	消火器ボックス (埋込、ABC10型)
	サイン (平付)
	サイン (窓付)

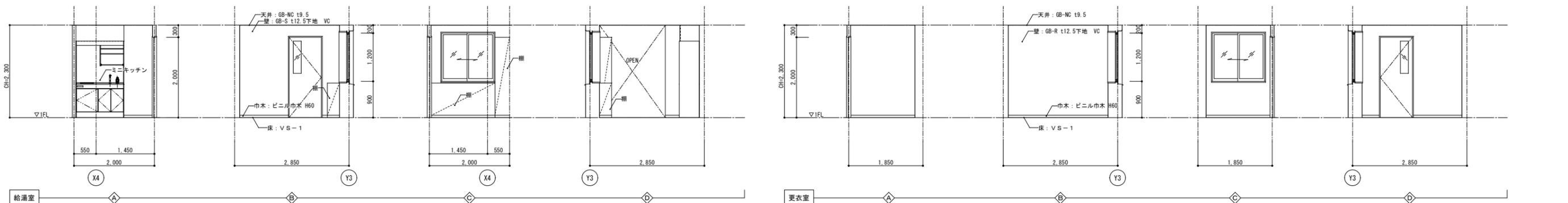
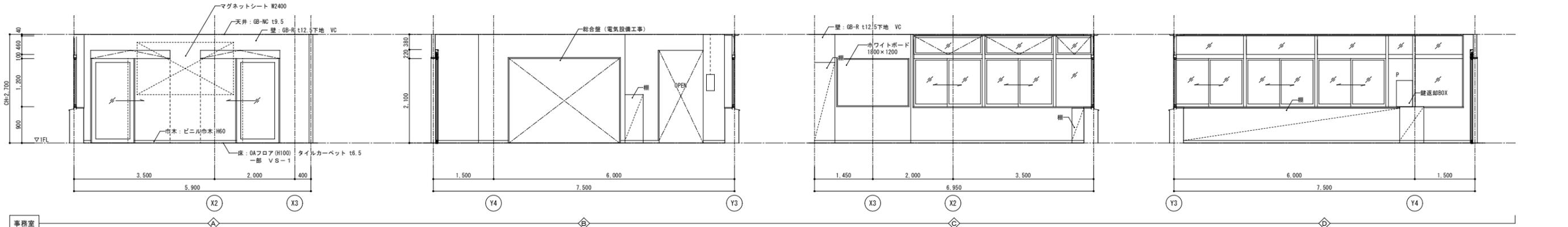
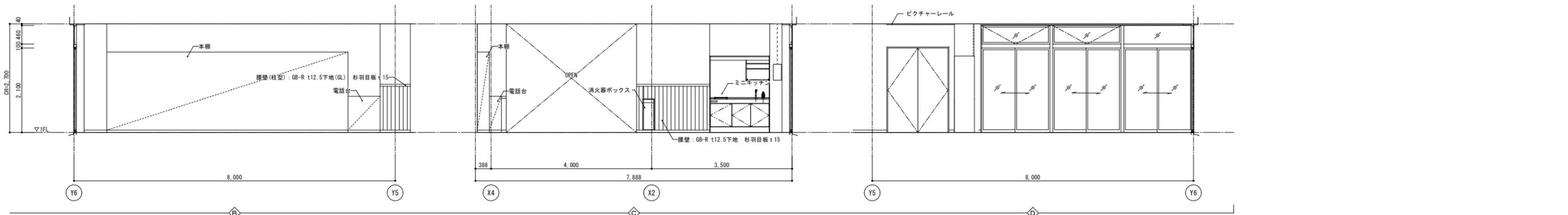
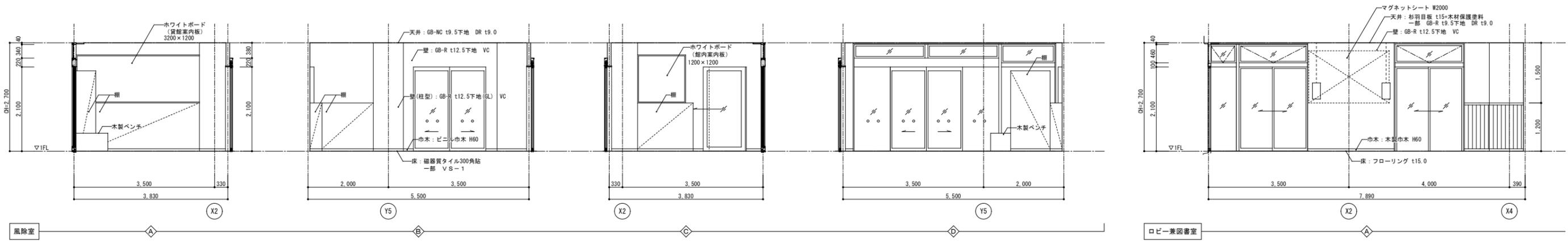
記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
		株式会社 東北緑企圖	図面名称	2階平面詳細図 (1)	図面番号	A-18
		一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	縮尺	A1:1/50 A3:1/100		



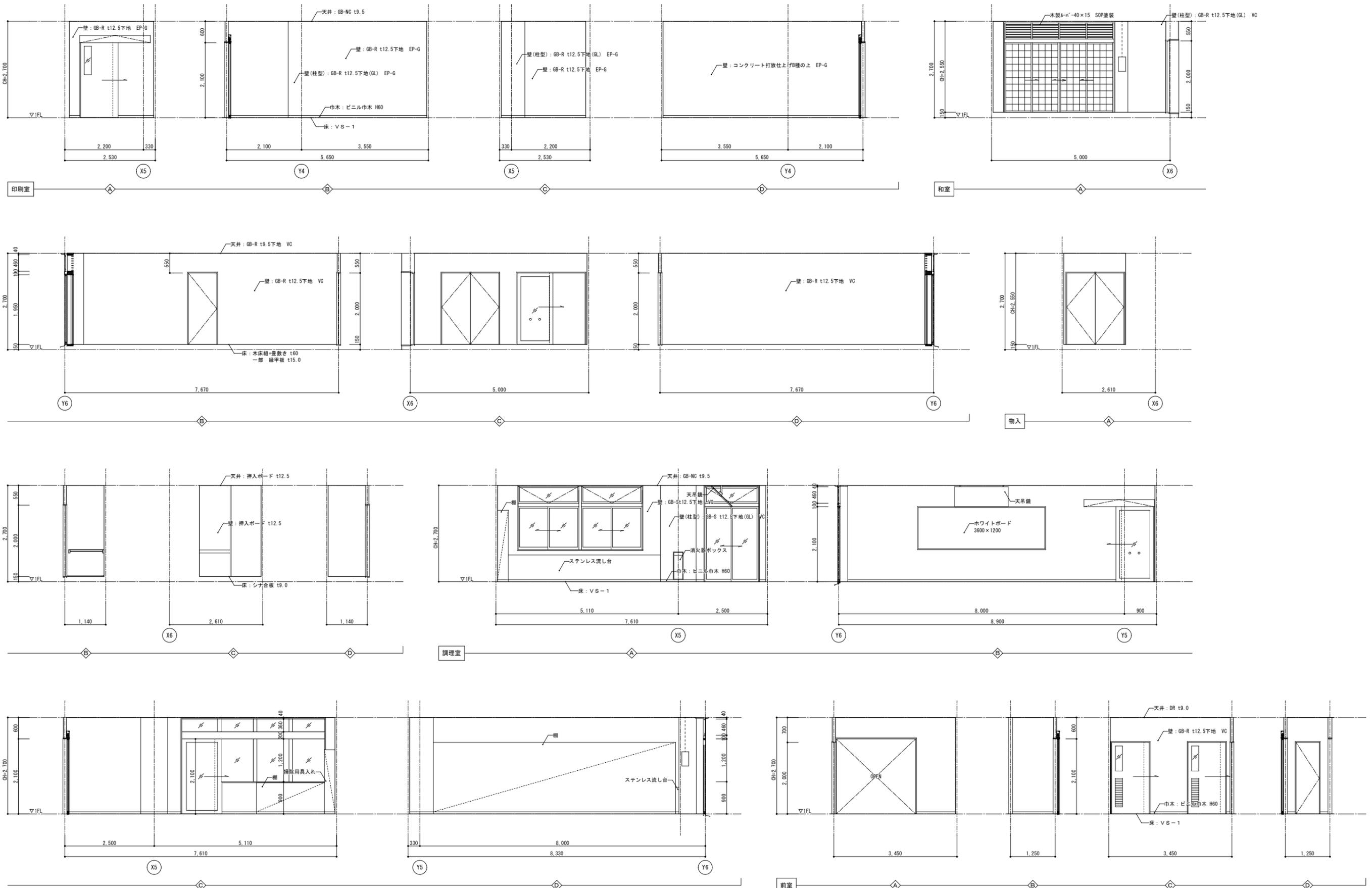
凡例  
 (消) 消火器ボックス (埋込、ABC10型)

2階平面詳細図 2 1/50

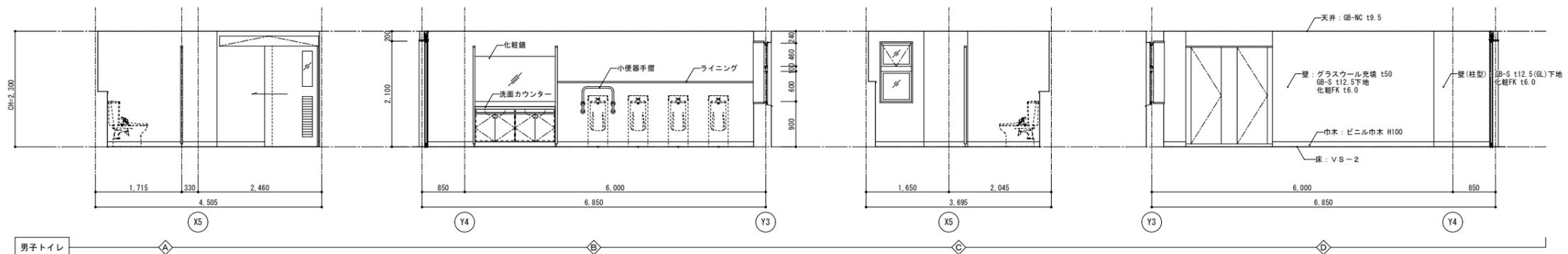
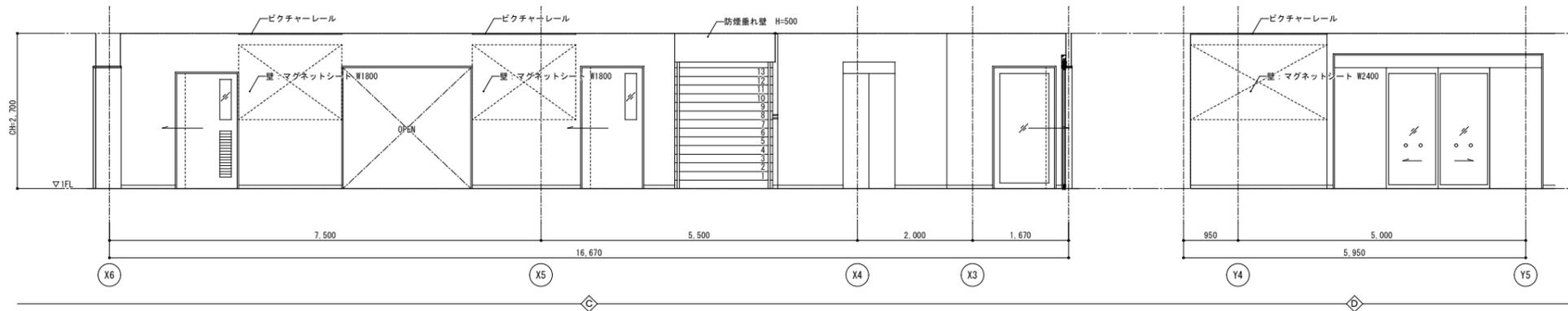
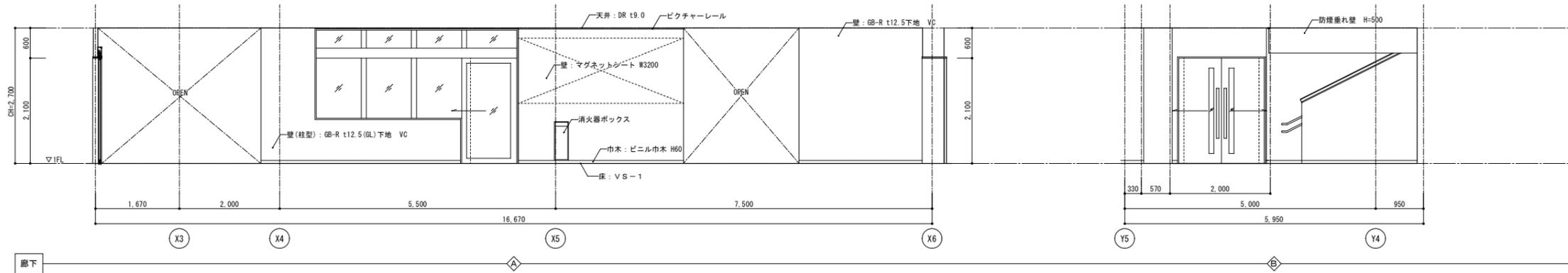
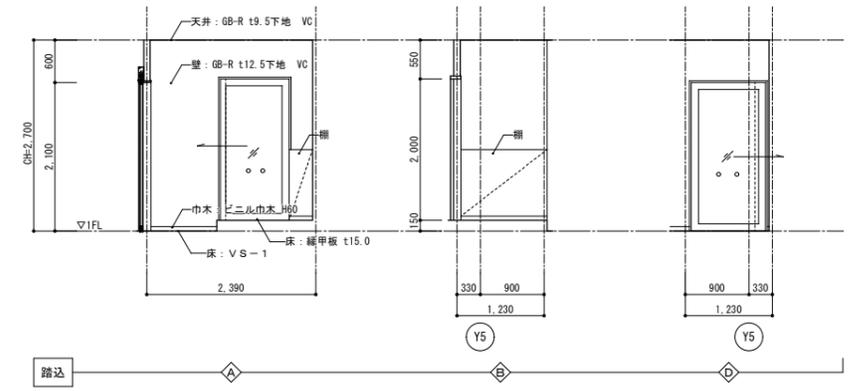
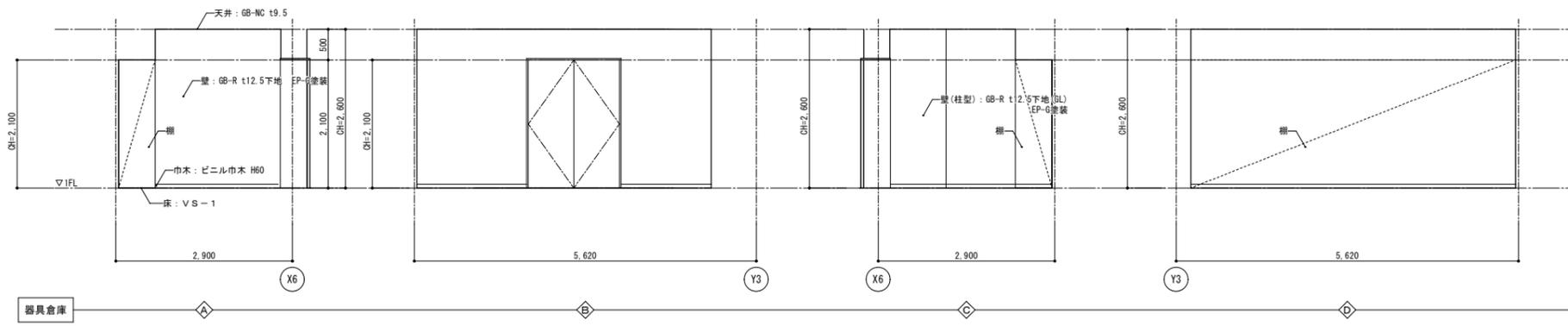
記 事	業務名称 館慶公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館慶公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	株式会社 東北緯企画 一級建築士(大匠) 第98900号 折原 幸一		図面名称 2階平面詳細図(2)		縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面番号 A-19



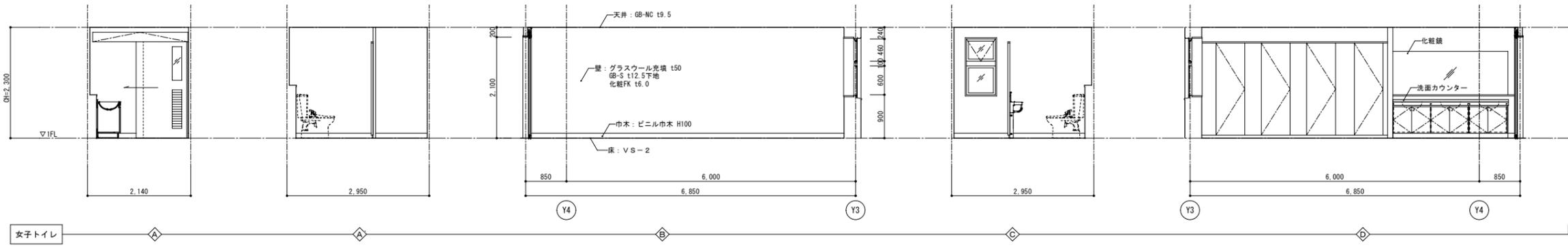
記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一		図面名称 展開図(1)		図面番号 A-20
		縮尺 A1:1/50 A3:1/100			



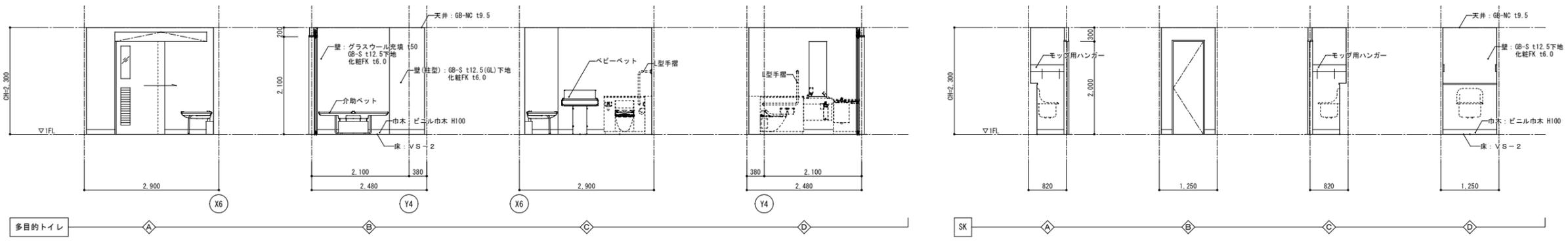
記 事	業務名称 館歴公民館移転改築工事設計業務	工事名称 館歴公民館改築工事	設計年月 令和7年3月
	株式会社 東北建企 一級建築士(大匠)第98900号 折原 幸一	図面名称 展開図(2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100



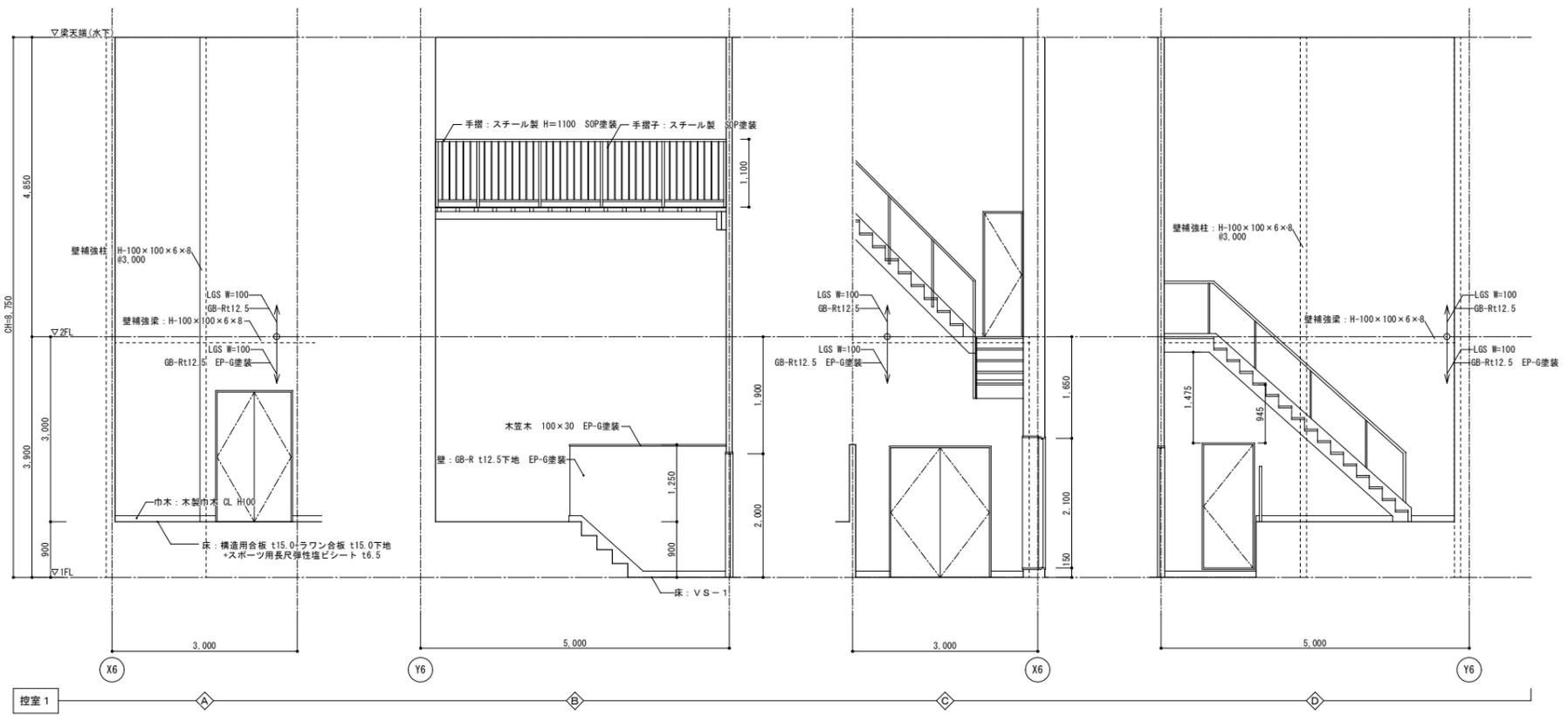
記 事	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	展開図(3)	図面番号	A-22	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
	設計者	株式会社 東北緯企画	一級建築士(大臣) 第98900号 折原 幸一			



女子トイレ

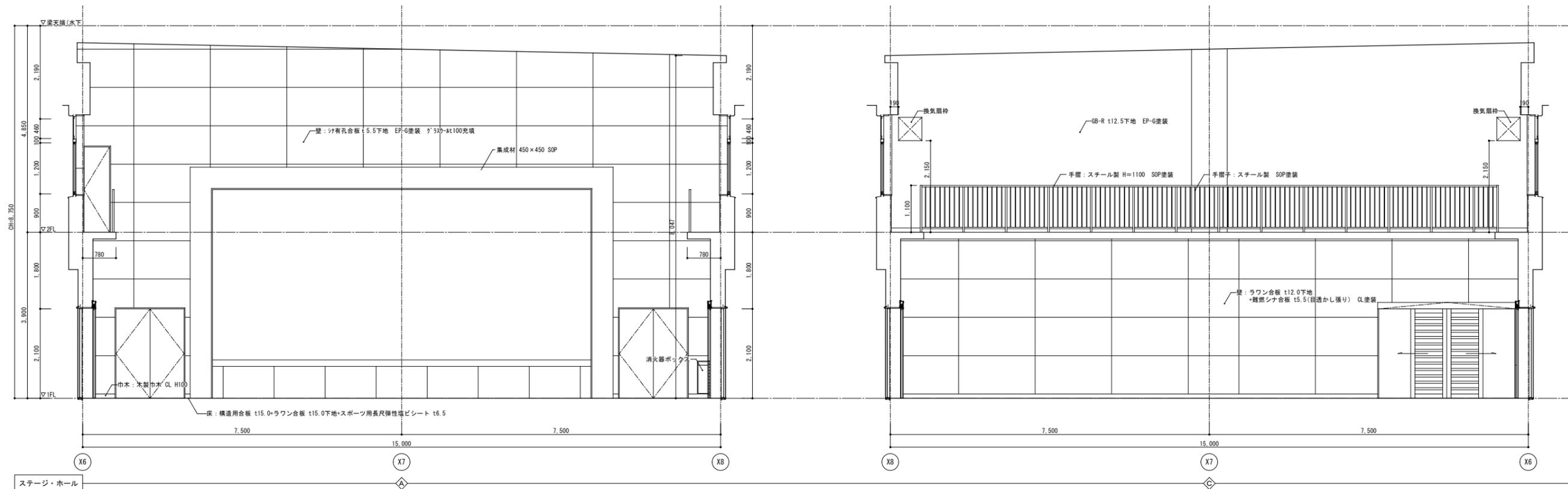
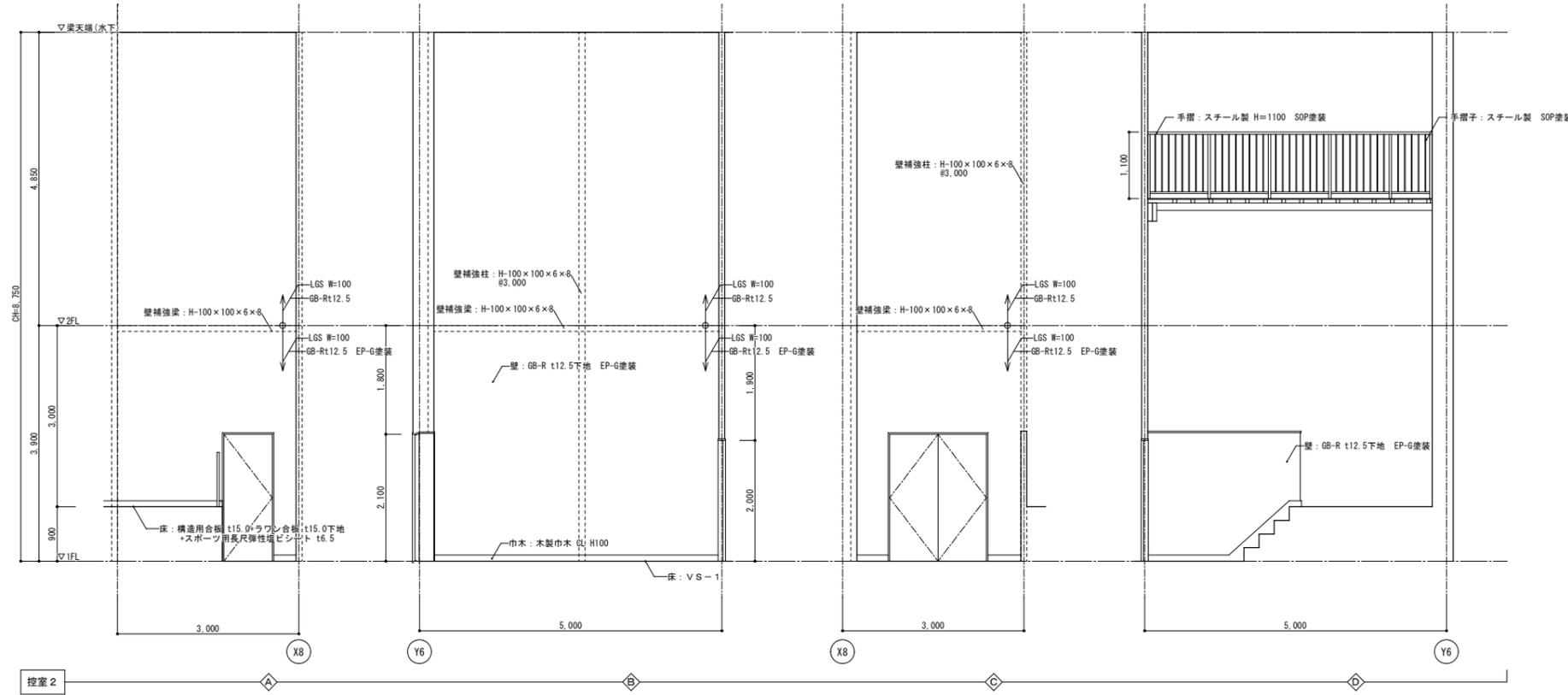


多目的トイレ

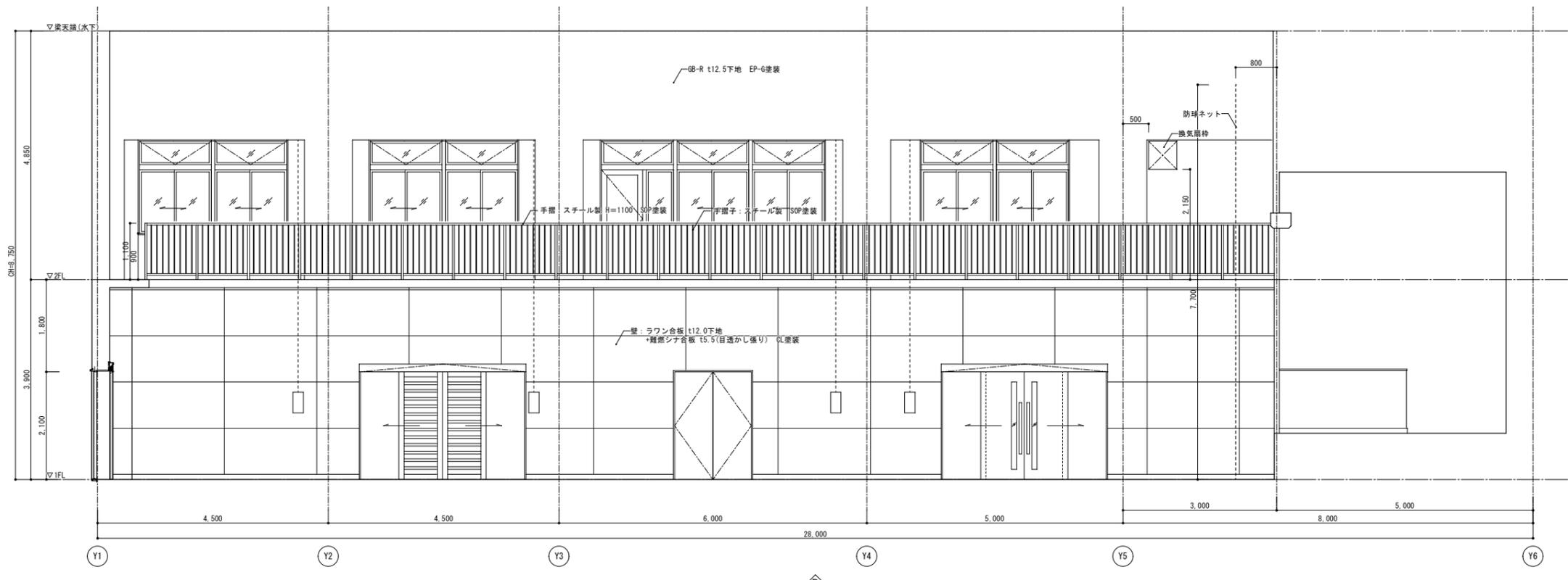
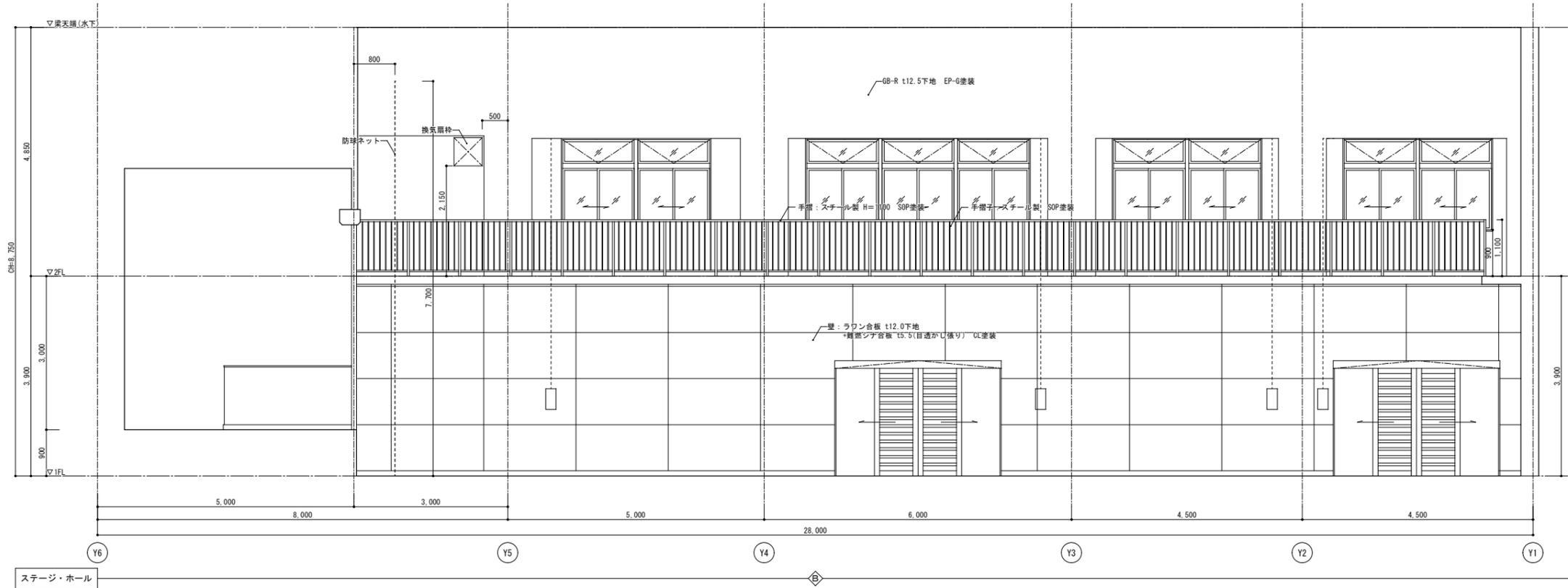


控室 1

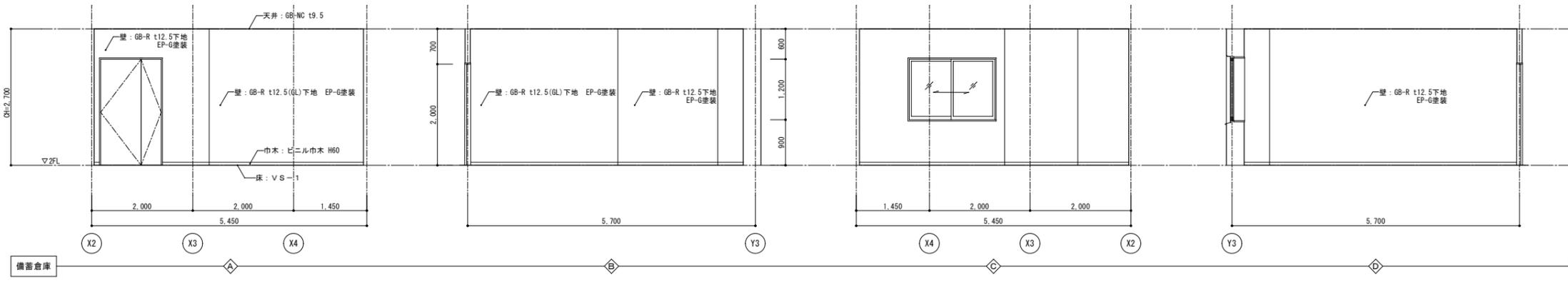
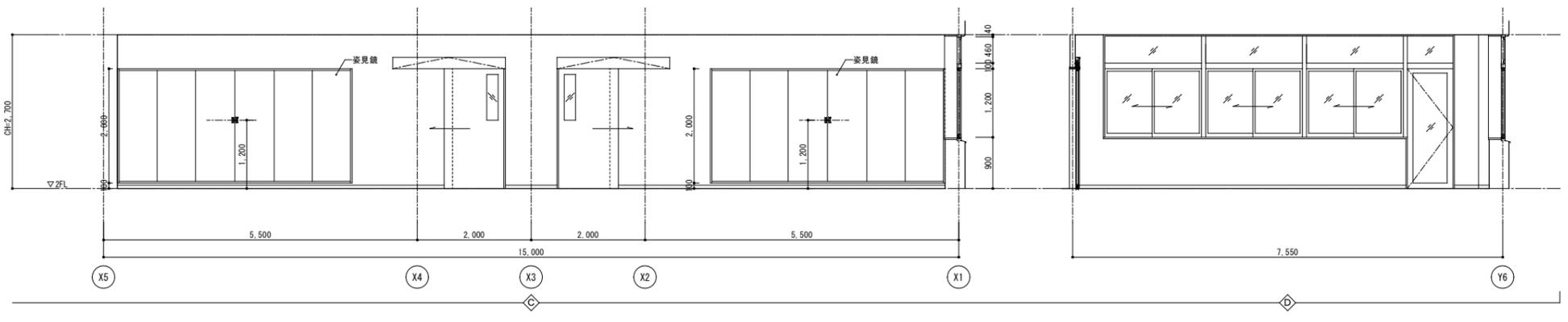
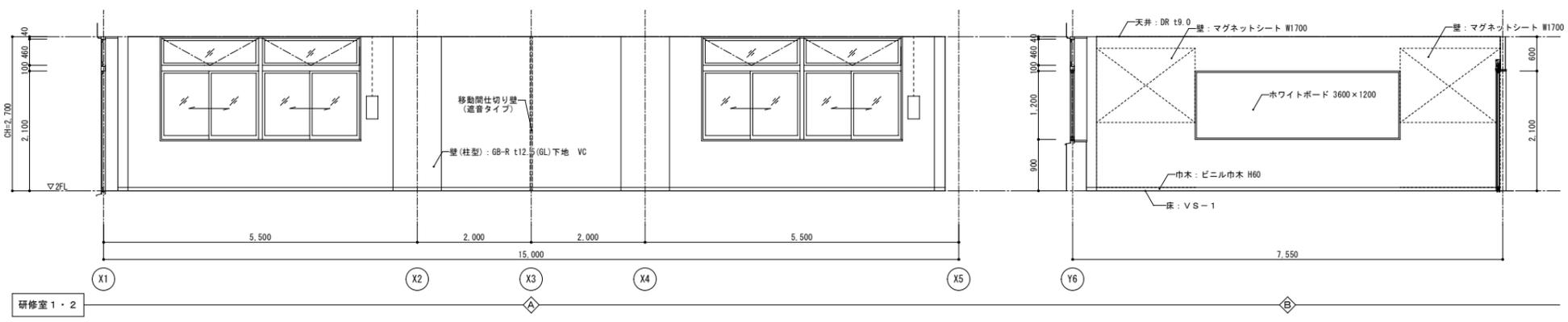
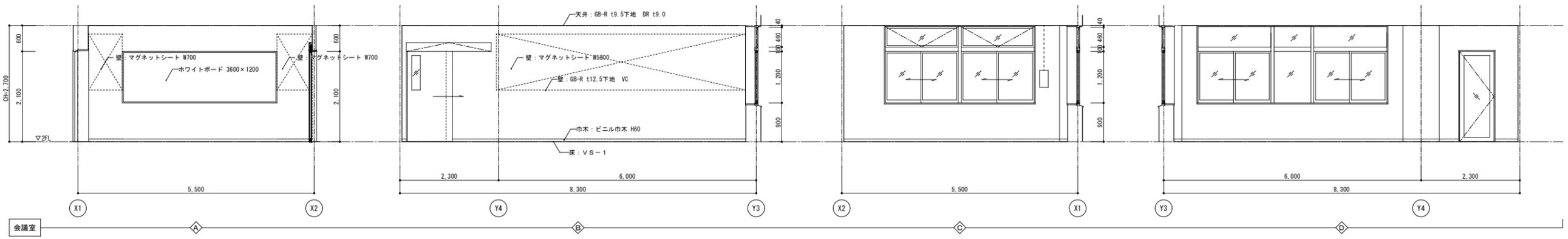
記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	展開図(4)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-23
株式会社 東北建企		一級建築士(大) 第98900号 折原 幸一	印			



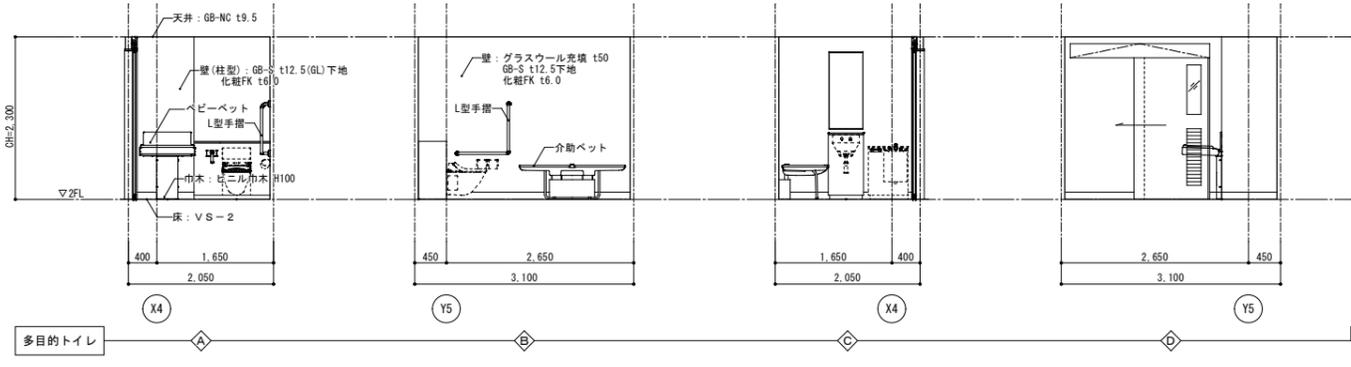
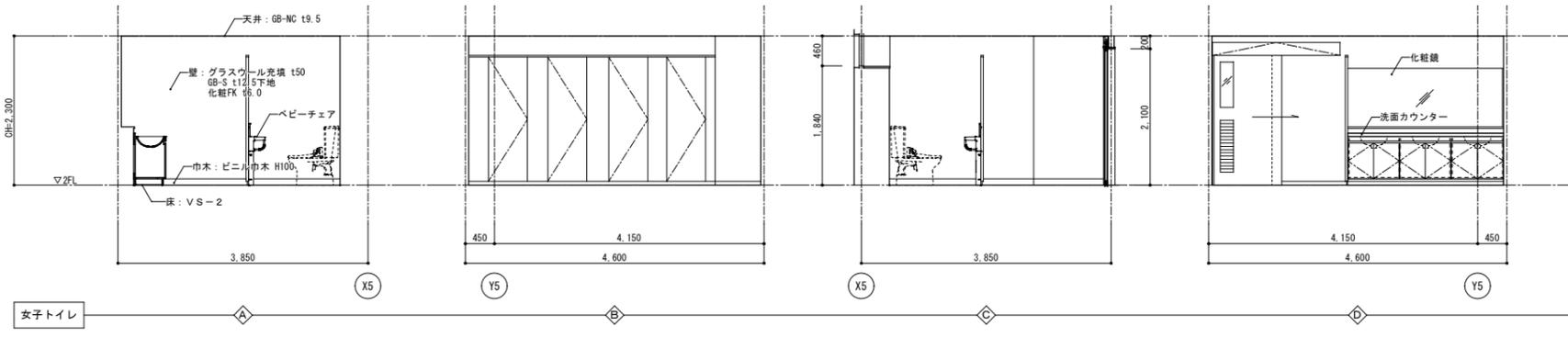
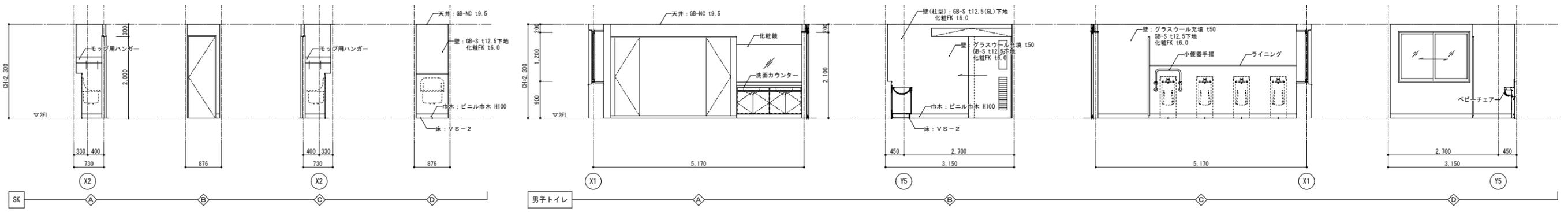
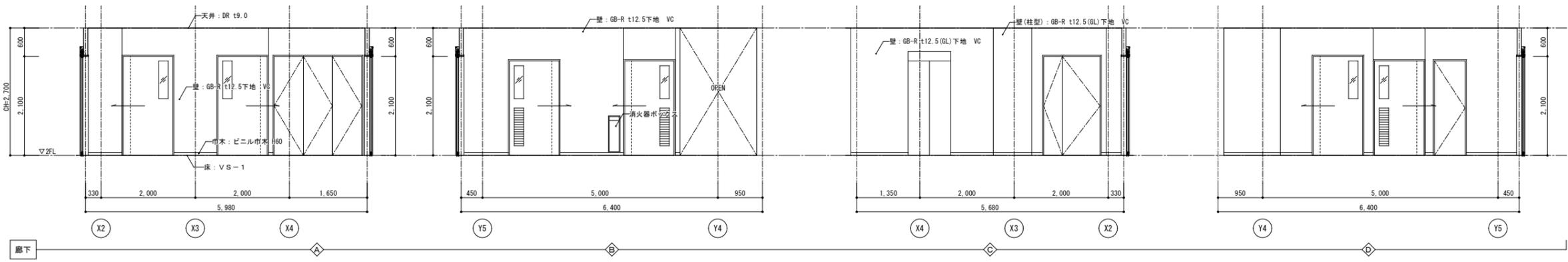
記 事	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	展開図(5)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-24
	株式会社 東北建企	一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一				



記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	展開図(6)	図面番号	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-25
	設計者	株式会社 東北建築 一級建築士(大臣) 第98900号 折原 幸一	印			

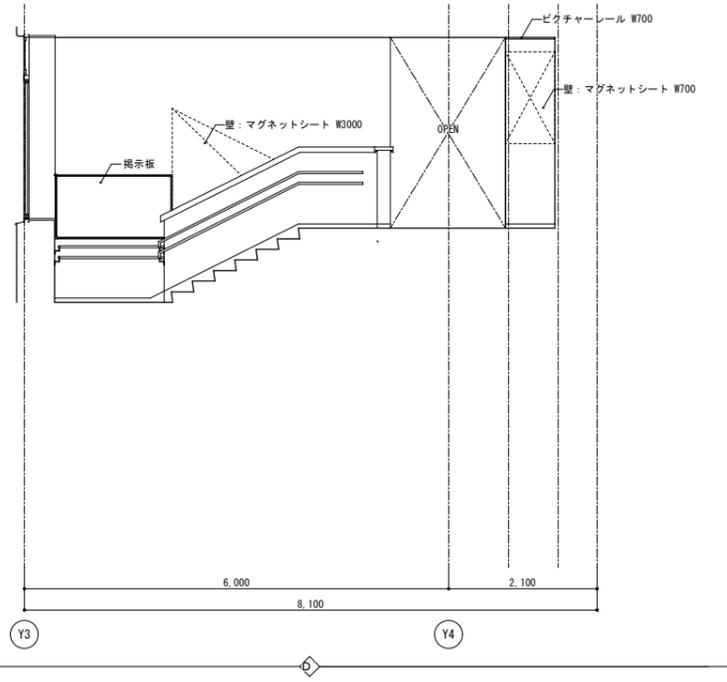
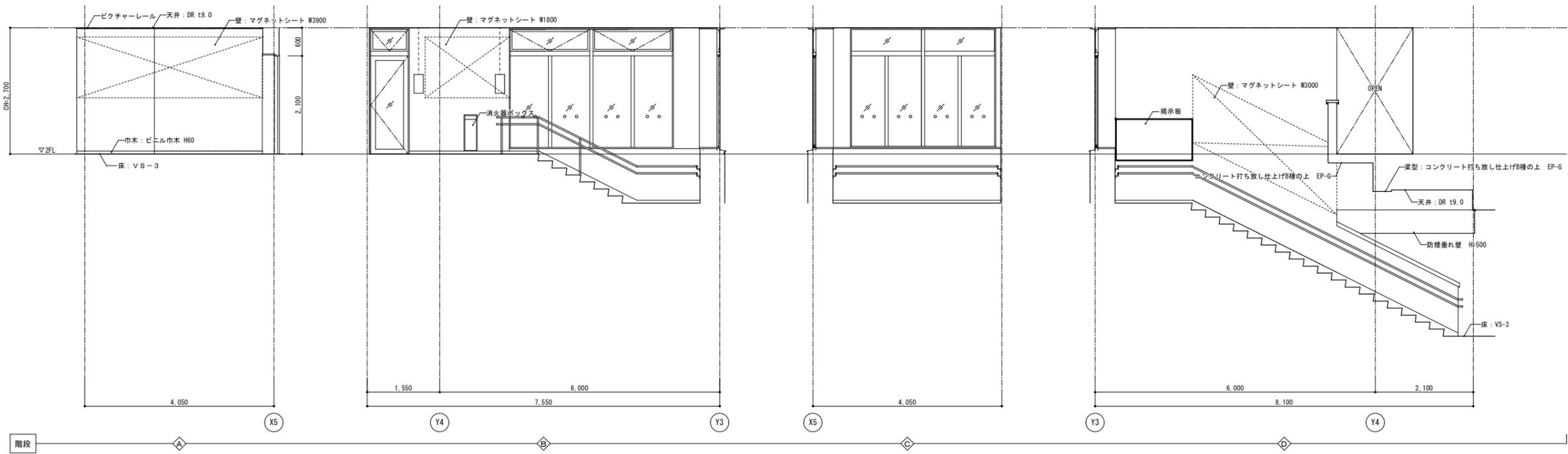


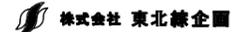
記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	展開図(7)	図面番号	A-26	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
株式会社 東北建企		一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一				



記 事	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	展開図(8)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-27

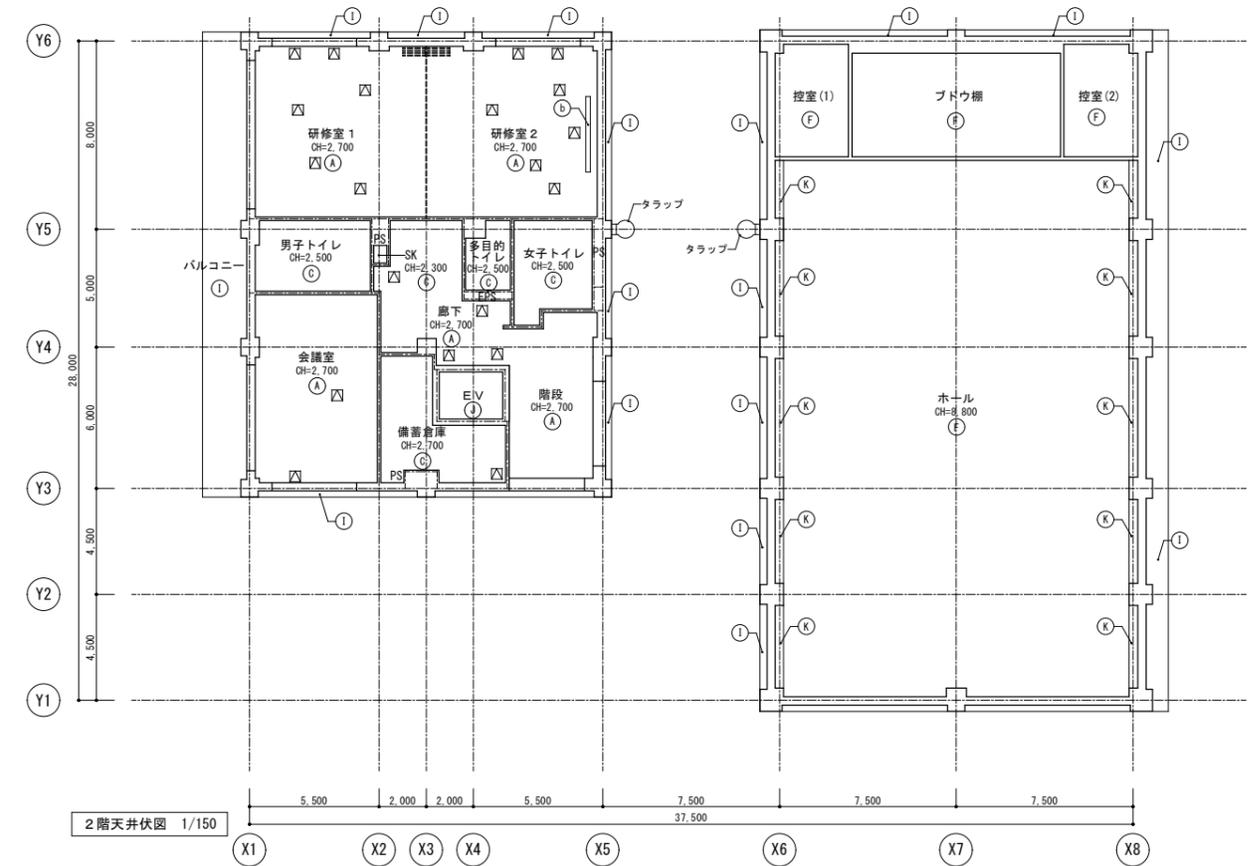
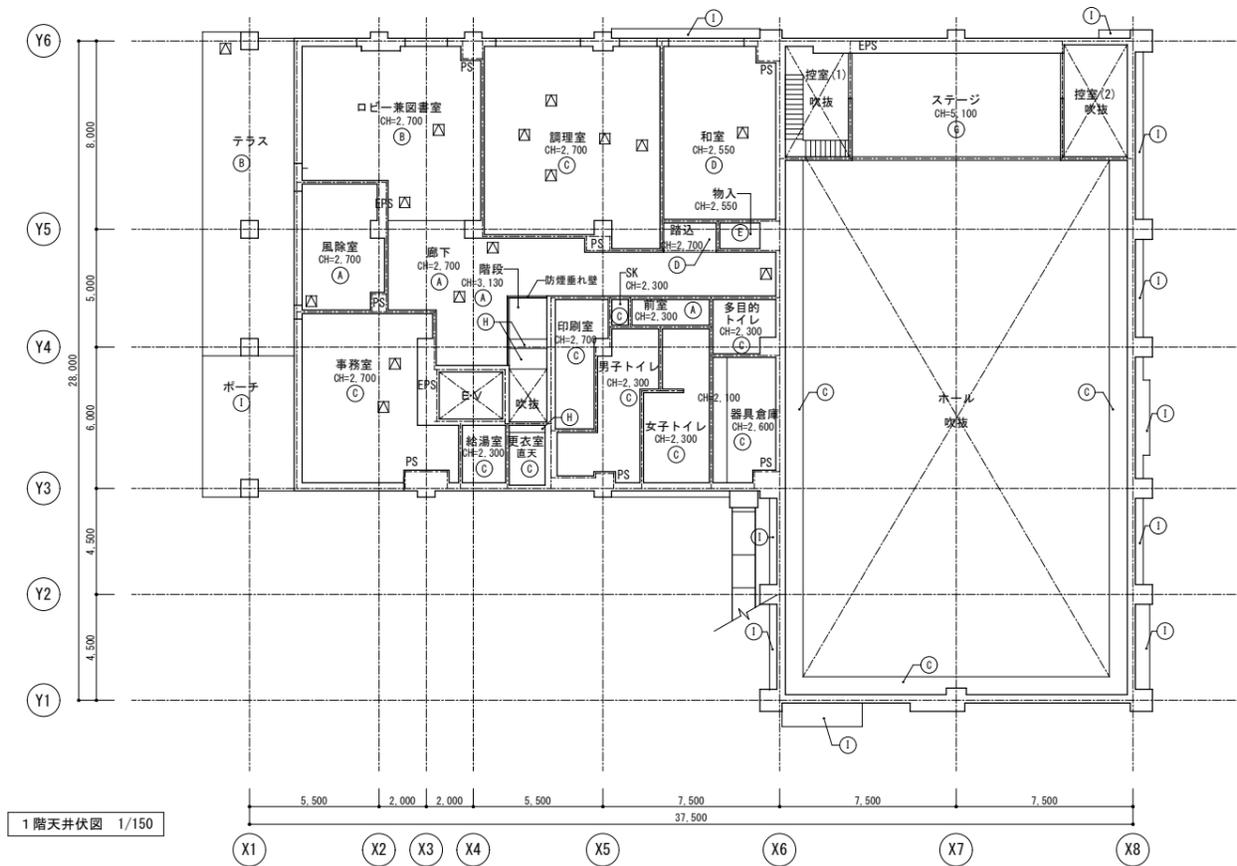
株式会社 東北建企 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一



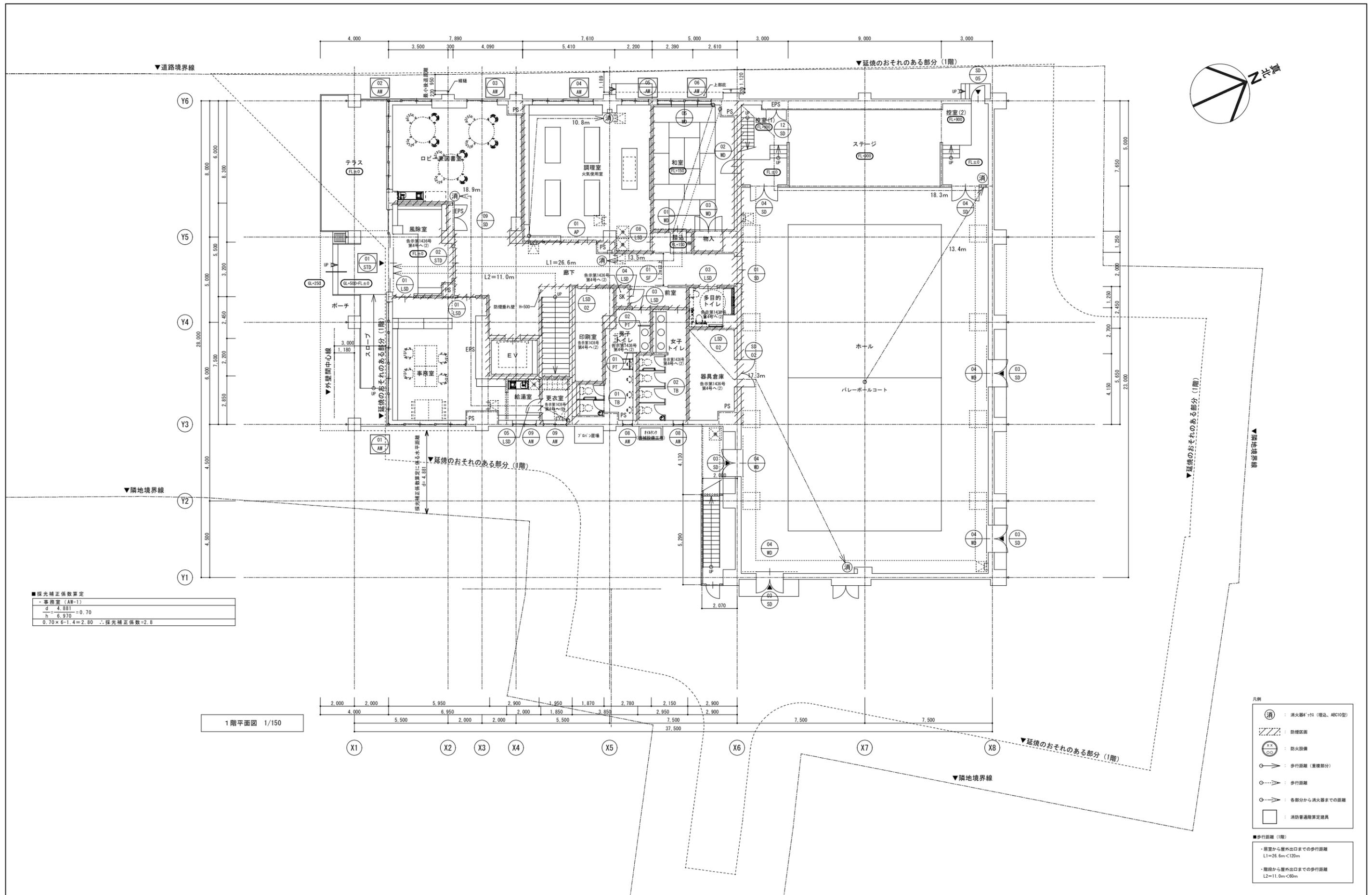
記 事	業務名称 館慶公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館慶公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一		図面名称 展開図(9)		縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面番号 A-28



凡例	
Ⓐ	DR t9.0
Ⓑ	アルミスバンドレル (木目調) t0.5
Ⓒ	GB-NC t9.5
Ⓓ	GB-R t9.5下地 VC
Ⓔ	シナ合板 t4.0
Ⓕ	フラットデッキ裏面表し+SOP塗装
Ⓖ	ブドウ欄裏面構造用合板表し+EP-G塗装
Ⓗ	コンクリート打ち放し仕上げB種の上+EP-G塗装
Ⓘ	コンクリート打ち放し仕上げ (B種) の上防水形複層塗材 E
Ⓝ	硬質ウレタンフォーム断熱材 t50の上不燃コート t10吹付
Ⓚ	GB-R t12.5下地 EP-G塗装
Ⓛ	ロールスクリーン・スクリーンBOX
Ⓜ	天井点検口 アルミ製450×450 34カ所



記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事	設計年月 令和7年3月
	一級建築士 (大臣) 第58900号 折原 幸一		図面名称 天井伏図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300
			図面番号 A-29	



■採光補正係数算定

・事務室 (AW-1)
d = 4.881
h = 6.970
0.70 × 6 - 1.4 = 2.80 ∴ 採光補正係数 = 2.8

1階平面図 1/150

- 凡例
- : 消火器付付 (機込、ABC10型)
  - : 防煙区画
  - : 防火設備
  - : 歩行距離 (重複部分)
  - : 歩行距離
  - : 各部分から消火器までの距離
  - : 消防設備算定器具
- 歩行距離 (1階)
- ・居室から屋外出口までの歩行距離  
L1=26.6m<120m
  - ・階段から屋外出口までの歩行距離  
L2=11.0m<60m

▼道路境界線

Y6

Y5

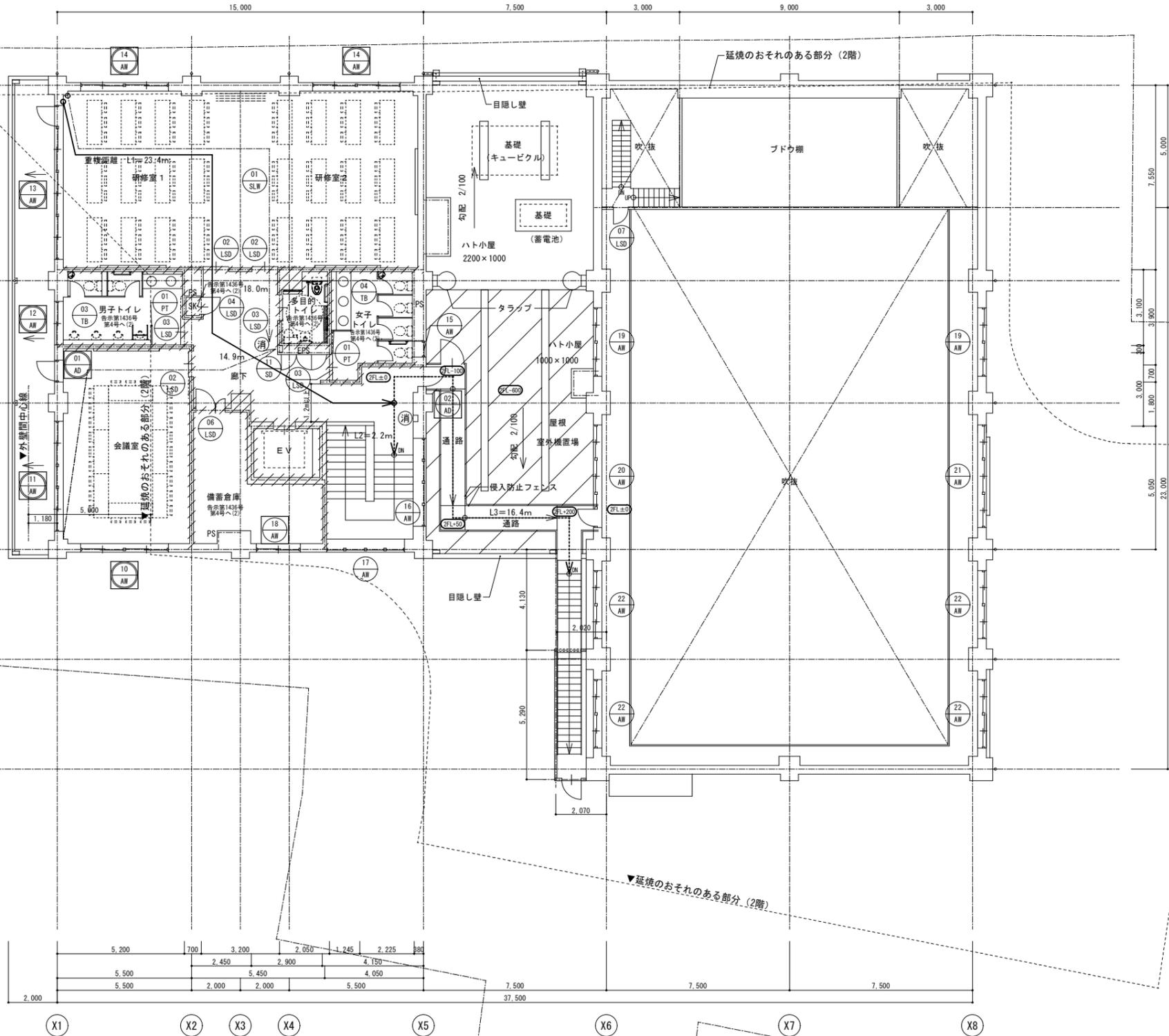
Y4

Y3

▼隣地境界線

Y1

2階平面図 1/100



- 凡例
- 消火器\*1 (増込、ABC10型)
  - 防煙区画
  - 防火設備
  - 歩行距離 (重複部分)
  - 歩行距離
  - 各部分から消火器までの距離
  - 消防用通関算定器具
- 歩行距離 (2階)
- ・重複距離  
L1=23.4m<30m
  - ・居室から避難階段までの歩行距離  
L1+L2=23.4+2.2=25.6m<60m  
L1+L3=23.4+16.4=39.8m<60m

記	業務名称	館歴公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館歴公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	※	図面名称	2階建具キープラン図・法規チェック図	図面番号	A-31	
		株式会社 東北線企画	一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	

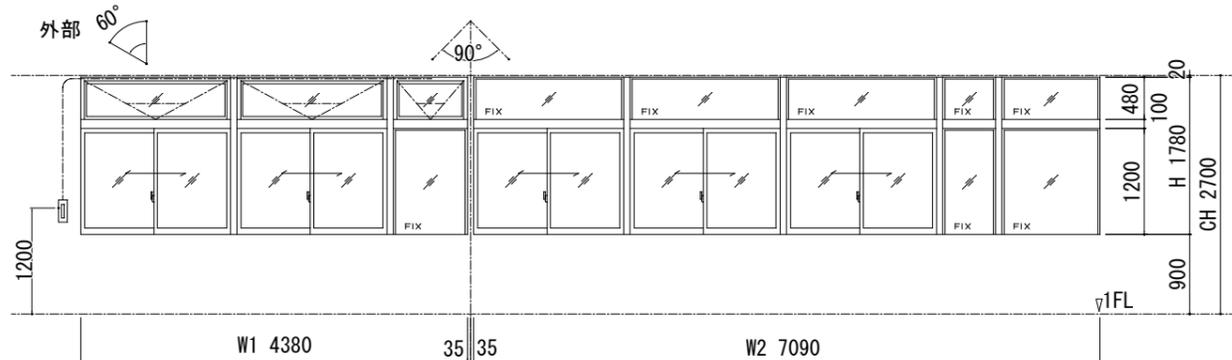
建具共通事項		建具種別記号		防火性能記号		附属金物標準仕様		枠形状記号																																																																															
<p>共通仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部建具廻り仕様           <ul style="list-style-type: none"> <li>防水モルタル詰めとする</li> <li>周囲シーリング材は公共建築工事標準仕様書9章7節による。</li> </ul> </li> <li>内部建具枠廻り仕様           <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート及びコンクリートブロック壁取付の場合、モルタル充填を行う。</li> </ul> </li> <li>建具の強度           <ul style="list-style-type: none"> <li>外部に面する建具の強度は、建築基準法施行令および告示に定められた風圧力に対し安全であるものとする。</li> </ul> </li> <li>フロアヒンジ           <ul style="list-style-type: none"> <li>カバーの上面は、原則として床仕上と同材の化粧仕上とする。</li> </ul> </li> <li>建具枠廻りモルタル詰め           <ul style="list-style-type: none"> <li>無塩砂を使用し、塩化物を含む混和材を使用してはならない。</li> </ul> </li> <li>ガラリ           <ul style="list-style-type: none"> <li>扉付のガラリは原則扉と同材・同仕上げとする。</li> <li>W1500以上は方立を設ける。</li> <li>外面のガラリはステンレス製防鳥網(SUS φ1.5 12×12)を設置する。</li> <li>ダクト接続は、接続枠付、水返し(SUS t1.0以上)付とし、板ゴムを介して取付ける。枠裏面(室内側)は結露防止材を施す。</li> <li>外部ガラリは2重ガラリ以上とする。</li> </ul> </li> <li>枠廻りアングル           <ul style="list-style-type: none"> <li>木製額縁、膳板、カーテンボックスを取付ける金属製建具には、枠と同材のアングルを用意する。</li> </ul> </li> <li>窓枠の標準設置           <ul style="list-style-type: none"> <li>特記無い場合にも扉の面側の床仕上と異なる場合は、の窓枠を設ける。</li> </ul> </li> <li>排煙用開口部           <ul style="list-style-type: none"> <li>開放用クレセント等建具金物は、床面より0.8m以上1.5m以内の高さに取付ける。また、高窓等通常操作の開閉が困難な場合は、すべてオペレーターを設置する。</li> <li>この場合関連するスペースでは、すべて運動の操作ボックスをそれぞれの床面から1.5m以内に取付けるものとする。</li> <li>オペレーターは、ワンタッチ開放型、または、隠ぺい型とする。</li> </ul> </li> <li>防煙垂壁           <ul style="list-style-type: none"> <li>ロール式防煙垂壁は原則としてレール可倒式(認定品)とする。</li> </ul> </li> <li>網戸の形式           <ul style="list-style-type: none"> <li>引違窓、片引窓 = 可動</li> <li>欄間排煙窓 = なし</li> <li>外開窓 = なし</li> <li>網戸は合成樹脂製とする。</li> <li>その他の場合は特記による。(ex. ブリーツ網戸取付の場合等)</li> </ul> </li> <li>法定標準           <ul style="list-style-type: none"> <li>代用進入口マーク他は所定の位置に取り付ける。</li> </ul> </li> <li>水切り板           <ul style="list-style-type: none"> <li>アルミ製建具水切り板は国土交通省仕様(H27年版)による。</li> </ul> </li> <li>構造スリット部建具           <ul style="list-style-type: none"> <li>構造スリットが接する建具枠は、別途特記による。</li> <li>鋼製建具(開き扉形式)は、構造スリットに取合わない位置に設置する。</li> </ul> </li> <li>鍵           <ul style="list-style-type: none"> <li>鍵はリバーシブルシリンダー、ディンプルキーとする。</li> <li>シリンダー錠はアンチフリクション機構付とする。</li> <li>鍵は必要により設備関係の鍵類も合わせてキーボックスに収納する。</li> </ul> </li> <li>その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>框戸ガラス面には衝突防止金物 SUS 鏡面仕上げφ30 @300を両面に取付けること。</li> <li>扉の窓は全てエッジレス(縁無し)タイプとする。</li> <li>Low-Eガラスは開口部基準の熱貫流率1.30(W/(m<sup>2</sup>・K))以下となる性能を有すること。</li> <li>Low-Eガラスは室内側に設置し、「日射取得型」とすること。</li> </ul> </li> </ul>	<p>SD 鋼製扉</p> <p>LSD 軽量鋼製扉</p> <p>STD ステンレス製扉</p> <p>AD アルミ製扉</p> <p>WD 木製扉</p> <p>TD 強化ガラス扉</p> <p>SW 鋼製窓</p> <p>STW ステンレス製窓</p> <p>AW アルミ製窓</p> <p>APW アルミ樹脂複合窓</p> <p>WW 木製窓</p> <p>SG 鋼製ガラリ</p> <p>STG ステンレス製ガラリ</p> <p>AG アルミ製ガラリ</p> <p>WG 木製ガラリ</p> <p>SS 鋼製重量シャッター</p> <p>LSS 鋼製軽量シャッター</p> <p>RSS グリルシャッター</p> <p>STS ステンレス製重量シャッター</p>	<p>ShS シートシャッター</p> <p>OS オーバースライダー</p> <p>ACW アルミ製カーテンウォール</p> <p>AP アルミ製パーティション</p> <p>SP 鋼製パーティション</p> <p>SLP 鋼製ローパーティション</p> <p>SLW 鋼製移動間仕切り</p> <p>TB トイレブース</p> <p>F ふすま</p> <p>P 障子</p>	<p>常時閉鎖式</p> <p>随時閉鎖式</p> <p>遮煙性能</p> <p>熱感知器連動</p> <p>煙感知器連動</p>	<p>DC ドアクローザー</p> <p>DC(S) ドアクローザー(ストッパー付き)</p> <p>DC(F) ドアクローザー(ヒューズ付き)</p> <p>DC(C) ドアクローザー(コンシールド型)</p> <p>FB フランス落し</p> <p>AS アームストッパー</p> <p>DS 戸当り</p>	<p>・丁番：ステンレスHL</p> <p>・ピボットヒンジ：鉄製型打鍛造又は亜鉛ダイキャスト(見え掛かり部はステンレスカバー)</p> <p>・フロアヒンジ：フェーズプレートは隠蔽型、内外とも90度ストップ付き</p> <p>・ディレイドアクション、ラッチングアクション、バックチェック、閉扉速度調整装置付</p> <p>・オートヒンジ：焼付塗装(指定色)</p> <p>・ドアクローザー：アルミダイキャスト 焼付塗装(扉同色)</p> <p>・ディレイドアクション、ラッチングアクション、バックチェック、閉扉速度調整装置付</p> <p>・ドアクローザー(コンシールド形)：スプリング油圧式、2段変速調整装置付、90度ストップ付(戸当り併用)</p> <p>・錠前：シリンダー錠、バックセット75mm以上、マスターキー装置付</p> <p>・握玉：ステンレスHL、バックセット100mm、丸座φ100</p> <p>・レバーハンドル：座板共ステンレスHL</p> <p>・グレモンハンドル：ステンレスHL</p> <p>・フランス落し：ステンレスHL</p> <p>・戸当り：(外部)ステンレスHL ゴム付 (内部)亜鉛ダイキャスト ゴム付</p>	<p>A</p> <p>B</p>																																																																																	
	<p>仕上げ記号</p> <p>※仕上表等に記載の場合は見え消しでも可</p> <p>BB-1 無着色陽極酸化塗装複合皮膜</p> <p>BB-2 着色陽極酸化塗装複合皮膜</p> <p>SOP 合成樹脂調合ペイント塗り</p> <p>CL クリアラッカー塗り</p> <p>DP 耐候性塗料塗り</p> <p>EP-G 艶有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>OS オイルステイン塗り</p> <p>OSCL オイルステイン3回塗クリアラッカー2回塗</p>	<p>ガラス記号</p> <p>FL フロート板ガラス</p> <p>FLG すりガラス</p> <p>FG 型板ガラス</p> <p>PWG 網入磨き板ガラス</p> <p>PWLG 線入磨き板ガラス</p> <p>FWG 網入型板ガラス</p> <p>FWLG 線入型板ガラス</p> <p>HAG 熱線吸収板ガラス</p> <p>HAPWG 熱線吸収網入磨き板ガラス</p> <p>HAPWLG 熱線吸収線入磨き板ガラス</p> <p>AWG 熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備)</p> <p>AWL 熱線吸収線入磨き板ガラス(防火設備)</p> <p>SRG 熱線反射硝子</p> <p>HASRG 熱線吸収熱線反射ガラス</p> <p>HSG 倍強度ガラス</p> <p>TG 強化ガラス</p> <p>FTG 型板強化ガラス</p> <p>LG 合わせガラス</p> <p>SIG 複層硝子</p> <p>L-ESIG Low-Eガラス(室内側)</p> <p>HR 高性能熱線反射板ガラス</p> <p>DSHA 倍強度熱線吸収ガラス</p> <p>FK 耐熱ガラス(特定防火設備)</p> <p>GB ガラスブロック</p> <p>Ar 中空層アルゴンガス</p>	<p>KN 握り玉</p> <p>LH レバーハンドル</p> <p>HP 押棒・押板・引手</p> <p>CH ケースハンドル</p> <p>FP 彫込引手</p> <p>OP オペレーター(隠蔽型)</p> <p>OP(露) オペレーター(露出型)</p> <p>GH グレモンハンドル</p> <p>CR クレセント</p>	<p>附属金物(操作金物)記号</p> <p>A ケースロック</p> <p>B インテグラルロック</p> <p>C モノロック</p> <p>D 引戸錠</p> <p>E グレモン錠</p> <p>F 本締錠</p> <p>G 電気錠</p> <p>H 点検口錠</p> <p>I 分電盤錠</p> <p>J 表示錠</p>	<p>附属金物(旋錠金物)記号</p> <p>A 両面シリンダー</p> <p>B 片面シリンダー</p> <p>C 片面シリンダー</p> <p>D 片面サムターン</p> <p>E 片面サムターン</p> <p>F 片面空錠</p> <p>G 片面空錠</p>	<p>附属金物(旋錠機構)記号</p> <p>○ 両面シリンダー</p> <p>○ 片面シリンダー</p> <p>○ 片面シリンダー</p> <p>○ 片面サムターン</p> <p>○ 片面サムターン</p> <p>○ 片面空錠</p>	<p>目地棒4×12</p> <p>3-4 23</p> <p>3-4 23</p> <p>3-4 23</p> <p>60</p>	<p>・シリンダー錠は原則として片面シリンダー、片面サムターンとする。</p>	<p>A</p> <p>E</p>																																																																														
		<p>材質記号</p> <p>S 鋼(スチール)</p> <p>SUS ステンレス</p> <p>AL アルミ</p> <p>AL+P アルミ+樹脂</p> <p>W 木</p>	<p>性能記号</p> <p>※特記仕様書に記載の場合は見え消しでも可</p> <p>AT 気密性サッシ・ドアセット</p> <p>SAT 簡易気密性ドアセット</p> <p>PAT 防音型ドアセット</p> <p>T- 防音型サッシ</p> <p>H- 断熱型サッシ・ドアセット</p> <p>D- 耐震ドアセット</p>	<p>附属金物標準取付リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開閉方式</th> <th>支持金物</th> <th>旋錠金物</th> <th>附属金物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開き(S, ST)</td> <td>(外部用)H×3 (内部用)PH</td> <td>F</td> <td>DC 両開き、親子開きはFB 両開き、親子開き 防火戸は順位調整器</td> </tr> <tr> <td>開き(A)</td> <td>(外部用)H×3 (外部用)H×3</td> <td>F</td> <td>DC 両開き、親子開きはFB</td> </tr> <tr> <td>開き(W)</td> <td>(内部用)PH</td> <td>F</td> <td>DC 両開き、親子開きはFB</td> </tr> <tr> <td>戸袋付き防火戸</td> <td>中心吊りAH 二つ折れの場合は専用ドアキャッチ</td> <td>CH</td> <td>煙感知器連動 閉鎖装置一式</td> </tr> <tr> <td>開き(S) (PS, EPS)</td> <td>TPH</td> <td>H</td> <td>両開き、親子開きはFB</td> </tr> <tr> <td>自動扉</td> <td>ドアエンジン 装置一式</td> <td>F</td> <td>タッチスイッチ及び センサー併用</td> </tr> <tr> <td>引戸</td> <td>HR</td> <td>D</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	開閉方式	支持金物	旋錠金物	附属金物	開き(S, ST)	(外部用)H×3 (内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB 両開き、親子開き 防火戸は順位調整器	開き(A)	(外部用)H×3 (外部用)H×3	F	DC 両開き、親子開きはFB	開き(W)	(内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB	戸袋付き防火戸	中心吊りAH 二つ折れの場合は専用ドアキャッチ	CH	煙感知器連動 閉鎖装置一式	開き(S) (PS, EPS)	TPH	H	両開き、親子開きはFB	自動扉	ドアエンジン 装置一式	F	タッチスイッチ及び センサー併用	引戸	HR	D		<p>形状</p> <p>扉</p> <p>窓</p>	<p>両開き扉召合せ部</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>D</p>																																																	
		開閉方式	支持金物	旋錠金物	附属金物																																																																																		
		開き(S, ST)	(外部用)H×3 (内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB 両開き、親子開き 防火戸は順位調整器																																																																																		
		開き(A)	(外部用)H×3 (外部用)H×3	F	DC 両開き、親子開きはFB																																																																																		
		開き(W)	(内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB																																																																																		
		戸袋付き防火戸	中心吊りAH 二つ折れの場合は専用ドアキャッチ	CH	煙感知器連動 閉鎖装置一式																																																																																		
		開き(S) (PS, EPS)	TPH	H	両開き、親子開きはFB																																																																																		
		自動扉	ドアエンジン 装置一式	F	タッチスイッチ及び センサー併用																																																																																		
引戸		HR	D																																																																																				
<p>建具種類別共通仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鋼製建具           <ul style="list-style-type: none"> <li>防錆処理は特記無き限り 内部JIS K 5621、外部JIS K 5625</li> <li>亜鉛メッキ面はJIS K5629とする。</li> </ul> </li> <li>軽量鋼製建具           <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として小口包みは表面鋼板を曲げこむこと。</li> </ul> </li> <li>アルミニウム製建具           <ul style="list-style-type: none"> <li>室内側枠は、アルミ又はスチール額縁クリップ止めとする。</li> <li>木製額縁の場合は埋木にてビス止め部分を隠蔽又は、アングルピース差し込みとする。</li> <li>排水孔は最小8mm、原則2ヶ所以上設ける。</li> </ul> </li> <li>木製建具           <ul style="list-style-type: none"> <li>水廻りに使用するフラッシュ扉の合板はタイプ1(耐水)とする。</li> <li>ドアガラリを設ける際はアルミ製とする。</li> </ul> </li> <li>防火・防煙シャッター           <ul style="list-style-type: none"> <li>避難時停止装置付き。防煙区画となる場合には、専用スラットの物を使用する。</li> </ul> </li> </ul>	<p>耐風圧性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>S-1</th> <th>S-2</th> <th>S-3</th> <th>S-4</th> <th>S-5</th> <th>S-6</th> <th>S-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大加圧圧力(Pa)</td> <td>800</td> <td>1200</td> <td>1600</td> <td>2000</td> <td>2400</td> <td>2800</td> <td>3600</td> </tr> </tbody> </table> <p>気密性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>S-1</th> <th>S-2</th> <th>S-3</th> <th>S-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気密等級線</td> <td>120等級線</td> <td>30等級線</td> <td>8等級線</td> <td>2等級線</td> </tr> </tbody> </table> <p>水密性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>W-1</th> <th>W-2</th> <th>W-3</th> <th>W-4</th> <th>W-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力差(Pa)</td> <td>100</td> <td>150</td> <td>250</td> <td>350</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>遮音性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>T-1</th> <th>T-2</th> <th>T-3</th> <th>T-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遮音性(dB)</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>H-1</th> <th>H-2</th> <th>H-3</th> <th>H-4</th> <th>H-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熱貫流抵抗値(m<sup>2</sup>・k/w)</td> <td>0.215</td> <td>0.246</td> <td>0.287</td> <td>0.344</td> <td>0.430</td> </tr> </tbody> </table> <p>面内変形追従性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>D-1</th> <th>D-2</th> <th>D-3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面内変形角(rad)</td> <td>1/300</td> <td>1/150</td> <td>1/120</td> </tr> </tbody> </table>	等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7	最大加圧圧力(Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	等級	S-1	S-2	S-3	S-4	気密等級線	120等級線	30等級線	8等級線	2等級線	等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	圧力差(Pa)	100	150	250	350	500	等級	T-1	T-2	T-3	T-4	遮音性(dB)	25	30	35	40	等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	熱貫流抵抗値(m <sup>2</sup> ・k/w)	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	等級	D-1	D-2	D-3	面内変形角(rad)	1/300	1/150	1/120	<p>種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>I型</th> <th>II型</th> <th>III型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>扉</td> <td>開口率約30%</td> <td>開口率約35%</td> <td>開口率約25%</td> </tr> <tr> <td>窓</td> <td>開口率約30%</td> <td>開口率約50%</td> <td>開口率約30%</td> </tr> </tbody> </table>	種別	I型	II型	III型	形状				扉	開口率約30%	開口率約35%	開口率約25%	窓	開口率約30%	開口率約50%	開口率約30%	<p>枠見寸法記号</p> <p>D1 110mm以下</p> <p>D2 111mm~150mm</p> <p>D3 151mm~200mm</p> <p>D4 201mm~250mm</p> <p>D5 251mm~300mm</p> <p>D6 301mm~350mm</p> <p>D7 351mm~400mm</p> <p>D8 401mm以上</p> <p>チリ寸法標準 10mm</p> <p>H</p> <p>I</p>
等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7																																																																																
最大加圧圧力(Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600																																																																																
等級	S-1	S-2	S-3	S-4																																																																																			
気密等級線	120等級線	30等級線	8等級線	2等級線																																																																																			
等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5																																																																																		
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500																																																																																		
等級	T-1	T-2	T-3	T-4																																																																																			
遮音性(dB)	25	30	35	40																																																																																			
等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5																																																																																		
熱貫流抵抗値(m <sup>2</sup> ・k/w)	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430																																																																																		
等級	D-1	D-2	D-3																																																																																				
面内変形角(rad)	1/300	1/150	1/120																																																																																				
種別	I型	II型	III型																																																																																				
形状																																																																																							
扉	開口率約30%	開口率約35%	開口率約25%																																																																																				
窓	開口率約30%	開口率約50%	開口率約30%																																																																																				
<p>業務名称</p> <p>館腰公民館移転改築工事設計業務</p>	<p>工事名称</p> <p>館腰公民館改築工事</p>	<p>設計年月</p> <p>令和7年3月</p>																																																																																					
<p>図面名称</p> <p>建具共通事項</p>	<p>縮尺</p> <p>A1:1/50</p> <p>A3:1/100</p>	<p>図面番号</p> <p>A-32</p>																																																																																					

建具符号	型式	01 AB	ランマ外側し窓付き連窓 F I X・引違い窓	02 AB	ランマ外側し窓付き連窓 F I X・引違い窓	03 AB	ランマ外側し窓付き引違い窓	04 AB	ランマ外側し窓付き連窓引違い窓
箇所数	取付箇所	1	事務室	1	ロビー兼図書室	1	ロビー兼図書室	1	調理室
防火性能									
寸法図									
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> </div>									
建具材質	建具見込	建具仕上	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2
枠材質	枠見込	枠仕上	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2
窓格形状	窓格仕上		-	-	-	-	-	-	-
支持金物等			OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-
備考			水切り (アルミ製)、結露受け、断熱パネルt18、網戸	水切り (ステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (ステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (ステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸
建具符号	型式	05 AB	ランマ外側し窓付き引違い窓	06 AB	ランマ外側し窓付き連窓引違い窓	07 AB	引違い窓	08 AB	ランマ内側し窓付き F I X 窓
箇所数	取付箇所	1	調理室	1	和室	3	ホール	2	男子・女子トイレ
防火性能									
寸法図									
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> </div>									
建具材質	建具見込	建具仕上	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2
枠材質	枠見込	枠仕上	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2
窓格形状	窓格仕上		-	-	-	-	-	-	-
支持金物等			OR, OP, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	CR, 付属金物一式	LH, 付属金物一式	CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式	OP, CR, 付属金物一式
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	L-ES1G5+Ar12+FL5	-	L-ES1G5+Ar12+F65	L-ES1G5+Ar12+F65	L-ES1G5+Ar12+PW66.8	L-ES1G5+Ar12+PW66.8
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-
備考			水切り (ステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (ステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、断熱パネルt18、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、内側し (開放45°)	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸
建具符号	型式	11 AB	ランマ付き連窓 F I X・引違い窓	12 AB	引違い窓	13 AB	ランマ付き片開き・引違い窓	14 AB	ランマ外側し窓付き連窓引違い窓
箇所数	取付箇所	1	会議室	1	男子トイレ	1	研修室1	2	研修室1・2
防火性能									
寸法図									
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> <div style="width: 22%;"> </div> </div>									
建具材質	建具見込	建具仕上	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2	AL 70 BB-2
枠材質	枠見込	枠仕上	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL D7 BB-2	AL BB-2	AL BB-2	AL BB-2
窓格形状	窓格仕上		-	-	-	G	-	-	-
支持金物等			OR, 付属金物一式	CR, 付属金物一式	CR, DS, LH, OR, 付属金物一式	SUS	OP, CR, 付属金物一式	LH, 付属金物一式	LH, 付属金物一式
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG	L-ES1G5+Ar12+PW66.8	L-ES1G4+Ar12+PW66.8	L-ES1G4+Ar12+PW66.8	L-ES1G5+Ar12+FL5+2L-ES1G5+Ar12+PW66.8	L-ES1G5+Ar12+PW66.8	L-ES1G5+Ar12+PW66.8	L-ES1G5+Ar12+PW66.8
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	A	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	OK	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-
備考			水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製) (開き戸部に限りステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製) (開き戸部に限りステンレス製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸	水切り (アルミ製)、結露受け、内側し (開放45°)

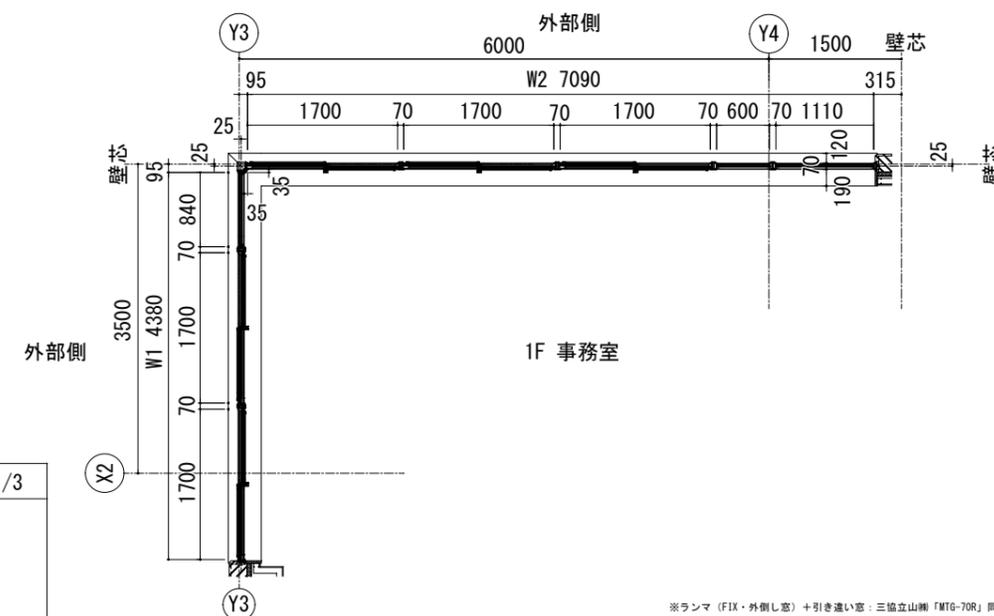
建具符号	型式	(16) AB	ランマ外倒し窓付き連窓 F I X 窓	(17) AB	ランマ付き連窓 F I X 窓	(18) AB	引違い窓	(19) AB	ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	(20) AB	ランマ外倒し窓付き連窓片開き・F I X・引違い窓
箇所数	取付箇所	1	階段	1	階段	1	備蓄倉庫	2	ホール	1	ホール
防火性能											
寸法図	***: 排煙計算上有効高さ										
建具材質	建具見込	建具仕上	AL	70	BB-2	AL	70	BB-2	AL	70	BB-2
枠材質	枠見込	枠仕上	AL	-	BB-2	AL	-	BB-2	AL	-	BB-2
窓格形状	窓格仕上		-	-	-	-	-	-	-	-	SUS
支持金物等			OP, CR, 付属金物一式			付属金物一式			OP, CR, 付属金物一式		DC, DS, LH, CR, 付属金物一式
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	-	-	-	-	A	ck
ガラリ形状	ガラリ寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラリ材質	ガラリ仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	水切り (アルミ製)、結露受け										
建具符号	型式	(21) AB	ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	(22) AB	ランマ外倒し窓付き連窓引違い窓	(01) SD	開引き分け戸	(02) SD	開引き分け戸	(03) SD	開引き分け戸
箇所数	取付箇所	1	ホール	4	ホール	1	ホール	4	ホール	1	会議室
防火性能											
寸法図	***: 排煙計算上有効高さ										
建具材質	建具見込	建具仕上	AL	70	BB-2	AL	70	BB-2	AL	70	BB-2
枠材質	枠見込	枠仕上	AL	-	BB-2	AL	-	BB-2	AL	-	BB-2
窓格形状	窓格仕上		-	-	-	-	-	-	-	-	SUS
支持金物等			OP, CR, 付属金物一式			OP, CR, 付属金物一式			DC, DS, LH, 付属金物一式		SUS
ガラス種類	ガラス厚さ	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+FL5	SIG	L-ES1G5+Ar12+PW6.8
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	-	-	-	-	A	ck
ガラリ形状	ガラリ寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラリ材質	ガラリ仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	水切り (アルミ製)、結露受け、網戸										
建具符号	型式	(04) SD	開引き分け戸	(05) SD	開引き分け戸	(06) SD	開引き分け戸	(07) SD	開引き分け戸	(08) SD	開引き分け戸
箇所数	取付箇所	1	ホール	1	器具倉庫	4	ホール	2	控室1・2	1	控室2
防火性能											
寸法図	有効開口										
建具材質	建具見込	建具仕上	S t1.6	40	SOP	S t1.6	40	SOP	S t1.6	40	SOP
枠材質	枠見込	枠仕上	S t1.6	D5	SOP	S t1.6	D5	SOP	S t1.6	D5	SOP
窓格形状	窓格仕上		A	SUS	SOP	A	SUS	SOP	A	SUS	SOP
支持金物等			HP, DS, 付属金物一式			DC, LH, FB, 付属金物一式			DC, LH, FB, 付属金物一式		SUS
ガラス種類	ガラス厚さ	IG	5	-	-	DC, LH, FB, DS, 付属金物一式	-	-	DC, LH, FB, 付属金物一式	-	-
錠前種類	錠前機構	D	ck	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラリ形状	ガラリ寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラリ材質	ガラリ仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	ステンレスガイドレール、金物一式、水切り (ステンレス製)										

器具番号	型式	01 (TSP)	片引きハンガー扉戸 (壁引込戸)	02 (TSP)	片引きハンガー扉戸	03 (TSP)	片引きハンガー扉戸	04 (TSP)	片開き戸	05 (TSP)	片開き戸	06 (TSP)	親子開き戸	07 (TSP)	片開き戸		
箇所数	取付箇所	2	事務室	4	印刷室、会議室、研修室 1・2	6	1・2階 男子・女子・多目的トイレ	2	1・2階 SK	1	更衣室	1	2階 倉庫	1	控室 1		
防火性能																	
寸法図																	
建具材質	建具見込	建具仕上	S t0.6	40	SOP	S t0.6	40	SOP	S t0.6	40	SOP	S t0.6	40	SOP	S t0.6	40	SOP
枠材質	枠見込	枠仕上	S t0.6	D2	SOP	S t0.6	D2	SOP	S t0.6	D2	SOP	S t0.6	D2	SOP	S t0.6	D2	SOP
窓格形状	窓格仕上	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS
支持金物等	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
ガラス種類	ガラス厚さ	TG	5	FG	4	FG	4	FG	4	FG	4	FG	4	FG	4	FG	4
錠前種類	錠前機構	D	ck	D	ck	D	ck	A	-	A	-	A	-	A	-	A	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	ハンガー金物一式、振れ止め		ハンガー金物一式、振れ止め				ハンガー金物一式、振れ止め、DC				DC		DC		DC		
器具番号	型式	08 (TSP)	片引きハンガー扉戸	09 (TSP)	ランマ付き F I X 袖窓引分け自動ドア	10 (TSP)	F I X 袖窓引分け自動ドア	11 (TSP)	片引き扉戸	12 (TSP)	片開き戸	13 (TSP)	親子開き戸	14 (TSP)	両開き戸		
箇所数	取付箇所	1	調理室	1	風除室	1	風除室	1	和室	1	和室	1	和室	1	和室		
防火性能																	
寸法図																	
建具材質	建具見込	建具仕上	S t0.6	40	SOP	SUS	150	HL	SUS	150	HL	W	40	SOP	W	40	SOP
枠材質	枠見込	枠仕上	S t0.6	D2	SOP	SUS	HL	HL	SUS	HL	HL	W	D2	SOP	W	D2	SOP
窓格形状	窓格仕上	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS	A	SUS
支持金物等	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
ガラス種類	ガラス厚さ	TG	6	FG	8	TG	6	FG	8	FG	6	FG	6	FG	6	FG	6
錠前種類	錠前機構	D	ck	D	ck	D	ck	D	ck	D	ck	A	ck	A	ck	A	ck
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	ハンガー金物一式、振れ止め		SUS衝突防止表示φ30×300両面 光センサースイッチ、自動ドアエンジン式、防護柵 (引込部)				SUS衝突防止表示φ30×300両面 光センサースイッチ、自動ドアエンジン式、防護柵 (引込部)				-		-		-		
器具番号	型式	01 (TB)	トイレブース	02 (TB)	トイレブース	03 (TB)	トイレブース	04 (TB)	トイレブース	05 (SD)	両開き戸	06 (SD)	両開き戸	07 (SD)	両開き戸		
箇所数	取付箇所	1	1階男子トイレ	1	1階女子トイレ	1	2階男子トイレ	1	2階女子トイレ	1	EPS	1	EPS	1	EPS		
防火性能																	
寸法図																	
建具材質	建具見込	建具仕上	メラミン化粧板	40	メラミン化粧板	40	メラミン化粧板	40	メラミン化粧板	40	S t1.6	40	SOP	S t1.6	40	SOP	
枠材質	枠見込	枠仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	S t1.6	D5	SOP	S t1.6	D5	SOP	
窓格形状	窓格仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	SUS	A	SUS	A	SUS	
支持金物等	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	
ガラス種類	ガラス厚さ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
錠前種類	錠前機構	J	ck	J	ck	J	ck	J	ck	J	ck	-	-	-	-	-	
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
備考	帽子掛け戸当たり、表示錠付きスライドラッチ、ステンレス製巾木 H60、ステンレス製脚つなぎ H20		帽子掛け戸当たり、表示錠付きスライドラッチ、ステンレス製巾木 H60、ステンレス製脚つなぎ H20				帽子掛け戸当たり、表示錠付きスライドラッチ、ステンレス製巾木 H60、ステンレス製脚つなぎ H20				帽子掛け戸当たり、表示錠付きスライドラッチ、ステンレス製巾木 H60、ステンレス製脚つなぎ H20		帽子掛け戸当たり、表示錠付きスライドラッチ、ステンレス製巾木 H60、ステンレス製脚つなぎ H20		帽子掛け戸当たり、表示錠付きスライドラッチ、ステンレス製巾木 H60、ステンレス製脚つなぎ H20		

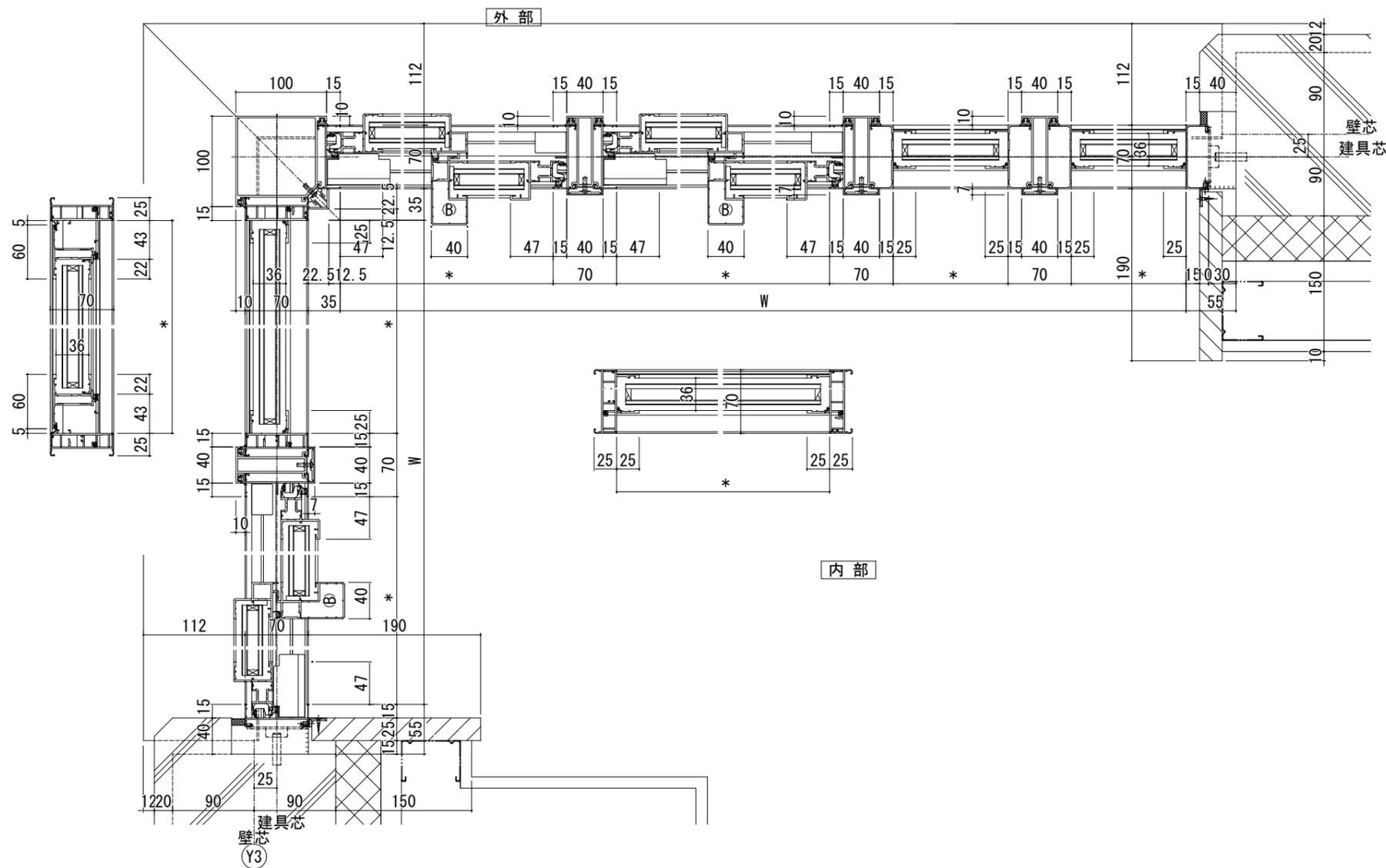
建具符号	型式	⑪ S	両開き戸	⑫ S	両開き戸	① AP	パーテーション				
箇所数	取付箇所	1	EPS	1	EPS	1	調理室				
防火性能											
寸法図											
建具材質	建具見込	建具仕上	S t1.6	40	SOP	S t1.6	40	SOP			
枠材質	枠見込	枠仕上	S t1.6	D5	SOP	S t1.6	D5	SOP			
窓形状	窓仕上	A	SUS	A	SUS	AL	70	BB-2			
支持金物等	付属金物一式	CH, FB, 付属金物一式	-	-	-	AL	D2	BB-2			
ガラス種類	ガラス厚さ	-	-	-	-	A	SUS	-			
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	HP, DS, HP (L600)、付属金物一式	-	-			
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	TG	5	-			
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	D	ck	-			
備考	-			-			ハンガー金物一式、振れ止め				
建具符号	型式	① S/W	スライディングウォール	① S/W	スライディングウォール	① PT	隔て板	② PT	隔て板		
箇所数	取付箇所	1	研修室1・2	1	研修室1・2	3	1階男子トイレ、2階男女トイレ	1	1階男子トイレ		
防火性能											
寸法図											
建具材質	建具見込	建具仕上	亜鉛メッキ鋼板	67	横付塗装仕上げ	メラミン化粧板	40	-	メラミン化粧板	40	-
枠材質	枠見込	枠仕上	-	-	アルマイト	-	-	-	-	-	-
窓形状	窓仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
支持金物等	付属金物一式	-	-	-	-	付属金物一式	-	-	付属金物一式	-	-
ガラス種類	ガラス厚さ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	上吊レール、金物一式、壁面戸当たり、ハンドル固定(上下圧着)			-			ステンレス製巾木 H60		ステンレス製巾木 H60		
建具符号	型式	① S	三方枠	④ S	両引き分け戸	⑤ S	障子窓	⑤ S	障子窓		
箇所数	取付箇所	1	前室	4	ホール	1	和室	1	和室		
防火性能											
寸法図											
建具材質	建具見込	建具仕上	-	-	-	W	40	SOP	W	40	SOP
枠材質	枠見込	枠仕上	SUS	F	HL	W	D5	SOP	W	D2	SOP
窓形状	窓仕上	-	-	-	-	A	-	-	A	-	-
支持金物等	付属金物一式	-	-	-	-	FP, DS, 付属金物一式	-	-	FP, 付属金物一式	-	-
ガラス種類	ガラス厚さ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス材質	ガラス仕上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	-			ステンレスガイドレール、金物一式、防虫網			樹脂製障子紙、木製s-n-				



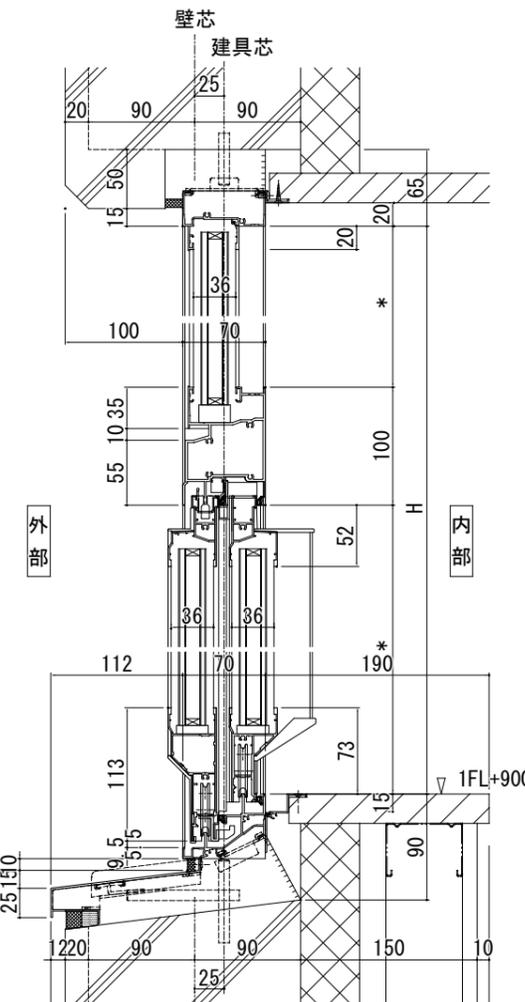
内観姿図 S-1/40  
\*引違い窓部は網戸設置とする。



※ランマ (FIX・外倒し窓) + 引き違い窓 : 三協立山機「MTG-70R」同等品

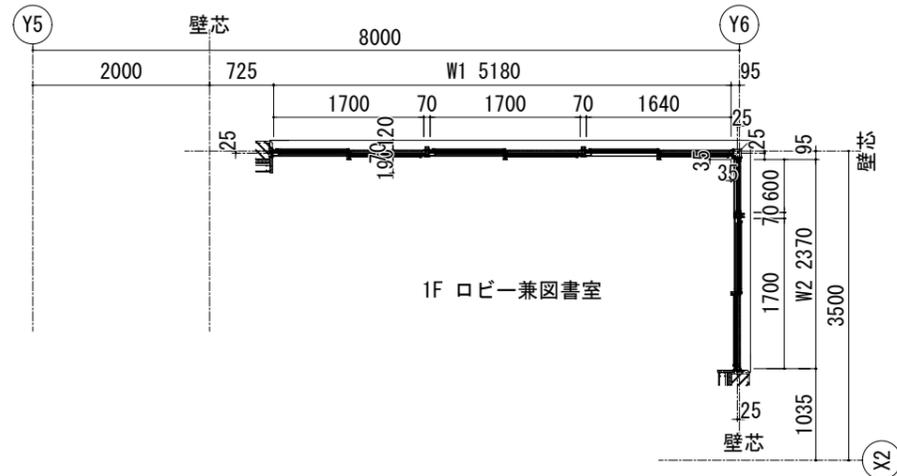
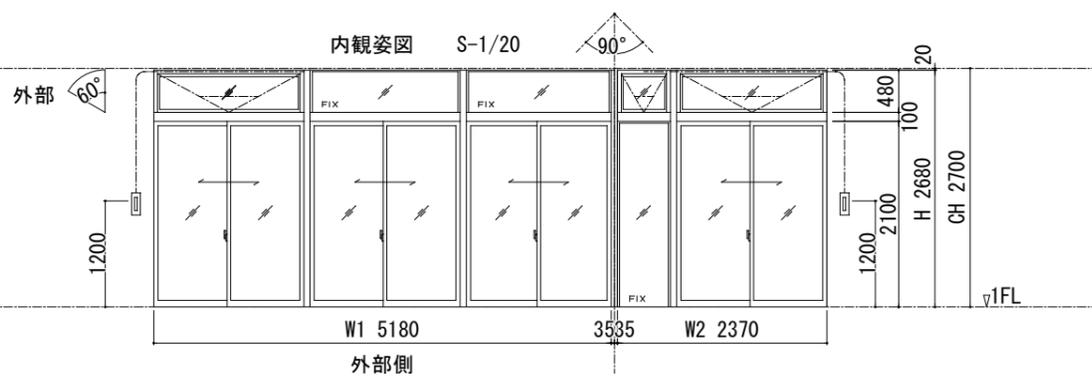


※ランマ (FIX・外倒し窓) + 引き違い窓 : 三協立山機「MTG-70R」同等品

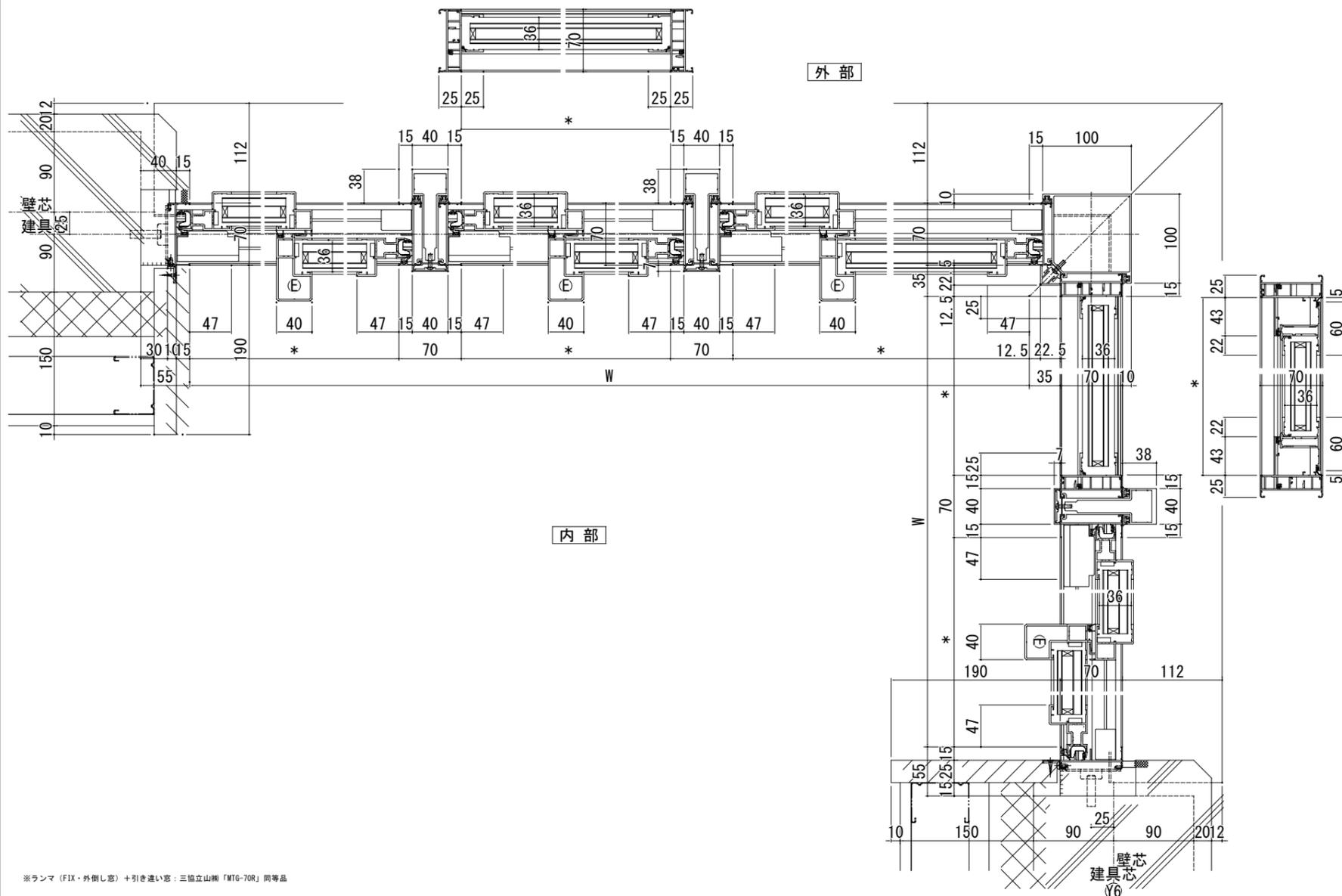


※ランマ (FIX・外倒し窓) + 引き違い窓 : 三協立山機「MTG-70R」同等品

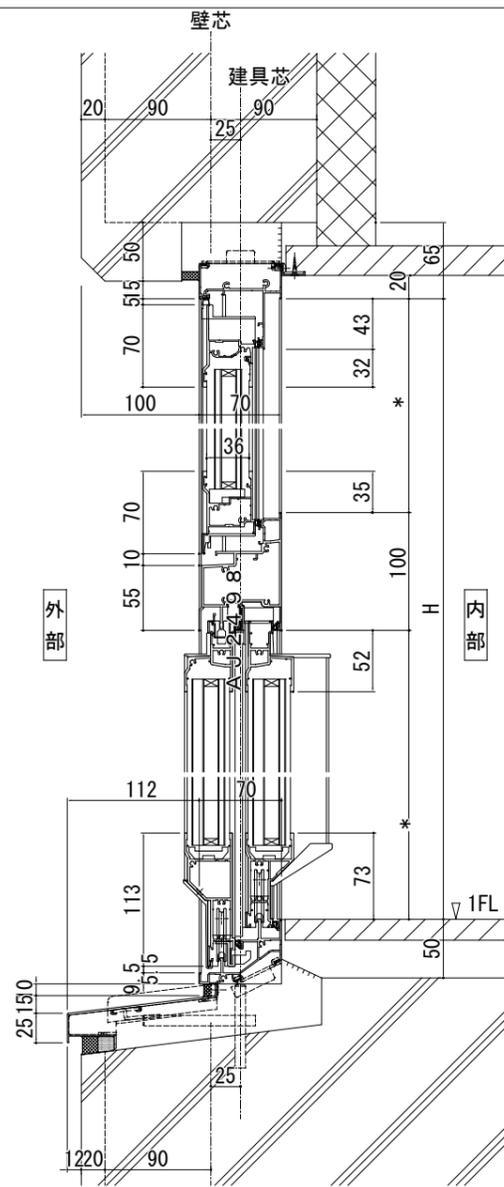
記 *	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
		株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第9890号 折原 幸一	図面名称	建具詳細図 (1)	縮尺	A1: 図示 A3: 図示
					図面番号	A-37



※ランマ (FIX・外倒し窓) + 引き違い窓: 三協立山機「MTG-70R」同等品

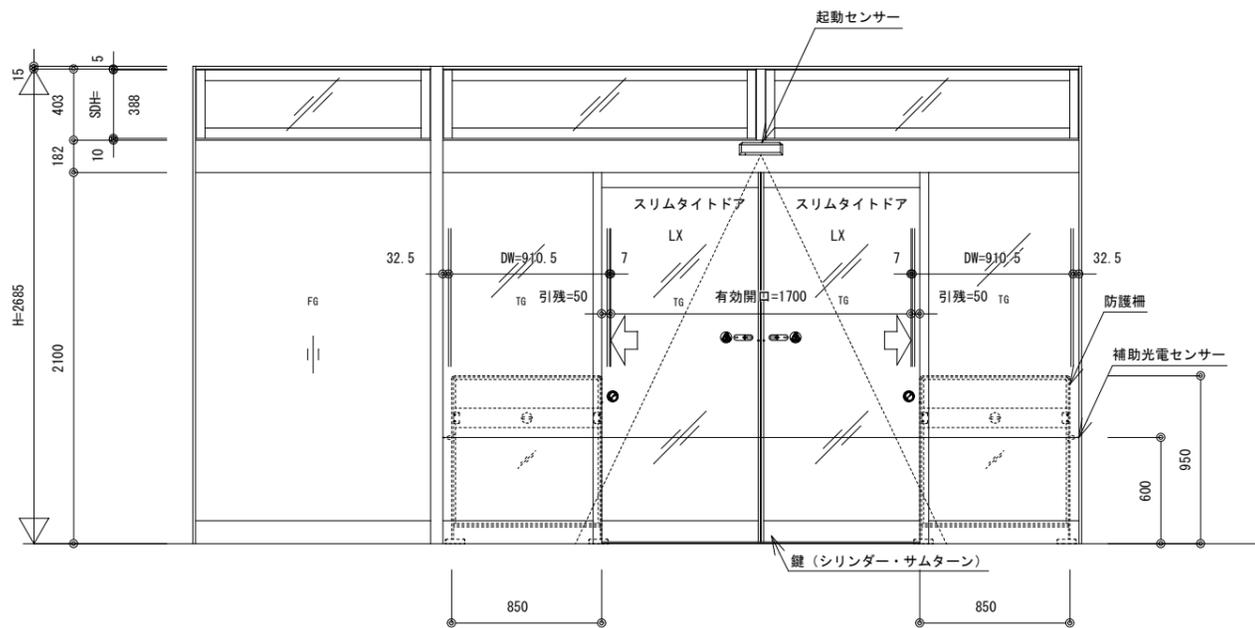


※ランマ (FIX・外倒し窓) + 引き違い窓: 三協立山機「MTG-70R」同等品

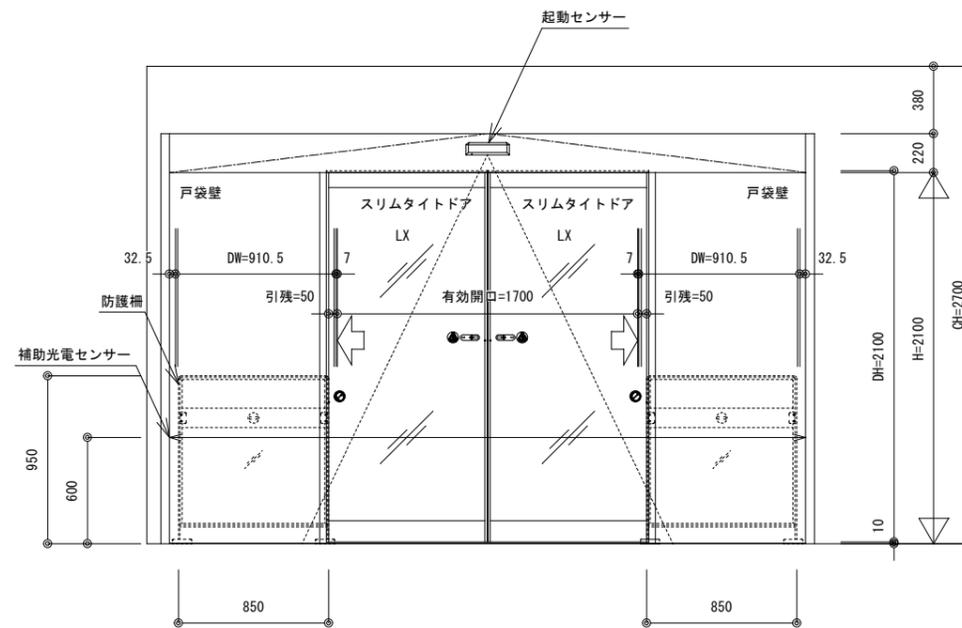


※ランマ (FIX・外倒し窓) + 引き違い窓: 三協立山機「MTG-70R」同等品

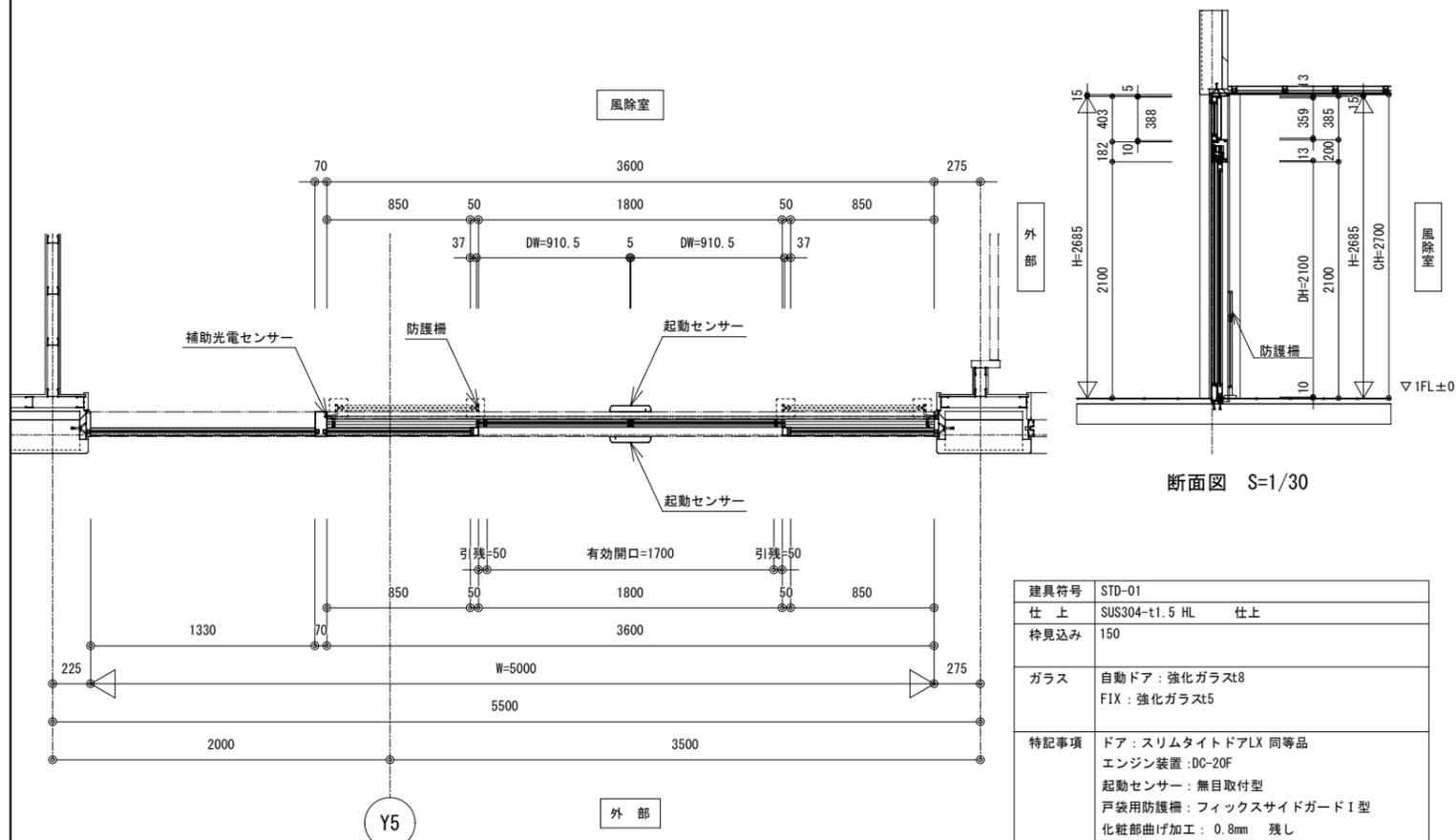
記	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	※	株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第9890号 折原 幸一	図面名称	建具詳細図 (2)	縮尺	A1: 図示 A3: 図示
					図面番号	A-38



外部側姿図 S=1/20



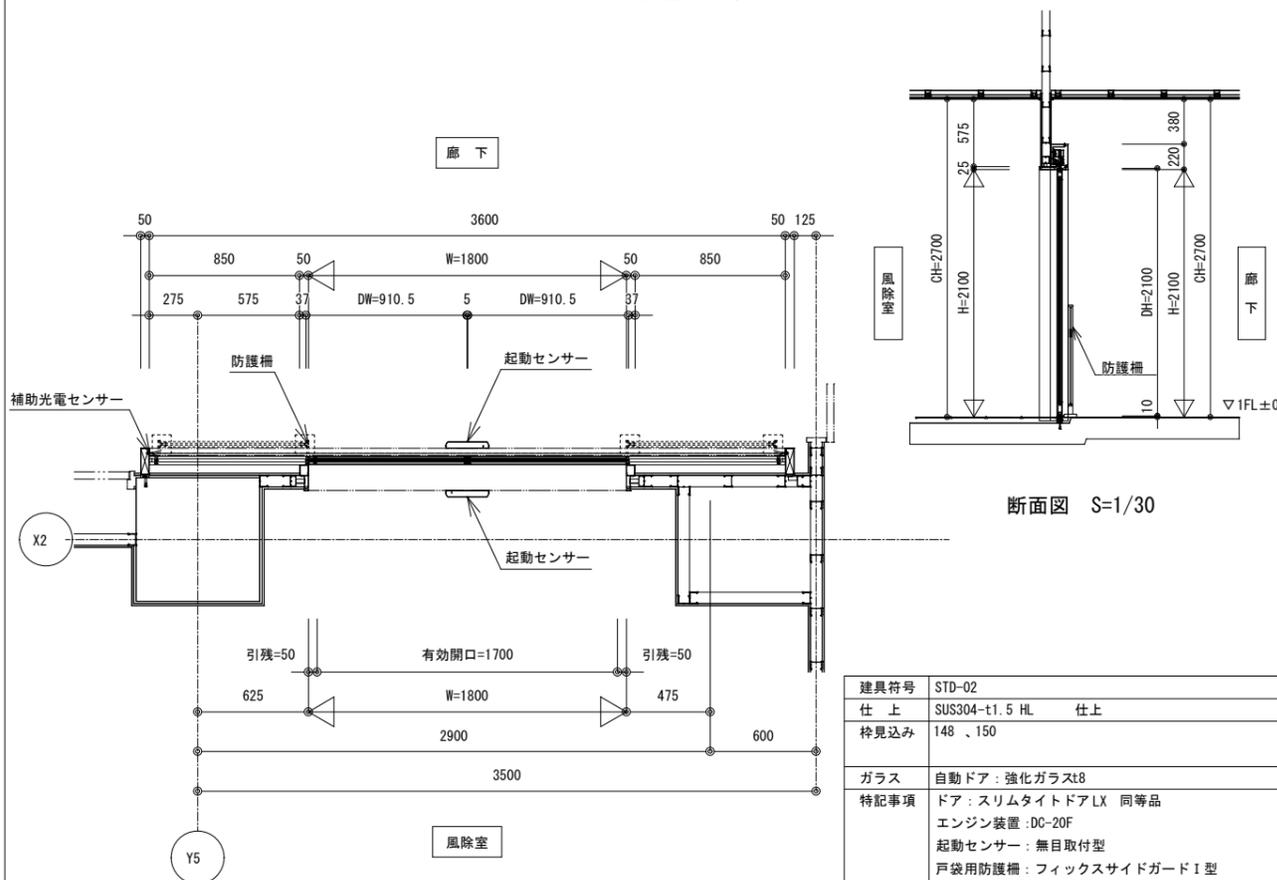
廊下側姿図 S=1/20



断面図 S=1/30

建具符号	STD-01
仕上	SUS304-t1.5 HL 仕上
枠見込み	150
ガラス	自動ドア：強化ガラスt8 FIX：強化ガラスt5
特記事項	ドア：スリムタイトドアLX 同等品 エンジン装置：DC-20F 起動センサー：無目取付型 戸袋用防護柵：フィックスサイドガードI型 化粧部曲げ加工：0.8mm 残し

自動ドア信号線仕様	
自動ドア電源	電源 AC100V 5A 接地線付



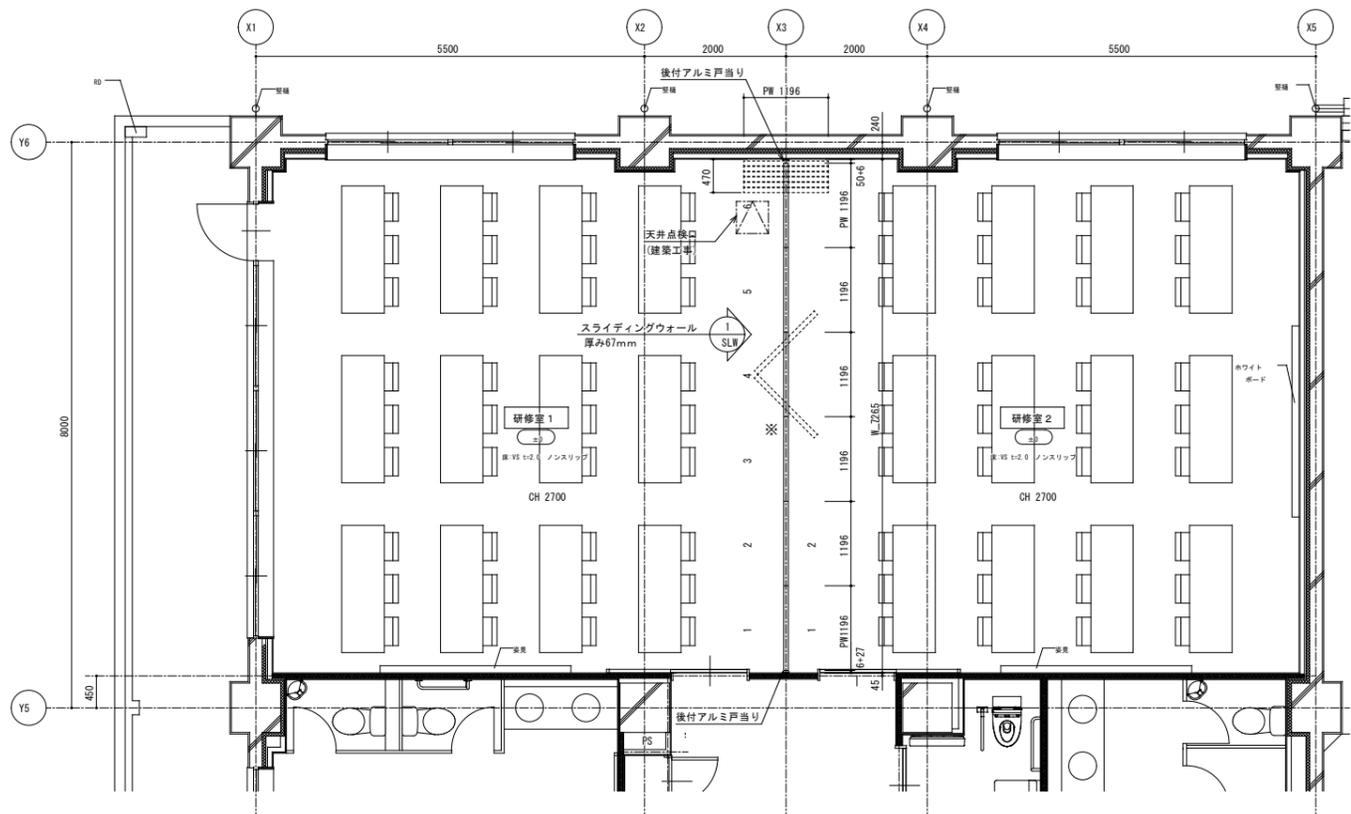
断面図 S=1/30

建具符号	STD-02
仕上	SUS304-t1.5 HL 仕上
枠見込み	148、150
ガラス	自動ドア：強化ガラスt8
特記事項	ドア：スリムタイトドアLX 同等品 エンジン装置：DC-20F 起動センサー：無目取付型 戸袋用防護柵：フィックスサイドガードI型 化粧部曲げ加工：0.8mm 残し

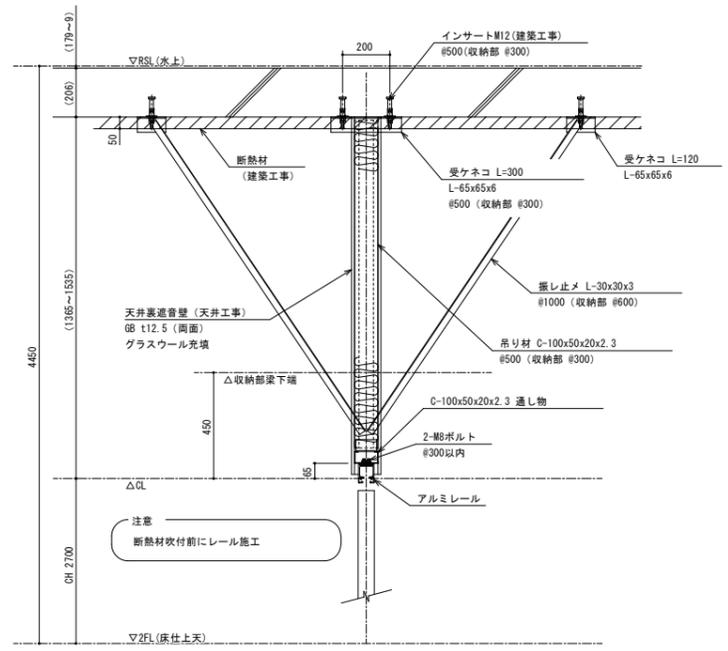
自動ドア信号線仕様	
自動ドア電源	電源 AC100V 5A 接地線付

平面図 S=1/20

平面図 S=1/20



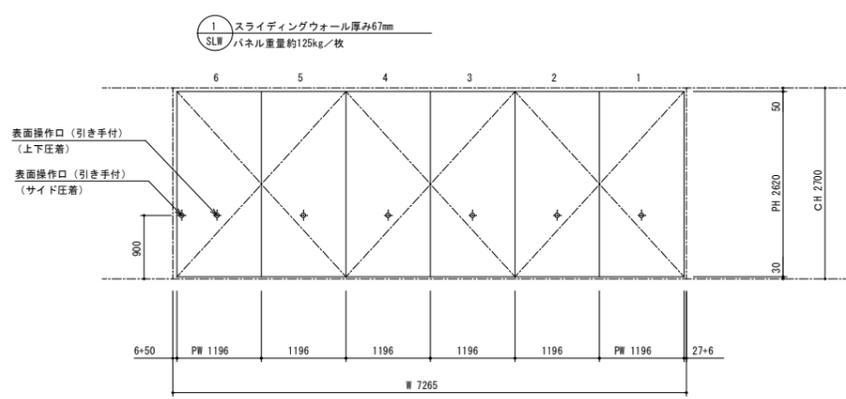
2階平面図 S=1:50  
※操作口取付側



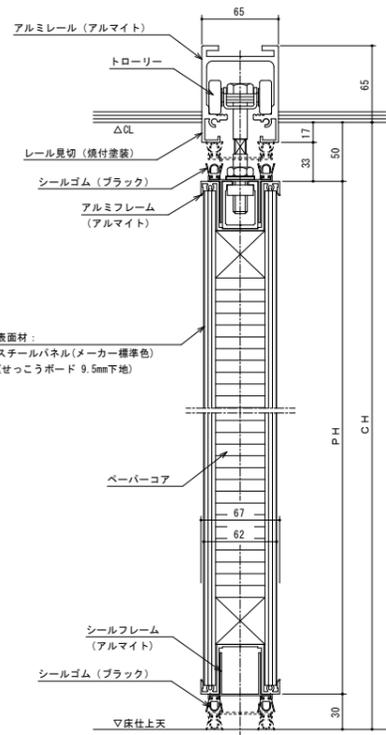
レール取付断面図 S=1:15

スライディングウォール 厚み67mm

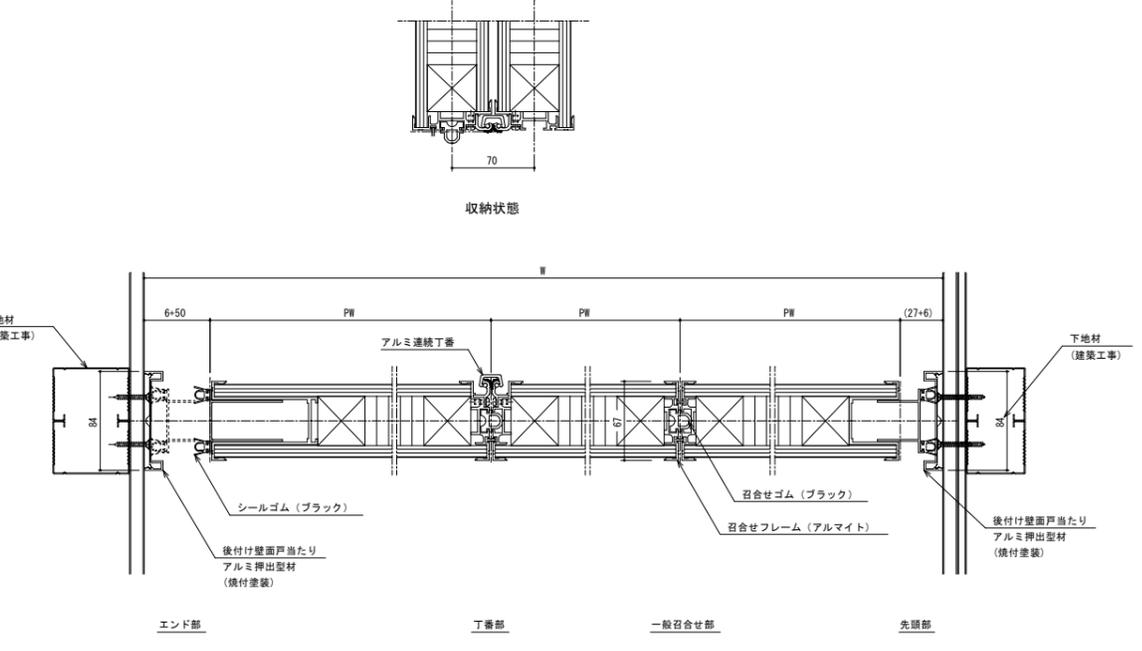
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
ランナー仕様	走行輪	※パネル断面詳細図の特記部分は指定色焼付塗装
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	スチールパネル(メーカー標準色)(せっこうボード9.5mm下地)
	充填材	ペーパーコア
	骨組	木枠(LVL)
	フレーム	アルミ押出型材(アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式



展開図 S=1:50



縦断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5

<スライディングウォール 厚み67mm>

※スライディングウォール：小松ウォール工業㈱「LW-60MS-P」同等品

記 号	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	建具詳細図(4)	図面番号	A-40	縮尺	A1:図示 A3:図示

エレベーター仕様		
号機名	NO. 1	
型式	機械室レス P-13-C045	
用途	乗用兼車いす用	
定格積載質量/定員	900kg/13人乗	
定格速度	45m/min	
運転方式	乗合全自動方式(乗り捨て方式)	
制御方式	インバータ制御方式(マイコン制御)	
停止階	2箇所(1,2階)	
かご寸法	開口1600mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm	
出入口寸法	幅900mm 高さ2100mm	
戸型式	2枚戸中央開き	
電動機	AC 4.2kW	
動力用電源	AC 3φ 200V 50Hz	
照明用電源	AC 1φ 100V 50Hz	
連絡装置	同時通話式インターホン	
設置場所	リモートメンテナンスインターフェース付 (リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります)	
管制運転	地震	有り (P波およびS波感知) (リストア機能付)
	火災	有り (火報と連動した時点による自動式)
	停電	有り
	自家発	無し
乗場仕様	三方枠	1,2階大枠化粧鋼板
	乗場戸	1,2階化粧鋼板
かご仕様	扉板	1,2階無し
	敷居	1,2階硬質アルミ
	ホルンタン	1,2階無し
	インジケータ	1,2階 縦型デジタル表示 カバー:樹脂成型品(黒)
	ホールボタン	1,2階 抗菌凸文字ボタン(φ45) (SIAA認証) インジケータに絡込
	天井	スタンダード(メーカー標準) (天井照明色:白色)
	前側板	化粧鋼板
	側板	化粧鋼板
	戸	化粧鋼板
	出入口上部	化粧鋼板
床	樹脂タイル(2T)	
扉木	化粧鋼板(グレイッシュホワイト)	
敷居	硬質アルミ	
操作盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン(φ33) (SIAA認証)	
カバー	樹脂成型品(グレイッシュホワイト)	
インジケータ	カラー液晶表示(背景色:白) 操作盤に絡込	
車いす用ボタン	抗菌凸文字ボタン(φ33) (SIAA認証)	
操作盤	樹脂成型品(グレイッシュホワイト)	
カバー	無し	
気くばり	無し	
操作盤	無し	
カバー	無し	
鏡	ステンレス製	
ハンドレール	ステンレスパイプ:ステンレスヘアライン仕上げ(3方向)	
監視盤	無し	
耐震クラス	A14	

電気設備(電気設備工事)		
号機名	NO. 1	
動力用電源	AC 3φ 200V 50Hz 14mm <sup>2</sup> ×1回路(CV)/台	
	線サイズ(mm <sup>2</sup> )	8 14 22
	最大引込距離(m)	64 112 171
	MCB容量	40A/台
照明用電源	AC 1φ 100V 50Hz 5.5mm <sup>2</sup> ×1回路/台	
	アース線	3.5mm <sup>2</sup> (D種)/台
	インターホン用配管配線	FCPEVO. 9-5P/台(200mまで)
リモートメンテナンス用配管配線(電話線)	CPEVO. 9-1P. 配管サイズφ25/台(MDF~昇降路間)	
ビット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台 (最下階FL+200の出入口付近に設置)	
	インターホン連動用の無電圧α接点支給及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量0.1A以下
火災報知信号無電圧α接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台	
	非常放送用スピーカ用配管配線	HP1. 2-2P/台
故障情報の無電圧α接点支給及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量0.1A以下/台	
	防犯カメラ用配管配線(昇降路外)	同軸ケーブル 5C-2V/台
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線が引込み	

NO. 1	
昇降機技術基準の解説 2016年版対応	オーバーヘッド寸法短縮
音声案内装置(福祉のまちづくり条例対応)付	点字注意銘板付(横型)
車いす仕様付	視覚障がい者仕様付(全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付)
運転停止スイッチ(1階に取付)	運転ホンを応答表示灯付
インターホン応答表示灯付	かご戸大型防犯窓付(段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T)
乗場戸大型防犯窓付(段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T) (1,2階)	フェニックスプレート付
昇降路内同軸ケーブル付(昇降路外は電気工事)	戸開き時間延長ボタン付
車いす呼び戸開き時間延長	車いす呼び戸開き時間延長
一般呼び戸開き時間延長	発音ボタン(乗場・かご)
非常放送用スピーカー付(かご天井上)	かご戸袋引き込まれ減速機能付
かご内荷重リ(ステンレスヘアライン仕上げ 床からH=300mm)	かご側板保護マット(高さ:床面から1800mm)付
かご床マット付	かご内操作盤非常ボタンに換操作防止カバー(アクリル製)付
高調波抑制リフレクトル付	高調波抑制リフレクトル付
警報ブザーをかご上に取付	故障情報の無電圧接点支給付
非常ボタン連動 無電圧接点支給	昇降路最上階の変電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ工事(配線サイズ、本数は電気設備による)
監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事	監視盤設置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み
昇降路頂部の煙感知器の設置工事(昇降路が部外保守点検可能な構造)	(点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製)
昇降路頂部の煙感知器点検用ELV連動停止スイッチ取付	リモートメンテナンス用として電話中継盤から
昇降路最上階までの配管(最小径25mm)、配線工事(配線サイズ、本数は電気設備による)	昇降路出入口側内壁(敷居下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェニックスプレート設置工事
昇降路出入口側内壁(敷居下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェニックスプレート設置工事	昇降路内配管工事に伴う区分画連動部の防火処理工事
昇降路頂部への吊りフックの設置工事	昇降路内への中間ビーム設置工事(コンクリート階)
2階	P2構造に於けるインサート埋込み工事またはグレード設置工事
2階	不停止階の昇降路後出扉の設置工事(施行条件29条の7の4による)
2階	かごドレン式クーラー設置時のビッド排水工事
2階	昇降路内温度が40℃超過の場合のララリ設置工事
2階	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事
2階	昇降路内温度が50℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事
その他	エレベーター部品搬入経路の確保(必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事)
その他	エレベーター重量部品搬入の際の仮設機重機の貸与
その他	エレベーター据付工事現場事務所および材料置場の確保
その他	エレベーター据付工所用電力の供給(動力用および照明用電源)
その他	エレベーター運転調整用電力の供給
その他	(動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに本設電源配管経路で引き込み)
その他	医療機器、放送用機器、コンピュータ機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事
その他	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事
その他	昇降路内建築工事収束床(水平養生)用の金網・デッキプレートなどの撤去工事
その他	エレベーター着工前の各階出入口開口部の差支け支給および施工
その他	出入口が直接外気に接する乗場における雨水受け工事(庇・水切り等)
その他	ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパボルト(Pコン)の撤去
その他	非常用エレベーター全階乗場への避難経路設置工事
その他	非常用エレベーター乗場水勾配・排水溝・グレーチング施工
その他	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事

労基法適用(本設用): 有(設置品・設置報告)・無

耐震クラス: A 14

ガイドレール部分荷重(N)	かご側		ウェイト側	
	PX	PY	PX	PY
NO. 1	5350	3250	8450	4250

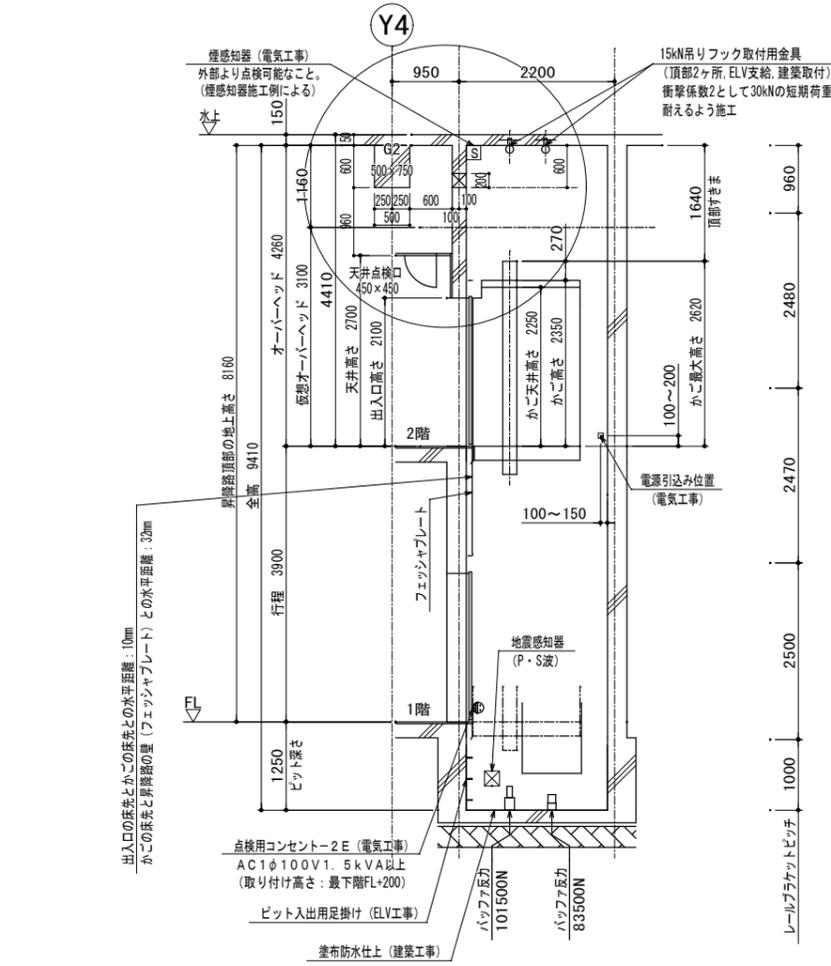
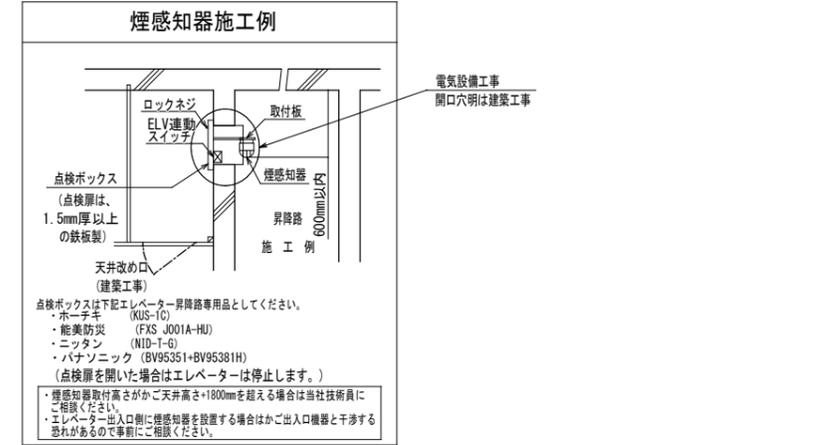
注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは5mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛かる荷重

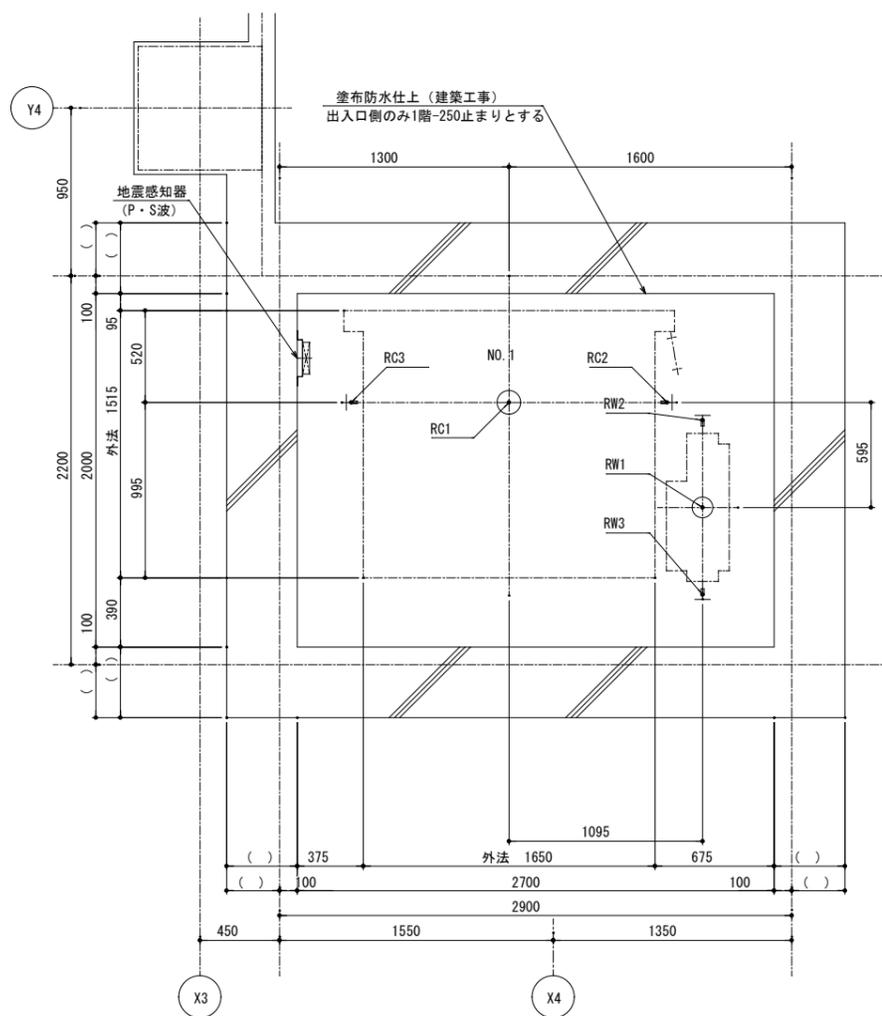
標準型エレベーターの荷役制限について

・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

工事区分		建築	電気	空調	ELV
項目	NO. 1				
1	昇降路の築造と誤差修正工事 1) 壁または囲いは隙間なきものとする 2) 昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の50cm <sup>2</sup> の面にこれと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3) コンクリート厚さは150mm以上とする 4) コンクリート基準圧縮強度 21N/mm <sup>2</sup> 以上とする	○			
2	各階出入口床の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け持ち出し工事		○		
3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事(出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど)		○		
4	エレベーター据付後の出入口壁および床その他建築仕上げ及び補修工事		○		
5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理		○		
6	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事(ふさぎ板またはラス材)				○
7	ビット内防水工事(ビット仕上面の水平度は1/200以下)		○		
8	変位されたエレベーターの最下階が異なる場合のビット間仕切り工事(厚=1800以上)		⊕		
9	オーバーヘッド・ビット寸法が図面と異なる場合はつり・埋め戻し工事		○		
10	ビット点検用トラップまたは梯子の設置工事				○
11	ビット点検用コンセント設置工事(1ヶ/台)				○
昇降路	インターホンならびにその他の機器(放送(一般・非常)用自家発商用電源識別接点・火災時警報用接点・防犯カメラ等)用配管、配線工事(配線サイズ、本数は電気設備による)		○		
13	昇降路最上階の変電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ工事(配線サイズ、本数は電気設備による)		○		
14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事(監視盤設置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み)		⊕		
15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事(昇降路が部外保守点検可能な構造)		○		
16	昇降路頂部の煙感知器点検用ELV連動停止スイッチ取付				○
17	昇降路最上階までの配管(最小径25mm)、配線工事(配線サイズ、本数は電気設備による)		○		
18	昇降路出入口側内壁(敷居下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェニックスプレート設置工事		⊕		
19	昇降路出入口側内壁(敷居下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェニックスプレート設置工事				○
20	昇降路内配管工事に伴う区分画連動部の防火処理工事		○		
21	昇降路頂部への吊りフックの設置工事		○		
22	昇降路内への中間ビーム設置工事(コンクリート階)				○
23	P2構造に於けるインサート埋込み工事またはグレード設置工事		⊕		
24	不停止階の昇降路後出扉の設置工事(施行条件29条の7の4による)		⊕		
25	かごドレン式クーラー設置時のビッド排水工事		⊕		
26	昇降路内温度が40℃超過の場合のララリ設置工事		⊕		
27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		⊕		
28	昇降路内温度が50℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事		⊕		
その他	エレベーター部品搬入経路の確保(必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事)		○		
その他	エレベーター重量部品搬入の際の仮設機重機の貸与		○		
その他	エレベーター据付工事現場事務所および材料置場の確保		○		
その他	エレベーター据付工所用電力の供給(動力用および照明用電源)		○		
その他	エレベーター運転調整用電力の供給		○		
その他	(動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに本設電源配管経路で引き込み)		○		
その他	医療機器、放送用機器、コンピュータ機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
その他	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事				○
その他	昇降路内建築工事収束床(水平養生)用の金網・デッキプレートなどの撤去工事		○		
その他	エレベーター着工前の各階出入口開口部の差支け支給および施工		○		
その他	出入口が直接外気に接する乗場における雨水受け工事(庇・水切り等)		⊕		
その他	ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパボルト(Pコン)の撤去		○		
その他	非常用エレベーター全階乗場への避難経路設置工事		⊕		
その他	非常用エレベーター乗場水勾配・排水溝・グレーチング施工		⊕		
その他	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事				⊕



NO.1 昇降路断面図 (1:50)

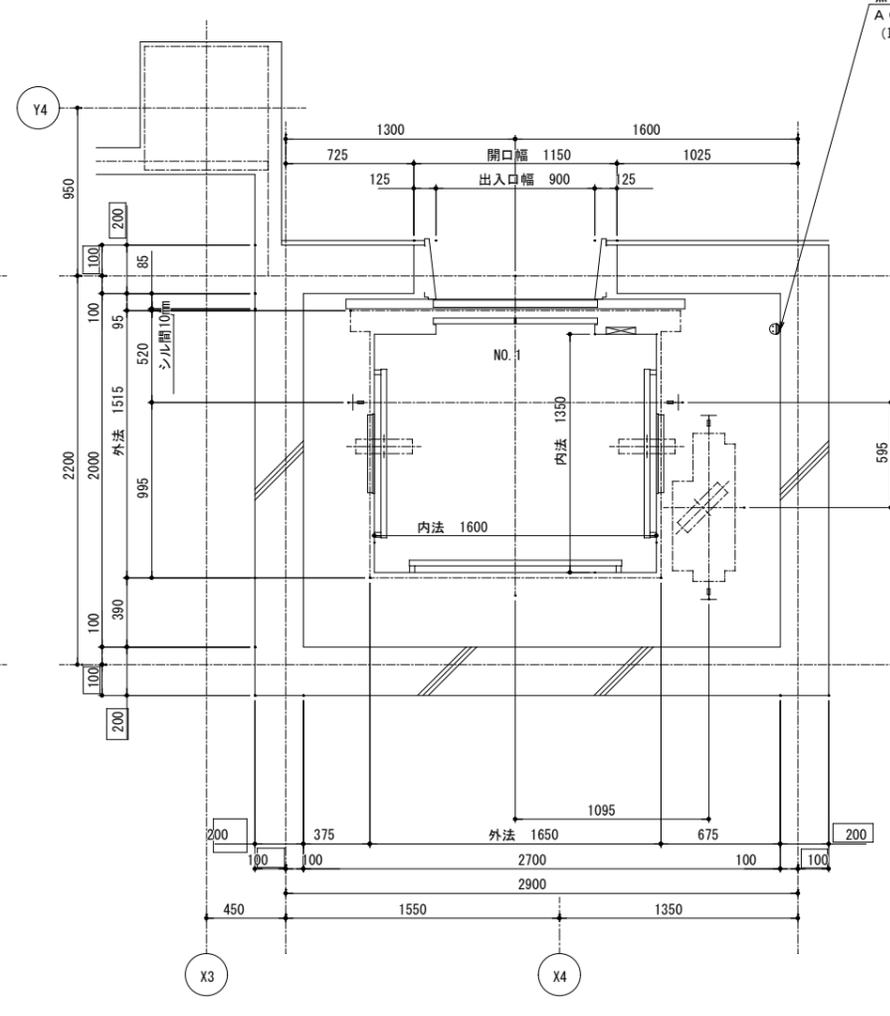


ピット反力値 (N)

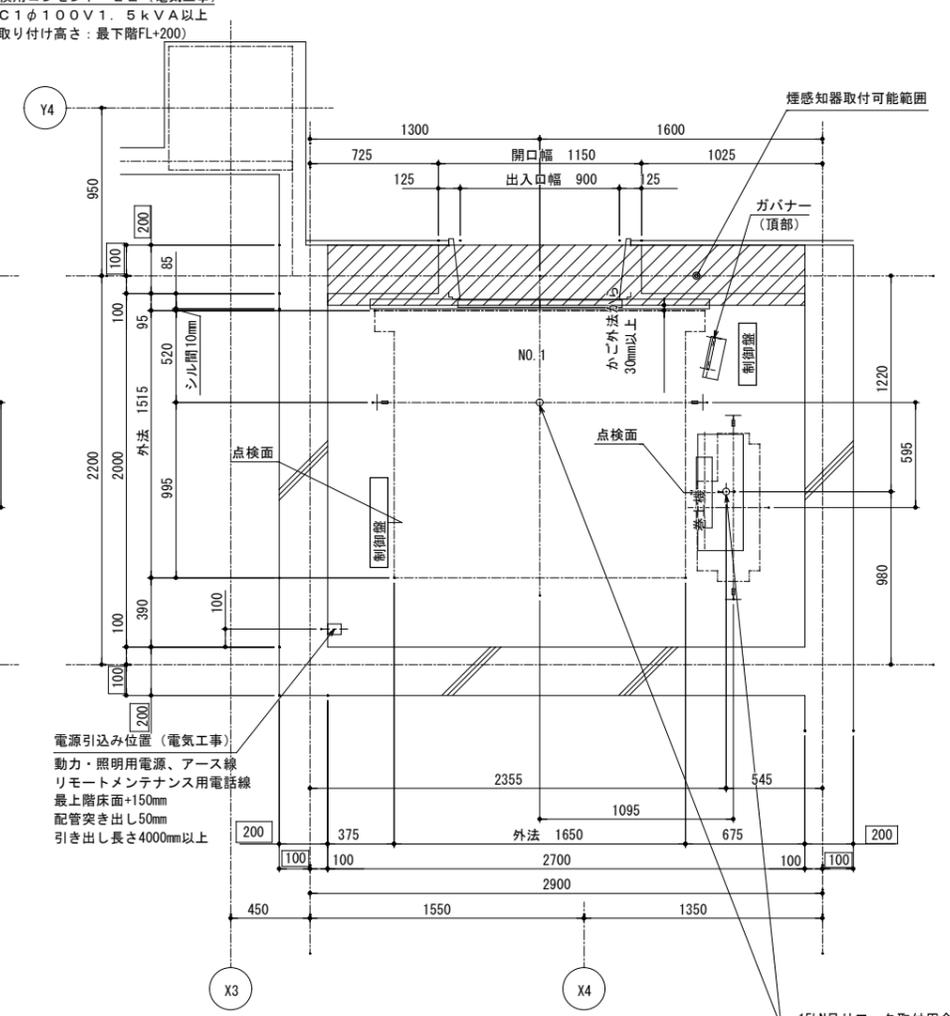
号機名	短期荷重			長期荷重		
	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	101500	83500	6000	28500	43500	32000

ピット平面図 (1:20)

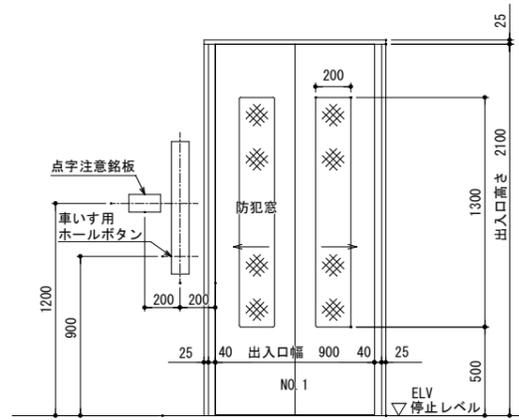
コンクリート厚さは150mm以上とする  
コンクリート基準圧縮強度21N/mm<sup>2</sup>以上とする



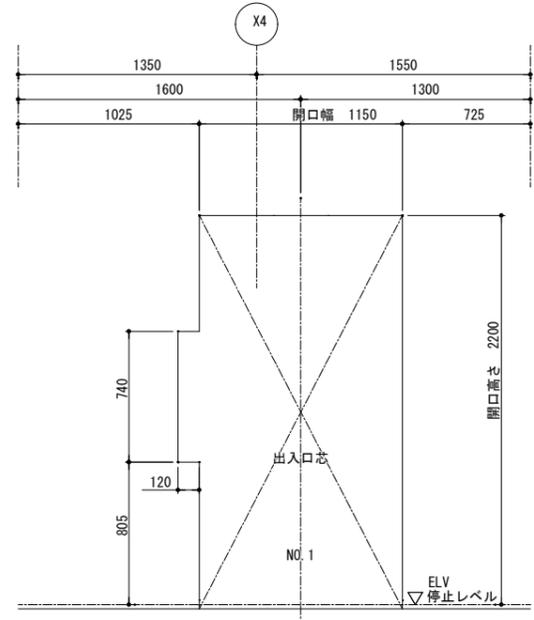
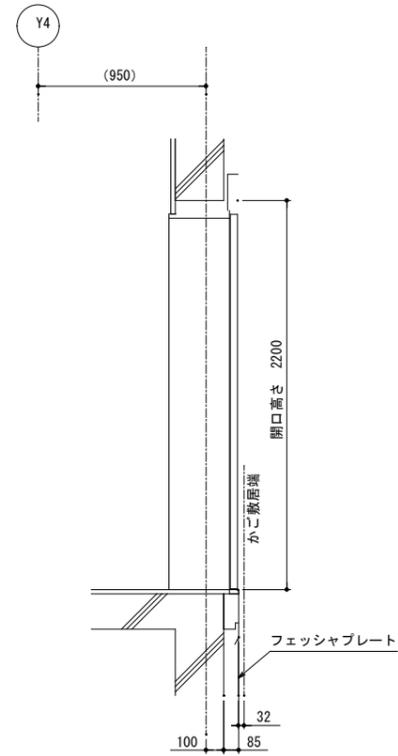
1階 昇降路平面図 (1:20) 内数値は書込み寸法



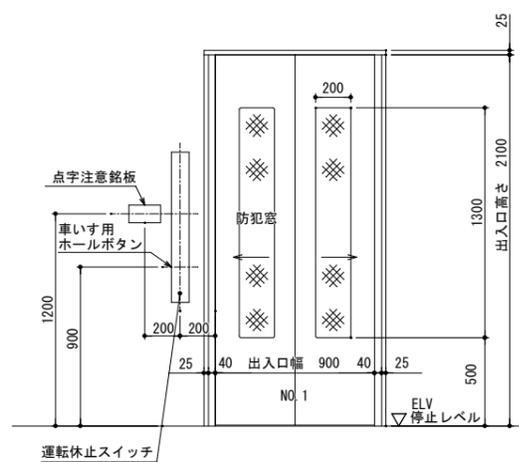
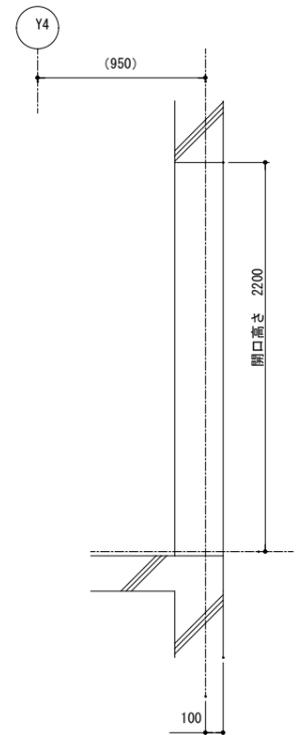
2階 昇降路平面図 (1:20) 内数値は書込み寸法



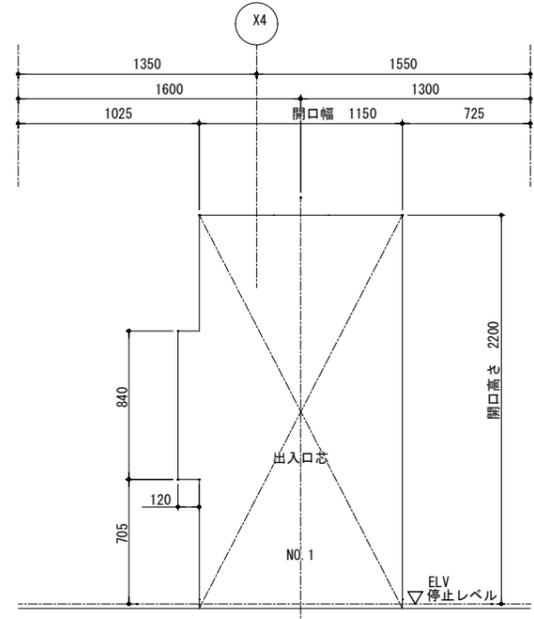
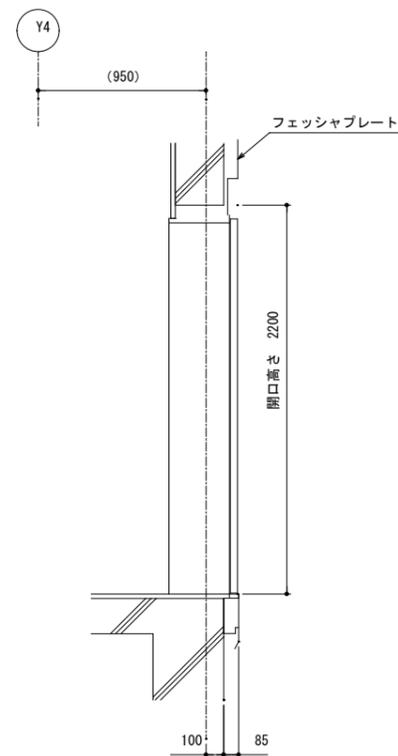
2階 出入口正面及断面図 (1:20)



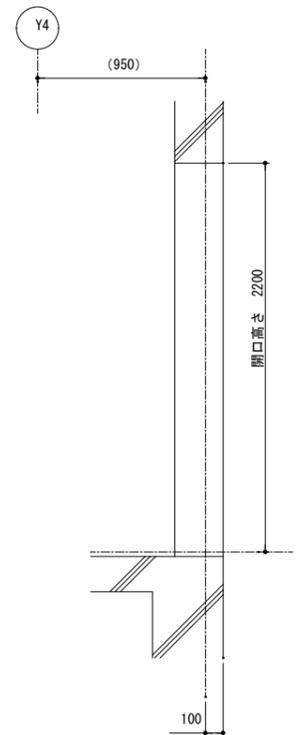
2階 出入口穴明図 (1:20)



1階 出入口正面及断面図 (1:20)

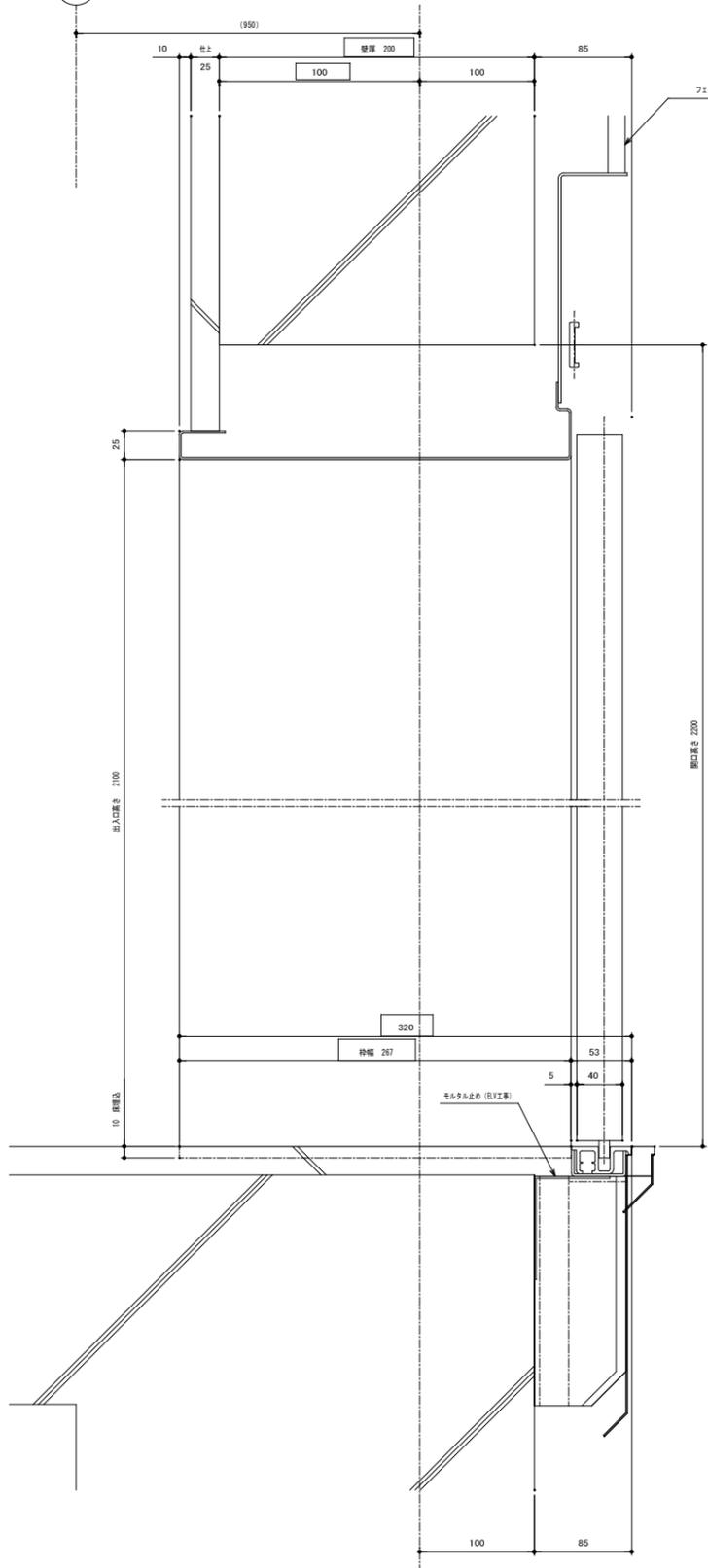


1階 出入口穴明図 (1:20)

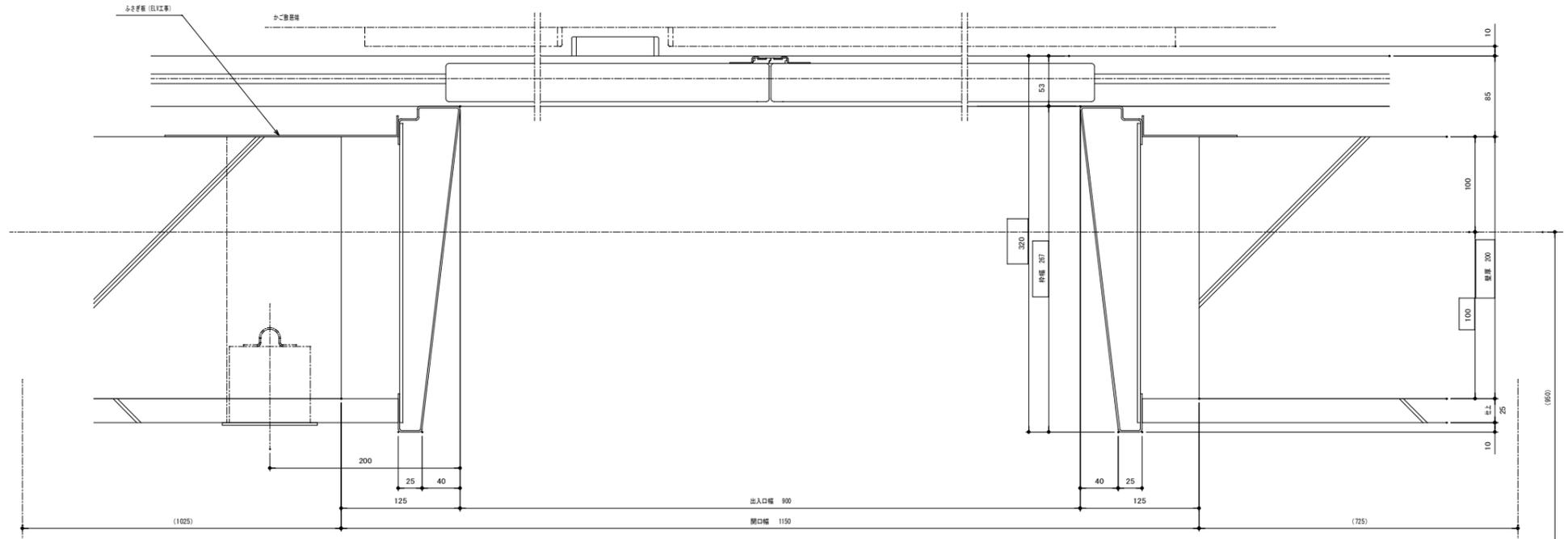


記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館腰公民館改築工事		設計年月	令和7年3月	
	図面名称	エレベーター詳細図(3)		図面番号	A1:1/20 A3:1/40		図面番号	A-43	
	製図者	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一		印					

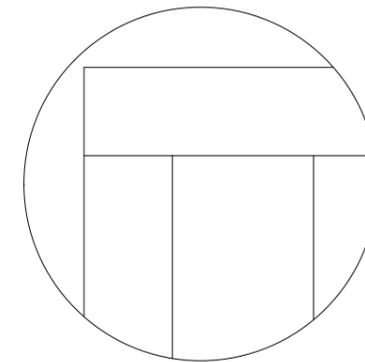
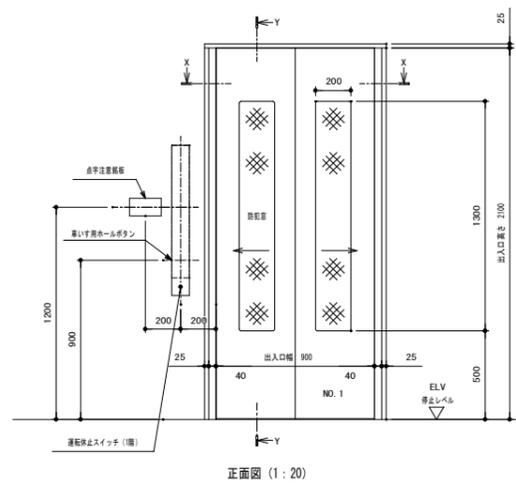
Y4



断面図【断面YY】(1:3) 内装部は建設済み寸法



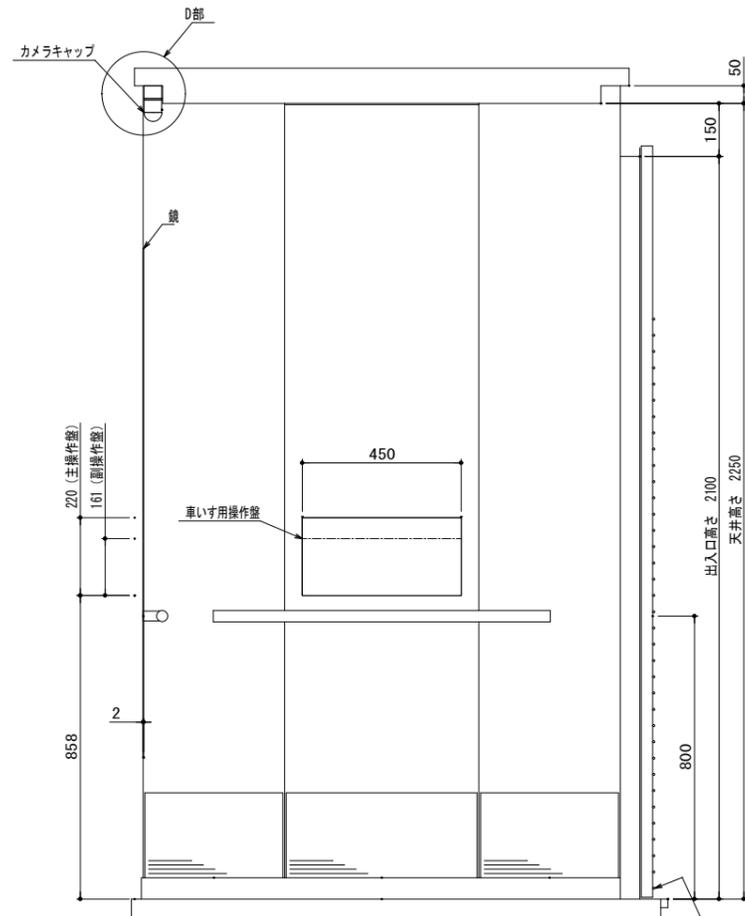
平面図【断面XX】(1:3) 内装部は建設済み寸法



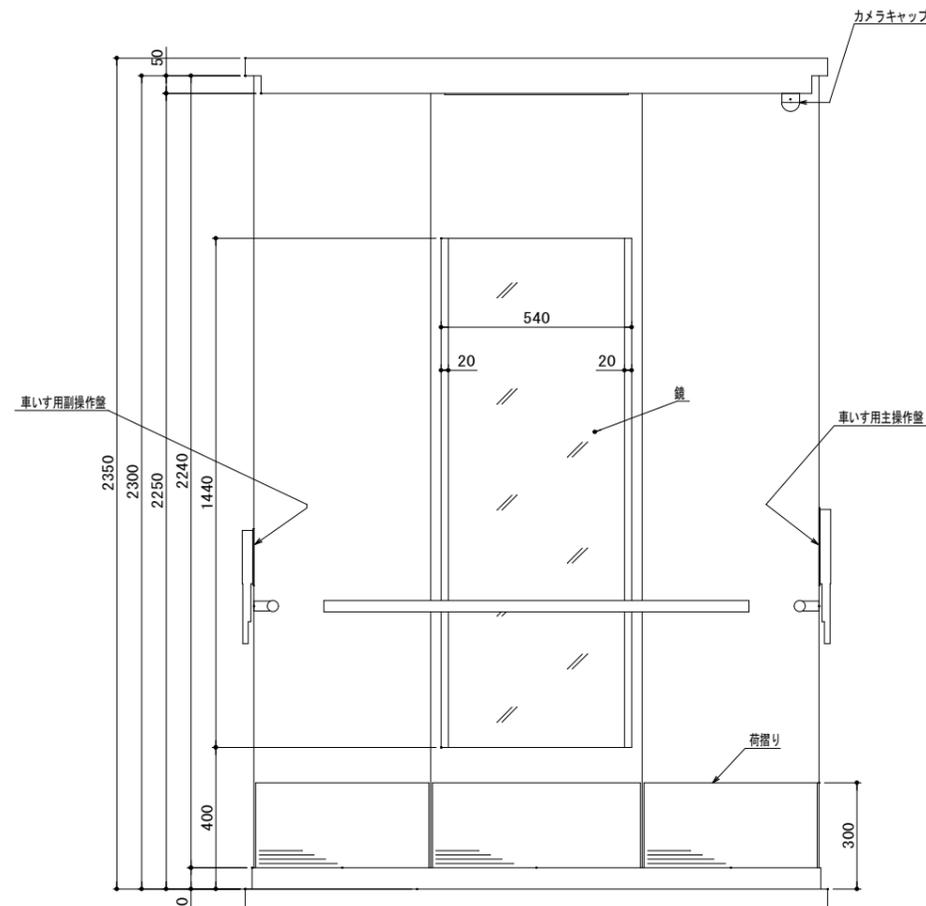
三方枠取合図(1:1)

1,2階仕様	
三方枠	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
敷居	複質アルミ

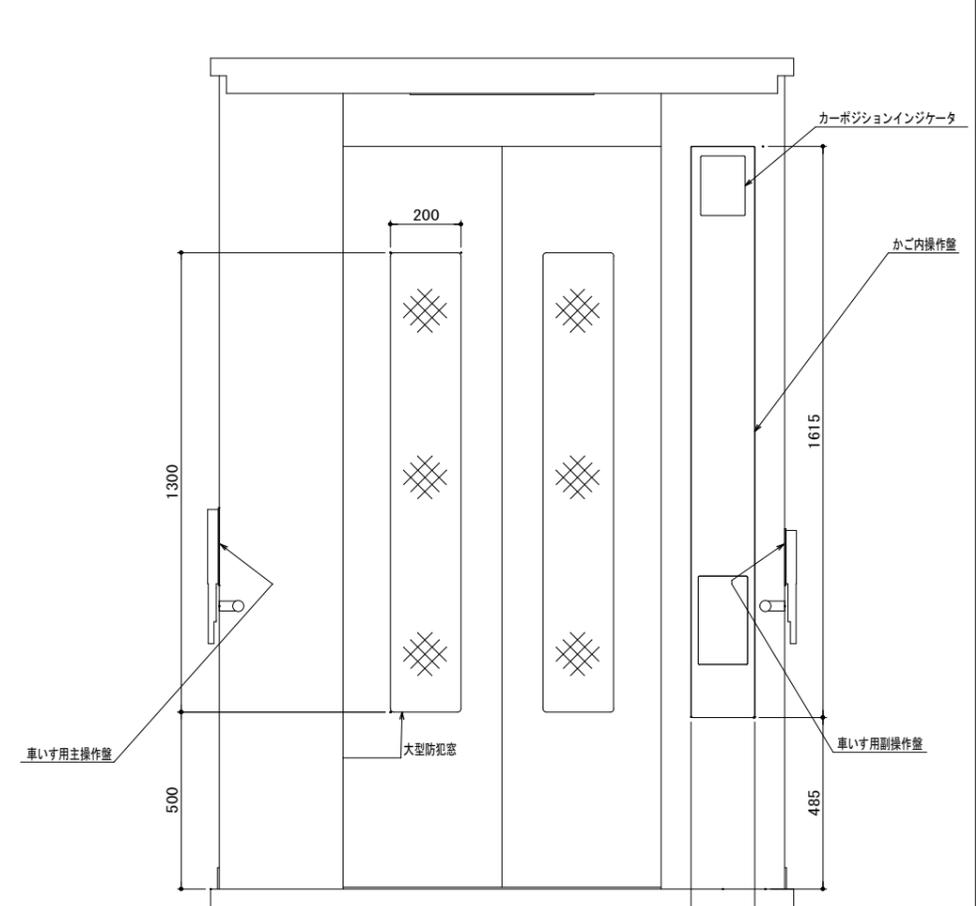
記 事	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館議公民館改築工事		設計年月	令和7年3月	
		株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一		図面名称	エレベーター詳細図(4)		図面番号	A-44	
				縮尺	A1:1/3.20 A3:1/6.40				



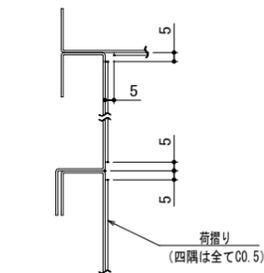
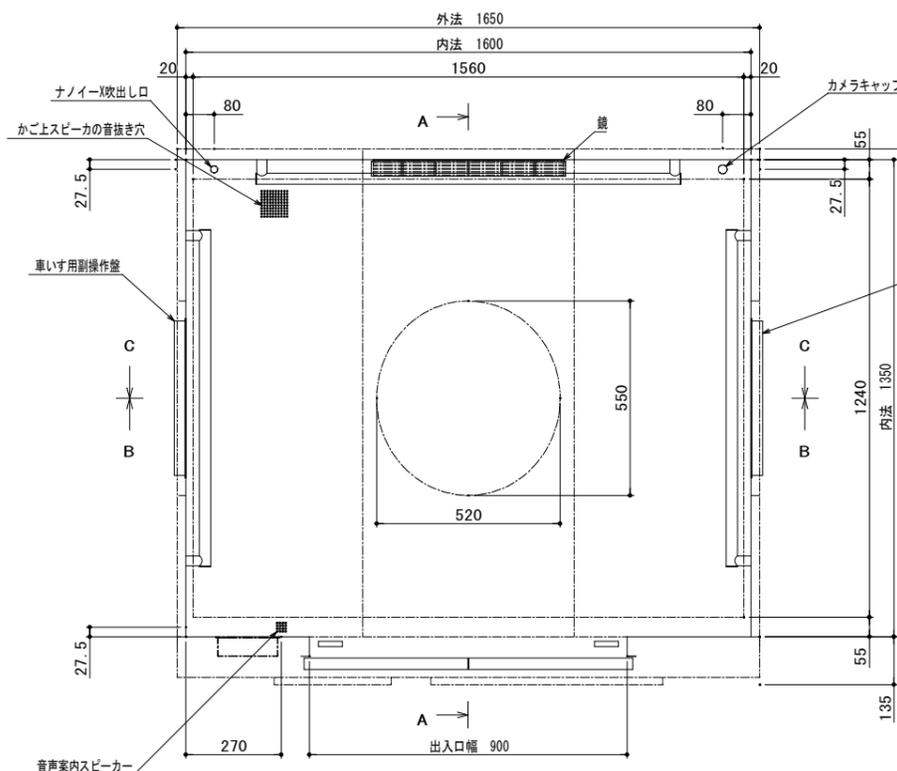
断面AA



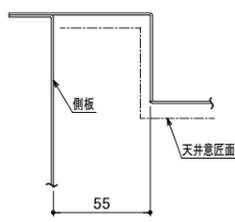
断面BB



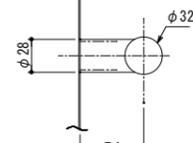
断面CC



側板コーナー及び中間継目詳細 (1:2)



D部詳細 (1:2)

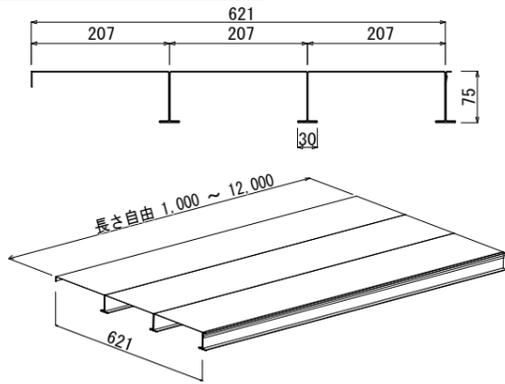


ハンドル取付部詳細 (1:3)

品名	仕様
前側板、出入口上部枠	化粧鋼板
幅木	化粧鋼板 (グレイッシュホワイト)
側板、戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照明	乳白色アクリルカバーLED照明 (天井照明色: 白色)
停電灯	LED
換気	ファン
床	樹脂タイル (2T)
敷居	硬質アルミ
鏡	ステンレス鏡面 (両脇ヘアライン仕上)
ハンドル	ステンレスパイプ (ヘアライン仕上)
大型防犯窓	段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T
光電装置	多光軸ドアセンサー付
天井換気ルーバー、カメラキャップ	ABS樹脂 (グレー)
荷置り	ステンレスヘアライン仕上 (床から300mm)
付属品	車いす仕様付、視覚障がい者仕様付
	乗り場側利用者検知機能付付
	かご戸袋引き込まれ低減機能付
	空気清浄機能付 (イオン発生機能同等品)
	非常放送用スピーカー付、音声案内装置付
	かご側板保護マット付、かご床マット付

〈1〉製品仕様と材料

1. 形状・寸法



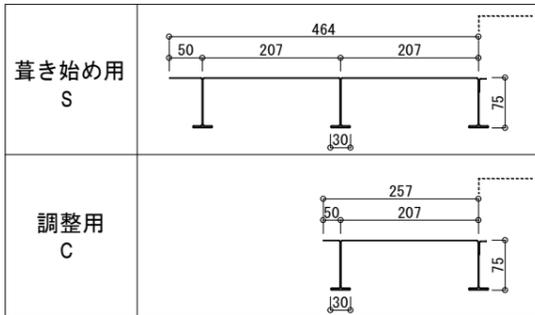
2. 重量・断面性能

Table with columns for thickness (t), weight (kg/m²), and section properties (moment of inertia I, section modulus Z).

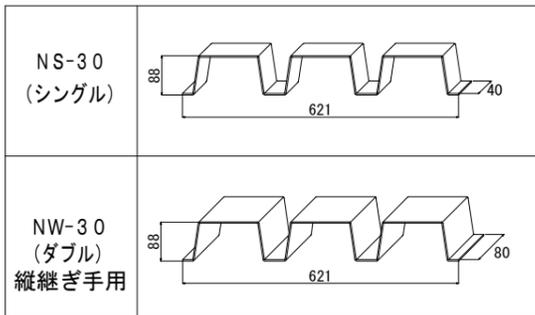
※断面性能は正圧・負圧の内、小さい方の値を採用

3. 製品種類・付属材料

役物の断面形状・寸法



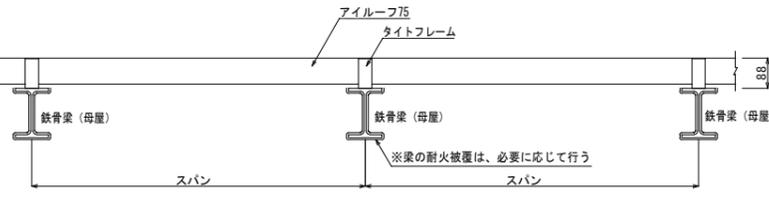
付属材料 (タイトフレーム)



〈2〉設計

1. 耐火仕様

Table for fire rating specifications: 屋根30分耐火, FP030RF-1745, 板厚 1.0mm以上, デッキ条件 単純支持/連続支持, 支持スパン 4,000mm以下.



2. 使用材料

Table for material specifications: 板厚 (1.0mm, 1.2mm, 特注), 材料種類 (溶融亜鉛めっき鋼板, Z12, Z27, etc.).

3. 曲げ応力及びたわみ計算

Calculation formulas for deflection (δmax), stress (σ), and moment (M). Includes definitions for variables like I, Z, Ft, w.

許容スパン表 (連続梁) (単位: mm). Table with columns for span length (1.0, 1.2) and load (1.000 to 5.000 N/m²).

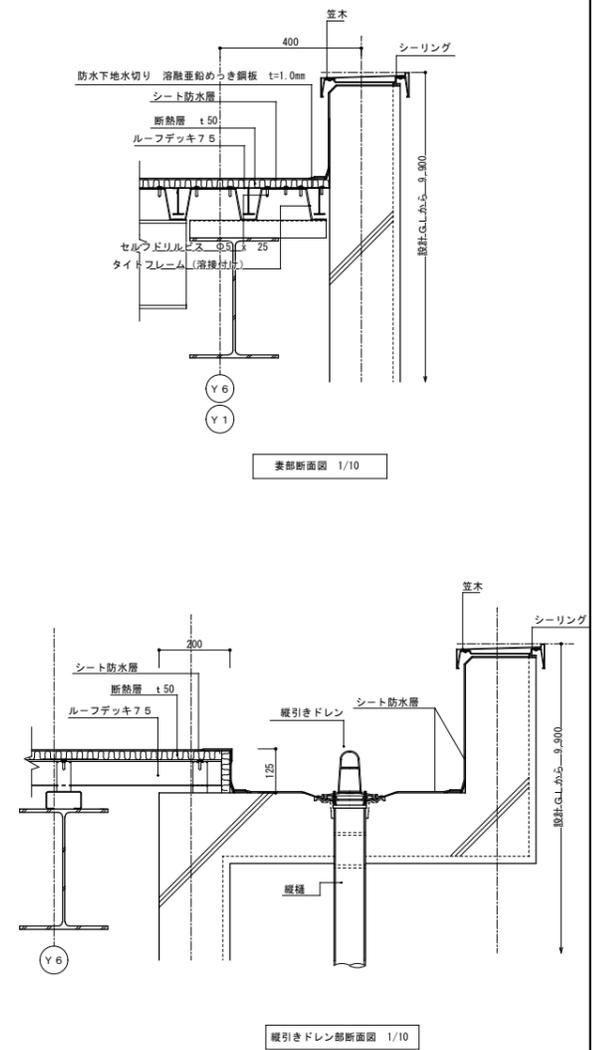
太枠内: 耐火構造許容スパン内 ※詳細な荷重計算については別途計算致します。曲げとたわみと比較して小さい値を採用値 (斜線部) にしています。

〈3〉施工方法

1. 施工手順

- ①-割付計画
②-搬入・据置・仮置・保管・墨出し
③-タイトフレームと梁との接合
④-敷込み・仮止め
⑤-ルーフデッキ75とタイトフレームとの接合
⑥-開口部補強
⑦-役物材取付
⑧-下地検査
⑨-防水施工

2. 納まり

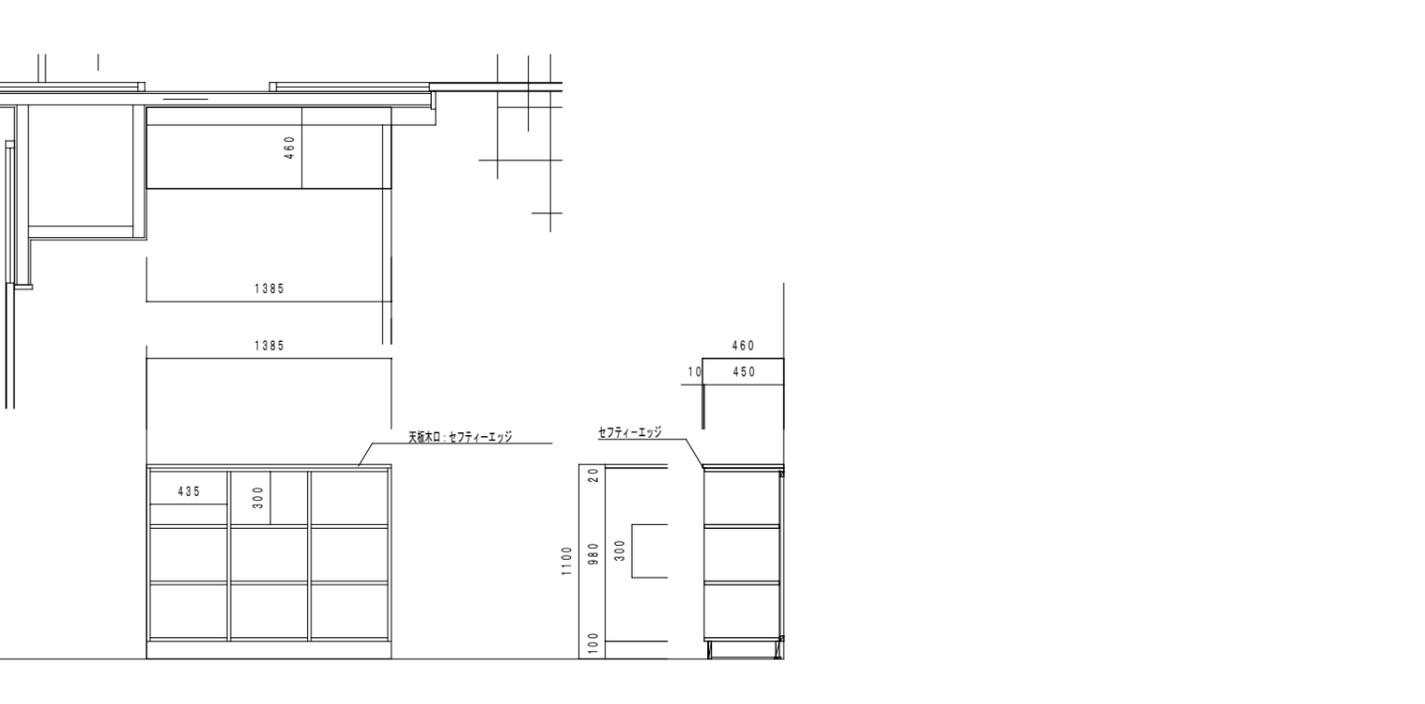
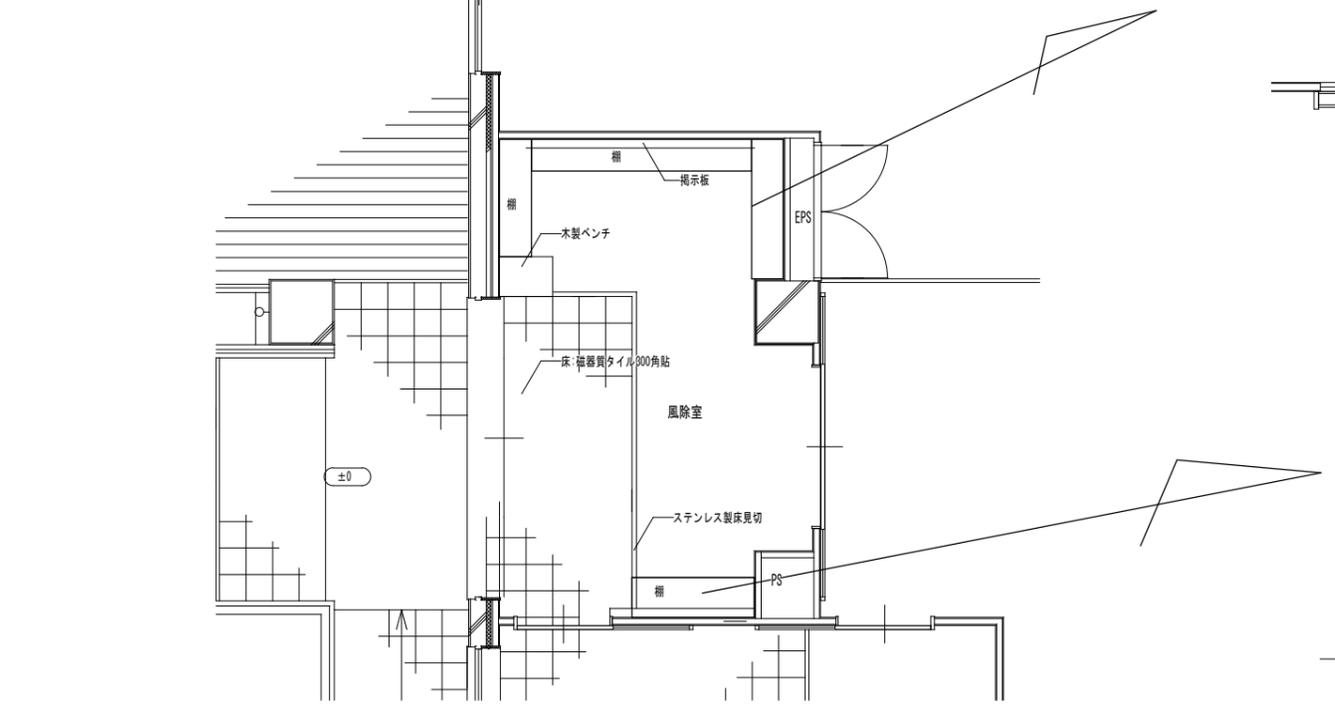
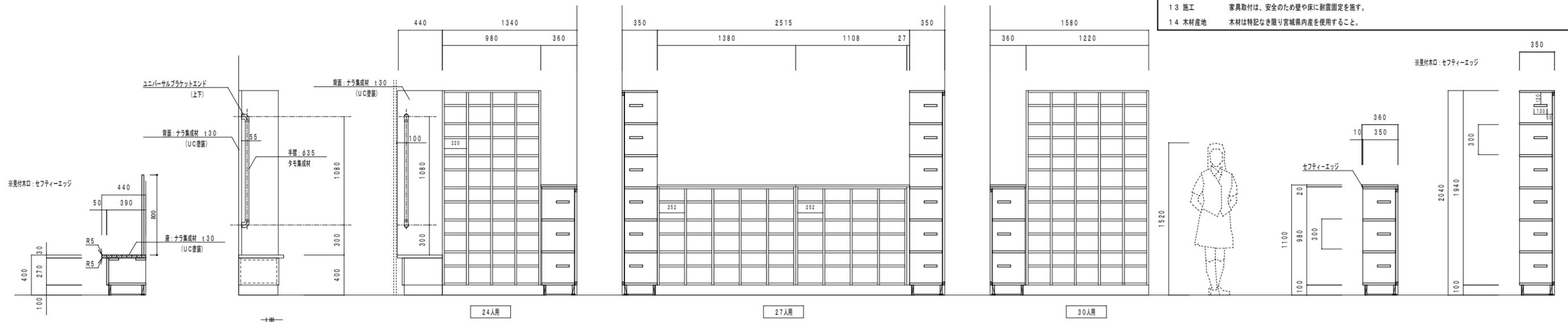
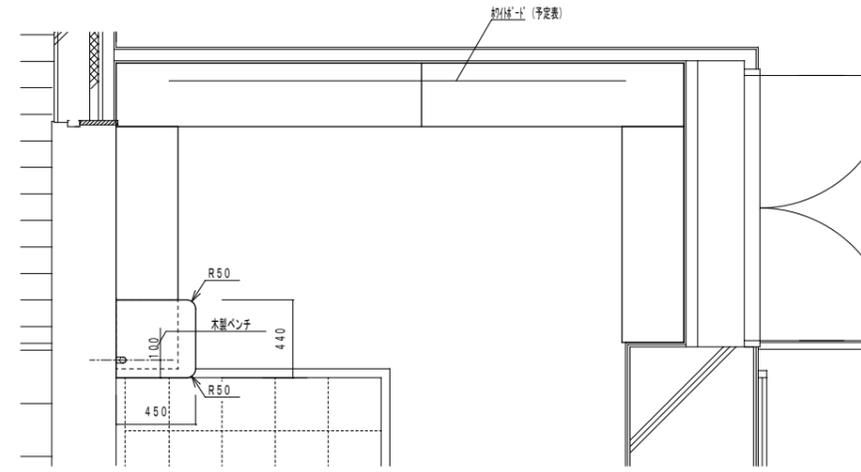


〈注意事項〉

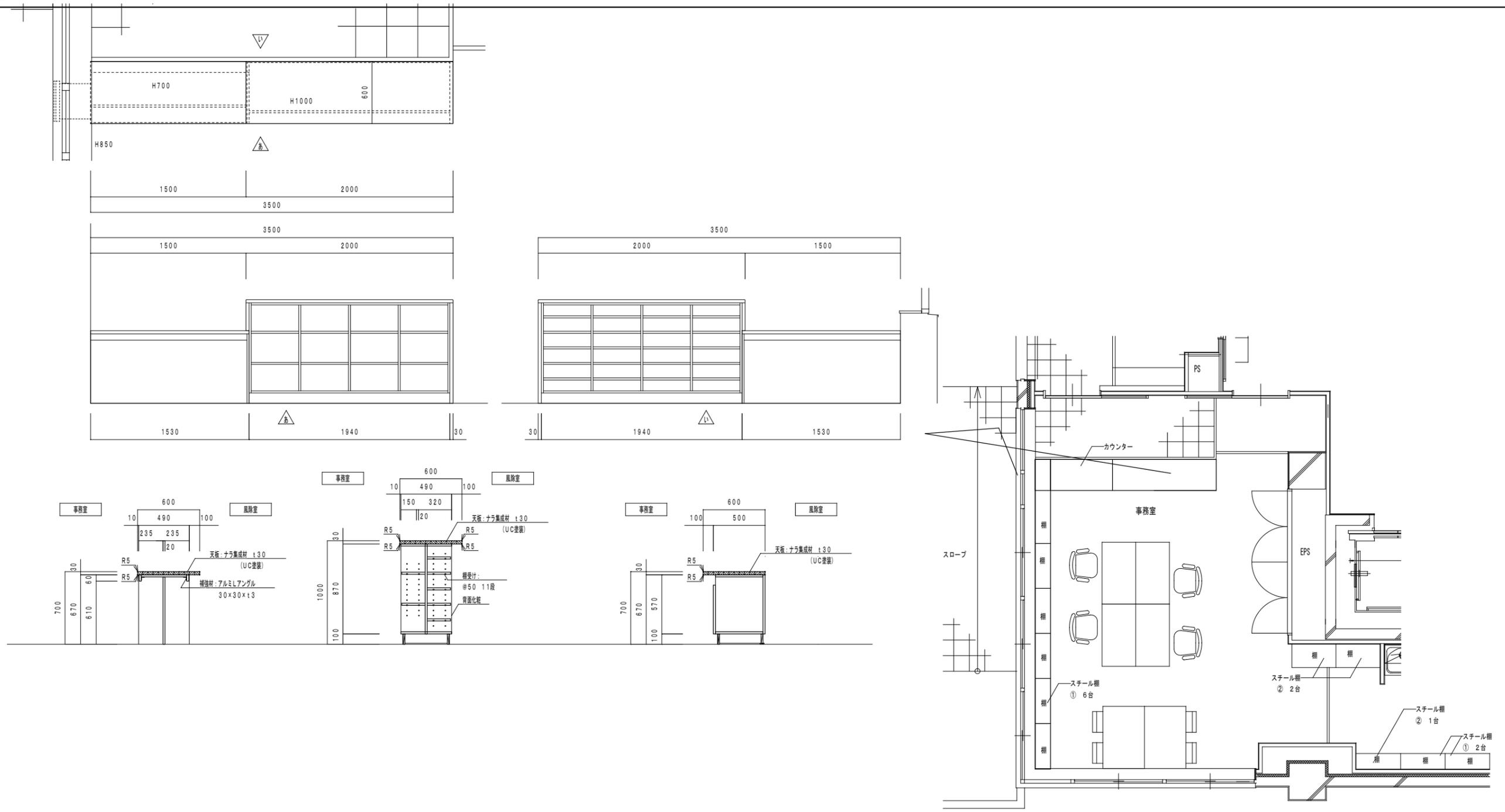
- 1) スパンとは梁 (母屋) の中心距離とする。
2) 梁との複合被覆ではありません。
3) 梁 (母屋) に耐火性能が要求される場合は、それらに応じて耐火被覆をする。
4) ルーフデッキ75のアイリブから吊金具を使用して天井等を吊る場合、平滑安定性において不具合が発生する恐れがありますので推奨していません。

家具共通仕様 「図面中に特記なきものは下記の仕様とする。」

- 1 本体・棚板 室内VOC（ホルムアルデヒド等）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した両面メラミン化粧パーティクルボード厚さ2.0mm、F☆☆☆☆を使用する。  
上記材料は、JIS-A5908適合、18タイプ（曲げ強さ18N/平方ミリメートル以上）とし、JISマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。
- 2 木口処理 躯体からの水分浸入を防ぐ為に、本体は背面も含めてフラットエッジ（ABS製樹脂をホットメルト練付）加工とする。  
引き扉・抽斗前板はセフティーエッジ（ABS製 厚さ3mm ホットメルト練付）加工とする。
- 3 表面処理 本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制する為に鉛筆硬度 9H 以上の表面材を使用する。  
本体色については色見本帳（45色以上）を提出の上決定する。
- 4 裏板 ポリ化紙合板 F☆☆☆☆ 厚さ4mm を使用し片面フラッシュ（450mm ピッチ以内に格子状縦横構造）とする。
- 5 本体組立て 組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。
- 6 巾木・台輪 ポリ化紙合板仕上げ F☆☆☆☆（塗装不要）とする。
- 7 建具 扉はくわいよろろ防止の為、かまち組み等は不可とし1枚物とする。  
引違戸の樹脂側には耐震外れ止めスライドガイド、樹脂側には上下調整戸車を使用する。  
全面ガラス戸は径我防止面取加工の透明強化の刻印入り 厚さ5mmとし、引違戸は戸車付きハカマ（ステンレス製）を使用する。
- 8 引手・蝶番 ステンレス長角戸引手 L105mmを使用する。  
蝶番はメンテナンスが容易なキャッチ機構付110°開きセンシスヒンジ（ソフトクローズ機構内蔵）を使用する。  
[掃除用具入れはキャッチ付270°開きアニティヒンジを、一部貫通ボルト止めで5点吊りとする。]
- 9 鴨居・敷居 メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ABS製）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ABS製）とする。
- 10 抽斗箱 細面・カビ・悪臭のつきにくい樹脂化粧MDF 厚さ15mmとする。
- 11 棚板受け 安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ φ8-M6を使用する。  
棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。
- 12 特記事項 品質確保の為、製作はISO 9001 取得企業とする。  
製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。
- 13 施工 家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。
- 14 木材産地 木材は特記なき限り宮城県内産を使用すること。

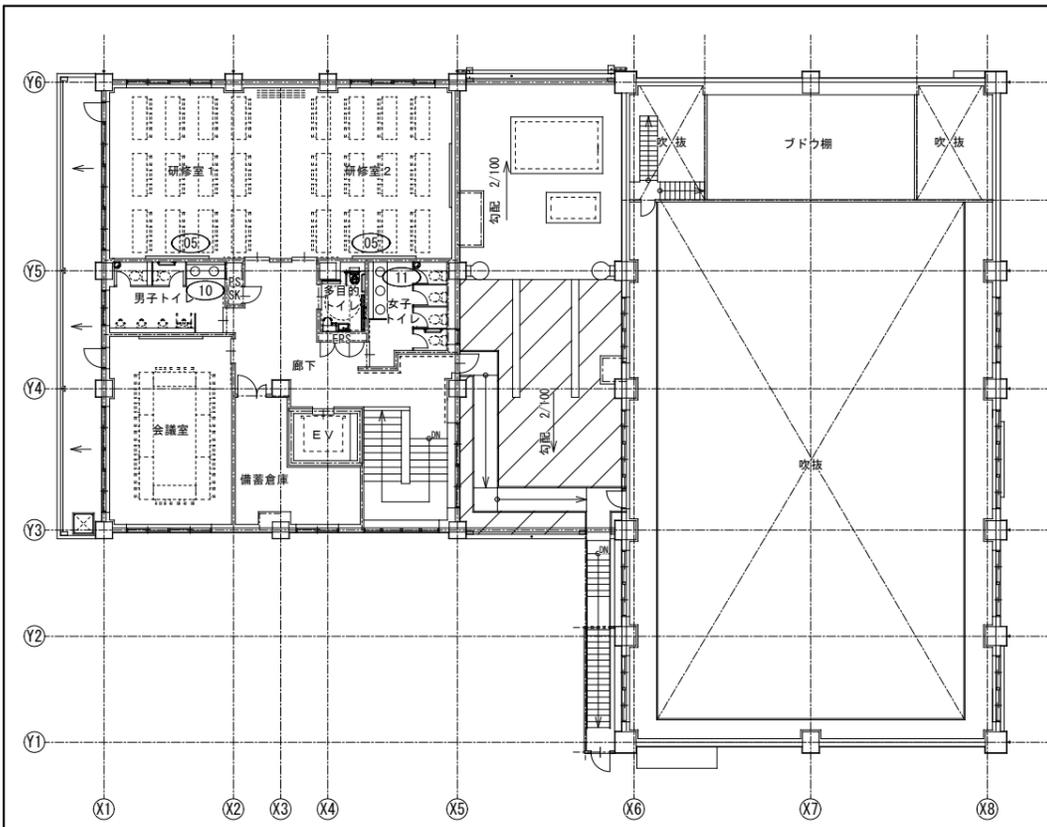


記 事	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	製 作 者	株式会社 東北建企 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	図面名称	家具図(1)	縮尺	A1:1/20 A3:1/40
					図面番号	A-47

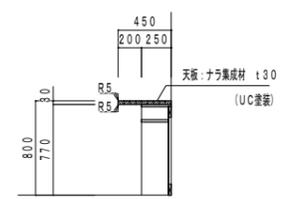
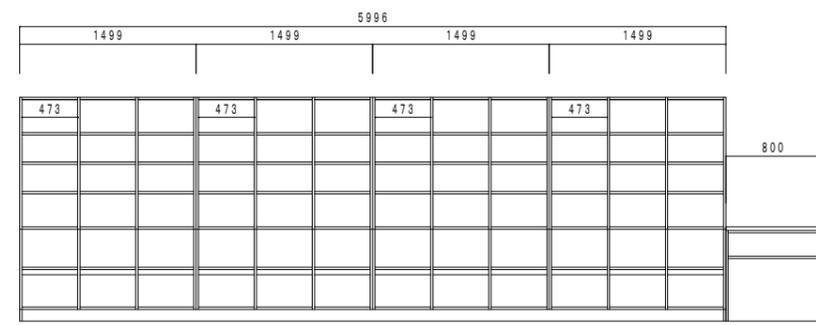
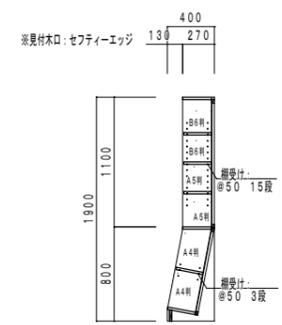


スチール棚

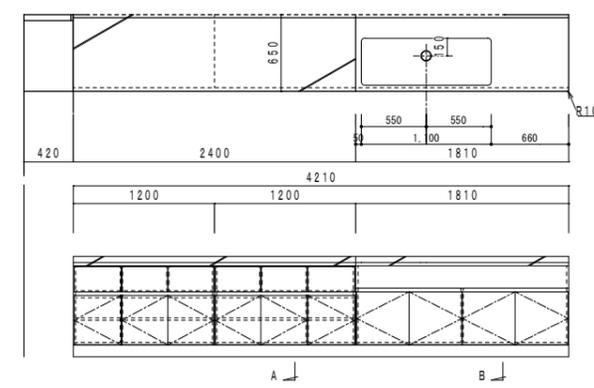
	寸法	参考型番
①	W900 x D400 x H900 (棚板2枚)	棚内田洋行 5-823-0092
②	W900 x D400 x H2,100 (棚板5枚)	棚内田洋行 5-823-0212



01 本棚、電話台 1/30

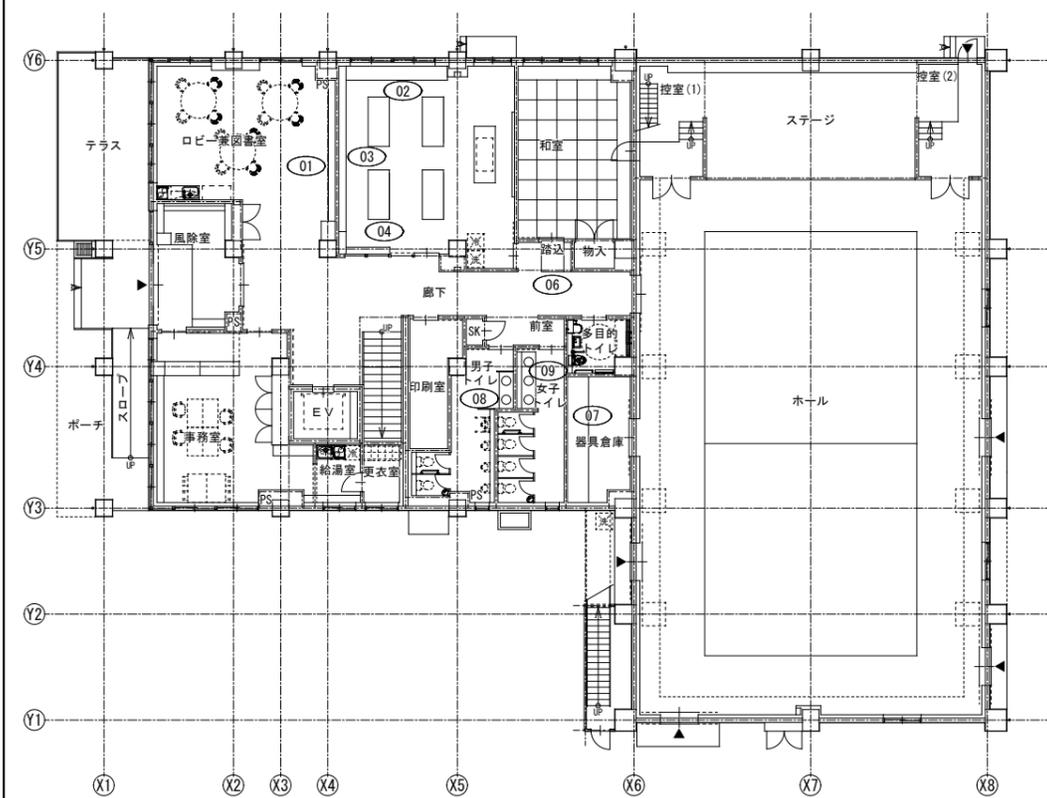
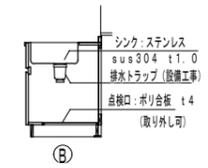
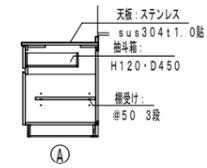


02 流し台、収納棚 1/30

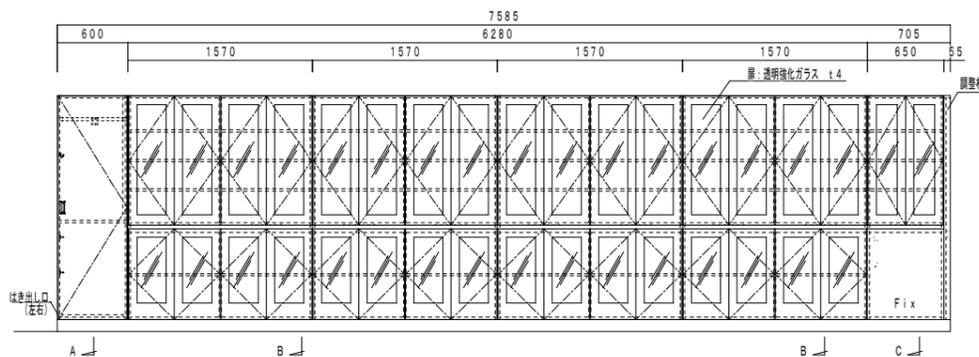


※扉・抽斗前後木口: セフティーエッジ

※扉木口: セフティーエッジ

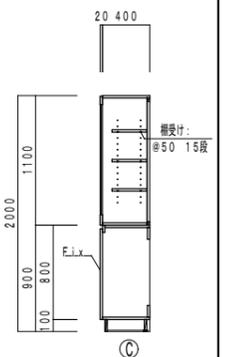
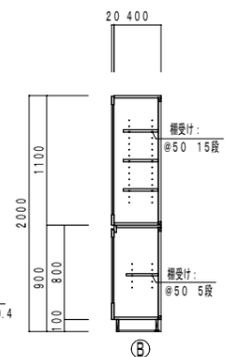
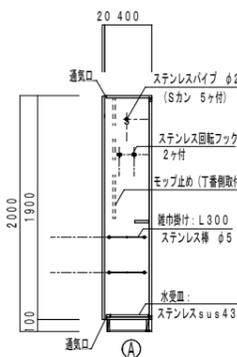


03 調理棚 1/30

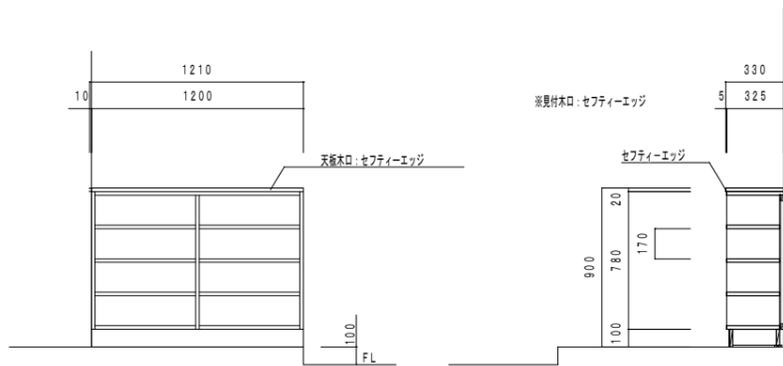
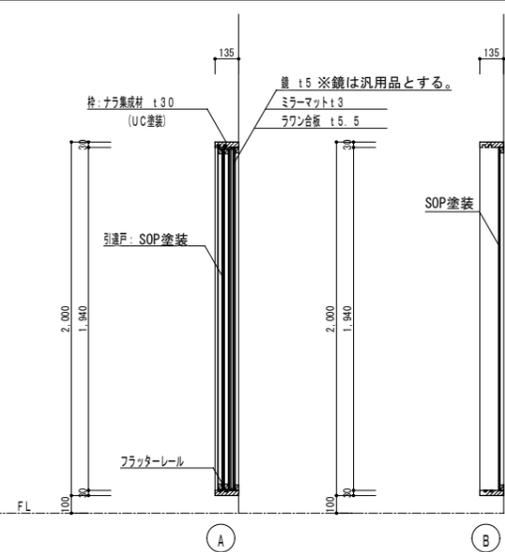
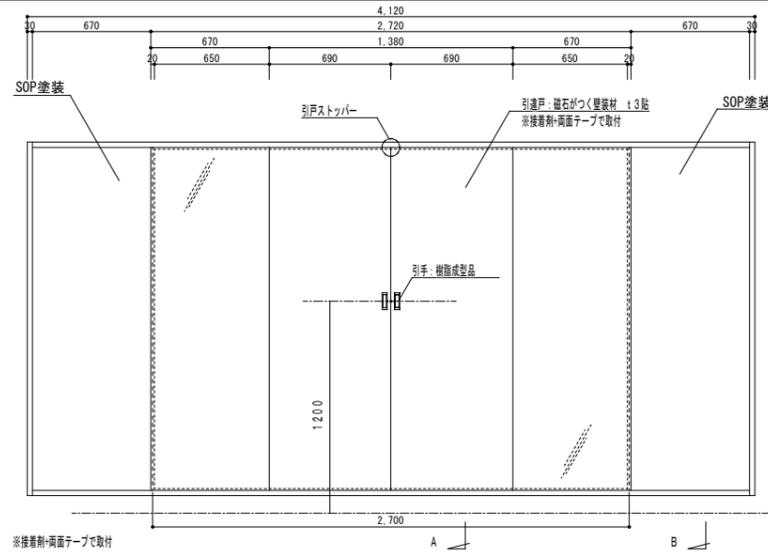
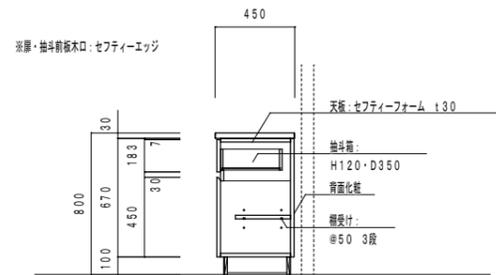
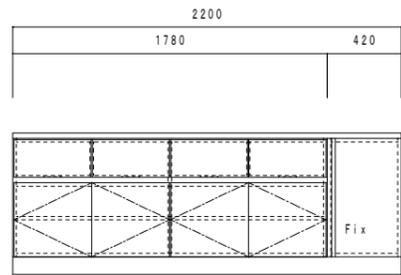


※扉木口: セフティーエッジ

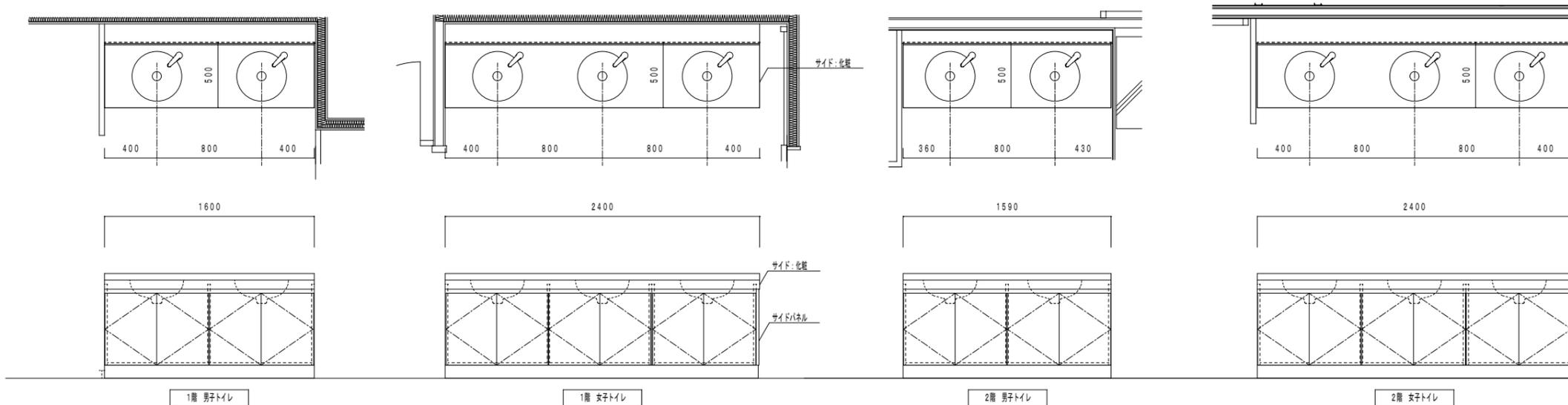
※扉木口: セフティーエッジ



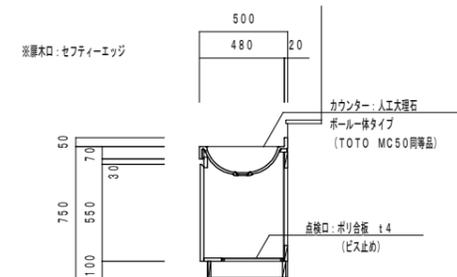
記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	家具図(3)	図面番号	A-49	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
	設計者	株式会社 東北建築 一級建築士(大臣) 第98900号 折原 幸一				

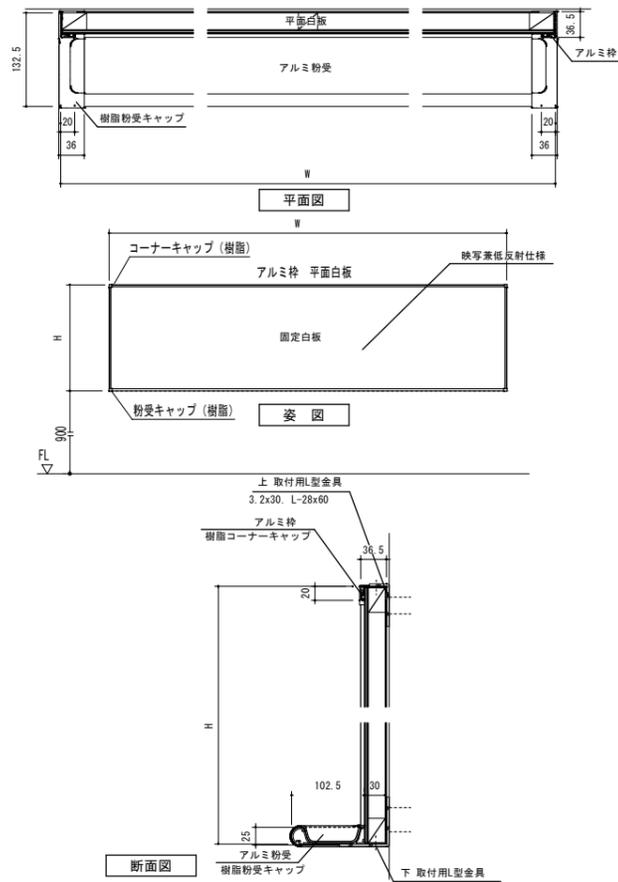


スチール棚			
	寸法	参考型番	箇所数
棚 (器具)	W1,800 × D721 × H2,400 (棚板2枚)	榎内田洋行 連立-2487-J-5	3



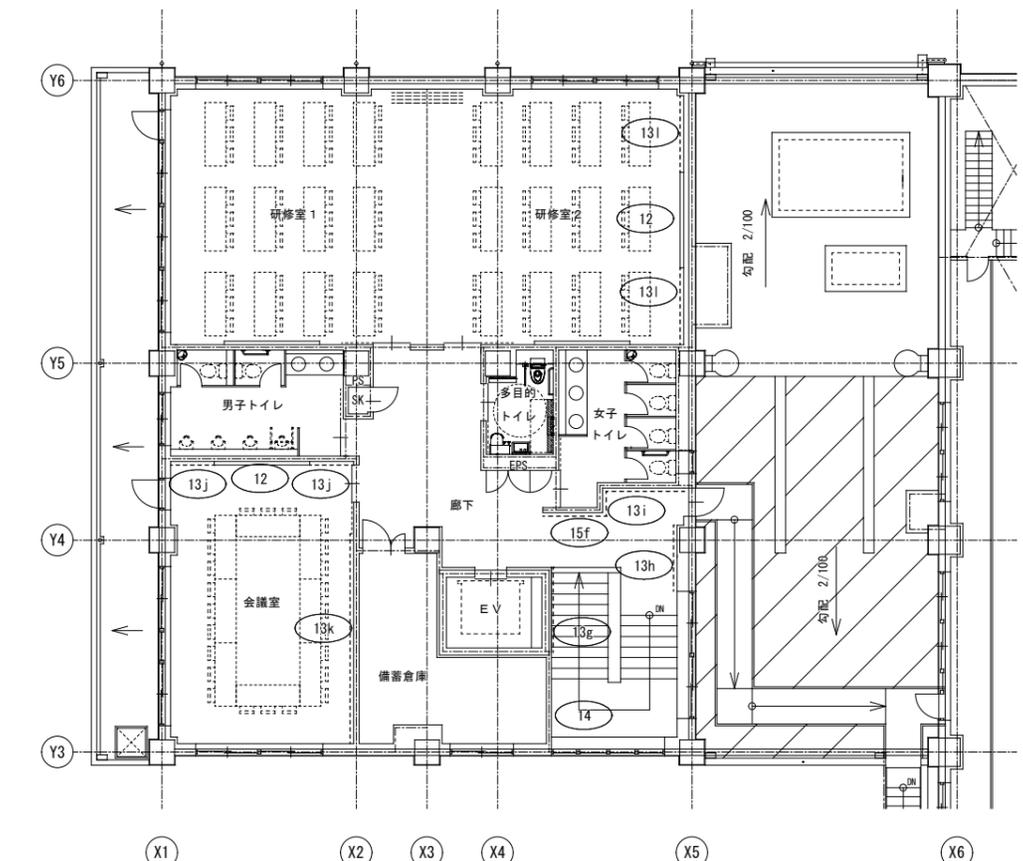
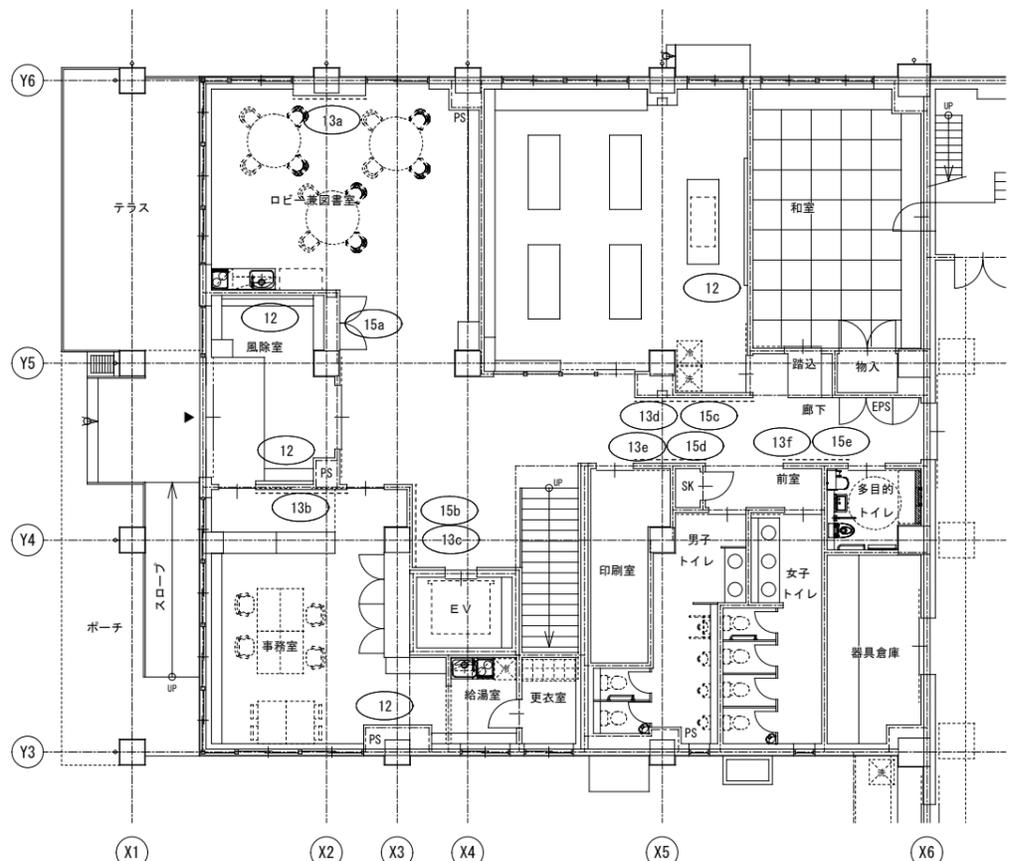
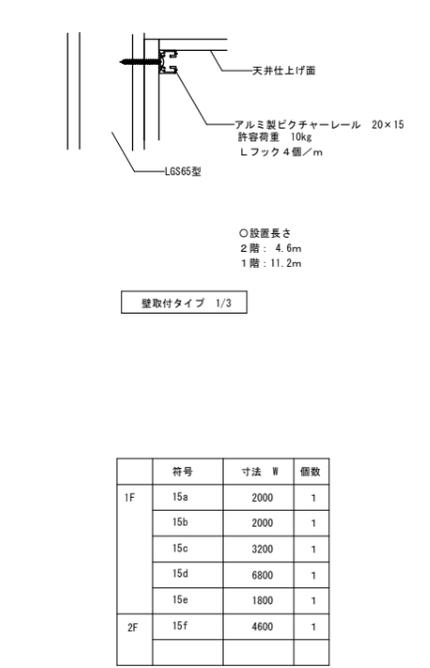
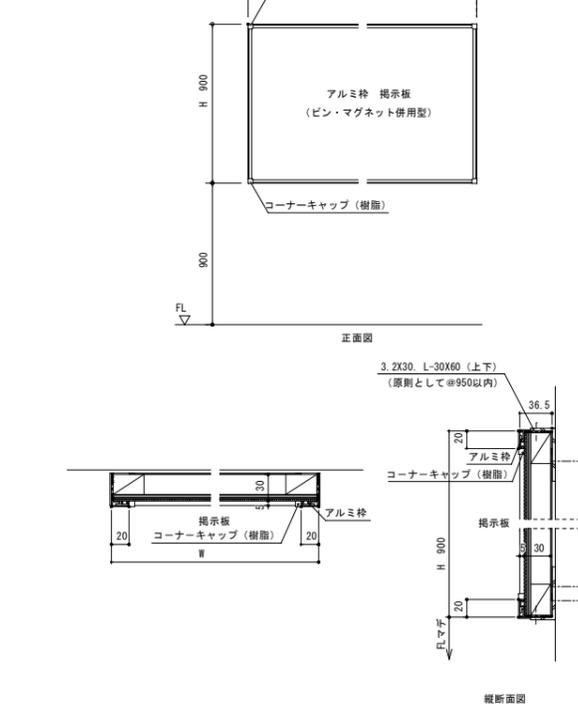
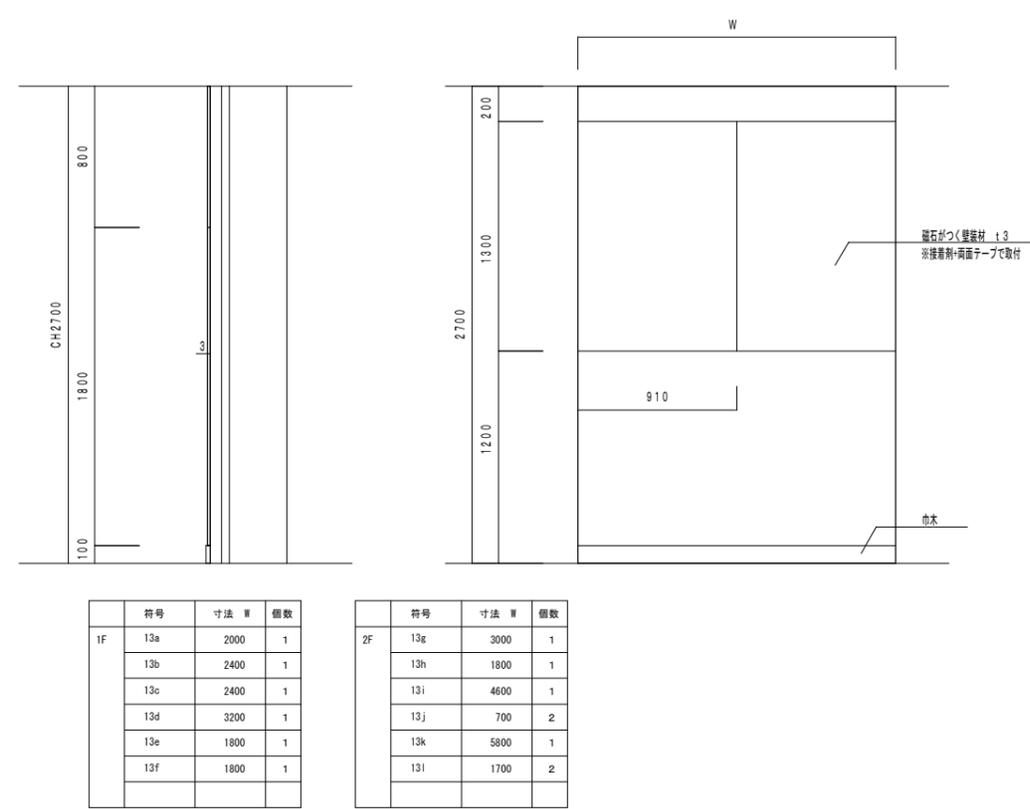
室	L
1F 男子トイレ	1600
1F 女子トイレ	2400
2F 男子トイレ	1590
2F 女子トイレ	2400

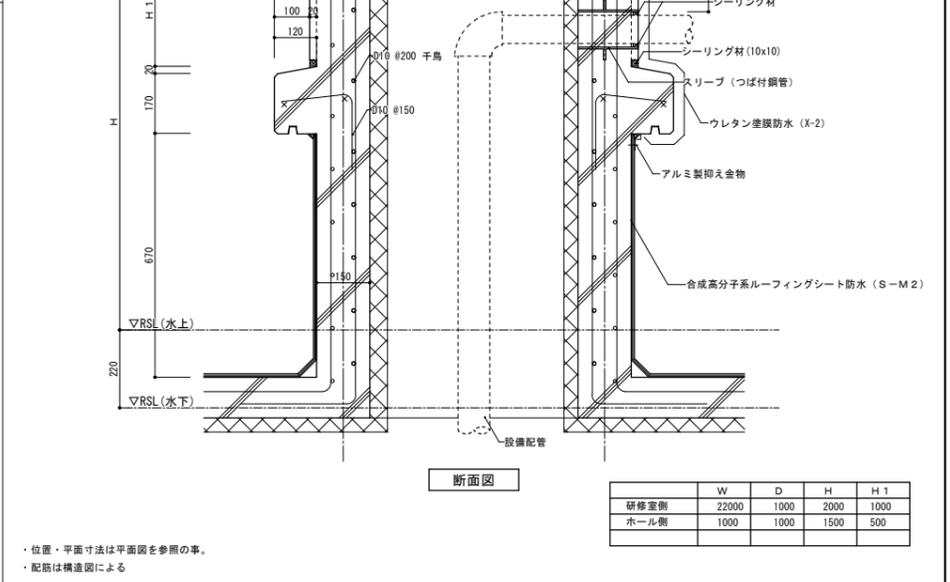
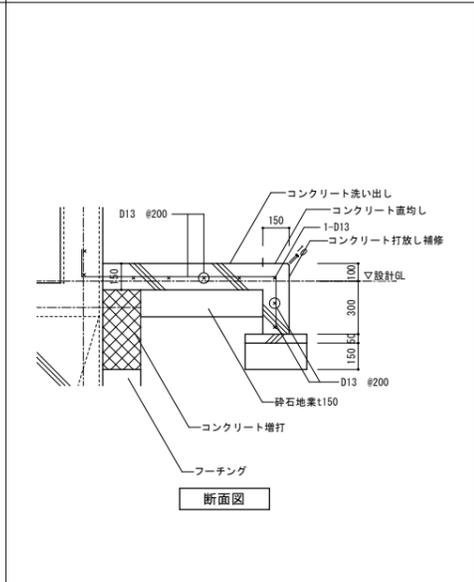
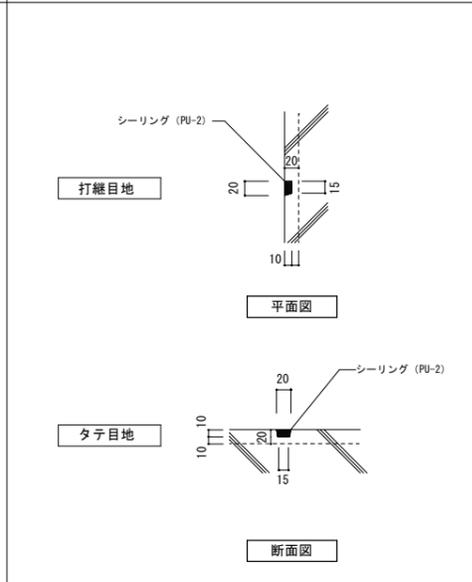
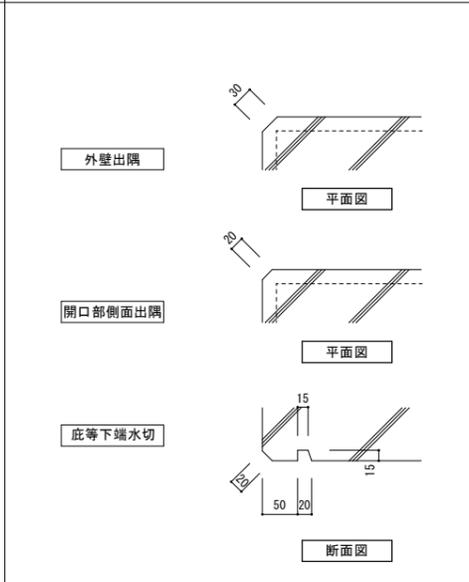
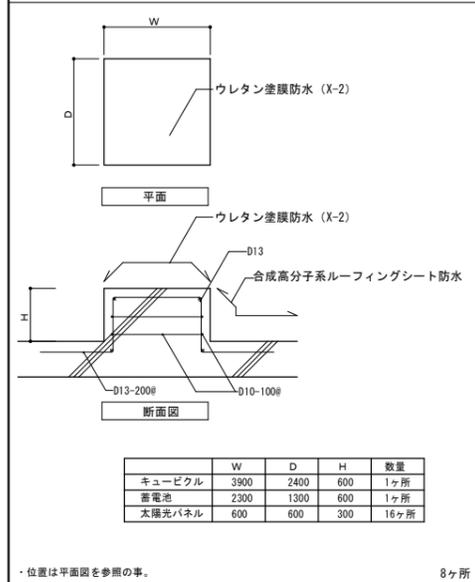
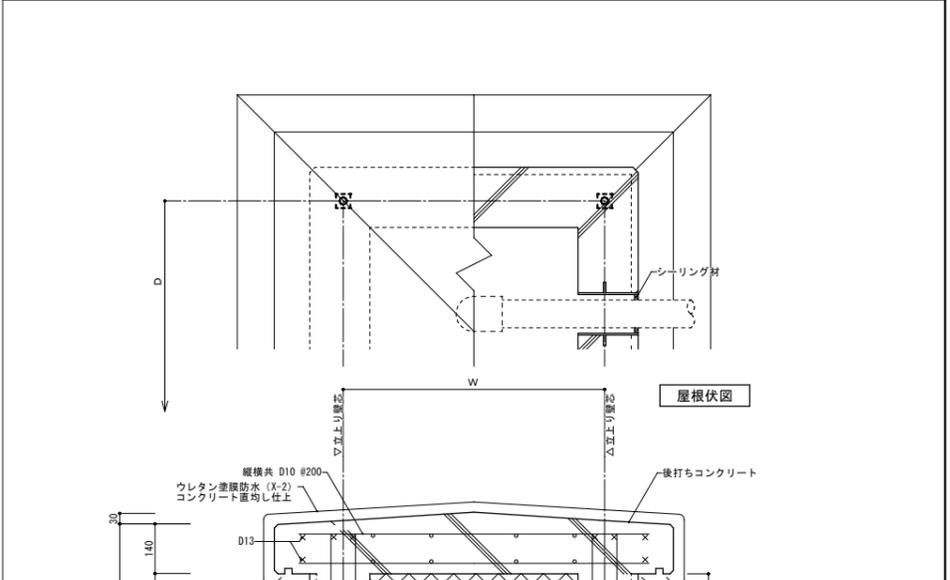
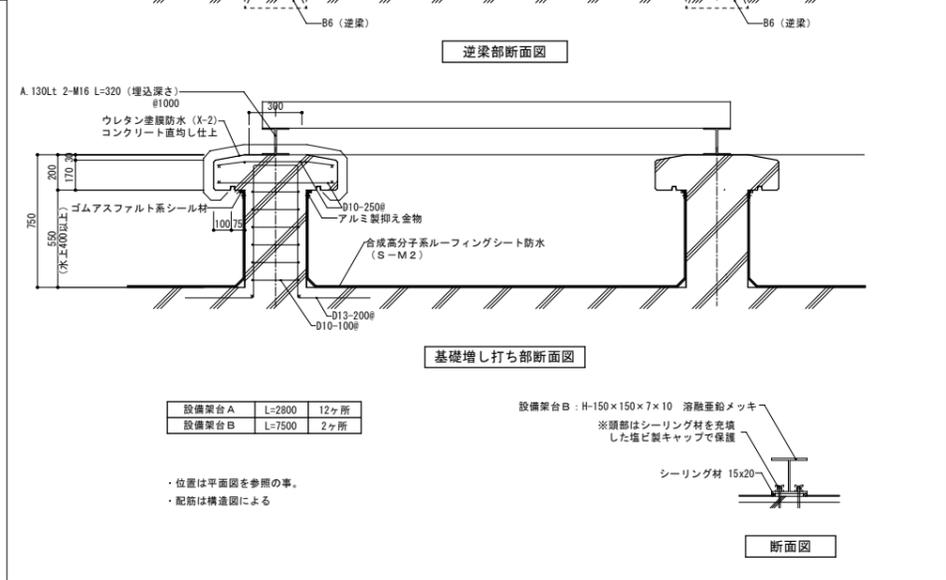
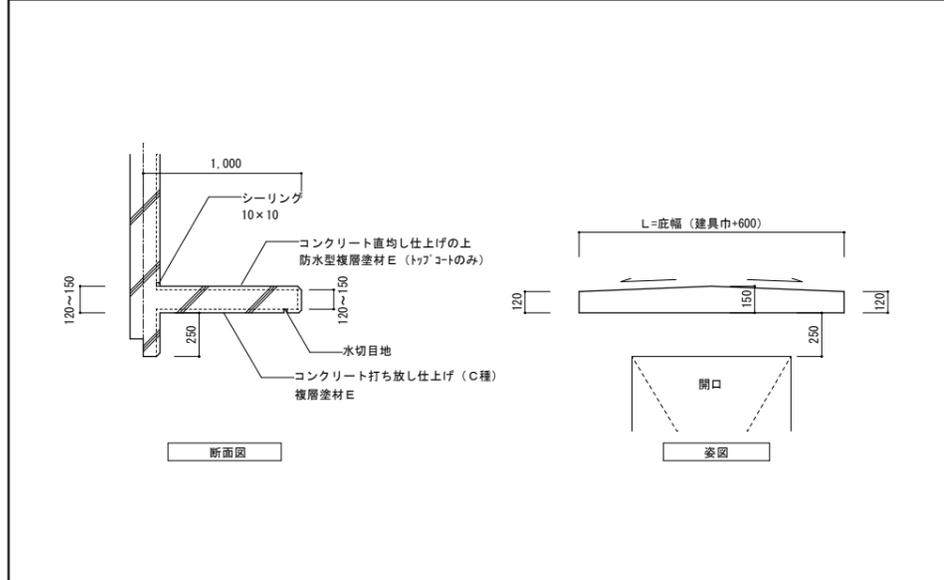
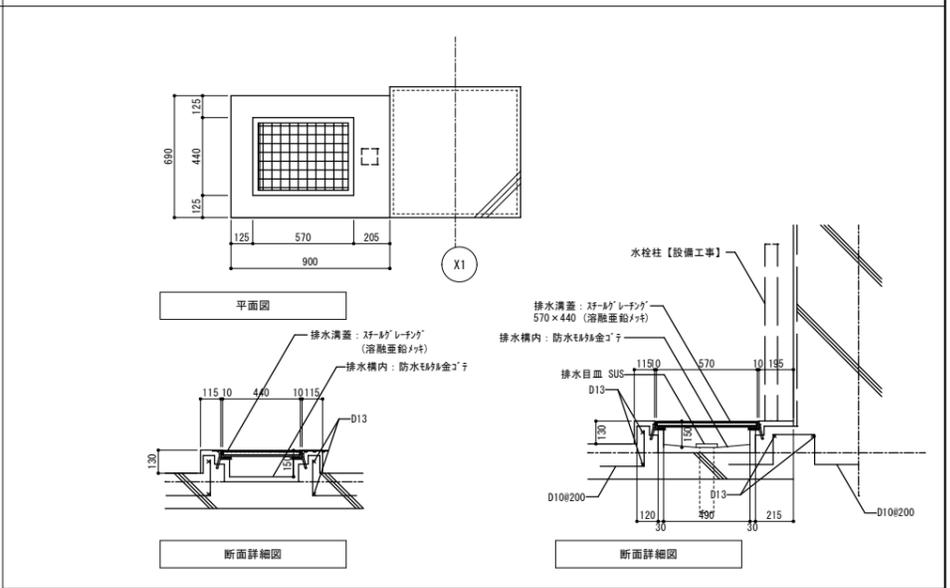
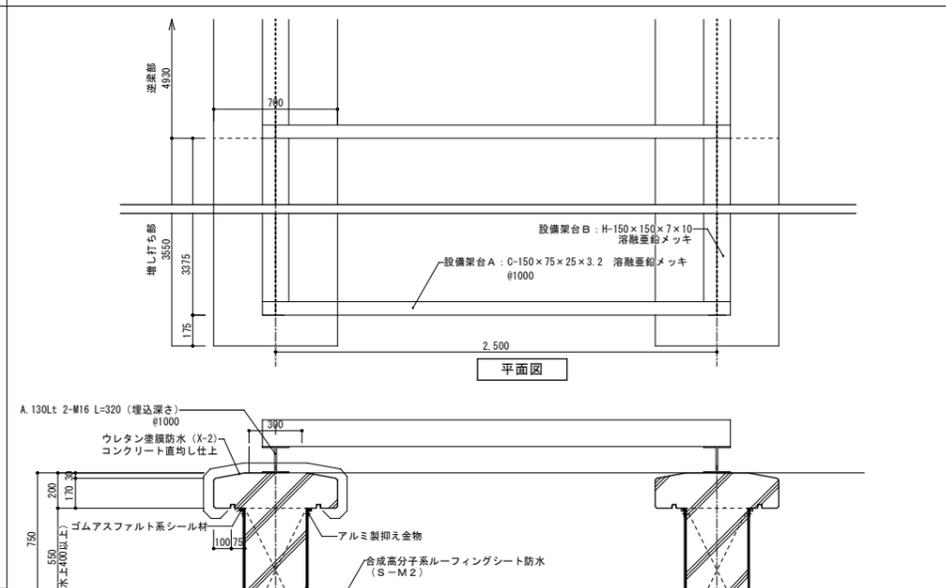
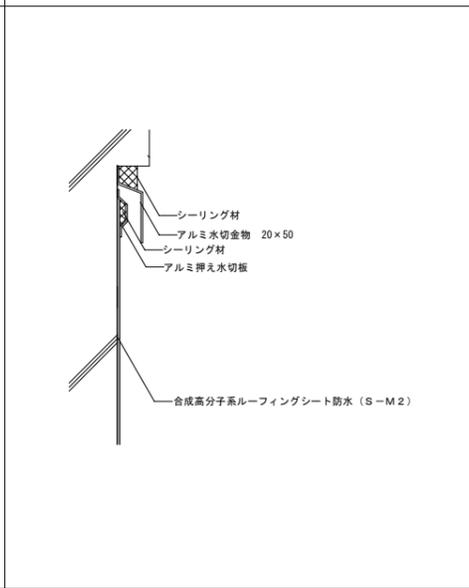
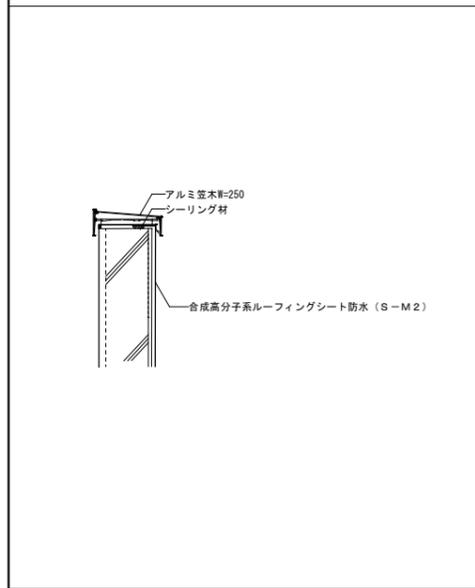




室名	寸法WxH	数量	備考
1F			
風除室 (ロビー側)	3600x1200	1	貸館予定表
風除室 (事務室側)	1200x1200	1	施設案内板
事務室	1800x1200	1	月間予定表
調理室	3600x1200	1	
2F			
会議室	3600x1200	1	
研修室2	3600x1200	1	

※ホワイトボードは汎用品とする。

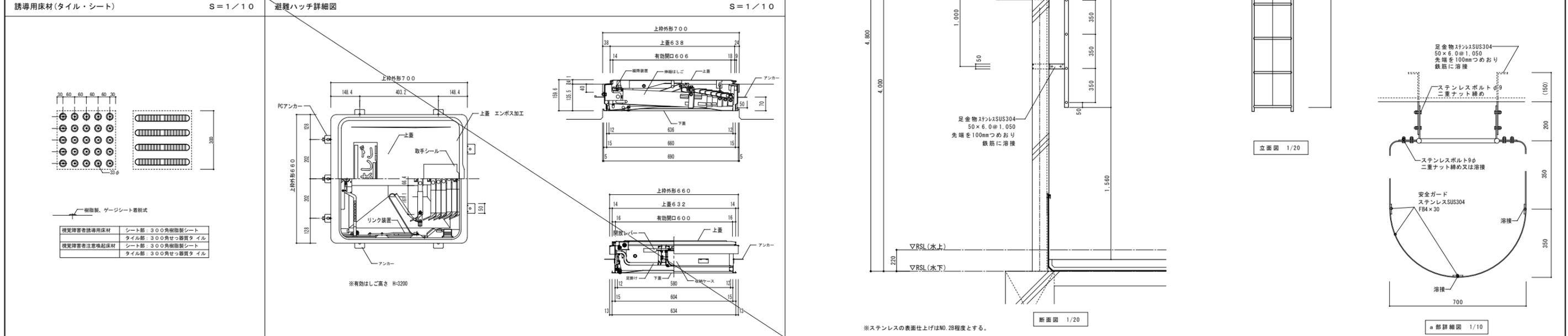
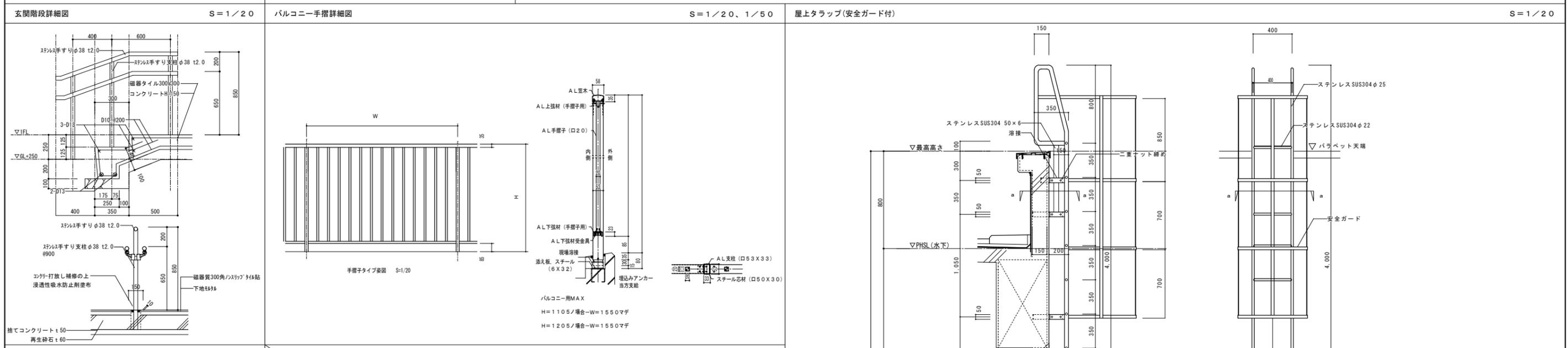
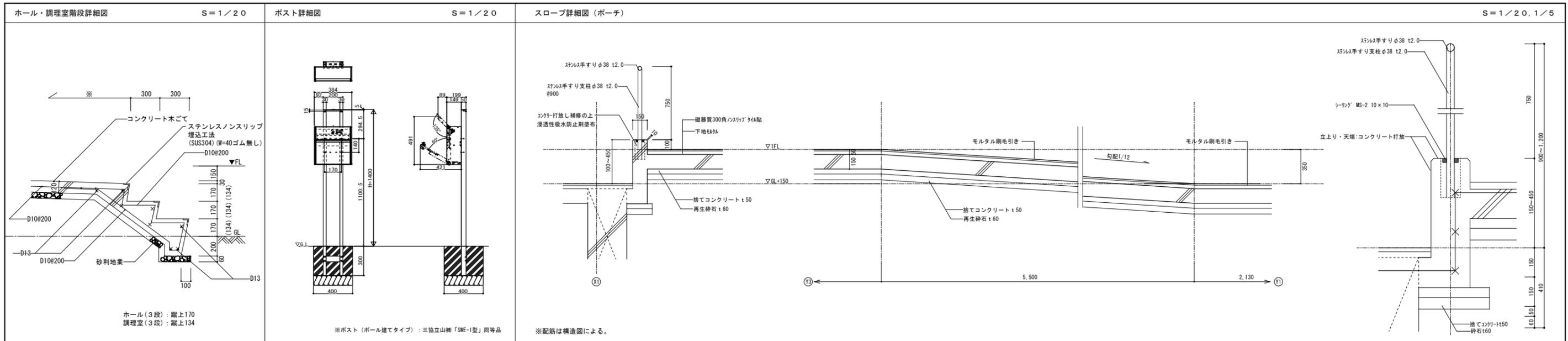




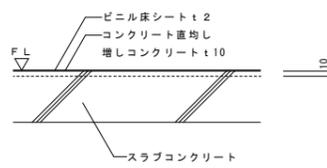
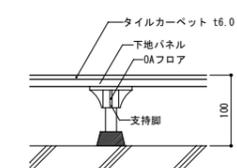
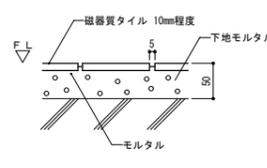
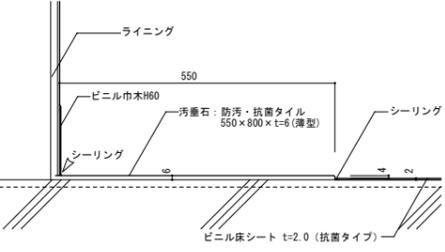
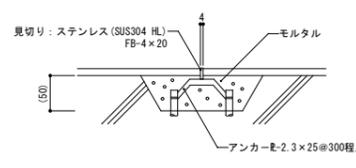
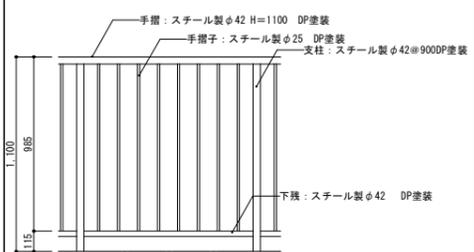
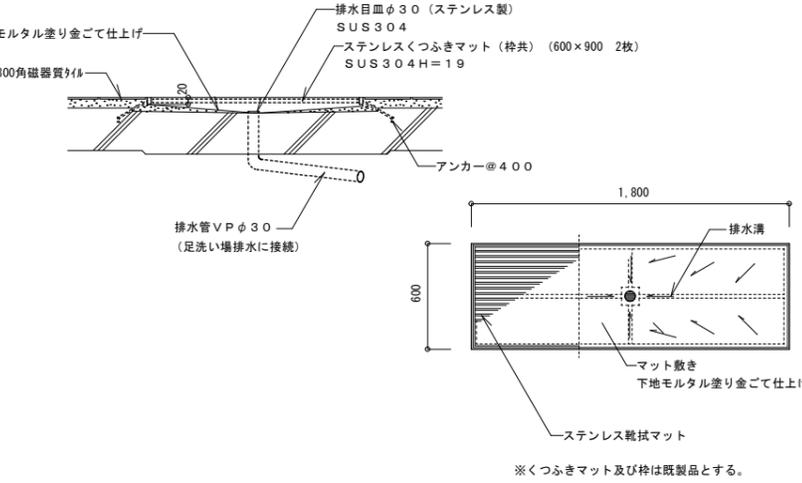
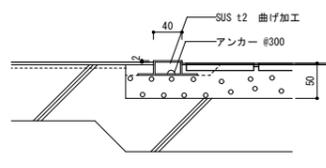
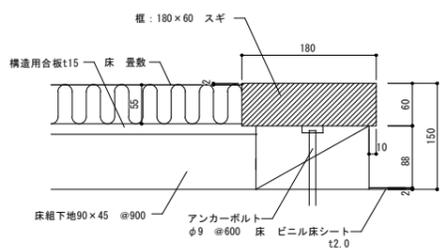
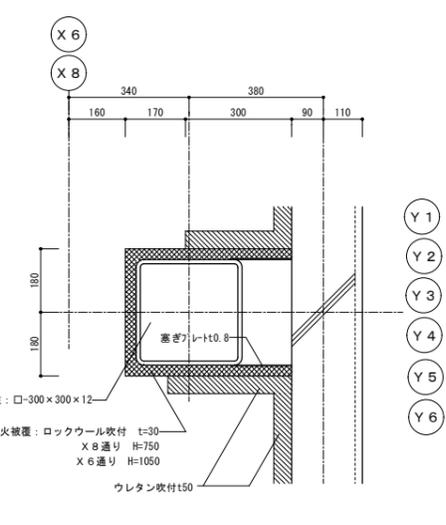
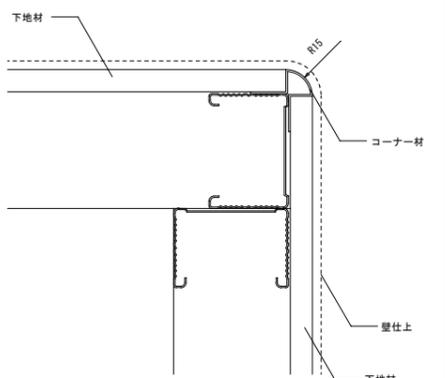
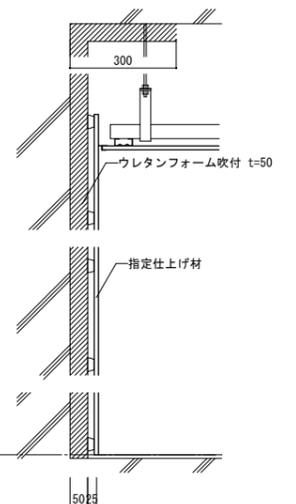
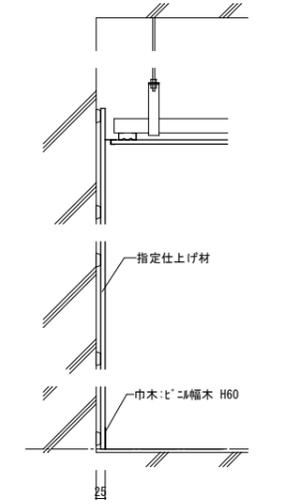
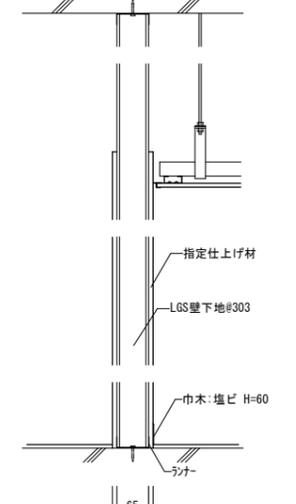
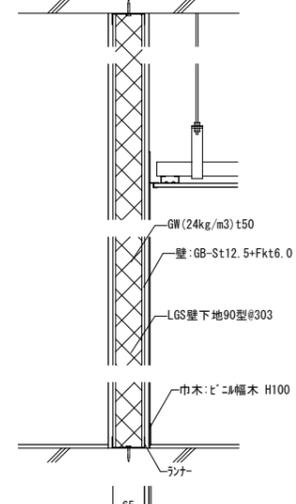
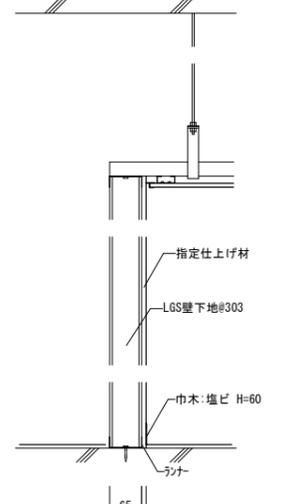
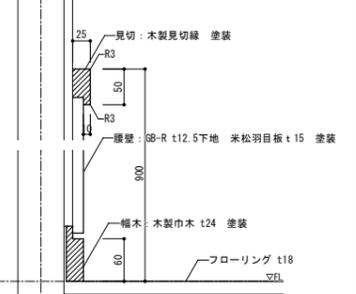
・位置は平面図を参照の事。 8ヶ所

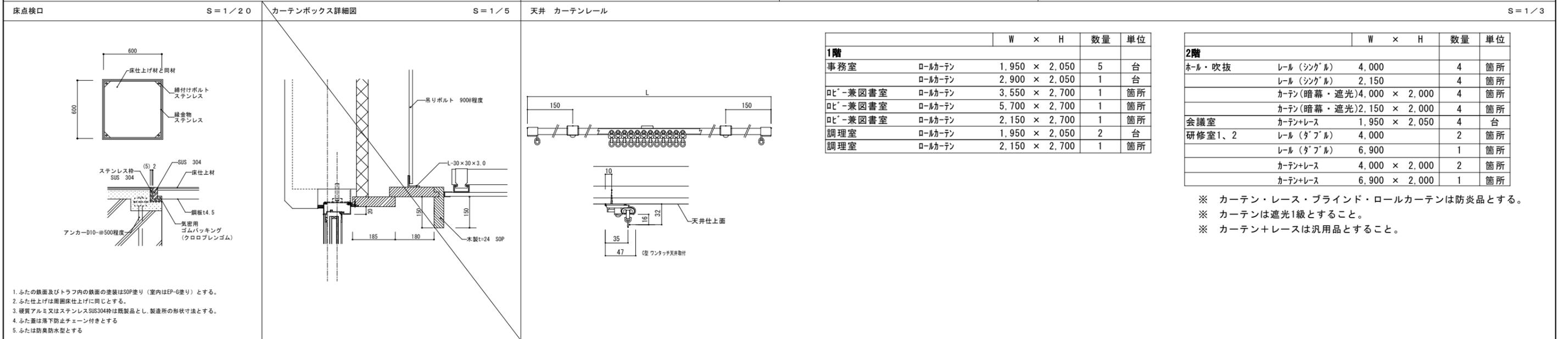
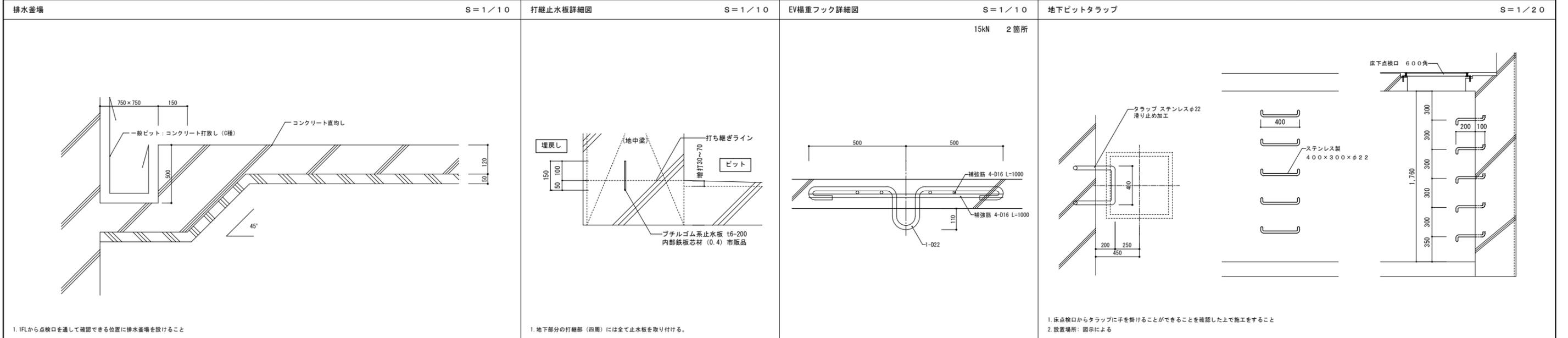
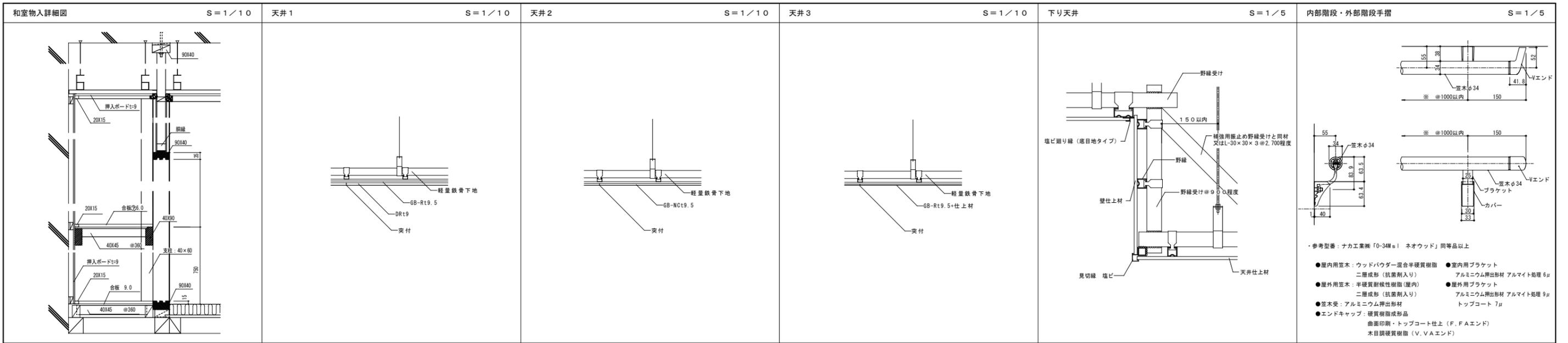
	W	D	H	数量
キュービクル	3900	2400	600	1ヶ所
蓄電池	2300	1300	600	1ヶ所
太陽光パネル	600	600	300	16ヶ所

業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
図面名称	部分詳細図(1)	図面番号	A-52	縮尺	A1:- A3:-



業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
図面名称	部分詳細図(2)	図面番号	A1- A3-	図面番号	A-53

<p>ビニル床シート張り S = 1 / 10</p> 	<p>タイルカーペット張り S = 1 / 5</p> 	<p>タイル張り S = 1 / 5</p>  <p>1.磁器質タイルは、滑りにくい材料を選定すること</p>	<p>汚垂石 S = 1 / 5</p> 	<p>SUS製床見切り材 S = 1 / 5</p> 	<p>ホールキャットウォーク手摺 S = 1 / 20</p> 
<p>靴拭マット 詳細図 S = 1 / 20</p>  <p>※くつきマット及び枠は既製品とする。</p>	<p>玄関SUS製床見切り S = 1 / 5</p> 	<p>和室踏込上り框 S = 1 / 5</p> 	<p>ホール鉄骨柱詳細図(耐火被覆) S = 1 / 10</p> 	<p>壁出隅 S = 1 / 2</p> 	
<p>RC部(GL工法)断熱材有 S = 1 / 10</p> 	<p>RC部(GL工法) S = 1 / 10</p> 	<p>一般軽量鉄骨間仕切 S = 1 / 10</p> 	<p>遮音軽量鉄骨間仕切 S = 1 / 10</p> 	<p>PS・EPS部軽量鉄骨間仕切 S = 1 / 10</p> 	<p>腰壁 S = 1 / 5</p> 
<p>業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務</p> <p>工事名称 館腰公民館改築工事</p> <p>設計年月 令和7年3月</p> <p>図面名称 部分詳細図(3)</p> <p>縮尺 A1:- A3:-</p> <p>図面番号 A-54</p>					



	W	H	数量	単位
<b>1階</b>				
事務室	ロールカーテン	1,950 × 2,050	5	台
	ロールカーテン	2,900 × 2,050	1	台
ロビ-兼図書室	ロールカーテン	3,550 × 2,700	1	箇所
ロビ-兼図書室	ロールカーテン	5,700 × 2,700	1	箇所
ロビ-兼図書室	ロールカーテン	2,150 × 2,700	1	箇所
調理室	ロールカーテン	1,950 × 2,050	2	台
調理室	ロールカーテン	2,150 × 2,700	1	箇所

	W	H	数量	単位
<b>2階</b>				
ホール・吹抜	レール (シングル)	4,000	4	箇所
	レール (シングル)	2,150	4	箇所
	カーテン (暗幕・遮光)	4,000 × 2,000	4	箇所
	カーテン (暗幕・遮光)	2,150 × 2,000	4	箇所
会議室	カーテン+レース	1,950 × 2,050	4	台
研修室1、2	レール (ダブル)	4,000	2	箇所
	レール (ダブル)	6,900	1	箇所
	カーテン+レース	4,000 × 2,000	2	箇所
	カーテン+レース	6,900 × 2,000	1	箇所

※ カーテン・レース・ブラインド・ロールカーテンは防炎品とする。  
 ※ カーテンは遮光1級とすること。  
 ※ カーテン+レースは汎用品とすること。

ライニング詳細 S=1/20

仕様 面台：メラミンポストフォーム  
壁：G8-St12.5+化粧FKt6

器具取付用補強プレートt0.8

LGSw65 @450

ライニングリスト

階	室	W	D	H
1	多目的トイレ	1700	200	900
	女子トイレ	2400	150	900
	男子トイレ	1600	150	900
		3900	250	1.350
		1900	150	900
2	SK	1200	150	900
	多目的トイレ	1100	400	900
	女子トイレ	2400	200	900
	男子トイレ	1600	250	900
	SK	1000	200	1.350
	3600	200	900	
	800	150	900	

L型手摺 S=1/20

樹脂被覆

6ヶ所

跳上げ手摺 S=1/20

樹脂被覆

2ヶ所

小便器手摺 S=1/20

下地補強プレートt=0.8

2ヶ所

三方枠 S=1/10

三方枠：ステンレス製 HL t1.5

平面図 1/10

立面図

ベビーチェア S=1/20

平面図

正面姿図

側面姿図

※ TOTO(株)YKA15Rと同等品とする。

4ヶ所

介助ベッド S=1/20

平面図

正面姿図 収納時

側面姿図 収納時

正面姿図 展開時

側面姿図 展開時

※参考型番：LIXIL AC-US-41

2ヶ所

ベビーシート S=1/20

平面図

正面姿図

側面姿図

※ TOTO(株)YKA25Rと同等品とする。

2ヶ所

鉛直スリット S=1/3

シリーング 25×20

ブチルテープ 3×15

鉛直スリット

\*スリットは耐火仕様とする  
※スリット幅・位置は構造図による

水平スリット S=1/5

壁芯

止水目地材

ブチルテープ 3×15

シリーング 25×20

水平スリット

大梁

\*スリットは耐火仕様とする  
※スリット幅・位置は構造図による

鍵返却BOX (事務室) S=1/10

正面姿図 (外部)

正面姿図 (内部)

背面姿図 (内部)

断面図

洗濯パン S=1/10

樹脂製

参考型番：田島メタルワークス機 MX-102

木枠 (換気扇) S=1/20

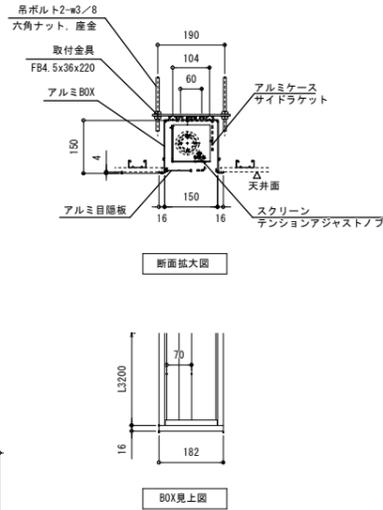
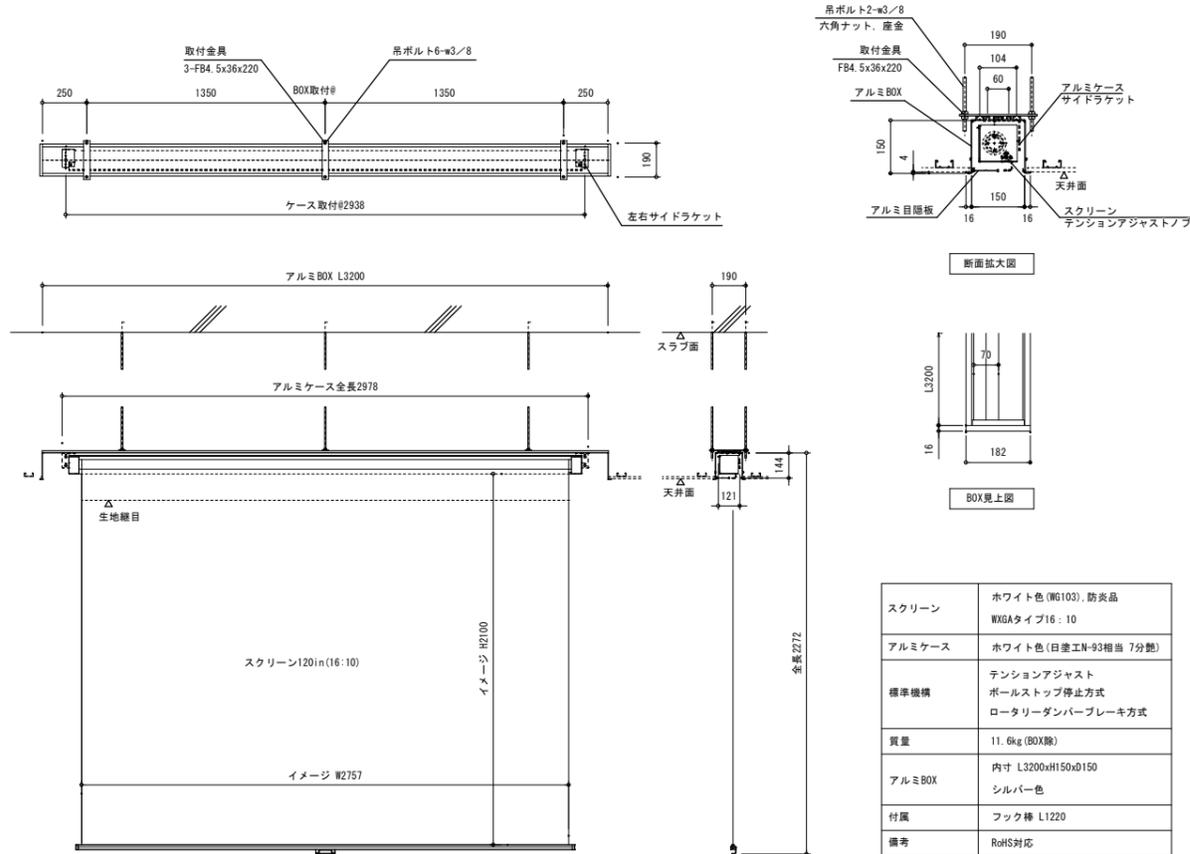
ホール 4カ所

換気扇取付木枠 集成材t25 SOP

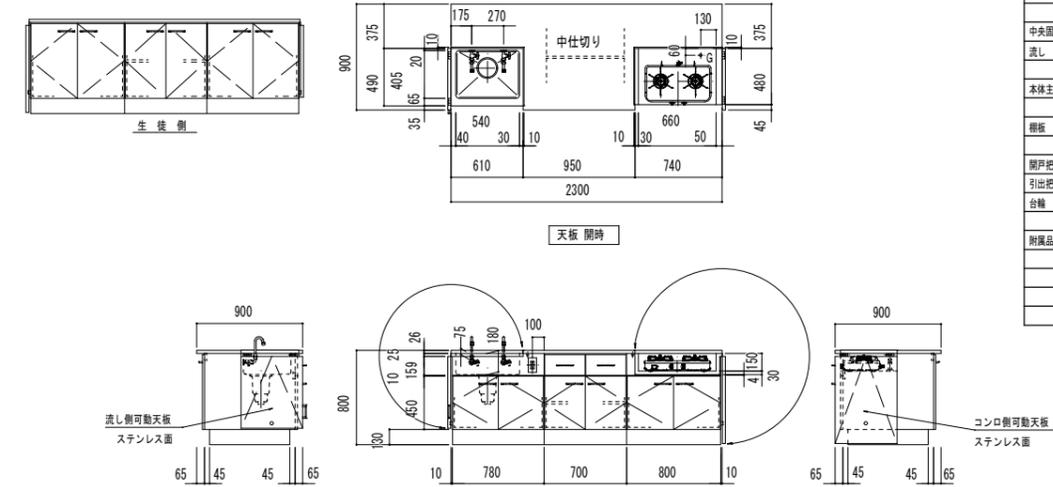
換気扇 (設備工事)

ウェザーカバー (設備工事)

室名	生地寸法WxH	数量	備考
研修室1・2	2757x2100	1	

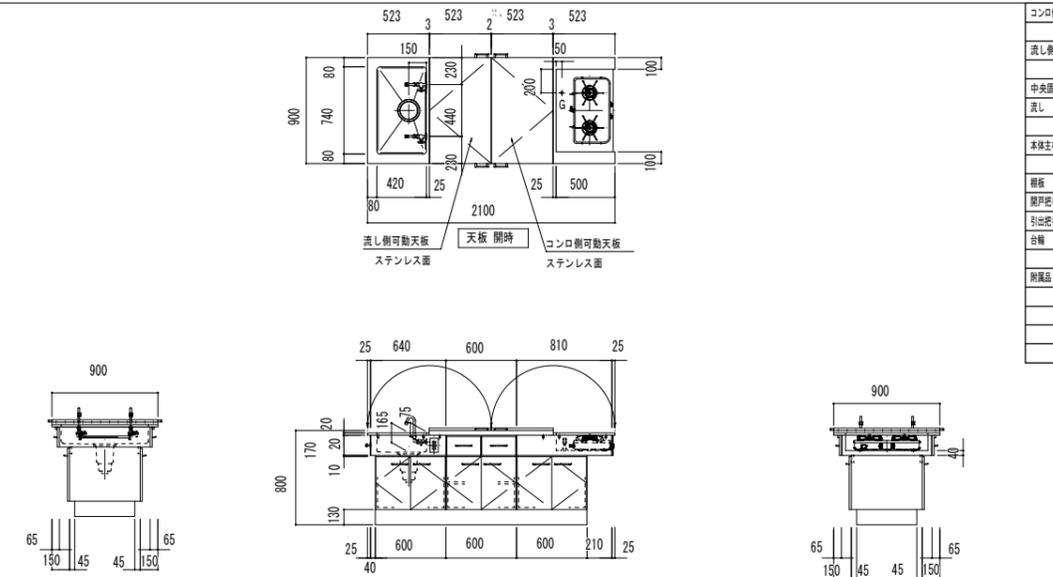


スクリーン	ホワイト色(W6103)、防炎品 WXAタイプ16:10
アルミケース	ホワイト色(白塗装N-93相当 7分艶)
標準機構	テンションアジャスト ホールストップ停止方式 ロータリーダンパーブレーキ方式
質量	11.6kg (BOX除)
アルミBOX	内寸 L3200xH150xW150 シルバー色
付属	フック棒 L1220
備考	RdHS対応



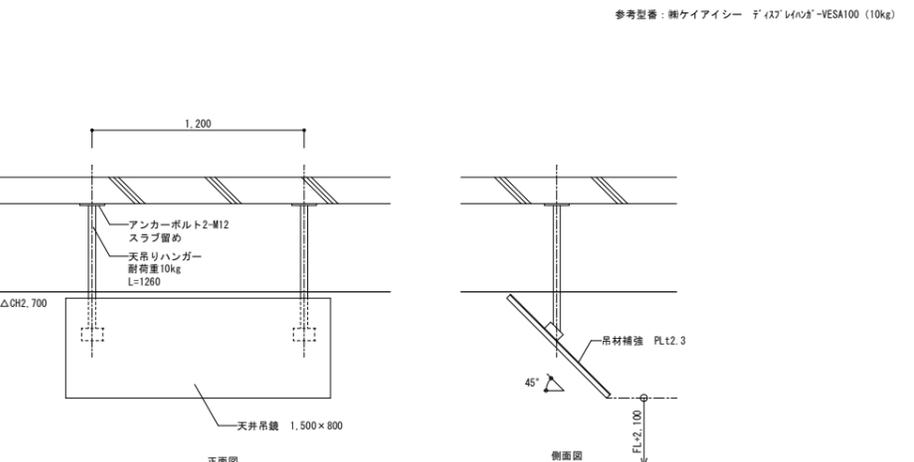
コンロ側可動天板	裏:不銹メッキ化粧板貼り (色:ホワイト)
洗し側可動天板	裏:ステンレス SUS-430 0.8t 内部:ステンレス
中央固定天板	裏:ステンレス SUS-430 1.0t 内部:合板・ペーパーハニカム
洗し	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ 180mm 大型排水トラップ SA-300
本体主材	電子線硬化樹脂化粧パネルボード t18 (F☆☆☆☆) スライドレール引出し
棚板	電子線硬化樹脂化粧パネルボード t20 (F☆☆☆☆) (3段上下可)
扉取手	垂直ダイカスト製 (色:シルバー)
引出取手	垂直ダイカスト製 (色:シルバー)
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18 (F☆☆☆☆) (色:グレー)
附属品	水栓 壁付折たたみ水栓 1方口 (吐水口回転角度 30°) 2ヶ
調理器具	ガステーブル 2口 1台
ガスコック	卓上1方口 1ヶ (別途)
コンセント	AC100V15A7-ス付 2口x1ヶ
ふた当たり止め	アイボリー 2ヶ

※教師用調理台: 南ダルトン「JTO7-23SF-003」同等品



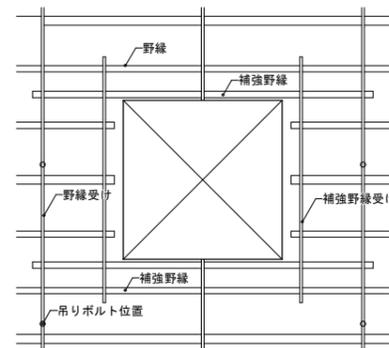
コンロ側可動天板	裏:不銹メッキ化粧板貼り (色:ホワイト)
洗し側可動天板	裏:ステンレス SUS-430 0.8t 内部:ステンレス
中央固定天板	裏:ステンレス SUS-430 1.0t 内部:合板・ペーパーハニカム
洗し	ステンレス SUS-304 t1.0 深さ 185mm 大型排水トラップ SA-300
本体主材	電子線硬化樹脂化粧パネルボード t18 (F☆☆☆☆) スライドレール引出し
棚板	電子線硬化樹脂化粧パネルボード t20 (F☆☆☆☆) (3段上下可)
扉取手	垂直ダイカスト製 (色:シルバー)
引出取手	垂直ダイカスト製 (色:シルバー)
台輪	オレフィン系樹脂シート貼り積層合板 t18 (F☆☆☆☆) (色:グレー)
附属品	水栓 壁付折たたみ水栓 1方口 (吐水口回転角度 30°) 2ヶ
調理器具	ガステーブル 2口 1台
ガスコック	卓上1方口 1ヶ (別途)
コンセント	AC100V15A7-ス付 2口x2ヶ
フキン掛け	1ヶ

※生後使用調理台: 南ダルトン「JCA7-21SF-003」同等品

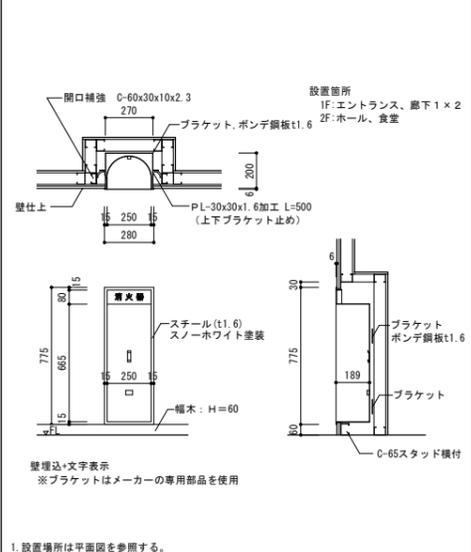
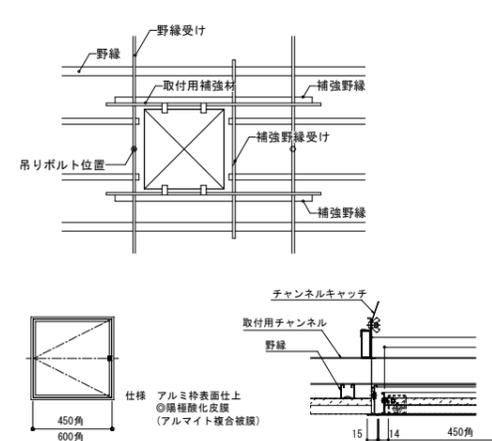


開口補強数量	3.8ヶ所
150 x 125	3.8ヶ所
40 x 40	4.9ヶ所
250 x 250	1.6ヶ所
300 x 300	1.1ヶ所
700 x 550	1.1ヶ所
900 x 900	1.0ヶ所
1050 x 900	2.1ヶ所
1500 x 500	5.1ヶ所

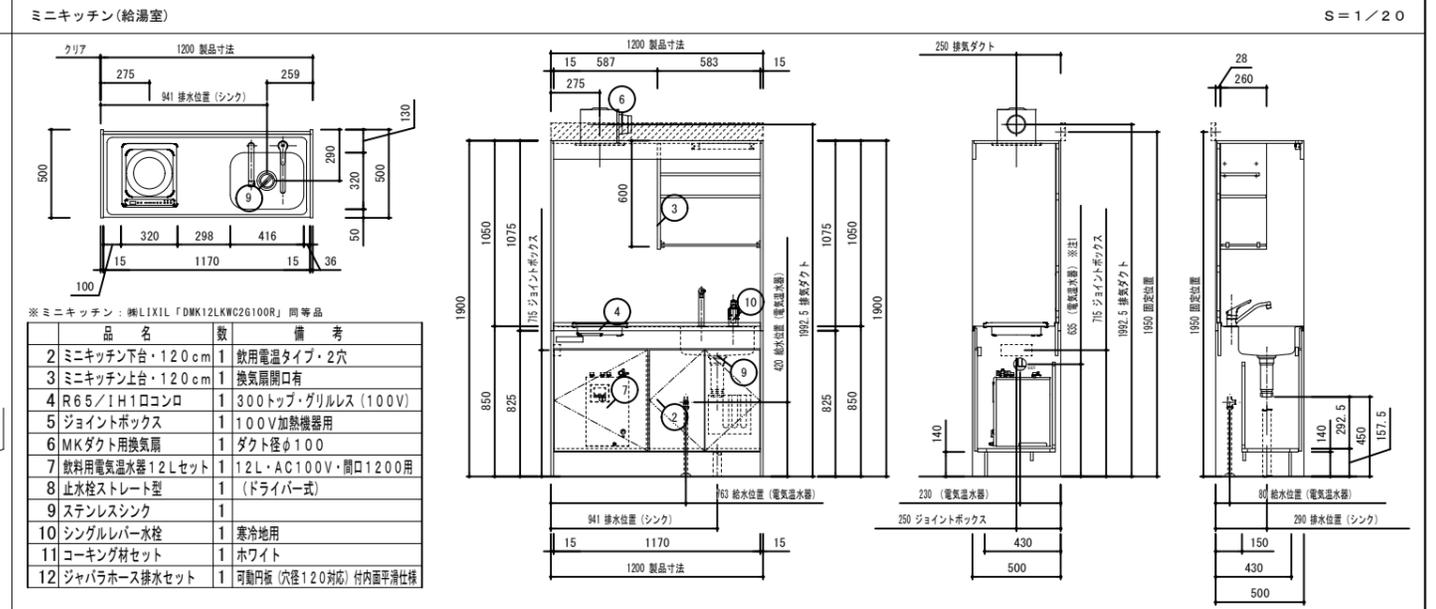
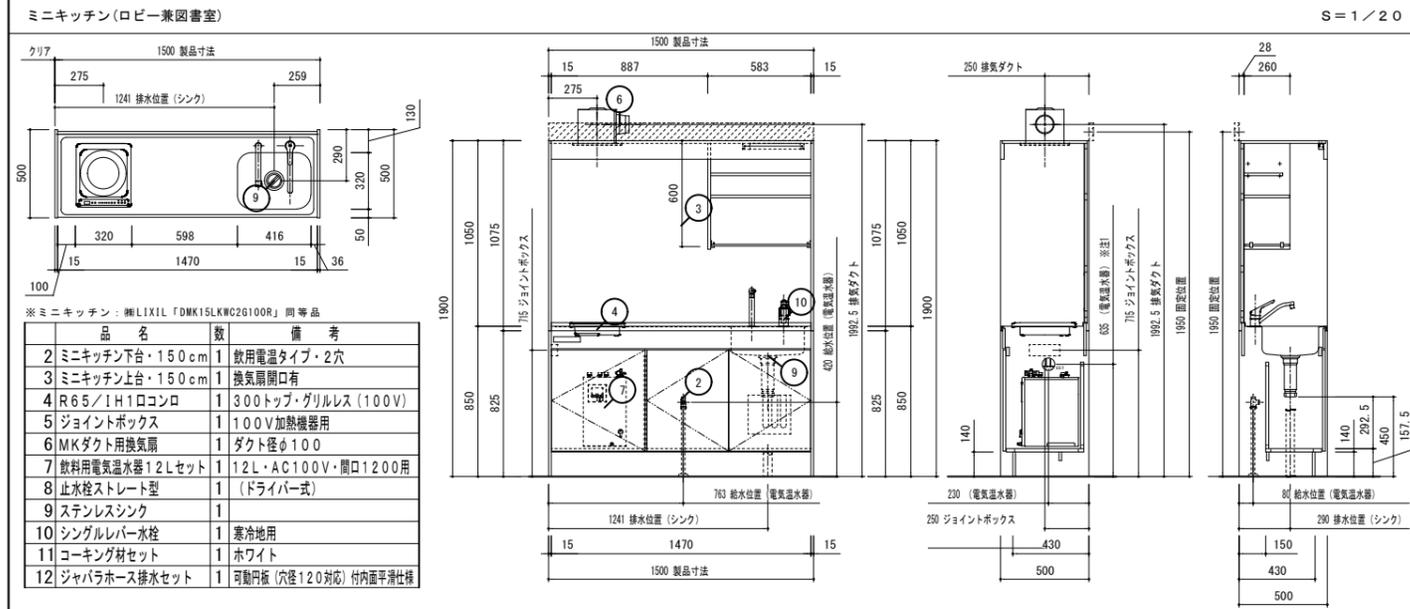
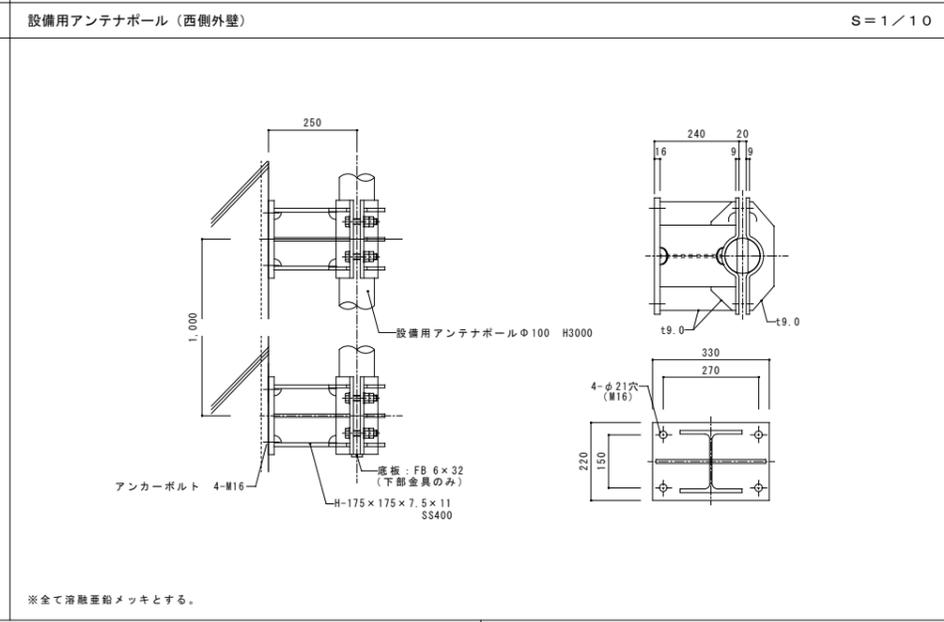
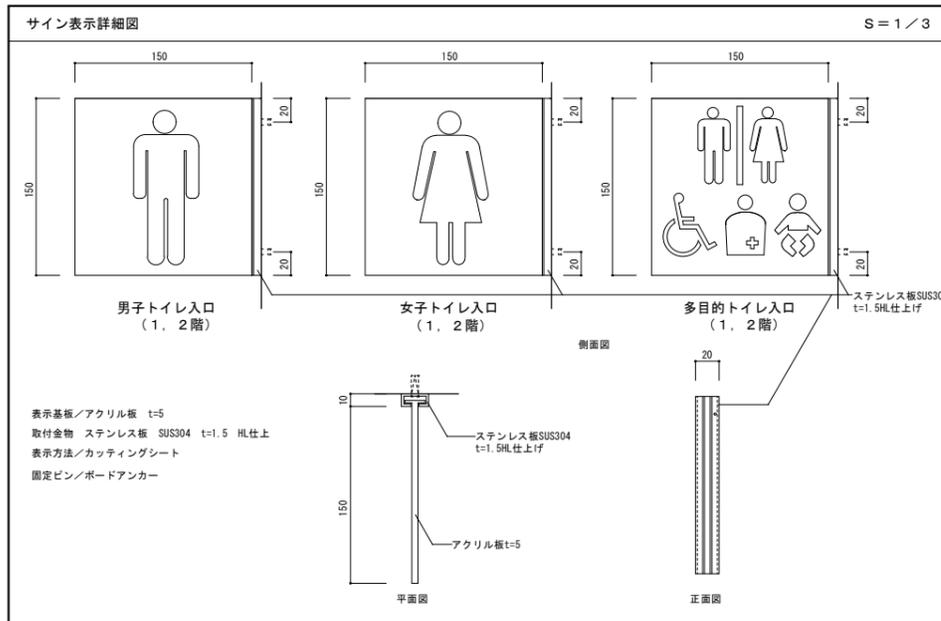
1: 照明器具等 S=1/5

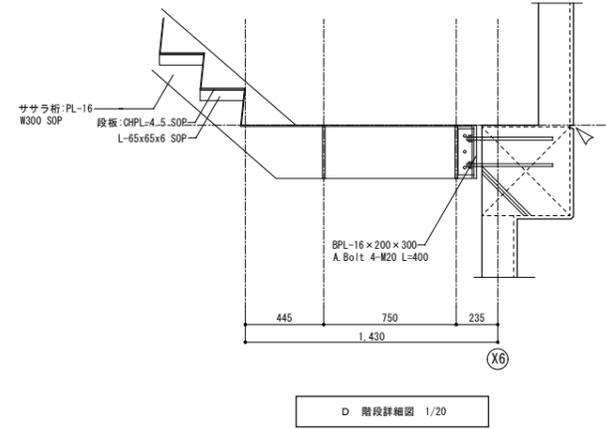
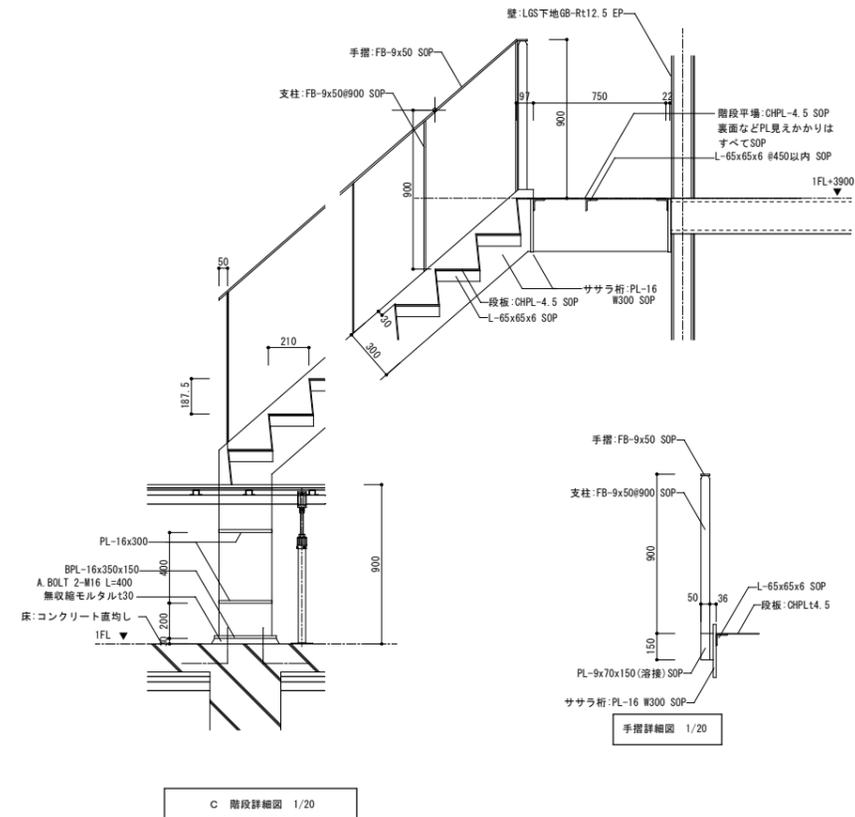
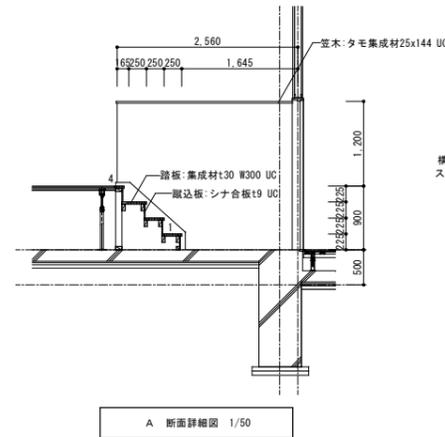
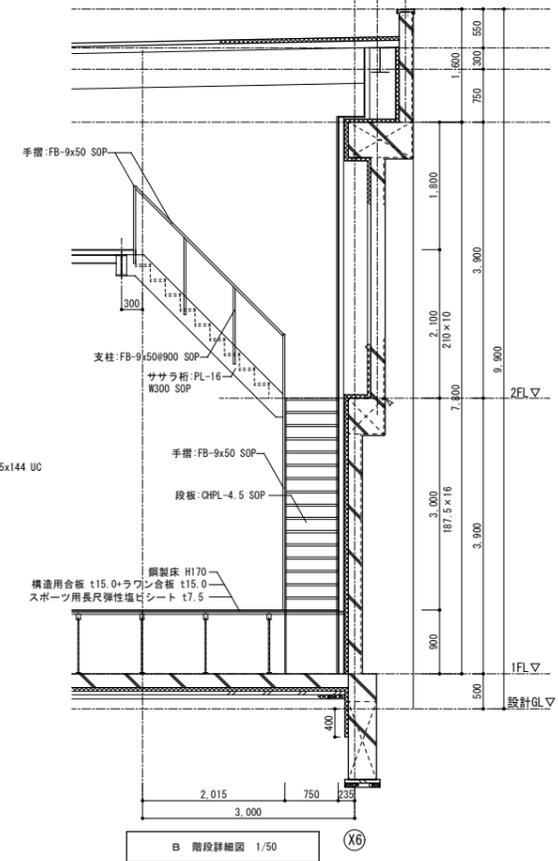
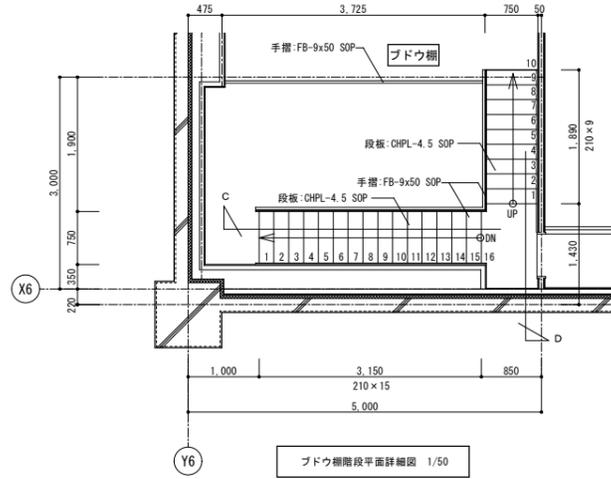
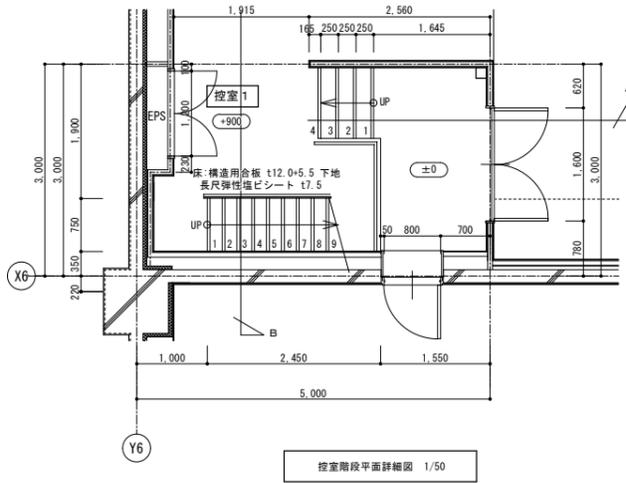


2: 天井点検口 S=1/20

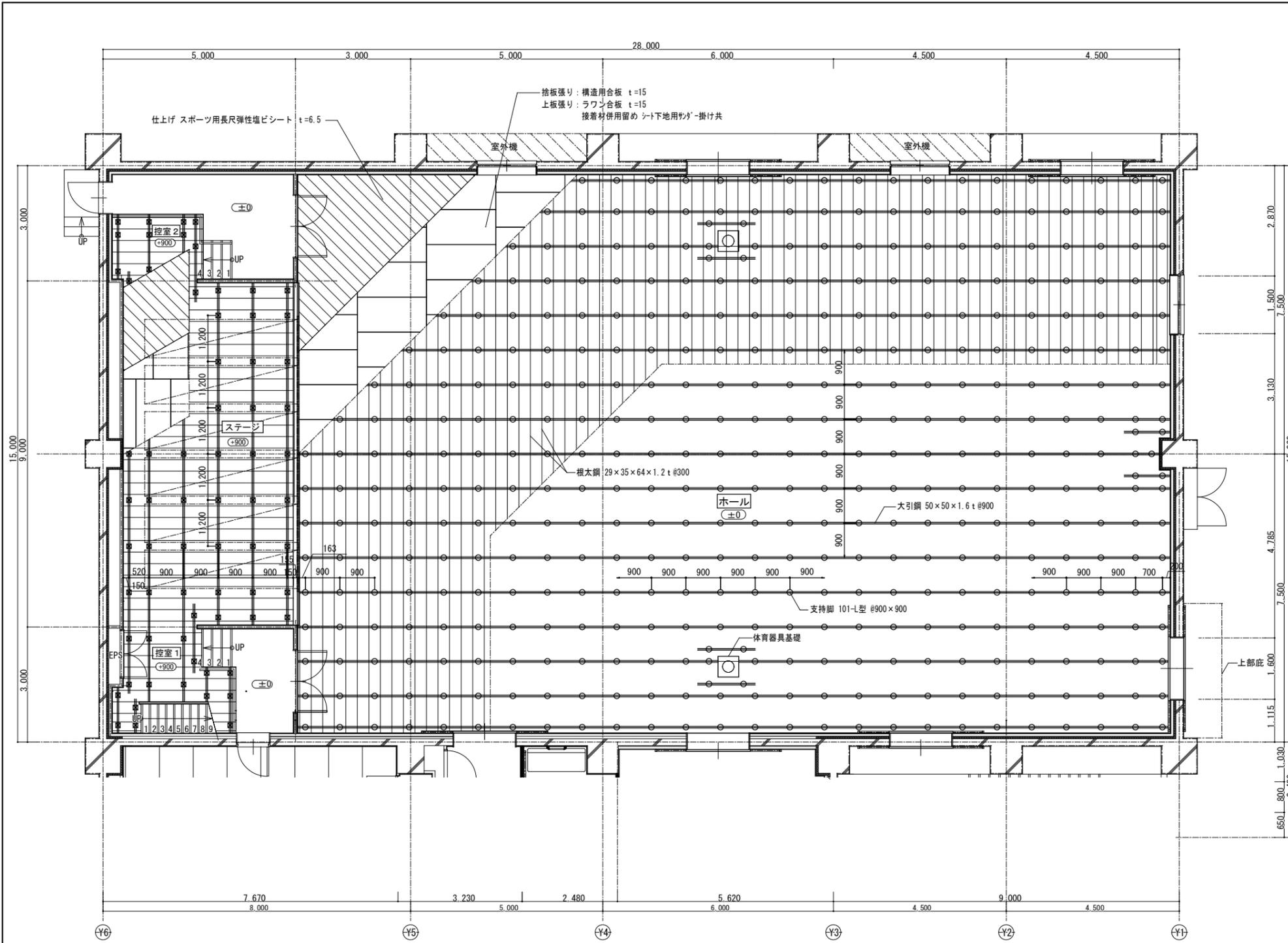


1. 設置場所は平面図を参照する。





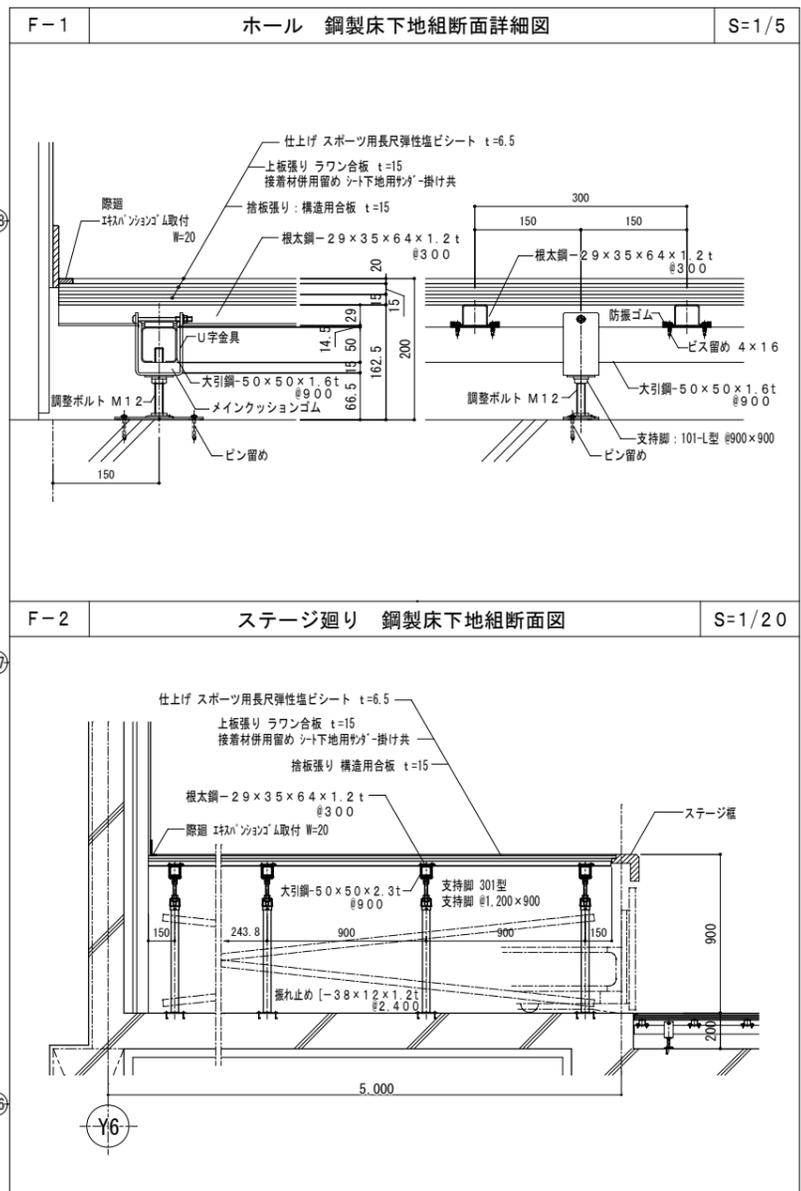
記	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	部分詳細図(8)	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号	A-59
※	製	株式会社 東北線企画	一級建築士(大匠) 第98900号 折原 幸一	印		



1階 鋼製床下地組 割付平面図 S=1/60

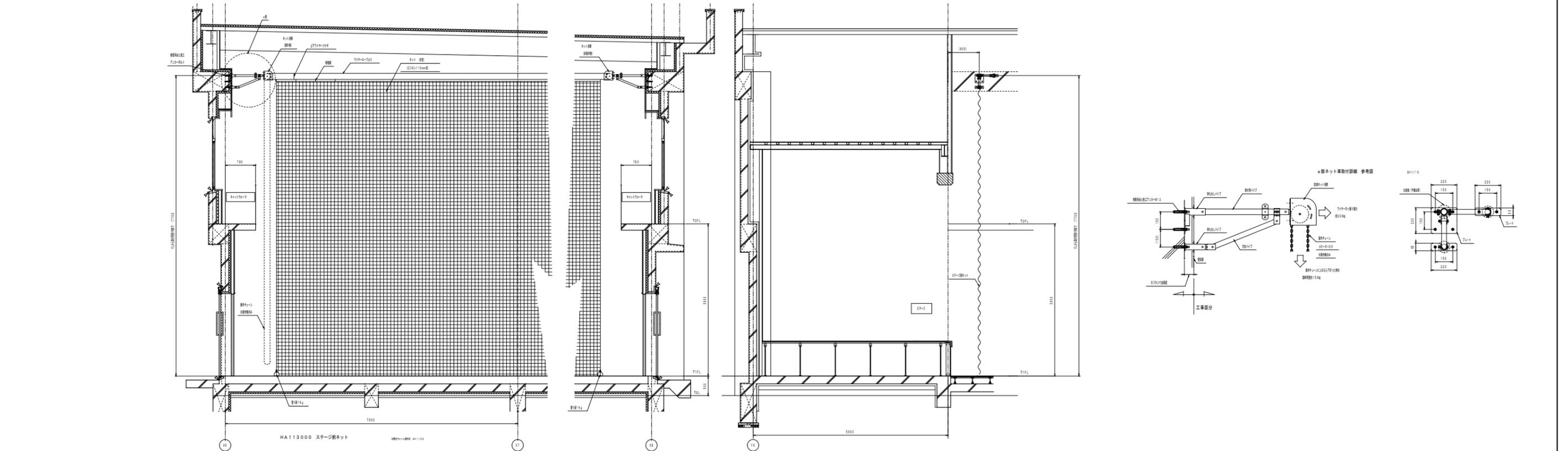
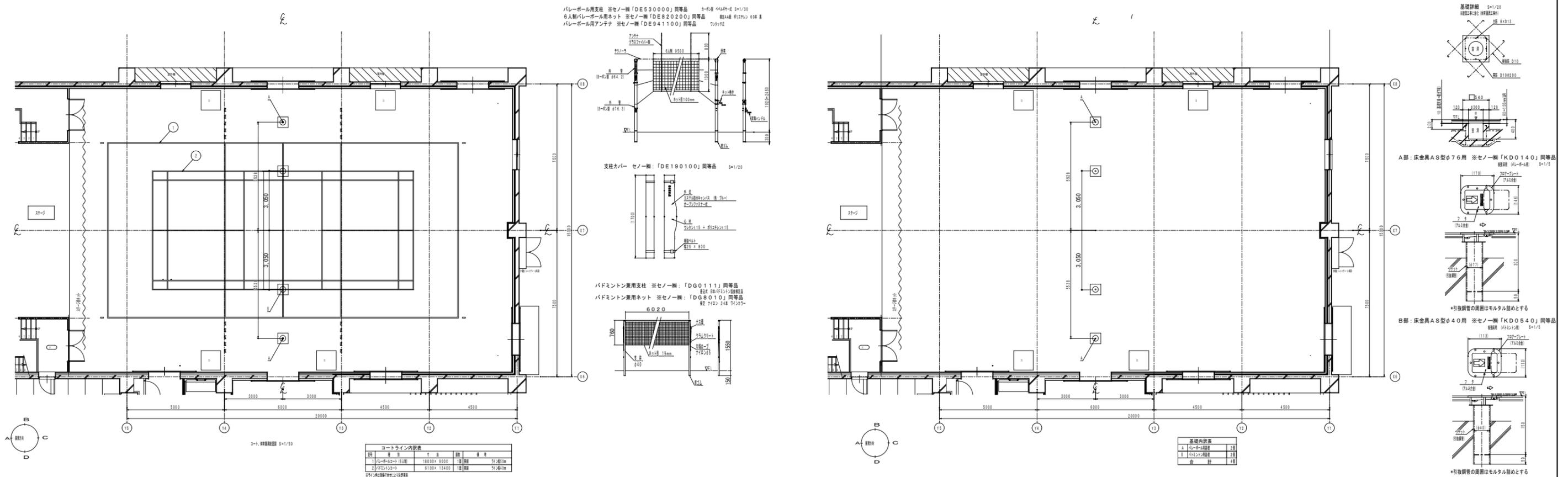
ステージ・控室1・控室2 FL+900・H=900  
 鋼製床下地  
 支持脚 301型(特-ト47) @1200×900  
 大引鋼: 50×50×2.3t @900  
 根太鋼: 29×35×64×1.2t @300  
 捨板張り: 構造用合板 t=15  
 上板張り: ラワン合板 t=15  
 接着材併用留めシート下地用サガ-掛け共  
 仕上げ: スポーツ用長尺弾性塩ビシート t=6.5  
 隙廻り: エキスパンションゴム取付 W=20

ホール FL±0・H=200  
 鋼製床下地  
 支持脚: 101-L型 @900×900  
 大引鋼: 50×50×1.6t @900  
 根太鋼: 29×35×64×1.2t @300  
 捨板張り: 構造用合板 t=15  
 上板張り: ラワン合板 t=15  
 接着材併用留めシート下地用サガ-掛け共  
 仕上げ: スポーツ用長尺弾性塩ビシート t=6.5  
 隙廻り: エキスパンションゴム取付 W=20

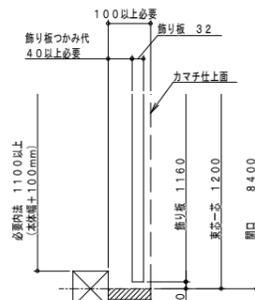
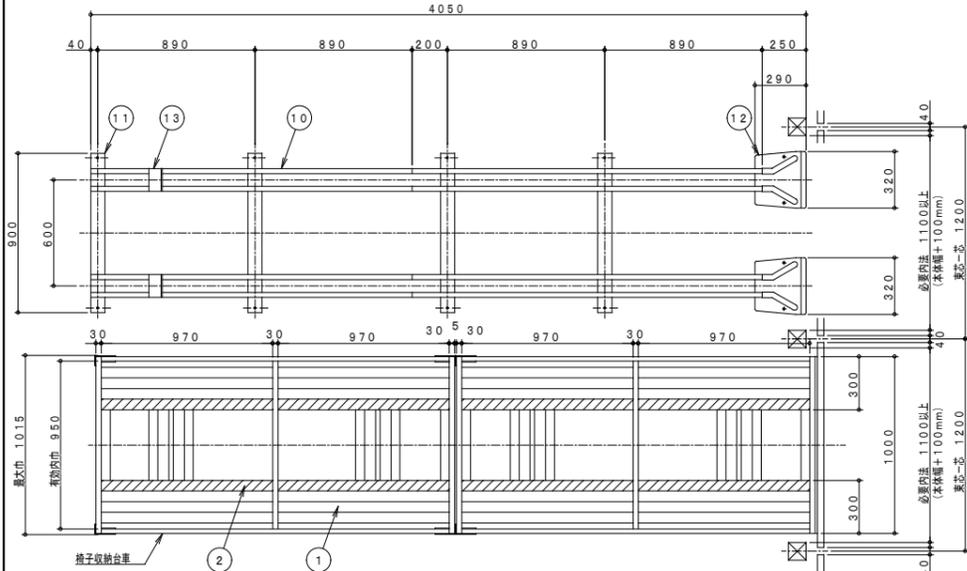


F-1 ホール 鋼製床下地組断面詳細図 S=1/5

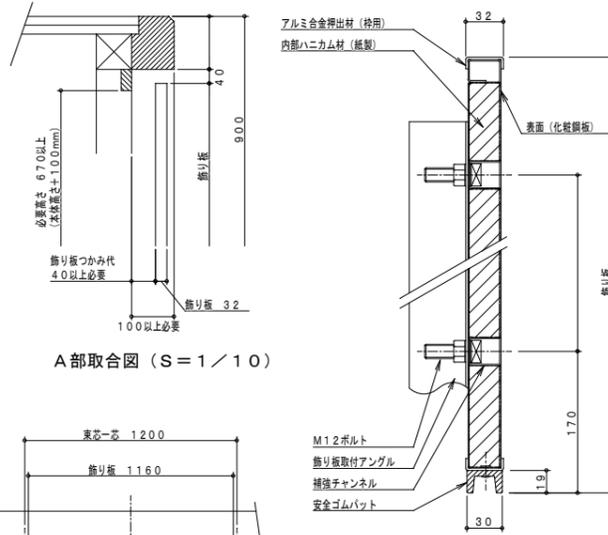
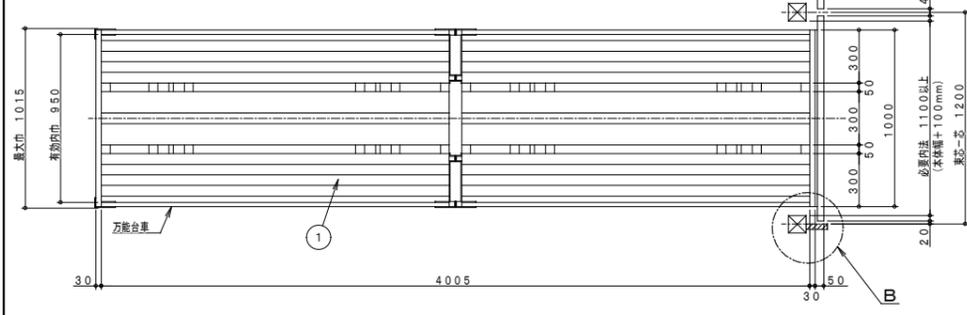
F-2 ステージ廻り 鋼製床下地組断面図 S=1/20



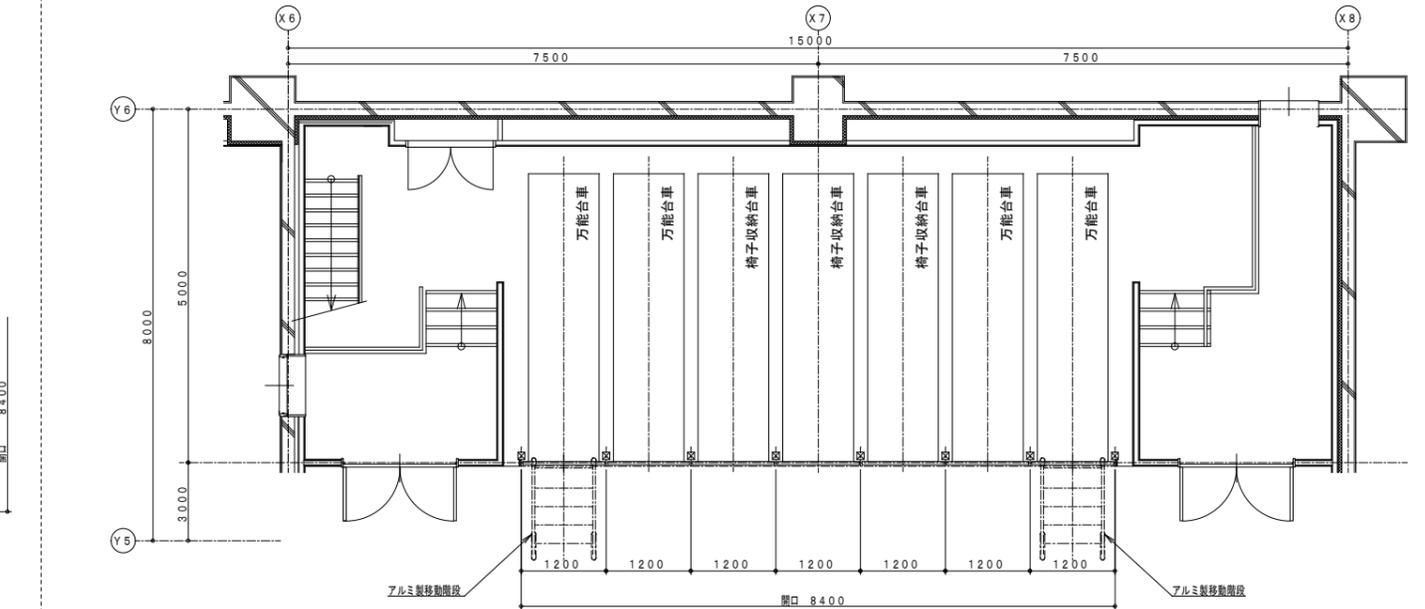
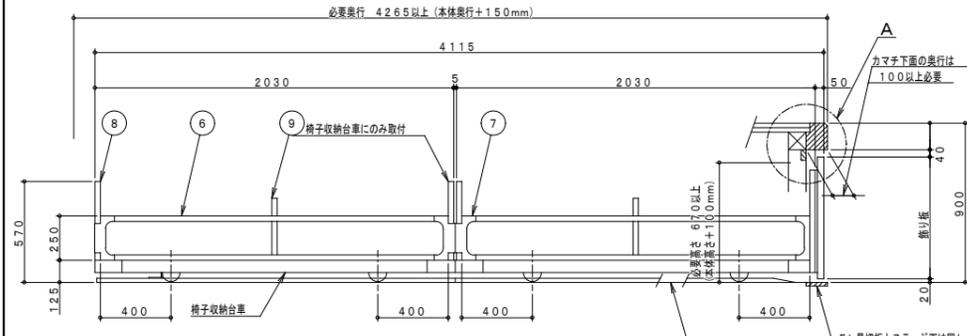
記	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	※	株式会社 東北線企画 一級建築士(大匠) 第98900号 折原 幸一	図面名称	部分詳細図(10)	縮尺	A1:- A3:-
					図面番号	A-61



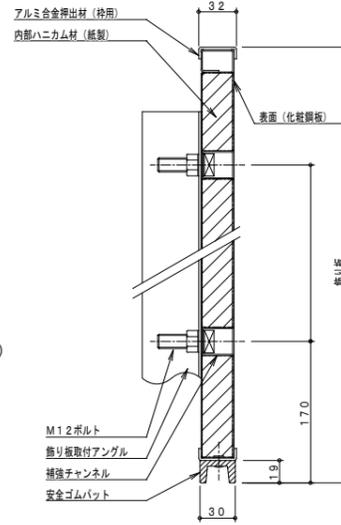
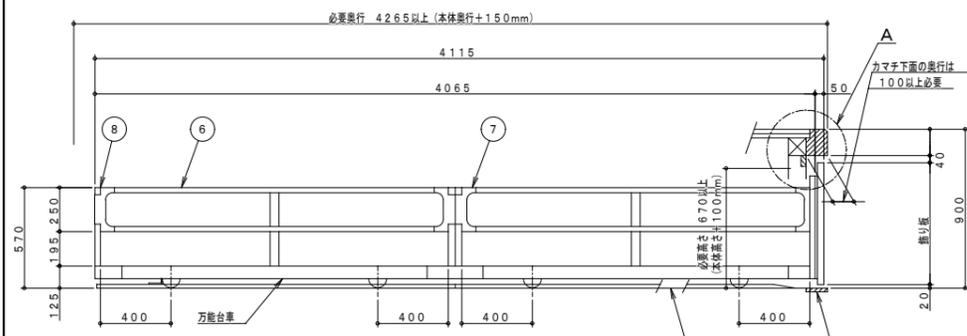
B部取合図 (S=1/10)



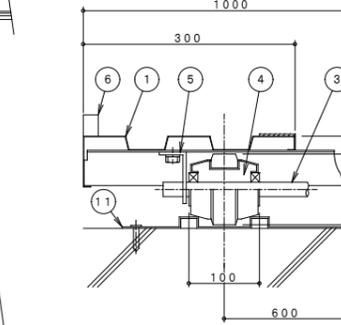
A部取合図 (S=1/10)



台車収納時平面配置図 (S=1/50)



飾り板断面図 (S=1/3)



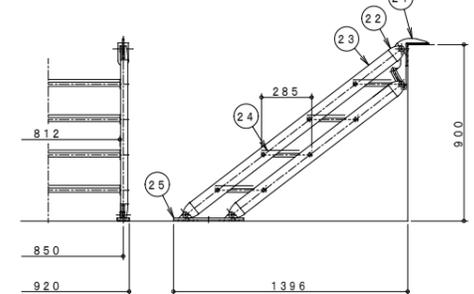
レール、レール床、車輪関係図 (S=1/5)

主 構 成 部 品			
NO	品 名	材 料 ・ 加 工	表 面 処 理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t 0.9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り止め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 軸	機械構造用炭素鋼鋼管φ20×t2.5	亜鉛メッキ
4	車 輪	冷延鋼板 t 2.0 をプレス加工した後、その外周に合成ゴムを焼付けした一体型車輪 (軸受部はベアリング嵌合)	
5	軸 受	熱延鋼板 t 4.5 を曲げ加工	焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t1.2	亜鉛メッキ
7	ジョイントコネクター	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 を曲げ加工 30×20×t1.2	亜鉛メッキ
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t1.2	亜鉛メッキ
9	椅子倒れ止め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t1.2	亜鉛メッキ
10	レール	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	熱延鋼板 t 1.6 をプレス加工	焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t 6.0 を曲げ加工	焼付塗装
14	飾り板	化粧鋼板 t 0.8 を曲げ加工し、アルミ製枠にて保護したものの中にハニカム材 (紙製) をはめ込んだもの。(合成ゴム製安全パッド付)	樹脂コーティング

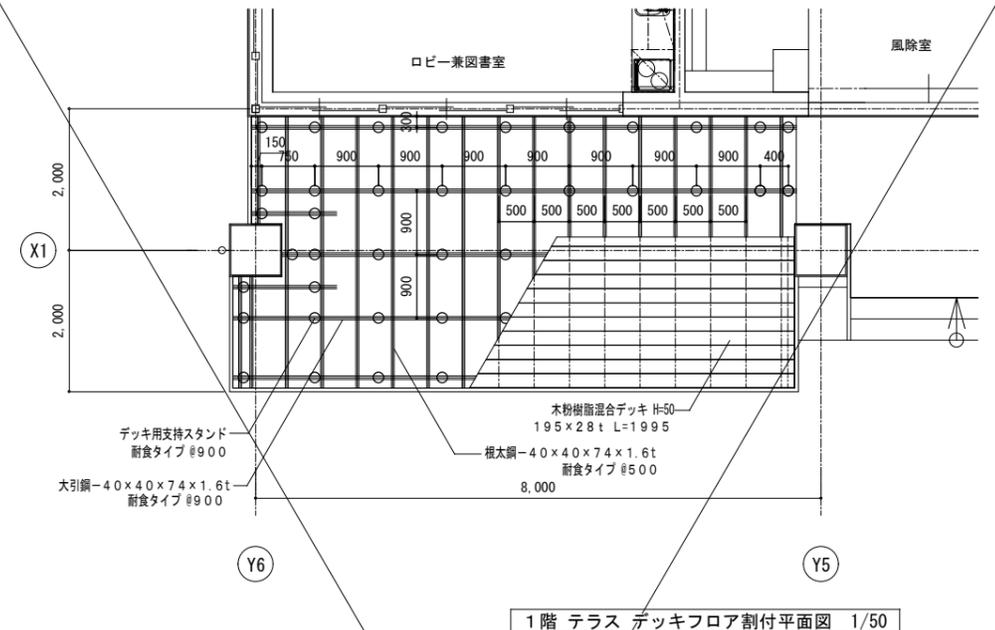
- 備 考
- 製作数 3列 3輛 椅子収納台車
  - 製作数 4列 4輛 万能台車
  - 製作数 2台 アルミ製移動階段
  - レールの製作及び取付工事はこの設備に含まず
  - 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含まず
  - レール下地 (コンクリート) はこの設備より除外とします
  - 椅子収納脚数 80 脚程度 / 輛 (折畳み椅子の厚さは 50mm 以下で積算)
  - 製品総重量 約 165kg / 輛 (椅子収納台車)  
約 170kg / 輛 (万能台車)  
約 35kg / 台 (アルミ製移動階段)

※万能台車：フジタ工業㈱「FT-1TV-4000L」同等品  
※椅子収納台車：フジタ工業㈱「FT-1T-4000L」同等品

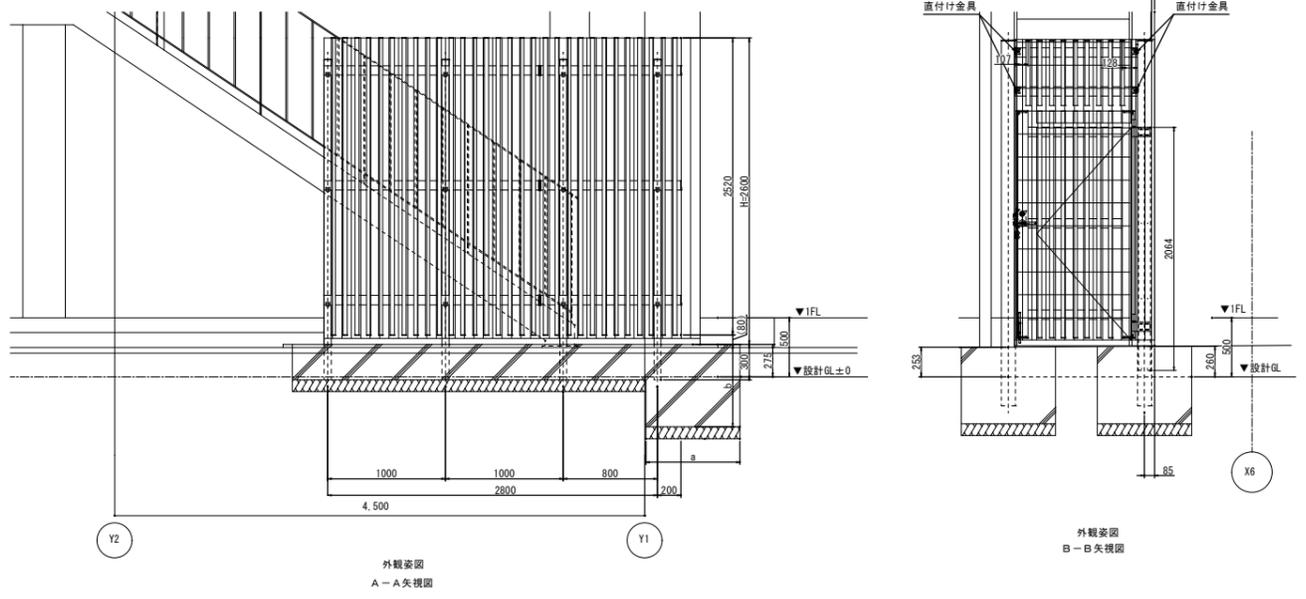
主 構 成 部 品			
NO	品 名	材 料	表 面 処 理
21	トップハンガー	アルミ鋳物	焼付塗装
22	バーヘッド	アルミダイカスト A2014S-T5	アルマイト処理
23	フレーム	アルミ押出材 A6063S-T5	アルマイト処理
24	踏 板	アルミ押出材 A6063S-T5	アルマイト処理
25	シューズ	アルミ鋳物	焼付塗装



アルミ製移動階段 2台設置 (S=1/20)  
※アルミ製移動階段：フジタ工業㈱「FTR-1000型」同等品

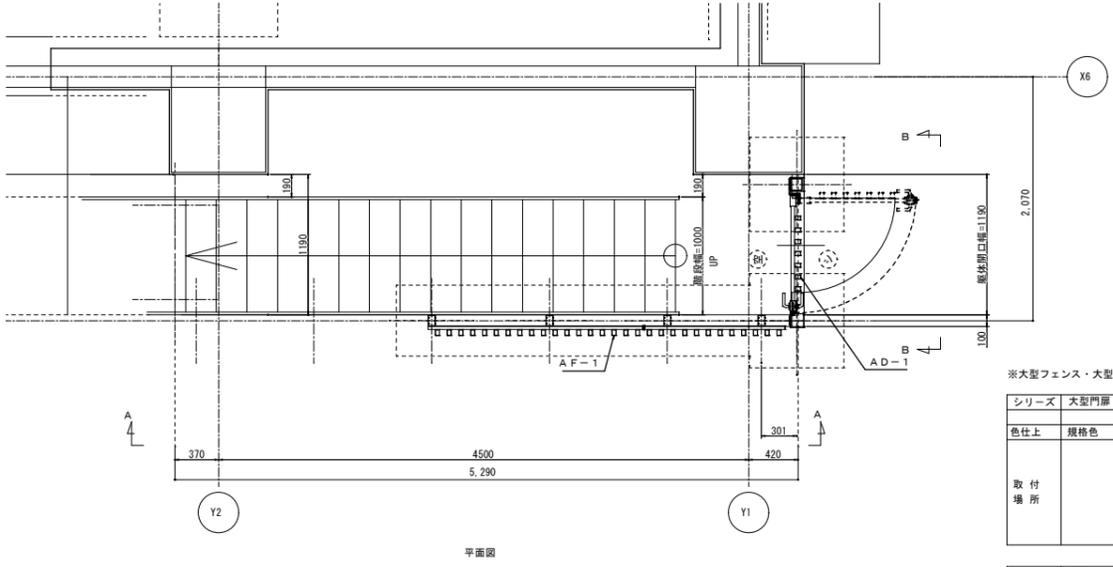
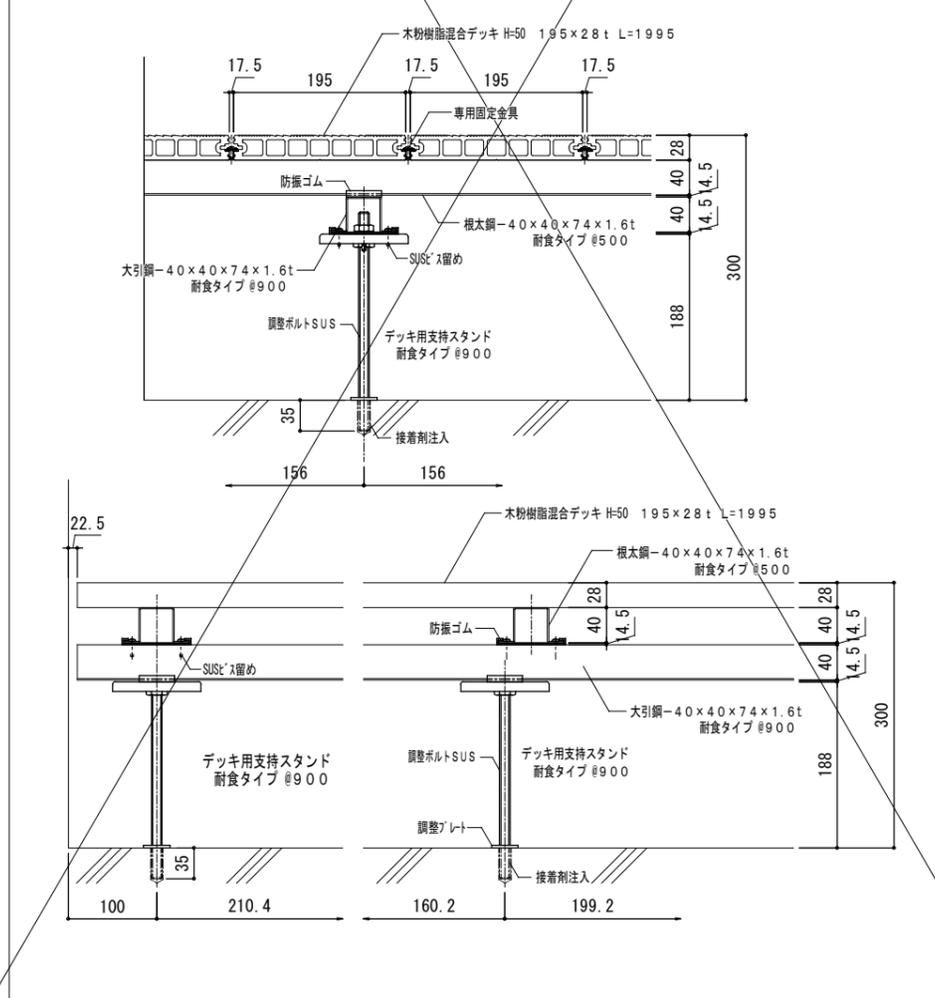


1階 テラス デッキフロア割付平面図 1/50



外觀姿  
A-A矢視図  
B-B矢視図

テラス デッキフロア断面詳細図 S=1/4



平面図

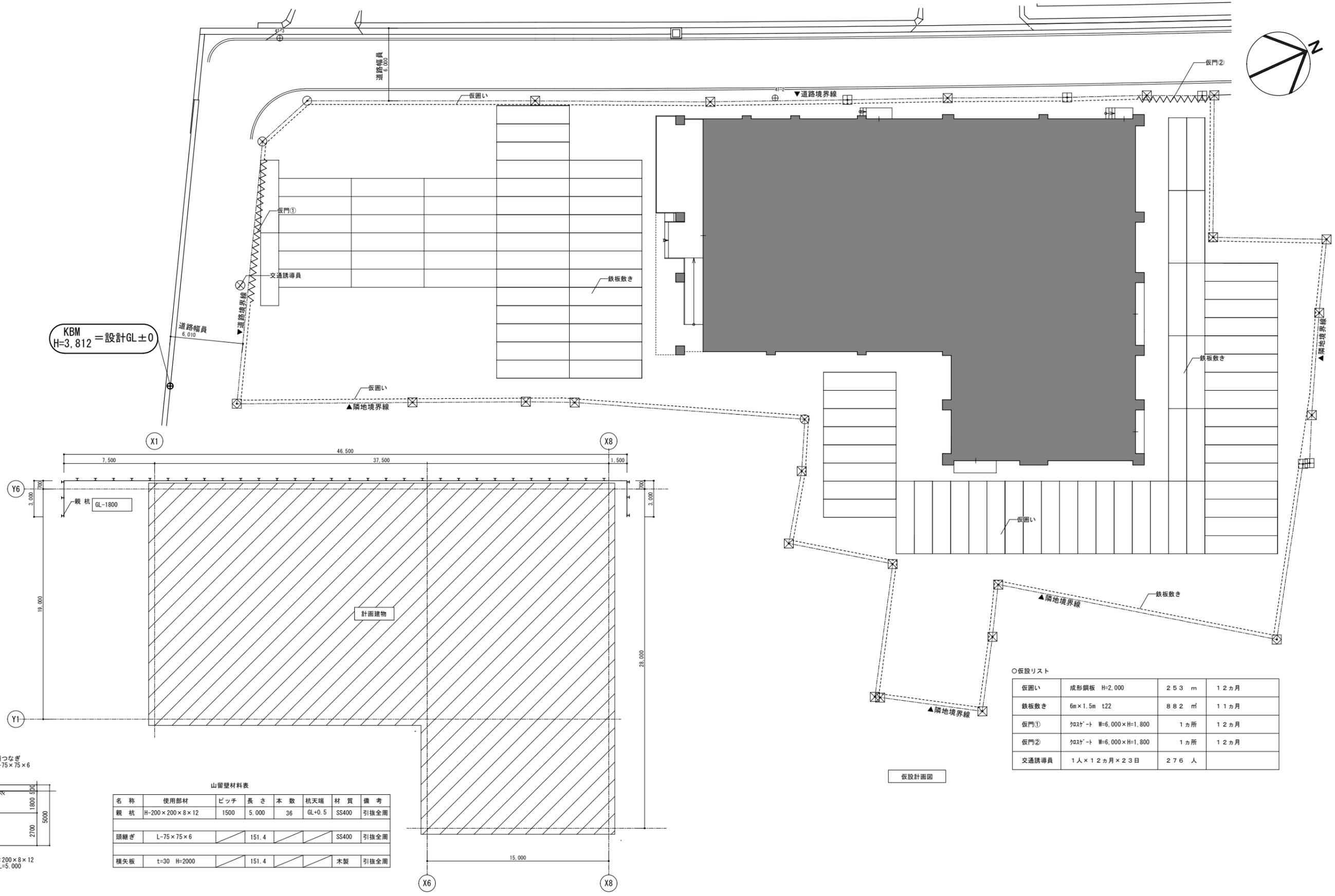
※大型フェンス・大型門扉：三協立山㈱「フレラインフォルテ5型」同等品

シリーズ	大型門扉	数量	1	備考
色仕上	規格色			大格子タイプ 戸当り門柱 吊元門柱
取付場所				錠前：レバーハンドル錠（自動施錠タイプ） （内：空錠、外：シリンダー） ランマ部：フェンス 直付け金具 落し棒

シリーズ	大型フェンス	数量	1	備考
色仕上	規格色			大格子タイプ フリー支柱タイプ
取付場所				自在コーナー金具

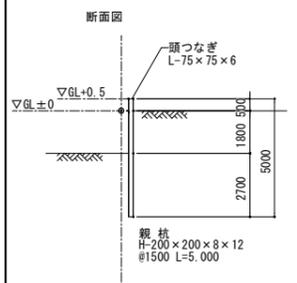


KBM  
H=3,812 = 設計GL±0



○仮設リスト

仮囲い	成形鋼板 H=2,000	253 m	12カ月
鉄板敷き	6m×1.5m t22	882 m <sup>2</sup>	11カ月
仮門①	カスゲート W=6,000×H=1,800	1カ所	12カ月
仮門②	カスゲート W=6,000×H=1,800	1カ所	12カ月
交通誘導員	1人×12カ月×23日	276人	

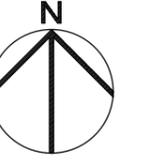


山留壁材料表

名称	使用部材	ピッチ	長さ	本数	杭先端	材質	備考
親杭	H-200×200×8×12	1500	5,000	36	GL+0.5	SS400	引抜全周
頭継ぎ	L-75×75×6		151.4			SS400	引抜全周
横矢板	t=30 H=2000		151.4			木製	引抜全周

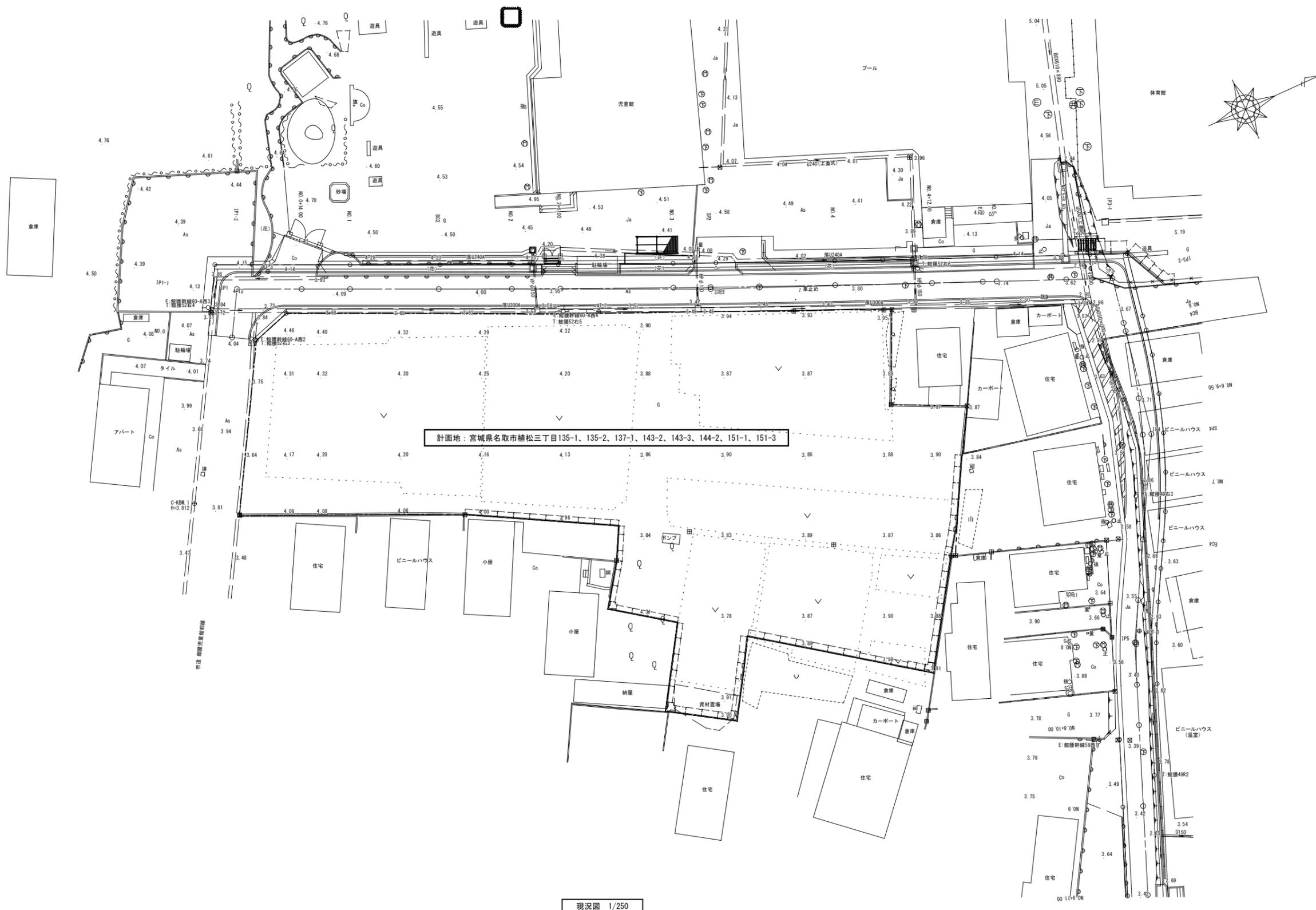
山留計画図

仮設計画図



位置図 1/10,000

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
		 株式会社 東北建企 一級建築士(大臣)第9890号 折原 幸一	図面名称	位置図	縮尺	A1:1/10,000 A3:1/20,000
					図面番号	A-65



記 事	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	株式会社 東北総企画 一級建築士(大匠)第98900号 折原 幸一	図面名称	現況図	縮尺	A1:1/250 A3:1/500
					図面番号	A-66

特記仕様書（構造関係）

I 建物概要等
1. 建物概要
工事名称 館議公民館改築工事
工事場所 宮城県名取市植松三丁目135-1他
主要用途 公民館
建築面積 915.89 m²
延床面積 1,106.50 m²
構造種別 鉄筋コンクリート造
階数 2階建て
建物高さ 9.90m
軒高 8.95m
工事種別 新築・増築・改築
増築計画 有り・無し
架橋形式 X方向 耐震壁付きラーメン構造
Y方向 耐震壁付きラーメン構造
耐震構造方式 耐震構造・免震構造・制振構造
耐震安全性の分類 I類 (I=1.50)・II類 (I=1.25)・III類 (I=1.00)

2. 構造計算条件
a 耐震設計条件
地震荷重 建物一次固有周期 (0.192) 秒
地盤種別 第(2)種地盤
地域係数 Z=1.0
計算ルート X方向 ※保有水平耐力(ルート3)
Y方向 ※保有水平耐力(ルート3)
設計層間変形角 X方向 一次設計 1/200
二次設計 RC:1/200、S:1/100
Y方向 一次設計 1/200
二次設計 RC:1/200、S:1/100

b 耐風設計条件 ※令第39条の規定に関する取付、構造方法にあっては、構造耐力上安全なものとする
基準風速 (V0) (30) m/秒
地表粗度区分 I・II・III・IV
c 耐積雪設計条件
建設地の標高 (4) m
多雪区域の指定 有り・無し
設計垂直積雪量 (40) cm 告示第594号による

3. 地盤調査資料
調査内容 ボーリング (※標準貫入試験)
土質試験
孔内水平載荷試験
平板載荷試験
調査位置 構造図 (S-10,11図)による
液状化対策の検討 有り・無し

II 構造特記仕様
1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、標仕)「建築工事監理指針(令和4年版)」(以下、建監指)「建築工事標準仕様書【JASS5(2022)・JASS6(2018)】」(以下「JASS」)による。
2. 特記仕様
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、●印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は共に適用する。
(3)特記事項に記載の( )内表示番号は、「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)㊦印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。

注：本特記仕様書は、構造図に記載された構造躯体について適用する。

章 項目 特記事項

④ 1 共通仕様
試験場 ( ) 本 位置及び試験場長さは構造図による。(4.2.4)
地盤の平板載荷試験 ※行わない
・行 ( ) 箇所
2 直接基礎
基礎の種類 : 独立基礎・布基礎・べた基礎
基礎深さ : 基礎リストによる
支持地盤の長期許容支持力度
工法 : 羽根付き鋼管杭 評定番号AGP-0635 (先端地盤:砂質地盤)
杭記号 符号 セット数 杭長(m)(全長) 杭種 長期設計支持力(kN/本) 杭頭接合法
O P1 6 5.0 267.4 (STK490 t=12.7)
4 7.0 羽根径750 (SM490A t=32) 949 異形鉄筋フレア溶接
6 8.0 267.4 (STK490 t=12.7)
O P2 33 5.0 羽根径650 (SM490A t=28) 713
8 7.0
2 8.0
4 既製コンクリート杭地業
材料 ※適心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・PHC節付杭
・PRC杭
寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分)(4.3.2)
杭先端部形状 (4.3.2)
・開放形・半開放形・閉そく形
施工方法 (4.3.3~5)
・打込み工法(油圧ハンマー・ドロップハンマー)
・プレボーリングの併用
・行
掘削深さ及び径
・構造図( )による
・行わない
打込杭推定支持力の算定
・標仕4.3.3(e)(3)算定式
・特定埋込杭工法 (4.3.5)
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・スーパーFK工法(国交大臣認定:TACP0168)
国土交通省告示第1113号第6に定める地盤の許容支持力方式の内
α、β、γが下記の数値をとれる工法とする
α=( )、β=( )、γ=( )
杭周囲定液
・使用する
・使用しない
・セメントミルク工法(プレボーリング根固め工法) (4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・1.5m程度
杭の支持地盤への掘入深さ
・1.0m以上
・杭打機の種類
パイルドライバー
※三点支持式クローラクレーン
・DHJ
・ラフタークレーン
・専用杭打ち機
杭の継手 ※アーク溶接継手 (4.3.6)
・無溶接継手(※建築基準法に基づき評定等を受けたもの)
機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う。
施工は評定等に記載された施工管理基準による。
杭頭の処理 ※切断しない (4.3.7)
杭頭の中詰材料 ※コンクリート(基礎コンクリートと同仕様)
杭の精度 (4.3.3)(4.3.4)(4.3.5)
※水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
※杭の傾斜
・1/100以内
杭施工に伴う発生汚泥の処理
※場内で固化した後に搬出する
・場外で固化処理

・場所打ちコンクリート杭地業
セメントの種類
・高炉セメントB種 ㊦ (4.5.3)
コンクリートの種別 (4.5.3)(表4.5.1)
・A種・B種
コンクリートの設計基準強度 Fc ( )N/mm² (4.5.3)(4.5.4~5)
強度の差を考慮した割り増し(ΔF) (4.5.3)
※行わない
・行
・3N/mm²
気温によるコンクリート強度の補正(T)
※行わない
・行
鉄筋の種類 (5.2.) 鉄筋工種の鉄筋種類による
鋼管巻き材料
・SKK400・SKK490・STK400・STK490
鋼管径・板厚・長さ ※構造図による
掘削工法 (4.5.1)(4.5.4)(4.5.5)
・アースドリル工法(安定液 ※使用する・使用しない)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張り・行・行わない)
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法(安定液・使用する・使用しない)
試験杭 試験杭の位置 (4.2.2)(4.5.4)(4.5.5)
・構造図( )による
試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う
孔壁測定 ・行 測定方法 ※超音波測定 (4.5.4)(4.5.5)
測定箇所
・試験杭( )箇所及び本杭( )箇所
・行わない
支持地盤 ※構造図による
工法 (4.7.2)
・浅層混合処理工法(土間コンクリート下)
適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による。
・深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による。
6 置換コンクリート地業 (7a7)
形状 ※構造図による
支持地盤の長期設計支持力 ( )kN/m²
支持地盤 ※構造図による
コンクリートの仕様 ※6 コンクリート工事 無筋コンクリートによる
型枠使用の有無 ※無し・有り
7 砂利地業
材料 ※再生クラッシュラン ㊦
切込み砂利又は切込み砕石 (4.6.2~3)
厚さ及び使用範囲
厚さ 使用範囲
※60 基礎下、基礎梁下、その他
・100
8 捨コンクリート地業
コンクリートの仕様 ※(6.14.) コンクリート工事 無筋コンクリートによる。 (4.6.4)
厚さ及び使用範囲
厚さ 使用範囲
※50 基礎下、基礎梁下、その他
9 鉄筋の種類
鉄筋は表5.2.1により、種類の記号等は特記による。(5.2.1)(表5.2.1)
規格の名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考
異形鉄筋 ○ SD295 基礎、7a7、7a7a7、 ※D16以下
(鉄筋コンクリート用棒鋼) ○ SD345 主筋(柱・梁) ※D19~D25
・ SD390 ※D29
2 溶接金網
種類 種類の記号 使用箇所 呼び径・寸法・形状(mm)
・溶接金網 WFP ※φ6-150x150
3 鉄筋の継手
継手の工法は重ね継手、ガス圧継手、機械式継手又は溶接継手とし、下記とする。(5.3.4)
部位 継手工法と適用径の範囲
・柱主筋 ※ガス圧接(D19以上)
・梁主筋 ※ガス圧接(D19以上)
・基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など ○ 重ね継手( )
・耐力壁の鉄筋 ※重ね継手
・その他(一般壁・7a7) ※重ね継手( )

④ 圧完了後の試験
外観試験 ※行 (全数) (5.4.9)
抜取試験 ※超音波探傷試験
・引張試験
5 耐久性不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さ
耐久性不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工場所 構造関係共通図(配筋標準図)の値に加える寸法(mm)
・海水の作用を受けるコンクリート部分(JASS5 2009) 計画供用期間の級
・短期 +10 (設計かぶり厚さは左記+15)
・標準 +20 (設計かぶり厚さは左記+15)
・長期 +20 (設計かぶり厚さは左記+15)
・超長期
6 基礎梁主筋の継手
7 帯筋
8 壁開口部の補強
9 梁貫通孔の補強形式
10 構造(耐震)スリット
11 コンクリートの種類
12 コンクリートの強度
13 計画供用期間の級
14 構造体コンクリートの仕上り
※普通コンクリート及び軽量コンクリート (6.2.1)
コンクリートの種別
※I類 JIS A 5308 「レディーミクストコンクリート」への適合を(表6.2.1)認定されたコンクリート
・II類 上記以外
※設計基準強度(Fc)または耐久設計基準強度(Fd)の大きい値に構造体強度補正値を(S)を加えた値とする。(6.2.2~4)
設計基準強度 耐久設計基準強度 気乾単位容積 スランプ 施工場所
Fc (N/mm²) Fd (N/mm²) 質量(t/m³) (cm)
○ 18 2.3程度 15 捨てコン
・ 18
・ 21 ◎ 24
・ 24
◎ 27
・ 30
・ 33 18 基礎、地中梁、スラブ
土間コンクリート
その他躯体
(6.2.5)(表6.2.3)(表6.2.4)(表6.2.5)
※コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差は、標仕表6.2.3を標準とし、仕上げの種類及び納まり等を考慮して定める。その測定方法は、部材等に応じて適切な方法を定める。
※コンクリートの打放し仕上げの種類は標仕表6.2.4による。
種別及び範囲は意匠図による。
※コンクリートの仕上りの平たんさは、標仕表6.2.5を標準とする。

構造設計者 昆野 剛男
一級建築士 第109298号
構造設計一級建築士 第506号

<p>④コンクリートの材料</p> <p>(a)セメント (6.3.1.(a)) (表6.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>施工場所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</td> <td>全ての構造躯体</td> </tr> <tr> <td>・ 高炉セメントB種 [6]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ エコセメント [6]</td> <td></td> </tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <tr> <td>水和熱</td> <td>7d</td> <td>352J/g以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28d</td> <td>402J/g以下</td> </tr> </table> <p>(b)骨材 (6.3.1.(b)) (6.5.4)</p> <p>アルカリシリカ反応による区分 ※ A (※ コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)</p> <p>・ B (6.3.1.(d))</p> <p>(c)混和剤 AE剤 (6.3.1.(d))</p> <p>AE減水剤 のいずれかとする。</p> <p>高性減水剤</p> <p>⑤コンクリートの割合 (6.3.2.(1))</p> <p>調整管理強度は、設計基準強度 (F<sub>c</sub>) または耐久設計基準強度 (F<sub>d</sub>) の大きい値に表6.3.2の構造体強度補正値 (S) を加えた値とする。 (表6.3.2)</p> <p>⑥無筋コンクリート (捨てコンクリート他) (6.14.1~3)</p> <p>設計基準強度 F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>) ※ 18 (6.14.1~3)</p> <p>セメントの種類</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種</p> <p>・ 高炉セメントB種 [6]、クライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所：捨コンクリート (基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下)</p> <p>スランブ 15cmまたは18cm</p> <p>⑦打継ぎ目地の寸法、位置及び形状 (6.8.1~3)</p> <p>打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し厚内に納めるよう定める。なお、寸法、位置及び形状は意匠図による。</p> <p>⑧型枠 (6.8.1~3)</p> <p>外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ ※ 20mm</p> <p>・ 意匠図による</p> <p>内部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ ※ 10mm</p> <p>※ せき板の材料及び厚さは標仕6.8.3による。</p> <p>・ 床型枠用鋼製デッキプレート 施工範囲 ※ 構造図による</p> <p>・ スリーブ材 ※ 構造図による</p> <p>⑨型枠の存置期間及び取外し (6.8.5)</p> <p>標仕6.8.5による。</p> <p>10外装タイル後張り面の打増し処理</p> <p>コンクリートの打増し厚さ ※ 20mm</p> <p>施工範囲 ※ 意匠図による</p> <p>11床型枠用鋼製デッキプレート (6.6.1~7)</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、打増しを行うこと。</p> <p>コンクリートの打増し厚さ ※ 10mm</p> <p>施工範囲 ※ 伏図による</p> <p>⑫コンクリートの工事現場内運搬並びに打ち込み及び締固め (6.6.1~7)</p> <p>標仕第6章第6節による。</p> <p>⑬コンクリートの養生方法 (6.7.1~3)</p> <p>標仕第6章第7節による。</p> <p>⑭コンクリートの強度及び試験方法 (6.5.5) (6.9.2~5)</p> <p>標仕6.5.5、6.9.2、6.9.3、6.9.4による。</p> <p>⑮コンクリートの単位水量測定 (6.5.5)</p> <p>○ 行わない</p> <p>・ 行う</p> <p>実施要領 ※ 構造図による。</p> <p>16断熱材兼用型枠 (6.5.5)</p> <p>厚さ 20~40mm 熱抵抗値 0.73 mK/W以上を有するものとする。</p> <p>建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの、又は同等以上とする。</p>	セメントの種類	施工場所	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	全ての構造躯体	・ 高炉セメントB種 [6]		・ エコセメント [6]		水和熱	7d	352J/g以下		28d	402J/g以下	<p>⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)</p> <p>製作工場の加工能力</p> <p>※ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(R)グレード」以上として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督職員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p> <p>⑧施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>※ 適用する ・ 適用しない</p> <p>⑨鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SN400B</td> <td>大梁</td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SN490C</td> <td>仕口プレート</td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SN400A</td> <td>大梁、小梁 他</td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SM490A</td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>BCR295</td> <td>柱</td> <td>※ 大臣認定による</td> </tr> <tr> <td>STR490</td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>SSC400</td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>STR400</td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 板厚 t=40mm 超える場合はTMCP鋼材とする。</p> <p>⑩高力ボルト (7.2.2)</p> <p>区分</p> <p>※ トルシナ形高力ボルト 2種 (S10T) 建築基準法に基づき認定を受けたもの</p> <p>・ JIS形高力ボルト 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径 ※ 構造図による</p> <p>すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う (7.4.2)</p> <p>⑪溶融亜鉛メッキ高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)</p> <p>セットの種類 (7.2.2) (7.12.4)</p> <p>※ 1種 (F8T相当) 建築基準法に基づき認定を受けたもの</p> <p>摩擦面の処理</p> <p>※ プラスト処理 (表面粗度 50μm Rz以上)</p> <p>・ りん酸塩処理</p> <p>すべり耐力等の確認方法 ※ JASS6による</p> <p>⑫普通ボルト (7.2.3)</p> <p>ボルト及びナットの材料等 ※ 標仕 表7.2.3による</p> <p>座金 ※ 標仕 7.2.3(d)による</p> <p>⑬アンカーボルト (間柱用) (7.2.4)</p> <p>材質</p> <p>○ 構造用 ○ SNR400B ・ SNR490B</p> <p>・ 建方用 ・ SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げ</p> <p>○ 構造用 ※ JIS B 1220 (構造用両ねじアンカーボルトセット)</p> <p>・ 建方用</p> <p>・ 建て方 ※ 普通ボルトによる</p> <p>・ 接着系アンカー (標準タイプ)</p> <p>保持及び埋込み工法 (7.10.3) (表7.10.1)</p> <p>○ 構造用 ※ 構造図による</p> <p>・ 建方用 ・ 標仕 表7.10.1 (・ A種 ※ B種 ・ C種) による</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 構造用 ・ 図示</p> <p>・ 建方用 ・</p> <p>⑭ターンバックル (7.2.6)</p> <p>種類</p> <p>建築用ターンバックル頭 ※ 割枠式</p> <p>建築用ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト</p> <p>ねじの呼び ※ 構造図による</p> <p>⑮デッキプレート (7.2.7) (7.7.8)</p> <p>材質、形状及び寸法 ※ 構造図による</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 ※ 構造図による</p> <p>⑯スタッドボルト (7.2.9)</p> <p>※ 頭付スタッド (JIS B 1198)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>径(呼び名)</th> <th>長さ(呼び長さ)</th> <th>mm</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 16φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 110</td> <td>・ 120</td> </tr> <tr> <td>・ 19φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 110</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 22φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 100</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 150</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑰柱底均しモルタル及び工法 (7.2.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A種</td> <td>50mm</td> <td>下記以外すべて</td> <td rowspan="2">無収縮モルタル</td> </tr> <tr> <td>30mm</td> <td>柱脚</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>30mm</td> <td></td> <td>標準仕様書7.2.9(a)</td> </tr> </tbody> </table> <p>無収縮モルタルの材料及び配合 ※ 標準仕様書7.2.9(b) (1)~(3)による</p> <p>無収縮モルタルの品質及び試験方法 ※ 標準仕様書 表7.2.6による</p>	種類の記号	使用箇所	規格等	SN400B	大梁	※ JIS規格による	SN490C	仕口プレート	※ JIS規格による	SN400A	大梁、小梁 他	※ JIS規格による	SM490A		※ JIS規格による	BCR295	柱	※ 大臣認定による	STR490		※ JIS規格による	SSC400		※ JIS規格による	STR400		※ JIS規格による	径(呼び名)	長さ(呼び長さ)	mm	使用箇所	・ 16φ	・ 80	・ 110	・ 120	・ 19φ	・ 80	・ 110	・ 130	・ 22φ	・ 80	・ 100	・ 130				・ 150	種別	厚さ	適用箇所	材料	A種	50mm	下記以外すべて	無収縮モルタル	30mm	柱脚	B種	30mm		標準仕様書7.2.9(a)	<p>⑱製作精度 (7.3.3) (7.3.10)</p> <p>※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による。</p> <p>⑳鉄骨の仮組 (7.3.10)</p> <p>※ 行わない ・ 行う ・ 監督職員と協議すること</p> <p>㉑高力ボルト接合 (7.3.10)</p> <p>スプライスプレートの材質 ※ 鋼材の鋼種はSN-Bとし、引張強さによる。</p> <p>区分は母材と同等とする。</p> <p>フィラープレートの材質 ※ SS400とする</p> <p>㉒溶接接合 (7.6.4) (7.6.7) (7.6.7) (7.6.7)</p> <p>開先の形状 ※ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) による。</p> <p>・ 構造図による。</p> <p>スカラップの形状 ※ 構造関係共通図 (鉄骨標準図) による。</p> <p>・ 構造図による。</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分 ※ 全て ( ) (7.6.7)</p> <p>完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ (社)日本建築学会「JASS6 鉄骨工事」(7.6.7) 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による。</p> <p>エンドタブ・裏あて金 ※ 鋼材の鋼種はSN-Bとし、引張強さによる区分は母材と同等とする。</p> <p>㉓入熱バス間温度の溶接条件 (7.12.3) (表14.2.2)</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <p>※ 図示</p> <p>適用箇所</p> <p>※ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p> <p>・ 図示</p> <p>㉔溶接部の試験 (7.6.11) (表7.6.2) (表7.6.3) (表7.6.4)</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11) (表7.6.2) (表7.6.3) (表7.6.4)</p> <p>※ 行う ・ 行わない</p> <p>工場溶接部の場合</p> <p>AOQL ※ 4.0% ・ 2.5%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>全て</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査水準</td> <td>第6水準</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工事現場の場合</p> <p>AOQL ※ 4.0% ・ 2.5%</p> <p>割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う。</p> <p>突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 (7.6.11)</p> <p>独立行政法人建築研究所監修</p> <p>「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。</p> <p>・ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査②</p> <p>㉕錆止め塗装 (7.8.1~4)</p> <p>標仕第7章8節による</p> <p>鉄鋼錆止め塗料の種別 ※ A種 (JIS K 5674) ・ B種 (18.3.1~2) (表18.3.1)</p> <p>錆止め塗料塗り 表18.3.3により2回塗り標準とする。 (18.3.3) (表18.3.3)</p> <p>19耐火被覆 (7.9.2~7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">耐火材吹付け</td> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火材張り</td> <td>・ 耐火材張り</td> <td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 高耐火ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火材巻付け</td> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高耐火ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は国土交通大臣認定を受けたものとする。</p> <p>性能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 3時間耐火</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>㉖建方精度 (7.10.2)</p> <p>※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則5「工事現場」による。</p> <p>㉗溶融亜鉛メッキ工法 (構造耐力上主要な部分) (7.12.3) (表14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>亜鉛めっきの種別</th> <th>材料</th> <th>適用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A種</td> <td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td> <td rowspan="2">※ 構造図で示す鉄骨</td> </tr> <tr> <td>最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ハイペース・NEO ・ クリアペース</p> <p>7、アンカーボルト</p> <p>11、柱底均しモルタル及び工法</p> <p>メーカー仕様による。</p>	節	全て					検査水準	第6水準					種別	種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール			・ 半乾式吹付けロックウール		耐火材張り	・ 耐火材張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板			・ 高耐火ロックウール		耐火材巻付け	・ 耐火材巻付け	・ 高耐火ロックウール					ラス張りモルタル塗り				性能	適用箇所(部位・部分)	・ 30分耐火		・ 1時間耐火		・ 2時間耐火		・ 3時間耐火		亜鉛めっきの種別	材料	適用部位	A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※ 構造図で示す鉄骨	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	B種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	・	最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	C種			<p>①コンクリート用骨材の品質試験に関する特記事項</p> <p>1) 一般事項</p> <p>(1) 施工計画書</p> <p>コンクリートの製造工場選定後、速やかに品質試験実施計画書を作成し、監督職員に提出する。</p> <p>(2) 試験結果の報告</p> <p>試験の結果は書面により、速やかに報告するものとする。</p> <p>2) 特記事項</p> <p>(1) 試験項目</p> <p>試験項目は下記の通りとし、試験方法はJISによる。</p> <p>1. アルカリシリカ反応性試験 (化学法) (JIS A 1145)</p> <p>2. 密度試験 (JIS A 1109, A 1110)</p> <p>3. 吸水率試験 (JIS A 1109, A 1110)</p> <p>(2) 試験結果の報告</p> <p>試験は計画調査書作成以前に実施するものとする。又、原則として試験機関に委託するものとする。</p> <p>試験の実施後、6ヶ月を経過する都度及び産地が変わった場合に、再試験を実施するものとする。</p> <p>(3) 資料の採取</p> <p>資料の採取は原則として監督職員の立会いのうえで実施するものとする。</p> <p>(4) その他</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分がBと判定された場合は、使用骨材又は製造工場の変更について監督職員と協議する。</p> <p>密度試験又は吸水率試験の結果、標仕6.3.1(b)、(1)~(5)によることができない場合は、監督職員と協議する。</p> <p>②コンクリートの単位水量測定に関する特記事項 (延床面積1500m<sup>2</sup>程度以上新築工事で実施する。)</p> <p>(1) 単位水量の測定は、150m<sup>3</sup>に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた場合に実施する。</p> <p>(2) 単位水量の上限値は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」6.3.2(2)による。</p> <p>(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。</p> <p>1. 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。) ±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、そのまま施工する。</p> <p>2. 測定した単位水量が、設計値 ±15を越え ±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査すると共に生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、単位水量が設計値 ±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>3. 設計値 ±20kg/m<sup>3</sup>を越える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査すると共に生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の全運搬車の測定を行い、単位水量が設計値 ±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、単位水量が設計値 ±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>4. 3の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認すること。</p> <p>(4) 単位水量の管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。</p> <p>(5) 単位水量の測定方法は高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメーター法又は静電容量測定法による。又、試験機関は当該コンクリート製造所以外の機関とする。</p> <p>③鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件に関する特記事項</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼材の種類</th> <th>溶接材料</th> <th>入熱 (KJ/cm)</th> <th>バス間温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">400N鋼材</td> <td>JIS Z 3212</td> <td rowspan="5">40以下</td> <td rowspan="5">350以下</td> </tr> <tr> <td>YGW-11, 15</td> </tr> <tr> <td>YGW-18, 19</td> </tr> <tr> <td>JIS Z 3214</td> </tr> <tr> <td>YGA-50W, 50P</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">490N鋼材</td> <td>JIS Z 3212</td> <td rowspan="5">40以下</td> <td rowspan="5">350以下</td> </tr> <tr> <td>YGW-11, 15</td> </tr> <tr> <td>YGW-18, 19</td> </tr> <tr> <td>JIS Z 3214</td> </tr> <tr> <td>YGA-50W, 50P</td> </tr> <tr> <td>520N鋼材</td> <td>YGW-18, 19</td> <td>30以下</td> <td>250以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、バス間温度250°C以下、YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下バス間温度350°C以下とする。490N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下バス間温度250°C以下とする。上記の溶接条件によらない場合は、監督職員と協議する。</p> <p>上記の溶接条件によらない場合は、監督職員と協議する。</p>	鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (°C)	400N鋼材	JIS Z 3212	40以下	350以下	YGW-11, 15	YGW-18, 19	JIS Z 3214	YGA-50W, 50P	490N鋼材	JIS Z 3212	40以下	350以下	YGW-11, 15	YGW-18, 19	JIS Z 3214	YGA-50W, 50P	520N鋼材	YGW-18, 19	30以下	250以下
セメントの種類	施工場所																																																																																																																																																																						
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	全ての構造躯体																																																																																																																																																																						
・ 高炉セメントB種 [6]																																																																																																																																																																							
・ エコセメント [6]																																																																																																																																																																							
水和熱	7d	352J/g以下																																																																																																																																																																					
	28d	402J/g以下																																																																																																																																																																					
種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																																																																																																					
SN400B	大梁	※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
SN490C	仕口プレート	※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
SN400A	大梁、小梁 他	※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
SM490A		※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
BCR295	柱	※ 大臣認定による																																																																																																																																																																					
STR490		※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
SSC400		※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
STR400		※ JIS規格による																																																																																																																																																																					
径(呼び名)	長さ(呼び長さ)	mm	使用箇所																																																																																																																																																																				
・ 16φ	・ 80	・ 110	・ 120																																																																																																																																																																				
・ 19φ	・ 80	・ 110	・ 130																																																																																																																																																																				
・ 22φ	・ 80	・ 100	・ 130																																																																																																																																																																				
			・ 150																																																																																																																																																																				
種別	厚さ	適用箇所	材料																																																																																																																																																																				
A種	50mm	下記以外すべて	無収縮モルタル																																																																																																																																																																				
	30mm	柱脚																																																																																																																																																																					
B種	30mm		標準仕様書7.2.9(a)																																																																																																																																																																				
節	全て																																																																																																																																																																						
検査水準	第6水準																																																																																																																																																																						
種別	種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																																																				
耐火材吹付け	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																					
		・ 半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																					
耐火材張り	・ 耐火材張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																					
		・ 高耐火ロックウール																																																																																																																																																																					
耐火材巻付け	・ 耐火材巻付け	・ 高耐火ロックウール																																																																																																																																																																					
ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																																							
性能	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																																																						
・ 30分耐火																																																																																																																																																																							
・ 1時間耐火																																																																																																																																																																							
・ 2時間耐火																																																																																																																																																																							
・ 3時間耐火																																																																																																																																																																							
亜鉛めっきの種別	材料	適用部位																																																																																																																																																																					
A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※ 構造図で示す鉄骨																																																																																																																																																																					
	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																						
B種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	・																																																																																																																																																																					
	最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板																																																																																																																																																																						
C種																																																																																																																																																																							
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (°C)																																																																																																																																																																				
400N鋼材	JIS Z 3212	40以下	350以下																																																																																																																																																																				
	YGW-11, 15																																																																																																																																																																						
	YGW-18, 19																																																																																																																																																																						
	JIS Z 3214																																																																																																																																																																						
	YGA-50W, 50P																																																																																																																																																																						
490N鋼材	JIS Z 3212	40以下	350以下																																																																																																																																																																				
	YGW-11, 15																																																																																																																																																																						
	YGW-18, 19																																																																																																																																																																						
	JIS Z 3214																																																																																																																																																																						
	YGA-50W, 50P																																																																																																																																																																						
520N鋼材	YGW-18, 19	30以下	250以下																																																																																																																																																																				

構造設計者 梶野 剛男  
 一級建築士 第109298号  
 構造設計一級建築士 第506号

記	業務名称	館歴公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館歴公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	印		図面名称	特記仕様書(2)	縮尺	A1: NS A3: NS
事	株式会社 東北建企	一級建築士(大) 第98900号 折原 幸一	図面番号	S-02	図面番号	S-02

構造関係共通図  
(配筋標準図)

1 総則

- 1.1 適用範囲  
(1) 本構造関係共通図は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立の一般的な基準とする。  
(2) 本構造関係共通図以外については、設計図及び監督職員の指示による。

- 1.2 用語の定義  
(1) 設計図とは、建築構造図のうち特記仕様書（構造関係）、構造関係共通図以外の図面をいう。  
(2) 異形鉄筋の径（本文、図、表において「d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。  
(3) 長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。

- 1.3 優先順位  
(1) 設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。  
1. 特記仕様書（構造関係）  
2. 図面— 2-1 設計図  
2-2 構造関係共通図（配筋標準図）及び（一般事項）  
3. 国土交通省大臣官房官庁事務部編「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」  
1.4 記号  
設計図中で使用する記号は、表 1.1～表 1.3 を標準とする。

表 1.1 鉄筋の断面表示

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	○	×	◇	●	○	◎	⊗	⊙	⊚

表 1.2 各階階図における記号

記号	説明	記号	説明
○	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	+	鉄筋杭の位置
○	階段の配筋種別	⊗	打増しの範囲
SD	土間コンクリート	⊗	スラブ開口
■	コンクリートブロック壁（CB壁）	⊕	ホーリング位置
▭	梁・スラブの上り下り及び範囲	±	FLからの上り下り

表 1.3 梁貫通孔補強

区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建築		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

2 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表 2.1 を標準とする。

表 2.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ 角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A SD295B, SD345	D16 以下	D19 ～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°		3d以上	4d以上	5d以上
90°		3d以上	4d以上	5d以上
135° 及び 90° (幅止め筋)		3d以上	4d以上	5d以上

- (注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。  
2. 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

3 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

- (1) 柱の四隅にある主筋（図3.1の●）で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合  
(2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端（図3.1の●）にある場合（基礎梁を除く。）

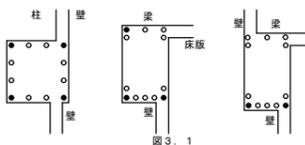


図 3.1

- (3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）  
(4) 杭基礎のベース筋  
(5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

4 鉄筋の継手及び定着

4.1 継手及び定着

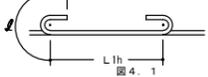
(a) 鉄筋の重ね継手（径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。）

- (1) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表 4.1 の重ね継手長さのうち大きい値とする。  
(2) (1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表 4.1 による。

表 4.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	直線定着の長さ	
		L1	L1h
SD295A	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24 27	35d	25d
SD295B	30 33 36	35d	25d
	18	50d	35d
	21	45d	30d
SD345	24 27	40d	30d
	30 33 36	35d	25d
	21	50d	35d
SD390	24 27	45d	35d
	30 33 36	40d	30d

- (注) 1. L1, L1h: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合のL1hは、図 4.1 に示すようにフック部分 L を含まない。  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



- (3) 隣り合う継手の位置は、表 4.2 による。  
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。  
なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、構造図による。

表 4.2 隣り合う継手の位置

重ね 継手	フックあり の場合		
		a ≥ 0.5L1h	a ≥ 0.5L1h
フックなし の場合			
	a ≥ 0.5L1	a ≥ 0.5L1	
圧 接 溶 接 継 手	—		a ≥ 400mm
			a ≥ 400mm, かつ、a ≥ (b+40) mm
機 械 式 継 手	—		a ≥ 400mm, かつ、a ≥ (b+40) mm
			a ≥ 400mm, かつ、a ≥ (b+40) mm

(b) 鉄筋の定着は、次による。

- (1) 柱に取り付ける梁の鉄筋の定着の長さは、L=40d（軽量コンクリートの場合は50d）とする。

- (2) (1) 以外の鉄筋の定着の長さは、表 4.3 により、適用は構造図による。

表 4.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ				
		L1	L2	L3	小梁	スラブ	L1h	L2h	小梁	スラブ
SD295A	18	45d	40d	—	—	—	35d	30d	—	—
	21	40d	35d	—	—	—	30d	25d	—	—
	24 27	35d	30d	—	—	—	25d	20d	—	—
SD295B	30	35d	30d	—	—	—	25d	20d	—	—
	33	35d	30d	—	—	—	25d	20d	—	—
	36	35d	30d	—	—	—	25d	20d	—	—
SD345	21	50d	40d	—	—	—	35d	30d	—	—
	24 27	45d	40d	—	—	—	35d	30d	—	—
	30	35d	30d	—	—	—	25d	20d	—	—
SD390	21	50d	40d	—	—	—	35d	30d	—	—
	24 27	45d	40d	—	—	—	35d	30d	—	—
	30 33 36	40d	35d	—	—	—	30d	25d	—	—

- (注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着長さ  
3. L2, L2h: 割製破壊のおそれのない箇所への直線定着長さ及びフックあり定着長さ  
4. L3: 小梁及びスラブの下端部の定着長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。  
なお、片持ち梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。  
5. L3h: 小梁の下端部のフックあり定着の長さ  
6. フックあり定着の場合は、図 4.2 に示すようにフック部分 L を含まない。  
また、中間部での折曲げは行わない。  
7. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

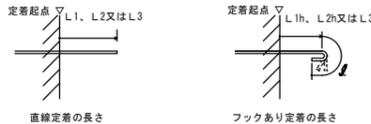


図 4.2 直線定着の長さ

- (3) 仕口内に斜りに折曲げ定着する鉄筋の定着長さしが、表 4.3 のフックあり定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、図 4.3 により、次の (i), (ii) 及び (iii) をすべて満足するものとする。  
(i) 全長は、(b) (i) 又は (b) (ii) の直線定着長さ以上とする。  
(ii) 余長は8d以上とする。  
(iii) 仕口面から鉄筋先端までの投影定着長さLa及びLbは、表 4.4 に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

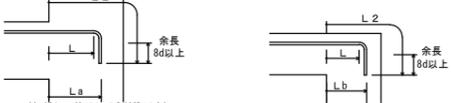


図 4.3 折曲げ定着の方法

表 4.4 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	La	Lb
SD295A	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24 27	15d	15d
SD295B	30 33 36	15d	15d
	18	20d	20d
	21	20d	20d
SD345	24 27	20d	15d
	30 33 36	15d	15d
	21	20d	20d
SD390	24 27	20d	20d
	30 33 36	20d	15d

- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折り曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）  
2. Lb: 小梁及びスラブの上端部の梁内折り曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(c) その他の鉄筋の継手及び定着は、次による。

- (1) 溶接金網の継手及び定着は、図 4.4 による。  
なお、L1は表 4.1 に、L2及びL3は表 4.3 による。

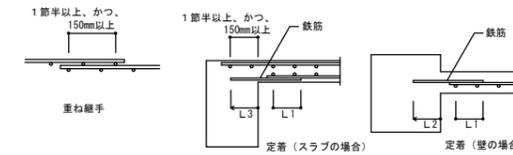


図 4.4 溶接金網の継手及び定着

- (2) スパイラル筋の継手及び定着は、図 4.5 による

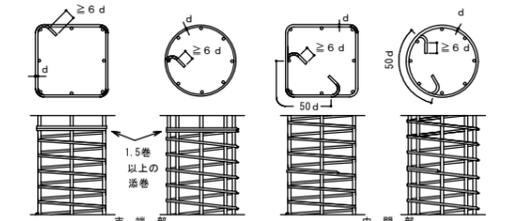


図 4.5 スパイラル筋の継手及び定着

5 鉄筋のかぶり及び間隔

5.1 最小かぶり厚さ

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表 5.1 による。  
ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように、最小かぶり厚さを定める。

表 5.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位: mm)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ	設計かぶり厚さ(標準)	
			設計かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁	仕上りあり 20	30
	以外の壁	仕上りなし 30	40
	柱、梁、耐力壁	仕上りあり 30	40
	仕上りなし 30	40	
土に接する部分	柱、梁、耐力壁	仕上りあり 30	40
	仕上りなし 30	40	
	基礎、埋設、耐力スラブ	40	50
	埋設、埋設、耐力スラブ	40	50
煙突等高温を受ける部分	柱、梁、スラブ、壁	*40	50
基礎、埋設、耐力スラブ	*60	70	
煙突等高温を受ける部分		*60	70

- (注) 1. \*印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は構造図による。  
2. 「仕上りあり」とは、モルタル塗り等の仕上りがあるものとし、鉄筋の耐久性上有効な仕上り（仕上塗料、塗装等）のものを除く。  
3. スラブ、梁、基礎及び埋設で、直接土に接する部分のかぶり厚さは、接コンクリートの厚さを含まない。  
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。  
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、構造図による。

(b) 土に接する柱周囲の打増しは図 5.1 による。

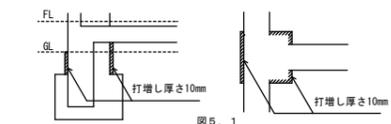


図 5.1

(c) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは図 5.2 により、次のうち最大のものを以上とする。  
(e) 鉄筋相互のあきは図 5.2 により、次のうち最大のものを以上とする。  
(1) 根柢材の最大寸法の1.25倍  
(2) 25mm  
(3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍

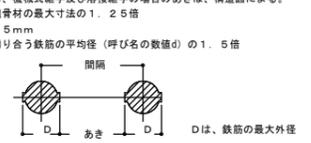


図 5.2 鉄筋相互のあき

(f) 鉄筋鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは(a)による。

(g) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは(d)による。

呼び名(d)	最大径	主筋のあき(主筋の間隔)		2段筋の特性値(標準)	
		(最小値)	(最大値)	a(あき)=1.5x(呼び名の数値)	(最小値)
D10	11	32	43	—	—
D13	14	32	46	—	—
D16	18	32	50	—	—
D19	21	32	53	—	—
D22	25	33	58	—	—
D25	28	38	66	—	—
D29	33	44	77	—	—
D32	36	48	84	—	—
D35	40	53	93	—	—
D38	43	57	100	—	—
D41	46	62	108	—	—

6 基礎及び基礎梁の配筋

6.1 直接基礎

- (1) 直接基礎（独立基礎）の場合、図 6.2 による。

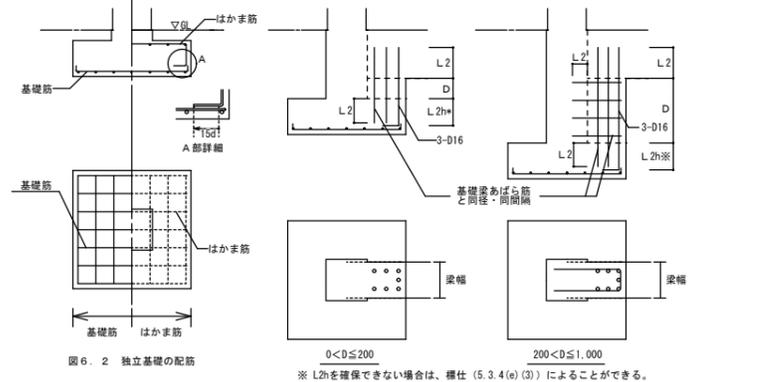


図 6.2 独立基礎の配筋

6.2 基礎梁

(a) 一般事項

- (1) 鉄筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 6.3 による。  
(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、8.1(a)(4)による。



図 6.3 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図 6.4 による。

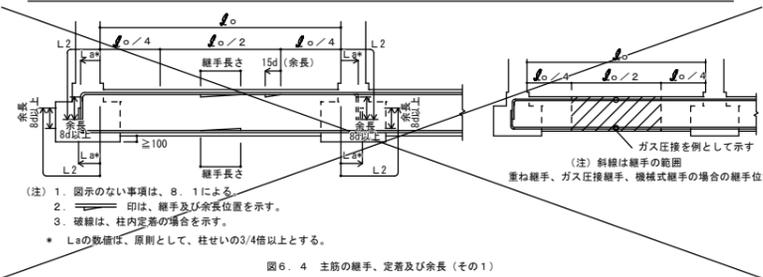


図 6.4 主筋の継手、定着及び余長(その1)

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図 6.5 による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、(b)による。

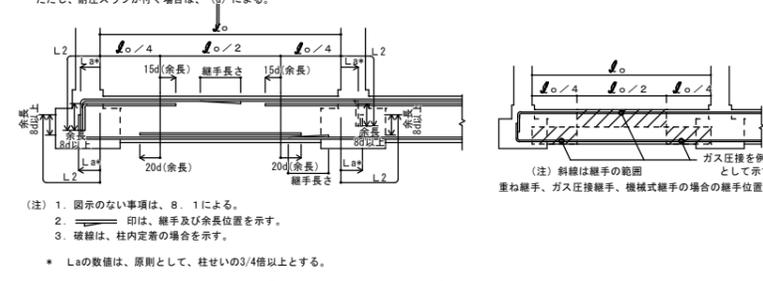
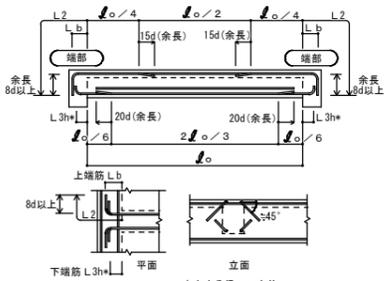


図 6.5 主筋の継手、定着及び余長(その2)

- (注) 1. 図示しない事項は、8.1による。  
2. 印は、継手及び余長位置を示す。  
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
\* Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。



(b) 単独小梁の場合は、図 8. 12 による。



直交する梁への定着  
(注) 1. 図示しない事項は、6. 3 及び 8. 1 に準ずる。  
2. 印は、余長位置を示す。  
\* L3hを確保できない場合は、4-1-(b)-(3)によることができる。

図 8. 12 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その 2)

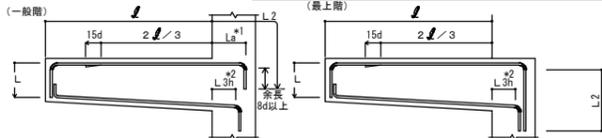
(c) あばら筋は、8. 2 による。

### 8. 5 片持梁

(a) 片持梁主筋の定着及び余長

(1) 先端に小梁のない場合は、図 8. 13 による。

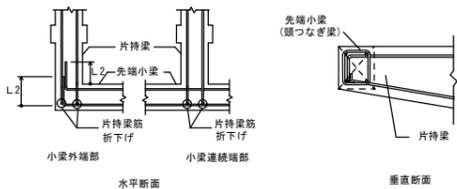
※先端のひび割れ(南東)筋  
小口については、 $\square$ 型鉄筋を壁筋と同径間ピッチ又は、 $\Phi 300$ 以下に配筋する。  
または壁筋を90°折り返して閉鎖してもよい。



(注) 1. 図示しない事項は、8. 1 による。  
2. 印は、余長を示す。  
3. 先端の折曲げの長さLは、梁せいかからふり厚さを除いた長さとする。  
4. 梁筋を引き通さない場合は、取合い部材に定着する。  
\*1. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。  
\*2. L3hを確保できない場合は、4-1-(b)-(3)によることができる。

図 8. 13 片持梁主筋の定着及び余長

(2) 先端に小梁がある場合は、図 8. 14 による。



(注) 1. 図示しない事項は、(1)による。  
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。  
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図 8. 14 片持梁主筋の定着

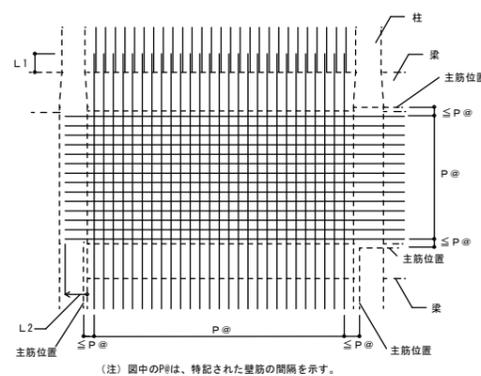
(c) あばら筋は、8. 2 による。

### 9 壁、その他の配筋

#### 9. 1 壁

(a) 一般事項

- (1) 壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さをL1、定着長さをL2とする。(土圧壁も含む)
- (2) 重ね継手及び定着の長さが取れない場合は、監督職員と協議する。
- (3) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000 $\Phi$ 程度とする。

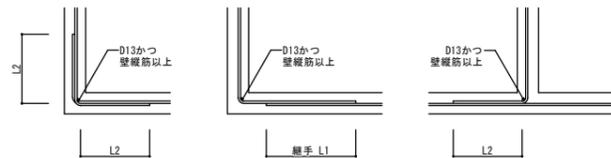


(注) 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

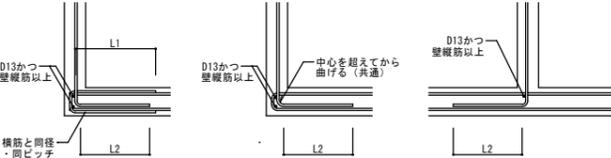
図 9. 1 壁の配筋

(b) 壁交差部及び端部の配筋

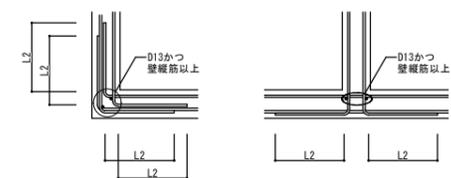
(1) シングル配筋



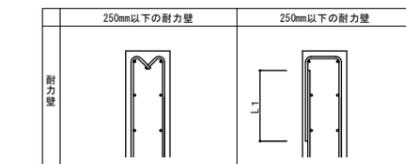
(2) ダブル配筋とシングル配筋



(3) ダブル配筋とダブル配筋

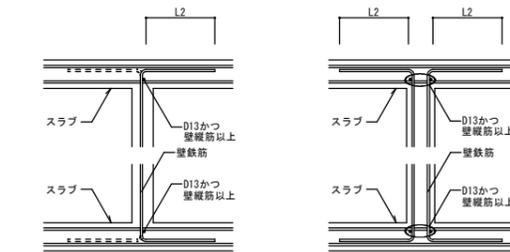


(4) 壁端部・開口部小口配筋



(注) 1. 非耐力壁の場合、壁端部・開口部小口補強筋は構造図による。構造図に記載のない場合は、小口に幅止め筋 (D10 $\Phi$ -1,000mm) を配筋する。  
2. 端部補強筋は設計図による。

(5) 非耐力壁とスラブが取合う場合



#### 9. 2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

(1) 壁、及び耐震壁の開口部の補強筋は、構造図による。

(2) 壁開口部補強の定着長さは、図 9. 3 による。

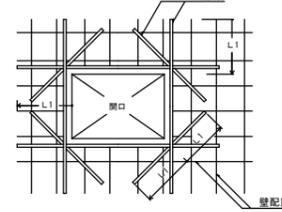


図 9. 3 壁開口部補強筋の定着長さ

(3) 開口部が柱及び梁に接する部分又は最大径が300mm以下で、鉄筋を縦やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

#### 9. 3 バラベト

バラベトの配筋は、図 9. 4 による。

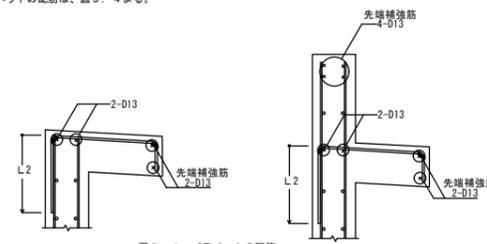


図 9. 4 バラベトの配筋

### 10 スラブの配筋

#### 10. 1 スラブ

スラブの配筋は次による。

(1) スラブの基準配筋 (S形基準配筋) は表 10. 1 及び図 10. 1 により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

Table 10.1: S-shaped standard reinforcement. The table lists reinforcement types (S1-S7) and their corresponding dimensions and directions (short span and long span). For example, S1 is for slab thickness 100-150mm with reinforcement D13-100 $\Phi$  in the short span and D13-150 $\Phi$  in the long span.

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

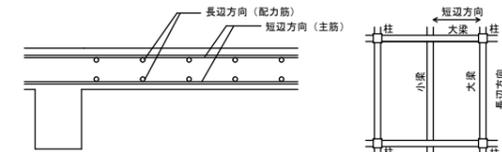


図 10. 1 スラブの配筋

- (2) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- (3) 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
- (4) 定着長さ及び受け筋は、図 10. 2 による。

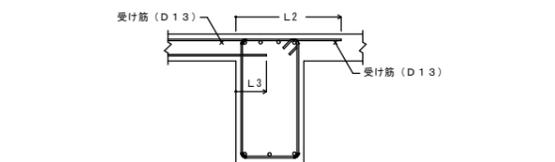


図 10. 2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その 1)

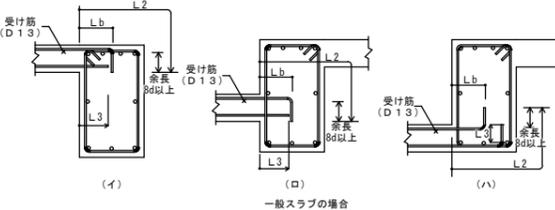


図 10. 3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その 2)

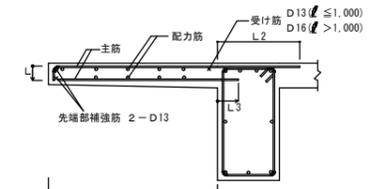
#### 10. 2 片持スラブ

片持スラブの配筋は、次による。

(1) 片持スラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は、表 10. 2 並びに図 10. 4 及び図 10. 5 により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

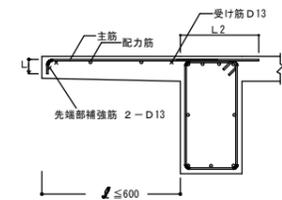
表 10. 2 CS形基準配筋

Table 10.2: CS-shaped standard reinforcement. The table lists reinforcement types (CS1-CS4) and their corresponding dimensions and directions (top and bottom). For example, CS1 is for slab thickness 100-150mm with reinforcement D13-100 $\Phi$  on top and D13-200 $\Phi$  on bottom.



(注) 1. 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりふり厚さを除いた長さとする。  
2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

図 10. 4 片持スラブの配筋 (その 1) (CS1~CS5)



(注) 1. 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりふり厚さを除いた長さとする。  
2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

図 10. 5 片持スラブの配筋 (その 2) (CS6~CS7)

(2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図 10. 6 による。

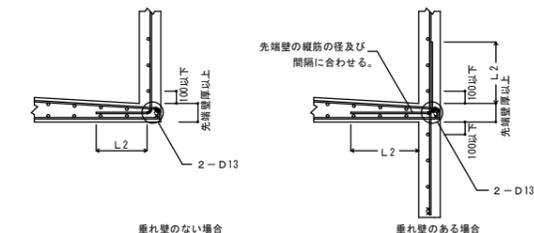


図 10. 6 先端に壁が付く場合の配筋

(3) 出隅部

- (i) 補強の配筋は構造図による。記載がなければ、D10-100 $\Phi$ ダブルとする。配筋方法は、図 10. 7 による。
- (ii) 出隅受け部分 (図 10. 7 の斜線部分) の補強筋は構造図による。

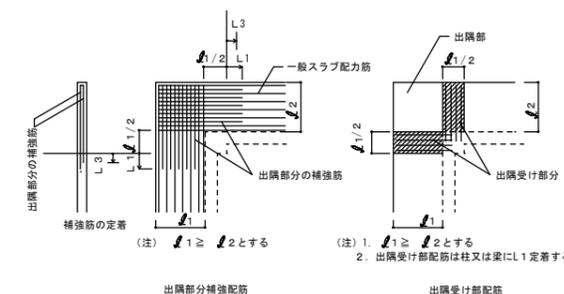


図 10. 7 片持スラブ出隅部の補強配筋

10.3 スラブ等の補強

(a) スラブ開口部の補強  
スラブ開口部の補強は、構造図による。  
(i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合、図10.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に、斜め方向に2-D13 (L=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。

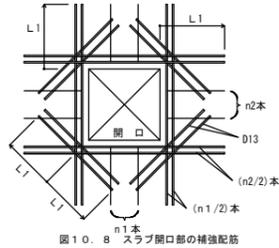
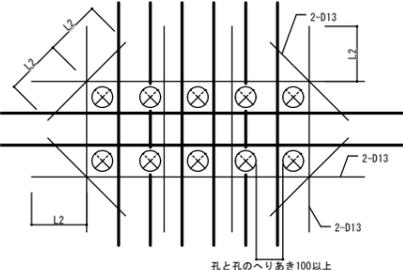


図10.8 スラブ開口部の補強配筋

(i) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

(b) 開口が連続する場合



(i) 設置の小開口が連続する場合は、縦、横、斜め補強筋とは別に開口によってきられる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(c) 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅及び入り隅部分には、図10.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

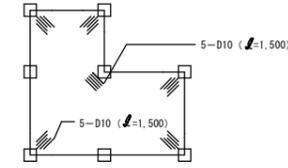


図10.9 出隅及び入り隅部の補強配筋

(d) 土間スラブの打抜き補強

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打抜きを設ける場合の補強は構造図による。構造図にない場合は、図10.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。

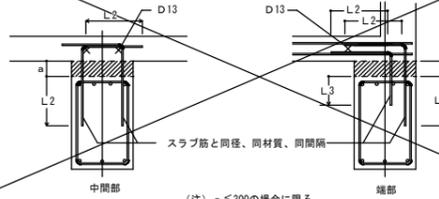


図10.10 打抜き補強配筋

(e) 土間コンクリートの補強

土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図10.11による。

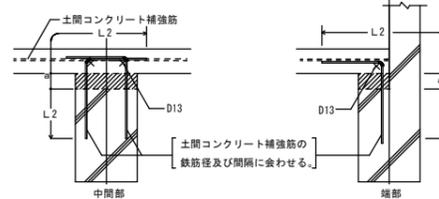


図10.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

11 階段の配筋

11.1 片持スラブ階段  
片持スラブ階段の基準配筋は、表11.1及び図11.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.1 片持スラブ階段の基準配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

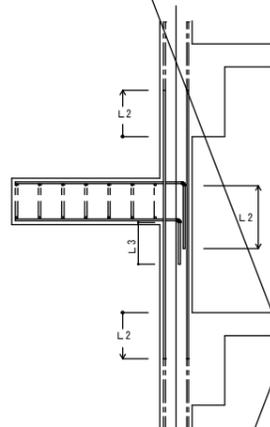


図11.1 片持スラブ階段配筋の定着

11.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表11.2並びに図11.2及び図11.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.2 二辺固定スラブ階段の基準配筋

配筋種別	スラブ厚さt (mm)	上端筋、下端筋とも (全域)
KB1	150	D13-200φ
KB2	150	D13-150φ
KB3	150	D13-100φ
KB4	180	D13, D16-150φ
KB5	180	D16-150φ
KB6	180	D16-125φ
KB7	200	D16-100φ

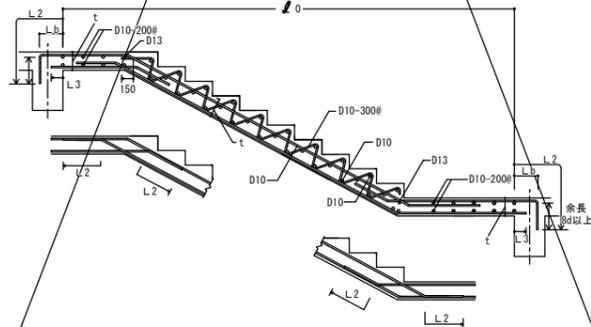


図11.2 二辺固定スラブ階段配筋 (その1)

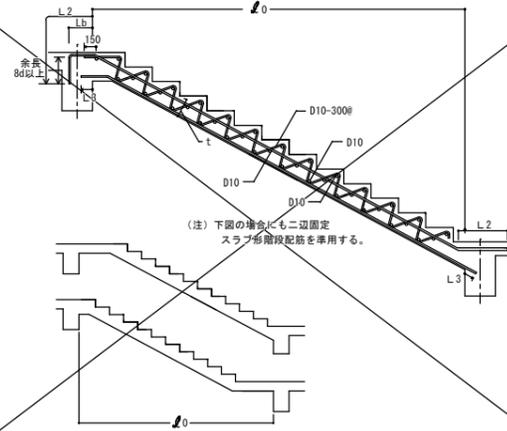


図11.3 二辺固定スラブ階段配筋 (その2)

12 梁貫通孔その他の配筋

■梁貫通孔の補強は既製品を用いても良い

12.1 梁貫通孔

(a) 梁貫通孔は、次による。  
(1) 梁貫通孔補強筋の名称等は図12.1による。  
(2) 孔の径は、梁せい1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。  
(3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。  
(4) 孔は、柱の面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付梁は除く。  
(5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。  
(6) 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。  
(7) 補強筋は、主筋の内側とする。  
また、鉄筋の定着長さは、図12.2による。  
(8) 孔の径が梁せい1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。  
(9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。  
(10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。  
なお、リング筋は、溶接金網に4倍以上溶接する。  
(11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

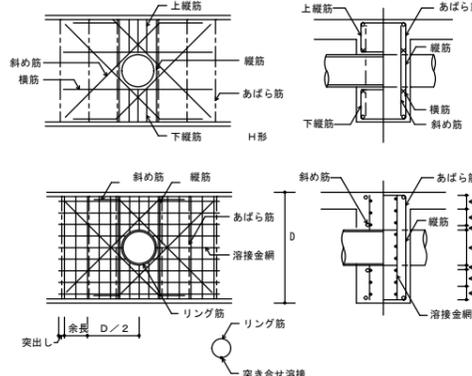


図12.1 梁貫通孔補強筋の名称等

500 ≤ D < 700	.....	d ≥ 175
700 ≤ D < 900	.....	d ≥ 200
900 ≤ D	.....	d ≥ 250

図12.2 孔の上下方向の位置の限度

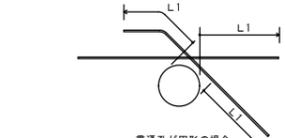


図12.3 補強筋の定着長さ

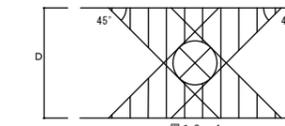


図12.4

(b) 梁貫通孔の補強形式は表12.1～表12.3による。

表12.1 H形配筋

配筋種別	貫通孔径	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1		なし	なし	なし	なし	
H2	100φ	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
H3	150φ	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4		4-2-D16	なし	なし	なし	
H5	250φ	4-2-D16	なし	なし	なし	
H6		4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7		4-2-D22	なし	なし	なし	

(注) --- は、一般部のあばら筋を示す。

表12.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	2-6φ-100φ	
M4	6-2-D13	2-6φ-100φ	

(注) --- は、一般部のあばら筋を示す。

表12.3 M形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2	2-2-D13	なし	なし	
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
MH4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
MH5	4-2-D16	なし	なし	
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100φ	
MH7	4-2-D19	なし	なし	

(注) --- は、一般部のあばら筋を示す。

12.2 コンクリートブロック横壁との取合い

(a) 控壁  
(1) 控壁の配置は、構造図による。  
(2) 配筋は、図12.5による。

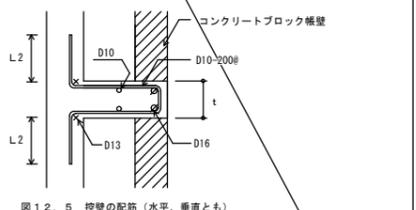


図12.5 控壁の配筋 (水平、垂直とも)

(b) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図12.6による。

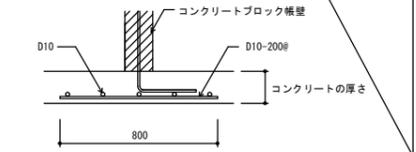


図12.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

構造設計者 梶野 剛男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号

構造関係共通図(鉄骨標準図)

1 総則

1.1 適用範囲  
 (1) 本構造関係共通図は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な基準とする。  
 (2) 本構造関係共通図以外については、設計図及び監督職員の指示による。

1.2 用語の定義  
 (1) 設計図とは、建築構造図のうち特記仕様書(構造関係)、構造関係共通図以外の図面をいう。  
 (2) 長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。

1.3 優先順位  
 (1) 設計図書間で溶接方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。  
 1. 特記仕様書(構造関係)  
 2. 図面 2-1 設計図  
 2-2 構造関係共通図(鉄骨標準図)  
 3. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」

2 縁端距離及びボルト間隔

(1) 縁端距離及びボルト間隔  
 縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、特記による。特記がなければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。また、アンカーボルトの縁端距離は特記による。

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16	45	70
M20		
M22		
M24		

(2) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔  
 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

ゲージ e	千鳥打ちのボルト間隔 Pt		
	M12, M16, M20, M22	M24	
35	50	65	
40	45	60	
45	40	55	
50	35	50	
55	25	45	
60	-	40	

(3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径  
 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

A又はB	e1		e2		e3		最大軸径
	B	e1	B	e2	B	e3	
45	25	12	100	56	16	50	30
50	28	16	125	75	16	65	35
60	35	16	150	90	22	70	40
65	35	20	175	105	22	75	40
70	40	20	200	120	24	80	45
75	40	22	250	150	24	90	50
80	45	22	300	150	24	100	55
90	50	24	350	140	24	110	60
100	55	24	400	140	24	120	65
125	50	35	24				
130	50	40	24				
150	55	55	24				
175	60	70	24				
200	60	90	24				

※1 千鳥打ちとした場合

(4) 隅付きスタッドボルトピッチ及びゲージ

小梁: STUD 19φ-#200, 16φ-#300  
 大梁: STUD 19φ-#200, 16φ-#200

隅付きスタッドの配置規則

- ピッチは7.5d以上、かつ80mm以下
- ゲージは5d以上
- 鉄骨梁フランジ縁と隅付きスタッドの軸心との距離(へりあき)は40mm以上
- かぶりにはあらゆる方向に30mm以上

3 溶接記号

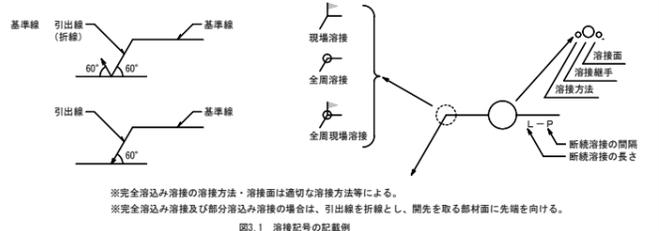
設計図中で使用する記号は、表3.1、表3.2、図3.1を標準とする。

表3.1 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号

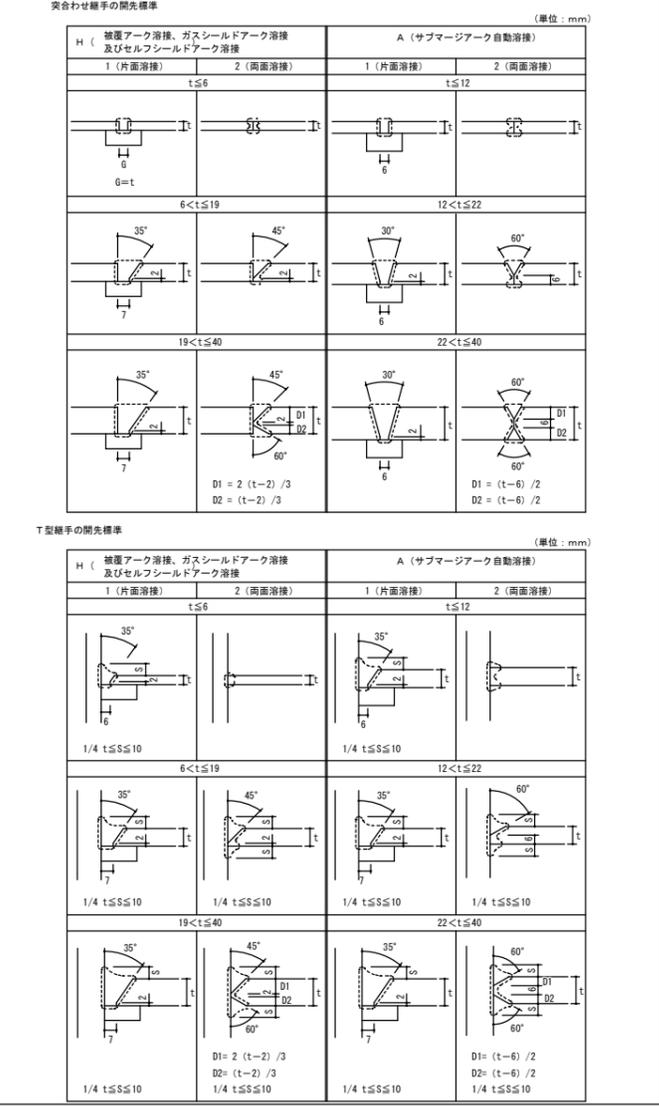
分類	記号
溶接方法	
アーク手溶接、ガスシールドアーク手自動溶接	H
セルフシールドアーク手自動溶接	A
サブマージアーク自動溶接	E
エレクトロスラグ溶接	
溶接継手	
完全溶込み溶接	突合せ継手 B
	T型継手 T
	かど継手 L
隅肉溶接	F
部分溶込み溶接	P
フラシ溶接	FL
溶接面	
片面溶接	1
両面溶接	2

表3.2 溶接の補助記号

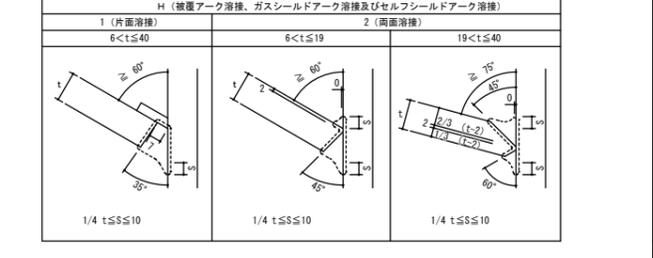
区分	補助記号
現場溶接	○
全周溶接	○
全周現場溶接	○
断続溶接の長さ及び間隔	L-P



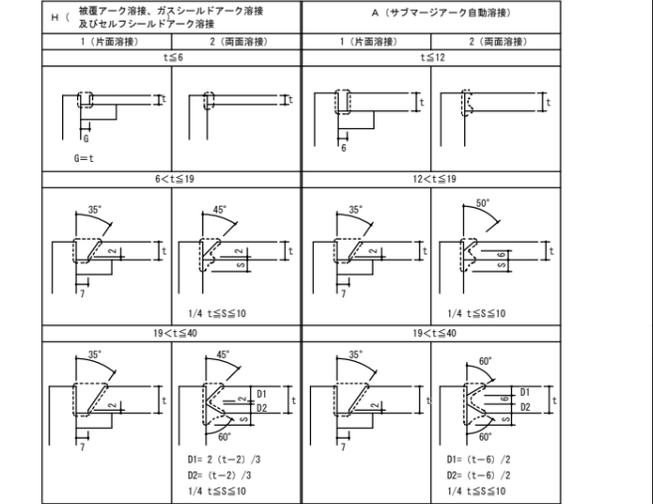
4 溶接継手の種類別優先標準



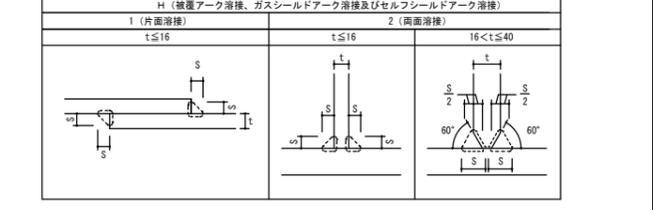
部材が直交しない場合の優先標準 (単位: mm)



かど継手の優先標準 (単位: mm)



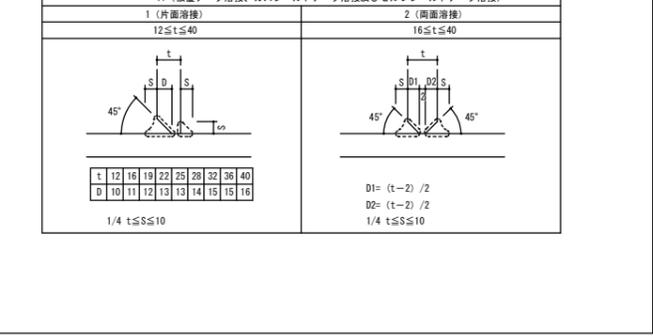
隅肉溶接の優先標準 (単位: mm)



隅肉溶接のサイズ (単位: mm)

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24	

部分溶込み溶接の優先標準 (単位: mm)

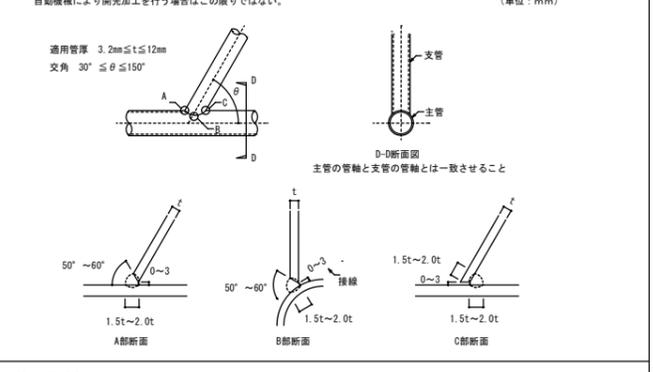


フレア溶接の優先標準

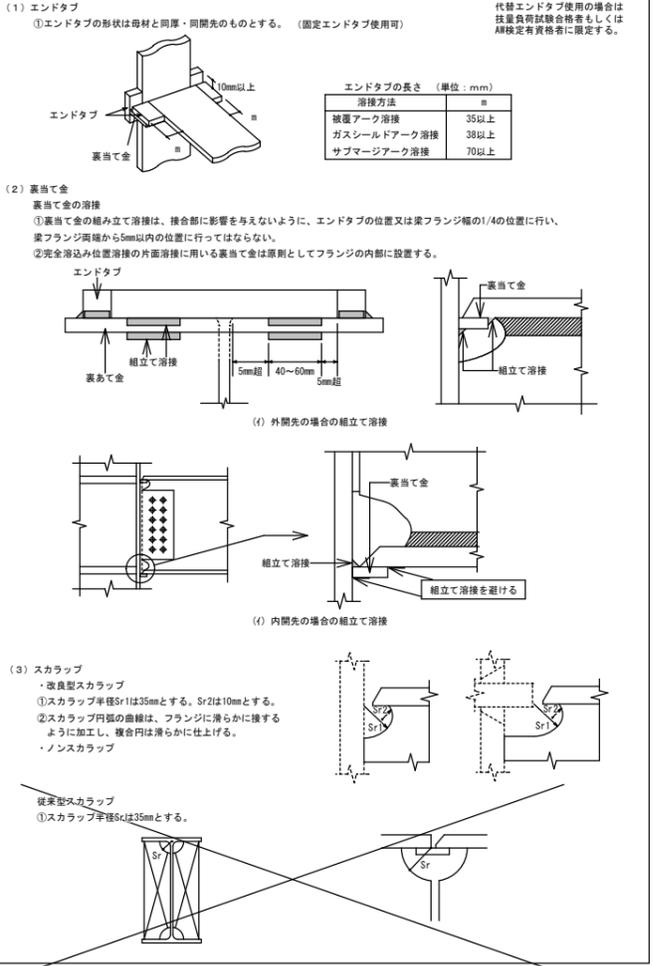
鉄筋径 (呼び径)	L (mm)	A (mm)	B (mm)	B' (mm)	B (mm)	C (mm)	a (mm)
9φ	6	3.0	4.0	8	4.0	1	
13φ	7	3.5	5.0	9	5.0	1	
D10	6	3.0	4.0	8	4.0	1	
D13	7	3.5	5.0	9	5.0	1	
D16	8	4.0	5.2	10	6.0	1	
D19	9	4.5	6.2	11	7.0	1	
D22	10	5.0	7.2	12	8.0	1	
D25	12	6.0	8.6	14	10.0	1	

(注) フレアK型の場合のB・B'・Cは溶接角度30°~40°とした場合の数値を示す。

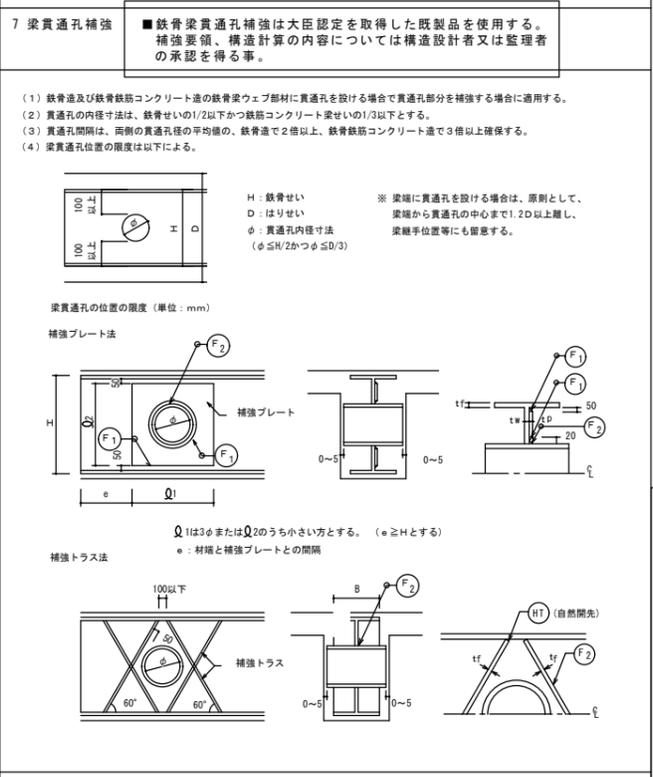
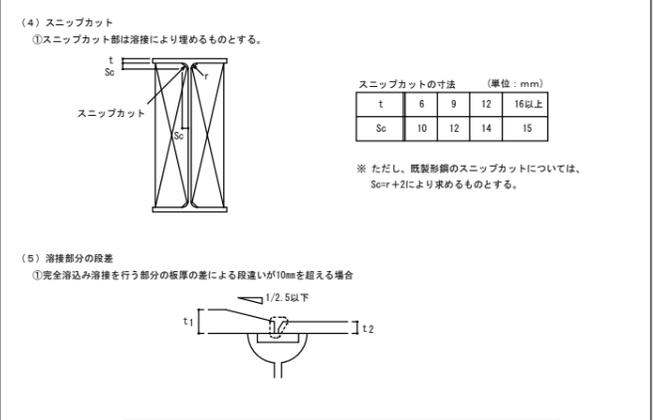
5 鋼管分岐継手



6 鉄骨溶接施工



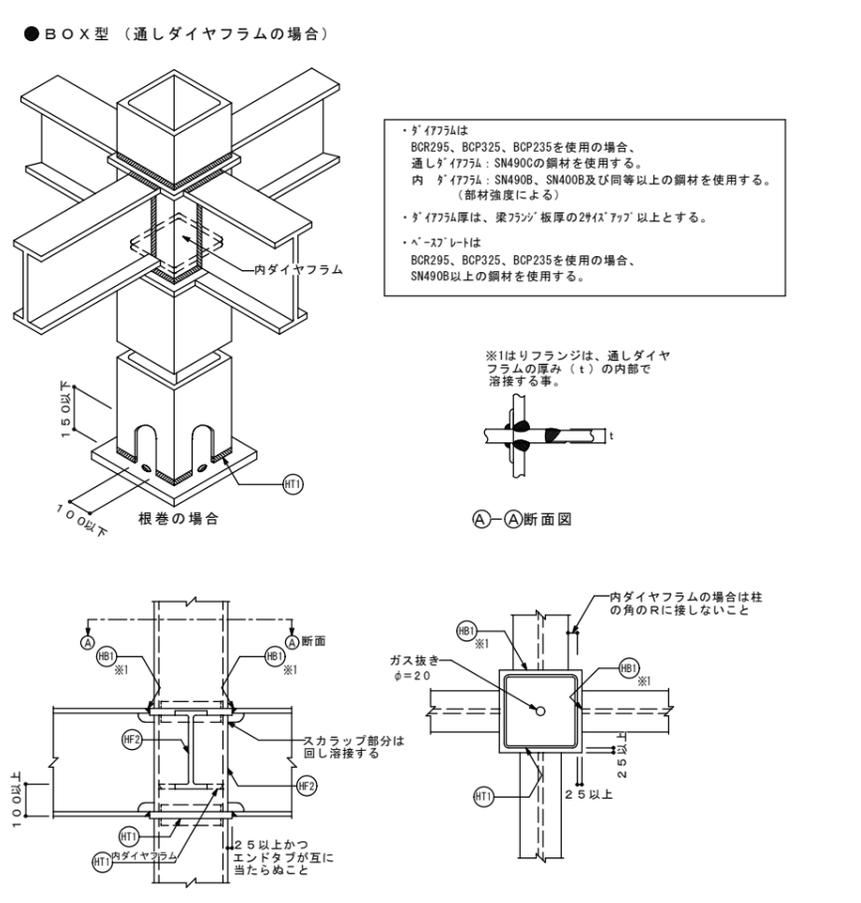
構造設計者 尾野 剛男  
 一級建築士 第109298号  
 構造設計一級建築士 第506号



8 広幅平鋼の取り扱い

(1) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スライズプレートは、PL表記であってもFB又はPLとする。  
(2) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スライズプレートの適用幅及び厚さは下表による。

幅	長さ										
	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
350	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
450	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



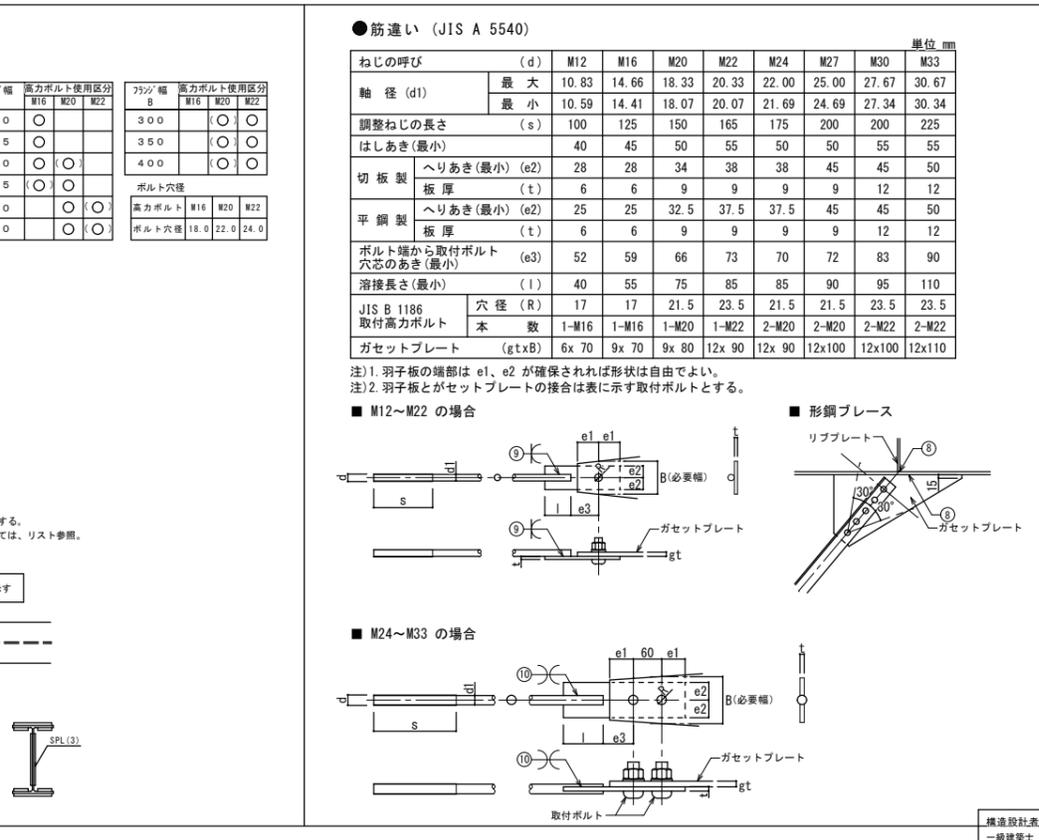
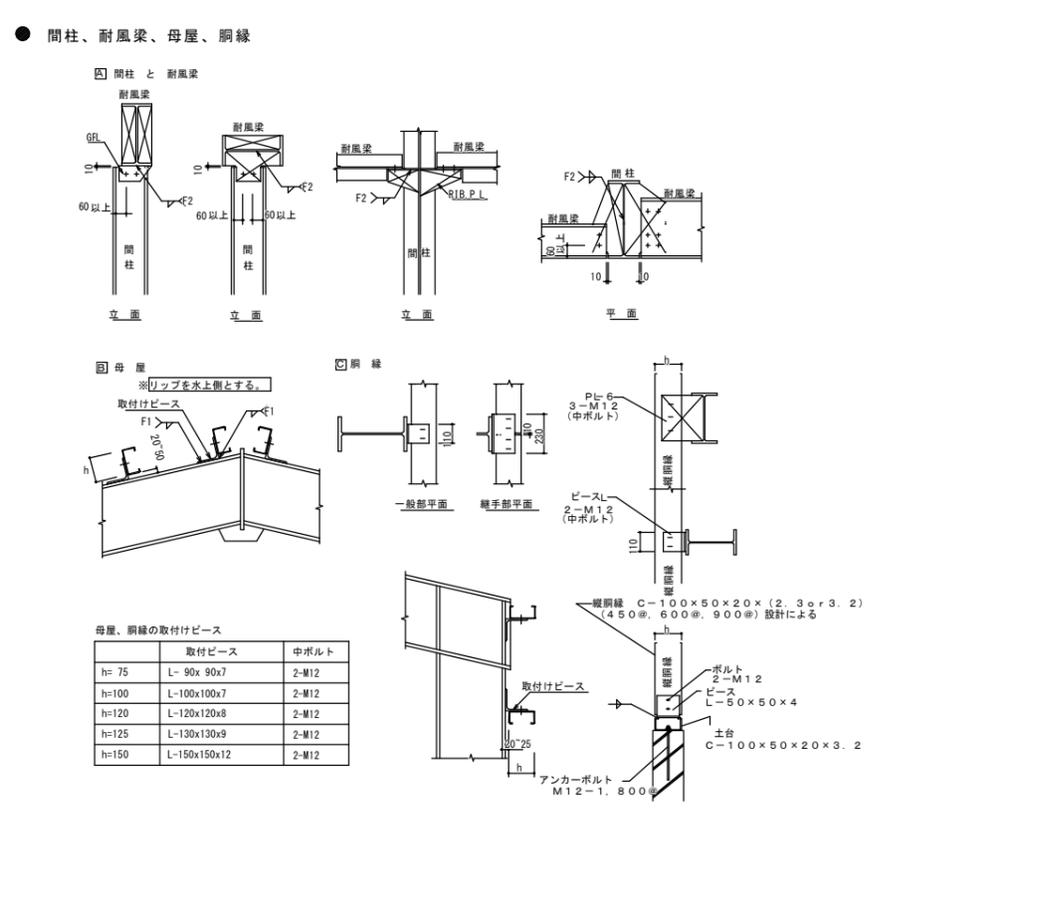
● 鋼材種別による溶接条件

※グレード・J・H・Sの入熱・バス間温度は、建築工事管理指針 (平成28年度版) による。

入熱・バス間温度 (グレード R) 、(グレード M) の場合

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱	バス間温度
400N級炭素鋼 (STKR、BGR及びBCPを除く)	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	40kJ/cm以下	350℃以下
	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	450℃以下	
	JIS Z 3313	T490T-x-yCA-U	40kJ/cm以下	350℃以下
	T490T-x-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	
	T550T-x-yCA-U	30kJ/cm以下	450℃以下	
	T550T-x-yMA-U	30kJ/cm以下	450℃以下	
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPを除く)	JIS Z 3211	引張強さ570N/mm <sup>2</sup> 以上のものを除く		
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm <sup>2</sup> 以上のものを除く	40kJ/cm以下	350℃以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P		
	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下
	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	
	JIS Z 3313	T490T-x-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
T490T-x-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下		
T550T-x-yCA-U	40kJ/cm以下	350℃以下		
T550T-x-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下		
JIS Z 3211	引張強さ570N/mm <sup>2</sup> 以上のものを除く			
JIS Z 3214	引張強さ570N/mm <sup>2</sup> 以上のものを除く	40kJ/cm以下	350℃以下	
JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P			
400N級炭素鋼 (STKR、BGR及びBCPに限る)	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下
	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	
	JIS Z 3313	T490T-x-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
	T490T-x-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	
	T550T-x-yCA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	
	T550T-x-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPに限る)	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下
	JIS Z 3313	T550T-x-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下
T550T-x-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下		

(注) ロボット溶接の場合は、(一社) 日本ロボット工業会による建築鉄骨溶接ロボットの型式認定条件に従うもの上記はロボット溶接には適用しない。



構造設計者 野野 剛男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号

スクリーパイルEAZET（イーゼット）設計施工標準（東北地区）

【許容支持力および適用範囲】

1. 件名  
先端羽根付き鋼管杭 スクリューパイルEAZET
2. 本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期ならびに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力
- 1) 長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力
- $$\frac{1}{3} Ra = \sqrt{[\alpha N Ap + (\beta Ns Ls + \gamma qu Lc) \Psi]} \text{ (kN)} \dots (i)$$
- 2) 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力
- $$\frac{2}{3} Ra = \sqrt{[\alpha N Ap + (\beta Ns Ls + \gamma qu Lc) \Psi]} \text{ (kN)} \dots (ii)$$
- ここで、(i)、(ii)式において、
- $\alpha$ : 基礎ぐいの先端付近の地盤（地震時に液化化するおそれのある地盤を除く）におけるくい先端支持力係数 ( $\alpha=300$ )
  - $\beta$ : 基礎ぐいの周囲の地盤（地震時に液化化するおそれのある地盤を除く）のうち砂質地盤におけるくい周囲摩擦係数 ( $\beta Ns=15$ を満たす $\beta$ )
  - $\gamma$ : 基礎ぐいの周囲の地盤（地震時に液化化するおそれのある地盤を除く）のうち粘土質地盤におけるくい周囲摩擦係数 ( $\gamma qu=15$ を満たす $\gamma$ )
  - $N$ : 基礎ぐいの先端付近（くい先端位置より下方に1Dw（Dw: 羽根の直径）、上方に1Dwの範囲）の地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）
  - ただし、基礎ぐいの先端地盤が砂質地盤（礫質地盤含む）の場合は  $15 \leq N$  とし、60を超える場合は60を上限とする。
  - また、基礎ぐいの先端地盤が粘土質地盤の場合は  $12 \leq N$  とし、60を超える場合は60を上限とする。
  - $Ap$ : 基礎ぐいの先端の有効断面積 (㎡)
  - $Ap = A D \cdot e$
  - $e$ : 有効面積率 ( $e=0.5$ )
  - $D$ : くい先端面積  $A D = \pi \cdot Dw^2/4$  (㎡)
  - $Ns$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）
  - ただし、 $0 < Ns$  とし、30を超える場合は30とする。なお、 $Ns$ 値が0の場合、周囲摩擦力を考慮しない。
  - $qu$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値 (kN/㎡)
  - ただし、 $0 < qu$  とし、200を超える場合は200を上限とする。なお、 $qu$ 値が0の場合、周囲摩擦力を考慮しない。
  - $Ls$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計 (m)
  - $Lc$ : 基礎ぐいの周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計 (m)
  - $\Psi$ : 基礎ぐいの周囲の有効長さ (m)
  - $\Psi = \pi \cdot Do$
  - $Do$ : くい本体部径 (m)
3. くい材から決まる許容鉛直支持力
- $$R2 = fe \cdot Ae \times 10^{-3}$$
- 2)  $Ra$ : くい材から決まる長期許容鉛直支持力 (kN)
- $$fe = \text{くい材の長期許容応力度 (} = F / 1.5 \text{)}$$
- $※F$ : 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)
- $$F = F \cdot (0.80 + 2.5te / r) \text{ かつ } F \leq F_{\text{max}}$$
- $F$ : くい材の許容応力度を決定する場合の基準値  
(STK400→235N/mm<sup>2</sup>、STK490→325N/mm<sup>2</sup>、SEAH590 [STKT590]→440N/mm<sup>2</sup>)
- $te$ : 腐食しを除去した鋼管の肉厚 (mm)
- $r$ : 鋼管の半径 (mm)
- $Ae$ : 腐食しを考慮したくい材の有効断面積 (mm<sup>2</sup>)
4. 適用範囲
- 1) 適用する地盤の種類
- 基礎ぐいの先端付近の地盤:
- 砂質地盤（礫質地盤含む） TACP-0635
  - 粘土質地盤 TACP-0636
- 基礎ぐいの周囲の地盤: 砂質地盤及び粘土質地盤

2) 最大施工深さ (m)

杭本体部径	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4
先端砂質地盤（礫質地盤）	14.85	18.17	21.47	24.79	28.11	34.76	41.40	46.22	51.37
先端粘土質地盤	14.8	18.1	21.4	24.7	28.1	34.7	41.0	45.8	-

3) 適用する建築物の規模

床面積の合計が500,000㎡以下の建築物

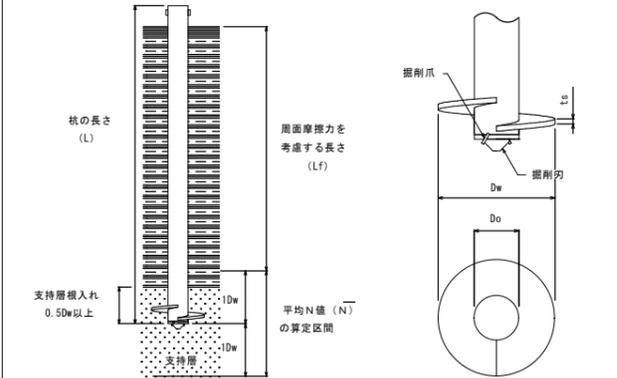
【EAZET（イーゼット）の構造・規格】

1. 東北地区向け杭仕様

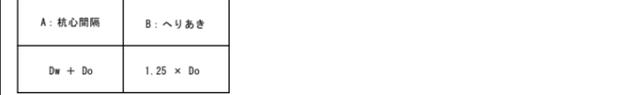
径 Do (mm)	杭本体部			杭先端羽根部		材質
	STK400	STK490	SEAH590 [STKT590]	径 Dw (mm)	厚 ts (mm)	
114.3	6.0	-	-	250	12	SM490A
				300	16	
				340	19	
				300	16	
				350	19	
139.8	6.6	-	-	400	19	SM490A
				350	19	
				400	19	
				350	16	
				450	22	
165.2	-	7.1	-	500	22	SM490A
				400	19	
				500	22	
				400	19	
				570	25	
190.7	-	7.0	-	470	22	SM490A
				500	22	
				570	25	
				470	22	
				550	25	
216.3	-	8.2	<8.2>	600	28	SM490A
				650	28	
				500	22	
				580	28	
				650	28	
267.4	-	8.0	<8.0>	700	28	SM490A
				750	32	
				800 ※1	28	
				600	22	
				700	28	
318.5	-	<7.9>	<12.7>	750	28	SM490A
				700	28	
				750	28	
				700	28	
				750	28	
355.6	-	<7.9>	<12.7>	800	28	SM490A
				800	28	
				800	28	
				800	28	
				800	28	
406.4	-	<7.9 12.7>	<19.0>	880	32	SM490A
				880	32	
				880	32	
				880	32	
				880	32	

※1: N値30まで限定  
※<>の仕様は標準仕様です。ご検討される場合は弊社担当までお問い合わせください。

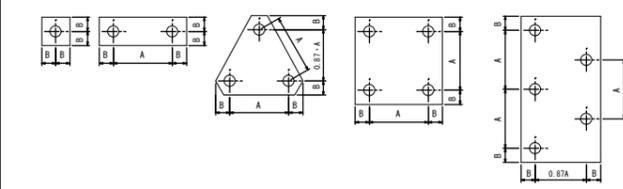
部材	規格
杭本体部	JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管 STK400、STK490 MSTL-0230 国土交通大臣認定 建築構造用テーパー鋼管 NS-490TPP MSTL-0419 国土交通大臣認定 基礎ぐい用高強度鋼管 SEAH590 [STKT590]
杭先端部	JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490A



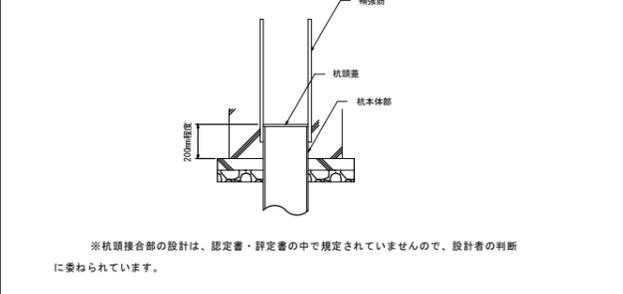
【基礎とフーチング形状例】



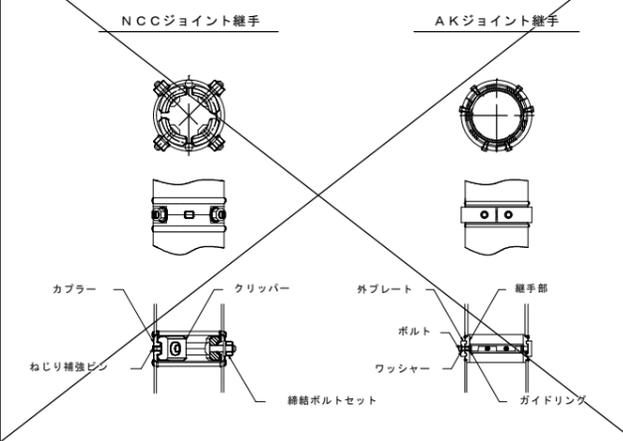
※ Dw: 杭先端羽根部径 Do: 杭本体部径



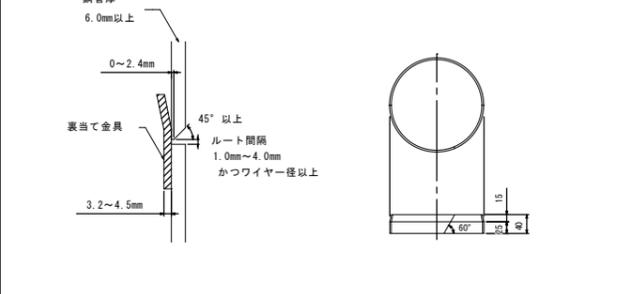
【杭頭接合例】



【継手接続例】



溶接継手



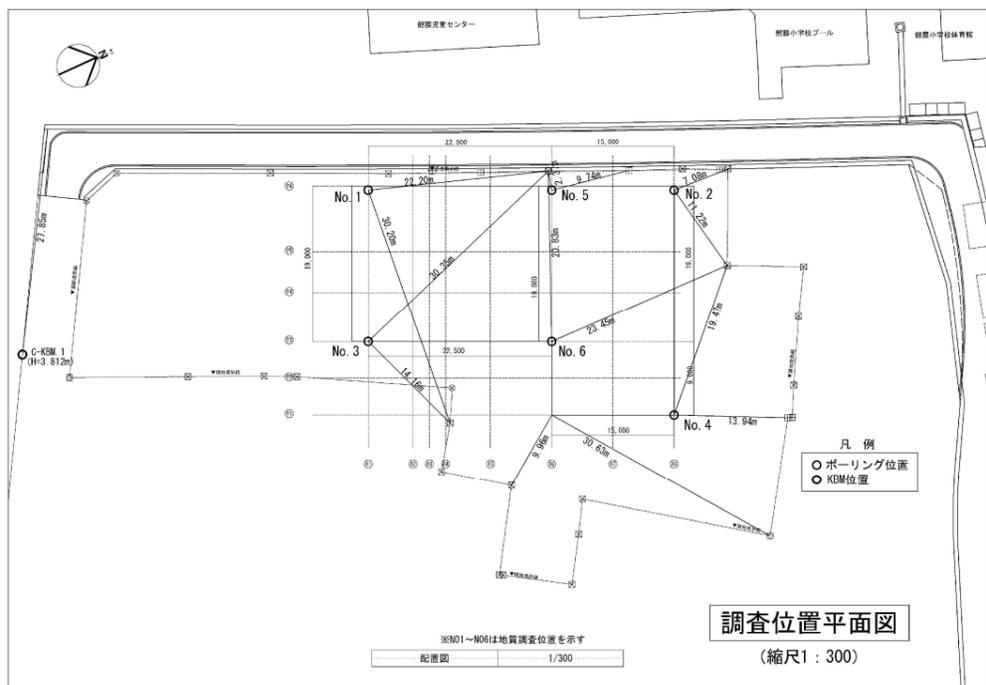
【施工管理項目一覧】

工程	管理項目	管理方法	管理値
杭材の受け入れ	材料寸法	・搬入時に測定検査	・杭径、杭長、肉厚、羽根部、羽根厚に誤りがないこと
	外觀不良・数量	・搬入時に目視確認	・継手部に異常がないこと
回転埋設	芯心からのずれ	・逃げ心棒にて測定	・偏心量±2cm以内
	杭の鉛直性	・水準器で確認	・傾斜 1/100以内 ※気泡が中央にあること
	回転トルク	・施工機械の管理装置（トルク計）	・杭体のねじり強さ以内
溶接継手	杭の鉛直性	・水準器で確認	・傾斜 1/100以内 ※気泡が中央にあること
	接続状況	・目視により確認	・異常なアンダーカット、ピット、割れがないこと
NCC ジョイント	一次締付けトルク	・トルクレンチによる	・ボルトM16→約100N・m ・ボルトM20→約150N・m
	本締め	・シャーレンチによる	・ピンテールの破断、ボルト余長はネジ山2山以上
	共廻り防止	・マーキングで確認	・マーキングのずれ
AK ジョイント	一次締付けトルク	・トルクレンチによる	・締付トルク 90N・m±10%
	本締めトルク	・トルクレンチによる	・締付トルク 180N・m±10%
	締め忘れ防止	・マーキングで確認	・マーキングのずれ
支持層の確認	支持層到達確認	・施工機械のトルク計	・施工回転トルクの変化傾向 ・地盤調査データのN値の推移 ・施工回転トルクの管理目標値
	埋入長さ	・施工機械の深度計	・支持層に0.5Dw以上 かつ設計時に設定された埋入長さ以上
	回転貫入量	・専用紙に記録する	・回転貫入量の管理値による
	杭頭のずれ	・偏心量	・逃げ心棒にて測定

【EAZET（イーゼット）取得済認定、公的評価】

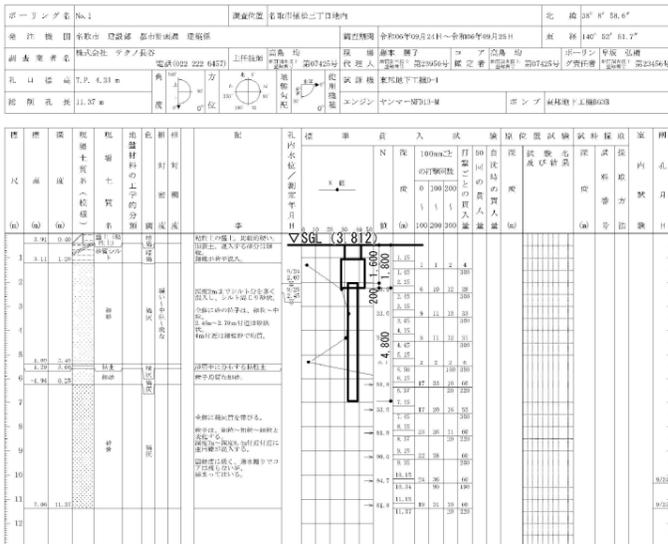
名称	認定番号	取得年月日
国土交通大臣認定 先端羽根付き鋼管杭（名称：スクリーパイルEAZET） （先端地盤：砂質地盤（礫質地盤含む））	TACP-0635	令和4年2月7日
先端羽根付き鋼管杭（名称：スクリーパイルEAZET） （先端地盤：粘土質地盤）	TACP-0636	令和4年2月7日
一般財団法人 日本建築センター認定 管ぐいを用いる無溶接継手（クリッパー式継手）	番号 BCJ評定-FD0045-09	取得年月日 令和4年10月14日
管ぐいを用いる溶接継手（AKジョイント）	番号 BCJ評定-FD0059-03	取得年月日 令和元年6月20日
一般財団法人 ベターリビング認定 スクリーパイルEAZET工法における 引抜き方向の許容支持力 （先端地盤：砂質地盤礫質地盤を含む）	認定区分 一般認定 番号 OBL FP004-07号	取得年月日 平成30年7月25日
一般財団法人 日本建築センター認定 スクリーパイルEAZET工法による 基礎ぐいの引抜き方向の地盤の許容支持力 （先端地盤：粘土質地盤）	番号 BCJ評定-FD0579-01	取得年月日 平成30年4月13日

構造設計者 尾野 剛男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号



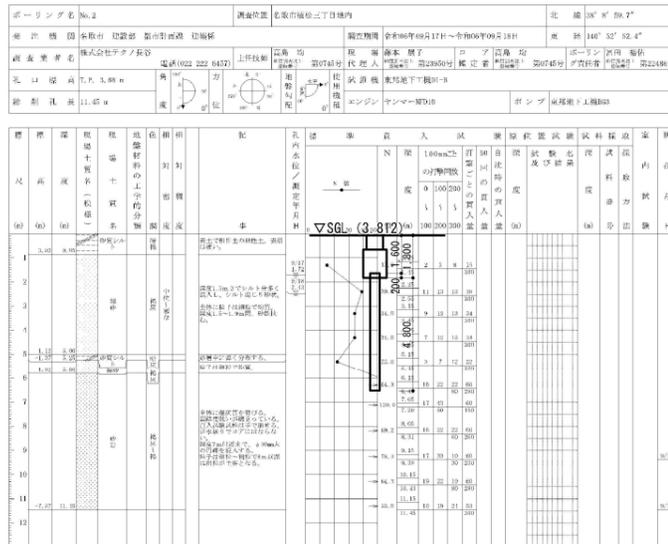
土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 館腰公民館移転改築工事地盤調査  
 調査者 株式会社 折原 幸一  
 調査目的 地盤調査



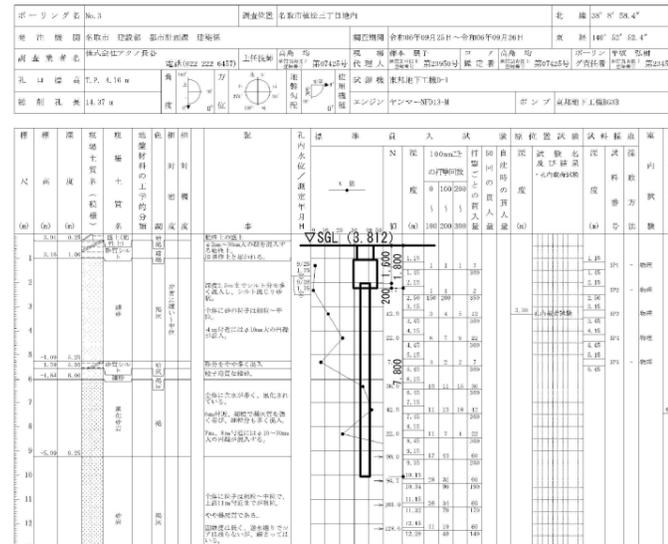
土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 館腰公民館移転改築工事地盤調査  
 調査者 株式会社 折原 幸一  
 調査目的 地盤調査



土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

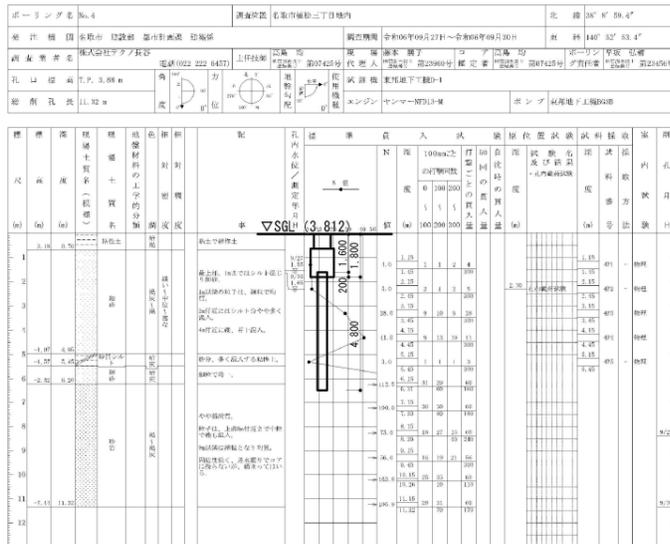
調査名 館腰公民館移転改築工事地盤調査  
 調査者 株式会社 折原 幸一  
 調査目的 地盤調査



構造設計者 尾野 剛男  
 一級建築士 第109298号  
 構造設計一級建築士 第506号

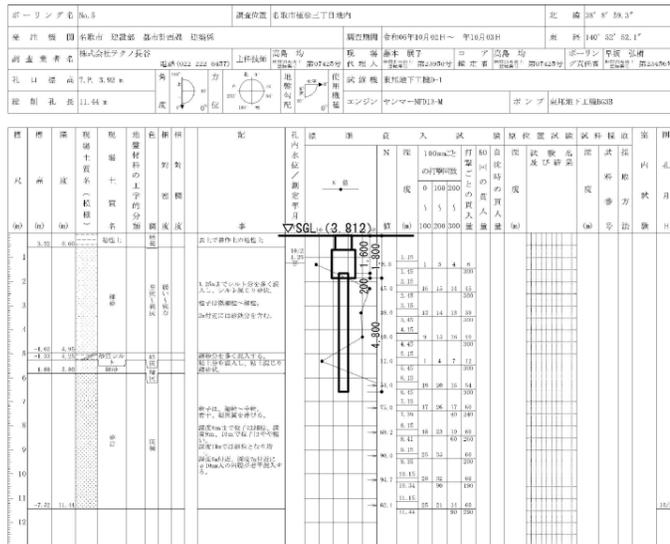
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 館腰公民館移転改築工事地盤調査業務  
調査員または作業員 岩瀬 圭太 氏  
調査目的及び調査対象



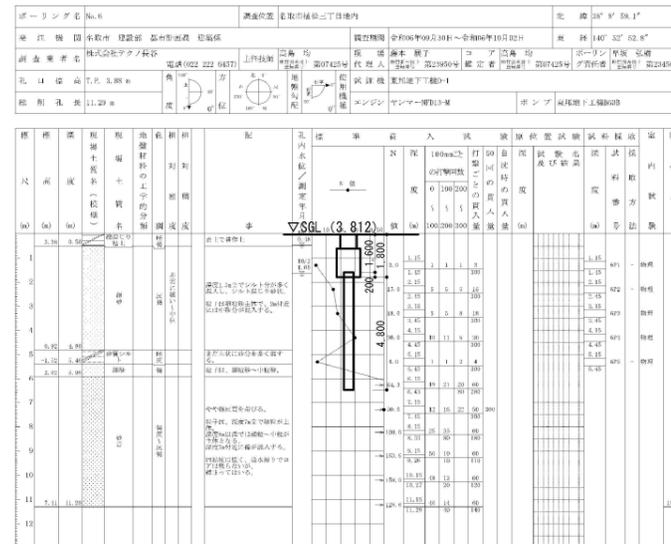
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 館腰公民館移転改築工事地盤調査業務  
調査員または作業員 岩瀬 圭太 氏  
調査目的及び調査対象



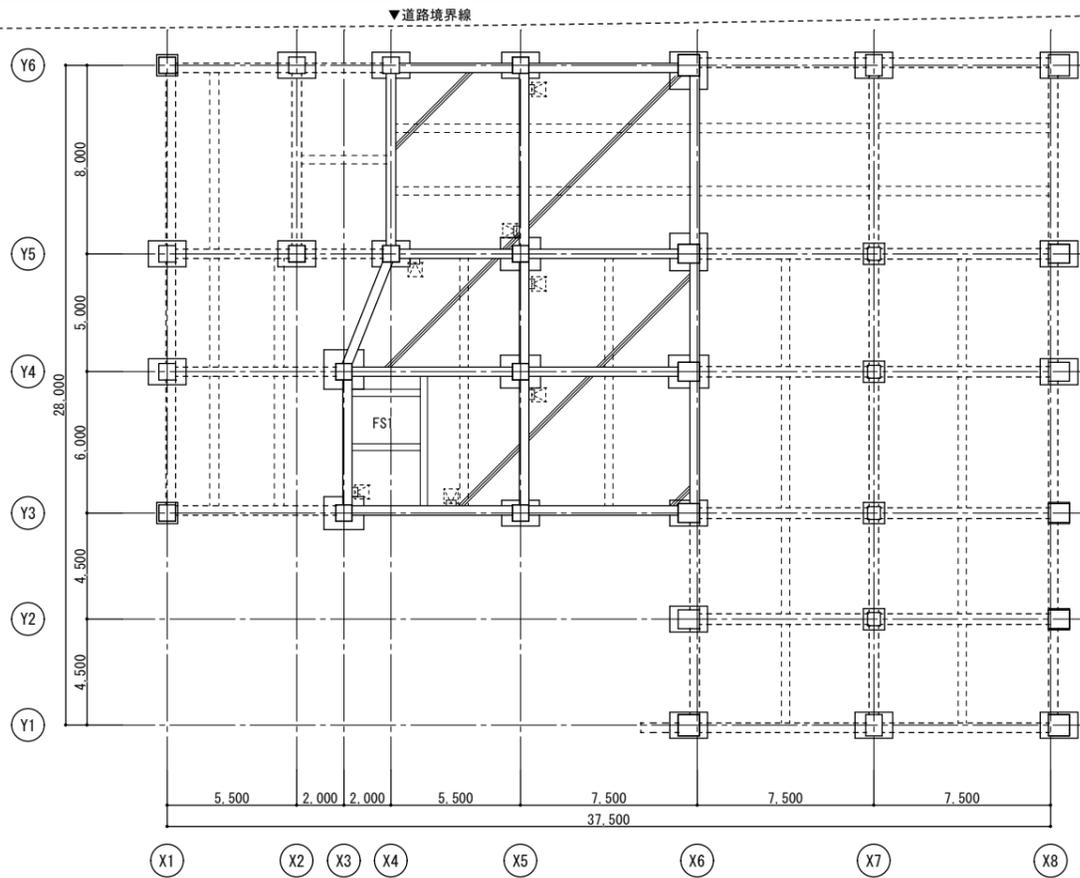
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 館腰公民館移転改築工事地盤調査業務  
調査員または作業員 岩瀬 圭太 氏  
調査目的及び調査対象

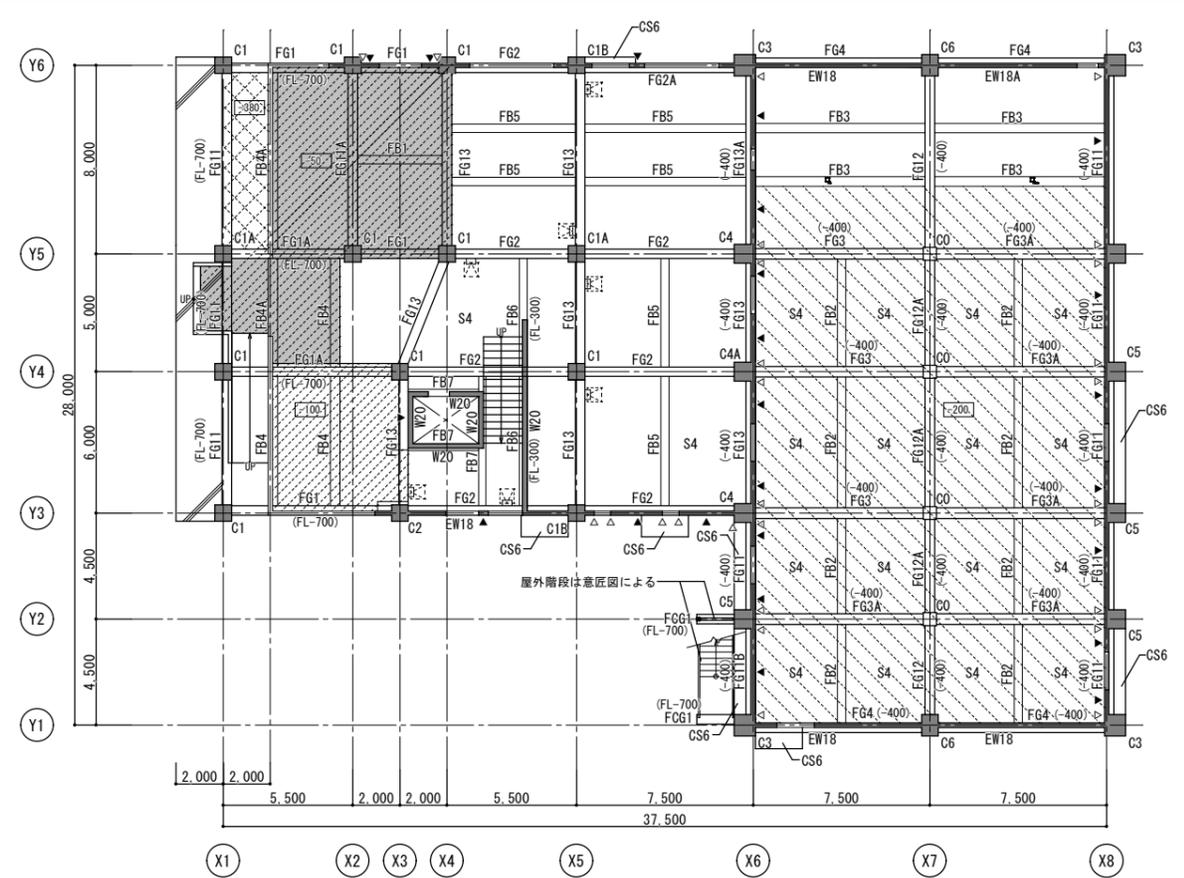


構造設計者 昆野 剛男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号

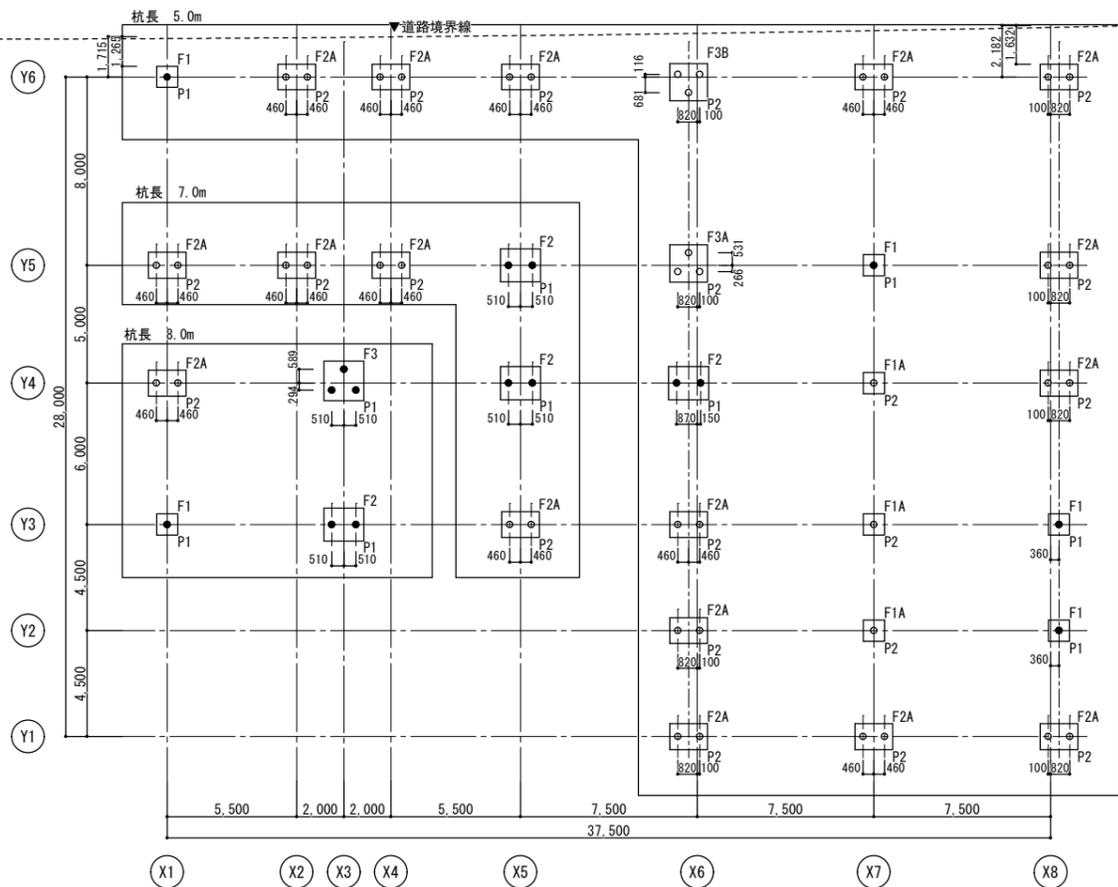
記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館腰公民館改築工事		設計年月	令和7年3月	
	図面番号	A1: NS A3: NS		図面名称	地盤調査資料 (2)		図面番号	S - 11	



ピット伏図 S=1/150

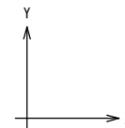


1階伏図 S=1/150



杭伏図・基礎伏図 S=1/150

- 特記なき限り下記に依る。
1. : ピット床範囲 天端=FL-1,850  
床: 土間コン t=120 D10@200シングル
  2. FS1天端=FL-1,250 (GL-750)



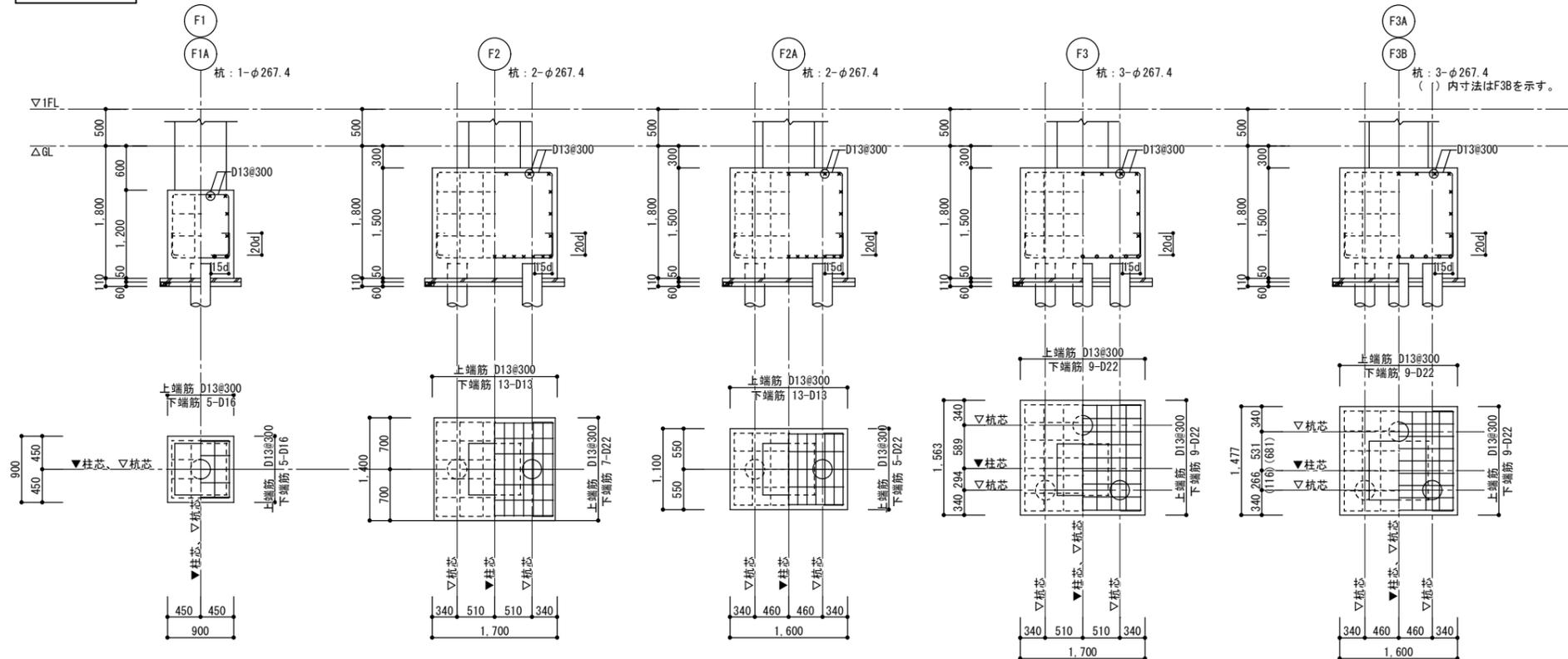
- 特記なき限り下記に依る。
1. 1FL=GL+500
  2. 地中梁天端=FL-200 (GL+300)
  3. ( )内は1FLからの大梁天端レベルを示す。
  4. : W18
  5. スラブ天端=FL-10
  6. 内は1FLからのスラブ天端レベルを示す。
  7. スラブ S3

8. スラブ表示 凡例
- : 土間コン 範囲
  - : スラブレベル=1FL-50
  - : スラブレベル=1FL-100
  - : スラブレベル=1FL-200
  - : スラブレベル=1FL-380
9. スリット凡例
- : 水平スリット
  - : 鉛直スリット

工法: 羽根付き鋼管杭 評定番号ACP-0635 (先端地盤: 砂質地盤)

杭記号	符号	セット数	杭長(m) (全長)	杭種	長期設計 支持力 (kN/本)	杭頭接合法
●	P1	6	5.0	267.4 (STK490 t=12.7) 羽根径750 (SM490A t=32)	949	異形鉄筋 フレア溶接
		4	4.0+3.0			
		6	4.0+4.0			
		33	5.0			
○	P2	8	4.0+3.0	267.4 (STK490 t=12.7) 羽根径650 (SM490A t=28)	713	
		2	4.0+4.0			

基礎リスト S=1/40 1. コンクリート強度はF<sub>c</sub>27とする。

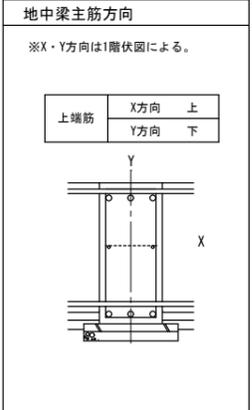


	記号	P1	P2
	杭径	φ267.4	φ267.4
	長期許容支持力	949 (kN/本)	713 (kN/本)
	杭頭補強方法	溶接	溶接
補強鉄筋	種類	SD345	SD345
	呼び径	D22	D22
	本数	8	8
	溶接長	100 mm	100 mm
	かぶり	70 mm	70 mm

符号	C0
B x D	600x600
断面	
主筋	8-D25
HOOP	□-D13@100

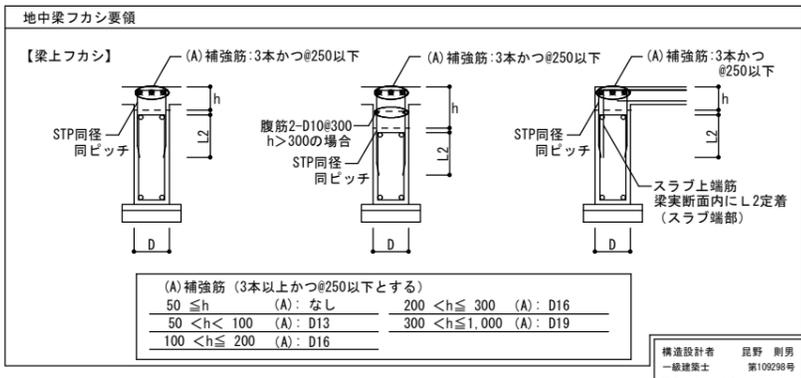
地中大梁リスト S=1/40

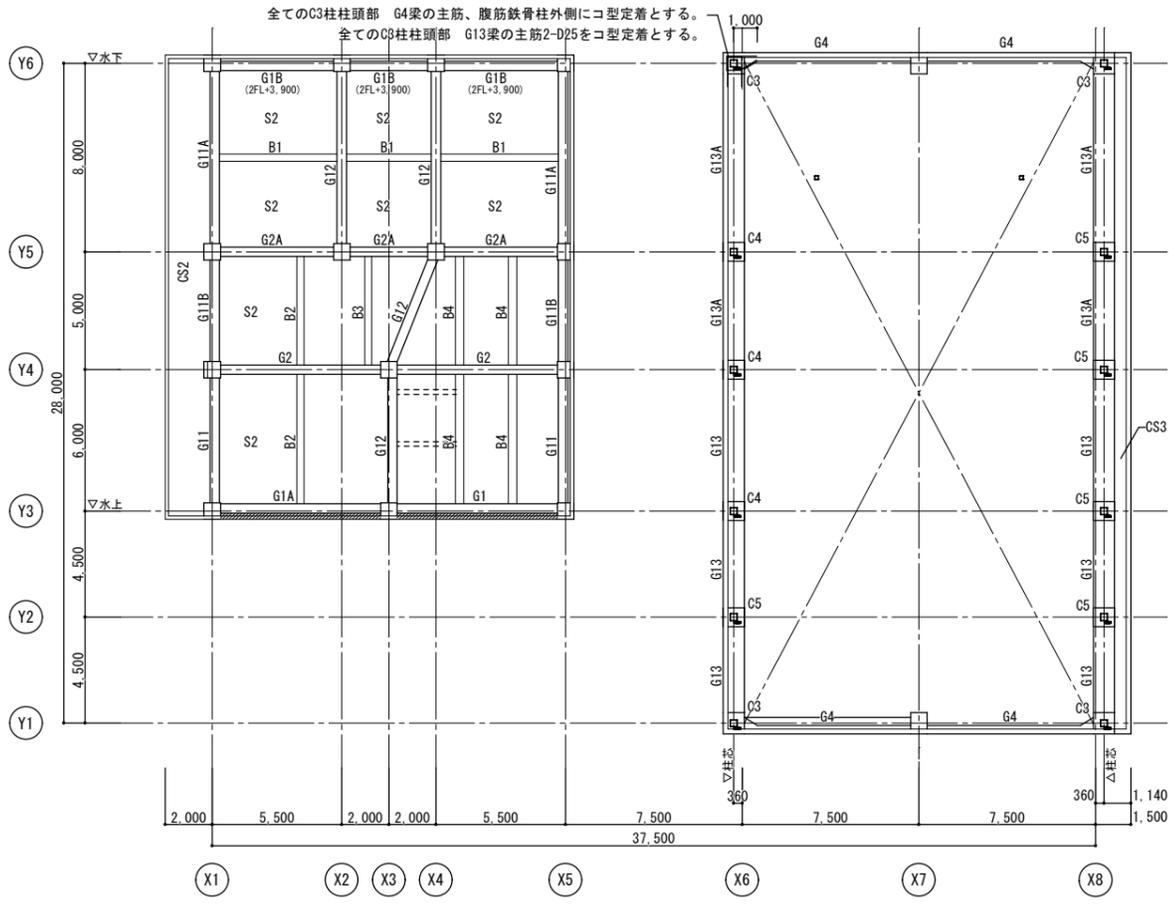
符号	FG1	FG1A		FG2	FG2A	FG3	FG3A		FG4	FG11	FG11A	FG11B	FG12	FG12A	FG13	FG13A	FCG1
断面名	全断面	X1端	中央・X2端	全断面	全断面	全断面	X7端	中央・X6, X8端	全断面	全断面	全断面						
断面																	
b x D	400x1,000	400x1,100		400x1,800	400x1,800	450x1,400	450x1,400		400x1,000	400x1,100	450x1,100	450x1,100	400x1,300	400x1,300	400x1,850	450x1,850	450x1,100
上端筋	4-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	5/5-D25	4/3-D25	4-D25	4/2-D25	5/3-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	5/5-D25	4/3-D25	4-D25	4/2-D25	5/3-D25	4-D25
スターラップ	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@100	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
腹筋/幅止筋	4-D13/D10@1,000	4-D13/D10@1,000		10-D13/D10@1,000	10-D13/D10@1,000	6-D13/D10@1,000	6-D13/D10@1,000		4-D13/D10@1,000	4-D13/D10@1,000	4-D13/D10@1,000	4-D13/D10@1,000	6-D13/D10@1,000	6-D13/D10@1,000	10-D13/D10@1,000	10-D13/D10@1,000	4-D13/D10@1,000



地中小梁リスト S=1/40

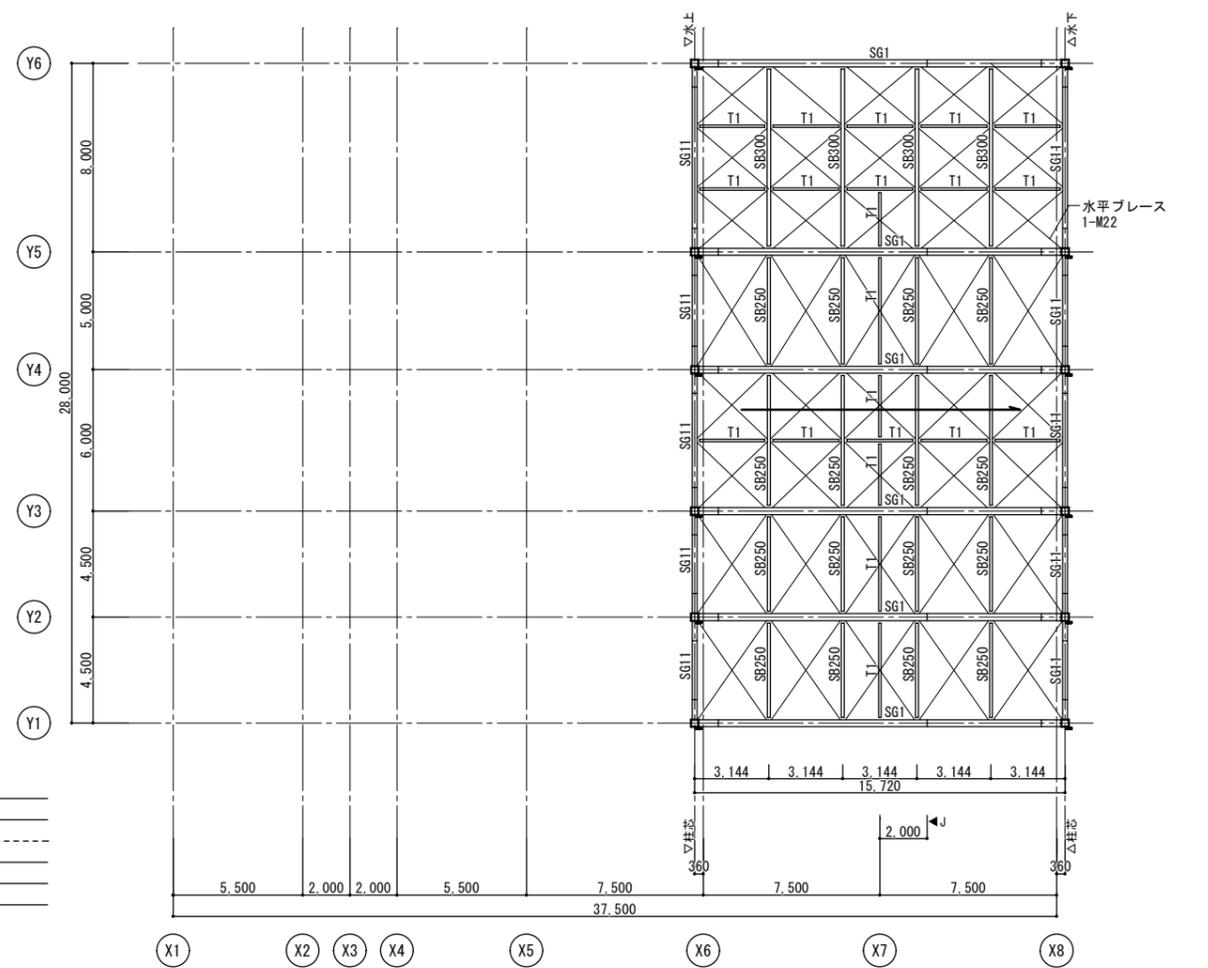
符号	FB1	FB2	FB3		FB4	FB4A		FB5	FB6	FB7
断面名	全断面	全断面	X7端	中央・他端	全断面	Y5端	中央・他端	全断面	全断面	全断面
断面										
b x D	350x500	350x600	400x650		400x700	400x700		350x800	350x1,000	300x1,850
上端筋	3-D22	3-D22	4/2-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3/2-D22	3-D22
スターラップ	□-D10@200	□-D10@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200		□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200
腹筋/幅止筋	—	2-D10/D10@1,000	2-D10/D10@1,000		2-D10/D10@1,000	2-D10/D10@1,000		2-D10/D10@1,000	4-D10/D10@1,000	10-D10/D10@1,000





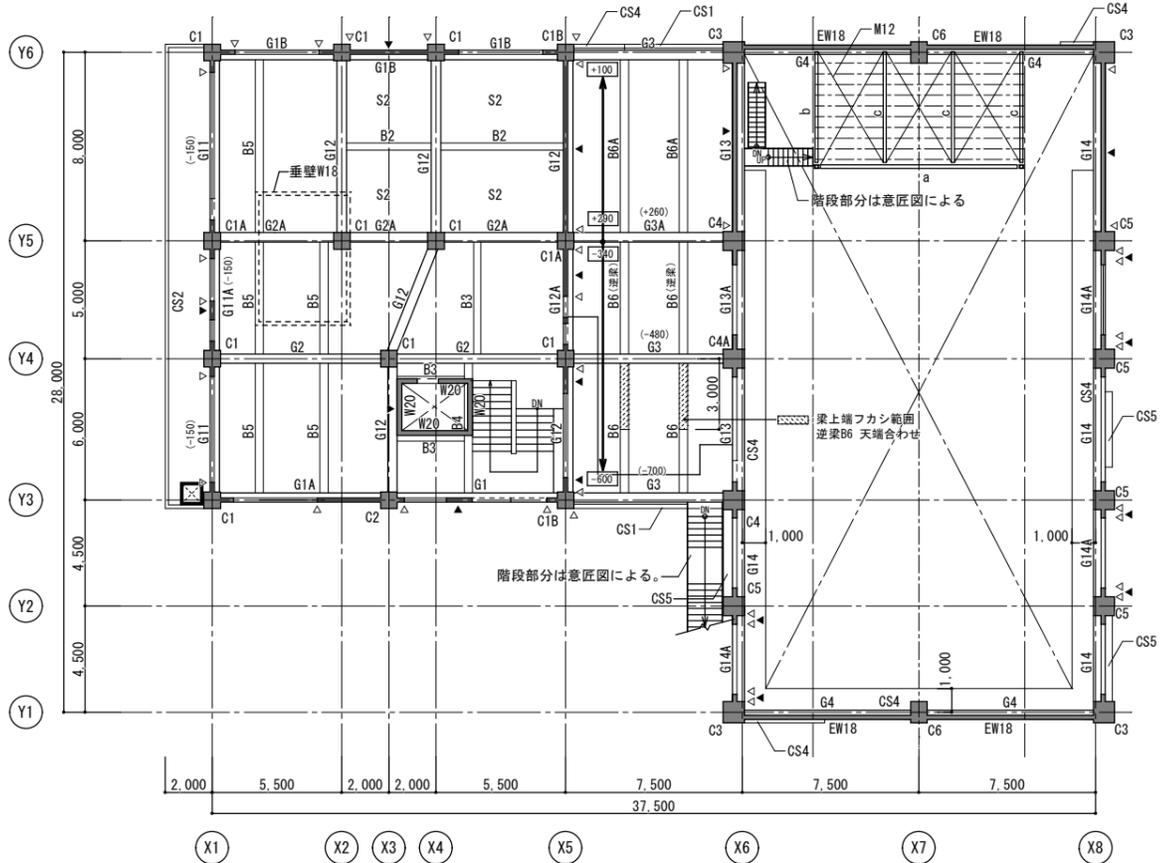
R階伏図 S=1/150

- 特記なき限り下記に依る。
- G4、G13梁天端=2FL+3,900
  - RSL(水上)=2FL+4,450  
RSL(水下)=2FL+4,000
  - ( )内は大梁天端レベルを示す。
  - スラブ S1



鉄骨屋根伏図 S=1/150

- 特記なき限り下記に依る。
- 水上=1FL+8,850 (GL+9,350)  
水下=1FL+9,050 (GL+9,550)
  - 大梁JOINT位置は柱芯より1,000とする。
  - J: 梁JOINT位置を示す。



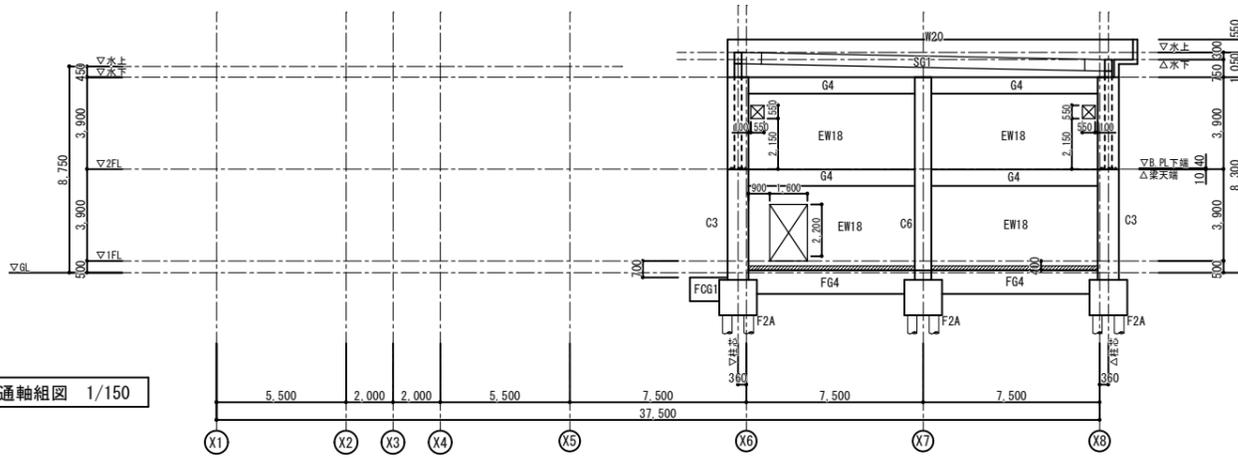
2階伏図 S=1/150

- 特記なき限り下記に依る。
- 2FL=1FL+3,900 (GL+4,400)
  - 梁天端=FL-10
  - ( )内は2FLからの大梁天端レベルを示す。
  - W18
  - スラブ天端=FL-10
  - [ ]内は2FLからのスラブ天端レベルを示す。
  - △: 水平スリット位置を示す。
  - スラブ S1

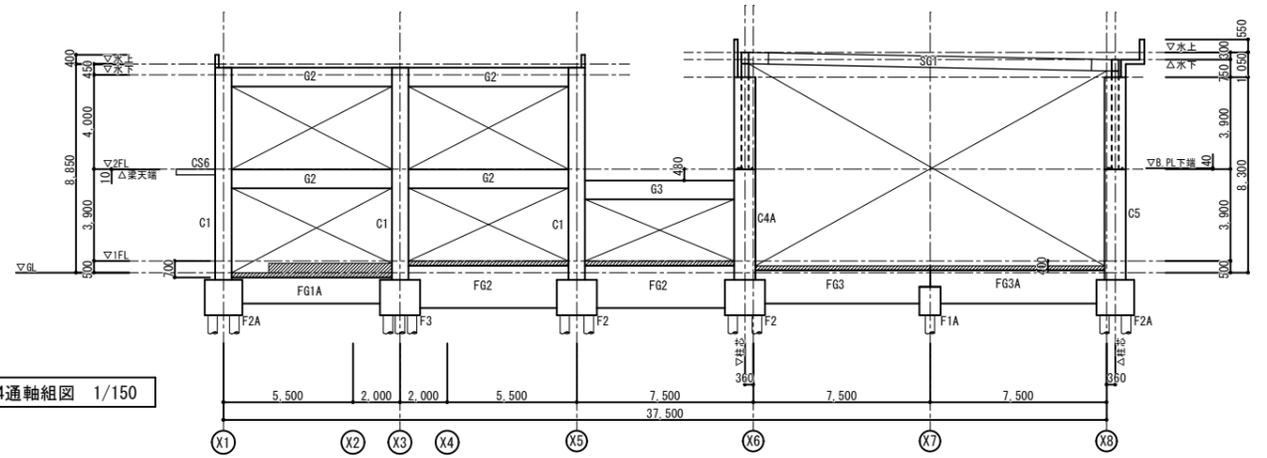
9. スリット凡例  
▼: 水平スリット ▼: 鉛直スリット  
10. 垂壁 : : : : : 1FL+2,800下端

構造設計者 梶野 剛男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号

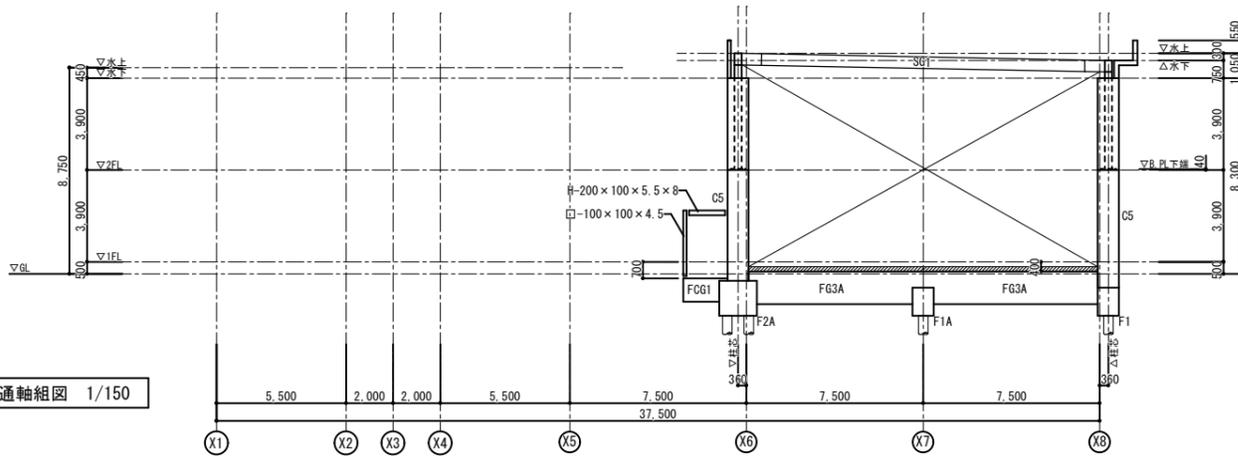
記 号	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
		株式会社 東北線企画	一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	図面名称	2階、R階、鉄骨屋根伏図	図面番号
			図面名称	2階、R階、鉄骨屋根伏図	縮尺	A1:1/150 A3:1/300



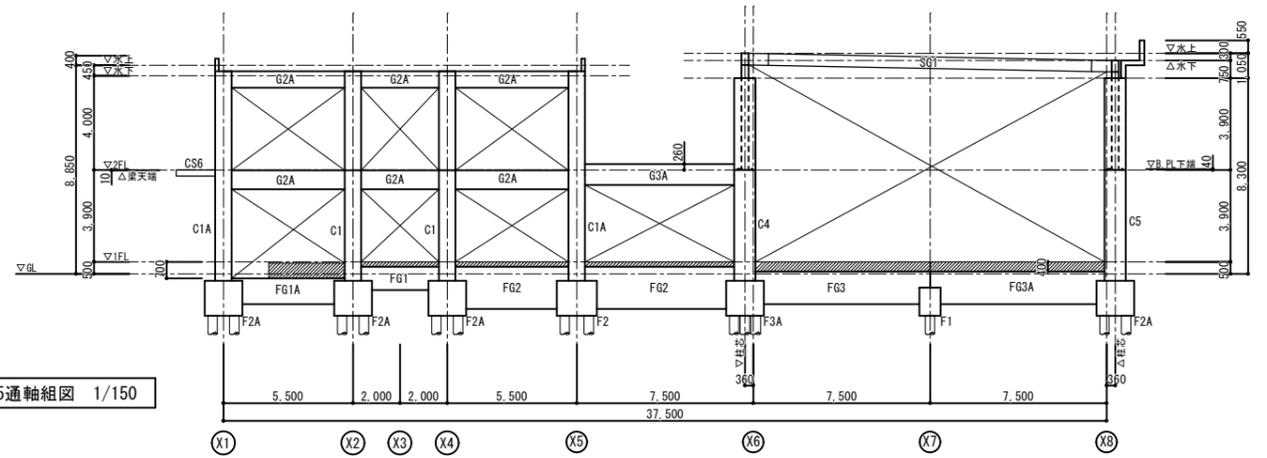
Y1通軸組図 1/150



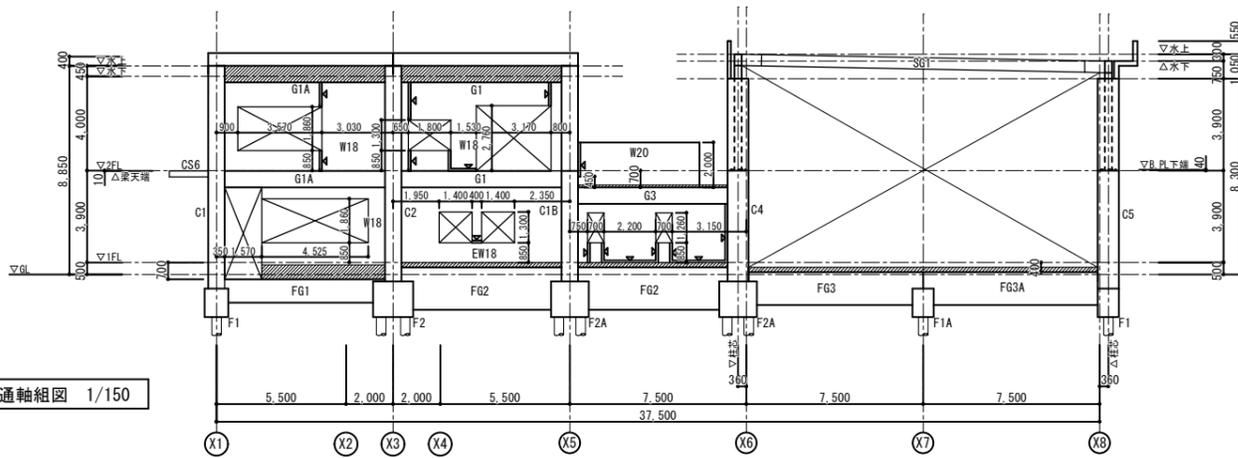
Y4通軸組図 1/150



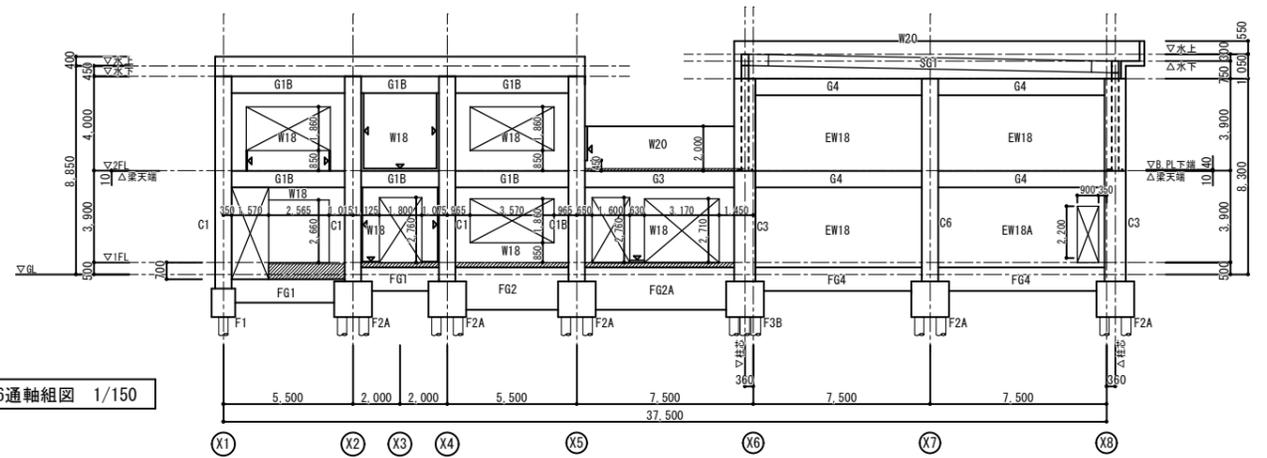
Y2通軸組図 1/150



Y5通軸組図 1/150



Y3通軸組図 1/150

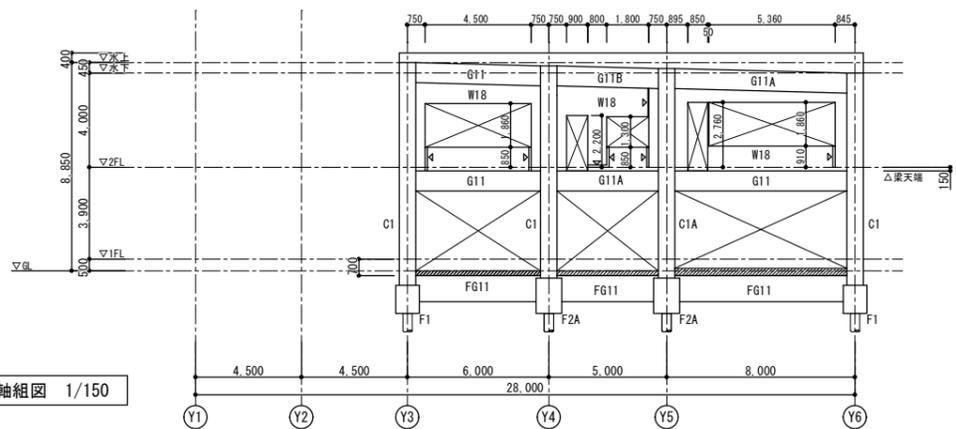


Y6通軸組図 1/150

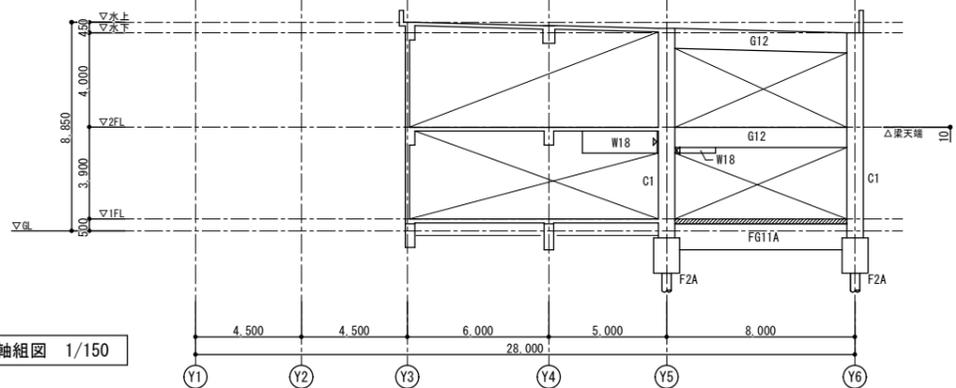
- 特記なき限り下記による。
1. 地中梁天端=IFL-200(GL+300)
  2. ◻は構造スリット(幅:25mm)位置を示す。
  3. 斜線: 床増打ち範囲

構造設計者 昆野 剛明  
 一級建築士 第109298号  
 構造設計一級建築士 第506号

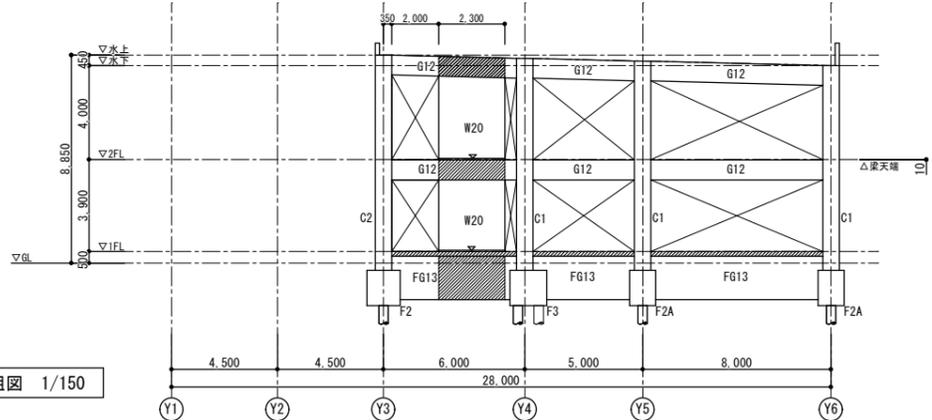
記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館腰公民館改築工事		設計年月	令和7年3月
	図面名称	軸組図(1)		縮尺	A1:1/150 A3:1/300		図面番号	S-15



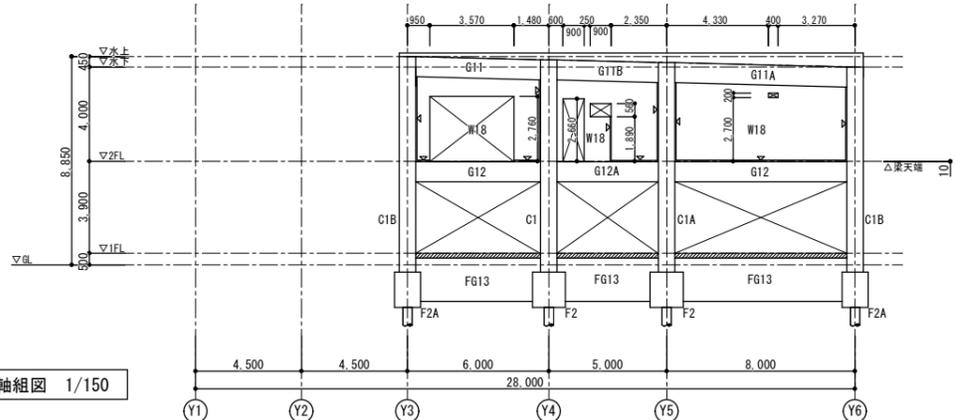
X1通軸組図 1/150



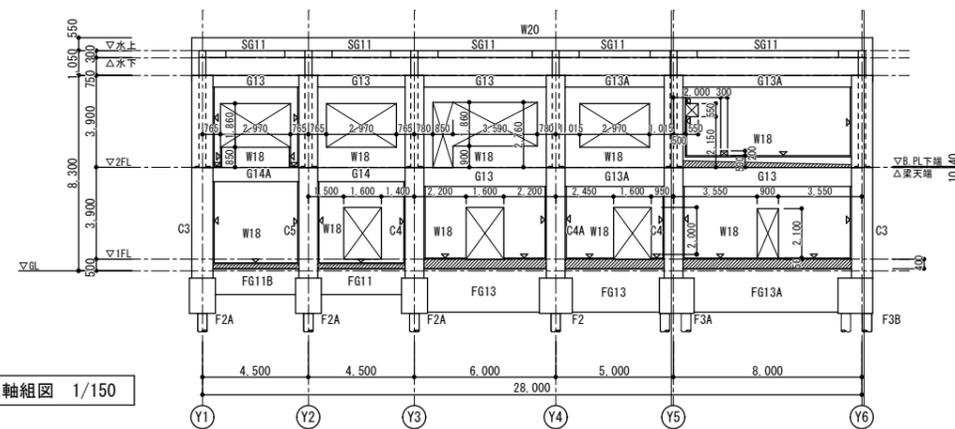
X2通軸組図 1/150



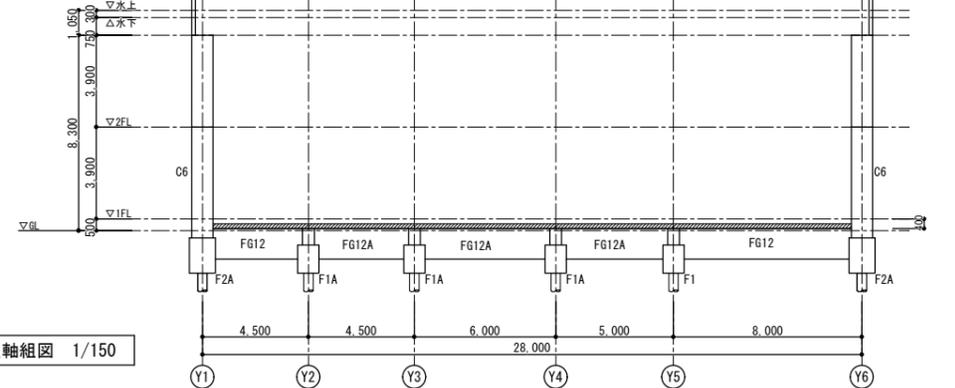
X3~X4通軸組図 1/150



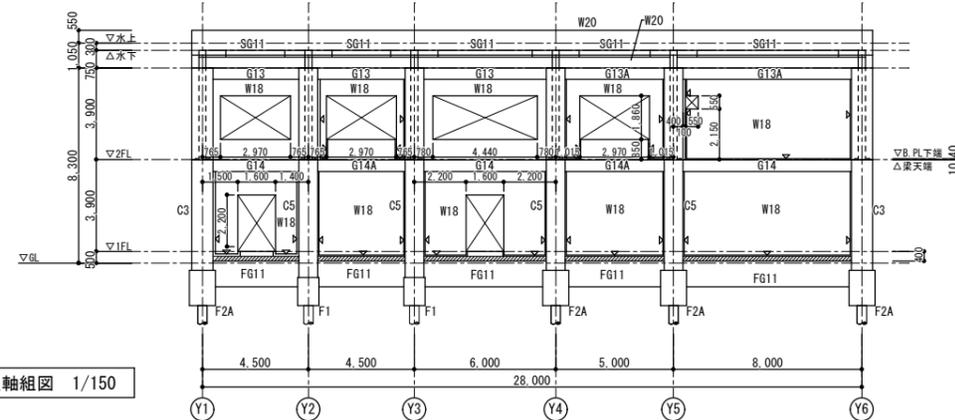
X5通軸組図 1/150



X6通軸組図 1/150



X7通軸組図 1/150



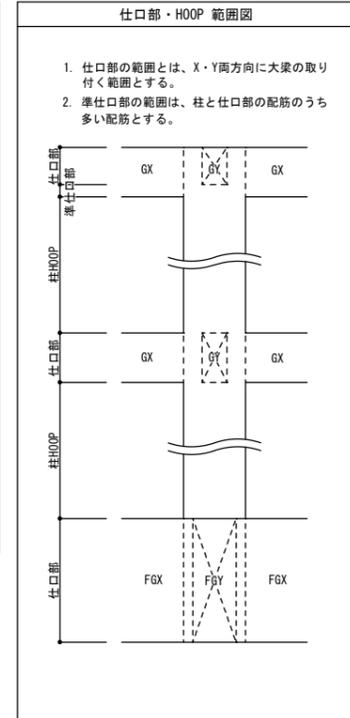
X8通軸組図 1/150

特記なき限り下記による。  
 1. 地中梁天端=1FL-200(GL+300)  
 2. ◁は構造スリット(幅:25mm)位置を示す。  
 3. ◻: 梁増打ち範囲

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	軸組図(2)	図面番号	S-16	縮尺	A1:1/150 A3:1/150
		一級建築士(大匠)第98900号 折原 幸一	印			
		設計者	尾野 剛男	構造設計者	尾野 剛男	第109298号
		構造設計者	尾野 剛男	第109298号	構造設計者	尾野 剛男

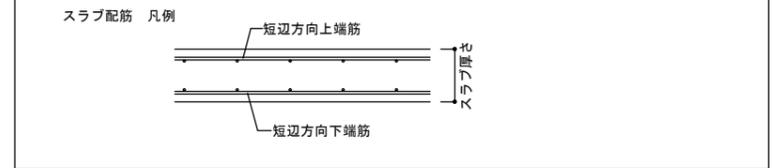
柱リスト S=1/40 鉄骨内部中空とする。

階	符号	C1	C1A	C1B	C2	C3	C4	C4A	C5	C6
2F	断面 Fc=27									
	X x Y	700x700	700x700	700x700	700x700	900x900	900x800	900x800	900x800	700x900
	鉄骨	-	-	-	-	□-300×300×16	□-300×300×12	□-300×300×12	□-300×300×12	-
	主筋	16-D25	18-D25	12-D25	16-D25	16-D25	16-D25	16-D25	20-D25	18-D25
	フープ	□-D13@100	田-D13@100	日-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
1F	断面 Fc=27									
	X x Y	700x700	700x700	700x700	700x700	900x900	900x800	900x800	900x800	700x900
	鉄骨	-	-	-	-	□-300×300×16	□-300×300×12	□-300×300×12	□-300×300×12	-
	主筋	16-D25	18-D25	14-D25	18-D25	18-D25	18-D25	18-D25	20-D25	18-D25
	フープ	□-D13@100	田-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	田-D13@100	□-D13@100	日-D13@100	□-D13@100	□-D13@100

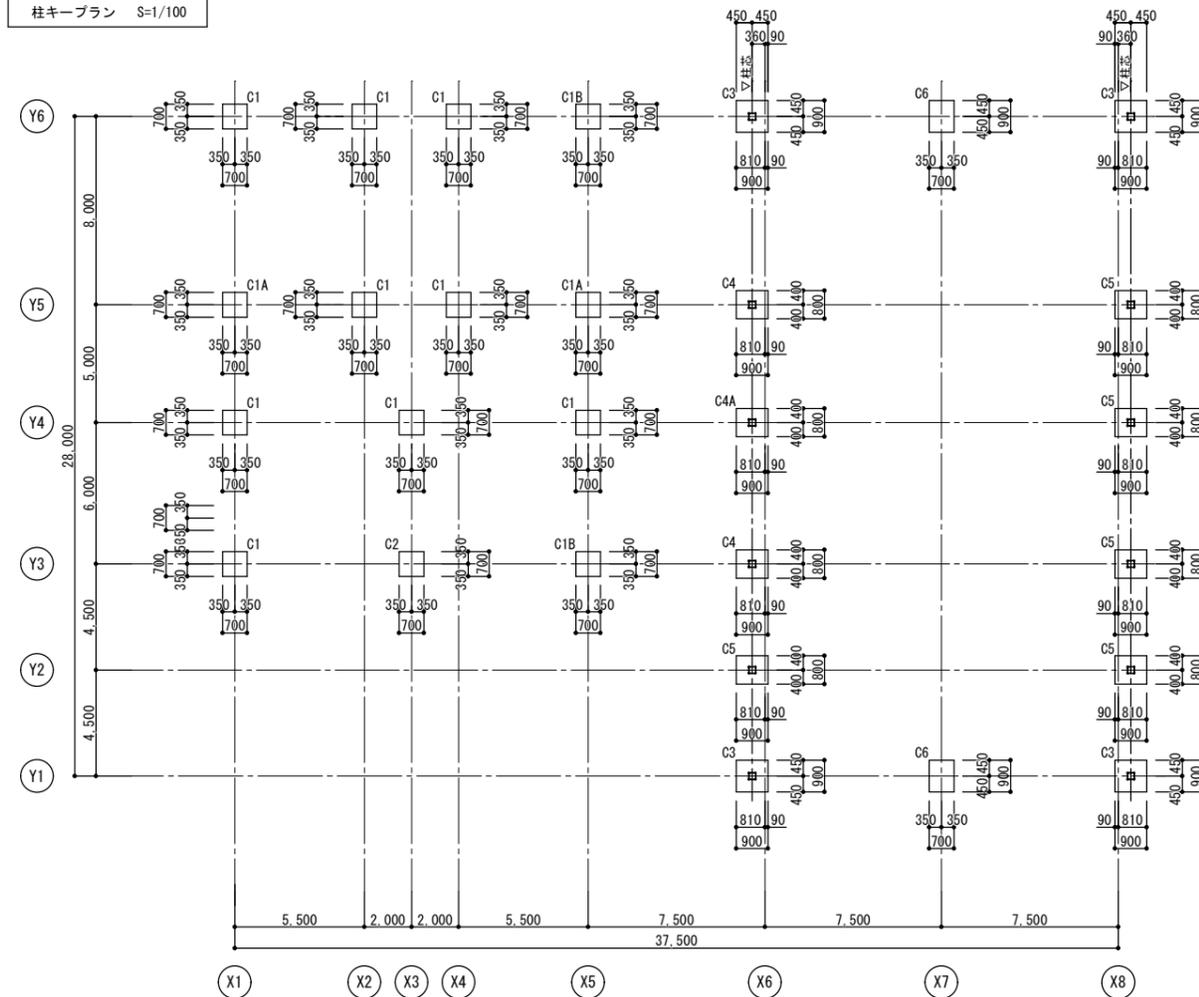


スラブリスト

符号	厚さ	位置	主筋方向 (短辺)		配力筋方向 (長辺)		備考
			全領域	全領域	全領域	全領域	
S1	150	上端筋	D10-D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
S2	150	上端筋	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
S3	160	上端筋	D10-D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
S4	160	上端筋	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
CS1	150	上端筋	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
CS2	元端:250 先端:150	上端筋	D13 @100	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @100			
CS3	200	上端筋	D13 @150	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @150			
CS4	160	上端筋	D13 @150	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @150			
CS5	元端:180 先端:150	上端筋	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
CS6	160	上端筋	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	—
			下端筋	D10 @200			
FS1	250	上端筋	D13 @150	D13 @150	D13 @150	D13 @150	—
			下端筋	D13 @150			



柱キープラン S=1/100



壁リスト 特記なき限り下記に依る  
1. S:シングル D:ダブル CD:チドリダブル 2. 幅止め筋 □-D10@1,000

符号	EW18	EW18A	W18	W20	開口部補強筋
断面					
縦筋	D13@150・D	D13@150・D	D10@200・D	D13@200・D	
横筋	D13@150・D	D13@150・D	D10@200・D	D10@200・D	
開口部補強筋	a	4-D13	2-D13	4-D13	
	b	4-D16	4-D13	4-D13	
	c	1-D13	1-D13	1-D13	
備考	—	—	—	—	

構造設計者 昆野 剛男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号

大梁リスト S=1/40

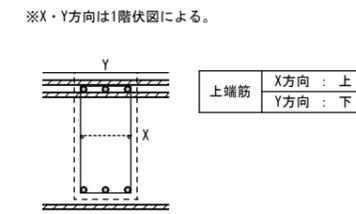
階	符号	G1	G1A	G1B	G2	G2A	G3	G3A	G4
M2F	断面名	X5端・中央	X3端	X1端	中央・X3端	全断面	外端・中央	X3端	全断面
	断面 Fc=27								
	b x D	400x750		400x750		400x750	500x750		400x750
	上端筋	4-D25	4/2-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	スターラップ	□-D13#200		□-D13#200		□-D13#150	□-D13#200		□-D13#200
腹筋/幅止筋	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	
2FL	断面名	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面
	断面 Fc=27								
	b x D	400x750		400x750		400x750	400x750		400x750
	上端筋	4/2-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	スターラップ	□-D13#200		□-D13#100		□-D13#100	□-D13#200		□-D13#150
腹筋/幅止筋	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	

階	符号	G11	G11A	G11B	G12	G12A	G13	G13A	G14	G14A
M2F	断面名	全断面	Y5端	他端・中央	全断面	全断面	全断面	他端・中央	Y5端	全断面
	断面 Fc=27									
	b x D	450x850	450x850		450x850	450x850	900x500	500x750		500x750
	上端筋	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5/2-D255	5-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25
	スターラップ	□-D13#150	□-D13#150		□-D13#100	□-D13#200	□-D13#200	□-D13#200		□-D13#200
腹筋/幅止筋	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	
2FL	断面名	Y4, Y5端	他端・中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面 Fc=27									
	b x D	450x850		450x850	400x850	450x850	500 x 800	500 x 800		500x600
	上端筋	4/2-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25		4/1-D25
	下端筋	4/2-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25		5-D25
	スターラップ	□-D13#100		□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#150	□-D13#100		□-D13#100
腹筋/幅止筋	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000		2-D13/D10#1000	

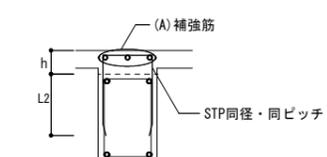
小梁リスト S=1/40

符号	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B6A
断面名	全断面	外端・中央	内端	全断面	全断面	全断面	全断面
断面 Fc=27							
b x D	300x500	300x550		300x550	400x700	350x700	350x700
上端筋	3-D19	3-D19	3/2-D19	3-D19	4-D25	4-D22	4-D22
下端筋	3/2-D19	3/1-D19	3-D19	3/1-D19	4/2-D25	4-D22	4/2-D22
スターラップ	□-D10#200	□-D10#200		□-D10#200	□-D13#200	□-D10#200	□-D10#200
腹筋/幅止筋	—	—		—	2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000	2-D13/D10#1000

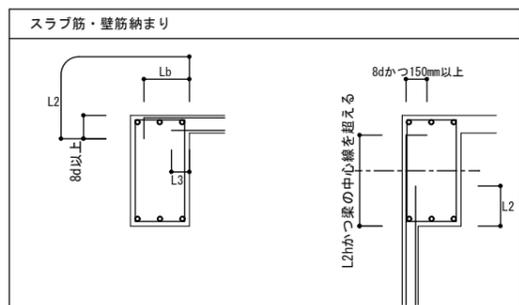
大梁主筋方向要領



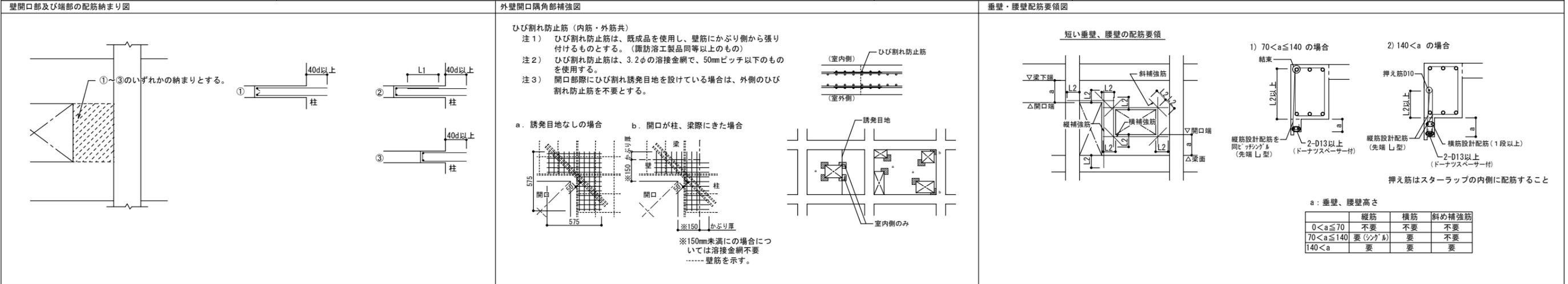
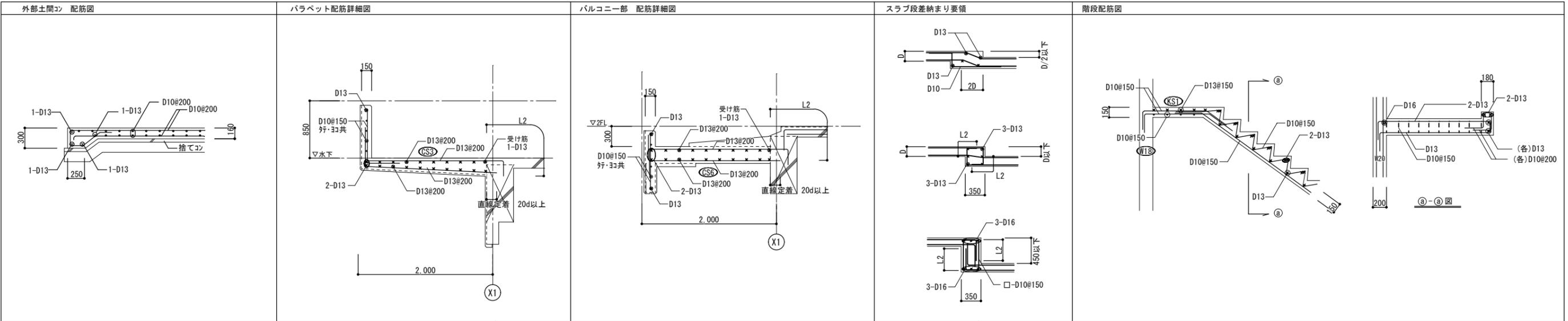
梁上端フカシ部補強要領



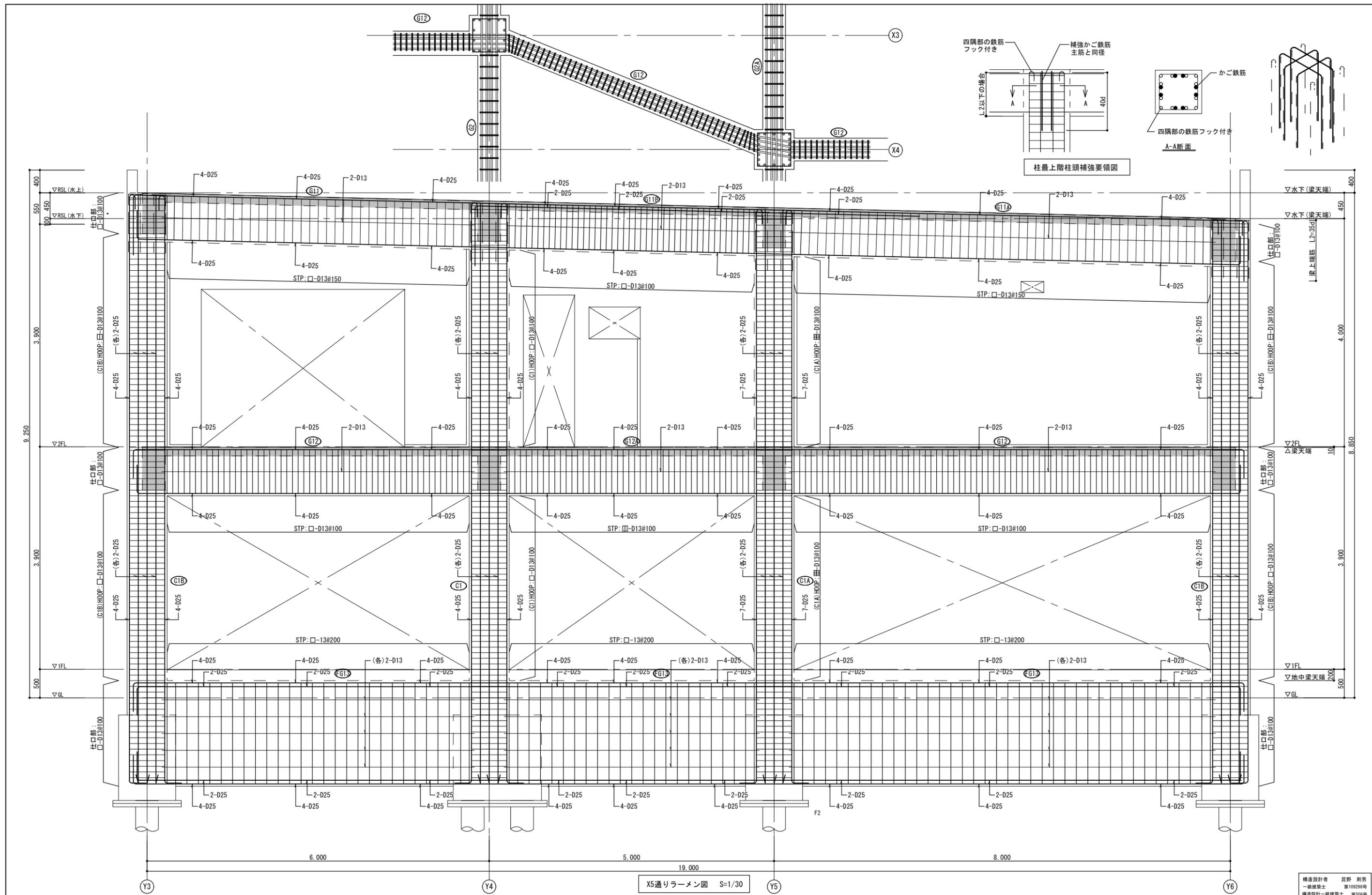
補強筋 (3本かつ#250以下とする)	(A)
50 ≤ h	(A): なし
50 < h < 100	(A): D13
100 < h ≤ 200	(A): D16
200 < h	(A): 梁主筋の1/4サイズダウン



構造設計者 尾野 則男  
一級建築士 第109298号  
構造設計一級建築士 第506号



構造設計者 尾野 則男  
 一般建築士 第109286号  
 構造設計一般建築士 第506号



X5通りラーメン図 S=1/30

構造設計者 昆野 剛男  
 一級建築士 第109298号  
 構造設計一級建築士 第506号

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	製 図 者	株式会社 東北緑企圖 一級建築士 (大匠) 第98900号 折原 幸一	図面名称	X5通りラーメン図	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60
					図面番号	S-20

柱リスト 特記なき限り下記に依る  
 1. 鉄骨柱材質: BCR295  
 2. ダイヤフラム: SN490C

大梁リスト 特記なき限り下記に依る  
 1. 鉄骨材質: SN400B

鉄骨リスト 特記なき限り下記に依る  
 1. 鉄骨材質: SN400A  
 2. HTB材質: S10T

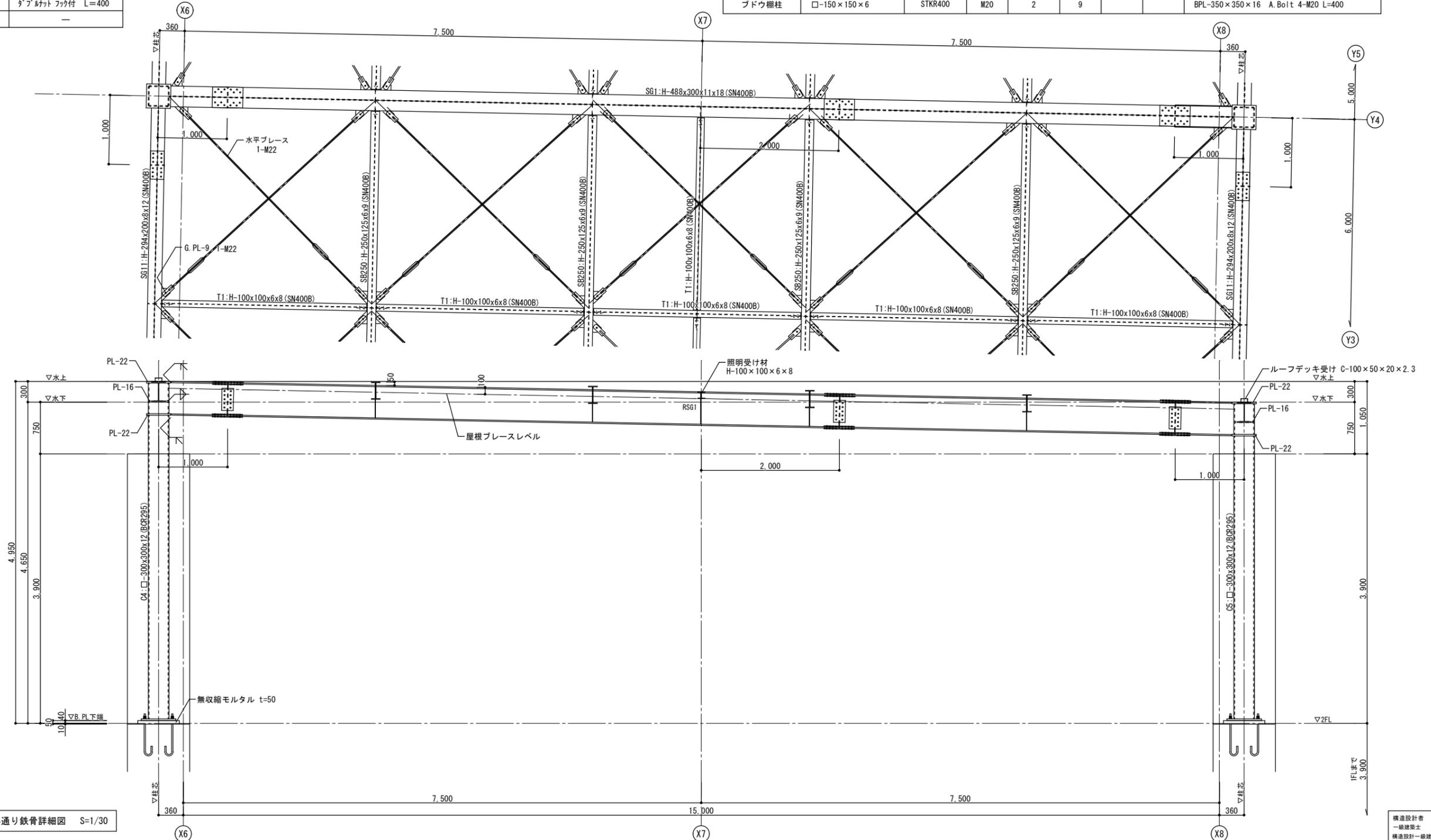
階	符号	C3	C4・C5
2	部材	□-300x300x16	□-300x300x12
	細長比	$\lambda x=7.8, \lambda y=9.1$	$\lambda x=24.7, \lambda y=11.0$
ベースプレート 詳細図			
ベースプレート		B. PL-25x500x500 (SN490)	B. PL-25x500x500 (SN490)
アンカーボルト		4-M20 (STKR400B) ダブルナット フック付 L=400	4-M20 (STKR400B) ダブルナット フック付 L=400
備考			

階	符号	SG1	SG11
R	部材	H-488x300x11x18	H-294x200x8x12
	備考		

大梁・小梁JOINTリスト 特記なき限り下記に依る  
 1. 鉄骨材質: SN400A

部材 (中央)	HTB	FLANGE			WEB		
		n f	SPL - (1)	SPL - (2)	n w	g 2	SPL - (3)
H-488x300x11x18	M22	(チドリ) 8	SPL-12x300x440	2SPL-12x110x440	5	60	2SPL-12x320x170
H-294x200x8x12	M20	6	SPL-9x200x410	2SPL-9x80x410	3	60	2SPL-9x200x170

符号	部材	鉄骨材質	HTB	mW (mW x nW)	GPL	BOLT @		備考
						Pc	Pl	
SB250	H-250x125x6x9		M20	3 x 2	9	60	60	
SB300	H-300x150x6.5x9		M20	3 x 2	9	60	60	
T1	H-100x100x6x8		M20	1 x 2	9	-	60	
水平ブレース	1-M22	SNR400B	M22	1	9	-	-	ターンバックル締め
a	H-300x150x6.5x9		M20	3	9	60		
b	H-250x125x6x9		M16	2	6	60		BPL-300x200x16 A.Bolt 4-M16 L=320
c	H-125x125x6.5x9		M16	1 x 2	9	-	60	BPL-200x200x16 A.Bolt 4-M16 L=320
ブドウ棚根太	□-60x60x2.3 @455	STKR400	M12 (中ボルト)	2	4.5			
ブドウ棚柱	□-150x150x6	STKR400	M20	2	9			BPL-350x350x16 A.Bolt 4-M20 L=400



Y4通り鉄骨詳細図 S=1/30

構造設計者 尾野 剛男  
 一級建築士 第109298号  
 構造設計一級建築士 第506号

# 館腰公民館改築工事

図面 番号	図面名称 (建築図)	図面 番号	図面名称 (建築図)
E-00	表紙・図面リスト	E-26	弱電設備 2階平面図
E-01	電気設備工事特記仕様書	E-27	非常放送設備 系統図・機器姿図
E-02	工事区分表	E-28	非常放送設備 1階平面図
E-03	内部雷設備特記仕様書	E-29	非常放送設備 2階平面図
E-04	受変電設備 単線結線図	E-30	ホール 映像音響設備 系統図・機器姿図
E-05	動力盤結線図・総合監視盤姿図	E-31	ホール 映像音響設備 機器姿図
E-06	電灯盤結線図(1)	E-32	ホール 映像音響設備 平面図
E-07	電灯盤結線図(2)	E-33	研修室1・2 映像音響設備 系統図・平面図
E-08	電灯盤結線図(3)	E-34	研修室1・2 映像音響設備 機器姿図
E-09	電力・弱電引込・電灯設備 外構図	E-35	機械警備設備 系統図・機器姿図
E-10	幹線設備 系統図	E-36	機械警備設備 1階平面図
E-11	幹線・動力(空調電源)設備 1階平面図	E-37	機械警備設備 2階平面図
E-12	幹線・動力(空調電源)設備 2階平面図	E-38	自動火災報知設備 系統図・凡例
E-13	照明器具姿図(一般照明)	E-39	自動火災報知設備 1階平面図
E-14	照明器具姿図(非常照明・誘導灯)	E-40	自動火災報知設備 2階平面図
E-15	電灯設備 1階平面図	E-41	太陽光発電設備 特記仕様書
E-16	電灯設備 2階平面図	E-42	太陽光発電設備 システム系統図
E-17	非常照明・誘導灯設備 1階平面図	E-43	太陽光発電設備 機器姿図
E-18	非常照明・誘導灯設備 2階平面図	E-44	太陽光発電設備 1階平面図
E-19	舞台照明設備 特記仕様書・設備表・系統図・調光装置姿図	E-45	太陽光発電設備 2階平面図
E-20	舞台照明設備 負荷設備 機器姿図	E-46	太陽光発電設備 屋根伏せ図
E-21	舞台照明設備 平断面図		
E-22	コンセント設備 1階平面図		
E-23	コンセント設備 2階平面図		
E-24	弱電設備 系統図		
E-25	弱電設備 1階平面図		

記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 <b>株式会社 東北電企</b> 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一		図面名称 表紙・図面リスト		縮尺 A1:- A3:-
				図面番号 E-00	



工事区分表

- 1. ●印の付いたものを適用する。
2. ●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

Table with 4 columns: Item Name, Summary, Building/Electrical/Mechanical, Remarks. Lists various construction tasks like concrete work, piping, and electrical installations.

Table with 4 columns: Item Name, Summary, Building/Electrical/Mechanical, Remarks. Lists various construction tasks like piping, electrical, and mechanical work.

Table with 4 columns: Item Name, Summary, Building/Electrical/Mechanical, Remarks. Lists various construction tasks like elevator equipment, ventilation, and lighting.

## 内部雷保護システム概要

### 1. 目的

本設備は、建築物内部における重要機器に対して、雷サージによる被害から保護を行うシステムを構築することを目的とする。  
内部雷保護システムはSPDを設置することにより等電位化を図るものとする。その際に適用する規格はJISC5381-11及びJISC5381-21とする。  
また、外部雷保護システムを設置する建物に対しては、基本的に直撃雷に対応するSPDを用いたシステムを構築するものとする。

### 2. 適用範囲

停止することにより業務に重大な支障をきたす機器及び破損が許容されない重要機器は内部雷保護を行うものとする。  
(保護対象機器はMDF、TV、放送アンプ、インターホン親機、セキュリティ親機、及び電源系統すべて)  
保護対象機器への雷電流の侵入路となる電力系統、通信系統に必要な内部雷保護を行う。(適用回路は下表を参照)

- ・ 落雷時にアースより侵入する直撃雷電流
- ・ 誘導雷サージの遮蔽効果がない建物外部より引き込まれる電力及び通信回路

### 3. 設置系統

#### 3.1. 電力系統

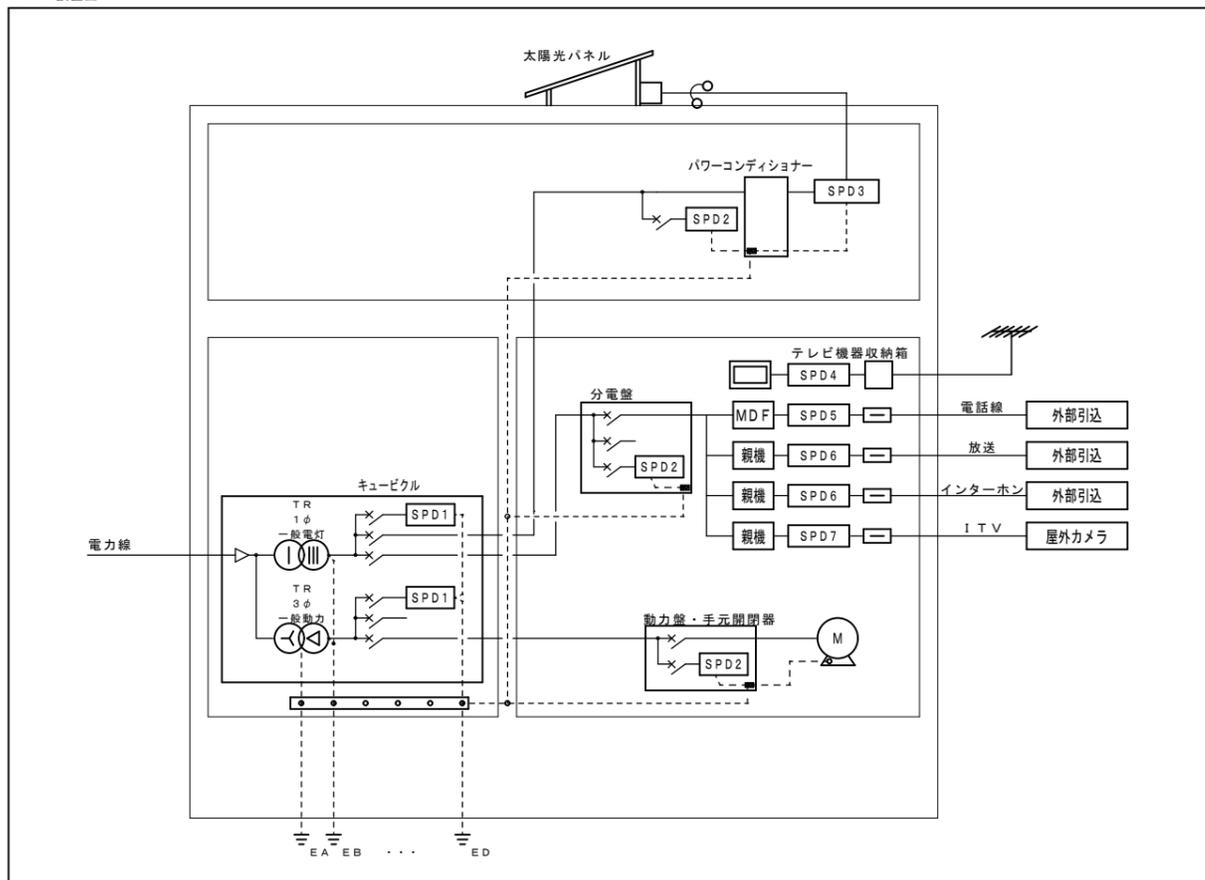
トランス二次側に直撃雷に対応するクラス1+2複合SPDを設置する。また各低圧盤に誘導雷に対応するクラス2SPDを設置する。  
両者はエネルギー協調がとれたものを使用すること。それにより直撃雷電流が発生させる過電圧を低減するものとする。

#### 3.2. 通信系統

各保護対象の回路に適合するSPDは可能な限り保護対象機器の直近に設置する。  
またSPDは直撃雷に対応するカテゴリD1又は誘導雷に対応するカテゴリC3を状況に応じて選定するものとする。

SPD種別	配線種類	設置場所	工事区分	適用	数量	備考
1	低圧交流配線	トランス二次側	トランス二次側(重要負荷)	○	1	1φ3W100/200V
				○	1	3φ3W200V
2	低圧交流配線	動力・分電・制御盤主幹一次側	分電盤	○	5	1φ3W100/200V
			動力盤・手元開閉器	○	2	3φ3W200V
3	低圧直流配線	パワーコンディショナー	パワーコンディショナー	○	2	DC100V
4	TV	弱電端子盤(2T-1)	UHF・BS・CSアンテナ	○	1	
5	電話回線	MDF(1T-1)	外部より引き込む回線	○	30	
6	放送	AMP	外部より引き込む回線	○	1	
6	インターホン	弱電総合盤	外部より引き込む回線	○	1	
7	ITV	弱電総合盤	接地極間	-	-	

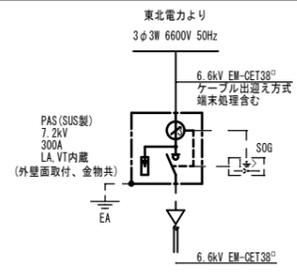
SPD設置図



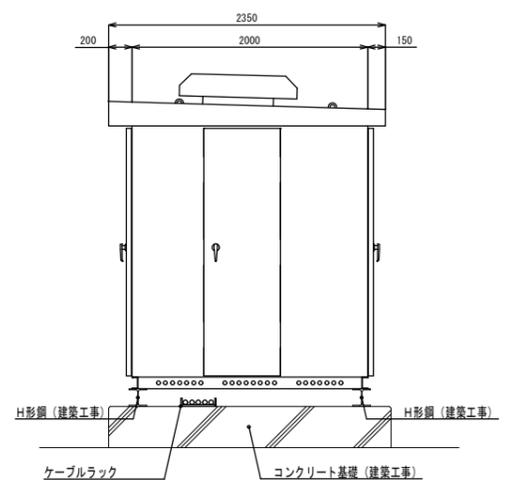
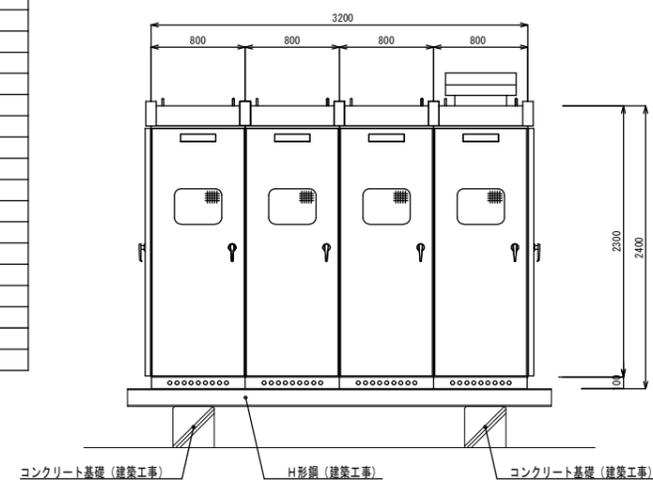
SPD参考図

記号	凡例	回路図	性能
SPD <sub>1</sub>			<p>避雷器方式: 火花ギャップ+酸化亜鉛素子 SPDクラス: クラス1+2複合 (SPD1a)                      続流遮断性能 (R・T~N間): 50kA                      インパルス雷電流 (R・T~N間): 50kA/1線 (10/350μs)                      電圧防護レベル (R・T~N間): 2.5kV (SPD1b)                      続流遮断性能 (N~アース間): 100A                      インパルス雷電流 (N~アース間): 100kA/1線 (10/350μs)                      電圧防護レベル (N~アース間): 1.5kV                      避雷器形式: SPD故障表示・故障出力接点・エネルギー脱機能を有すること                      保護形式: SPDはN-PEギャップを有し、故障時はMCCBで遮断すること                      参考型式: (SPD1a) エースライオンブロックM1/255FM                      + (SPD1b) エースライオンギャップM255FM</p>
SPD <sub>2</sub>			<p>避雷器方式: 酸化亜鉛素子 SPDクラス: クラス2 (SPD2a)                      公称放電電流: 20kA (8/20μs)                      電圧防護レベル: 1.25kV (20kA (8/20μs) 時の値) (SPD2b)                      公称放電電流: 20kA (8/20μs)                      電圧防護レベル: 1.5kV (20kA (8/20μs) 時の値)                      避雷器形式: SPD故障表示・故障出力接点・エネルギー脱機能を有すること                      上位のクラス1SPDとのエネルギー協調がとれていること                      保護形式: SPDはN-PEギャップを有し、故障時はMCCBで遮断すること                      参考型式: (SPD2a) エースライオンガードS275FM                      + (SPD2b) エースライオンギャップC/SFM</p>
SPD <sub>3</sub>			<p>避雷器方式: 酸化亜鉛素子 SPDクラス: クラス2                      公称放電電流: 12.5A (8/20μs)                      電圧防護レベル: 4kV (12.5kA (8/20μs) 時の値)                      避雷器形式: SPD故障表示・故障出力接点・エネルギー脱機能を有すること                      SPD故障時バイパス回路及びヒューズ内蔵のこと                      参考型式: エースライオンガードMYPVSC11000FM</p>
SPD <sub>4</sub>			<p>SPDクラス: カテゴリD1                      インパルス雷電流: 2.5kA (10/350μs)                      電圧防護レベル: 230V (2.5kA (10/350μs) 時の値)                      周波数範囲: 5~2400MHz                      参考型式: デーンゲートGFFTV</p>
SPD <sub>5</sub>			<p>SPDクラス: カテゴリD                      インパルス雷電流: 2.5kA (10/350μs)                      電圧防護レベル: 500V (2.5kA (10/350μs) 時の値)                      (LSA端子用・1ユニット10回線対応)                      避雷器形式: SPD故障表示を有すること、LSA (クローネ) 端子                      多線用SPDを用いて省スペースを図ること                      参考型式: デーンラビッドLSA</p>
SPD <sub>6</sub>			<p>SPDクラス: カテゴリD                      インパルス雷電流: 2.5kA (10/350μs)                      電圧防護レベル: 66V (2.5kA (10/350μs) 時の値)                      避雷器形式: SPD劣化検出機能を有すること                      SPD故障時復旧用バイパス回路を有すること                      4芯用 (DC24Vの場合)                      参考型式: プリッツダクターXT</p>
SPD <sub>7</sub>			<p>SPDクラス: カテゴリD2                      公称放電電流: 10kA (8/20μs)                      電圧防護レベル: 650V (10kA (8/20μs) 時の値)                      周波数帯域: 300MHz                      参考型式: DGA BNC VC1D</p>

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	内部雷設備特記仕様書	図面番号	E-03	縮尺	A1:N.S A3:N.S



略号	名称	備考
PAS	高圧集中開閉器	
CH	ケーブルヘッド	
VCT	電力需給用計器用変成器	電力会社
Wh	電力需給用計量器	電力会社
LBS	高圧交流負荷開閉器	
PF	限流ヒューズ	
PC	高圧カットアウト	
VT	計器用変圧器	
CT	変流器	
T	変圧器	
SR	直列リアクトル	
SC	高圧進相コンデンサ	
V	電圧計	
A	電流計	
MCCB	配線用遮断器	
LGR	漏電火災警報器	
ZCT	零相変流器	
F	低圧ヒューズ	
▲	警報接点	
⊗	LEDランプ	



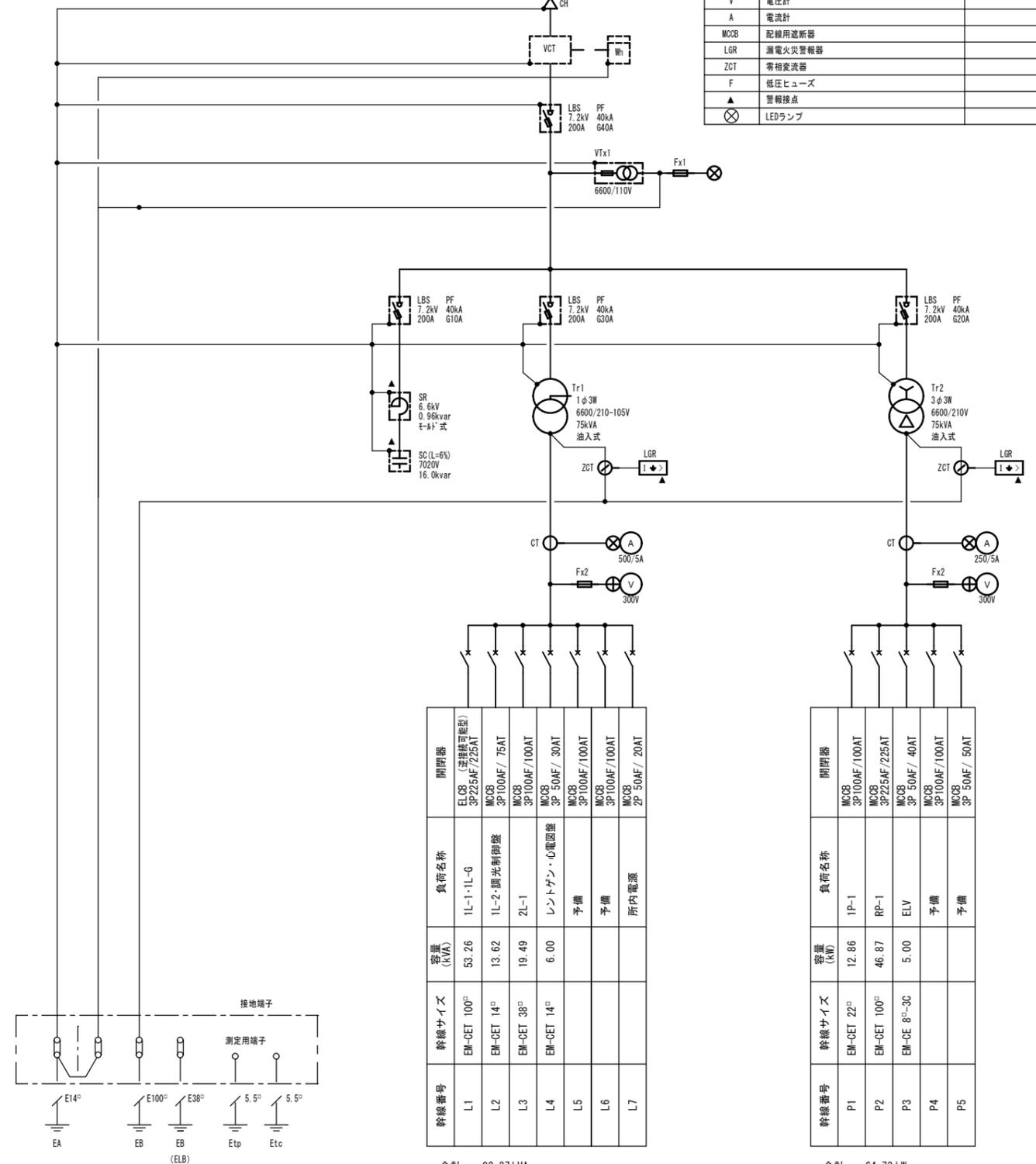
図名 高圧受電盤 高圧コンデンサ盤 低圧電灯盤 低圧動力盤

キュービクル参考姿図 S=1/30  
屋外・防水（指定色仕上）

※ 形状及び寸法は参考とする。

注記

- 製作仕様
  - 箱体
    - 屋外型指定色焼付塗装仕上げ、扉は全て鍵付とし100°以上開くものはストッパー付とする。
  - 室内照明
    - ドアスイッチ連動、一斉点灯
  - 換気装置
    - サーモスイッチによる自動運転(箱体外部から点検、交換可能)とする。
    - 扉を開放した状態で充電部が露出しない構造とする事。
    - 防虫対策として開口部には16メッシュ金網(SUS)を設置する事。
    - 製作提出時には耐震計算書、換気量計算書、保護協調曲線を添付する事。
  - 外部ケーブルの接地は全て集合端子台とする事。
  - 各ブレーカ毎に電圧色別による幹線番号、幹線サイズ、スイッチ番号を記入、銘板を取付けること。
  - 充電部はアクリルカバーで保護する事。
  - 変圧器等の高圧端子には接続キャップを取付ける事。
  - 配線用遮断器二次側はケーブル用端子台を設置する事。
  - 予備スペースはフラッシュプレート(配電盤と同色)を取付ける事。
  - 低圧配線接続部には色別絶縁キャップを使用する事。
  - その他変圧器と低圧母線との接続箇所には、フレキ導体を使用すること。
  - 低圧配電盤は外部接続端子付とする。(前面及び内部通路から接続・点検が可能とする)
  - 変圧器はトッランナー(第三次判定基準適合品)、ダイヤル温度計・防振ゴム付きとする。
  - コンデンサは圧力警報接点付きとし、異常発生時は負荷開閉器を遮断できる機構とする。
  - 外部警報移相接点端子付きとする。(事務室警報盤へ)
  - 室内保守用コンセント付きとする。
- 短絡及び電線保護協調は電力会社短絡遮断容量計算書を基準に各機器、電路の電氣的機械的強度を設定するものとする。
- キュービクル姿図の寸法は参考とする。
- 消火器(ABC粉未4型以上)1台を設置すること。(収納箱共)
- 法令にともなう表示を行うこと。(['危険']表示等)
- 銅帯には温度シールを貼ること。(65°・105°の2枚)
- 表示灯・ランプ類はLEDとする。
- 盤名称板はアクリル製(彫刻)とする。
- 雨水等の侵入対策として防噴流対策板、遮風板等を設けること。
- キュービクル内保守コンセントは接地付2P15A×2を1箇所以上設ける。
- 低圧電灯盤(1)に、『電気保安協会絶縁監視用機器』が後付けで設けられるような木板を設置する。また、木板付近にコンセント(接地付2P15A×2)を設ける。
- アンカーボルトはステンレス製とする。
- LBS遮断、及びSC(進相コンデンサ)、SR(直列リアクトル)異常の故障表示を設置する。
- 小動物侵入、防虫対策として開口部にはメッシュ金網(SUS)等、配線筒間には充填剤等で対策を行う。



開閉器	負荷名称	容量 (kVA)	幹線サイズ	幹線番号
ELCB (準接続可動型) 3P/225AF/225AT	IL-1・IL-6	53.26	EM-GET 100 <sup>φ</sup>	L1
MCCB 3P/100AF/75AT	IL-2 調光制御盤	13.62	EM-GET 14 <sup>φ</sup>	L2
MCCB 3P/100AF/100AT	2L-1	19.49	EM-GET 38 <sup>φ</sup>	L3
MCCB 3P/100AF/30AT	レントゲン・心電図盤	6.00	EM-GET 14 <sup>φ</sup>	L4
MCCB 3P/100AF/100AT	予備			L5
MCCB 3P/100AF/100AT	予備			L6
MCCB 2P/50AF/20AT	所内電源			L7

合計 92.37kVA

開閉器	負荷名称	容量 (kVA)	幹線サイズ	幹線番号
MCCB 3P/100AF/100AT	IP-1	12.86	EM-GET 22 <sup>φ</sup>	P1
MCCB 3P/225AF/225AT	RP-1	46.87	EM-GET 100 <sup>φ</sup>	P2
MCCB 3P/50AF/40AT	ELV	5.00	EM-GE 8 <sup>φ</sup> -3C	P3
MCCB 3P/100AF/100AT	予備			P4
MCCB 3P/50AF/50AT	予備			P5

合計 64.73kW

主回路		分岐回路																				
盤名称	盤形状	幹線番号	電源種別	幹線リスト	主遮断器	回路番号	種類	極数	AF/AT	負荷名称	負荷記号	機器設置場所	負荷容量 (KW)	単位操作			現地盤			火災信号遮断	備考	
														方式	スイッチ	サーバル	運転インターロック	操作	故障			水位
動力盤 RP-1	SUS製屋外自立防水型指定色塗装	P1	AC 3φ 200V	EM-CET 22°	-																	
動力盤 RP-1	SUS製屋外自立防水型指定色塗装	P2	AC 3φ 200V	EM-CET 100°	MCCB 3P225AF/225AT																	

総合監視盤 参考姿図・警報盤結線図・弱電端子盤リスト

盤面配置図 (正面)

(側面)

総合監視盤 参考姿図 S=1/30  
鋼板製自立形 (指定色塗装)

番号	名称	参考寸法	設置場所	電源回路	備考
1	警報表示 (5L)	総合盤組込	盤面	D	動力設備
2	事務室照明スイッチ	70" × 120" × 7°	盤面		電灯設備
3	空調用集中コントローラー	-	盤面	E	機械設備 (別途)
4	エレベーターインターホン	100" × 210" × 78°	壁内・盤面		エレベータ設備 (別途)
5	ネットリモコン	148" × 120" × 26.7° (×2個)	盤面		太陽光発電設備
6	モニター付インターホン親機	135" × 185" × 31°	盤面	4	インターホン設備
7	トイレ呼出表示盤 (3L)	480" × 266" × 113°	壁内・盤面	E	トイレ呼出設備
8	自動火災報知設備受信機	500" × 700" × 130°	壁内・盤面	B	自動火災報知設備
9	火災通報装置	230" × 315" × 65°	壁内・盤面	B	自動火災報知設備
10	火災通報専用電話機	100" × 220" × 75°	壁内・盤面		自動火災報知設備
11	機械警備主装置	210" × 297" × 85° (×3面)	盤面	F	機械警備設備 (別途)
12	非常業務放送装置	570" × 1500" × 135°	壁内・盤面	C	非常放送設備
13	電灯分電盤 (1L-1)	1300" × 2100" × 250°	壁内		電灯設備
14	弱電端子盤 (1T-1) : 木板	600" × 1000" × 15°	壁内	3	弱電設備

【警報盤】 (総合盤内に組込み)

○ 警報盤 (表示名称)

番号	名称
1	受変電設備一括 故障
2	PAS 故障
3	予備
4	予備
5	予備

分岐遮断器種別の記号は下記による		単位装置の記号は下記による (国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁「電気設備工事標準図」最新版による)															
記号	名称	主回路		操作・制御方式						操作・制御スイッチ							
記号	名称	記号	方式	記号	方式	記号	方式	記号	方式	記号	方式	記号	方式	記号	方式		
M	配線用遮断器 (MCCB)	A	制御用電源	1	手動	5	給水又は排水	10	様式自動交互同時運転	15-1	可変速運転(バイパス回路なし)	B	押しボタンスイッチ	Li	リミットスイッチ	G0	給水又は排水
E	漏電遮断器 (ELCB)	B1	電源送り	2-1	手動一連方	6	警報付給水又は排水	11-1	手動交互運転(手動)	15-2	可変速運転(バイパス回路付き)	I	運転スイッチ	Le	レベルスイッチ	G1	空転防止又は高築水種減水警報付給水
MM	配線用遮断器 (モータブレーカ)	B2	電源送り (電流計付)	2-1a	手動一連方	7	消火ポンプ(遠方始動)	11-2	手動交互運転(試験-自動)			Ti	タイムスイッチ	F1	フロートスイッチ	G2	減水警報付排水
ME	漏電遮断器 (モータブレーカ)	B3	電源送り (電流計、CT付)	2-2	試験一連方	8	消火ポンプ(運動始動)	12	排気ファン(電磁弁)			V	真空スイッチ	F2	フロートスイッチ(油用)	G3	減水水警報付給水又は排水
		L1	直入始動 (単独運転用)	2-2a	試験一連方	8-2	スプリンクラーポンプ	13-1	排気ファン(ガス圧スイッチ)			P	圧力スイッチ(ガス圧スイッチ等)	TD	インバータ制御	G4	受水種空転防止付減水警報、及び高築水種減水警報付給水
		L2	直入始動 (交互運転用)	3	便所排気ファン	8-3	排気ファン	13-2	排気ファン(水圧スイッチ)			Th	温度スイッチ			G5	警報用
		L3	直入始動 (交互同時運転用)	4-1	試験-自動※	9	様式自動交互運転	14-1	油ポンプ(様式)			Hu	湿度スイッチ				
		Y1	Y-△始動 (単独運転用)	4-2	試験-自動※			14-2	油ポンプ(様式)								
		Y2	Y-△始動 (交互運転用)														
		Y3	Y-△始動 (交互同時運転用)														

※ 単位装置の記号に「A」が記載されたものは、遠方監視用接点を設ける。また「B」が記載されたものは、プザー及び警報灯を設ける。※ 自動には運転を含む。



分電盤結線図

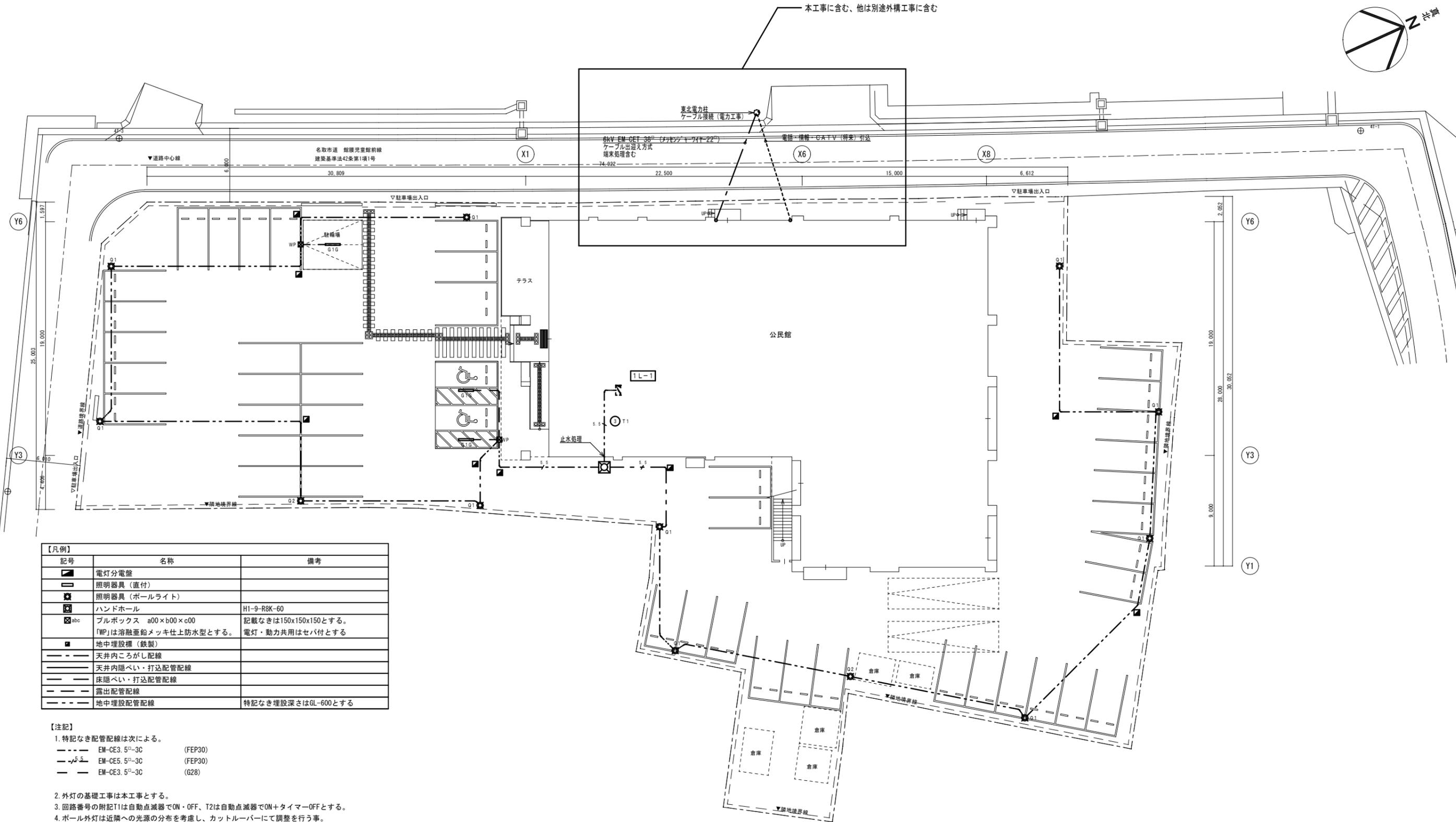
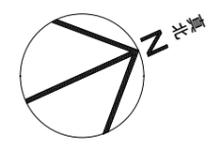
盤名称		電灯分電盤 1L-G		盤形状		鋼板製屋内壁掛型標準色		1階 廊下 EPS内				盤名称		電灯分電盤 1L-2		盤形状		鋼板製屋内壁掛型標準色		1階 控室(1) EPS内								
主回路		L1-G1, G2		分岐遮断器				分岐回路				主回路		L2		分岐遮断器				分岐回路								
幹線番号	電源種別	幹線リスト	主遮断器	回路番号	MCCB	ELCB	2P1E AF/AT	2P2E AF/AT	照明制御機器	負荷名称	負荷場所	負荷容量 (VA)	備考	幹線番号	電源種別	幹線リスト	主遮断器	回路番号	MCCB	ELCB	2P1E AF/AT	2P2E AF/AT	照明制御機器	負荷名称	負荷場所	負荷容量 (VA)	備考	
	AC1φ3W 200/100V	L1-G1:EM-CET 14 <sup>0</sup> L1-G2:EM-CET 14 <sup>0</sup>	L1-G1:ELCB 3P50AF/30AT L1-G2:ELCB 3P50AF/30AT												AC1φ3W 200/100V	EM-CET 14 <sup>0</sup>	MCCB 3P50AF/30AT											
計 2,064													(主幹二次側) 合計 3,568VA															
計 2,500													(主幹) 合計 13,618VA															

注記  
 1. 電灯分電盤の回路番号による電圧表示は、下記による。  
 1φ100V  
 2. 分岐遮断器2P1E(2P2E)は、省スペースモジュールサイズの遮断器とする。

分電盤結線図

盤名称	電灯分電盤 2L-1	盤形状	鋼板製屋内壁掛型標準色	2階 廊下 EPS内				盤名称	レントゲン・心電図盤	盤形状	SUS製屋外自立型指定色塗装	1階 ホール 外壁						
主回路		分岐回路																
幹線番号	L3	分岐遮断器		照明制御機器	負荷名称	負荷場所	負荷容量 (VA)	備考	幹線番号	L4	分岐遮断器		照明制御機器	負荷名称	負荷場所	負荷容量 (VA)	備考	
電源種別	AC1φ3W 200/100V	回路番号	MCCB	ELCBB	2P1E AF/AT	2P2E AF/AT			電源種別	AC1φ3W 200/100V	回路番号	MCCB	ELCBB	2P1E AF/AT	2P2E AF/AT			
幹線リスト	EM-CET 38 <sup>φ</sup>	分岐回路																
主遮断器	MCCB 3P100AF/100AT	分岐回路																
		○			50/20			誘導灯									50	赤キャップ付
								(1次側) 計									50	
		○			50/20			非常用照明									50	
		○			50/20		R×8	電灯	会議室、研修室(1)・(2)、 防災倉庫、廊下								627	
		○			50/20			電灯	室外機置場								120	
		○			50/20			予備										
		○			50/20			予備										
		○			50/20			予備										
								電灯計									797	
		○			50/20			全熱交換機ユニット	会議室、研修室(1)・(2)								1,160	
		○			50/20			予備										
		○			50/20			弱電端子盤 2T-1	EPS								200	
		○			50/20			コンセント	備置倉庫、廊下								200	
		○			50/20			コンセント	会議室								500	
		○			50/20			コンセント	研修室(1)								500	
		○			50/20			コンセント	研修室(2)								500	
		○			50/20			カットリレー	研修室(1)・(2)								500	
		○			50/20			電気温水器、自動水栓	男子トイレ								1,240	
		○			50/20			洗浄便座	男子トイレ								1,260	
		○			50/20			洗浄便座	男子トイレ								1,260	
		○			50/20			電気式パネルヒーター	男子トイレ								750	
		○			50/20			電気温水器、自動水栓	女子トイレ								600	
		○			50/20			電気温水器、自動水栓	女子トイレ								1,200	
		○			50/20			洗浄便座	女子トイレ								1,260	
		○			50/20			洗浄便座	女子トイレ								1,260	
		○			50/20			洗浄便座	女子トイレ								1,260	
		○			50/20			電気式パネルヒーター	女子トイレ								750	
		○			50/20			オストメイト、電気温水器	多目的トイレ								1,165	
		○			50/20			洗浄便座	多目的トイレ								1,260	
		○			50/20			電気式パネルヒーター	多目的トイレ								250	
		○			50/20			ガス給湯器、凍結防止ヒーター、 コンセント	室外機置場								300	
		○			50/20			予備										
		○			50/20			予備										
		○			50/20			予備										
								コンセント・空調・換気計									18,635	
合計	19,482VA																	

注記  
 1. 電灯分電盤の回路番号による電圧表示は、下記による。  
 1φ100V  
 2. 分岐遮断器2P1E(2P2E)は、省スペースモジュールサイズの遮断器とする。



本工事に含む、他は別途外構工事に含む

東北電力社  
ケーブル接続 (電力工事)

6kV EM-CET-38 (オゾンシールドタイプ-22)  
ケーブル出迎え方式  
端末処理含む

電話・情報・CATV (将来) 引込

名取市道 館腰児童館前線  
建築基準法42条第1項1号

道路中心線

▽駐車場出入口

▽駐車場出入口

テラス

公民館

T1-1

止水処理

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
□	照明器具 (直付)	
□	照明器具 (ポールライト)	
□	ハンドホール	H1-9-R8K-60
abc	プルボックス a00×b00×c00	記載なきは150×150×150とする。 「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。 電灯・動力共用はセパ付とする
■	地中埋設標 (鉄製)	
---	天井内ころがし配線	
---	天井内隠ぺい・打込配管配線	
---	床隠ぺい・打込配管配線	
---	露出配管配線	
---	地中埋設配管配線	特記なき埋設深さはGL-600とする

- 【注記】
- 特記なき配管配線は次による。  
 --- EM-CE3.5<sup>φ</sup>-3C (FEP30)  
 --- EM-CE5.5<sup>φ</sup>-3C (FEP30)  
 --- EM-CE3.5<sup>φ</sup>-3C (G28)
  - 外灯の基礎工事は本工事とする。
  - 回路番号の附記T1は自動点滅器でON・OFF、T2は自動点滅器でON+タイマーOFFとする。
  - ポール外灯は近隣への光源の分布を考慮し、カットルーバーにて調整を行う事。

配置図 1/150

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	設計者	株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	図面名称	電力・弱電引込・電灯設備 外構図	縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300
					図面番号	E-09

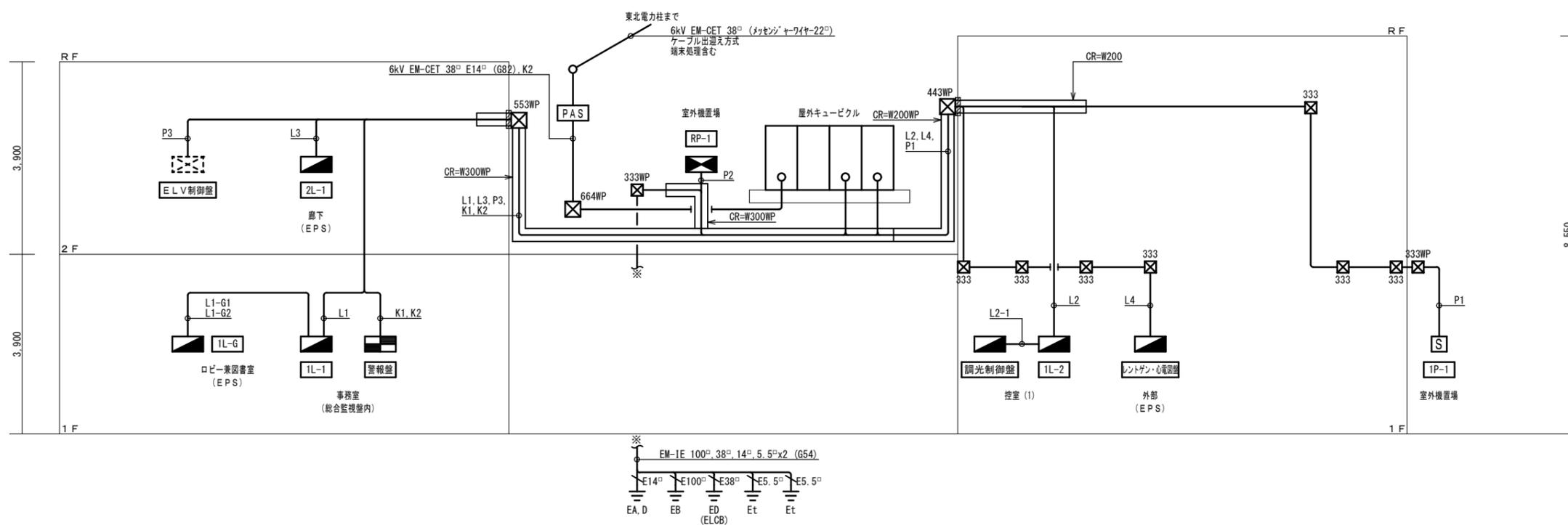
【凡例】		
記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	動力盤	
	警報盤	5窓
	手元開閉器盤	
	ブルボックス a00×b00×c00	記載無き物は150×150×150とする。 「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。
	気中負荷開閉器 (GR付PAS)	方向性 7.2kV 300A VT・LA内蔵 (SUS製) SOG制御箱 (SUS製) 及び壁面取付架台共
	アウトレットボックス	
	ケーブルラック (W=幅寸法)	附記WPは防水カバー付とする
	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定工法 認定番号 壁: PS060ML-1182-1

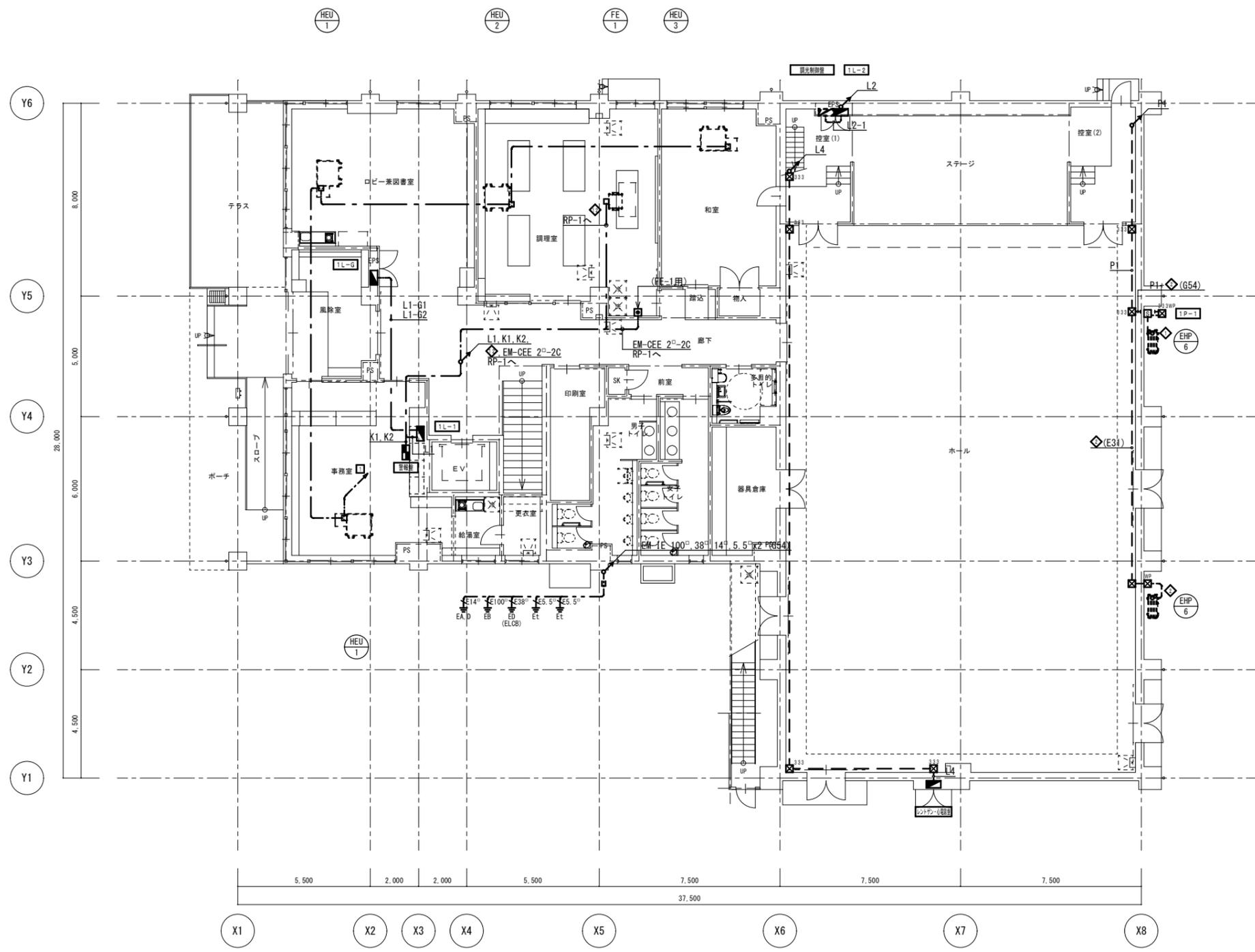
幹線・警報リスト

幹線記号	負荷・警報名称	配線	接地	保護管 屋内	保護管 屋外	備考
L 1	1 L-1・1 L-G	EM-CET 100 <sup>□</sup>	E14 <sup>□</sup> x2	(G82)	-	
L1-G1	1 L-G	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	-	
L1-G2	1 L-G	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	-	
L 2	1 L-2・調光制御盤	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	-	
L 2-1	調光制御盤	EM-CE 8 <sup>□</sup> -3C	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E39)	-	
L 3	2 L-1	EM-CET 38 <sup>□</sup>	E14 <sup>□</sup> x2	(E63)	-	
L 4	レントゲン・心電図盤	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	(G54)	
P 1	1 P-1	EM-CET 22 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	(G54)	
P 2	R P-1	EM-CET 100 <sup>□</sup>	E22 <sup>□</sup> x2	-	(G82)	
P 3	E L V制御盤	EM-CE 8 <sup>□</sup> -3C	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E39)	-	
K 1	キュービクル 異常	EM-CEE 2 <sup>□</sup> -2C	-	(PF22)	(G22)	
K 2	P A S 異常	EM-CEE 2 <sup>□</sup> -2C	-	(PF22)	(G22)	

【注記】

1. 特記なき配管配線は幹線は幹線リスト参照とする。
2. 接地線は幹線と併設し配管配線の場合は幹線と同一配管に収納とする。
3. 二重天井内はコログシ配線とし、壁内は保護管にて保護すること。
4. 防火区画の貫通部は認定工法による。





【凡例】		
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
■	動力盤	
■	警報盤	5窓
■	手元開閉器盤	
■ abc	ブルボックス a00×b00×c00	記載無き物は150x150x150とする。 「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。
■ E31	火中負荷開閉器 (GR付PAS)	方向性 7.2kV 300A VT-LA内蔵 (SUS製) SOG制御箱 (SUS製) 及び壁面取付架台共
■	押釦スイッチ (ON・OFF・PL)	三相用
□	アウトレットボックス	
■ CR	ケーブルラック (W=幅寸法)	附記WPは防水カバー付とする
■	防火区画貫通処理	国土交通大臣認定工法 認定番号 皇: PS060ML-1182-1
---	天井内ころがし配線	
---	天井内隠ぺい・打込配管配線	
---	床隠ぺい・打込配管配線	
---	露出配管配線	

- 【注記】
- 特記なき配管配線は幹線は幹線リスト、動力は動力盤リスト参照とし他は下記とする。  
 - EM-EEF2.0-2C 保護管 (PF22)  
 - EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)  
 - EM-IE2.0x2 E2.0 (PF16)
  - 二重天井内はコロガシ配線とし、壁内は保護管にて保護すること。
  - 点線表記の機器は別途工事機器を示す。

幹線・警報リスト

幹線記号	負荷・警報名称	配線	接地	保護管 屋内	保護管 屋外	備考
L1	1L-1・1L-G	EM-CET 100 <sup>□</sup>	E14 <sup>□</sup> x2	(G82)	-	
L1-G1	1L-G	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	-	
L1-G2	1L-G	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	-	
L2	1L-2・調光制御盤	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	-	
L2-1	調光制御盤	EM-CE 8 <sup>□</sup> -3C	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E39)	-	
L3	2L-1	EM-CET 38 <sup>□</sup>	E14 <sup>□</sup> x2	(E63)	-	
L4	レントゲン・心電図盤	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	(G54)	
P1	1P-1	EM-CET 22 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	(G54)	
P2	RP-1	EM-CET 100 <sup>□</sup>	E22 <sup>□</sup> x2	-	(G82)	
P3	E L V 制御盤	EM-CE 8 <sup>□</sup> -3C	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E39)	-	
K1	キュービクル 異常	EM-CEE 2 <sup>□</sup> -3C	-	(PF22)	(G22)	
K2	PAS 異常	EM-CEE 2 <sup>□</sup> -2C	-	(PF22)	(G22)	

1P-1

回路番号	機器番号	負荷名称	台数	電源種別	負荷容量 (KW)	配管配線
◇	EHP-6	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.43	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)
◇	EHP-6	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.43	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)

RP-1 ※2階室外機置場設置

回路番号	機器番号	負荷名称	台数	電源種別	負荷容量 (KW)	配管配線
◇	FE-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	0.56	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)

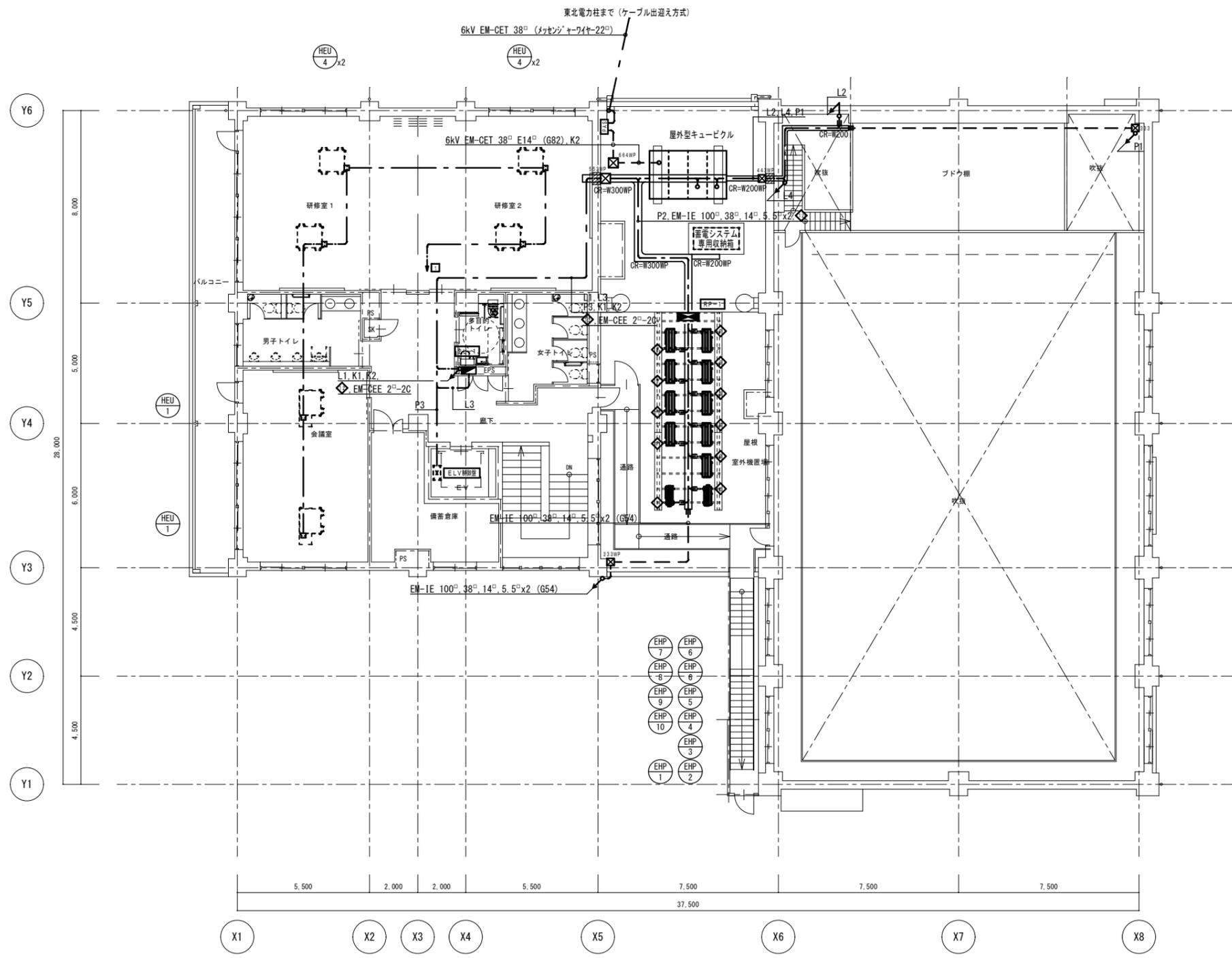


幹線・警報リスト

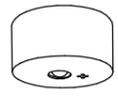
幹線記号	負荷・警報名称	配線	接地	保護管 屋内	保護管 屋外	備考
L 1	1L-1・1L-G	EM-CET 100 <sup>□</sup>	E14 <sup>□</sup> x2	(G82)	—	
L1-G1	1L-G	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	—	
L1-G2	1L-G	EM-CET 14 <sup>□</sup>	—	(E51)	—	
L 2	1L-2・調光制御盤	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	—	
L 2-1	調光制御盤	EM-CE 8 <sup>□</sup> -3C	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E39)	—	
L 3	2L-1	EM-CET 38 <sup>□</sup>	E14 <sup>□</sup> x2	(E63)	—	
L 4	レントゲン・心電図室	EM-CET 14 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	(G54)	
P 1	1P-1	EM-CET 22 <sup>□</sup>	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E51)	(G54)	
P 2	RP-1	EM-CET 100 <sup>□</sup>	E22 <sup>□</sup> x2	—	(G82)	
P 3	ELV制御盤	EM-CE 8 <sup>□</sup> -3C	E5.5 <sup>□</sup> x2	(E39)	—	
K 1	キュービクル 異常	EM-CEE 2 <sup>□</sup> -3C	—	(PF22)	(G22)	
K 2	PAS 異常	EM-CEE 2 <sup>□</sup> -2C	—	(PF22)	(G22)	

RP-1

回路 番号	機器番号	負荷名称	台数	電源種別	負荷容量 (KW)	配管配線
◇	EHP-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	2.8	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)
◇	EHP-2	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	2.8	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)
◇	EHP-3	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.28	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)
◇	EHP-4	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	2.8	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)
◇	EHP-5	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	1.32	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)
◇	EHP-6	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.43	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)
◇	EHP-6	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.43	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)
◇	EHP-7	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.08	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)
◇	EHP-8	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	6.28	EM-CE 5.5 <sup>□</sup> -4C (G36)
◇	EHP-9	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	3.7	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)
◇	EHP-10	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	1.39	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)
◇	FE-1	空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調機	1	3φ200V	0.56	EM-CE 3.5 <sup>□</sup> -4C (G28)



記号	形式	天井直付型	電圧	記号	形式	天井直付型	電圧	記号	形式	壁直付型 (片反射型)	電圧	記号	形式	直付型 (防湿・防雨型)	電圧	記号	形式	ダウンライト	電圧	記号	形式	ダウンライト	電圧
C1	LEDベースライト 40形	公共施設型番 LSS9-4-30LN	100~242V	E1	LEDベースライト 40形	公共施設型番 LSS1-4-37LN	100~242V	F1	LEDベースライト 40形・片反射型付	公共施設型番 LSS1-4-65LN	100~242V	G1G	LEDベースライト・ガード付	公共施設型番 LSS1MP/PP-4-22LN	100~242V	J1	LEDダウンライト 60形	公共施設型番 LRS1-05LN	100~242V	J2	LEDダウンライト 100形	公共施設型番 LRS1-08LN	100~242V
C1G	LEDベースライト 40形・ガード付	公共施設型番 LSS9-4-30LN	100~242V																	J3	LEDダウンライト 150形	公共施設型番 LRS1-13LN	100~242V
C2	LEDベースライト 40形・ガード付	公共施設型番 LSS9-4-37LN	100~242V																				
C3	LEDベースライト 40形・ガード付	公共施設型番 LSS9-4-48LN	100~242V																				
C4	LEDベースライト 40形・ガード付	公共施設型番 LSS9-4-65LN	100~242V																				
ガード：パナソニック FK41534 相当品				片反射型：パナソニック FK41020 相当品				ガード：パナソニック FK41554 相当品				埋込穴 φ100				埋込穴 φ100							
K1	LEDダウンライト 100形	公共施設型番 LRS1RP-08LN	100~242V	L1G	LED高天井用照明 (ガード・落下防止ワイヤー付)	公共施設型番 LSR2W-200LZ	100~242V	M1	LEDキッチンライト 20形		100V	N1	LEDシーリングライト 100形		100~242V	O1	LEDブラケットライト 20形・センサー付		100~242V	P1	LEDブラケットライト 60形		100V
埋込穴 φ150				ガード：パナソニック NYK00116 相当品				パナソニック LGB52094LE1 相当品				パナソニック NNNS4540W+NNU140105K 相当品				パナソニック NNFS21812CLE9 相当品							
Q1	LED街路灯 250形 (カッターカバー付：後方用)		100~242V	Q2	LED街路灯 250形×2 (カッターカバー付：側面用)		100~242V																
電球色、3000K、Ra85、標準タイプ、フロント配光 器具光束4950lm、消費電力61.3W、電圧100~242V 光束維持時間6000時間 (光束維持率85%)、電源ユニット別置 本体：鋼板 (ミディアムグレメタリック) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 上方光束比0~5%、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV				電球色、3000K、Ra85、標準タイプ、フロント配光 器具光束9900lm、消費電力122.6W、電圧100~242V 光束維持時間6000時間 (光束維持率85%)、電源ユニット別置 本体：鋼板 (ミディアムグレメタリック) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 上方光束比0~5%、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV																			
コンクリート基礎 (本工事) : 500x500x1300 パナソニック XYG1042RLE9 + NYK20021 + DYDX2400H 相当品				コンクリート基礎 (本工事) : 500x500x1300 パナソニック XYG1047RLE9 + NYK20022 x2 + DYDX2400H 相当品																			
【共通事項】 1. 照明器具の消費電力はJIS C 8105-3で規定された値																							

記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧
X 1	避難口誘導灯 (天井埋込型) C線 (10形) 片面 公共施設型番 SH1-FRF20P-C	100V	X 2 G	避難口誘導灯 (壁付型) B線 (20B形) 片面・ガード付 公共施設型番 SH1-FBF20-BL	100V	Y 1	通路誘導灯 (天井埋込型) C線 (10形) 両面 公共施設型番 ST1-FRF23P-C	100V						
電池内蔵型			電池内蔵型			電池内蔵型								
														
型式認定番号: 1AS111-3643			ガード: パナソニック FX02561Z 相当品 型式認定番号: 1AM111-3209			型式認定番号: 1AS221-3214								
記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧
Z 1	非常照明 (ダウンライト) 天井埋込型 LED 公共施設型番 K1-LRS11-1	100~242V	Z 2	非常照明 (ダウンライト) 天井埋込型 LED 公共施設型番 K1-LRS11-2	100~242V	Z 3	非常照明 (ダウンライト) 天井埋込型 LED 公共施設型番 K1-LRS11-3	100~242V	Z 4 G	非常照明 (高天井用) 天井直付型 LED・ガード付 パナソニック NNFB93006C 相当品	100~242V			
電源内蔵型			電源内蔵型			電源内蔵型			電源内蔵型					
														
非常用照明配光DATA 保守率 0.92 取付高さ 2.7m 単体配置 A1 3.6m 直線配置 A2 10.1m 四角配置 A4 8.3m			非常用照明配光DATA 保守率 0.92 取付高さ 2.6m 2.7m 3.8m 単体配置 A1 4.7m 4.8m 3.6m 直線配置 A2 10.8m 11.1m 13.2m 四角配置 A4 8.7m 8.9m 11.3m			非常用照明配光DATA 保守率 0.92 取付高さ 2.7m 単体配置 A1 6.4m 直線配置 A2 14.0m 四角配置 A4 10.6m			非常用照明配光DATA 保守率 0.92 取付高さ 8.5m 単体配置 A1 8.5m 直線配置 A2 20.8m 四角配置 A4 16.4m					
埋込穴 φ100 非常灯評定番号: LALE-004			埋込穴 φ100 非常灯評定番号: LALE-004			埋込穴 φ100 非常灯評定番号: LALE-006			ガード: パナソニック 特注 相当品 非常灯評定番号: LALE-008					
記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧
記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧	記号	形式	電圧

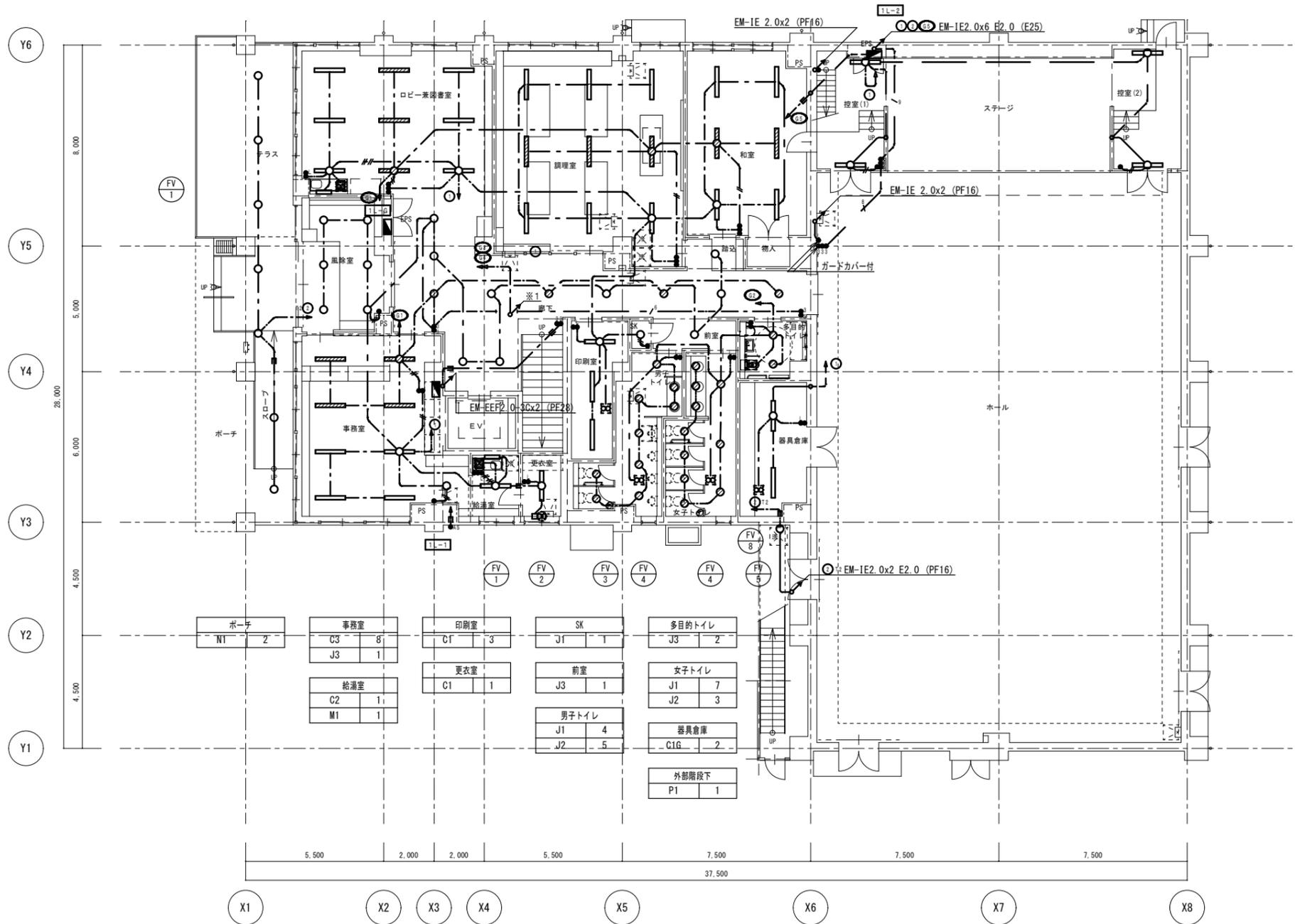
テラス K1 5	ロビー兼図書室 C3 9 M1 1	調理室 C4 9	和室 C3 6	控室(1) F1 2	控室(2) F1 2
	風除室 J3 6	廊下 J3 11	階段 J3 1		

記号	名称	備考
☐	電灯分電盤	
☐	照明器具 (直付)	AC-GC回路を示す
☐	照明器具 (壁付)	
○	照明器具 ダウンライト・シーリングライト	AC-GC回路を示す
☐	照明器具 (直付)	AC-GC回路を示す
○	照明器具 ブラケットライト	
●	埋込スイッチ 1P15Ax1	
●L	埋込スイッチ 1P15Ax1 (動作表示灯付)	
●3	埋込スイッチ 3W15Ax1	
●AS	自動点滅器	
☐abc	プルボックス a00×b00×c00 「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。	記載なきは150x150x150とする。 電灯・動力共用はセパ付とする
☐	ジャンクションボックス	
---	天井内隠ぺい配線	
---	天井内隠ぺい・打込配管配線	
---	床隠ぺい・打込配管配線	
---	露出配管配線	

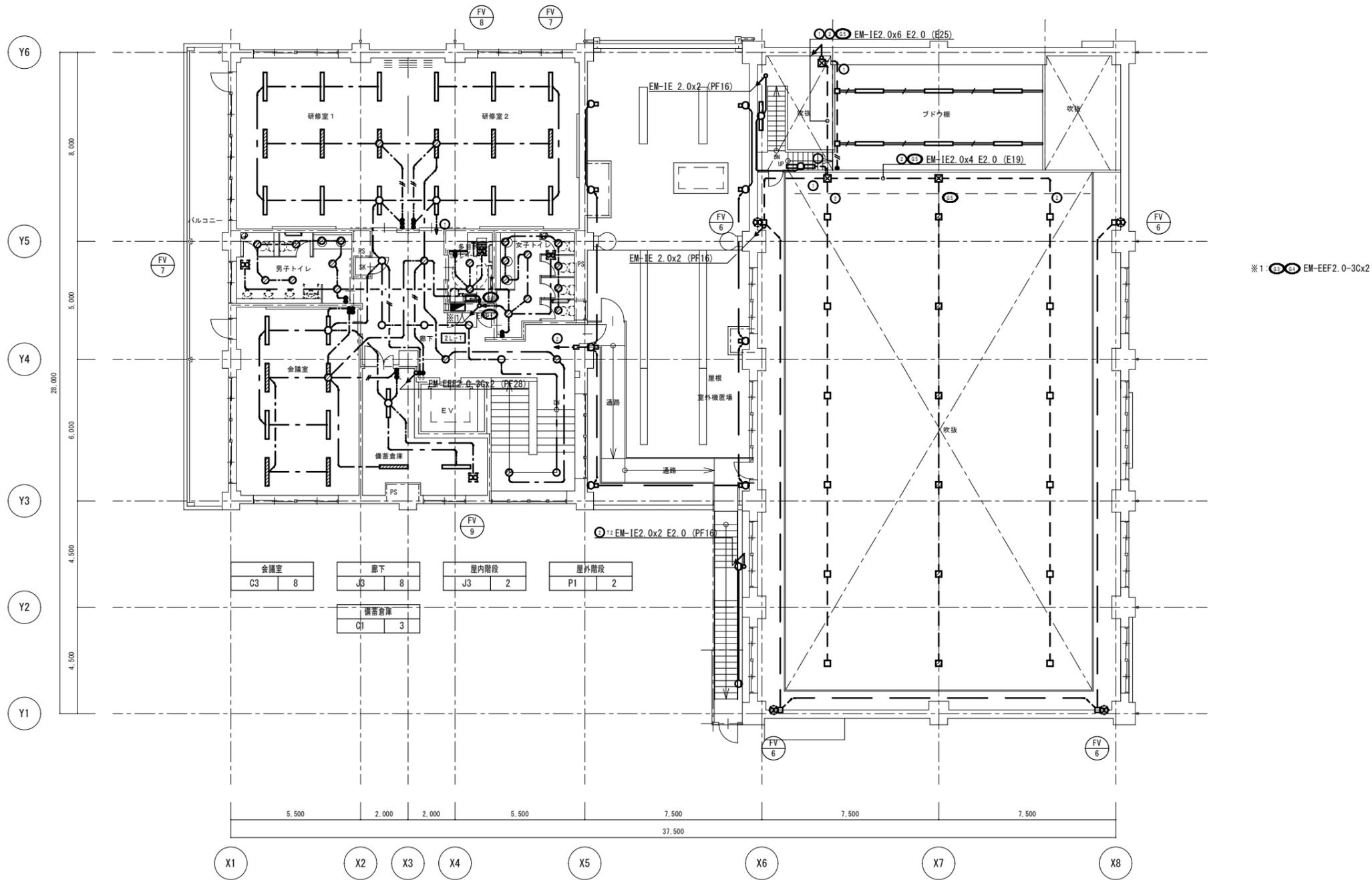
- 【注記】
- 特記なき配管配線は次による。
 

EM-EEF2.0-2C	保護管 (PF22)	EM-IE2.0x2	(PF16)
EM-EEF2.0-3C	保護管 (PF22)	EM-IE2.0x2 E2.0	(PF16)
EM-EEF2.0-2Cx2	保護管 (PF28)	EM-IE2.0x8	(PF22)
EM-EEF2.0-3Cx2	保護管 (PF28)	EM-IE2.0x9	(PF22)
		EM-IE2.0x2	(E19)
		EM-IE2.0x2 E2.0	(E19)
  - 二重天井内はコロガシ配線とし、壁内はPF管にて保護すること。
  - 回路番号の附記T1は自動点滅器でON・OFF、T2は自動点滅器でON+タイマーOFFとする。
  - ☉はAC-GC回路を示し分電盤L-Gよりの供給とする。

※1 ☉☉ EM-EEF2.0-3Cx2



研修室 1 C3 9	研修室 2 C3 9	女子トイレ J1 7 J2 3	室外機置場 O1 8	控室(1) (吹抜) F1 2	ブドウ棚 E1 6
男子トイレ J1 4 J2 4	多目的トイレ J3 2				ホール L1G 18

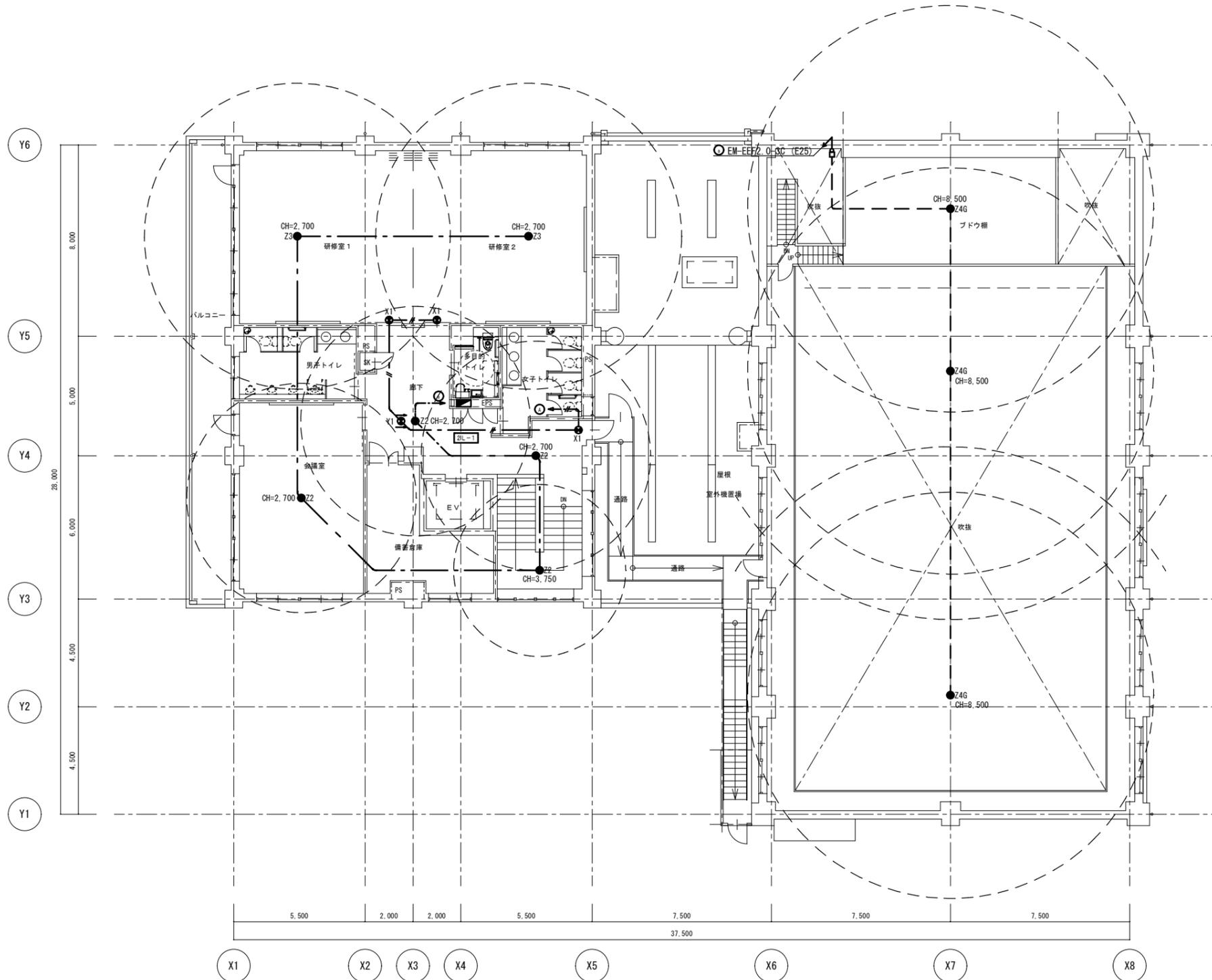


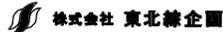
※1: EM-EEF2.0-30x2



記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事	設計年月 令和7年3月
	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 電灯設備 2階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 図面番号 E-16



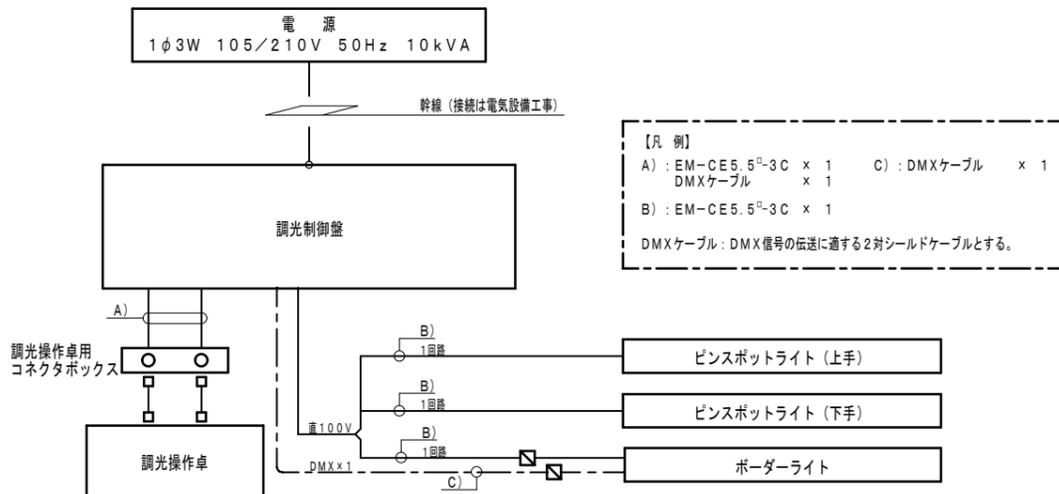


記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 株式会社 東北緑企画 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 非常照明・誘導灯設備 2階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-18

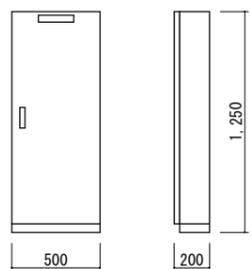
特記仕様書

1. 概要 本装置は、館腰公民館移転改築工事の演出照明の調光制御を行う装置である。  
本装置の使用部品については長期にわたって的確な調光制御が行えるよう、厳選された材料部品を使用すること。
- 《建築・電気設備工事》  
1. 一次側配管配線工事  
2. その他、建築に伴う工事の一切
2. 調光装置特記仕様  
(1) 調光制御盤 主電源として1φ3W 105/210V 50Hz 10kVAを受電し、電源を供給する。  
調光制御は、USITT規格DMX512/1990信号とすること。  
DMX信号によりコントロールする機器、器具に対して分岐、ミキシングが行えること。  
DMX信号は入力2系統まで、出力を8系統まで対応可能とすること。  
調光操作機器からのDMX信号受信時、各負荷回路の電源がONされ、調光操作機器からのDMX信号がない時には各負荷回路の電源がOFFされること。  
盤の本体及び扉は1.6t以上の鋼板製とする。
- (2) 調光操作卓 調光操作卓は表面に各種スイッチ、フェーダ等を配置し、DMX信号にて、遠方の調光器、調光器具等のコントロールを可能とすること。  
各々操作性に優れ、保守点検の容易な構造とする。軽量可搬型の卓とし、持ち出し、移動が容易に可能とすること。
- (3) 調光操作卓用コネクタボックス 調光操作卓の動作を満足させることが出来るコネクタを設けること。

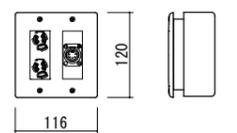
系統図



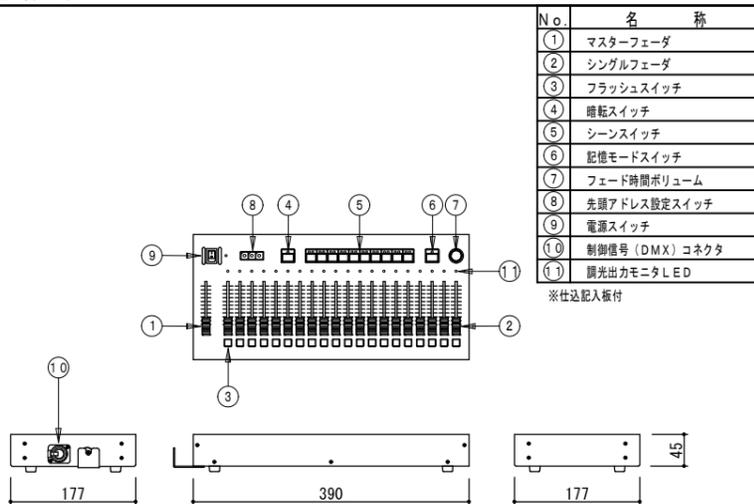
調光制御盤



調光操作卓用コネクタボックス



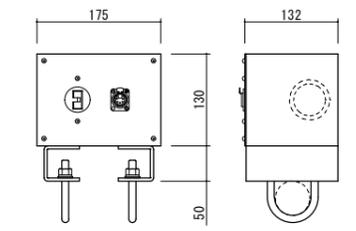
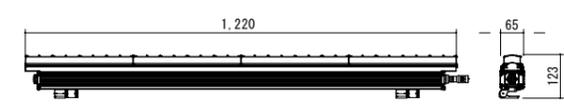
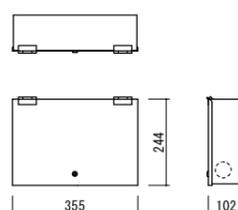
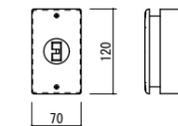
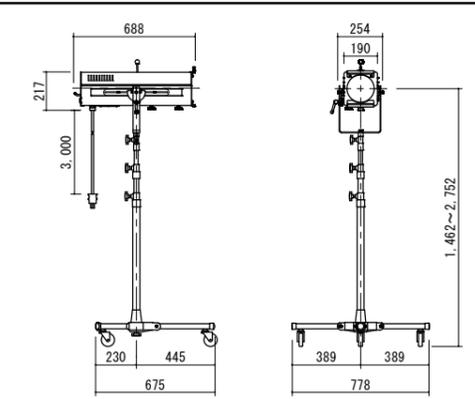
調光操作卓



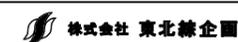
設備表

項	記号	名称	仕様	数量	直回路		制御信号	工事区分		備考
					20A100V	容量(kW)		DMX OUT	本工事	
【負荷設備】										
1	B	ボーダーライト								
		コンセントボックス	C型20Aコンセント 1個付 直1回路 (架台・Uボルト付) DMX OUTコネクタ 1個付 制1系統	1個	1	1.50		○		
		照明器具	LEDバーライト92W (吊り下げ金具付)	4台				○		
		延長ケーブル	専用Y型ケーブル (C型20Aプラグ・制御信号(DMX)コネクタ~専用8Pinコネクタ)	1本				○		
			C型20Aプラグ~C型20Aコネクタ L=3.0m	1本				○		
			制御信号ケーブル L=3.0m	1本				○		
		ボーダーケーブル(丸型)	5.5sq-3φ x 8m	1本				○		
			制御信号1ch x 8m	1本				○		
		ジョイントボックス	60A 4回路用	1個				○		
			制御信号線用	1個				○		
2	PIN	ピンスポットライト								
		コンセントボックス	C型20Aコンセント 1個付 直1回路	2個	2	3.00		○		
		照明器具	LEDフォアローソットライト205W (スタンド付)	2台				○		
		延長ケーブル	C型20Aプラグ~C型20Aコネクタ L=2.0m	2本				○		
			舞台直回路		3	4.50				
			制御信号				1			
			計		3	4.50	1			
			受電容量=総容量(4.50kW)×使用率(100%) =10kVA							
【調光装置】										
1		調光制御盤	受電1φ3W 105/210 50Hz 10kVA 総主幹MCCB 3P 50AF/50AT 直分岐R-MCB(20A) x10個 操作主幹MCCB(15A) x1個 制御信号(DMX)ブロック x1式 予備品・付属品 x1式	1面				○		
2		調光操作卓(テーブル付)	制御回路数 20チャンネル コントロールチャンネル数 20チャンネル マスターフェーダ x1本 シングルフェーダ 20本 x1段 フラッシュスイッチ x20個 電源スイッチ x1式 調光出力モニターLED x20個 先頭アドレス設定スイッチ x1式 暗転スイッチ x1個 シーンスイッチ x10個 記憶モードスイッチ x1個 フェード時間ボリューム x1個	1卓				○		
		調光操作卓用延長ケーブル	制御信号ケーブル L=3.0m	1本				○		
3		調光操作卓用コネクタ	平行15AE付コンセント 2個付 直1回路 DMX 1Nコネクタ 1個付 制1系統	1面				○		

※形状及び寸法は参考とする。

<p>コンセントボックス</p>  <p>C型20Aコンセント 1個付 制御信号(DMX OUT)コネクタ 1個付</p>	<p>LEDパーライト92W</p> 	<p>ジョイントボックス</p>  <p>60A 4回路用 制御信号線用</p>	<p>コンセントボックス</p>  <p>C型20Aコンセント 1個付</p>
<p>LEDフォロースポットライト205W</p> 			

※形状及び寸法は参考とする。

記 号	業務名称		工事名称		設計年月
	館腰公民館移転改築工事設計業務		館腰公民館改築工事		令和7年3月
事 業	 株式会社 東北建企画		図面名称 舞台照明設備 負荷設備 機器姿図		図面番号
	一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		縮尺 A1:N.S A3:N.S		E-20

図記号凡例

記号	名称	仕様
⊙	コンセントボックス	C型20Aコンセント 1個付 DMX OUTコネクタ 1個付
⊕	ウォールコンセント	C型20Aコンセント 1個付
⊗	調光操作専用コネクタボックス	平行15A付コンセント 2個付 DMX INコネクタ 1個付
⚡ <sub>a)</sub>	ボデーケーブル	5.5sq-3心
⚡ <sub>b)</sub>	ボデーケーブル	制御信号1ch
⊞	ジョイントボックス	60A 4回路用
⊞	ジョイントボックス	制御信号線用
■	プルボックス	A:150x150x150 B:300x300x300

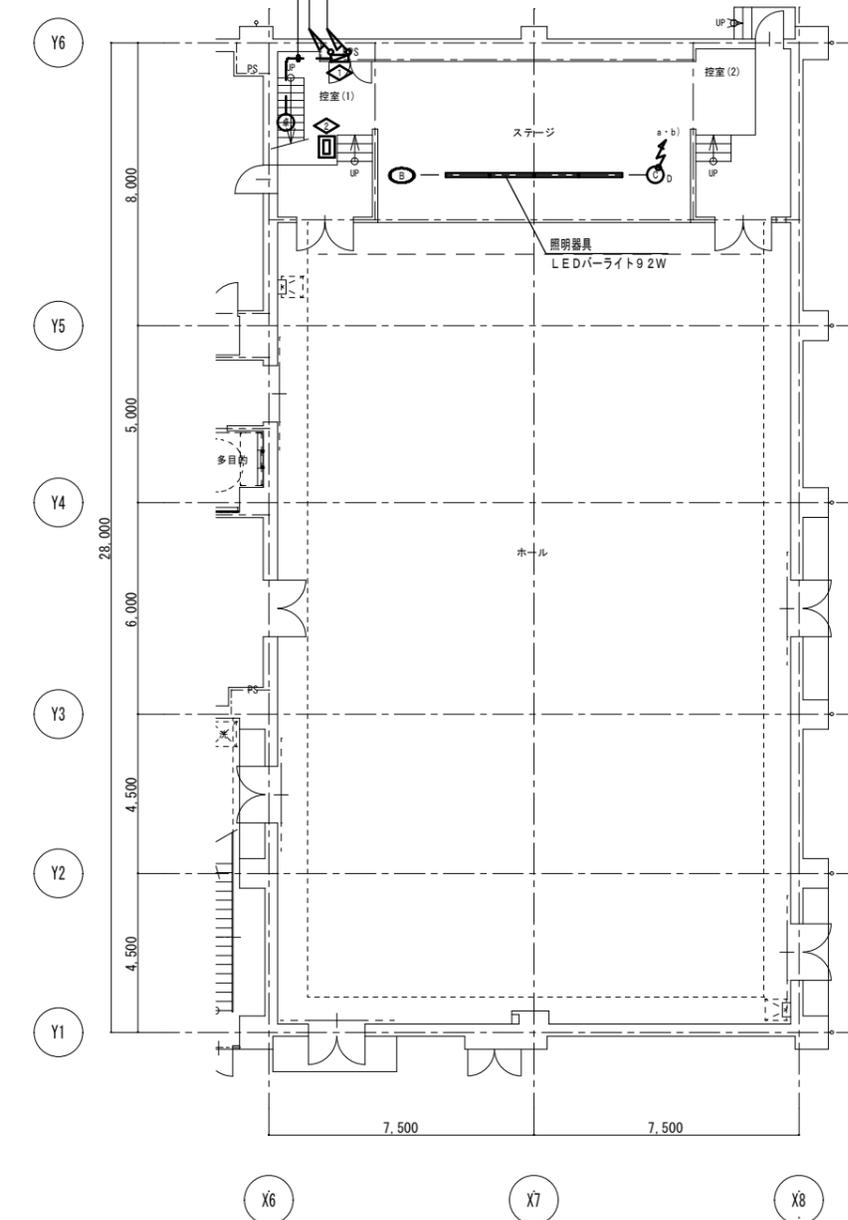
図記号凡例

記号	名称
◇	調光制御盤
⊞	調光操作卓
⊙	ボデーライト
⊙	ピンスポットライト

※ DMXケーブルは、DMX信号の伝送に適する2対シールドケーブルとする。

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(E51)	DMXケーブル	x 1	(E25)
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)			
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF22)			

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(E51)
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(E31)
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)



1F 平面図

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(E51)
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(E31)
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(E31)
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

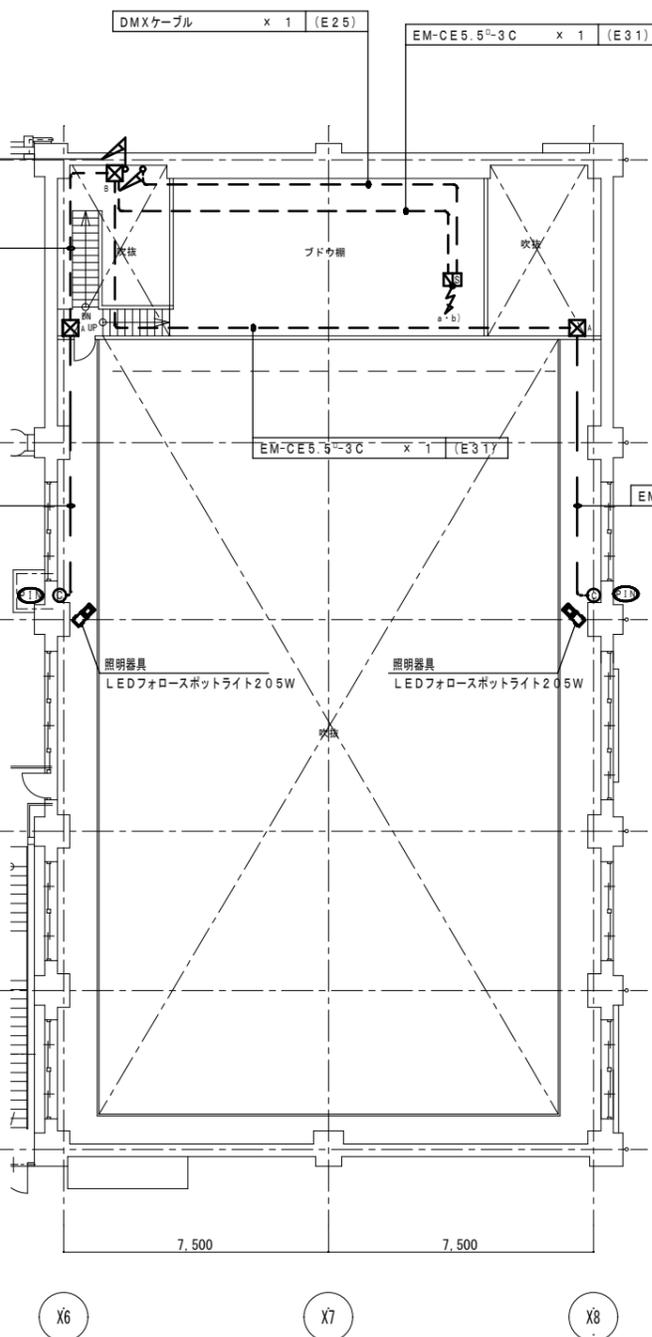
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

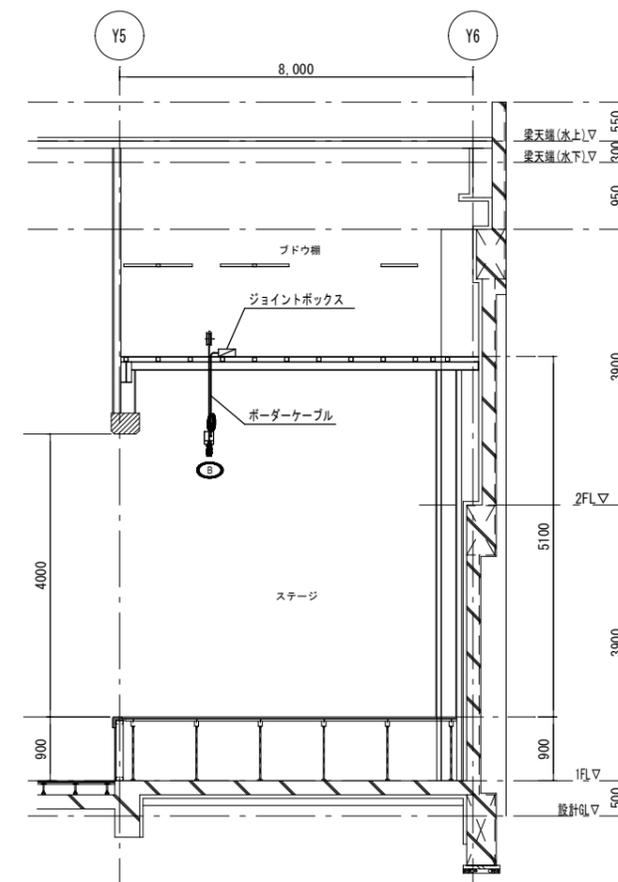
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------

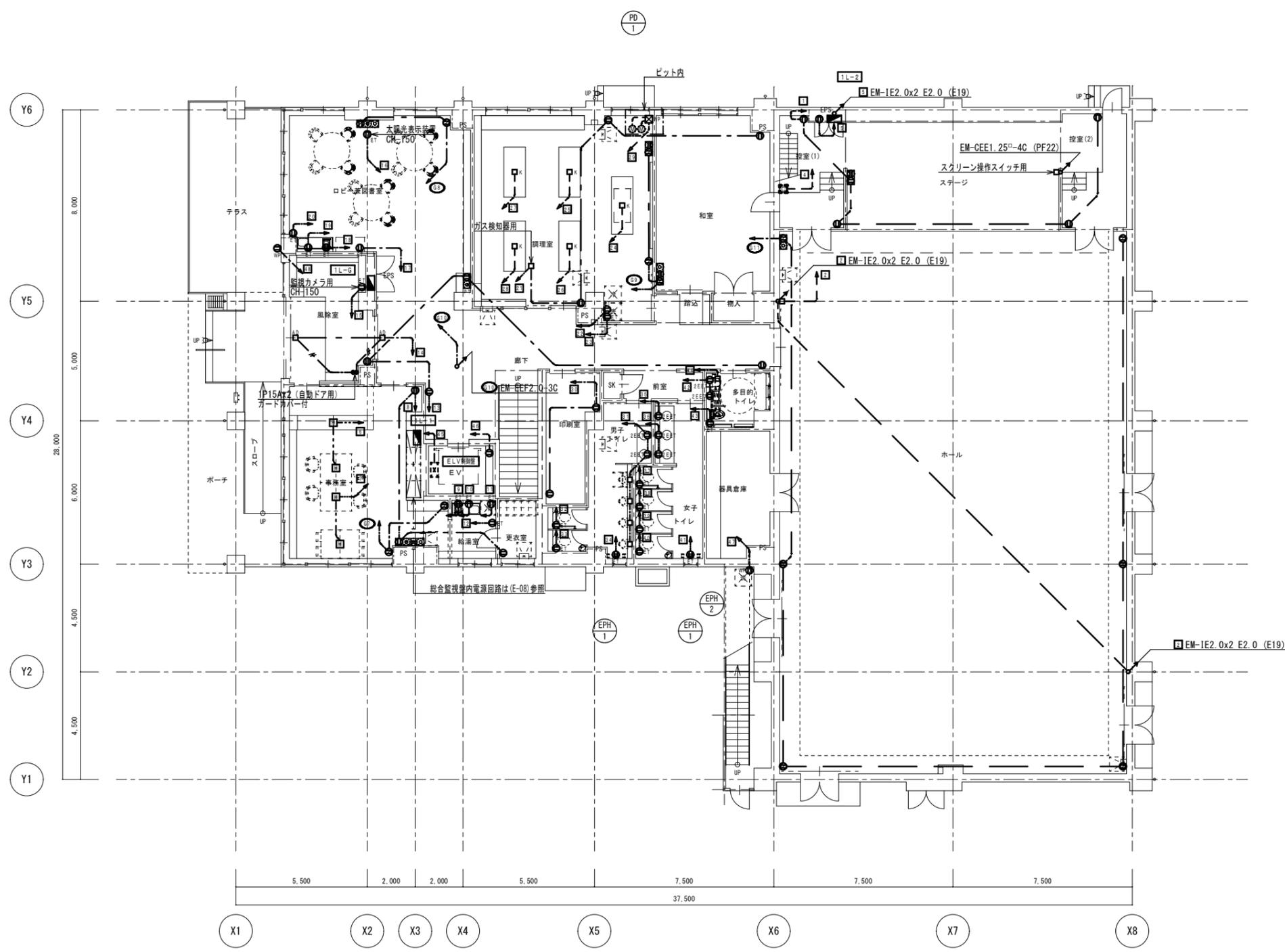
EM-CE5.5 <sup>2</sup> -3C	x 1	(PF28)
---------------------------	-----	--------



2F 平面図



ステージ断面図

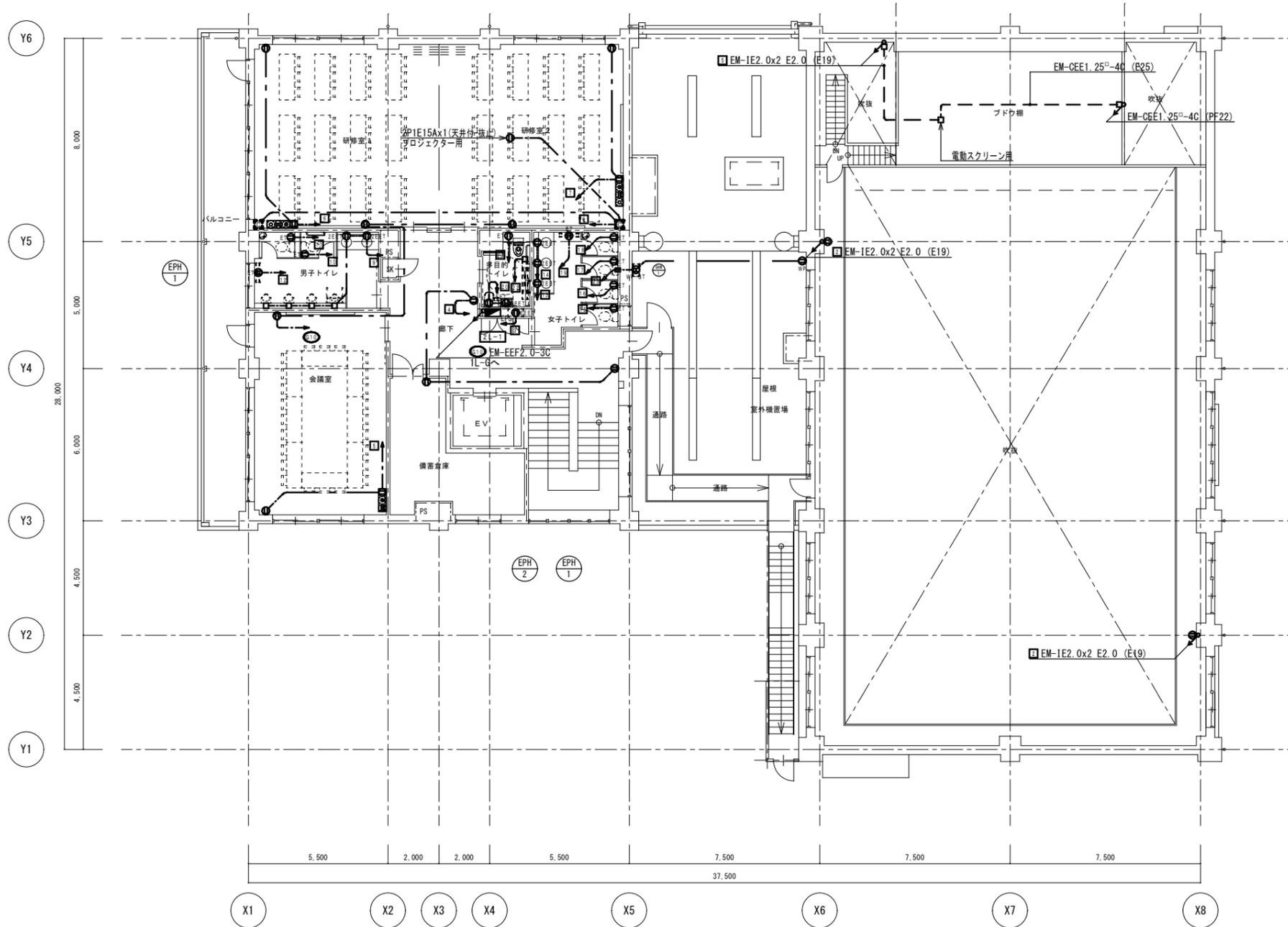


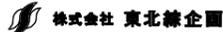
【凡例】		
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
①	埋込コンセント	2P15Ax2 接地極付 ④: A C-G C回路を示す
②ET	埋込コンセント	2P15Ax1 接地端子付
③2ET	埋込コンセント	2P15Ax2 接地端子付
④2EET	埋込コンセント	2P15Ax2 接地極・接地端子付
□	ハネス用ジョイントボックス ハネス用0Aタップ	3芯2分岐 送り付 20A 2P15Ax4口 接地極付 抜止 コード3m付x2個
①WP	防水埋込コンセント	2P15Ax2 抜止・接地極・接地端子付
①WP-GT	防水埋込コンセント (ガス給湯器、凍結防止ヒータ用)	2P15Ax2 抜止・接地極・接地端子付
⚡	カントリーコンセント	非常放送設備
⊠abc	プルボックス a00×b00×c00	記載なきは150x150x150とする。 「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。
□	アウトレットボックス	電灯・動力共用はセバ付とする
□AD	アウトレットボックス (自動ドア用)	
□K	アウトレットボックス (調理台用)	
---	天井内こがし配線	
---	天井内隠ぺい・打込配管配線	
---	床隠ぺい・打込配管配線	
---	露出配管配線	
---	OAフロア内配線	

【注記】

- 特記なき配管配線は下記による。  
 - EM-EEF2.0-2C 保護管 (PF22)  
 - EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)  
 - EM-IE2.0x2 E2.0 (PF16)  
 - EM-IE2.0x2 E2.0 (PF16)
- 二重天井内はコログシ配線とし、壁内はPF管にて保護すること。
- 弱電端子盤内のコンセントは露出型とする。
- ④はA C-G C回路を示し分電盤L-Gよりの供給とする。



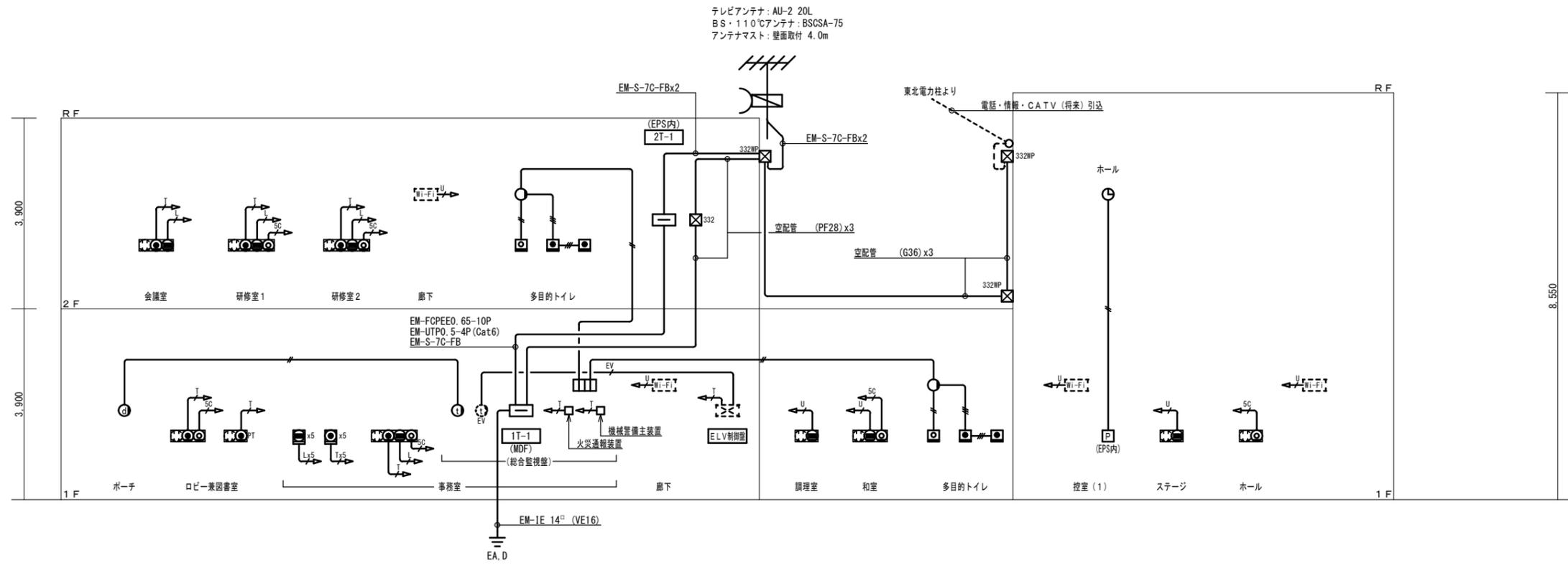


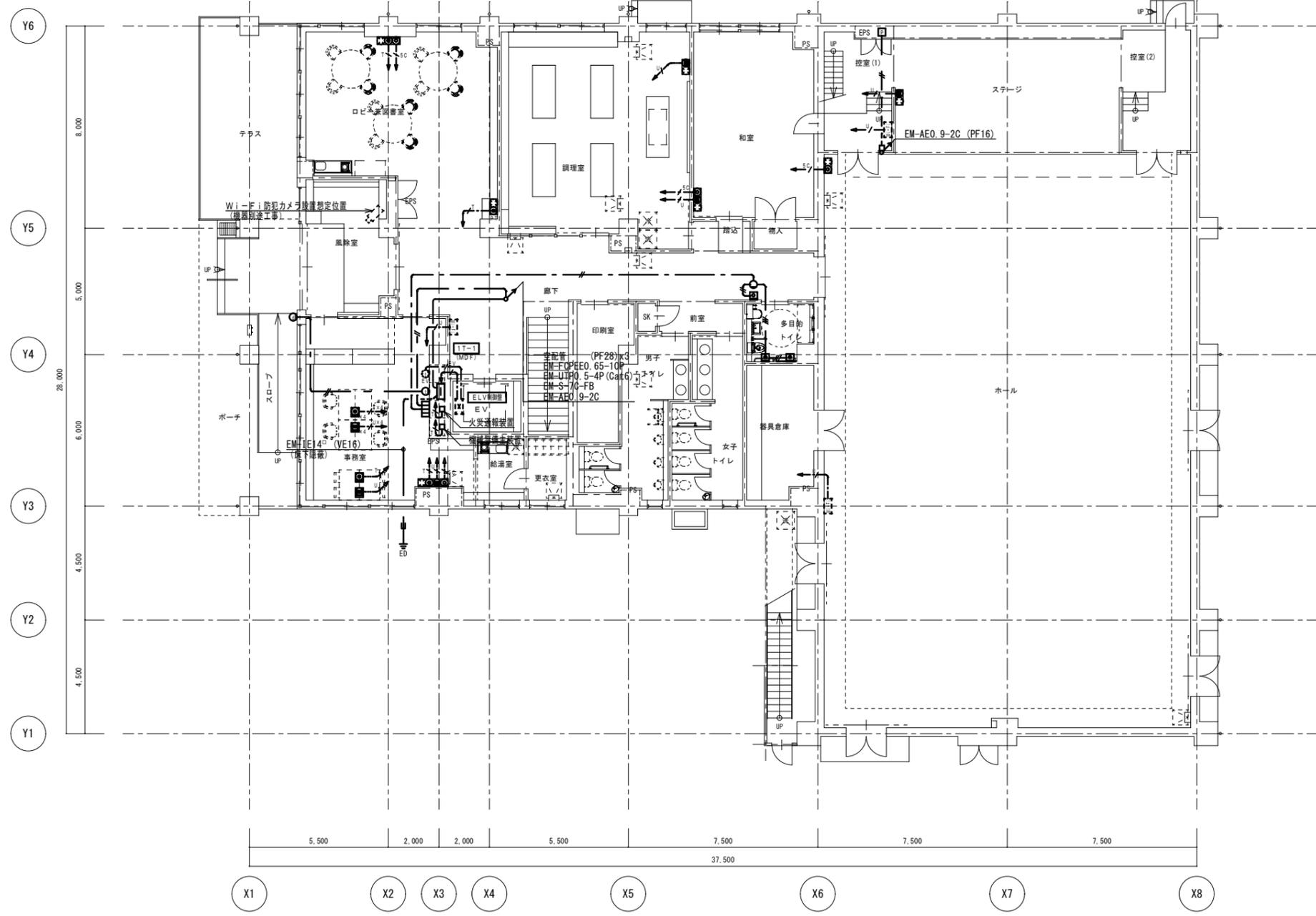
記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 株式会社 東北建設 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 コンセント設備 2階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-23

記号	名称	備考
☐	弱電端子盤	
☉	電話用モジュラージャック	MJ6P4Cx1 附記:PTは公衆電話用を示す ※
☉	OAフロア電話用モジュラージャック	MJ6P4Cx1
☉	情報用モジュラージャック	MJ8P8Cx1 ※
☉	OAフロア情報用モジュラージャック	MJ8P8Cx1
☉	無線アクセスポイント	別途工事
☉	テレビ用端子 (1端子)	SH-7F ※
☉	コンセント一体型プレート	コンセント仕様: 2P15A E付 x2
☉	組合せ仕様は※印の配線器具を参照とする	
☉	モニター付インターホン親機	
☉	カメラ付ドアホン子機	
☉	エレベーターインターホン	別途エレベーター工事
☉	電気電波時計 700φ (壁掛型)	ガード付
☉	パルス発信器	EPS内収納
☉	トイレ呼出表示盤	3窓用
☉	トイレ呼出表示灯	ブザー付
☉	トイレ呼出復旧ボタン	
☉	トイレ呼出ボタン	紐付き
☉	ブルボックス a00×b00×c00	記載無き場合は150x150x100とする。
☉	「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。	
☉	ジャンクションボックス	

登名称	端子数	端子内訳	端子数・収容機器	備考
1T-1 (取付木板)	50P	電話 情報 テレビ 放送	保安器スペース、30P 光接続スペース、ONU取付スペース、 SW-HUB(PoE)16ポートx1 4分配器(SH-D4)x1 20P	全て4K,8K対応品
1階 事務室 総合監視室内		機器用コンセント	露出 2P15Ax2 E付 x2	
2T-1 銅板装置型 (標準色塗装)	20P	電話 情報 テレビ 放送	10P SW-HUB(PoE)8ポートx1 4分配器(SH-D4)x1 10P	全て4K,8K対応品
2階 廊下 EPS内		機器用コンセント	露出 2P15Ax2 E付 x2	

- 【注記】
- 特記なき配管配線は下記による。
    - EM-EBT0.4-2P 保護管 (PF16)
    - EM-UTP0.5-4P (Cat6) 保護管 (PF16)
    - EM-S-5C-FB 保護管 (PF16)
    - EM-AE0.9-2C 保護管 (PF16)
    - EM-AE0.9-3C 保護管 (PF16)
    - EM-FCPEE0.9-5P 保護管 (PF22)
  - 二重天井内はコログン配線、床下は隠ぺい配管配線とし、壁内は保護管にて保護すること。
  - 弱電配線器具をコンセントと同一ボックスにする場合はボックス内にセパレーターを設けること。
  - 公衆電話用端子には災害時優先電話回線 (NTT工事) を設けるため、施工前に協議調整を行うこと。



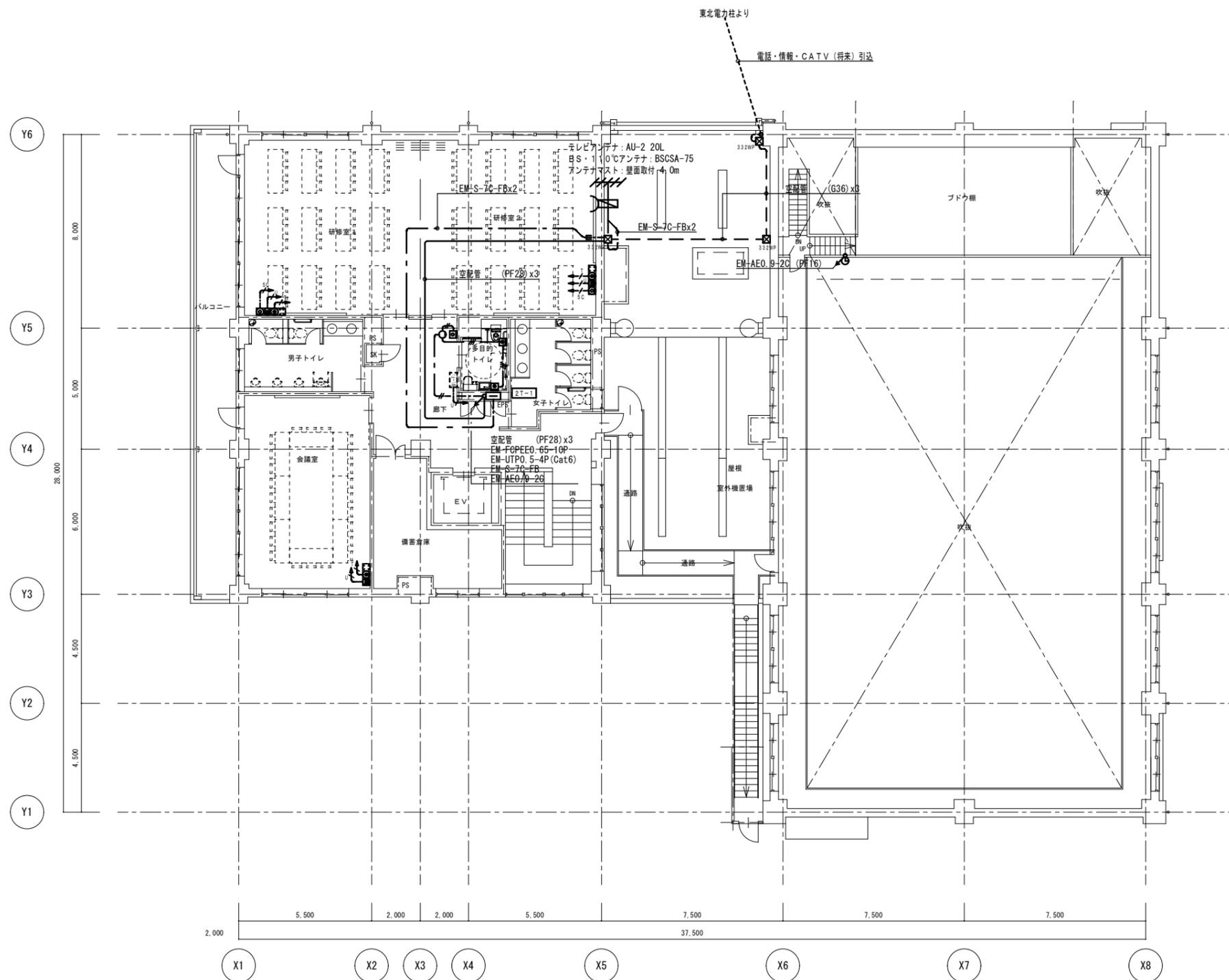


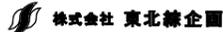
記号	名称	備考
□	弱端子盤	
○	電話用モジュージャック	MJGP40x1 附記:PTは公衆電話用を示す ※
○	OAフロア電話用モジュージャック	MJGP40x1
○	情報用モジュージャック	MJGP80x1 ※
○	OAフロア情報用モジュージャック	MJGP80x1
○	無線アクセスポイント	別途工事
○	テレビ用端子 (1端子)	SH-7F ※
□	コンセント一体型プレート	コンセント仕様: 2P15A E付 x2
□	組合せ仕様は※印の配線器具を参照とする	
○	モニター付インターホン親機	
○	カメラ付ドアホン子機	
○	エレベーターインターホン	別途エレベーター工事
○	電気電波時計 700φ (壁掛型)	ガード付
□	パルス発信器	EPS内収納
□	トイレ呼出表示盤	3窓用
○	トイレ呼出表示灯	プザー付
□	トイレ呼出復旧ボタン	
□	トイレ呼出ボタン	紐付き
□	プルボックス a00×b00×c00	記載無き場合は150x150x100とする。
□	ジャンクションボックス	
---	天井内隠ぺい配線	
---	天井内隠ぺい・打込配管配線	
---	床隠ぺい・打込配管配線	
---	露出配管配線	
---	OAフロア内配線	

- 【注記】
- 特記なき配管配線は下記による。
    - EM-EBTO.4-2P 保護管 (PF16)
    - EM-UTPO.5-4P (Cat6) 保護管 (PF16)
    - EM-S-5C-FB 保護管 (PF16)
    - EM-AE0.9-2C 保護管 (PF16)
    - EM-AE0.9-3C 保護管 (PF16)
    - EM-FOPEEO.9-5P 保護管 (PF22)
  - 二重天井内はコログン配線、床下は隠ぺい配管配線とし、壁内は保護管にて保護すること。
  - 弱電配線器具をコンセントと同一ボックスにする場合はボックス内にセパレータを設けること。
  - 公衆電話用端子には災害時優先電話回線 (NTT工事) を設けるため、施工前に協議調整を行うこと。

弱端子盤リスト 銅板製露出型 (標準色塗装)				
盤名称	端子数	端子内訳	端子数・収容機器	備考
1T-1	50P	電話	保安器スペース、30P	
		情報	光接続スペース、ONU取付スペース、SW-HUB16ポート×1	
		テレビ	4分配器 (SH-D4) × 1	全て4K, 8K対応品
		放送	20P	
		機器用コンセント	露出 2P15Ax2 E付 × 2	
2T-1	20P	電話	10P	
		情報	SW-HUB8ポート×1	
		テレビ	増幅器 (SH-UF-1) × 1、4分配器 (SH-D4) × 1	全て4K, 8K対応品
		放送	10P	
		機器用コンセント	露出 2P15Ax2 E付 × 2	





記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 株式会社 東北建企 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 弱電設備 2階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
			印		図面番号 E-26

放送設備 系統図

凡例

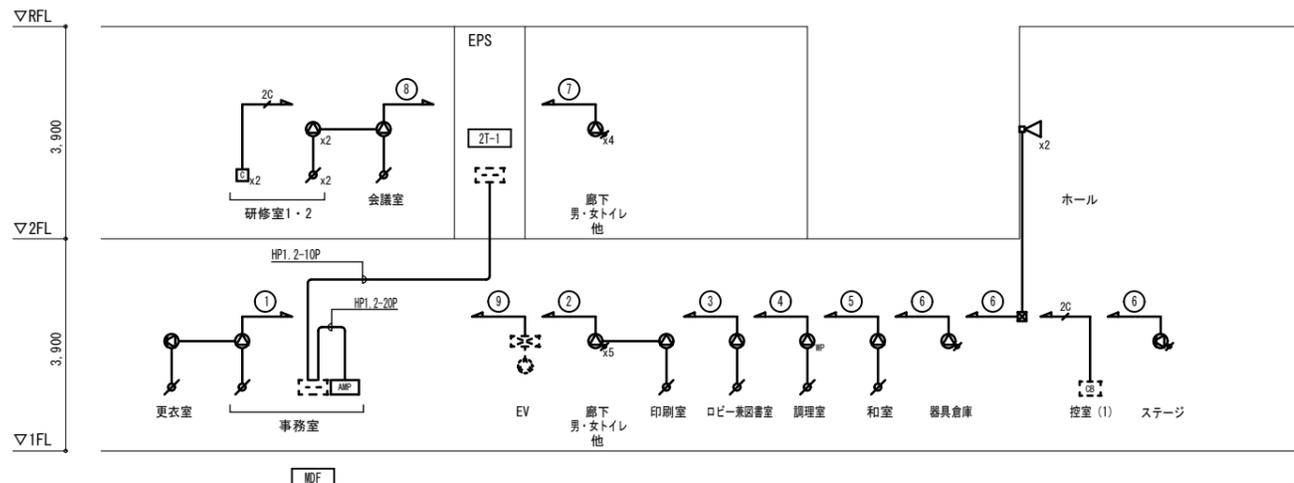
シンボル	品名
	壁掛型非常業務放送装置 (総合盤組込)
	天井埋込型スピーカー (ATT無)
	天井埋込型スピーカー (ATT付)
	防滴型天井スピーカー
	壁掛型スピーカー
	壁掛型スピーカー (ATT付)
	ホーンスピーカー
	アッテネータ
	電源遮断ユニット
	ワゴン接続盤 (電源遮断ユニット内蔵)

配管・配線

※特記なき配管配線は下記とする。

EM-HP1.2-3C	保護管 (PF16)
EM-HP1.2-2C	保護管 (PF16)

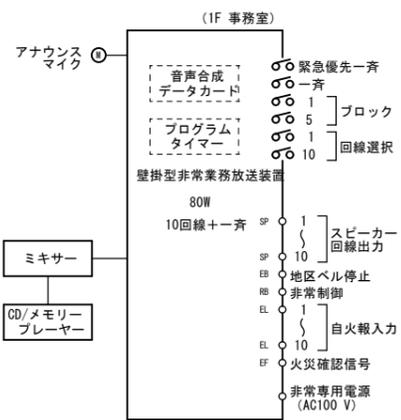
※二重天井内はコログン配線とし、立上げ・引き下げ壁・梁貫通部は上記保護管により保護のこと。  
※ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。



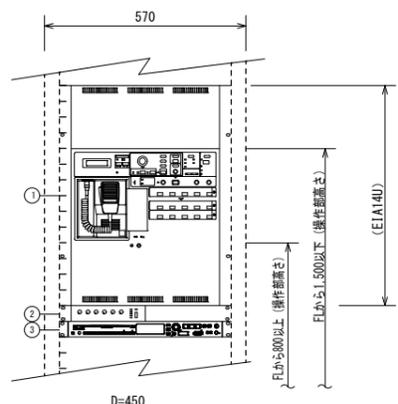
回線容量表

非常業務No.	階	放送区域	使用スピーカー種類・入力 (W)・数量							CR	合計 (W)	ATT
			1W	1W	1W	1W	1W	6W	1W			
1	1F	1 事務室、更衣室	1								2 W	2
		2 廊下、トイレ 他	1	5							6 W	1
		3 ロビー兼図書室	1								1 W	1
		4 調理室			1						1 W	1
		5 和室	1								1 W	1
2	2F	6 ホール		1			1	2		14 W		
		7 廊下、トイレ 他			4					4 W		
3	2F	8 研修室、会議室	3							2	3 W	3
		9 EV (予備)							1		1 W	
		合計 (台)	7	10	1	1	1	2	1	2	23 台	9
		合計 (W)	8W	10W	1W	1W	1W	12W	1W		33 W	

放送設備 ブロック図



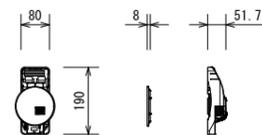
壁掛型非常業務放送装置 (総合盤組込)



1	壁掛型非常業務放送装置
2	ミキサー
3	CD/メモリープレーヤー

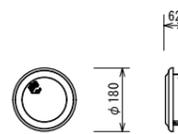
定格出力	80 W (デジタルパワーアンプ)
出力制御	10回線および一斉 (非常業務放送兼用)
非常放送	音声警報式、一斉火災放送移行機能付
緊急地震放送	非常放送より優先可 (NHKチャイム音/REICサイン音)
ブロック放送	数ブロック (緊急優先ブロック、業務ブロック、SDブロック)
自火報連動	連動、連動一斉
音声警報メッセージ	日本語・英語131種類内蔵、151種類搭載可能
業務放送メッセージ	最大43種類 (38種類内蔵)
	(ウエストミンスター、ラジオ体操第一、他)
業務放送優先順位	6段階
操作スイッチ	非常起動、火災放送、非火災放送、放送優先、ブロック選択、非常復旧、緊急優先一斉、一斉、放送復旧、チャイム、他
表示	火災、発報放送、火災放送、非火災放送、出火警、作動連動、連動一斉、発報連動停止、放送中、液晶表示、他
タイマー機能	週間/臨時スケジュール、総ステップ数：250、パターン9
状態出力	11回路11種類
音声入力	非常業務専用マイク、マイク、ライン、ユニットケース、電音チャイム、電音チャイム、アナウンスコン、録音コン、マルチ録音コン、録音コン、録音コン
モニタースピーカー	出力 0.45 W (音量調節器、ハウリング防止回路付)
電源	常用：AC100 V、非常時：DC24 V (ニッカド蓄電池)
ミキサー	
入力	マイク x4、マイク/外部入力 x2、AUX
出力	1回路 (0/-50 dBs切換)
付属機能	5素子LEDレベルインジケータ
CD/メモリープレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth	対応A2DPコーデック：SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー	FM：76~108 MHz、AM：522~1,629 kHz
外部入力	ステレオミニジャック (前面)

天井埋込型スピーカー (ATT無)  
天井埋込型スピーカー (ATT付)



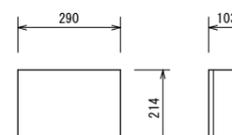
スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz~20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミバンチング/ABS樹脂
アッテネータ	4段階 (大/中/小/切)

防滴型天井スピーカー



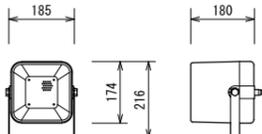
スピーカーユニット	9 cm防滴型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz~20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠 (JIS C 0920)
材質	キャビネット：PP複合樹脂

壁掛型スピーカー (ATT付)



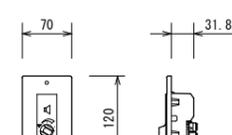
スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W (1 m)
周波数特性	120 Hz~13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
アッテネータ	4段階 (大/中/小/切)
キャビネット	木製

ホーンスピーカー



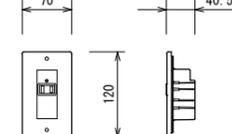
スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz~15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠 (JIS C 0920-2003)
使用温度範囲	-30 °C~+60 °C

アッテネータ



入力容量	6 W (0.5 W~6 W適合)
入力インピーダンス	1.7 kΩ~20 kΩ
音量調節	5段階 (OFF、-18、-12、-6、0 dB)

電源遮断ユニット



コンセント	AC100 V、50/60 Hz
電力容量	最大800 W
電流容量	最大10 A (ACアウトレット1個)
制御電源	DC24 V、10 mA (非常制御信号RB)
制御方法	RB端子0 Vで商用電源出力をOFF
表示灯 (LED)	1 (通常時：緑色点灯、非常時：消灯)
プレート	付

凡例

シンボル	品名
AMP	壁掛型非常業務放送装置 (総合盤組込)
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT無)
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT付)
⊙	防滴型天井スピーカー
⊙	壁掛型スピーカー
⊙	壁掛型スピーカー (ATT付)
⊙	ホーンスピーカー
⊙	アッテネータ
⊙	電源遮断ユニット
⊙	ワゴン接続盤 (別途工事)

配管・配線

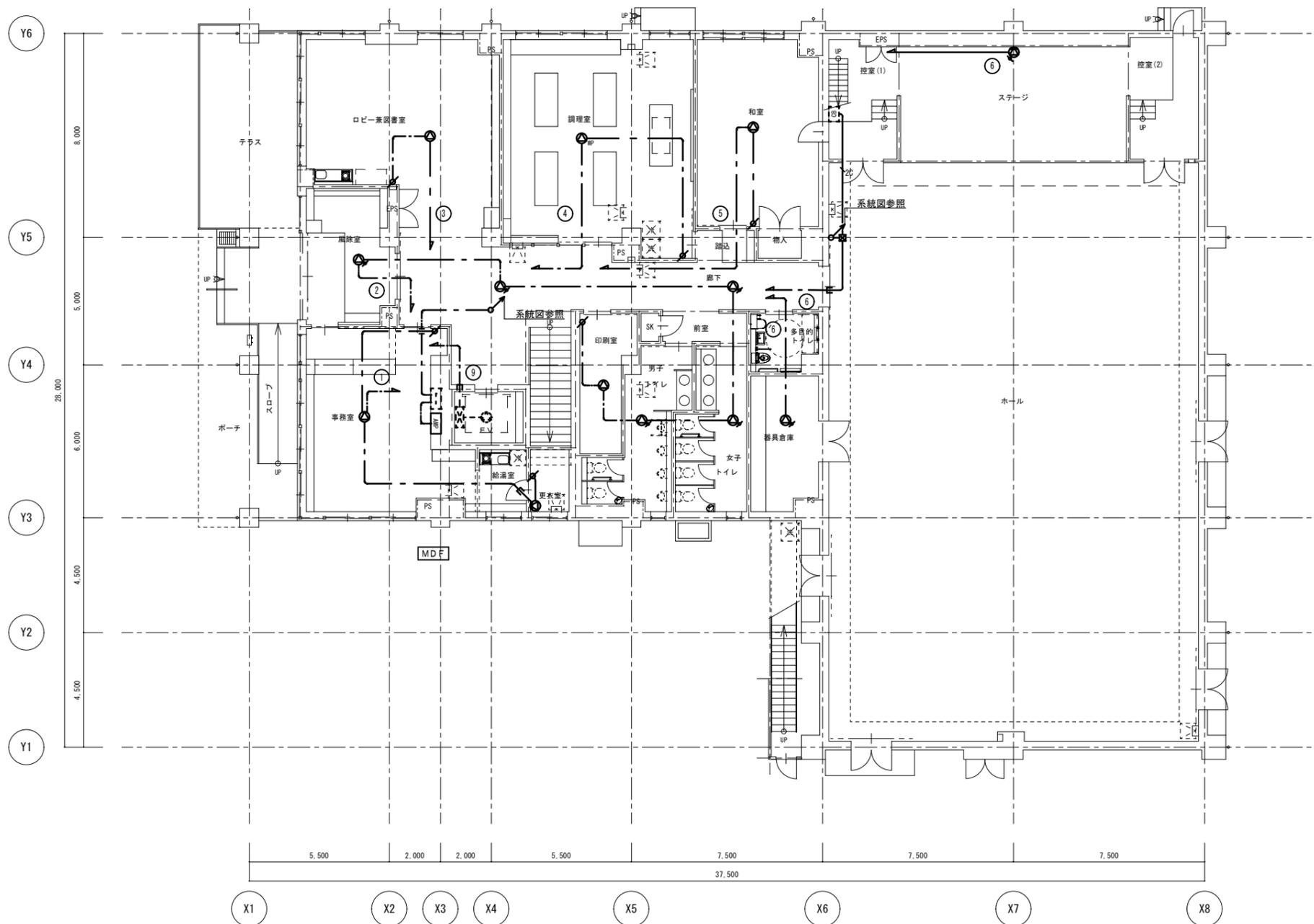
※特記なき配管配線は下記とする。

—	EM-HP1.2-3C	保護管 (PF16)
— 2C	EM-HP1.2-2C	保護管 (PF16)
— 2C	EM-HP1.2-2C	(E19)
—	EM-HP1.2-3C	(E19)

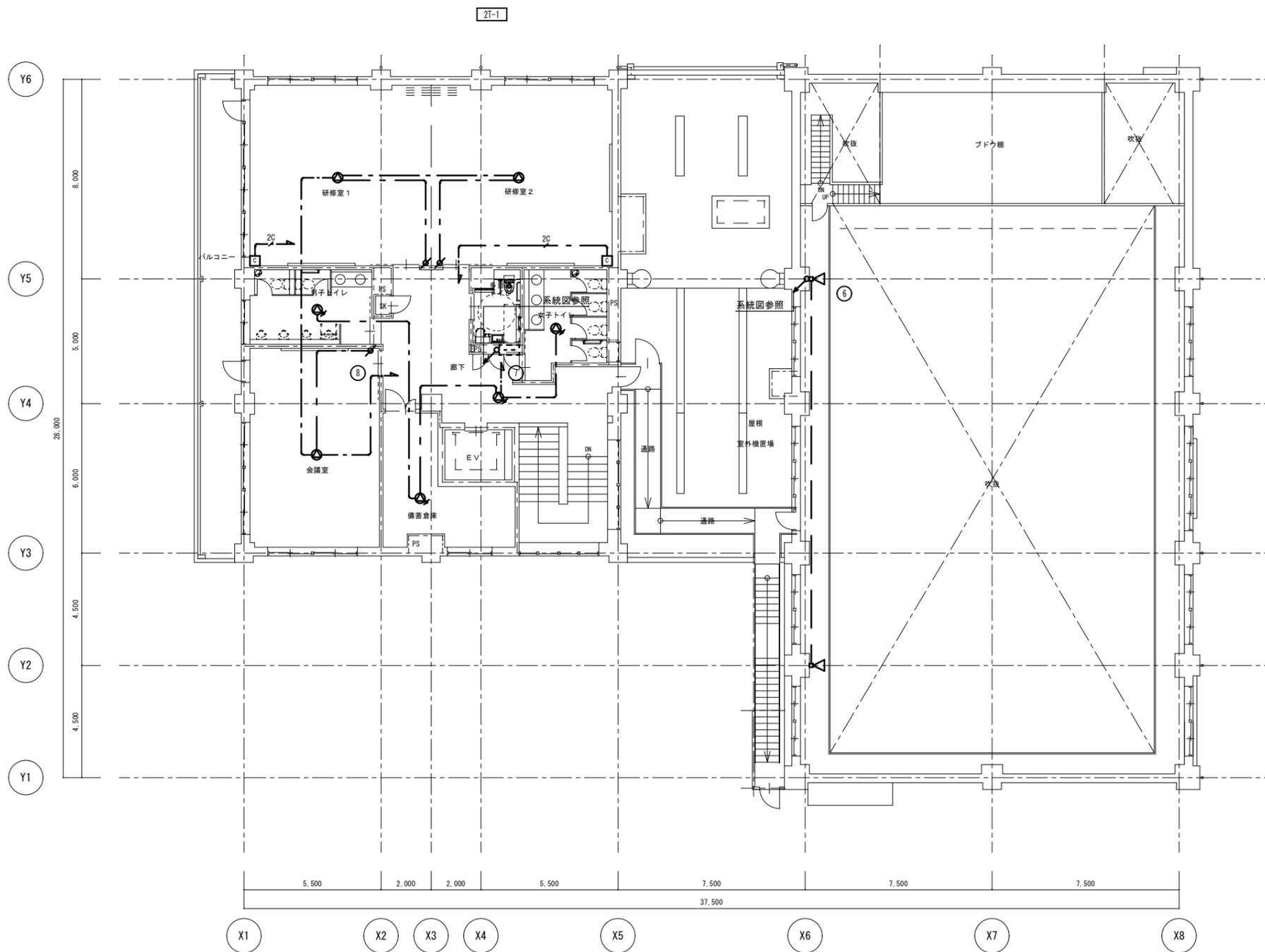
※二重天井内はコログン配線とし、立上げ・引き下げ

壁・梁貫通部は上記保護管により保護のこと。

※ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。

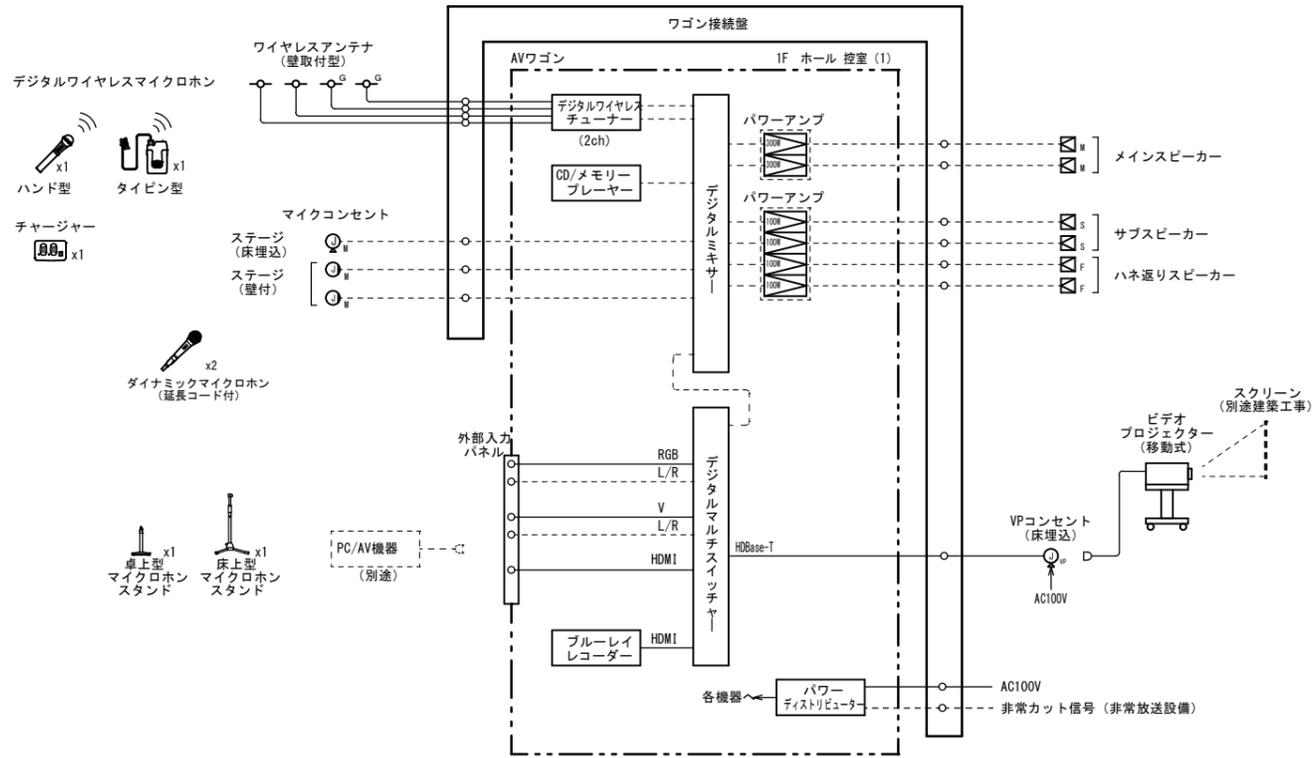


記 事	業務名称 館慶公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館慶公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	一級建築士 (大臣) 第58900号 折原 幸一		図面名称 非常放送設備 1階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-28

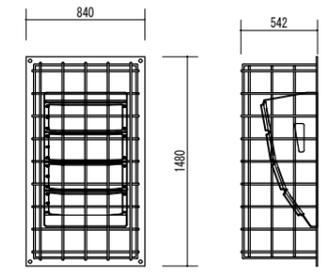


記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 非常放送設備 2階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-29

ホール 映像音響設備 系統図

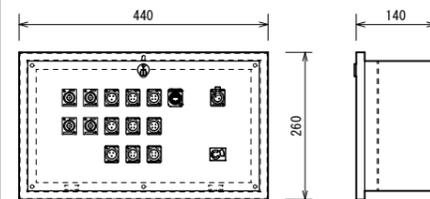


メインスピーカー (防球ガード付)



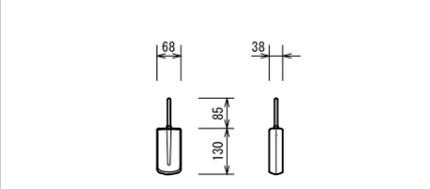
形式	アレイ方式 2ウェイバスレフ型 (防球構造)
スピーカーユニット	高音用: 4 cmコーン型 x16, 低音用: 16 cmコーン型 x8
定格入力	250 W (8 Ω)
出力音圧レベル	98 dB/W (1 m)
周波数特性	70 Hz~20 kHz
水平/垂直指向角度	水平: 90° (内向き10° に対し、左右対称) 垂直: 35° (下向き10° に対し、上5°/下30°)
質量	約32.5 kg

ワゴン接続盤



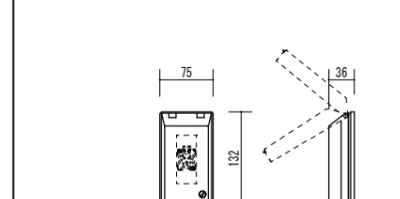
コネクタ	ワイヤレス用 BNC x4
マイク用	XLR3-32-F77相当 x3
スピーカー用	XLR4-32-F77相当 x6
非常制御用	XLR2-32タイプ x1
	ACコンセント (AC100V電源) x1
材質/構造	鋼板/扉付き
仕上	マンセル2.5Y9/1半ツヤ近似色 焼付塗装

ワイヤレスアンテナ (壁取付型)



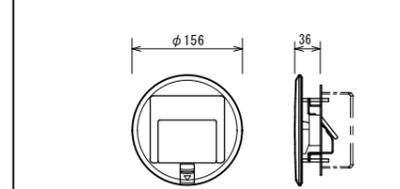
受信周波数範囲	806 MHz~810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB (ブースターアップ含む)
推奨同軸ケーブル	5C-FB (BS用)
防水性	IPX4準拠 (JIS C 0920-2003)
アッテネーター	3段階切換 (広、中、狭)
電源	DC8 V~15 V (同軸ケーブルに重畳)、10 mA
質量	145 g

マイクコンセント (壁付)



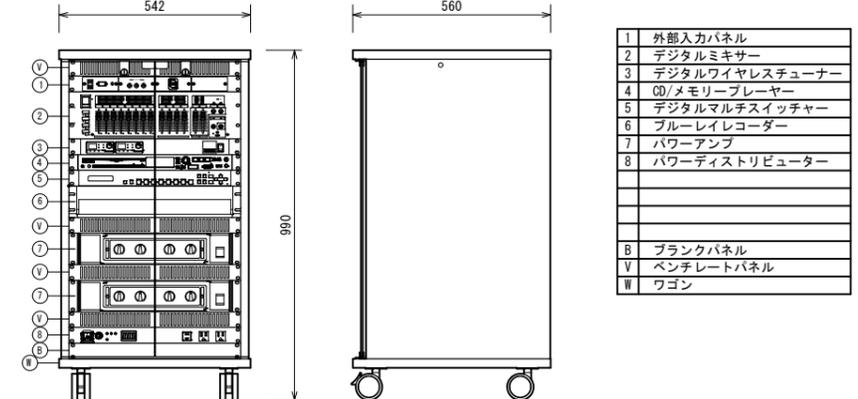
コネクタ	XLR-3-31-F77相当 x1
適合ボックス	JIS1ケ用スイッチボックス

VPコンセント (床埋込)



コネクタ	LANコネクタ (CAT6) x1
	ACコンセント x1
プレートブロック	材質: アルミダイカスト
適合ボックス	中型四角アウトレットボックスまたは 大型四角アウトレットボックス

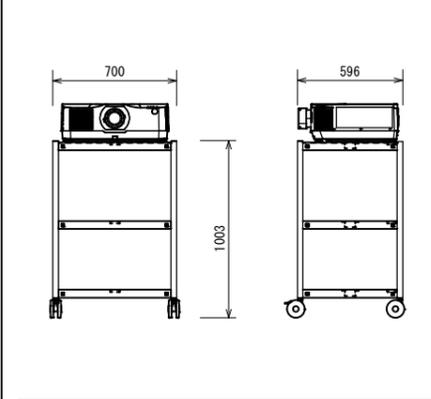
AVワゴン



- 1 外部入力パネル
- 2 デジタルミキサー
- 3 デジタルワイヤレスチューナー
- 4 CD/メモリープレーヤー
- 5 デジタルマルチスイッチャー
- 6 ブルーレイレコーダー
- 7 パワーアンプ
- 8 パワーディストリビューター
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- B ブランクパネル
- V ベンチレートパネル
- W ワゴン

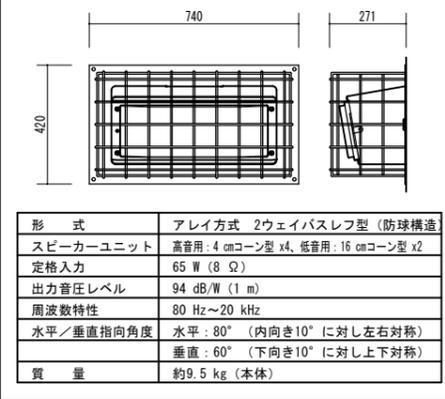
外部入力パネル	入力端子	アナログRGB (ミニDsub15P)
		音声 (ステレオミニジャック)、ACコンセント
		AUX入力 (V、L/R)、HDMI
デジタルミキサー	入力	モノラル x8 (ファンタム電源 +48V供給可能)
	出力	ステレオ x4、コントロール x1
		ステレオ x2、モノラル x2、録音 x1
デジタルオーディオ入出力	USB Type-C x1	入力: 2ch、出力: 2ch
周波数特性		20 Hz~20 kHz
付加機能		マトリクス、ハウリングサプレッサー (6素子)、 入出力コイライザー、ディレイ、コンプレッサー
パターンメモリー		16 (内4パターンは前面スイッチで選択可能)
デジタルワイヤレスチューナー	受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイ
	受信周波数	800 MHz帯の30波から2波を受信
	入力	アンテナ (α・β各2)、混合
	出力	チューナー x2、混合
CD/メモリープレーヤー	対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
	再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth		対応A2DPコーデック: SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー		FM: 76~108 MHz、AM: 522~1,629 kHz
デジタルマルチスイッチャー	映像入力	HDMI x5、DVI-I/アナログ x2
	映像出力	HDMI x1、HDBaseT x1
	音声入力	デジタル: 7系統、アナログ: 3系統
	音声出力	デジタル: 1系統2分配、アナログ: 1系統
	外部制御	RS-232C、LAN
	機能	リップシンク、PULink対応、EDIDエミュレート
ブルーレイレコーダー	HDD容量	2 TB
	チューナー	2 (地D×2・BS/CS×2)
パワーアンプ	定格出力	100 W x4 (8 Ω)、150 W x4 (4 Ω)
	2チャンネル出力	300 W x2 (8 Ω)
	周波数特性	20 Hz~20 kHz (8 Ω、1W出力時)
	S/N	100 dB以上
	入力インピーダンス	20 kΩ
パワーディストリビューター	コンポジット入力端子	ミニD-Sub15ピン x1 (PC入力と共用)
	コンポジット出力端子	ミニD-Sub15ピン x1 (全信号共通)
	音声出力	ステレオミニジャック x1 (全信号共通)
	USBポート	USBタイプA x1 (USBマウス用)
	電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大845 W
	質量	26.0 kg (レンズ込み)
	移動設置台	SPCC t=1.2、アイボリー

ビデオプロジェクター (移動式)

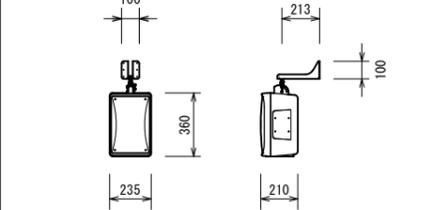


方式	3原色液晶シャッター投影方式
パネルサイズ	0.76型MLA付 x3枚 (アスペクト比16:10)
画素数	2,304,000画素 (1920 x 1200)
レンズ	電動ズーム (1.4倍、0.79~1.11:1)
光源	レーザーダイオード
色再現性	10ビットカラープロセッシング
明るさ	10000 lm (ブースト時)/9000 lm
コントラスト比	3,000,000:1 (ダイナミックコントラストオン時)
最大表示解像度	アナログ: 1920 x 1200
	デジタル: 4096 x 2160
入力端子	HDMIタイプA x2 (HDCP2.2/1.4)
	DisplayPort x1 (HDCP1.3)
	HDBaseT x1
コンピュータ入力端子	ミニD-Sub15ピン x1
コンポジット入力端子	ミニD-Sub15ピン x1 (PC入力と共用)
音声出力	ステレオミニジャック x1 (全信号共通)
USBポート	USBタイプA x1 (USBマウス用)
電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大845 W
質量	26.0 kg (レンズ込み)
移動設置台	SPCC t=1.2、アイボリー

サブスピーカー (防球ガード付)

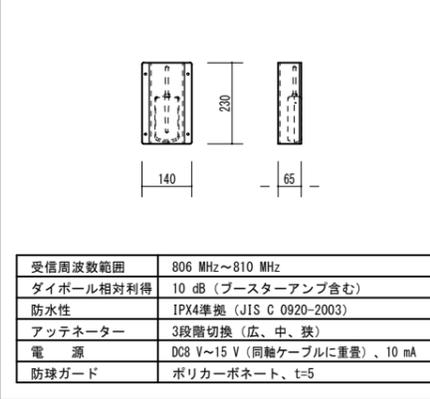


ハネ返りスピーカー

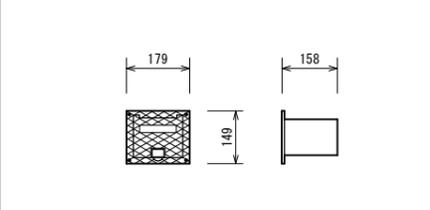


スピーカーユニット	高音用: 定指向性ホーン型
	低音用: 16 cmコーン型
定格/最大入力	90 W (RMS) / 180W (連続プログラム)
出力音圧レベル	90 dB/W (1m)
周波数特性	65 Hz~20 kHz
入力インピーダンス	8 Ω (ハイインピーダンススピーカーライン対応可)
その他	壁面取付金具付

ワイヤレスアンテナ (ガード付)

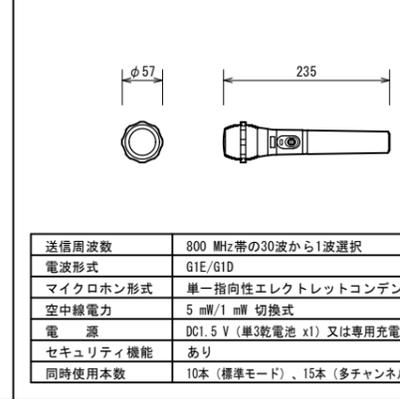


マイクコンセント (床埋込)

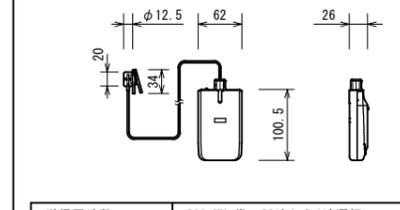


コネクタ	XLR-3-31相当 x1
プレート	アルミニウム鍍物
ボックス	鋼板

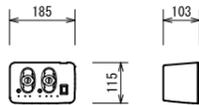
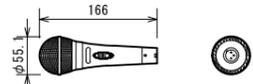
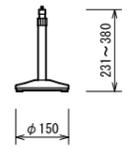
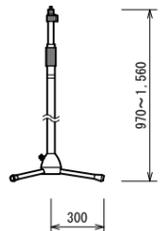
デジタルワイヤレスマイクロホン (ハンド型)



デジタルワイヤレスマイクロホン (タイプン型)



送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサ型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電源	DC1.5 V (単3乾電池 x1) 又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本 (標準モード)、15本 (多チャンネルモード)
付属品	ストラップ、マイク部用ネックホルダー

チャージャー																					
		x1																			
<table border="1"> <tr><td>充電方式</td><td>急速充電（満充電検出式）</td></tr> <tr><td>標準充電時間</td><td>約2時間</td></tr> <tr><td>電 源</td><td>DC6 V（専用ACアダプター付）</td></tr> <tr><td>質 量</td><td>0.8 kg</td></tr> <tr><td>付属品</td><td>専用充電式電池 x2</td></tr> </table>		充電方式	急速充電（満充電検出式）	標準充電時間	約2時間	電 源	DC6 V（専用ACアダプター付）	質 量	0.8 kg	付属品	専用充電式電池 x2										
充電方式	急速充電（満充電検出式）																				
標準充電時間	約2時間																				
電 源	DC6 V（専用ACアダプター付）																				
質 量	0.8 kg																				
付属品	専用充電式電池 x2																				
ダイナミックマイクロホン																					
		x2																			
<table border="1"> <tr><td>形 式</td><td>ダイナミック型</td></tr> <tr><td>指 向 性</td><td>カーディオイド</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>70 Hz～15 kHz</td></tr> <tr><td>出カインピーダンス</td><td>600 Ω 平衡</td></tr> <tr><td>感 度</td><td>-53.5 dBV/Pa (2.10mV)</td></tr> <tr><td>その他</td><td>10 m延長コード (XLR3-11C/12C) 付</td></tr> </table>		形 式	ダイナミック型	指 向 性	カーディオイド	周波数特性	70 Hz～15 kHz	出カインピーダンス	600 Ω 平衡	感 度	-53.5 dBV/Pa (2.10mV)	その他	10 m延長コード (XLR3-11C/12C) 付								
形 式	ダイナミック型																				
指 向 性	カーディオイド																				
周波数特性	70 Hz～15 kHz																				
出カインピーダンス	600 Ω 平衡																				
感 度	-53.5 dBV/Pa (2.10mV)																				
その他	10 m延長コード (XLR3-11C/12C) 付																				
卓上型マイクスタンド																					
		x1																			
<table border="1"> <tr><td>マイク取付高さ</td><td>最高380 mm～最低231 mm</td></tr> <tr><td>マイク取付ネジ</td><td>3/8-16 UNC</td></tr> <tr><td>付属変換ネジ</td><td>5/16-18 UNC、5/8-27 UNS</td></tr> <tr><td>ロック方式</td><td>スリーブ・ロック方式</td></tr> <tr><td>質 量</td><td>約1.1 kg</td></tr> </table>		マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm	マイク取付ネジ	3/8-16 UNC	付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS	ロック方式	スリーブ・ロック方式	質 量	約1.1 kg										
マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm																				
マイク取付ネジ	3/8-16 UNC																				
付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS																				
ロック方式	スリーブ・ロック方式																				
質 量	約1.1 kg																				
床上型マイクスタンド																					
		x1																			
<table border="1"> <tr><td>マイク取付高さ</td><td>最高1,560 mm～最低970 mm</td></tr> <tr><td>マイク取付ネジ</td><td>3/8-16 UNC</td></tr> <tr><td>付属変換ネジ</td><td>5/16-18 UNC、5/8-27 UNS</td></tr> <tr><td>ロック方式</td><td>スリーブ・ロック方式</td></tr> <tr><td>質 量</td><td>約2.6 kg</td></tr> </table>		マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm	マイク取付ネジ	3/8-16 UNC	付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS	ロック方式	スリーブ・ロック方式	質 量	約2.6 kg										
マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm																				
マイク取付ネジ	3/8-16 UNC																				
付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS																				
ロック方式	スリーブ・ロック方式																				
質 量	約2.6 kg																				

ホール 映像音響設備 平面図 (A1 : S=1/100)

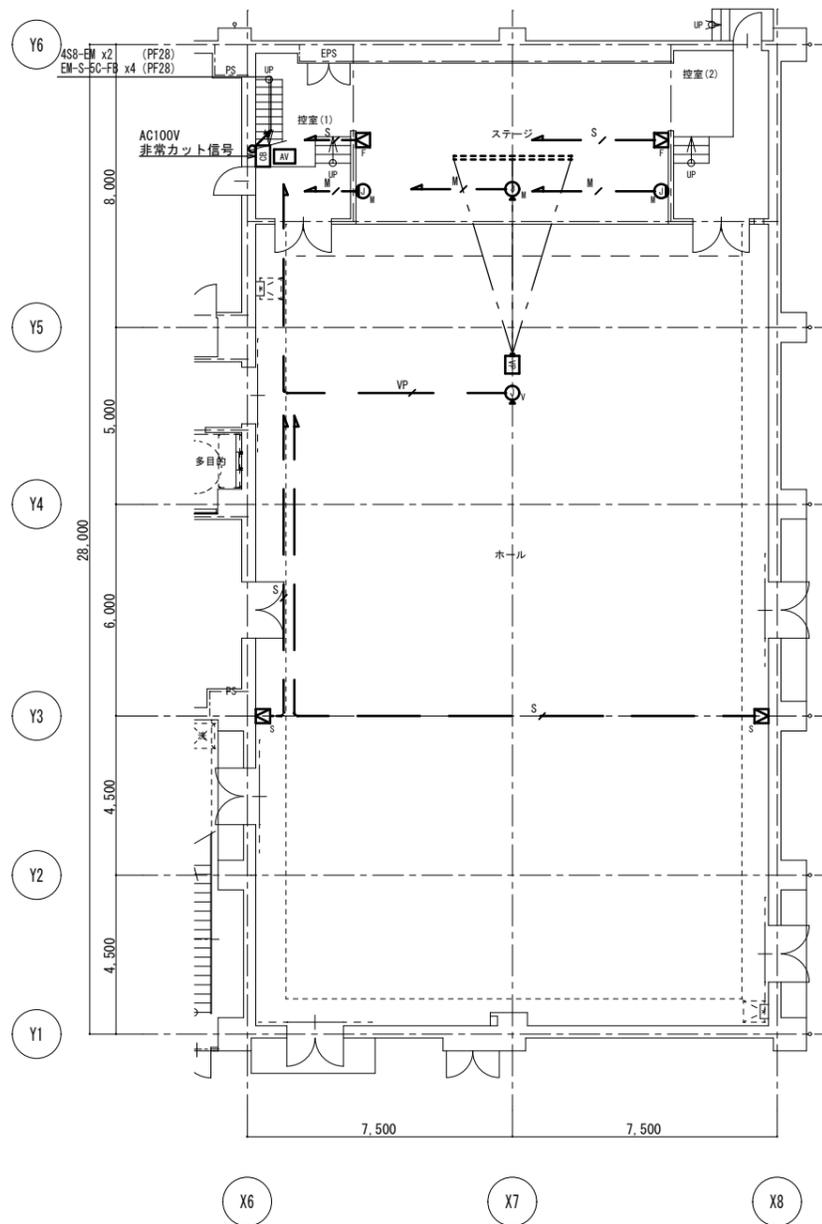
凡例

シンボル	品名
AV	AVワゴン
DB	ワゴン接続盤
VP	ビデオプロジェクター (移動式)
====	スクリーン (別途建築工事)
M	メインスピーカー
S	サブスピーカー
F	ハネ返りスピーカー
○	ワイヤレスアンテナ (壁取付型)
○	ワイヤレスアンテナ (ガード付)
○	マイクコンセント (床埋込)
○	マイクコンセント (壁付)
○	映像用コンセント (床埋込)

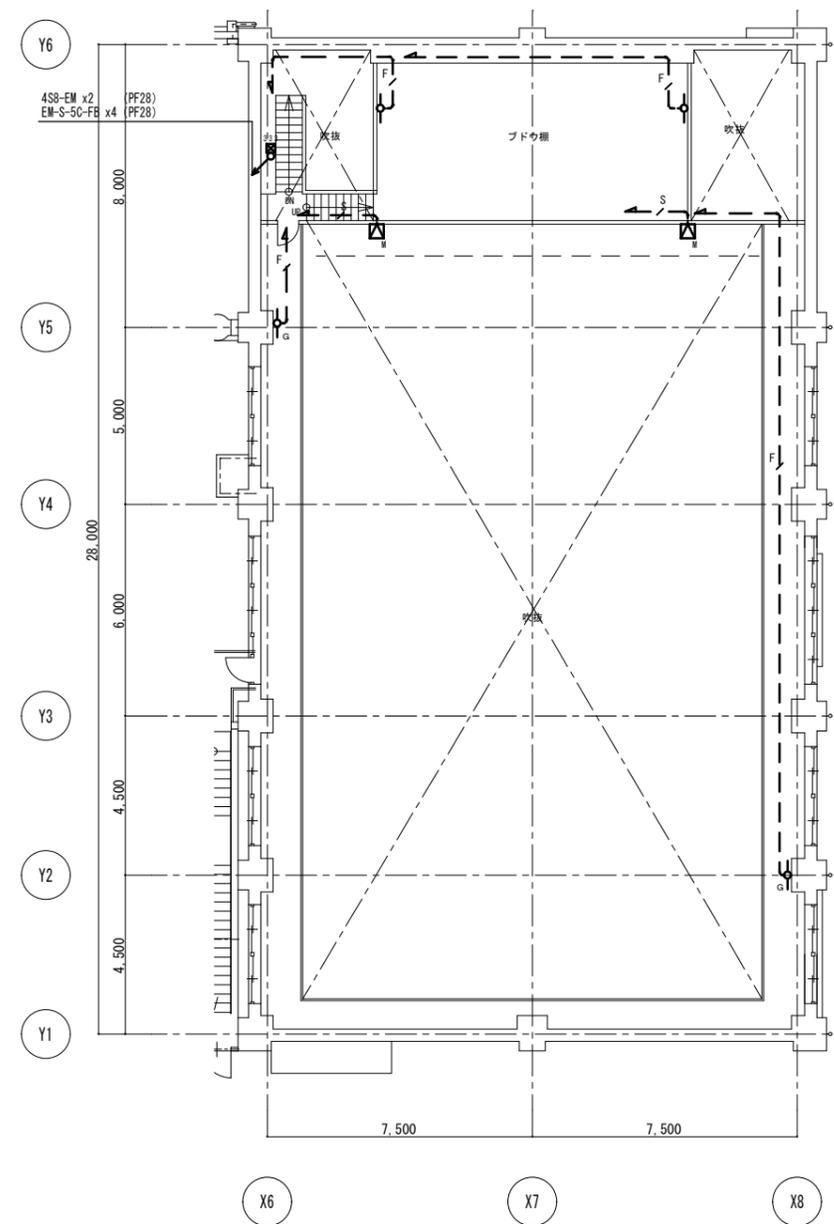
配管・配線

特記無き配管配線は下記による。

— S —	4S8-EM	保護管 (E19)
— F —	EM-S-5C-FB	保護管 (E19)
— S —	4S8-EM	保護管 (PF16) 床下隠蔽配管
— M —	4E6AT-EM	保護管 (PF16) 床下隠蔽配管
— VP —	EM-UTP0.5-4P (Cat. 6)	保護管 (PF16) 床下隠蔽配管



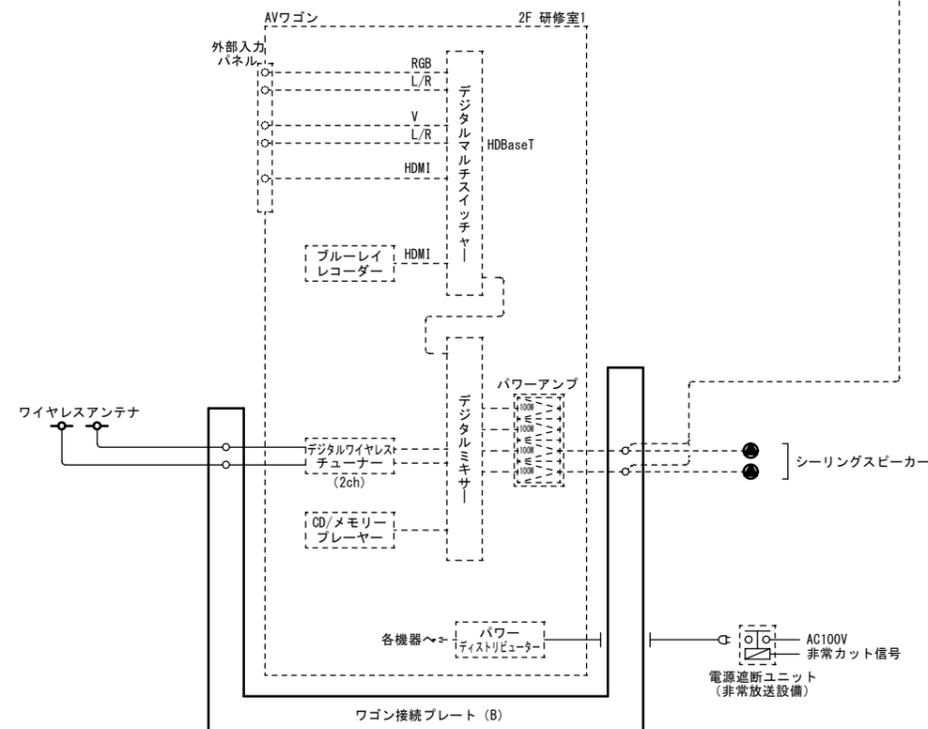
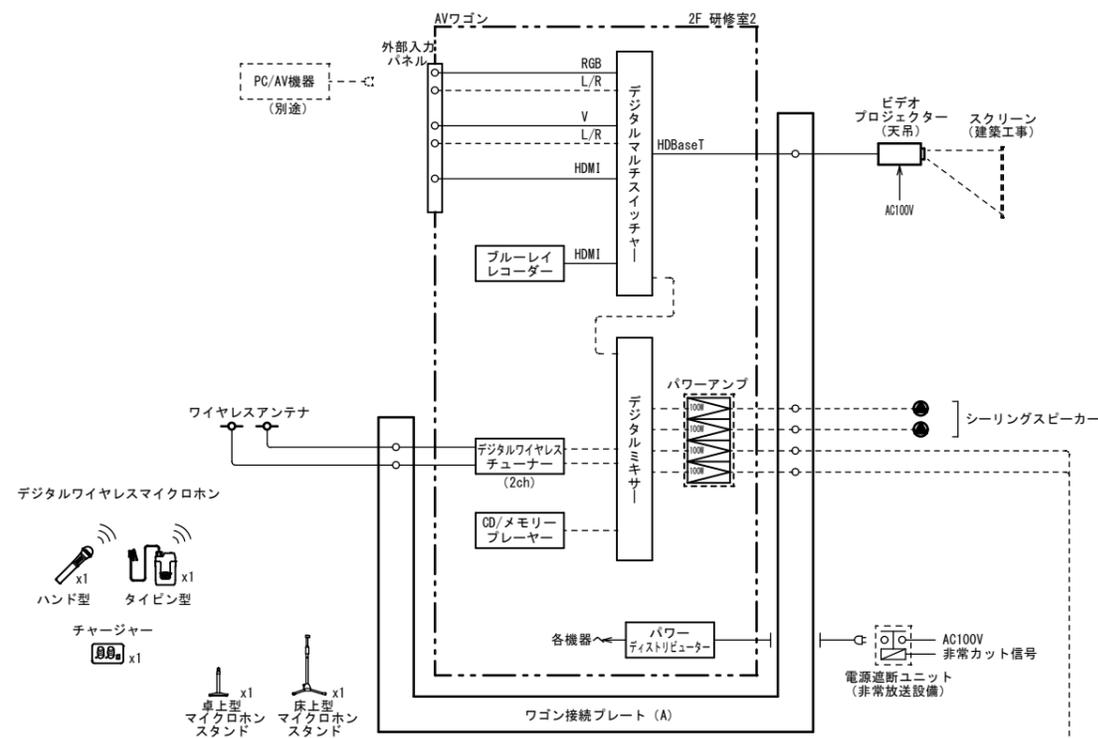
1F 平面図



2F 平面図

研修室1・2 映像音響設備 系統図

研修室1・2 映像音響設備 平面図 (A1 : S=1/100)



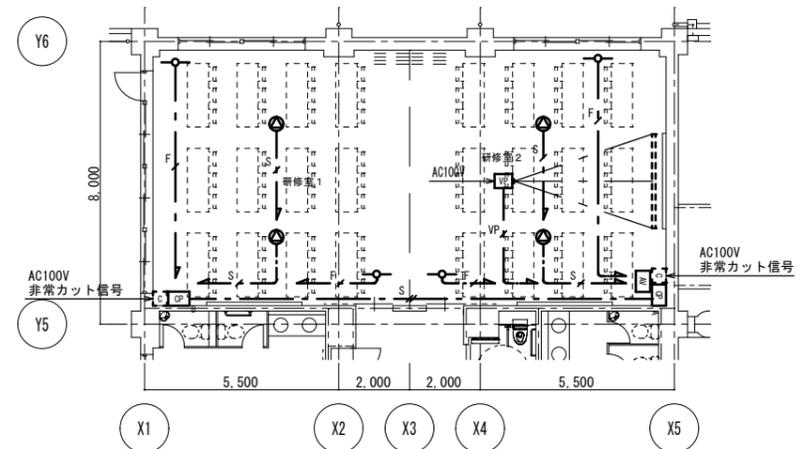
凡例

シンボル	品名
AV	AVワゴン
CP A	ワゴン接続プレート (A)
CP B	ワゴン接続プレート (B)
VP	ビデオプロジェクター (天吊)
====	スクリーン (建築工事)
⊙	シーリングスピーカー
○	ワイヤレスアンテナ
⊞	電源遮断ユニット (非常放送設備)

配管・配線

特記無き配管配線は下記による。

S	4S8F-EM	保護管 (PF16)
S	4S8F-EM x2	保護管 (PF22)
F	EM-S-5C-FB	保護管 (PF16)
VP	EM-UTPO.5-4P (Cat.6)	保護管 (PF16)



※研修室2で全体使用

**AVワゴン**

Dimensions: 542 (width), 560 (depth), 987 (height)

1	外部入力パネル
2	デジタルミキサー
3	デジタルワイヤレスチューナー
4	CD/メモリープレーヤー
5	デジタルマルチスイッチャー
6	ブルーレイ/DVDレコーダー
7	パワーアンプ
8	パワーディストリビューター
9	EIA引き出し
B	ブラックパネル
V	ベンチレートパネル
W	ワゴン

外部入力パネル	アナログRGB (ミニDsub15P)
入力端子	音声 (ステレオミニジャック)、ACコンセント、AUX入力 (V、L/R)、HDMI
デジタルミキサー	入 力: モノラル x8 (ファンタム電源 +48V供給可能)、ステレオ x4、コントローラー x1
出力	ステレオ x2、モノラル x2、録音 x1
デジタルオーディオ入出力	USB Type-C x1、入力: 2ch、出力: 2ch
周波数特性	20 Hz~20 kHz
付加機能	マトリクス、ハウリングサブレッサー (6素子)、入出力コライザー、ディレイ、コンプレッサー
デジタルワイヤレスチューナー	受信方式: ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイク
受信周波数	800 MHz帯の30波から2波を受信
入力	アンテナ (α・β各2)、混合
出力	チューナー x2、混合
CD/メモリープレーヤー	対応メディア: CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth	対応A2DPコーデック: SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー	FM: 76~108 MHz、AM: 522~1,629 kHz

デジタルマルチスイッチャー	映像入力: HDMI x5、DVI-I/アナログ x2
映像出力	HDMI x1、HDBaseI x1
音声入力	デジタル: 7系統、アナログ: 3系統
音声出力	デジタル: 1系統2分配、アナログ: 1系統
外部制御	RS-232C、LAN
機能	リップシンク、PULink対応、EDIDエミュレート
ブルーレイ/DVDレコーダー	HDD容量: 2 TB
チューナー	2 (地D x2・BS/CS x2)
パワーアンプ	定格出力: 100 W x4 (8 Ω)、150 W x4 (4 Ω)
2チャンネル出力	300 W x2 (8 Ω)
周波数特性	20 Hz~20 kHz (8 Ω、1W出力時)
S/N	100 dB以上
入力インピーダンス	20 k Ω
パワーディストリビューター	AG100 V入力: 15 Aサーキットブレーカー x1
ワゴン	キャスター、鍵付強化ガラス扉 (270° 開閉可)
材質	木製 (EIAマウントタイプ)

**シーリングスピーカー**

Dimensions: 21.5 (width), 154 (depth), φ254 (diameter), φ106 (diameter)

スピーカーユニット	高音用: 25 mmドーム型
	低音用: 13.5 cmコーン型
定格入力	5 W/10 W/30 W、40 W (RMS)
出力音圧レベル	92 dB/W (1m)
周波数特性	80 Hz~20 kHz
入力インピーダンス	2 k Ω/1 k Ω/330 Ω又は8 Ω
質量	約2.7 kg

**ワイヤレスアンテナ (天井埋込型)**

Dimensions: φ150 (diameter), 112 (height), 128.5 (height), 88.5 (height)

受信周波数範囲	806 MHz~810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB (プスターアンプ含む)
推奨同軸ケーブル	5C-FB (BS用)
アッテネーター	3段階切換 (広、中、狭)
電源	DC8 V~15 V (同軸ケーブルに重量)、10 mA
質量	145 g

**チャージャー**

Dimensions: 185 (width), 103 (width), 115 (height)

充電方式	急速充電 (満充電検出式)
標準充電時間	約2時間
電源	DC6 V (専用ACアダプター付)
質量	0.8 kg
付属品	専用充電式電池 x2

**卓上型マイクスタンド**

Dimensions: φ150 (diameter), 231~380 (height)

マイク取付高さ	最高380 mm~最低231 mm
マイク取付ネジ	3/8-16 UNC
付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質量	約1.1 kg

**ビデオプロジェクター (天吊)**

Dimensions: 503 (width), 163.7 (height), 86 (height), 406.7 (width)

コネクター	ワイヤレス用: BNC x2
スピーカー用	XLR-4-32-F77 相当 x4
プロジェクター用	RJ-45 (Cat6対応) x1
プレート	新金属

**ワゴン接続プレート (A)**

Dimensions: 208 (width), 120 (height)

コネクター	ワイヤレス用: BNC x2
スピーカー用	XLR-4-32-F77 相当 x4
プロジェクター用	RJ-45 (Cat6対応) x1
プレート	新金属

**デジタルワイヤレスマイクロホン (ハンド型)**

Dimensions: φ57 (diameter), 235 (length)

送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電源	DC1.5 V (単3乾電池 x1) 又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本 (標準モード)、15本 (多チャンネルモード)

**床上型マイクスタンド**

Dimensions: 970~1,560 (height), 300 (width)

マイク取付高さ	最高1,560 mm~最低970 mm
マイク取付ネジ	3/8-16 UNC
付属変換ネジ	5/16-18 UNC、5/8-27 UNS
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質量	約2.6 kg

方式	3原色液晶シャッタ投映方式
パネルサイズ	0.76型 x3枚 (アスペクト比16:10)
画素数	2,304,000画素 (1920 x 1200)
光源	レーザーダイオード+蛍光体
投写レンズ	2.3倍 電動ズーム・電動フォーカスレンズ
	焦点距離: 21.8-49.8 mm
明るさ	7,300 lm (標準レンズ、ワイド時)
コントラスト比	3,000,000:1 (ダイナミックコントラストオン時)
最大表示解像度	デジタル: 4096 x 2160
入力端子	HDMIタイプA x2 (HDCP1.4)
	HDBaseI x1
音声出力	ステレオミニジャック x1 (全信号共通)
コントロール端子	RJ-45 x1 (10BASE-T/100BASE-TX)
	RS-232C (D-Sub9ピン) x1
	ステレオミニジャック x1
USBポート	USBタイプA x1
電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大465 W
質量	15 kg (本体+レンズ+金具)

**ワゴン接続プレート (B)**

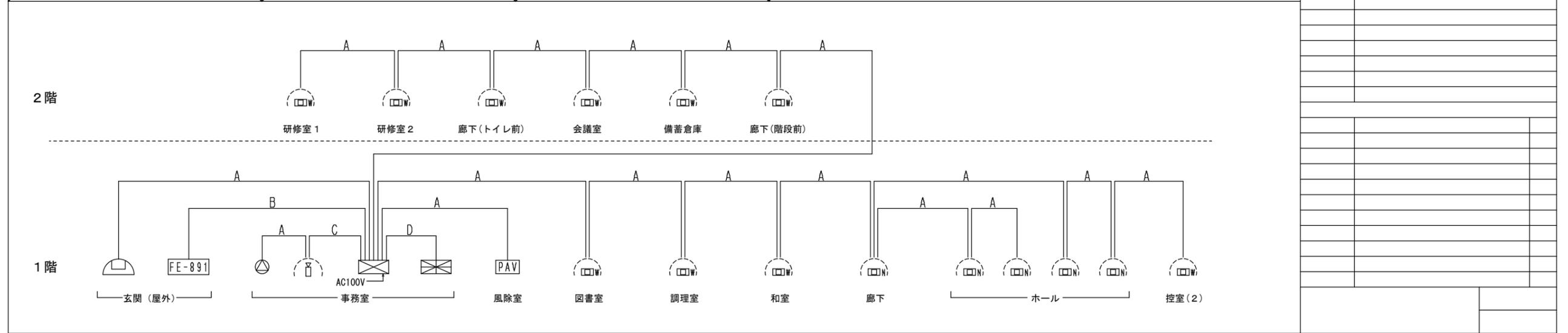
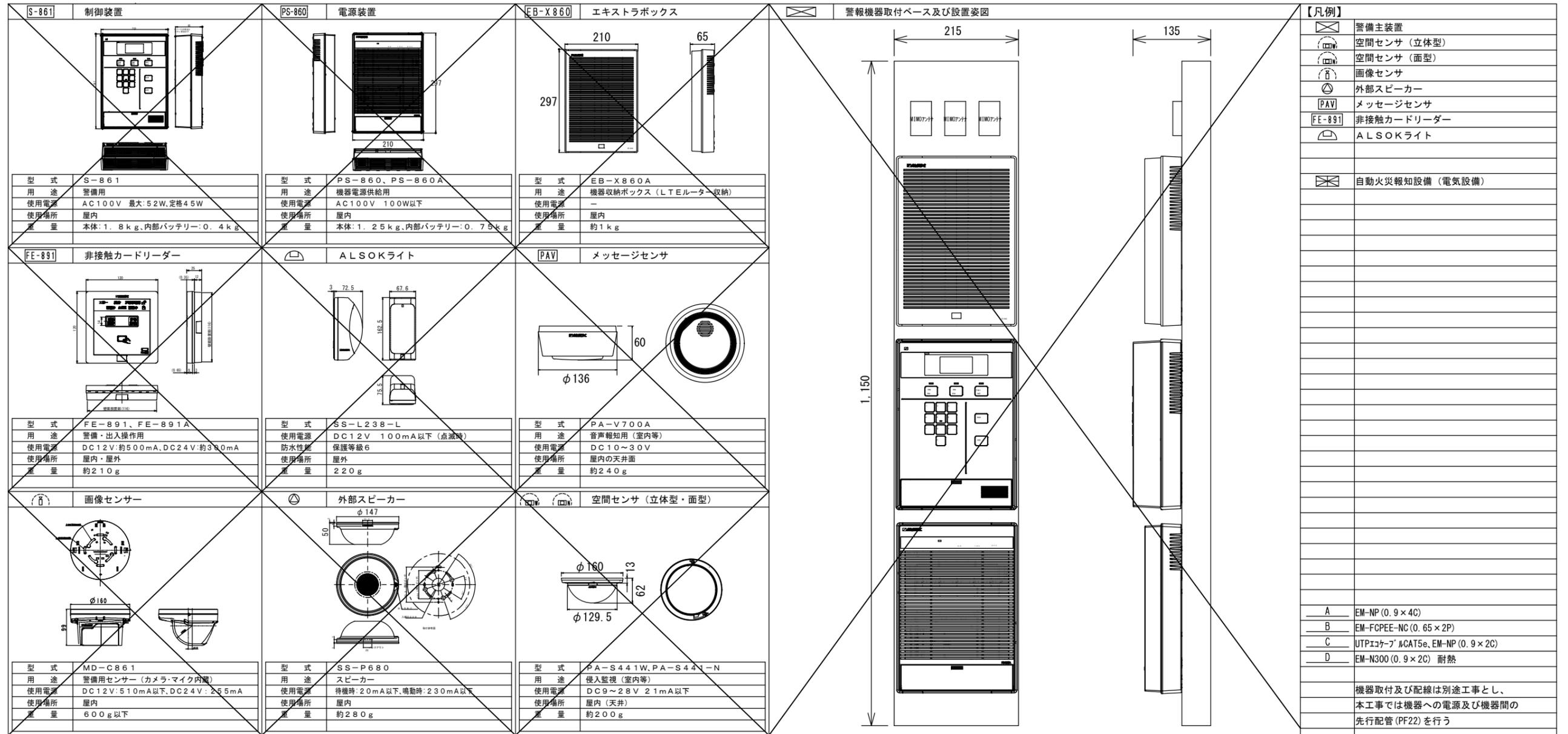
Dimensions: 162 (width), 120 (height)

コネクター	ワイヤレス用: BNC x2
スピーカー用	XLR-4-32-F77 相当 x2
プロジェクター用	RJ-45 (Cat6対応) x1
プレート	新金属

**デジタルワイヤレスマイクロホン (タイプイン型)**

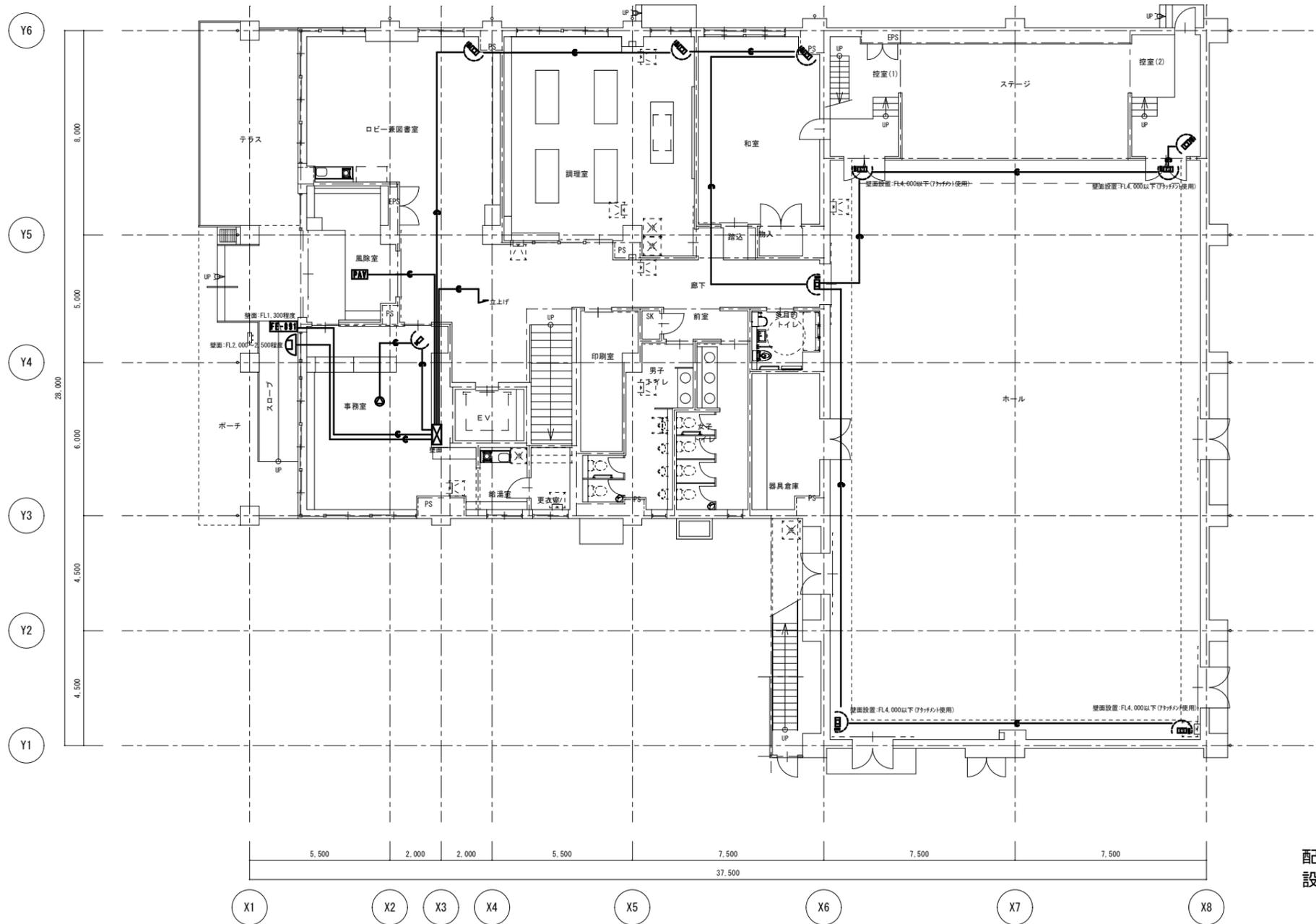
Dimensions: φ12.5 (diameter), 62 (length), 26 (length), 100.5 (height), 20 (height)

送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電源	DC1.5 V (単3乾電池 x1) 又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本 (標準モード)、15本 (多チャンネルモード)
付属品	ストラップ、マイク部用ネックホルダー



- A EM-NP (0.9×4C)
- B EM-FCPEE-NC (0.65×2P)
- C UTPケーブル #CAT5e, EM-NP (0.9×2C)
- D EM-N300 (0.9×2C) 耐熱

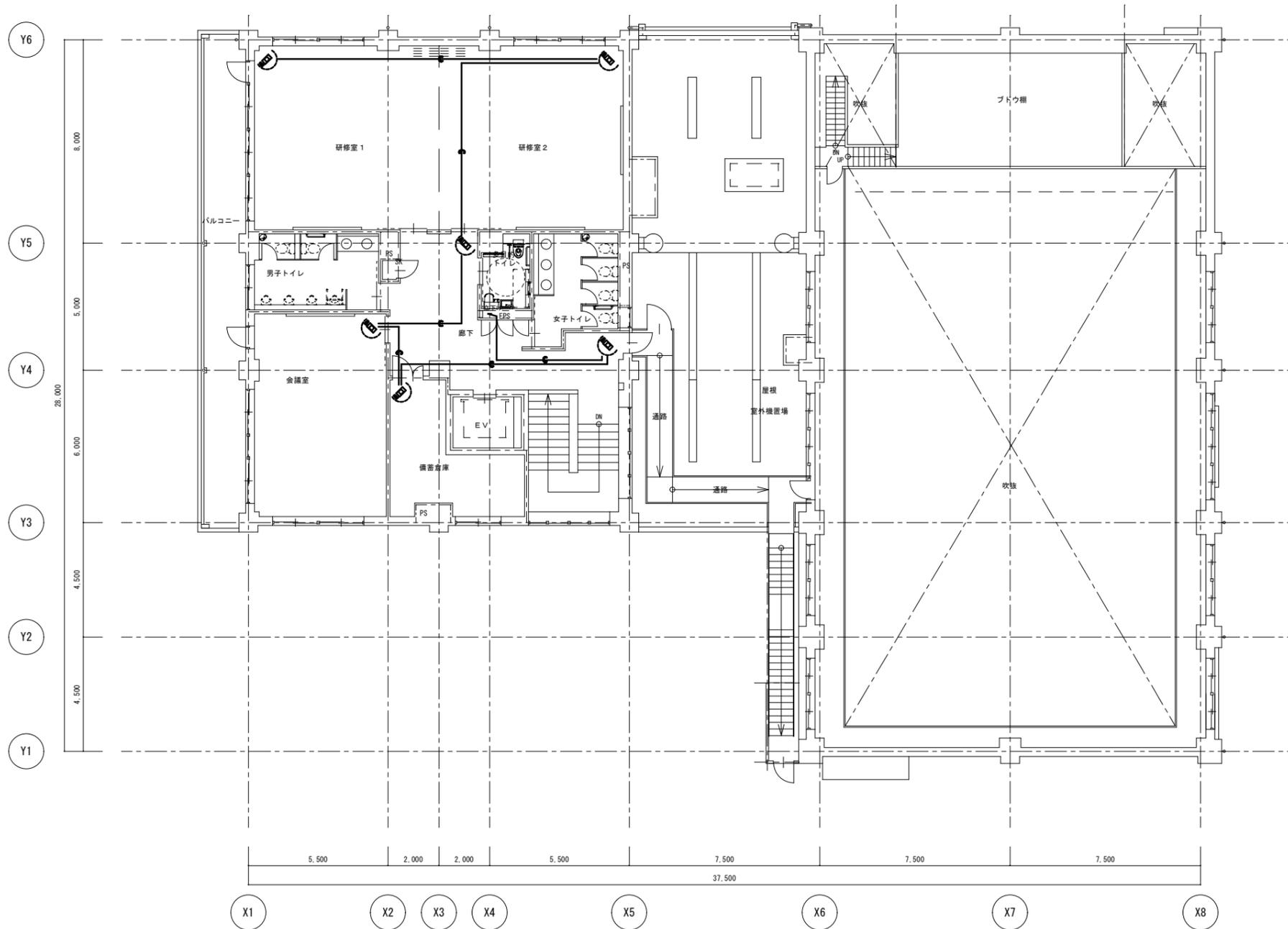
機器取付及び配線は別途工事とし、  
本工事では機器への電源及び機器間の  
先行配管 (PF22) を行う



配管についてはPF22程度  
 設置位置について記載の無い機器については天井設置

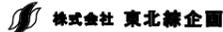


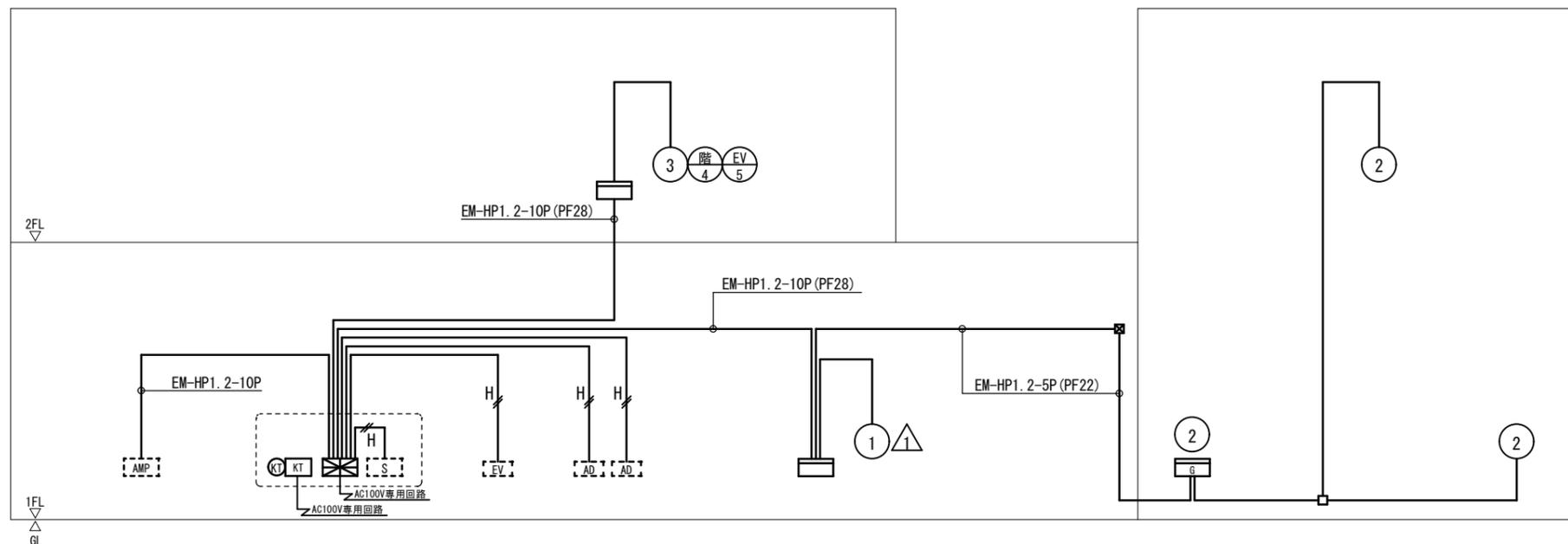
記 事	業務名称 館慶公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館慶公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	株式会社 東北建築 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 機械警備設備 1階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
			印		図面番号 E-36



配管についてはPF22程度  
 設置位置について記載の無い機器については天井設置



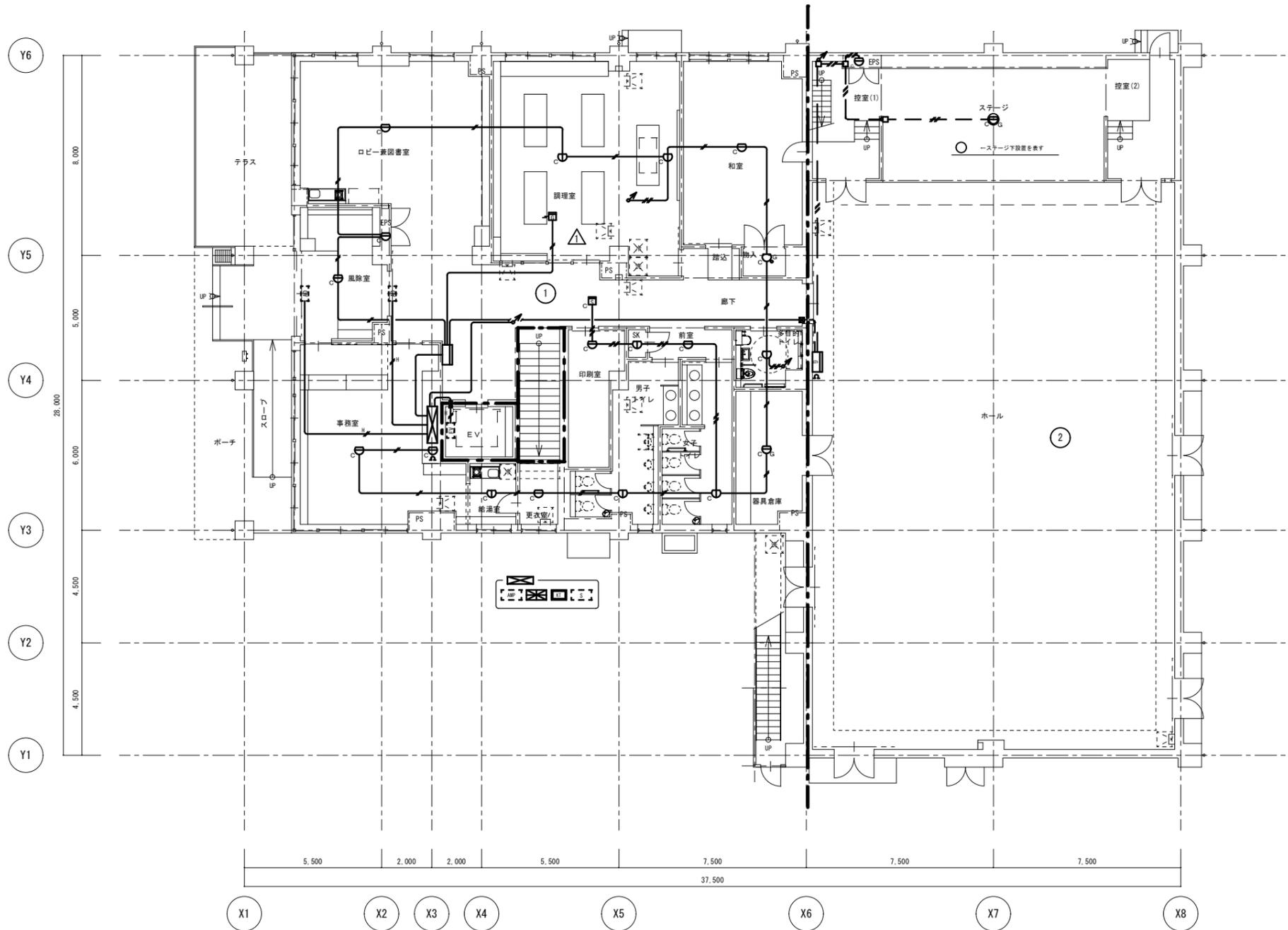
記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 株式会社 東北緑企画 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 機械警備設備 2階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-37



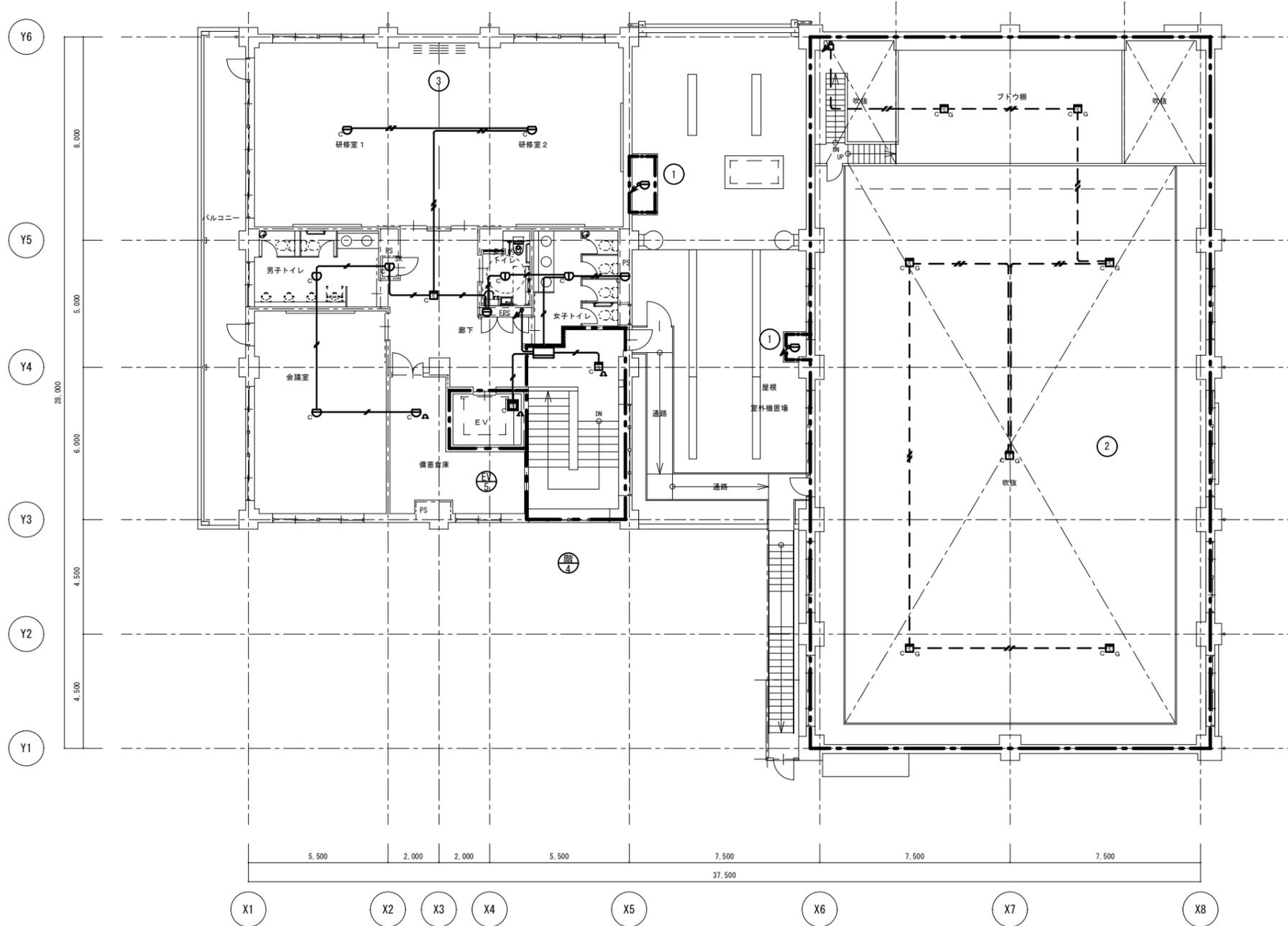
自動火災報知設備 系統図

凡例・記号		
記号	名称	備考
[Symbol]	受信機	注記参照
[Symbol]	非常放送アンプ	
[Symbol]	機器収容箱	ⓐ 収容 埋込型
[Symbol]	機器収容箱	ⓑ 収容 埋込型
[Symbol]	発信機	P型1級 リング型表示灯付 アドレス付 ⓐ ガード付
[Symbol]	光電式スポット型感知器	2種 露出型 自動試験対応型 ⓐ ガード付
[Symbol]	光電式スポット型感知器	2種 点検口付 自動試験対応型
[Symbol]	差動式スポット型感知器	2種 自動試験対応型 ⓐ ガード付
[Symbol]	定温式スポット型感知器	1種 70℃ 防水型 自動試験対応型
[Symbol]	定温式スポット型感知器	特種 60℃ 自動試験対応型 ⓐ ガード付
[Symbol]	火災通報設備	[Symbol] 併設
[Symbol]	火災通報装置	AC100V
[Symbol]	火災通報専用電話機	
[Symbol]	ガス漏れ検知器	AC100V 天井取付型 移報端子付
[Symbol]	警戒区域番号	ガス漏れ警報
[Symbol]	終端抵抗	10kΩ
[Symbol]	警戒区域番号	
[Symbol]	警戒区域境界線	
[Symbol]	配管配線	
[Symbol]	配管配線	床下配管配線
[Symbol]	配管配線	立上り引下げ
[Symbol]	ジャンクションボックス	
[Symbol]	ブルボックス	
[Symbol]	制御盤	EV E L V 工事
[Symbol]	制御盤	オートドア 建築工事
[Symbol]	制御盤	機械警備 別途工事

- 注 記
- 特記なきは下記とする。(2重天井内ケーブルころがしとする)
    - EM-AE0.9-2C (PF16)
    - EM-AE0.9-2C (E19)
    - EM-AE0.9-4C (PF16)
    - EM-AE0.9-4C (E19)
    - EM-HP1.2-2C (PF16)
  - 非常放送アンプへ、火災階代表番号及び、火災確認信号送出を行うこと。(火報連動)
  - 煙感知器用点検口 (EV昇降路用) の設置において、以下の工事区分はEV工事とする。
    - EV連動停止用スイッチ (スイッチ、取付け、結線、試験)
    - 注意喚起シール (シール、貼り付け)
  - 火災通報装置をIP回線に接続する場合は、回路端末装置等 (モデム等) に予備電源 (UPS : 800VA) を設けるものとする。
  - 受信機はP型1級10回線・壁掛型とし、仕様は下記によること。仕様は下記によること。
    - 表示部
      - 地図表示 : 地図式フィルムカラープリントLED方式 地図サイズ A3ヨコ相当
      - LED表示 : 地図上のLEDは、建物の形状に合わせ任意の場所に配置可能
      - 液晶表示部は、2次元タイプと、3次元タイプで選択可能。
    - 液晶表示 : 自動試験機能付感知器のアドレス表示/部屋番号表示
    - 防排煙・諸警報のメッセージ表示
    - 警報表示 : 5回線 (標準装備)
    - 主音響 : 警報音+音声 (発報階、発報回線メッセージ)
    - 自動試験機能付
    - 音声ガイダンス機能付
    - 履歴リスト機能付 (通常履歴10,000件、自動試験履歴13,000件)
    - 自動試験感知器接続個数 : 最大63個/回線
    - 回線内訳
      - 火災表示 : 5回線
      - ガス漏れ (警報) : 1回線
      - 予備 : 4回線
    - 移信内訳 (標準5回線+増設ユニット6回線)
      - EV制御盤 : 火災代表 1 回線 (無電圧a接点)
      - オートドア制御盤 : 火災代表 2 回線 (無電圧a接点)
      - 機械警備制御盤 : 火災代表 1 回線 (無電圧a接点)



記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 自動火災報知設備 1階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-39



記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	株式会社 東北緯企画 <small>一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一</small>		図面名称 自動火災報知設備 2階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-40

1. 一般事項
1. 1 適用範囲
- 本仕様書は、太陽光発電電気設備工事における系統連系用太陽光発電システムについて適用する。

1. 2 適用規格・法規等
- 本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとする。
- (1) 労働基準法
  - (2) 労働安全衛生法
  - (3) 電気事業法
  - (4) 電気設備技術基準
  - (5) 電気工事士法
  - (6) 消防関係法規
  - (7) 電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン
  - (8) 日本産業規格 (JIS)
  - (9) 日本電線工業会規格 (JCS)
  - (10) 日本電気工業会規格 (JEM)
  - (11) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)
  - (1) 内線規程
  - (1) 系統連系規程

2. システム概要
2. 1 設備の概要
- 名称 : 太陽光発電設備工事  
 連系する電力系統 : 高圧連系  
 発電設備の種類 : 太陽電池発電所  
 設備容量 : 太陽電池容量 12kW以上  
 パワーステーション 12.0 (6.0 x 2) kW  
 リチウムイオン蓄電池 12.6 (6.3 x 2) kWh

2. 2 システム構成
- 本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池架台、系統連系保護機能を備えたパワーステーション(本体、コンバータ、ネットリモコン)、リチウムイオン蓄電池ユニット、系統・自立切替器、計測装置、表示装置等より構成する。
- 1 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生。
  - 2 パワーステーションは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相と同期した交流電力に変換し、電力系統に供給する。
  - 3 系統連系保護機能により、パワーステーション及び系統の異常には連系を遮断する。
  - 4 平常時は太陽電池の発電電力と蓄電池の放電電力を構内の負荷に供給する。  
 太陽電池の発電電力が負荷消費を上回る場合は、余剰分を蓄電池に充電する。  
 太陽電池の発電電力が負荷消費を下回る場合は、不足分を蓄電池から放電する。  
 設定あるいは操作により、商用電源から蓄電池への充電も可能となる。
  - 5 停電時は太陽電池モジュールとパワーステーションが連携し、系統・自立切替器を介してバックアップ回路へ電力供給する。また昼間に太陽光発電による余剰電力が生じた場合、蓄電池に充電し夜間等に蓄電池から放電することで昼夜ともに給電が可能とする。
  - 6 系統・自立切替器は、停電時にバックアップ回路への電力供給を自動で商用電源側から自立出力側に切り替える。復電時は商用電源側に切り替える。
  - 7 運転データ等は計測装置により収集する。  
 (電力会社、逆潮流の有無、太陽光の出力合計によっては、太陽光遮断出力制御対応機能が必要となる場合もある)

2. 3 運転方式
- 1 連系運転
- 太陽光発電により得られた直流電力を交流電力に変換し、その電力は負荷電力に使用する。  
 また、太陽光発電の不足分を蓄電池で補い、下記のモードによりその動作を変更することが可能。
- ◎タイマーモード
- あらかじめタイマー設定された時間帯に蓄電池への充電、蓄電池からの放電を行う。  
 充電時、太陽光発電による不足分は系統から補う。  
 放電時、太陽光発電による放電量不足分は蓄電池から補う。
- ◎自家消費モード
- 太陽光発電の余剰分で蓄電池に充電し、太陽光発電の不足時に蓄電池の放電により電力不足を補う。
- 2 自立運転
- 停電時は系統電源から切離し、自立運転により太陽光発電と蓄電池からバックアップ回路へ電力供給を行う。  
 復旧にあたっては手動で切替を行うこととする。(自動復旧も可能)

2. 4 系統連系保護機能
- 本システムにおける連系保護機能装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとする。  
 電気設備技術基準解釈による保護継電器の種類・設置相数・検出場所を表-1に示す。

表-1

保護継電器の種類	検出場所
(1) 地絡過電圧継電器 (OVGR) ※	受変電設備
(2) 過電圧継電器 (OVR)	インバータ出力点など 低圧回路の検出可能な場所
(3) 不足電圧継電器 (UVR)	
(4) 周波数上昇継電器 (OFR)	
(5) 周波数低下継電器 (UFR)	
(6) 単独運転検出機能 (受動・能動)	
(7) 逆電圧継電器 (RPR) ※	受変電設備

※継電器は、電力会社と協議の上、必要と認められた場合設置

2. 5 納入機器範囲
- 納入機器は表-2に示す通りとする。

表-2

NO	機器名	仕様	数量	備考
1.	太陽電池モジュール	単結晶シリコン太陽電池	30枚	
2.	太陽電池架台	横置	1式	
3.	パワーステーション	屋側 6.0kW	2台	
4.	蓄電池用コンバータ	屋側	2台	
5.	リチウムイオン蓄電池ユニット	屋側 6.3kWh	2台	
6.	ネットリモコン	屋内	2台	パワーステーション同梱
7.	系統・自立切替器	屋内	2台	
8.	小型計測装置	屋内	1式	
9.	表示装置	屋内	1台	
10.	蓄電システム専用 収納箱	屋外	2台	

3. 機器仕様

3. 1 太陽電池モジュール
- 種類 : 単結晶シリコン太陽電池  
 容量 : 410W  
 標準使用状態 : 周囲温度-40℃~+40℃  
 外形寸法 : 図面参照  
 出力特性 : 表-3参照

太陽電池モジュール電気出力特性表 (参考値) 表-3 特性表

項目	単位	特性値
最大出力	P <sub>m</sub> W	410.0
最大出力動作電圧	V <sub>ppm</sub> V	31.09
最大出力動作電流	I <sub>ppm</sub> A	13.20
開放電圧	V <sub>oc</sub> V	37.33
短絡電流	I <sub>sc</sub> A	14.06

- 条件 : AM1.5 全天日射基準太陽光  
 : 放射照度 1000W/m<sup>2</sup> モジュール温度 25℃

3. 2 太陽電池架台
- 構造 : 陸屋根に適合する構造とする  
 材質 : 一般構造用鋼 溶融亜鉛メッキ処理同等品とする  
 (高耐食性メッキ鋼板も含む)  
 強度 : 関係法規に基づき必要な強度を有するものとする。

3. 3 パワーステーション
- DCバス入出力  
 入力電圧範囲 : DC0~450V  
 入出力最大電力 : 6.7kW (充電時) 6.0kW (放電時)  
 入出力最大電流 : 20.0A

- 太陽電池入力  
 使用入力電圧範囲 : DC40~450V  
 定格入力電力 : 9.0kW/4回路  
 入力最大電流 : DC13A/1入力 DC52A/4入力

- 系統連系入出力  
 定格入出力電圧 : AC101/202V 50/60Hz  
 接続相数 : 単相3線式 2W+N+PE (電気方式 単相2線)  
 定格出力有効電力 : 6.0kW (力率0.95時) 6.0kW (力率1.00時)  
 定格出力皮相電力 : 6.3kVA (力率0.95時) 6.0kVA (力率1.00時)
- 自立出力  
 定格出力電圧 : AC101V±6V/AC202V±12V 50/60Hz  
 接続相数 : 単相3線2W+N (N接地)  
 定格出力皮相電力 : 6.0kVA

- その他  
 使用周囲温度 : -20℃~+50℃  
 保護等級 : IP55 (配線部及び水抜き孔除く)  
 運転音 : 33dB以下  
 設置場所 : 屋外・屋側・屋内、直射日光が当たらないこと  
 質量 : 約35kg (取付板、保護ガードを含む)  
 強度 : 商品仕様書、施工説明書の固定方法に基づき耐震計算を実施し取付方法を選定すること

3. 4 蓄電池用コンバータ
- 蓄電池入出力  
 入力電圧範囲 : DC89.6~112V  
 入出力定格電力 : 3.0kW (充電時) 3.3kW (放電時)  
 入出力最大電流 : 35.0A (充電時) 35.0A (放電時)
- DCバス入出力  
 入力電圧範囲 : DC0~450V
- その他  
 使用周囲温度 : -20℃~+50℃  
 保護等級 : IP55 (配線部及び水抜き孔除く)  
 運転音 : 33dB以下  
 設置場所 : 屋外・屋側・屋内、直射日光が当たらないこと  
 質量 : 約20kg (取付板、保護ガードを含む)  
 強度 : 商品仕様書、施工説明書の固定方法に基づき耐震計算を実施し取付方法を選択すること

3. 5 リチウムイオン蓄電池ユニット
- 定格容量 : 6.3kWh  
 使用周囲温度 : -10℃~+40℃  
 設置場所 : 屋外・屋側・屋内、直射日光が当たらないこと  
 質量 : 約85kg  
 強度 : 商品仕様書、施工説明書の固定方法に基づき耐震計算を実施し取付方法を選択すること

3. 6 ネットリモコン
- 動作電圧 : DC12V (パワーステーションより給電)  
 消費電力 : 待機時1.5W以下、動作時2W以下  
 通信機能 : 有線LAN 100BASE-TX, 10BASE-T  
 無線LAN IEEE802.11b/g/n  
 シリアル通信 RS-485
- 使用周囲温度 : -20℃~+50℃  
 設置場所 : 屋内壁面  
 質量 : 約310g

3. 7 系統・自立切替器
- 定格電圧 : 単相3線 AC100/200V 50/60Hz  
 定格電流 : 60A  
 設置場所 : 屋内分電盤内  
 質量 : 約7.3kg

3. 8 小型計測装置
- 使用機器 : DataCube4、他一式  
 設置場所 : 屋内

3. 9 表示装置
- 種類 : 液晶モニタ  
 画面サイズ : 43型  
 アスペクト比 : 16:9  
 電源 : AC100V  
 外形寸法 : 別途図面参照  
 設置場所 : 屋内壁面  
 表示内容例 : 発電電力、発電電力量等

3. 10 蓄電システム専用 収納箱
- 構造 : 屋外自立型  
 外形寸法 : 別途図面を参照  
 周囲条件 : 周囲温度 -15℃~40℃  
 強度 : アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。

4. 工事範囲
4. 1 機器据付工事
- (1) 太陽電池組立取付工事  
 (2) 納入機器取付工事  
 ※架台に設置されない機器の取付は電気工事

4. 2 電気工事他
- (1) 受電盤までの配管配線工事<連系点からキュービクル間> (電気工事)  
 (2) 計測信号配線工事 (電気工事)  
 (3) 基礎工事 (建築工事)  
 (4) 接地工事 (電気工事)  
 ※太陽電池モジュール間配線以外の全ての配線工事は電気工事とする。

5. 試運転・完成検査
5. 1 モジュール出力検査
- (1) 各モジュールの試験成績表の出力値がJISに適合していること。  
 (2) 出力の合計値が3.1に示す容量の合計値以上であること。

5. 2 下表4の項目については試運転・検査・測定を行うこと。  
 ただし、太陽電池の工場地点検査は実施しない。

表-4

項目	機器	太陽電池	配線ケーブル	パワーステーション	計測システム
外観検査		○	○	○	○
絶縁抵抗測定		○注1	○注1	○	
絶縁耐圧		○注1	○注1		
保護装置特性			○注1		
システム動作			○		○
出力測定		○注1	○注1		

注1) 現地検査又は工場検査のいずれかで可。

凡例

太陽光工事 (架台に設置されない機器の取付は電気工事)

電気工事

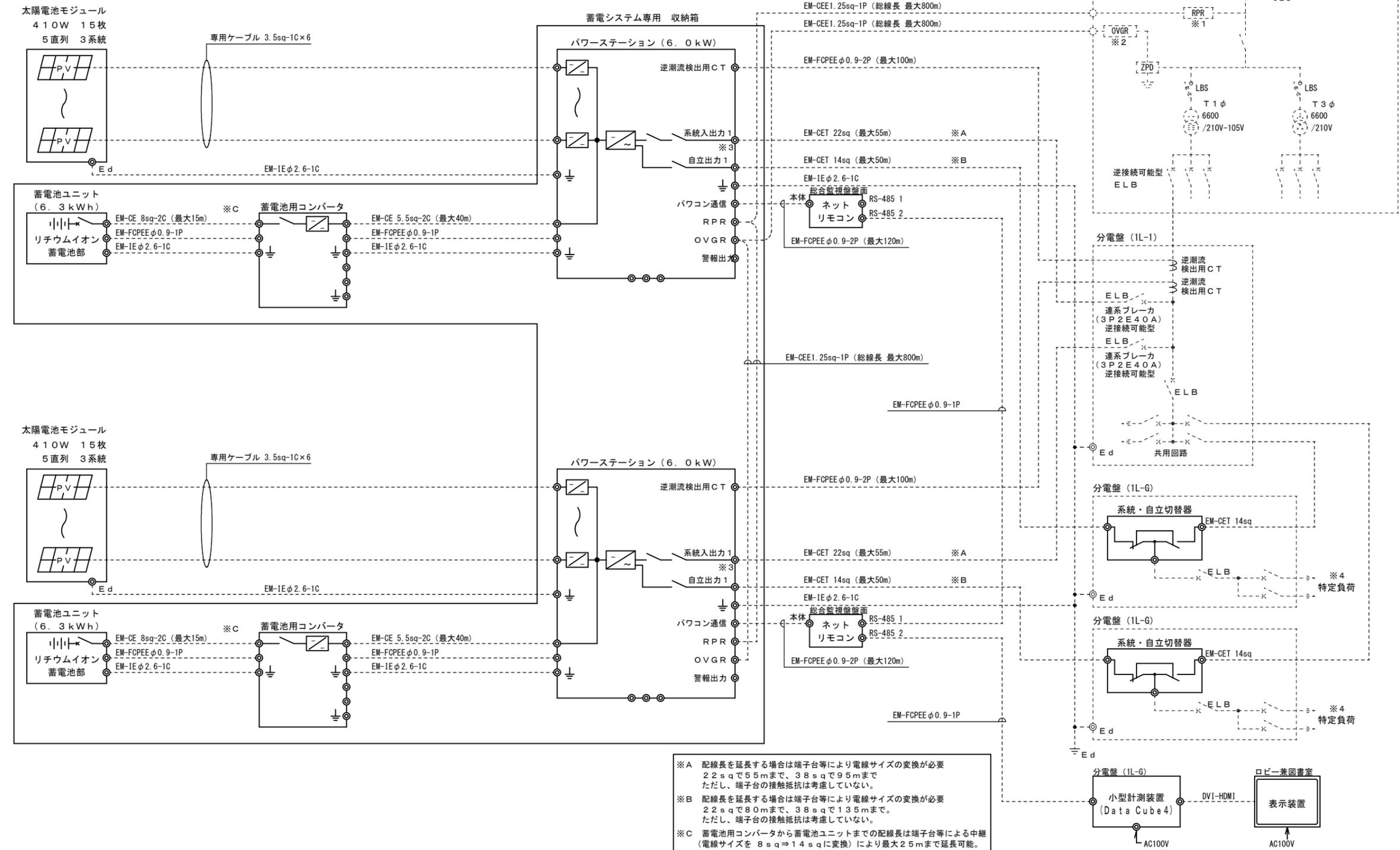
太陽光工事

電気工事 (接地工事は電気工事)

図中記載の線種、配線サイズは一例です。現場配線設計に合わせた設計をお願いします。

- ・RPR、OVGRの有無は所轄の電力会社との協議による。一般的には※1、※2の通り。
- ※1：RPRは逆潮流有りで電力会社と契約する場合は不要となる。逆潮流なしの場合は必要。
- ※2：OVGR・ZPDは、みなし低圧連系の場合は不要となる。
- ・蓄電システムおよび特定負荷については以下の通り。
- ※3：蓄電システムの系統電源として、発電機等の出力を接続することは禁止とする。
- ※4：特定負荷として接続するLED照明器具の機種・台数は、各機種の1台あたりの突入電流の最大値 [A] × 各機種の台数の合計値を150A以下とすること。1台あたりの突入電流は20μ秒以内に収束することが目安。
- ・計測装置は電力会社・逆潮流の有無・太陽光の出力合計によっては遠隔出力制御機能が必要になる場合がある。

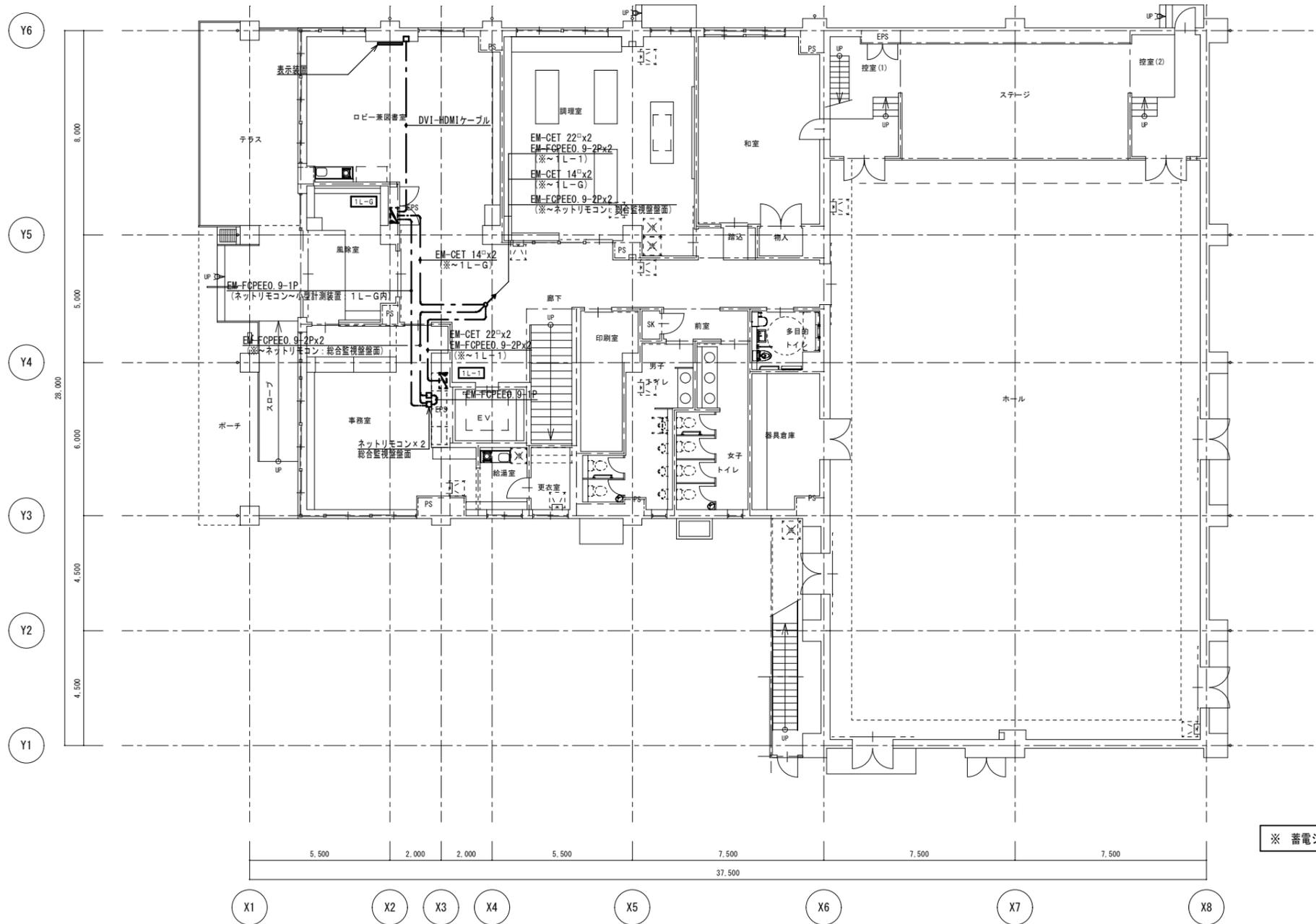
- ・連系ブレーカ、逆潮流CTの位置は当該位置固定。
- ・逆潮流CTの仕様は、電源線サイズは150mm<sup>2</sup>以下、定格電流225A以下。
- ・「系統・自立切替器」は部品供給となり、既設分電盤内又は新規製作分電盤内に設置し配線して頂く。



- ※A 配線長を延長する場合は端子台等により電線サイズの変換が必要  
22sqで55mまで、38sqで95mまで  
ただし、端子台の接触抵抗は考慮していない。
- ※B 配線長を延長する場合は端子台等により電線サイズの変換が必要  
22sqで80mまで、38sqで135mまで。  
ただし、端子台の接触抵抗は考慮していない。
- ※C 蓄電池用コンバータから蓄電池ユニットまでの配線長は端子台による中継  
(電線サイズを8sq⇒14sqに変換)により最大25mまで延長可能。

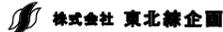
業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
図面名称	太陽光発電設備 システム系統図	図尺	A1:N.S A3:N.S	図面番号	E-42
設計者	株式会社 東北線企画	一級建築士 (大臣) 第58900号 折原 幸一	印		

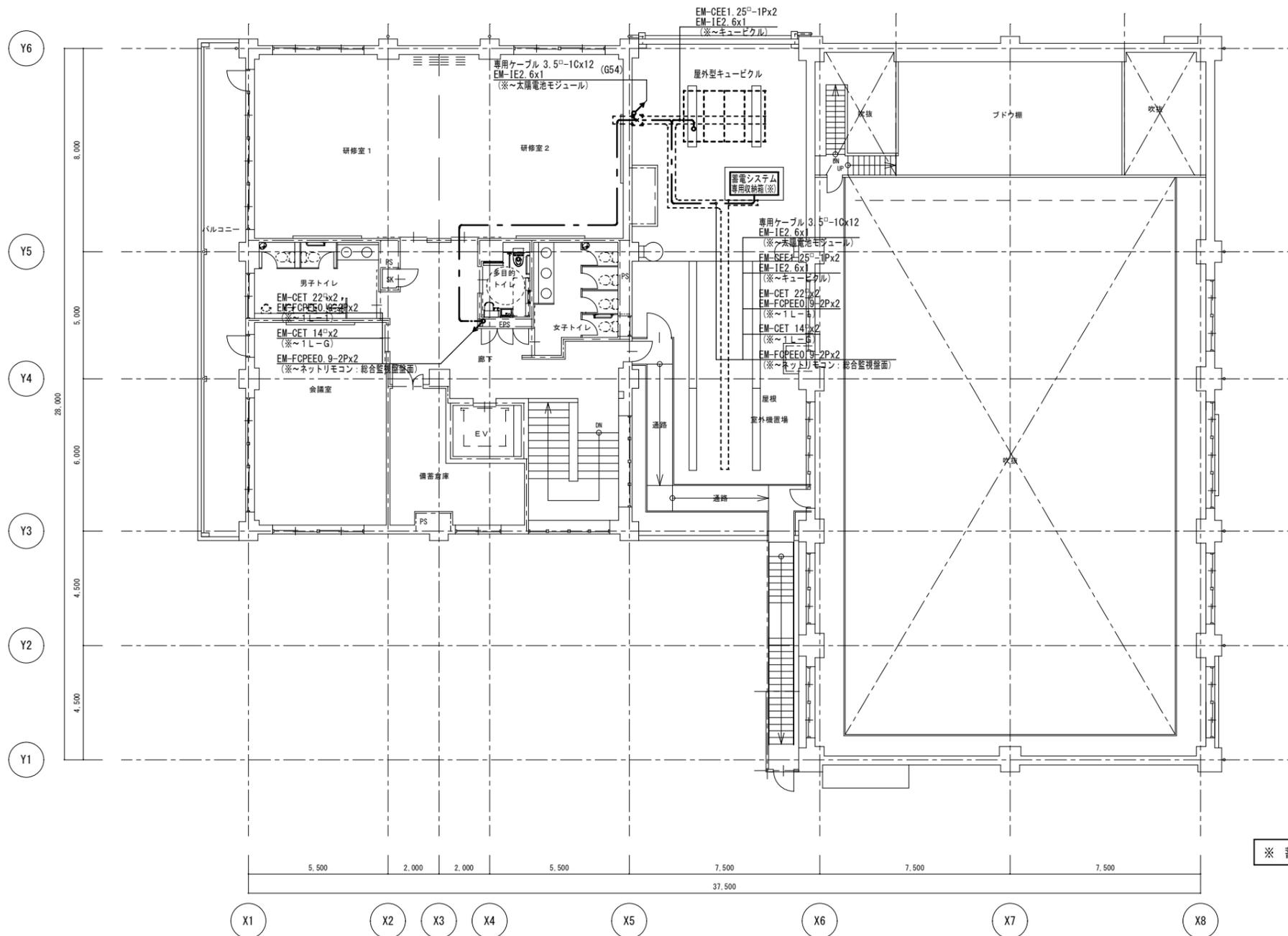
<p>太陽電池モジュール (参考図) 【屋上】</p> <p>仕様 : 単結晶シリコン太陽電池 最大出力 : 410W 質量 : 21.5kg</p>	<p>産業用パワーステーション (参考図) 【蓄電システム専用収納箱内】</p> <p>質量 : 約35kg 材質 : 鋼板</p>	<p>産業用蓄電池用コンバータ (参考図) 【蓄電システム専用収納箱内】</p> <p>質量 : 約20kg 材質 : 鋼板</p>
<p>産業用リチウムイオン蓄電池ユニット (6.3kWh) (参考図) 【蓄電システム専用収納箱内】</p> <p>質量 : 約85kg 材質 : 鋼板</p>	<p>ネットリモコン (参考図) 【総合監視盤壁面】</p> <p>質量 : 約310g</p>	<p>系統・自立切替器 (参考図) 【分電盤1L-G内】</p> <p>※室内に収納してください 質量 : 約7.3kg 材質 : 鋼板</p>
<p>小型計測装置 (参考図) 【分電盤1L-G内】</p> <p>材質 : ABS樹脂 質量 : 315g</p>	<p>表示装置 &lt;液晶4.3インチ&gt; (参考図) 【ロビー兼図書室】</p> <p>質量 : 約8.7kg</p>	<p>蓄電システム専用 収納箱 (参考図) 【屋上】</p> <p>質量 : 約850kg 塗装色 : 5Y7/1 (半ツヤ) 材質 : 鋼板</p> <p>アンカーボルトは耐震計算を実施し選定すること。</p>



※ 蓄電システム専用収納箱内及び各機器間配線はシステム系統図参照とする。



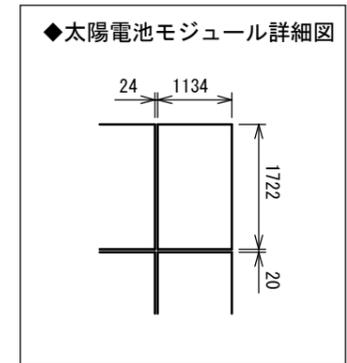
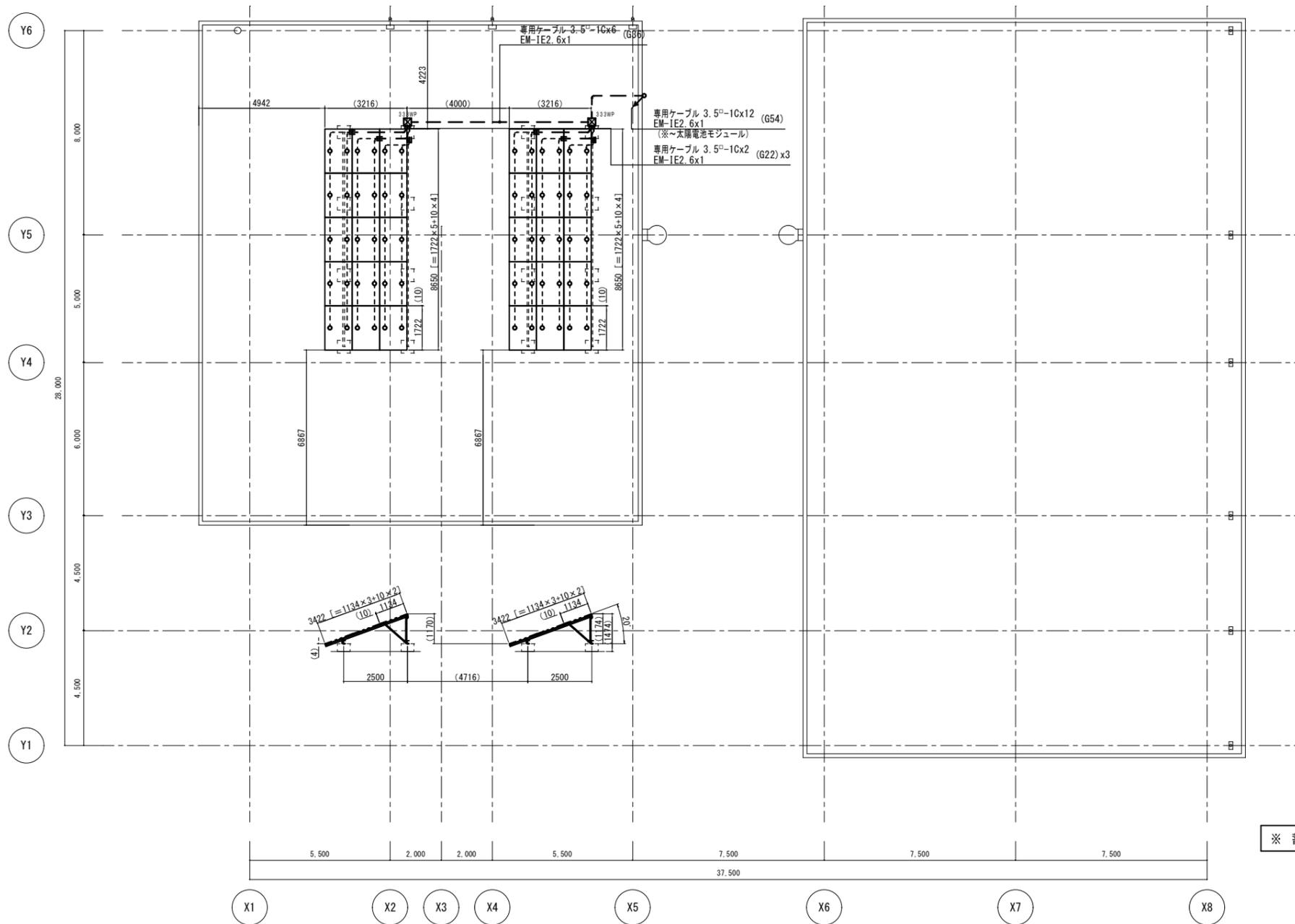
記 事	業務名称 館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称 館腰公民館改築工事		設計年月 令和7年3月
	 株式会社 東北緑企画 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称 太陽光発電設備 1階平面図		縮尺 A1:1/100 A3:1/200
					図面番号 E-44



※ 蓄電システム専用収納箱内及び各機器間配線はシステム系統図参照とする。



記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館腰公民館改築工事		設計年月	令和7年3月	
	図面名称	太陽光発電設備 2階平面図		縮尺	A1:1/100 A3:1/200		図面番号	E-45	
印	株式会社 東北線企画	一級建築士(大臣) 第58900号 折原 幸一		印					



※ 蓄電システム専用収納箱内及び各機器間配線はシステム系統図参照とする。



記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務		工事名称	館腰公民館改築工事		設計年月	令和7年3月	
	印	株式会社 東北緑企画 一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一		図面名称	太陽光発電設備 屋根伏せ図		縮尺	A1:1/100 A3:1/200	
							図面番号	E-46	



機械設備改修工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名称 館腰公民館改修工事
2. 工事場所 宮城県仙台市青葉区三丁目1-35-1地

3. 建物概要
建物名称 棟数 延床面積(m2) 建築面積(m2)
公民館 鉄筋コンクリート 2 1,106.50 915.89

4. 工事項目
表: 建設別及び工事種別
表: 設備概要
表: 設備仕様

5. 指定部分
6. 補正工事
7. 設備仕様
表: 設備仕様

II. 特記仕様書
1. 一般事項
2. 特記事項

表: 仕様項目
項目 仕様

表: 仕様項目
項目 仕様

表: 仕様項目
項目 仕様

表: 仕様項目
項目 仕様

建設リサイクル法
対象工事
廃れが決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1～3のうち当該事業に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前、契約担当者等に説明書を提出するものとする。

18. 総合試験調整等
19. 容量等の表示
20. 耐震措置

表: 設計用標準水圧年度 (Kw)
表: 設備仕様

21. 弁等のサイズ
22. 電線類

23. 溶接部の非破壊検査
24. はつり
25. 支持金物・固定金具

26. 埋戻し土・盛土
27. 地中埋設管及び埋設表示用テープ
28. 保温

29. ガラス
30. 配管の保護の外装は下記による。内装は(・) ロックウール ○ グラスウール ○ ポリスチレンフォーム

31. 塗装
32. 防水処理
33. 山留め
34. 舗装工事
35. 他工事との取り合い
36. 予備品等
37. 三相誘導電動機

表: 設計温度
表: ばいじん濃度計

38. 煙突
39. 煙道
40. ガクトの区分
41. 長方ダクトの工法

7. 質量測定口
8. チャンパ
9. 防振ダンパ

10. 配管材料
(1) 冷温水管
(2) 冷却水管
(3) 高気管 (換気管)
(4) 油管、油用送気管
(5) 配管材料

11. 弁類
12. 鋼管伸縮継手
13. 温度計
14. 網漏流量計

15. オイルタンク
16. 精油量計
17. 注油口及び指示灯等

18. 消音内貼り
19. 保温

20. 電気工事の範囲
21. 塗装

22. 事故事項
23. 防炎防漏清掃排気

24. 厨房用排気ダクト
25. 厨房用排気フード

26. 多層階の排気
27. ダクト
28. 排煙口の形式

29. 中央監視制御
30. 計装工事の配線

31. 大機器洗浄
32. 便器洗浄タンク

33. 量水器
34. 量水器類

35. 配管材料
36. 不凍水栓柱

37. 弁類
38. 給水栓
39. 埋設深さ

40. 保温
41. 埋設片閉用ハンドル

42. 水加入金等
43. 配管材料

44. 排水機
45. グリス箱集塵

46. 排水試験継手
47. 試験
48. 放流負担金等

49. 配管材料
50. 弁類

51. 配管材料
52. 2層内消火栓種別

53. 消火栓開閉弁
54. 保温

55. 消火器類
56. 厨房機器類

57. 配管材料
58. 都市ガス

59. 液化石油ガス
60. ガス漏れ検知器

61. 埋設深さ
62. その他

表: 表1「完成書類」
表: 表2「完成書類」

注記: 機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。

5. 発生地の処理
(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当
(2) フロンガス回収法の規定に基づく措置の該当

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目 名称	区分 摘要	建電機			備考
		築	電	機	
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠	●			墨出し、補修除く
〃	壁スリーブ入れ	●	●	●	ボイド等
〃	床スラブ木製型枠	●			墨出し、補修除く
〃	床スラブスリーブ入れ	●	●	●	ボイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●			
配管ダクト類の防水貫通部補修		●			
A L Cパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	●			
P C版の穴あけ	スリーブ入れ	●			
同上補修		●	●	●	モルタル充てん等
インサート	P C版	●			
インサート	コンクリート床	●	●	●	
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●			ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部	●			照明器具等
〃	機械設備関係開口部			●	空調吹出口
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●			照明器具、空調吹出口給排気ガラリ等
開口補強を必要としないボード等の切開		●	●	●	ボード切込、墨出し共
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●			石、金属パネル等
壁等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●			
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●			墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	●	モルタル充てん等
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●	●	●	
機器・配管取付後の壁、床等の補修	鉄筋溶接、補強筋入れが無いもの	●	●	●	モルタル充てん、メクラプレート等
〃	鉄筋溶接、補強筋入れが有るもの	●	●	●	
流し台（造り付け）		●			水切り板、同穴あけ共
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製	●			水切り板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用（水栓類、排水金具含む）			●	
流し台	陶器製			●	
洗面器等取付化粧板		●			
ルーフドレン		●			
堅樋	防露工事共	●			第1樹までの配管
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管	●			第1樹を含む
〃	幹線の配管	●			
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管		●		第1樹までの配管
〃	第1樹から排水幹線までの配管		●		第1樹を含む
〃	幹線の配管		●		
大型機械基礎		●			
同上基礎上鉄骨架台			●	●	
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器			●	墨出し、型枠入れ共
〃	自家発電機等電気設備関係機器		●		墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共		●	●	
屋外自立盤の基礎	既製品、無塵コンクリート等、仕上げ共	●	●	●	
屋外貯油槽	建物の構造に関わるもの、仕上げ共	●			
共同溝	地下式			●	
建物、共同溝接続トレンチ	歩床コンクリート	●			
同上接続部止水板		●			
各種槽類	コンクリート製	●			
〃	S U S、FRP、鋼製			●	
〃	屋外大型のもの基礎	●			
〃	屋上設置のもの基礎	●			
換気扇取付	ダクトのあるもの			●	天井扇等
〃	壁、サッシ等への取付（材共）			●	フード取付共
同上用スイッチ			●		
同上用電源配線			●		
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●			
全熱交換器				●	
同上用スイッチ				●	
外壁取付ガラリ	給排気用	●			
内壁取付ガラリ		●			遮光ガラリ共
ガラリへの給排気ダクト接続				●	
煙感知器連動防火戸		●			
同上用リリース	配管配線、ボックス共		●		
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共		●		
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①			●	
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	●			

項目 名称	区分 摘要	建電機			備考
		築	電	機	
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③	●			
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	●			
制御盤	制御盤以降の配管、配線共			●	
同上接続（一次側）	制御盤主開閉器までの配管配線		●		接地共
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤		●		
屋内消火栓起動リレー			●		
同上表示灯及び起動装置			●	●	内栓組込型のみ機械※
自動火災報知器			●		
連絡送水口	座板共			●	
独立煙突		●			
同上煙道	鋼板製			●	
同上雷保護設備				●	
配管配線用ビット			●		
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等		●		
コンクリートシャフト			●		
点検口			●		
天井フック			●		
機械室、電気室の防音遮音処理			●		
特殊サイズ鏡			●		
化粧洗面器、鏡	化粧カウンターは除く		●	●	
雷保護設備			●		
保守管理用タラップ、はしご			●		トレンチ、床下部
室内テレビ用吊金物			●		
テレビアンテナ	取付共		●	●	
同上用基礎			●		
グリストラップ及び	コンクリート製			●	
ガソリントラップ	ステンレス鋼板製			●	
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押釦取付共		●		
同上用電源配線	一次側接続まで		●		
自動扉の配管配線	二次側		●		
同上用電源配線	一次側接続まで		●		
電気錠操作盤	読取装置共				通常、工事では通線用の空管のみ取付
同上配管配線					
電気錠	配管配線、接続ボックスまで				通常、工事では電気錠本体と空管のみ取付
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで				
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む			●	
同上用電源配線	一次側接続まで			●	
同上用信号線	各メーターから装置まで			●	各設備取付分について
ユニットバス本体			●		
同上用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線共			●	
同上用配管	接続まで			●	
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	現場製作				
同上用電源配線	一次側接続まで				特殊室については、関係工事が多岐に渡るため、工事を行う際に、各担当と協議の上、重複・抜けが無いように工事区分を決定すること。
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共				
同上用配管	接続まで				
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	プレハブ型				
同上用電源配線	一次側接続まで				
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共				
同上用配管	接続まで				

項目 名称	区分 摘要	建電機			備考
		築	電	機	
昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）				●
同上用機械室	天井フック、床シッターコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共	●			
同上用監視盤					●
同上換気扇取付					●
機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共			●	
各種信号用制御線	停電用、火災用等		●		
三方枠周囲の壁仕上		●			
各階出入口用開口	救急取付持出し共	●			
昇降路内中間ビーム設置					●
ビット内防水		●			
動力、照明要電源、接地引き込み			●		
コンセント設置	ビット内、機械室内			●	
インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共			●	
非常放送用スピーカー				●	E V 組込のみE V
同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共			●	
監視カメラ				●	E V 組込のみE V
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共			●	
点検用タラップ	ビット内			●	

記	業務名称	館歴公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館歴公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	事務	株式会社 東北線企画 一級建築士（大臣）第98900号 折原 幸一	図面名称	工事区分表	相尺	A1:- A3:-
			図面番号	M-02		

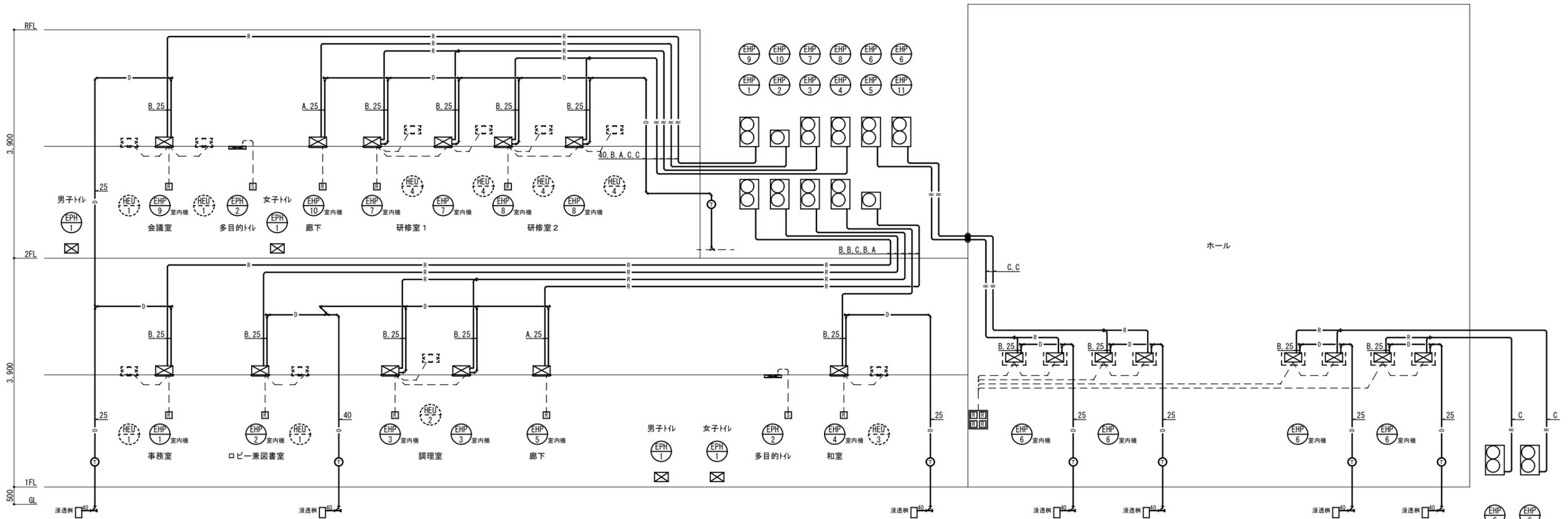
空調設備 機器表									
記号	名称 (系統)	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考 (参考型番)	
			φ	V	KW				
EHP-1	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ペア	3	200	2.80(冷)	1	1階事務室	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P112U7HNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 10.0kW 暖房能力: 11.2kW			2.53(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(20A)				
EHP-2	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ペア	3	200	2.80(冷)	1	1階ロビー兼図書室	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P112U7HNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 10.0kW 暖房能力: 11.2kW			2.53(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(20A)				
EHP-3	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ツイン	3	200	6.28(冷)	1	1階調理室	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P224U7HDNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW			5.53(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(40A)				
EHP-4	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ペア	3	200	2.80(冷)	1	1階和室	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P112U7HNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 10.0kW 暖房能力: 11.2kW			2.53(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(20A)				
EHP-5	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形2方向 ペア	3	200	1.32(冷)	1	1階廊下	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P56L7HNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 5.0kW 暖房能力: 5.6kW			1.39(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(15A)				
EHP-6	空冷ヒートポンプ式	天吊形 ツイン	3	200	6.43(冷)	4	1階ホール	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P224T7HDNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW			6.09(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式 壁掛架台(溶融亜鉛めっき仕上) ※北側設置の2組のみ			(40A)				
EHP-7	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ツイン	3	200	6.28(冷)	1	2階研修室1	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P224U7HDNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW			5.53(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(40A)				
EHP-8	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ツイン	3	200	6.28(冷)	1	2階研修室2	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P224U7HDNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW			5.53(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(40A)				
EHP-9	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形4方向 ペア	3	200	3.70(冷)	1	2階会議室	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P140U7HNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 12.5kW 暖房能力: 14.0kW			3.32(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(30A)				
EHP-10	空冷ヒートポンプ式	天井カセット形2方向 ペア	3	200	1.32(冷)	1	2階廊下	RC基礎及び鉄骨架台建築工事 (PA-P56L7HNB)	
	パッケージ形空調機	冷房能力: 5.0kW 暖房能力: 5.6kW			1.39(暖)				
		付属品: リモコンスイッチ, ドレンアップ, 防振ゴムパッド, 防雪フード(前面), 他付属品一式			(15A)				
EPH-1	電気式パネルヒーター	自然対流式 屋内壁掛 ステンレス製	1	200	0.75	4	各階男女トイレ	(NY-750)	
		発熱量: 2700kJ/h							
		付属品: 保護ガード, いたずら防止カバー, コンセントプラグ, ケーブル, 他付属品一式							
EPH-2	電気式パネルヒーター	輻射式遠赤外線 天吊 スチール製粉体塗装仕上	1	200	0.25	2	各階多目的トイレ	(EL-170)	
		発熱量: 612kJ/h							
		付属品: デジタル式サーモスタット(タイマー付), 吊り金具, 他付属品一式							
TO-1	オイルタンク	鋼板製タンクキャビン(灯油用)	-	-	-	1	屋外	RC基礎建築工事 (TCN-200, KS3-200XJ)	
		タンク容量: 200L							
		付属品: 防油堤, 点検扉, 少量危険物等標示板, バルブセット, 他付属品一式							
<p>共通事項</p> <p>1)電気容量は、定格値とし参考とする。( )内に示す値は参考ブレーカー容量を示す。</p> <p>2)パッケージエアコンの定格冷暖房能力、定格冷暖房消費電力はJIS B 8616で規定された値とする。</p> <p>3)特記無き限り、室内機のフィルターはロングライフ形とする。</p> <p>4)室内機には天吊防振装置(ゴム)を付属とする。(壁掛形は除く)</p>									

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	図面名称	空調設備 機器表	図面番号	M-03

凡例					
記号	名称	区分	使用材料	保温材	
SA	給気ダクト		円形ダクト：スパイラルダクト（亜鉛鉄板製） JIS-G-3302	GW	
RA	送気ダクト		円形ダクト：スパイラルダクト（亜鉛鉄板製） JIS-G-3302	-	
レ	天井点検口		建築工事（450口）		
R	冷媒管		冷媒用被覆銅管 JIS-H-3300・JIS-A-9511	-	
D	ドレン管		硬質ポリ塩化ビニル管 JIS-K-6742	GW	
○	空調用ドレントラップ		樹脂製 掃除口付		
●	防火区画貫通処理		国土交通大臣認定工法による。（系統図は水平区画のみ示す） 水平区画（RC床） 認定番号：PS06FL-1230 防火区画・114条区画（RC壁） 認定番号：PS06WL-1229 防火区画・114条区画（中空壁） 認定番号：PS06WL-1229		
☐	リモコンスイッチ		配管配線はEM-DEES 1.25 <sup>2</sup> -20（壁内PF16、天井内30ヶ所、屋外G16、屋内E19）要所に7ヶ所設置とする。		集中リモコン含む
☐	サーモスタット		配管配線はEM-EEF 2.0 <sup>2</sup> -30（壁内PF16、天井内30ヶ所）		

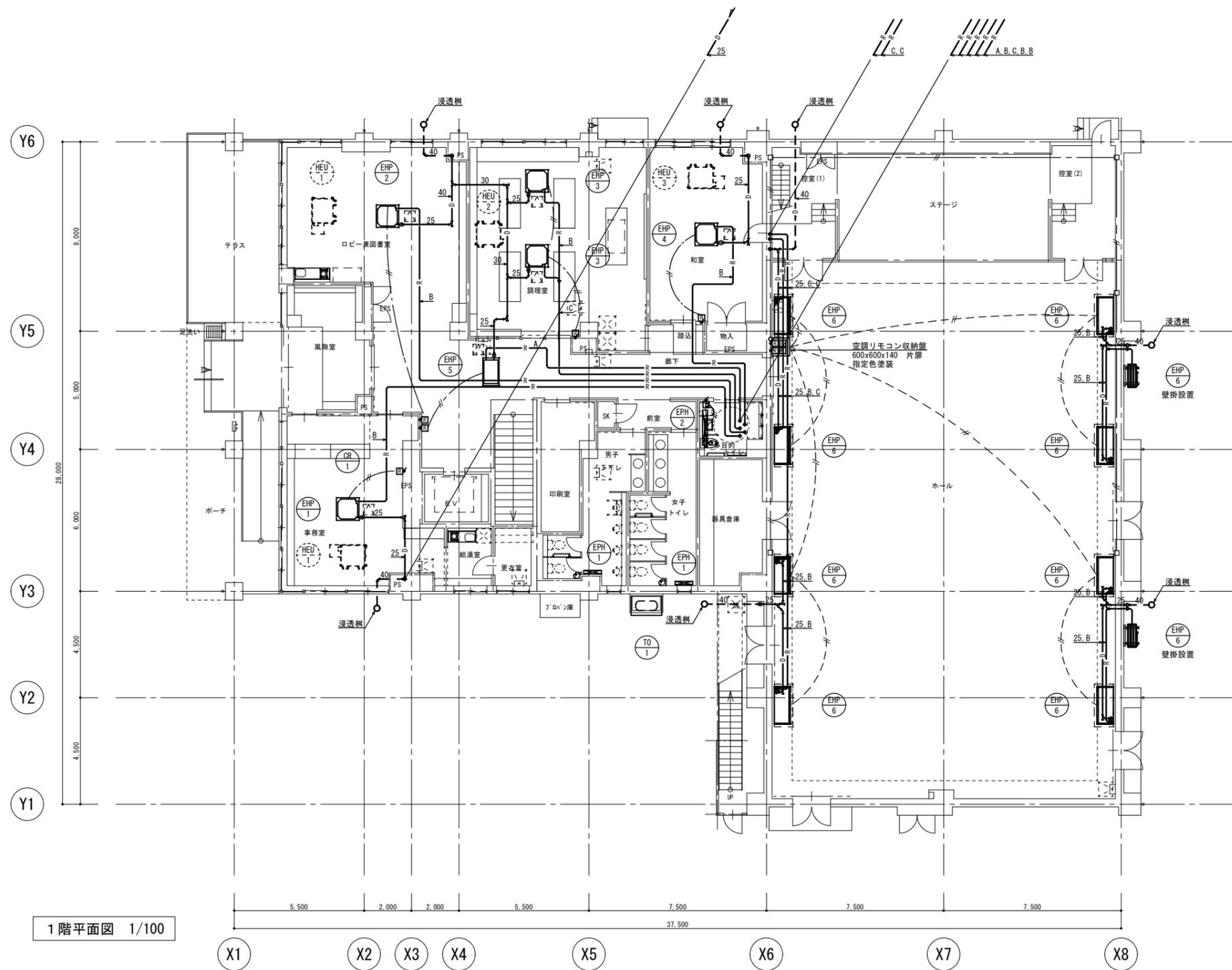
- 【注記】
- ※ 室内外機連絡配線は冷媒管と共巻きとする。
  - ※ 冷媒管の屋外露出配管の保温外装は特記なき限りスチール鋼板とする。
  - ※ 集中リモコン配線配管は本工事とする。
  - ※ 空調室内機は吊長さに関係なく振れ止め支持を行うこと。
  - ※ 空調室内機は吊長さに関係なく振れ止め支持を行うこと。

冷媒管リスト		
記号	液管φ	ガス管φ
A	6.35	12.7
B	9.52	15.88
C	9.52	25.4
D	12.7	25.4



空調設備系統図

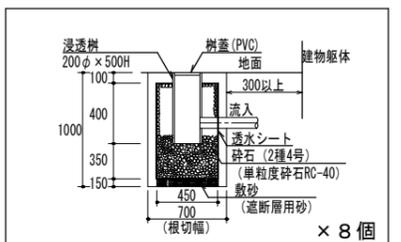
記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	株式会社 東北線企画 一級建築士（大臣）第98900号 折原 幸一	図面名称	空調設備 配管系統図・凡例	縮尺	NS
					図面番号	M-04



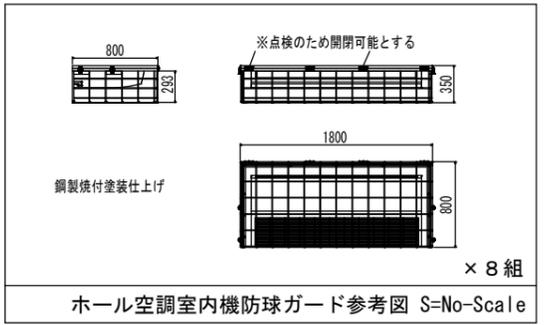
1階平面図 1/100

冷媒管リスト

記号	液管φ	ガス管φ
A	6.35	12.7
B	9.52	15.88
C	9.52	25.4
D	12.7	25.4

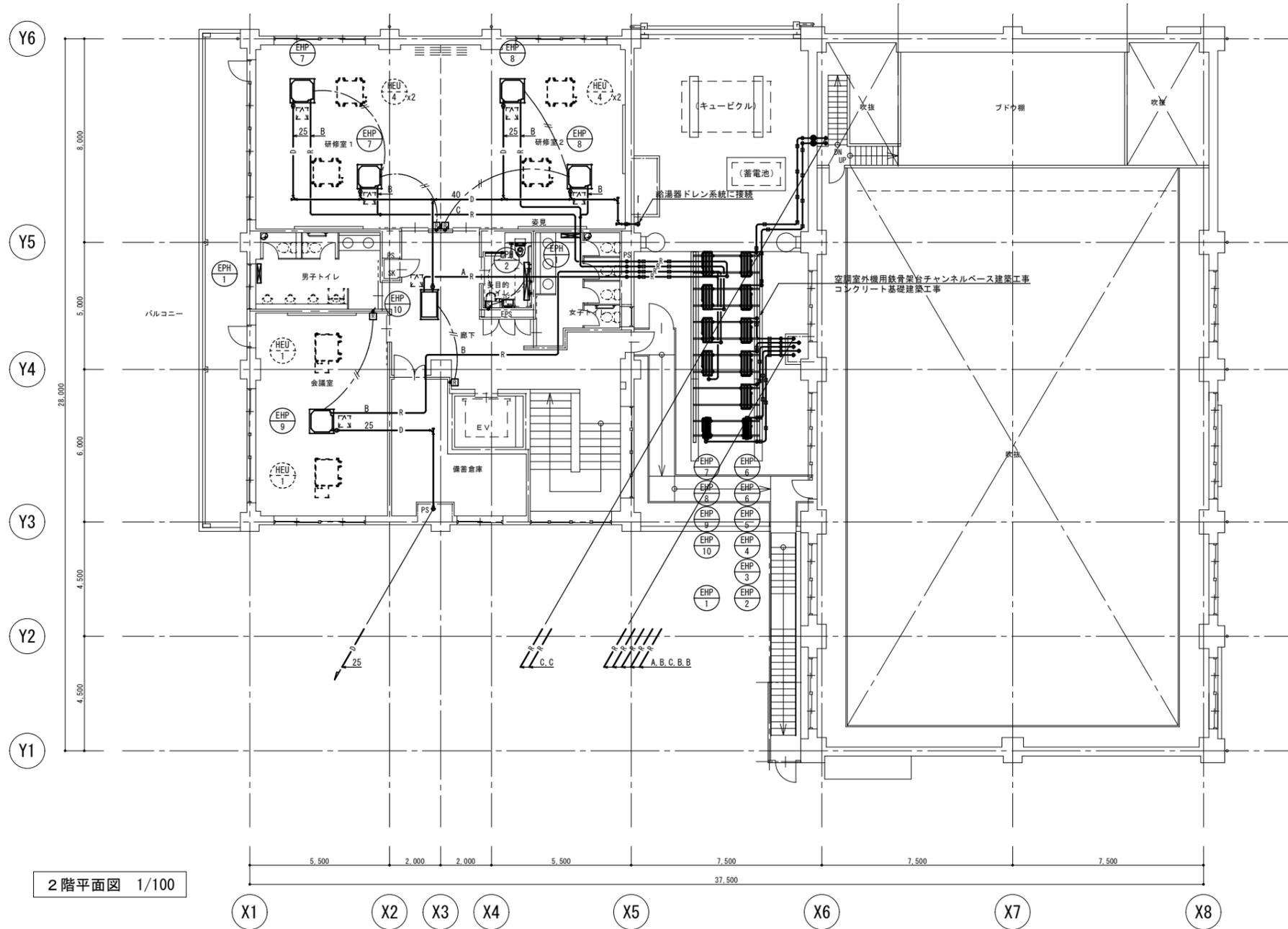


空調ドレン用浸透樹詳細図 S=No-Scale



ホール空調室内機防球ガード参考図 S=No-Scale

記	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	製	株式会社 東北緑企圖	図面名称	空調設備 1階平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
事	一級建築士(大臣)第58900号 折原 幸一	印		図面番号	M-05	



2階平面図 1/100

冷媒管リスト

記号	液管 φ	ガス管 φ
A	6.35	12.7
B	9.52	15.88
C	9.52	25.4
D	12.7	25.4

配管架台参考図

架台種類	W (mm)	L (mm)	H (mm)	数量
—□—	150	400		37
コングリット	100	100	100	74

注1：詳細は下図参照。

換気設備 機器表									
記号	名称 (系統)	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考(型番は参考とする)	
			φ	V	W				
HEU-1	全熱交換換気ユニット (24時間換気対応)	天井カセット形 処理風量: 400m <sup>3</sup> /h 静圧: 100Pa 全熱交換効率: 64% (冷房), 72% (暖房) 付属品: 化粧ルーバー、リモコンスイッチ、天吊防振装置 (ゴム)、他付属品一式	1	100	164	4	1階事務室 1階ロビー兼図書室 2階会議室	FY-M500ZB11	
HEU-2	全熱交換換気ユニット (24時間換気対応)	天井埋込形 処理風量: 480m <sup>3</sup> /h 静圧: 110Pa 全熱交換効率: 62% (冷房), 69% (暖房) 付属品: リモコンスイッチ、天吊防振装置 (ゴム)、他付属品一式	1	100	206	1	1階調理室	FY-M500ZD11	
HEU-3	全熱交換換気ユニット (24時間換気対応)	天井カセット形 処理風量: 450m <sup>3</sup> /h 静圧: 100Pa 全熱交換効率: 62% (冷房), 70% (暖房) 付属品: 化粧ルーバー、リモコンスイッチ、天吊防振装置 (ゴム)、他付属品一式	1	100	164	1	1階和室	FY-M500ZB11	
HEU-4	全熱交換換気ユニット (24時間換気対応)	天井埋込形 処理風量: 550m <sup>3</sup> /h 静圧: 120Pa 全熱交換効率: 60% (冷房), 67% (暖房) 付属品: リモコンスイッチ、天吊防振装置 (ゴム)、他付属品一式	1	100	206	4	2階研修室1 2階研修室2	FY-M500ZD11	
FV-1	天井埋込換気扇	台所用途 処理風量: 100m <sup>3</sup> /h 静圧: 50Pa 付属品: 金属グリル、他付属品一式	1	100	21	2	1階給湯室 1階ロビー兼図書室	FY-24M6K/19	
FV-2	パイプファン	低騒音形 処理風量: 60m <sup>3</sup> /h 静圧: 15Pa 付属品: 電気式シャッター、プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	6.7	1	1階更衣室	FY-12PTE9	
FV-3	天井埋込換気扇	低騒音形 処理風量: 150m <sup>3</sup> /h 静圧: 70Pa 付属品: プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	13.5	1	1階印刷室	FY-24JD68/83	
FV-4	天井埋込換気扇	低騒音形 処理風量: 500m <sup>3</sup> /h 静圧: 100Pa 付属品: プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	95	2	1階男子トイレ 1階女子トイレ	FY-38SK7	
FV-5	天井埋込換気扇	低騒音形 処理風量: 250m <sup>3</sup> /h 静圧: 60Pa 付属品: プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	15.5	1	1階器具倉庫	FY-27JD8/83	
FV-6	有圧扇 (24時間換気対応)	低騒音形 口径: 400φ 処理風量: 2,000m <sup>3</sup> /h 静圧: 40Pa 付属品: SUSφ2φ-カバ- (防虫網付)、電気式SUSシャッター、SUS保護ガード、他付属品一式	1	100	113	4	1階ホール 4台連動(内2台は給気仕様)	FY-40MSV3	
FV-7	天井埋込換気扇	低騒音形 処理風量: 400m <sup>3</sup> /h 静圧: 100Pa 付属品: プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	82	2	2階男子トイレ 2階女子トイレ	FY-38S7	
FV-8	天井埋込換気扇	低騒音形 処理風量: 200m <sup>3</sup> /h 静圧: 70Pa 付属品: プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	3.9	2	1階多目的トイレ 2階多目的トイレ	FY-27JD8/83	
FV-9	天井埋込換気扇	低騒音形 処理風量: 300m <sup>3</sup> /h 静圧: 70Pa 付属品: プラスチックグリル、他付属品一式	1	100	6.6	1	2階備蓄倉庫	FY-32JDE8/83	
FE-1	消音BOX付送風機	厨房用 番号: #1 3/4 処理風量: 1,500m <sup>3</sup> /h 静圧: 220Pa 付属品: 天吊防振装置 (ゴム)、他付属品一式	3	200	560	1	1階調理室	FY-28TCX3	

共通事項 1) 電気容量は、参考値とする。  
2) 全熱交換器の全熱交換効率はJIS B 8628で規定された値とする。

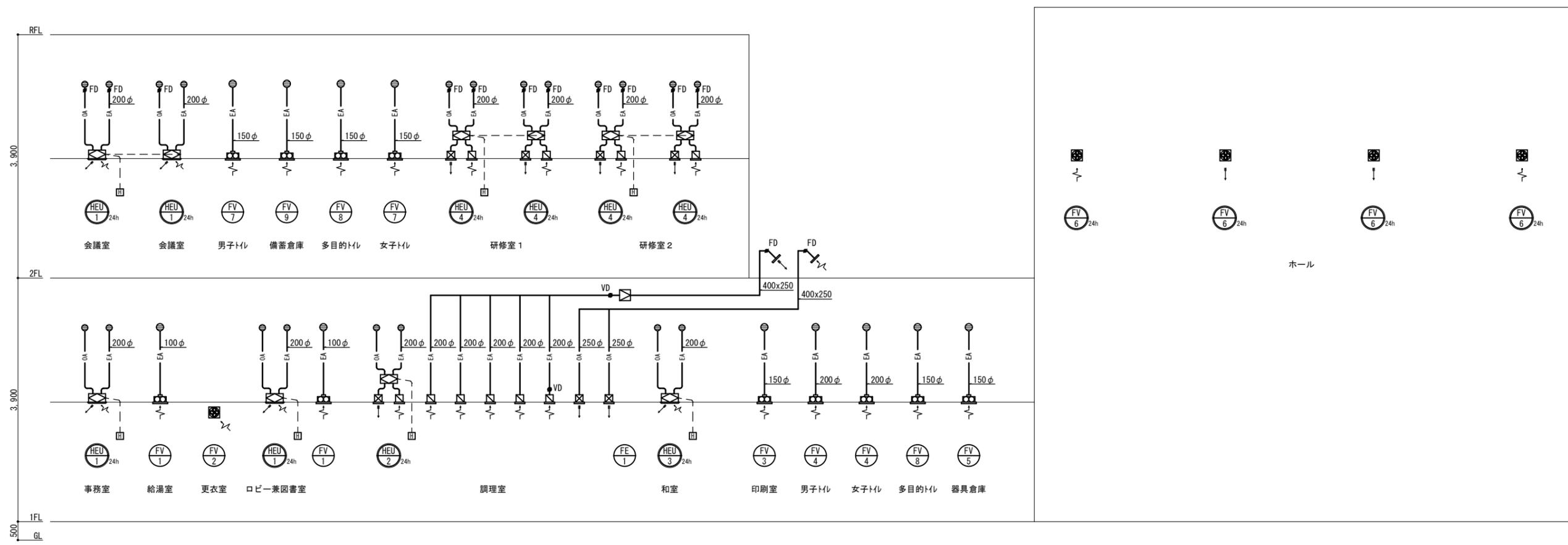
各室における換気計算表																							
階	室名	床面積 (m <sup>2</sup> )	天井高 (m)	室容積 (m <sup>3</sup> )	人員 (人)	換気回数 (回/h)	種別	計算根拠	換気回数		人員による換気		採用換気量 Q m <sup>3</sup> /h	決定換気量 Q' m <sup>3</sup> /h	建築基準法による換気計算			シフト			備考		
									必要 換気量 m <sup>3</sup> /h	1人当り 換気量 m <sup>3</sup> /h人	必要 換気量 m <sup>3</sup> /h	必要 換気量 m <sup>3</sup> /h			20 A f	N	V	換気量 F1/F2	対象容積 m <sup>3</sup>	必要有効 換気量 0.3回/m <sup>3</sup>		換気量 F1/F2	
1	事務室	43.49	2.7	117.5	8	---	3	人員	---	30	240	240	250	870	5	174	○	117.5	36	○	HEU-1		
1	給湯室(ニキッパ)	下表 火を使用する換気計算表による											39	1									
1	給湯室	5.68	2.3	13.1	---	5	3	回数	66	---	---	66	100	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-1	
1	更衣室	5.09	2.3	11.8	---	5	3	回数	59	---	---	59	100	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-2	
1	ロビー兼図書室(ニキッパ)	下表 火を使用する換気計算表による											39	100									FV-1
1	ロビー兼図書室	46.69	2.7	126.1	12	---	3	人員	---	30	360	360	400	934	3	311	○	126.1	38	↓			
1	前室	4.31	2.3	10.0	0	---	-	シフト	---	---	-	---	-	-	-	-	-	10.0	3	↓			
1	廊下	57.86	2.7	156.3	0	---	-	シフト	---	---	-	---	-	-	-	-	-	156.3	47	↓			
1	階段	10.42	2.7	28.2	0	---	-	シフト	---	---	-	---	-	-	-	-	-	28.2	9	↓			
2	廊下	36.13	2.7	97.6	0	---	-	シフト	---	---	-	---	-	-	-	-	-	97.6	30	↓			
2	階段	20.67	2.7	55.9	0	---	-	シフト	---	---	-	---	-	-	-	-	-	55.9	17	↓			
1	調理室	64.62	2.7	174.5	16	---	3	人員	---	30	480	480	600	1,292	4	323	○	174.5	53	○	HEU-2		
		別表火気使用換気計算による											1,340	1,500									FE-1
1	和室	37.55	2.55	95.8	14	---	3	人員	---	30	420	420	450	751	2	376	○	95.8	29	○	HEU-3		
1	印刷室	11.95	2.7	32.3	---	5	3	回数	162	---	---	162	150	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-3	
1	男子トイレ	19.27	2.3	44.4	---	10	3	回数	444	---	---	444	500	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-4	
1	女子トイレ	18.02	2.3	41.5	---	10	3	回数	415	---	---	415	500	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-4	
1	多目的トイレ	7.19	2.3	16.6	---	10	3	回数	166	---	---	166	200	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-8	
1	器具倉庫	16.39	2.6	42.7	---	5	3	回数	214	---	---	214	250	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-5	
1	ホール	345.00	8.8	3,036.0	100	---	3	人員	---	30	3,000	3,100	1	6,900	3	2,300	○	3,036.0	304(0.1回/m <sup>3</sup> )	↓			
1	ステージ	45.00	5.1	229.5	15	---	3	人員	---	30	450	500	1	900	3	300	○	229.5	46(0.2回/m <sup>3</sup> )	↓			
1	控室1	14.11	8.8	124.2	5	---	3	人員	---	30	150	200	1	282	2	141	○	124.2	13(0.1回/m <sup>3</sup> )	↓			
1	控室2	15.00	8.8	132.0	5	---	3	人員	---	30	150	200	1	300	3	100	○	132.0	14(0.1回/m <sup>3</sup> )	↓			
2	研修室1	56.62	2.7	152.9	36	---	3	人員	---	30	1,080	1,080	1,100	1,132	2	566	○	152.9	46	○	HEU-4 x2		
2	研修室2	56.62	2.7	152.9	36	---	3	人員	---	30	1,080	1,080	1,100	1,132	2	566	○	152.9	46	○	HEU-4 x2		
2	会議室	45.65	2.7	123.3	24	---	3	人員	---	30	720	720	800	913	2	457	○	123.3	37	○	HEU-1 x2		
2	男子トイレ	16.28	2.5	40.7	---	10	3	回数	407	---	---	407	400	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-7	
2	女子トイレ	14.78	2.5	37.0	---	10	3	回数	370	---	---	370	400	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-7	
2	多目的トイレ	6.35	2.5	15.9	---	10	3	回数	159	---	---	159	160	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-8	
2	備蓄倉庫	21.53	2.7	58.2	---	5	3	回数	291	---	---	291	300	---	---	---	---	---	---	---	---	FV-9	

火を使用する室の換気計算表											
階	室名	面積 A[m <sup>2</sup> ]	天井高 h[m]	室容積 Q[m <sup>3</sup> ]	V=NKQ			決定 風量 [CMH]	換気種別	備考	
					燃料消費量 Q[kw]	N値	理論換気量 K[m <sup>3</sup> /kw]				
1	調理室	64.62	2.7	174.5	36	40	0.93	1,340	1,500	○	
燃料消費量内訳 調理用 1組: 2口ガスコンロ7.2kW 生徒用 4組: 2口ガスコンロ7.2kW											
階	室名	面積 A[m <sup>2</sup> ]	天井高 h[m]	室容積 Q[m <sup>3</sup> ]	V=eP			決定 風量 [CMH]	換気種別	備考	
					e値	電気容量 P[kw]	換気量 V[CMH]				
1	ロビー兼図書室	46.69	2.7	126.1	30	1.3	39	100	○	(ニキッパ附属品)	
電気容量内訳 IHヒーター 1台: 1.3kW											
1	給湯室	5.68	2.3	13.1	30	1.3	39	100	○	(ニキッパ附属品)	
電気容量内訳 IHヒーター 1台: 1.3kW											

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	製 図 者	株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一	図 面 名 称	換気設備 機器表・換気計算表	縮 尺	NS
					図 面 番 号	M-07

凡例				
記号	名称	区分	使用材料	保温材
OA	外気ダクト		円形ダクト：スパイラルダクト（亜鉛鉄板製） JIS-G-3302 円形ダクト：スパイラルダクト（亜鉛鉄板製） JIS-G-3302	GW
EA	排気ダクト	火気使用 (FV-1, FE-1)	長方形ダクト：ステンレス鋼板製（SUS304） JIS-G-4304 円形ダクト：スパイラルダクト（SUS304） JIS-G-4304	屋内：RW50mm以上
○	ペントキャップ		SUS製 深型フード（防虫網付）	
FD	防火ダンパー		ヒューズ溶融温度：一般72℃、火気120℃	
HEU	全熱交換ユニット			
HEU	天井埋込形換気扇			
圧	圧力扇			
吹	吹出口			
吸	吸込口			
天井	天井点検口	建築工事		
24h	24時間換気対象機器	M-11 換気機器表参照		
DG	ドアガラリ	建築工事		
リモ	リモコンスイッチ	配管配線はEM-CEES 1.25 <sup>2</sup> -2C（壁内PF16、天井内コガシ）		

- 【注記】
- ※FD（防火ダンパー）直近には点検口（450φ以上）を設け目視可能とする。
  - ※全熱交換ユニットは吊長さに関係なく振れ止め支持を行うこと。
  - ※防火ダンパーに用いる温度ヒューズは昭48建告第2563号に適合品とする。
  - ※排気ダクトの外壁部分から1.0mは結露対策のためグラスウール断熱25t巻とする。
  - ※防火ダンパーに用いる温度ヒューズは昭48建告第2563号に適合品とする。

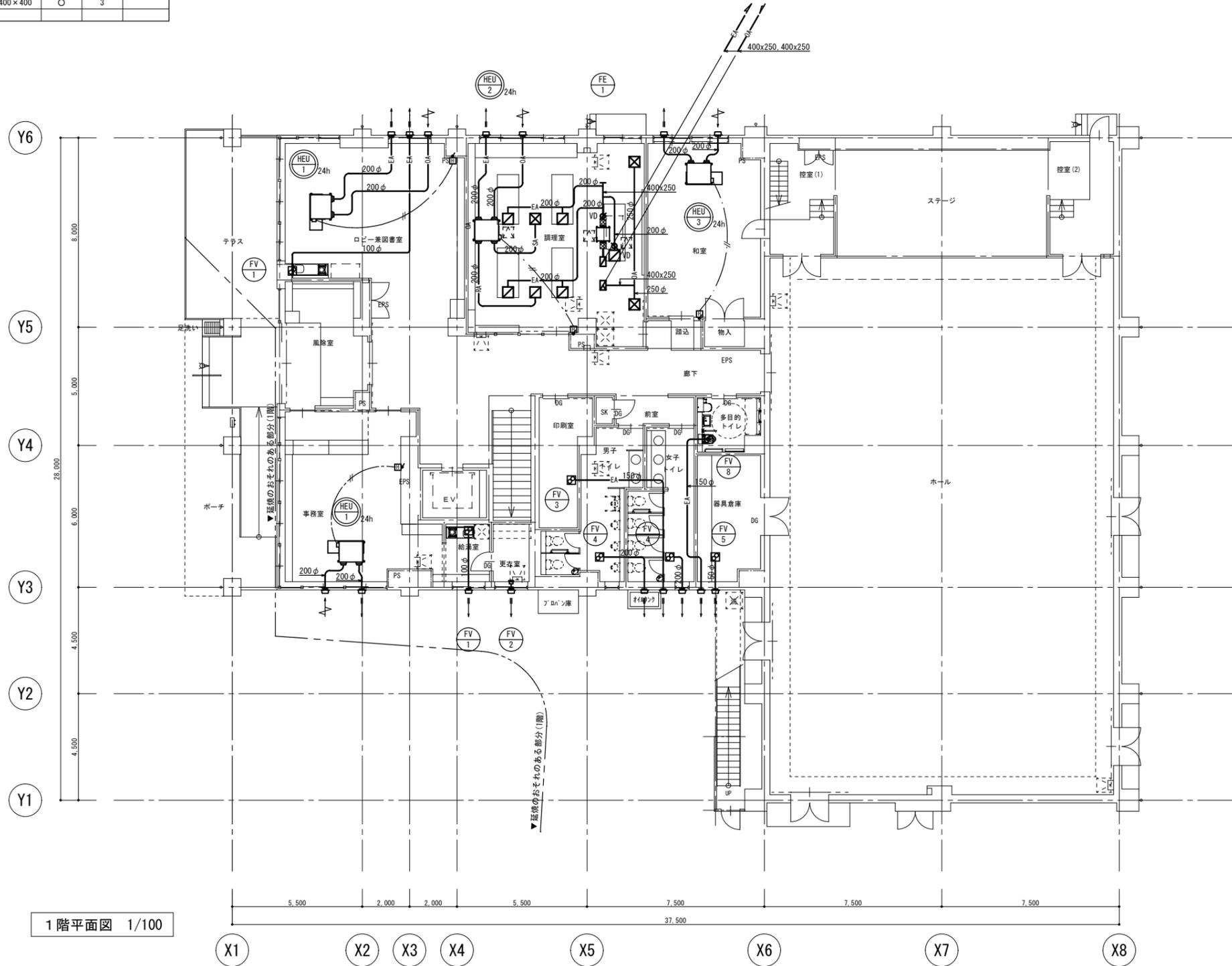


換気設備 ダクト系統図

記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	換気設備 ダクト系統図・凡例	図面番号	M-08	縮尺	NS



制気口リスト							
室名	種類	風量 CMH	形状・寸法	BOX寸法(mm) W×D×H	内貼り GW25mm	個数	備考
調理室	SA・吹出	480	VHS-300x300	400×400×400	○	1	HEU-2
"	RA・吸込	480	GVS-300x300	400×400×400	○	1	HEU-2
"	EA・吸込	300	GVS-250x250	350×350×350	RWS0巻	5	FE-1
"	OA・吹出	500	VHS-300x300	400×400×400	○	3	



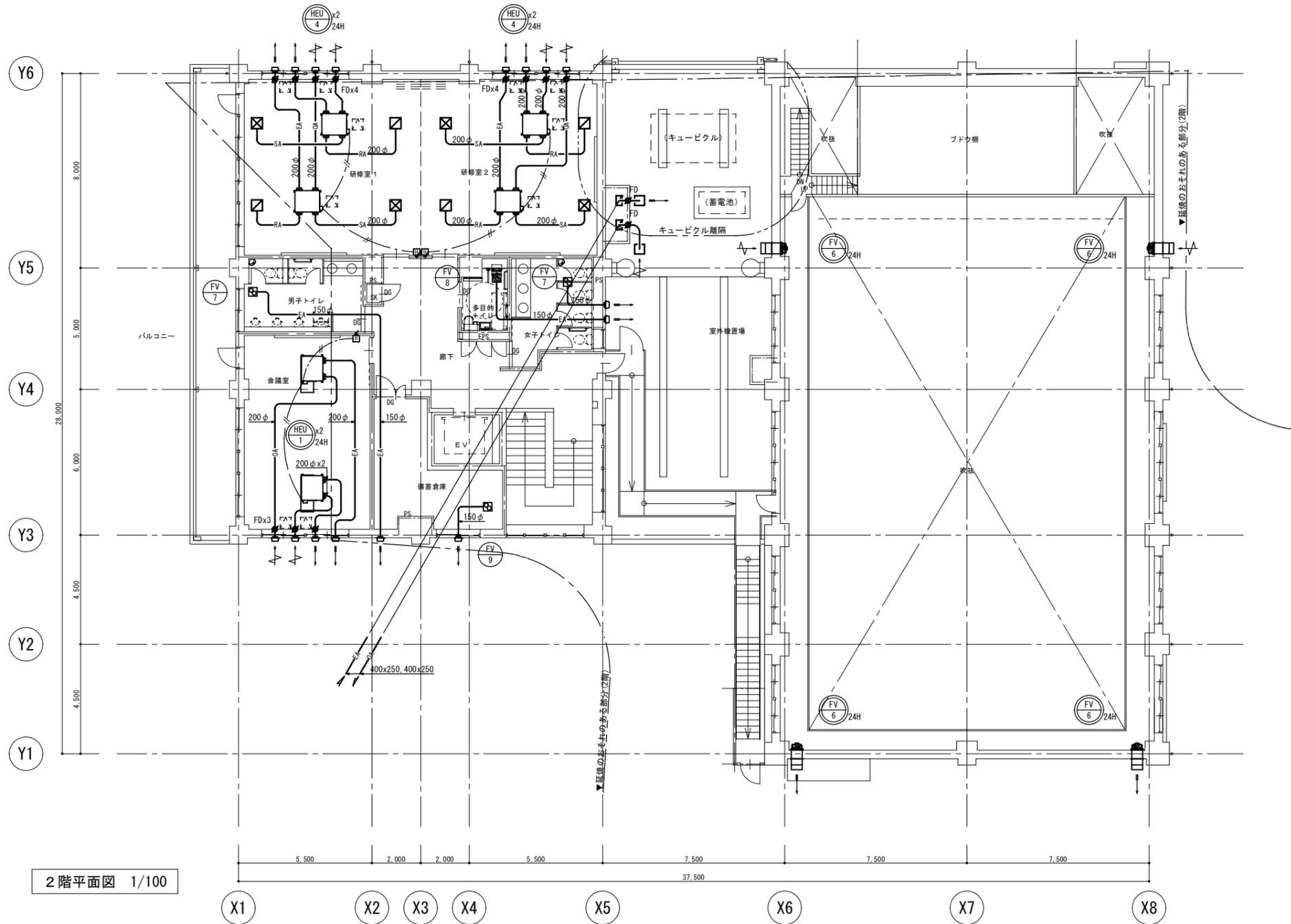
1階平面図 1/100

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	換気設備 1階平面図	図面番号	M-09	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200

株式会社 東北線企画 一級建築士(大臣)第98900号 折原 幸一



室名	種類	風量 CMH	形状・寸法	BOX寸法 (mm) W×D×H	内貼り GW25mm	個数	備考
研修室 1	SA・吹出	550	VHS-300x300	400×400×400	○	2	HEU-4
"	RA・吸込	550	GVS-300x300	400×400×400	○	2	HEU-4
研修室 2	SA・吹出	550	VHS-300x300	400×400×400	○	2	HEU-4
"	RA・吸込	550	GVS-300x300	400×400×400	○	2	HEU-4
キュービクル置場	EA・吹出	1500	防虫網-400x400	715φ-3hV-400x400	-	1	FE-1
"	OA・吸込	1500	防虫網-400x400	715φ-3hV-400x400	-	1	



2階平面図 1/100

衛生設備 器具表		名称		型番		仕様 (標準付属品一式共)		電源		合計	1階					2階			屋外		備考							
		(TOTO参考型番)	(LIXIL参考型番)					φ-V	W		ロビー兼図書室	調理室	給湯室	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	S	K	男子トイレ	女子トイレ		多目的トイレ	S	K	足洗	調理室外	ホール外	
	洋風腰掛便器	CS498BMC	BC-P110HM.DQ-PA150CH	ロ-タツク式、掃除口付、洗浄便座(瞬間式、便ふたあり)、棚付二連紙巻器、付属品一式		1-100	1260	12					2	4				2	4									
	洋風腰掛便器	CS498BMC	BC-P110HM.DQ-PA150CH	ロ-タツク式、掃除口付、洗浄便座(瞬間式、便ふたなし)、リモコン便器洗浄ユニット(ワナ式)、背もたれ、棚付二連紙巻器、付属品一式		1-100	1260	1											1									
	壁掛小便器	UFS900JCS	U-A51AP	ワナ式自動フラッシュバルブ		1-100	24	8					4					4										
	フック-カウンター式洗面器	L531	L-2295	台付混合水栓(手動)、先止式小型電気温水器(3L)、水石けん入れ(カウンター取付)、排水Pトラップ、他付属品一式		温水器	1-100	600	5				2	3														
	フック-カウンター式洗面器	L530	L-2260	台付混合水栓(手動)、先止式小型電気温水器(3L)、水石けん入れ(カウンター取付)、排水Pトラップ、他付属品一式		温水器	1-100	600	5									2	3									
	壁掛ハイバック洗面器	LSH125CAR	L-A951A2E	自動水栓、小型電気温水器(3L)、水石けん供給栓(0.35L)、排水Pトラップ、他付属品一式		自動水栓 温水器	1-100 1-100	1 600	1										1									
	ハイバック洗面器	UADAKO1R1A1AND1W	PTWC-HC103R1A1ANWW	コンパクトタイプ 便器壁掛、側板あり、洗面器、小型電気温水器(1L)、手洗器、水せつけん入れ、背もたれ、他付属品一式		自動水栓 ロ-タツク 温水器	1-100 1-100 1-100	1 30 505	1						1													
	オストイトバック	UAS81LSB1NW	PTOM-B210S	コンパクトタイプ、小型電気温水器(3L)、水石けん入れ、他付属品一式		ロ-タツク 温水器	1-100 1-100	30 600	1							1												
	オストイトバック	UAS81RSB1NW	PTOM-B210S	コンパクトタイプ、小型電気温水器(3L)、水石けん入れ、他付属品一式		ロ-タツク 温水器	1-100 1-100	30 600	1										1									
	掃除用流し	SK22A	S-202A	排水リムカバー、横水栓、排水ストラップ、鎖付きゴミ栓、他付属品一式					2											1								
	シンク混合水栓	TKS05313J	SF-HB434SYA	台付 吐水切替え 止水栓					2	2																		
	洗濯機用水栓	TW11R	LF-WJ50KQA-U	緊急止水弁付き					1	1																		
	洗濯機パン	PWP740N2W	PF-7464AC	縦引き排水トラップ、他付属品一式					2	1															1			
	横水栓	T200CSUN13	LF-7RG-13-U	13mm キー式、吐水口回転式、不凍水抜き水栓柱共					1														1					
	横水栓	T28AKUH13	LF-35G-13-CV	13mm キー式、ホース接続・差し込み式、不凍水抜き水栓柱共					2														1	1				
	洗面器カウンター								4				1	1				1	1								建築工事	
	化粧鏡								14	1		1	2	3	1			2	3	1							建築工事	
	調理実習台			水栓、排水トラップ、ガスヒューズコック共					5	5																	建築工事 (配管接続本工事)	
	手洗流し			排水トラップ共					1	1																	建築工事 (水栓、配管接続本工事)	
	台所流し(3ニッチ)			混合水栓、排水トラップ、電気温水器(12L)共					2	1	1																建築工事 (配管接続本工事)	
	外部洗い場								1														1				建築工事 (水栓、排水トラップ接続本工事)	
	洋風腰掛便器手すり			700x700x90					4				1	1				1	1								建築工事	
	洋風腰掛便器手すり			800x800x230					2										1								建築工事 ただし ( ) はトイレに附属とする	
	洋風腰掛便器手すり			可動式 (はね上げ) L700					2										1								建築工事 ただし ( ) はトイレに附属とする	
	小便器手すり								2										1								建築工事	

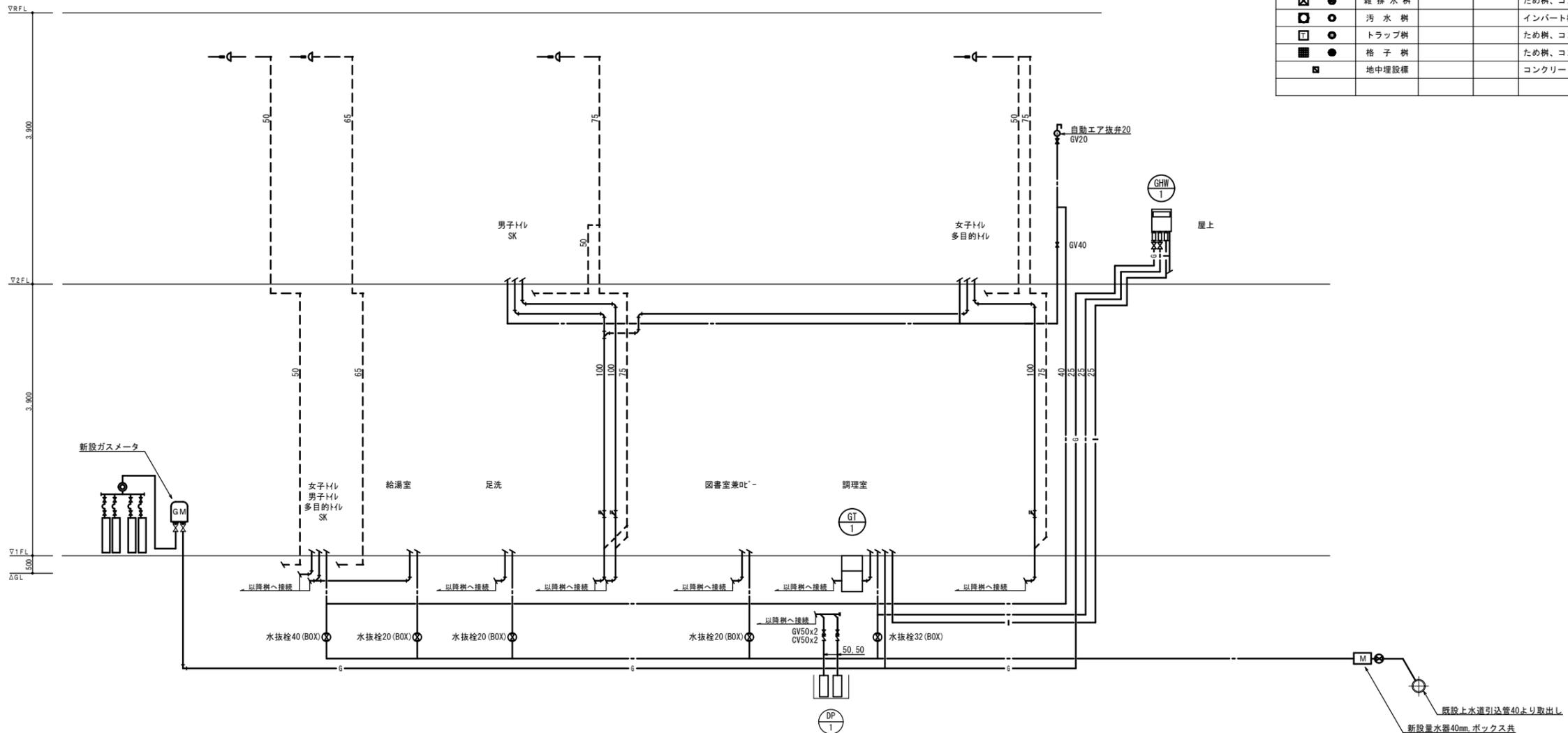
衛生設備 機器表						
給湯器	名称	記号	仕様	設置場所	台数	備考
	貯湯式電気温水器 (ミニキッチン付属品)	EHW-1	容量 12L 電気容量 1φ100V1100W 床置き形	※建築工事 1階ロビー兼図書室、給湯室	2	1. 止水栓より湯沸器等までの接続ホース、オーバーフロー配管及び壁固定金物は機器付属とする。 2. 貯湯式電気温水器には過熱タイマー、空焚防止機能、(●)ボイリング機構を付属する。 3. 専用混合水栓を付属とする。 4. 貯湯式電気温水器の加熱能力、消費電力はJIS C 9219で規定された値とする。
	貯湯式電気温水器 (水栓付付属品)	EHW-2	容量 3L 電気容量 1φ100V600W 壁掛け形	各階男女トイレ、多目的トイレ	14	
	潜熱回収型給湯器	GHW-1	50号 ガス消費量 91.9kW (LPG) 屋外壁掛 定格消費電力:1φ100V72W 凍結防止ヒータ消費電力:1φ100V257W 圧力調節器、過熱防止装置、立消え安全装置、リモコン、リモコンケーブル、その他標準付属品一式	2階屋上 (調理室系統)	1	
グリストラップ	名称	記号	仕様	設置場所	台数	備考
	グリストラップ	GT-1	FRP製 地中埋設パイプ流入式 109L/min(許容流入量) 29.3kg(阻集グリース量)、蓋 (SUS製耐荷重T-2仕様)		1	1. コンクリートビット工事は本工事 2. 日本阻集器工業会の認定品とする。
ポンプ	名称	記号	仕様	設置場所	台数	備考
	排水用水中ポンプ	PD-1	強化樹脂製雑排水用水中ポンプ 40φx100L/minx6.0mx2台 (自動交互運転内蔵型) 単相100V250W		1組	1. ビット釜場は建築工事 2. 着脱装置、フロートスイッチ、ケーブルは附属とする。
消火器	名称	記号	仕様	設置場所	台数	備考
	消火器	FE-1	蓄圧式ABC粉末消火器10型		9	1. 受変電設備用消火器は電気設備工事とする

記 事	業務名称	館蔵公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館蔵公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	給排水衛生設備 器具表・機器表	図面番号	NS	図面番号	M-11

<注記>

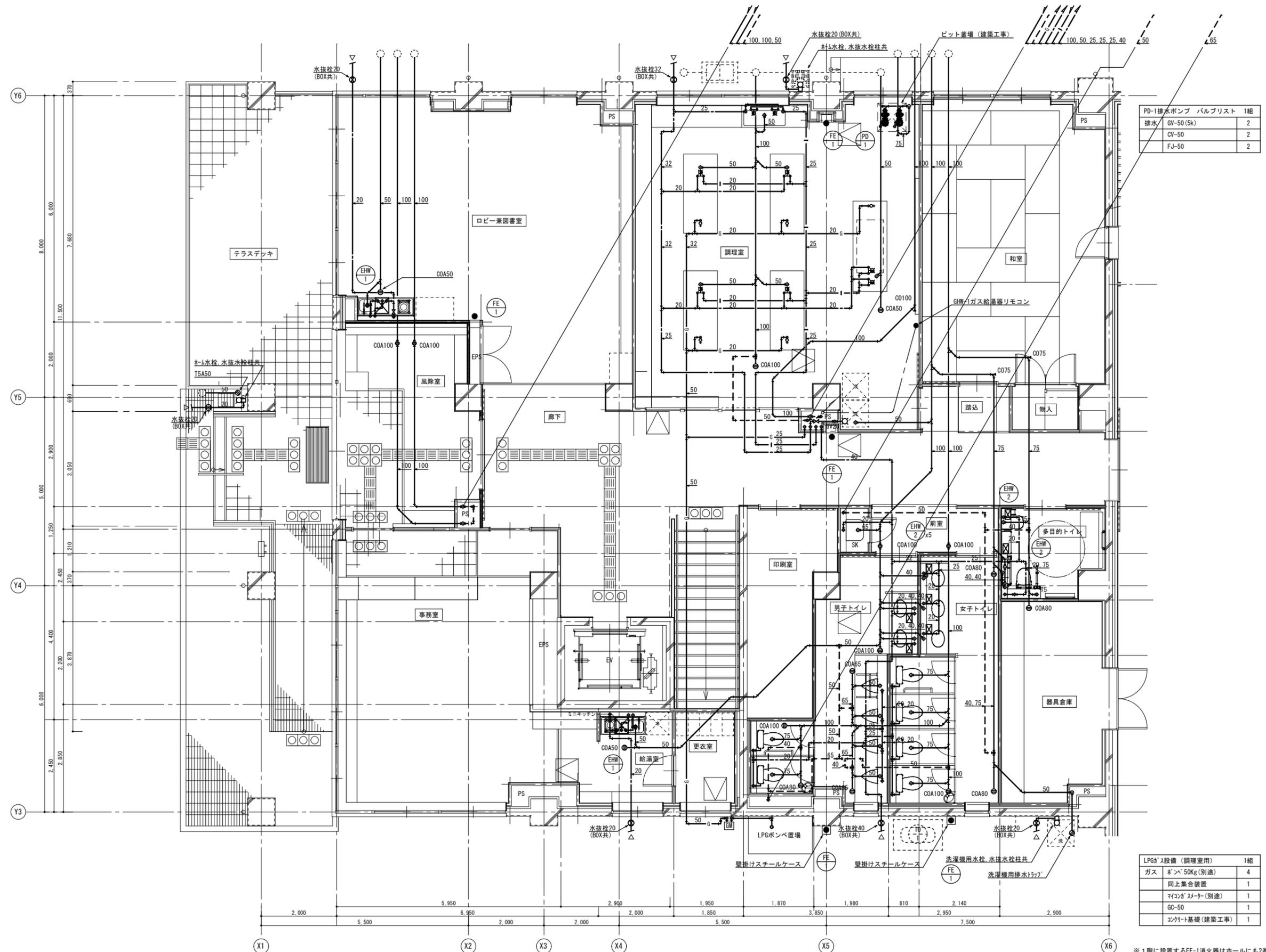
※給水・排水その他の配管設備の設置及び構造については建築基準法施行令第129条2の4に準拠する。  
 ※給水・排水管で、防火区画貫通部、床スラブ貫通部の配管は全てモルタル穴埋めを施す。  
 ※水栓とあふれ面の吐水口空間を確保すること。  
 ※ウォーターハンマー防止の為、必要に応じて管径を大きくして、流速2m/s以下とする。  
 ※排水管の排水量及び管径、勾配の算出は排水負荷単位に基づく。  
 ※各排水トラップの仕様はJIS規格によるものとする。  
 ※排水管の排水量及び管径の算出は排水負荷単位に基づく。  
 ※給湯器の設置はH12年建設省告示第1388号第5及びH24年国土交通省告示第1447号)に準拠する。

凡例					
記号	名称	仕様			備考
		系統	配管材質		
— — — — —	給水管	直結	屋内一般	給水用耐震型高性能ポリエチレン管	屋外露出部：SUS304
			地中埋設	給水用耐震型高性能ポリエチレン管	
			引込み	市指定材料	
— — — — —	排水管	ポンプアップ	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
			ピット	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
			ライン内	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
			屋外埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
			一般	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HI)	
— — — — —	通気管		屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
— — — — —	給湯管		屋内一般	一般配管用ステンレス鋼管	屋外露出部：SUS304
— — — — —	ガス管		屋内一般	配管用炭素鋼管 (白)	
			その他	外面被覆鋼管	
○	埋設弁				
○	仕切弁			給水・消火・排水：JIS-10K	
○	逆止弁			給水・消火・排水：JIS-10K	
—	可とう継手				
—	防振継手			ゴム製	
□	水栓			水、湯水混合栓	
○	床上掃除口				
○	床排水金物				
○	満水試験接手			掃除口兼用	
○	通気金物				
○	雑排水樹			ため樹、コンクリート製 (RC型)、塩ビ小口径樹	
○	汚水樹			インバート樹、コンクリート製 (SC型)、塩ビ小口径樹	
○	トラップ樹			ため樹、コンクリート製 (RC型)、塩ビ小口径樹	
○	格子樹			ため樹、コンクリート製 (RC型)、塩ビ小口径樹	
○	地中埋設樹			コンクリート製・鉄製	



給排水衛生設備 系統図

記 号	業務名称	館蔵公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館蔵公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	設計者	株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	図面名称	給排水衛生設備 系統図・凡例	縮尺	NS
					図面番号	M-12



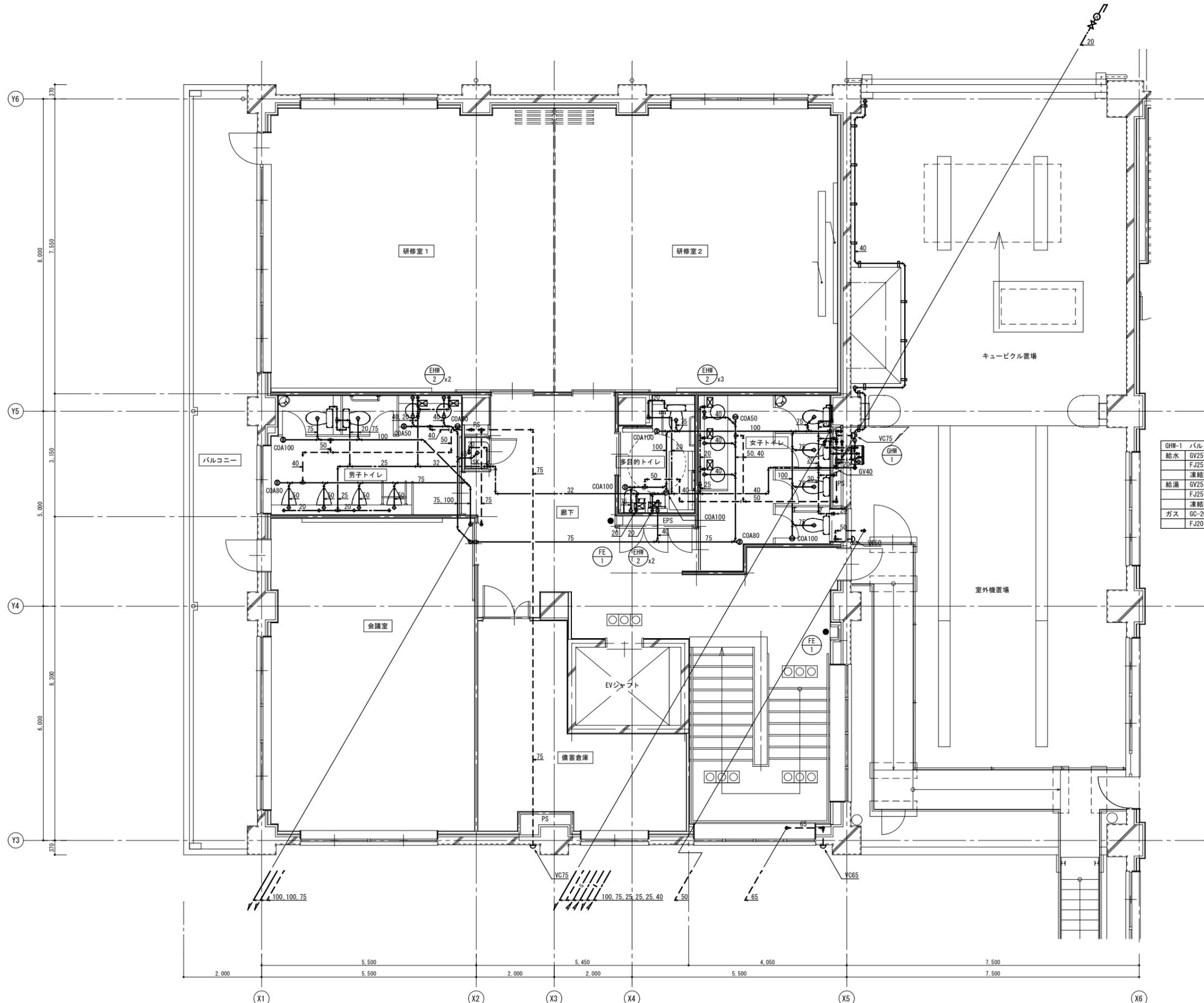
PD-1階水ポンプ バルブリスト 1組		
排水	GV-50 (5k)	2
	CV-50	2
	FJ-50	2

LPGガス設備 (調理室用) 1組		
ガス	ボンベ 50kg (別途)	4
	同上集合装置	1
	マイコンモニター (別途)	1
	GC-50	1
	コンクリート基礎 (建築工事)	1

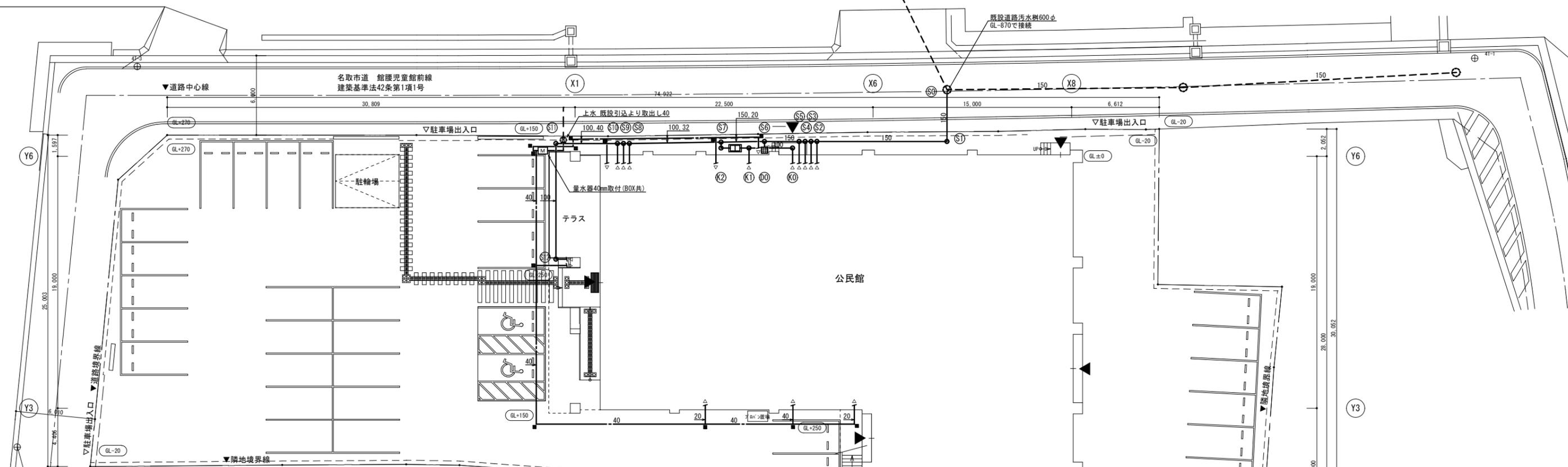
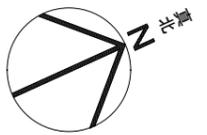
※1階に設置するFE-1消火器はホールにも2基設置する。(建築図参照)

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築工事	設計年月	令和7年3月
	図面名称	給排水衛生設備 1階平面図兼詳細図	図面番号	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	M-13

株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一



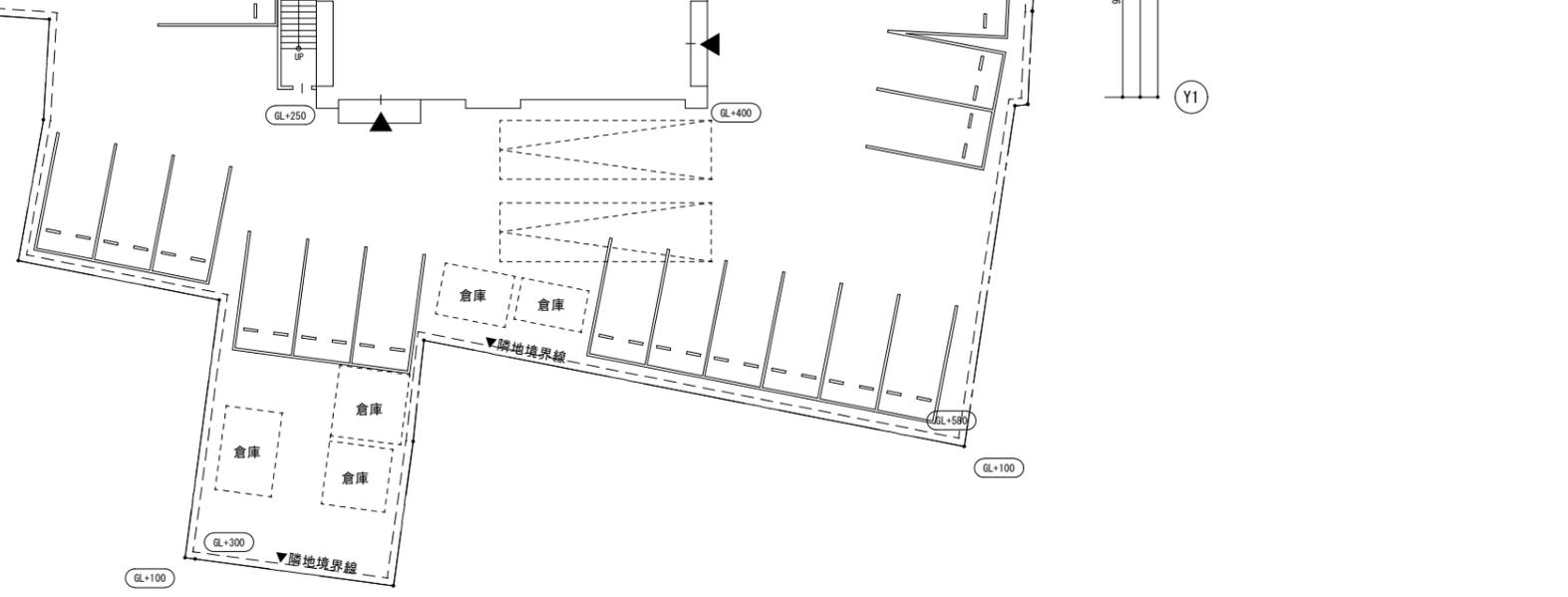
GHW-1 バルブリスト 1組		
給水	GV25 (10K)	1
	FJ25 (SUS)	1
	凍結防止ヒータ-2m	1
給湯	GV25 (10K)	1
	FJ25 (SUS)	1
	凍結防止ヒータ-2m	1
ガス	GC-20A	1
	FJ20 (SUS)	1



**樹リスト** ※ 設計GL=KBMとする

記号	名称	樹内寸法	樹間	管底高	地盤高	樹深さ	蓋	備考
S	汚水・雑排水系統		勾配: 2/100(管径100mm), 1.2/100(管径150mm)とする					
S0	既設道路汚水樹	600φ		GL-0.870 <sup>m</sup>	GL+0.060 <sup>m</sup>	930 <sup>m</sup>	鑄鉄蓋	インバート改修
S1	小口径樹 90L	200φ	3.9m	GL-0.823 <sup>m</sup>	GL+0.05 <sup>m</sup>	873 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S2	小口径樹 90Y	200φ	9.8m	GL-0.705 <sup>m</sup>	GL+0.08 <sup>m</sup>	785 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S3	小口径樹 90Y	200φ	0.5m	GL-0.699 <sup>m</sup>	GL+0.08 <sup>m</sup>	779 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S4	小口径樹 90Y	200φ	0.5m	GL-0.693 <sup>m</sup>	GL+0.08 <sup>m</sup>	773 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S5	小口径樹 90Y	200φ	0.5m	GL-0.687 <sup>m</sup>	GL+0.08 <sup>m</sup>	767 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S6	小口径樹 90Y	200φ	2.6m	GL-0.656 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	756 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S7	小口径樹 90Y	200φ	3.3m	GL-0.616 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	716 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S8	小口径樹 90Y	200φ	6.9m	GL-0.478 <sup>m</sup>	GL+0.13 <sup>m</sup>	608 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S9	小口径樹 90Y	200φ	0.5m	GL-0.468 <sup>m</sup>	GL+0.13 <sup>m</sup>	598 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S10	小口径樹 90Y	200φ	0.5m	GL-0.458 <sup>m</sup>	GL+0.13 <sup>m</sup>	588 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S11	小口径樹 90L	200φ	4.7m	GL-0.364 <sup>m</sup>	GL+0.15 <sup>m</sup>	514 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
S12	小口径樹 90L	200φ	8.7m	GL-0.190 <sup>m</sup>	GL+0.25 <sup>m</sup>	440 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
K0	小口径樹 90L	200φ		GL-0.420 <sup>m</sup>	GL+0.46 <sup>m</sup>	880 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
K1	小口径樹 90L	200φ	3.3m	GL-0.486 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	586 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
	ゲリラストッパ 流入	-	0.5m	GL-0.496 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	596 <sup>m</sup>	-	
	ゲリラストッパ 流出	-	-	GL-0.596 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	696 <sup>m</sup>	-	
K2	小口径樹 90L	200φ	0.5m	GL-0.606 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	706 <sup>m</sup>	樹脂蓋	
			0.5m					
D0	既成樹 (トナリ)	450x450	0.6m	GL-0.200 <sup>m</sup>	GL+0.10 <sup>m</sup>	300 <sup>m</sup>	SUS <sup>®</sup> レチング 蓋	

KBM  
H=3,812 = 設計GL±0



配置図 1/150 GL+000 : 設計GL (KBM) からの高さを示す。